様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　6 年　 6 月　 25 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒286-0212

住　所　千葉県富里市十倉185-400

氏　名　株式会社　パニーデリカ

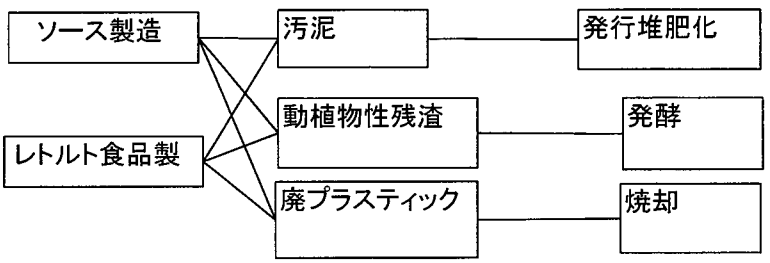
代表取締役社長　瀬尻　壮

電話番号　　0476-92-8193

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　パニーデリカ
事業場の所在地	千葉県富里市十倉185-400
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

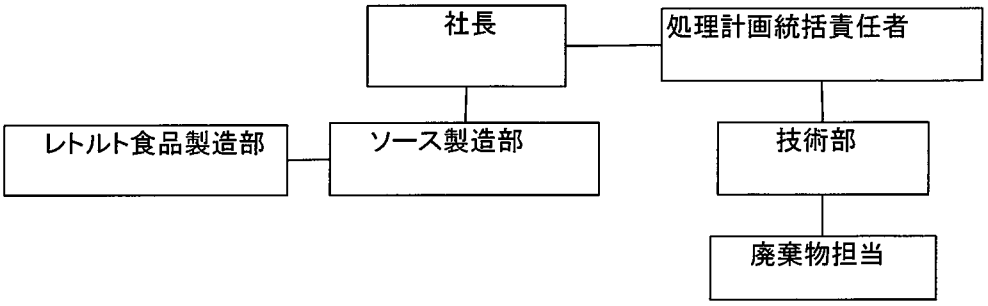
① 事業の種類	大分類：製造業　　中分類：食料品製造業
② 事業の規模	生産量　9,060ｔ（令和5年実績）
③ 従業員数	90人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列4番）

印旛地域振興事務所 6.6.27 収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
排出量	17,542 t	134 t

（これまでに実施した取組）

・令和5年は千葉緑環境システムの問題により4月～5月は汚泥の濃度コントロールによる汚泥削減活動が出来ず目標の126%に増加した。
・動植物性残渣は令和4年実績に対して72.8%であったが、目標対して78.8%であった。原料由来の仕損じ品及び製品回収の見直しによる廃棄量が減少した。
・廃プラスチックは分別による削減活動により目標の99%に減少した。
・蛍光灯ランプの排出によりガラス・コンクリート・陶磁器が目標に対して168%であった。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
排出量	15,787 t	127 t

（今後実施する予定の取組）

・引続き汚泥は濃度コントロールによる更なる削減活動を行う。（対前年90%）
・動植物性残渣は原料賞味期限切れ削減仕損じ品削減活動により廃棄量削減を行う。（対前年95%）
・廃プラスチックは分別及び原料付着の削減により重量減少活動を行う。（対前年95%）
・蛍光灯ランプの排出によりガラス・コンクリート・陶磁器は対前年90%をめざす。
・乾電池・木くずについては引続き0を目指す。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・硬質プラスチックの分別後処分している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・硬質プラスチックの分別による有価化の推進

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	動植物性残渣
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	動植物性残渣
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	動植物性残渣
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	17,334 t	t

（これまでに実施した取組）

土日運転停止による活性汚泥濃度管理の徹底

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	動植物性残渣
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	15,600 t	t

（今後実施する予定の取組）

更なる活性汚泥濃度の徹底による削減(対前年90%)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	動植物性残渣
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	汚泥	動植物性残渣
全処理委託量_	208 t	134 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	71 t
再生利用業者への処理委託量	208 t	62 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	1 t

（これまでに実施した取組）

・汚泥濃度管理の徹底による脱水汚泥排出量削減（処分委託先変更）
・原材料の賞味期限切れ・仕損じ品削減活動による動植物性残渣削減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
全処理委託量	187 t	127 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	67 t
再生利用業者への処理委託量	187 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	59 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	1 t

（今後実施する予定の取組）

・汚泥は更なる汚泥濃度管理の徹底により排出量削減。（対前年90%）
・動植物性残渣は原料賞味期限切れ削減、仕損じ品削減活動により排出量削減を図る。（対前年95%）
・廃プラスチックは原料、製品で使用している内袋付着している動植物性残渣と分別により軽量化を図り排出量削減する。（対前年95%）
・ガラス・コンクリート・陶磁器くずは蛍光灯のLED化によりランプは排出する予定。（対前年90%）
・乾電池は引続き排出量0を目指す。
・木くずは引続き排出量0を目指す。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
		排　出　量	159　t	0.168　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
		排　出　量	151　t	0.151　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
	全処理委託量	159　t	0.168　t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	159　t	0.168　t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃電池	木くず				
	全処理委託量	151　t	0.151　t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	151　t	0.151　t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月25日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒286-0212
住　所　千葉県富里市十倉185-400
株式会社　パニーデリカ
代表取締役社長　瀬尻　壮一
電話番号 0476-92-8195

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　パニーデリカ
事業場の所在地	千葉県富里市十倉185-400
事業の種類	大分類：製造業　中分類：食品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

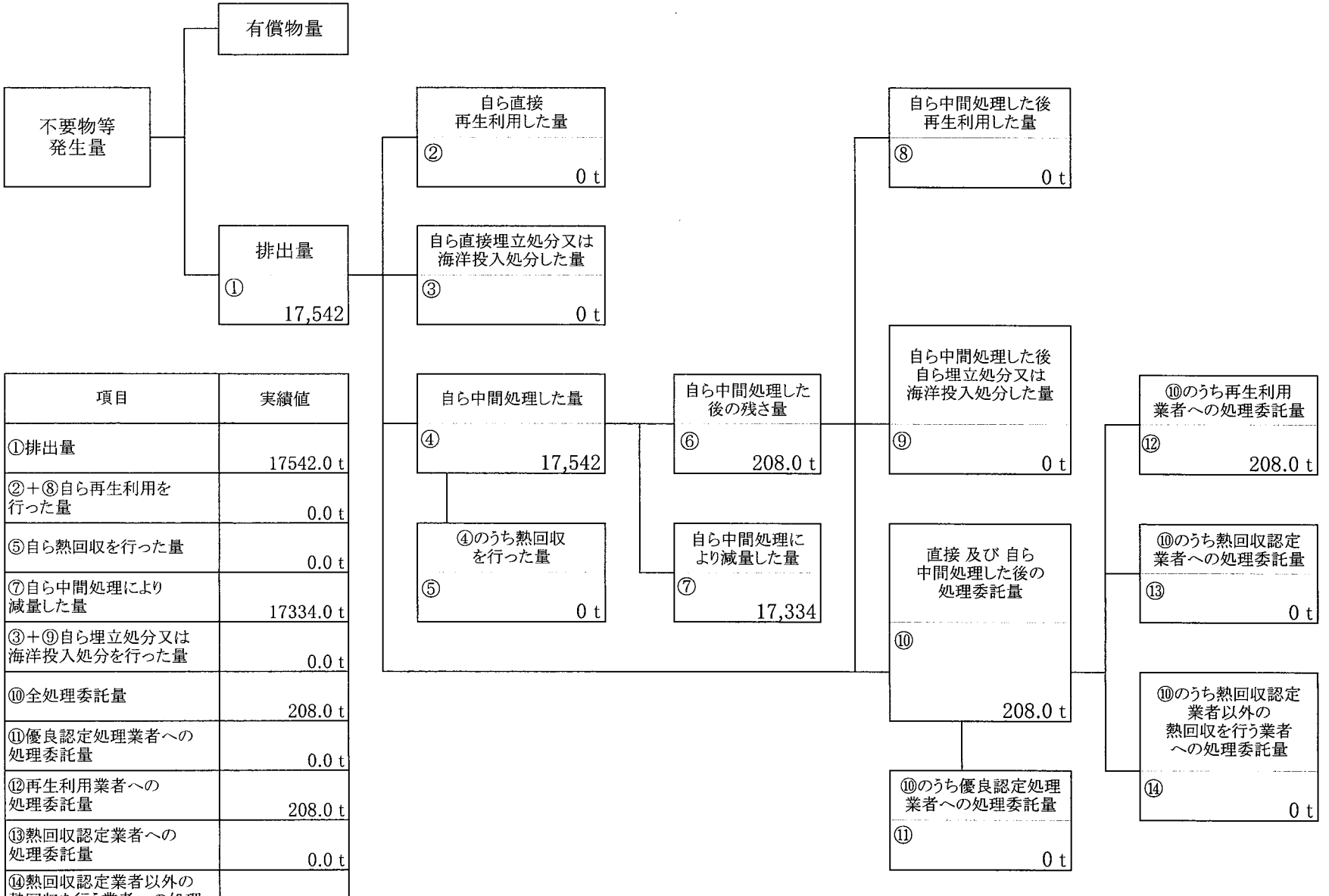
項目	目標値	項目	目標値
排出量	13657t	全処理委託量	330t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	10 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	160 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13327t	認定熱回収業者への処理委託量	160 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

印播 地域振興事務所 -6.6.27 収受

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

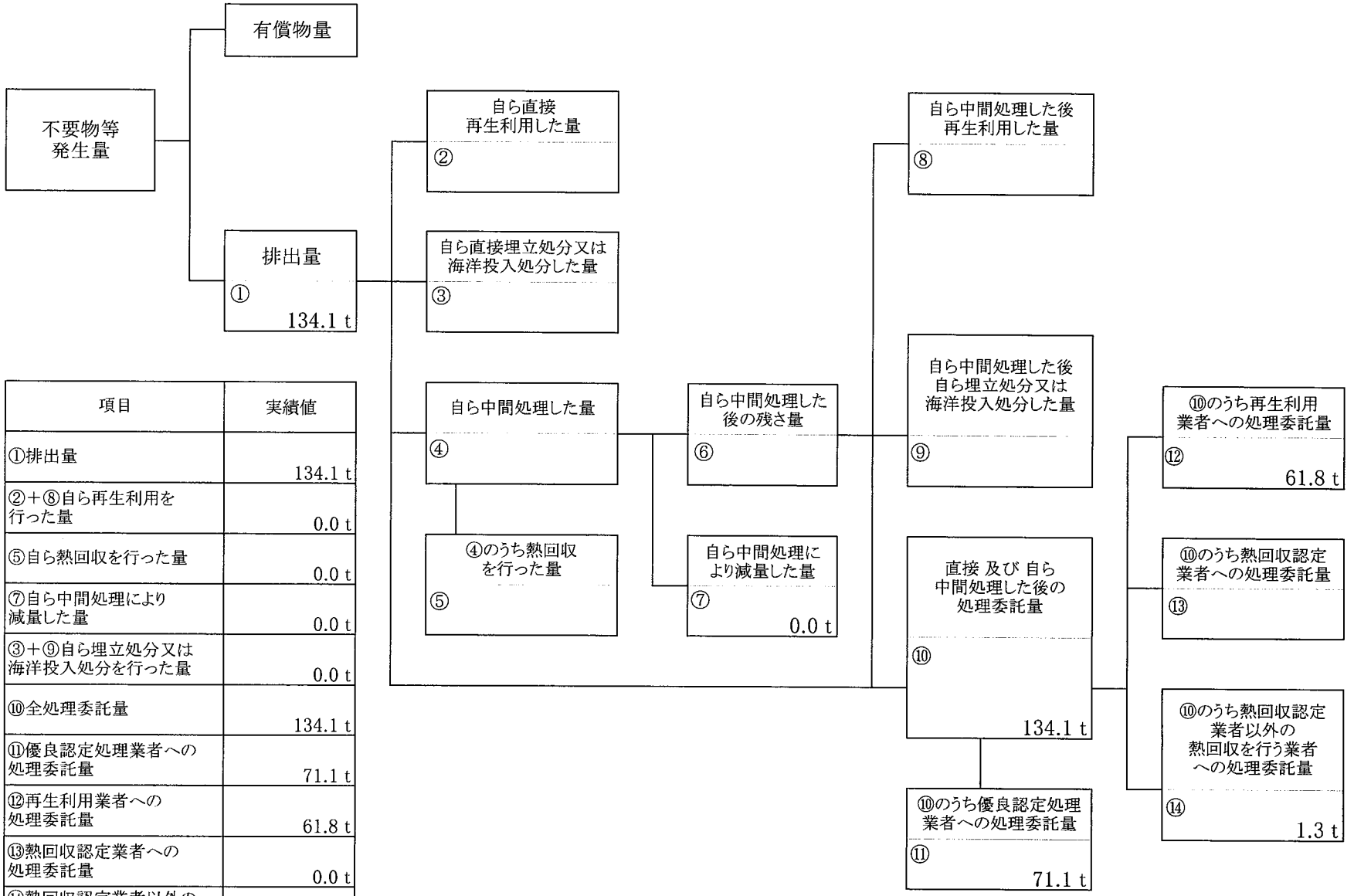


項目	実績値
①排出量	17542.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	17334.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	208.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	208.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　動植物性残渣　）

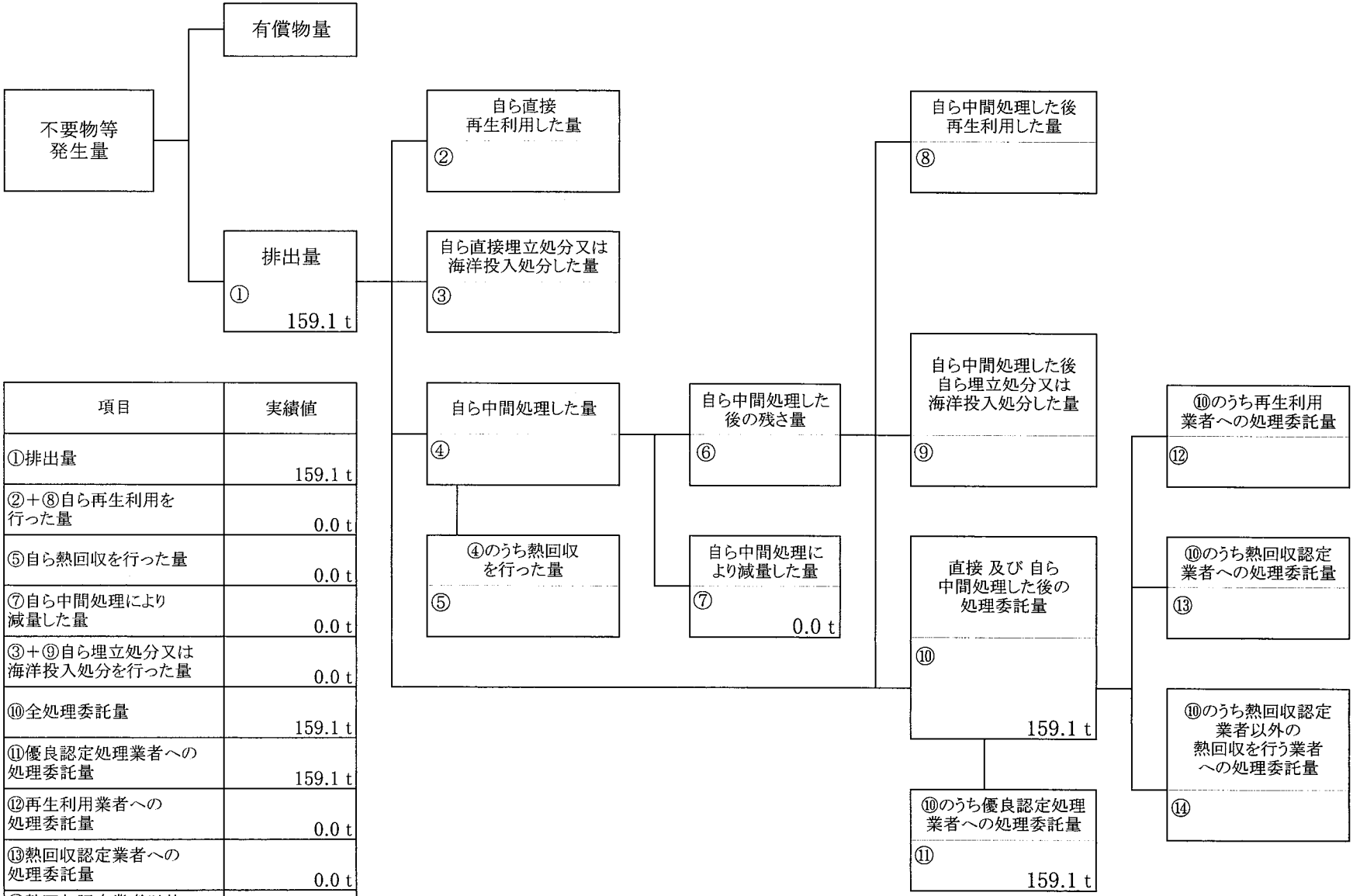


項目	実績値
①排出量	134.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	134.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	71.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	61.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.3 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック　　）

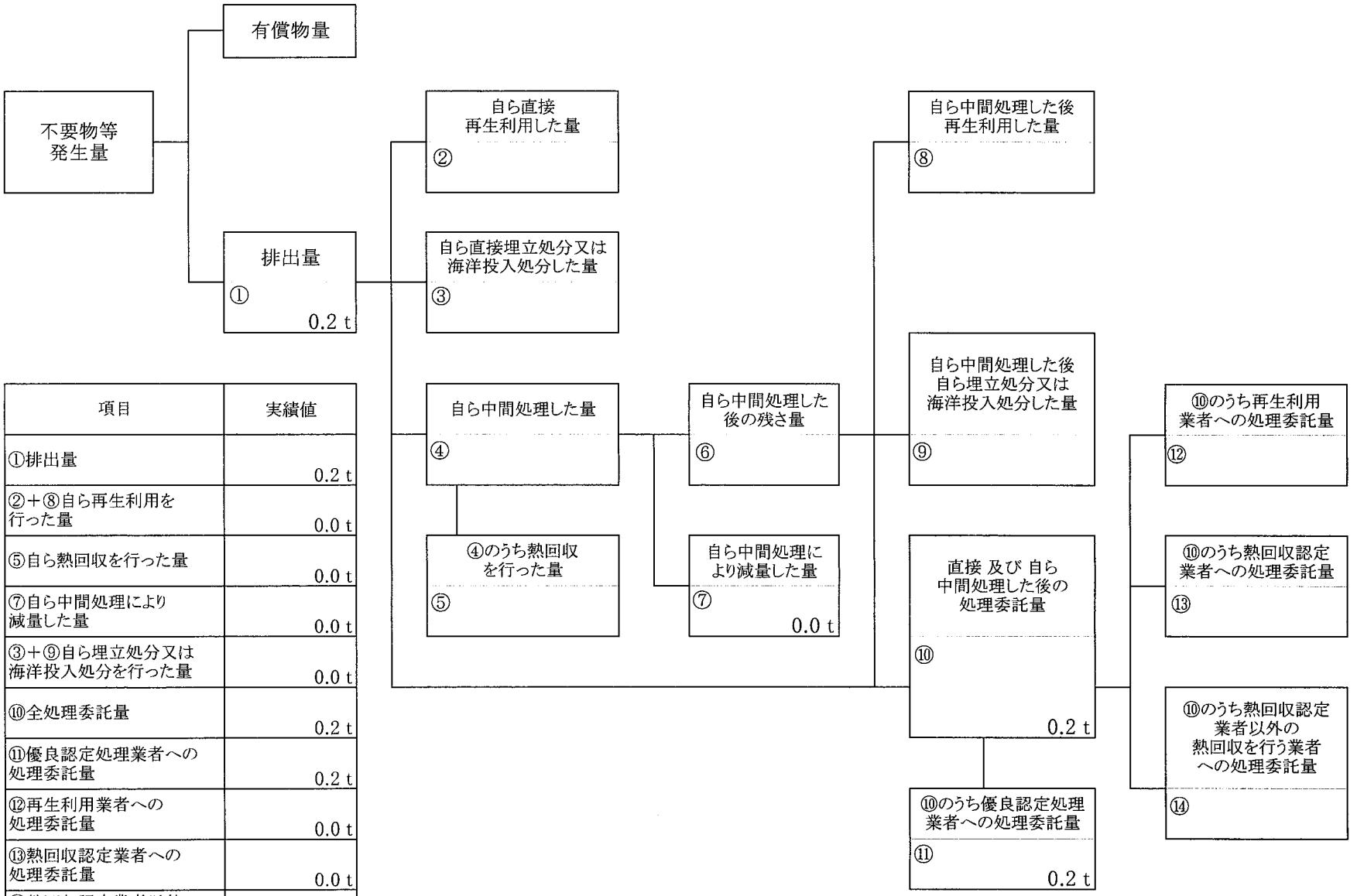


項目	実績値
①排出量	159.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	159.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	159.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）



項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月3日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　285-8550

住　所　佐倉市六崎1440

法人名　株式会社フジクラ　佐倉事業所

代表者　山中 正義

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-484-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社フジクラ　佐倉事業所
事業場の所在地	千葉県佐倉市六崎１４４０
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　非鉄金属製造業
②事業の規模	製造品出荷額：235億円
③従業員数	1478人（正社員　1379人　常勤関係社員　99人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	1128.4 t	53.9 t

（これまでに実施した取組）

マテリアルリサイクルとしての有価物化をおこなう
投入薬剤見直しによる汚泥発生量の削減をおこなう

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	1000 t	50 t

（今後実施する予定の取組）

溶剤などの再生利用のよる廃棄物の削減をおこなう
マテリアルリサイクルとしての有価物化のおこなう

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

分別一覧を作成や定期的な分別指導をおこなっている

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

廃プラや金属くずの混合品分解による、素材ごとの回収をおこなう

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥	廃油
全処理委託量		1128.4 t	53.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1128.4 t	53.9 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	50.6 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

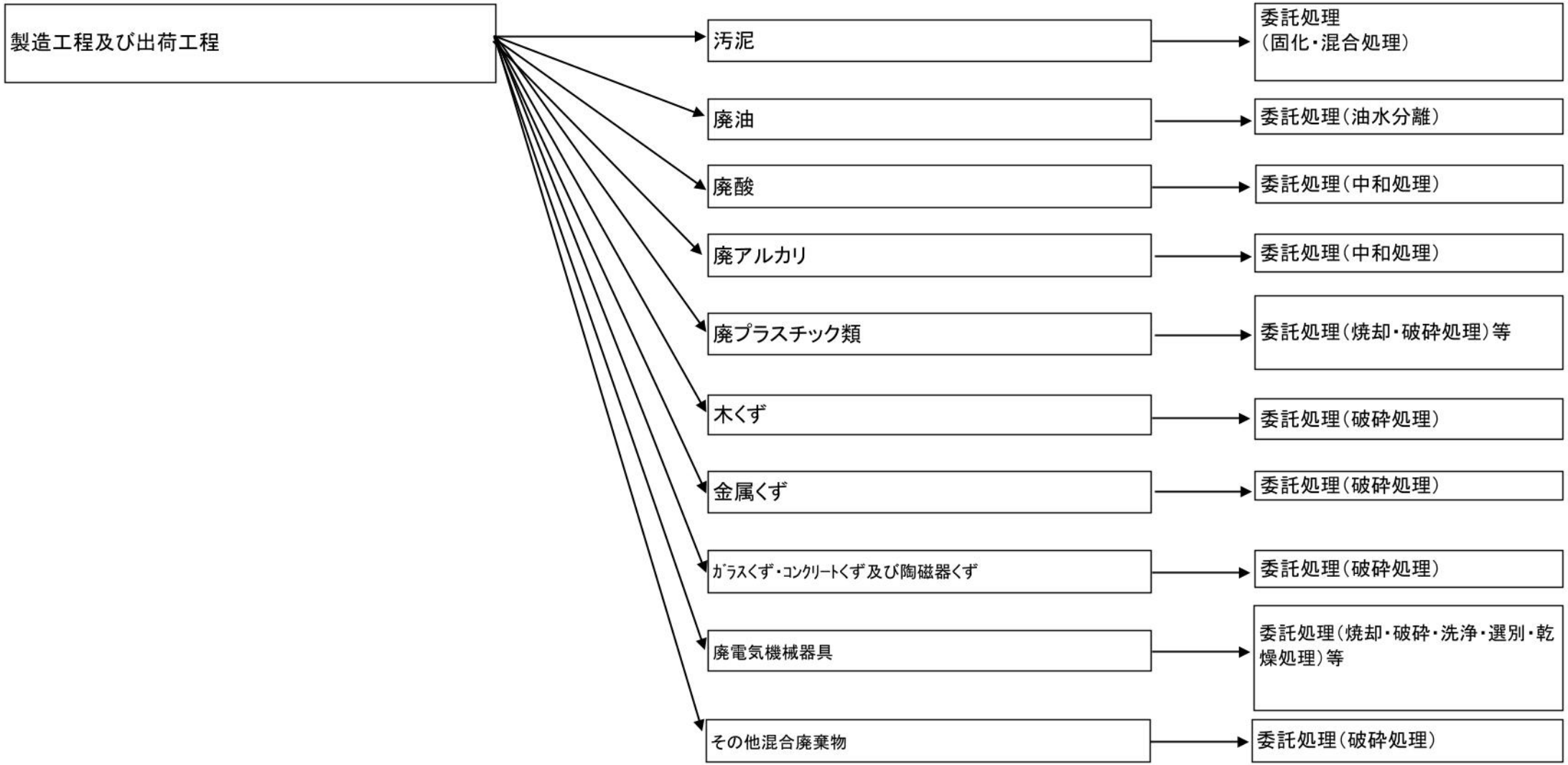
（これまでに実施した取組）

優良認定処理業者への委託先変更をおこなう

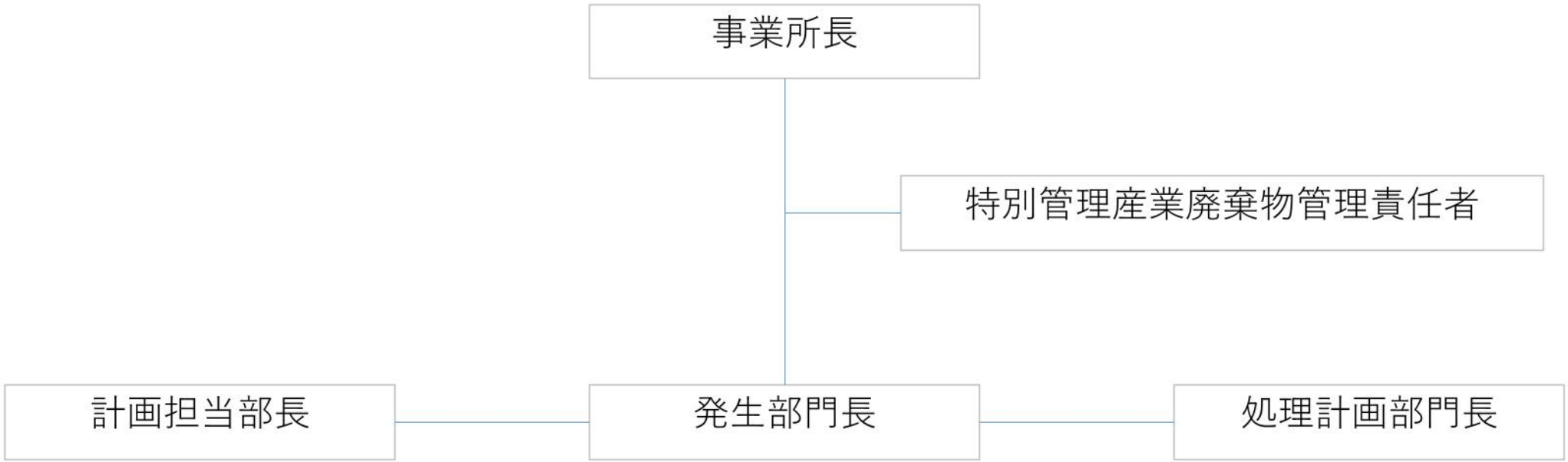
<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1000 t</td><td>50 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1000 t</td><td>50 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>40 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
継続して、優良認定処理業者への委託先変更をおこなう</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程



（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	排　出　量	58.2 t	496.2 t	339.5 t	77.7 t	14 t	139.4 t	412.4 t	44.3 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	排　出　量	50 t	450 t	450 t	75 t	5 t	130 t	200 t	25 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	全処理委託量	58.2 t	496.2 t	339.5 t	77.7 t	14 t	139.4 t	412.4 t	44.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	58.2 t	496.2 t	273.1 t	77.7 t	14 t	31.3 t	411.1 t	44.3 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	77.7 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	廃電気機械器具	その他混合廃棄物
	全処理委託量	50 t	450 t	450 t	75 t	5 t	130 t	200 t	25 t
	優良認定処理業者への処理委託量	50 t	450 t	300 t	75 t	5 t	30 t	200 t	25 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	75 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月5日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　285-8550

住所 佐倉市六崎1440

法人名 株式会社フジクラ 佐倉事業所

代表者 山中 正義

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-484-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社フジクラ 佐倉事業所
事業場の所在地	千葉県佐倉市六崎1440
事業の種類	大分類　製造業　中分類 非鉄金属製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

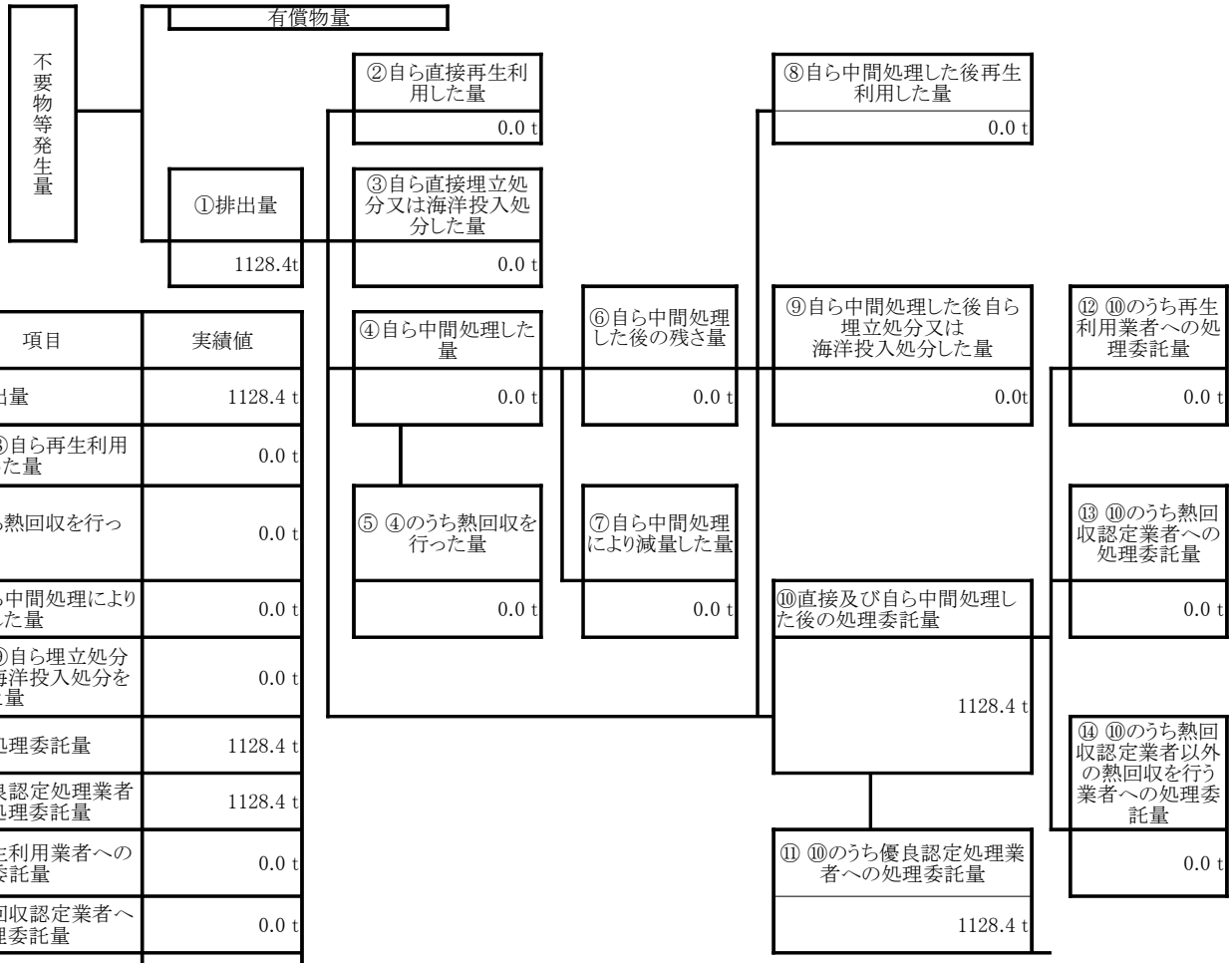
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3120 t	全処理委託量	3120 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2877.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1515 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	20 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

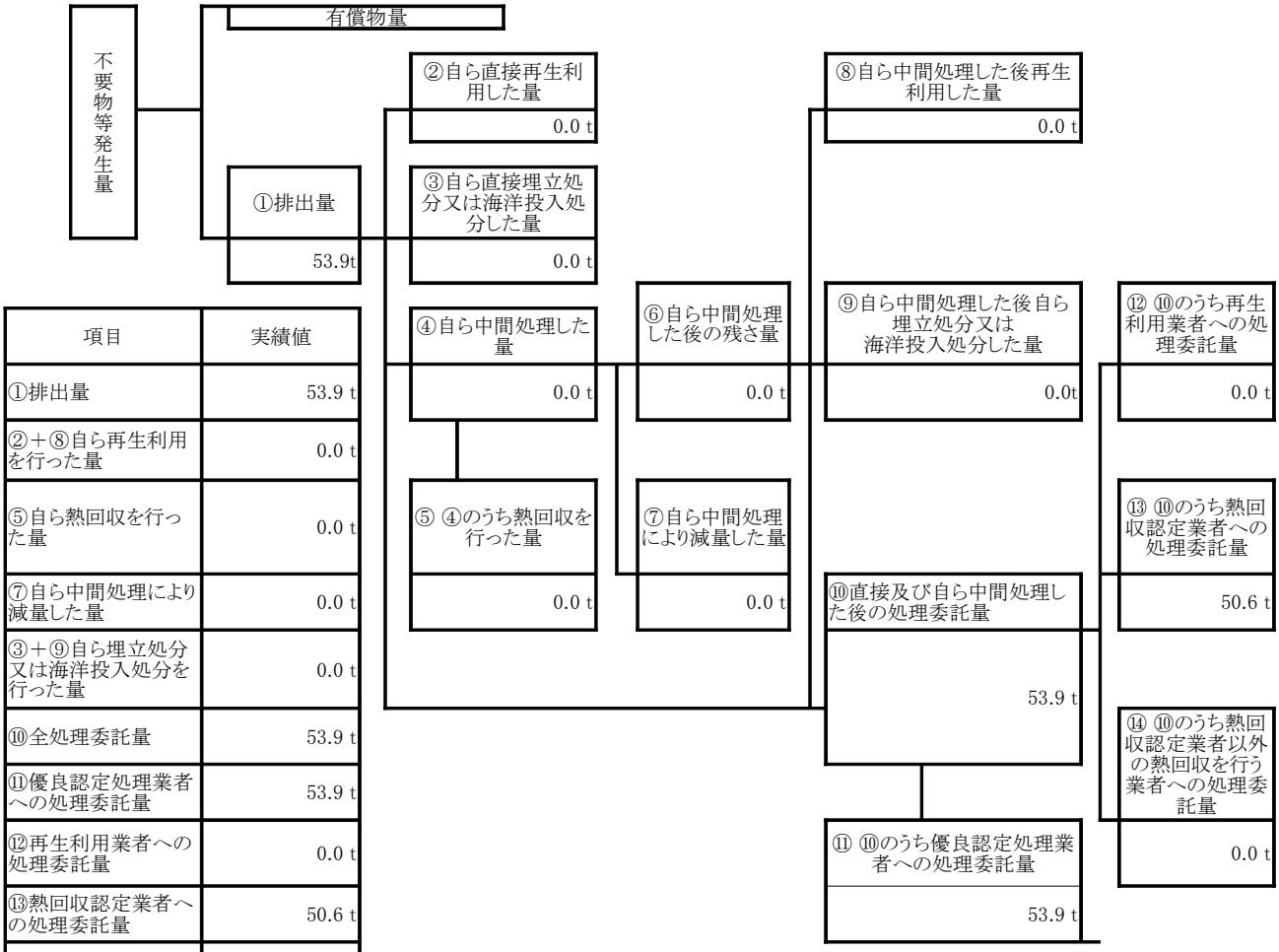


項目	実績値
①排出量	1128.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1128.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1128.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

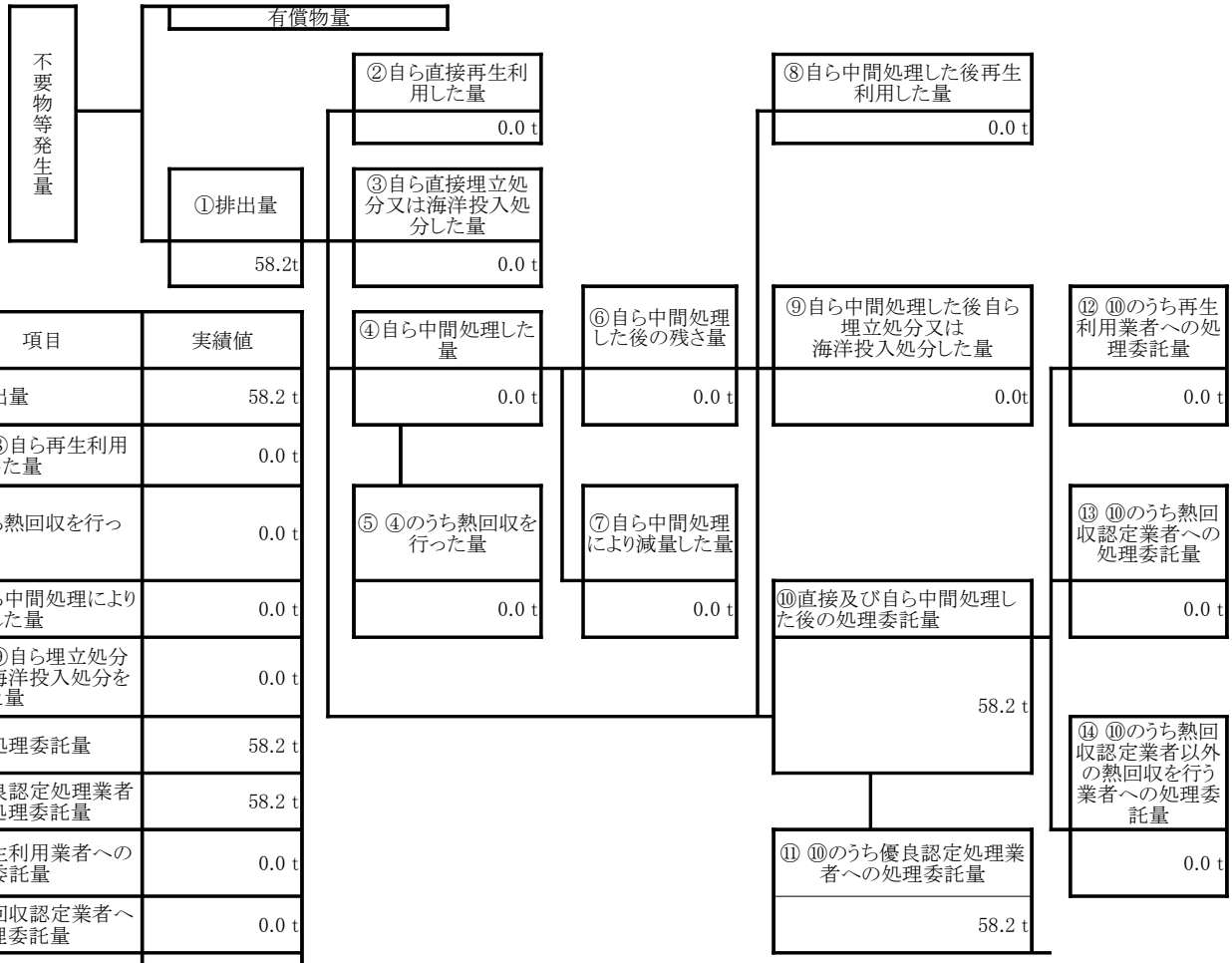


項目	実績値
①排出量	53.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	53.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	53.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	50.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　**廃酸**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

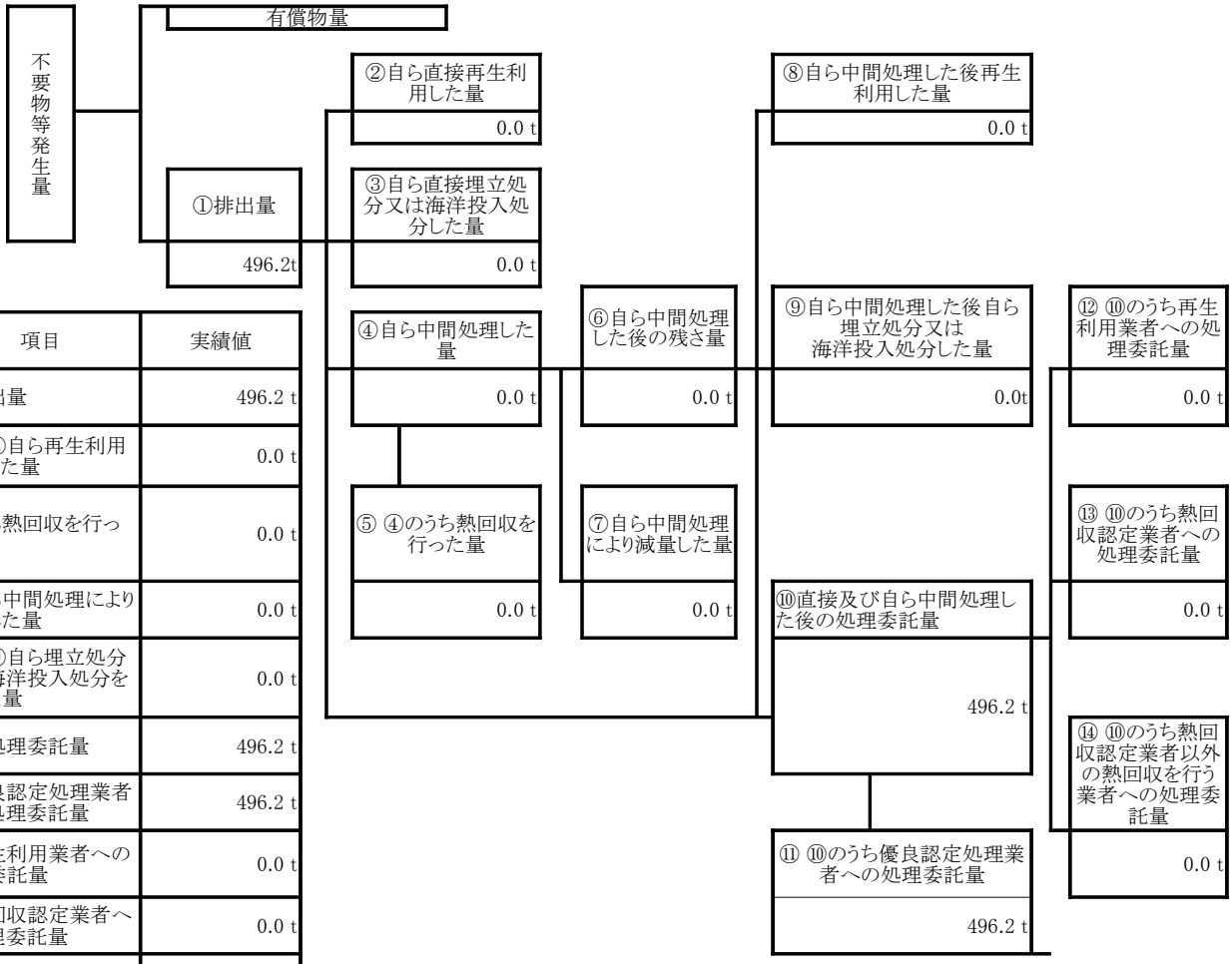


項目	実績値
①排出量	58.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	58.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



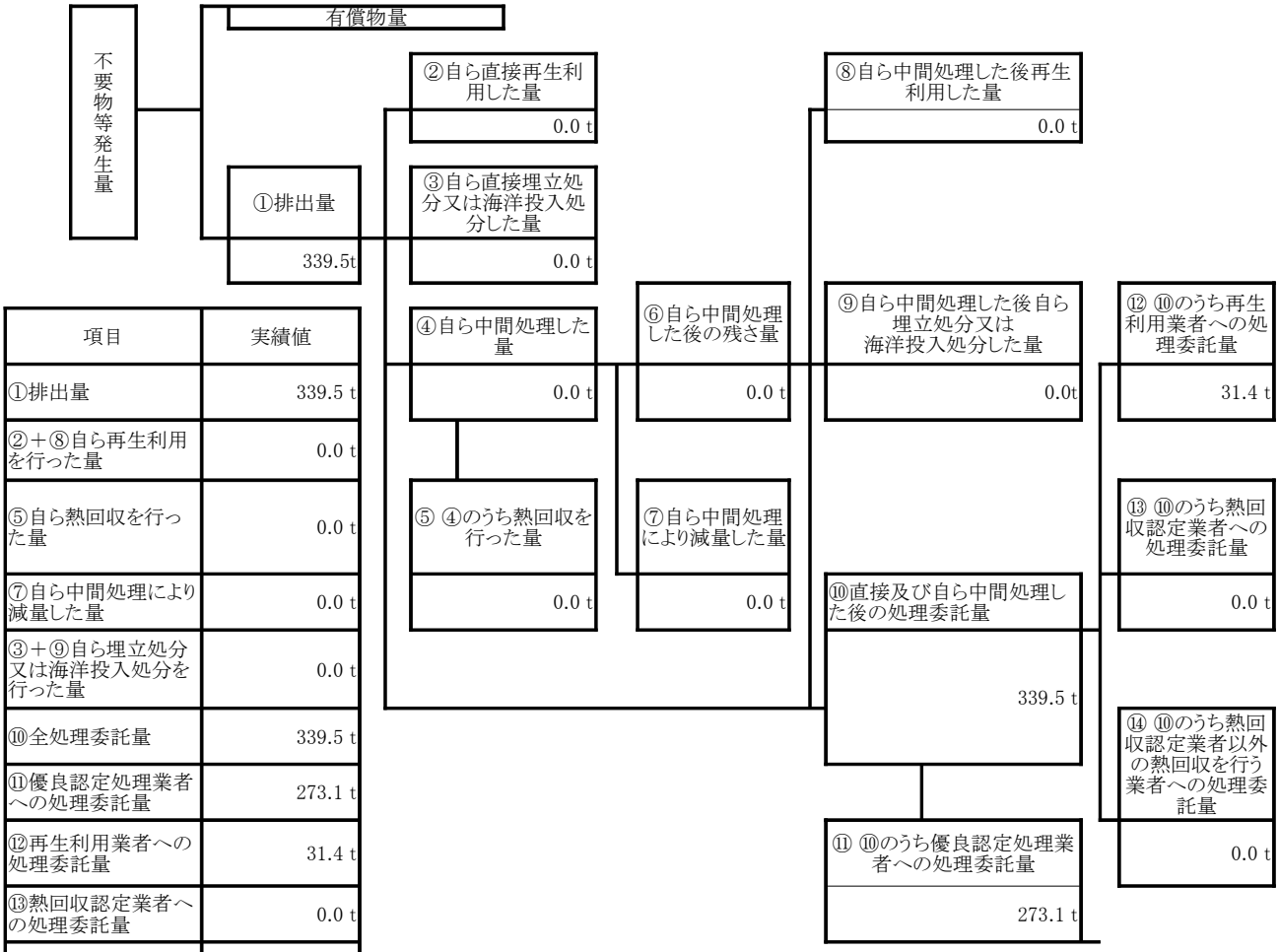
項目	実績値
①排出量	496.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	496.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	496.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

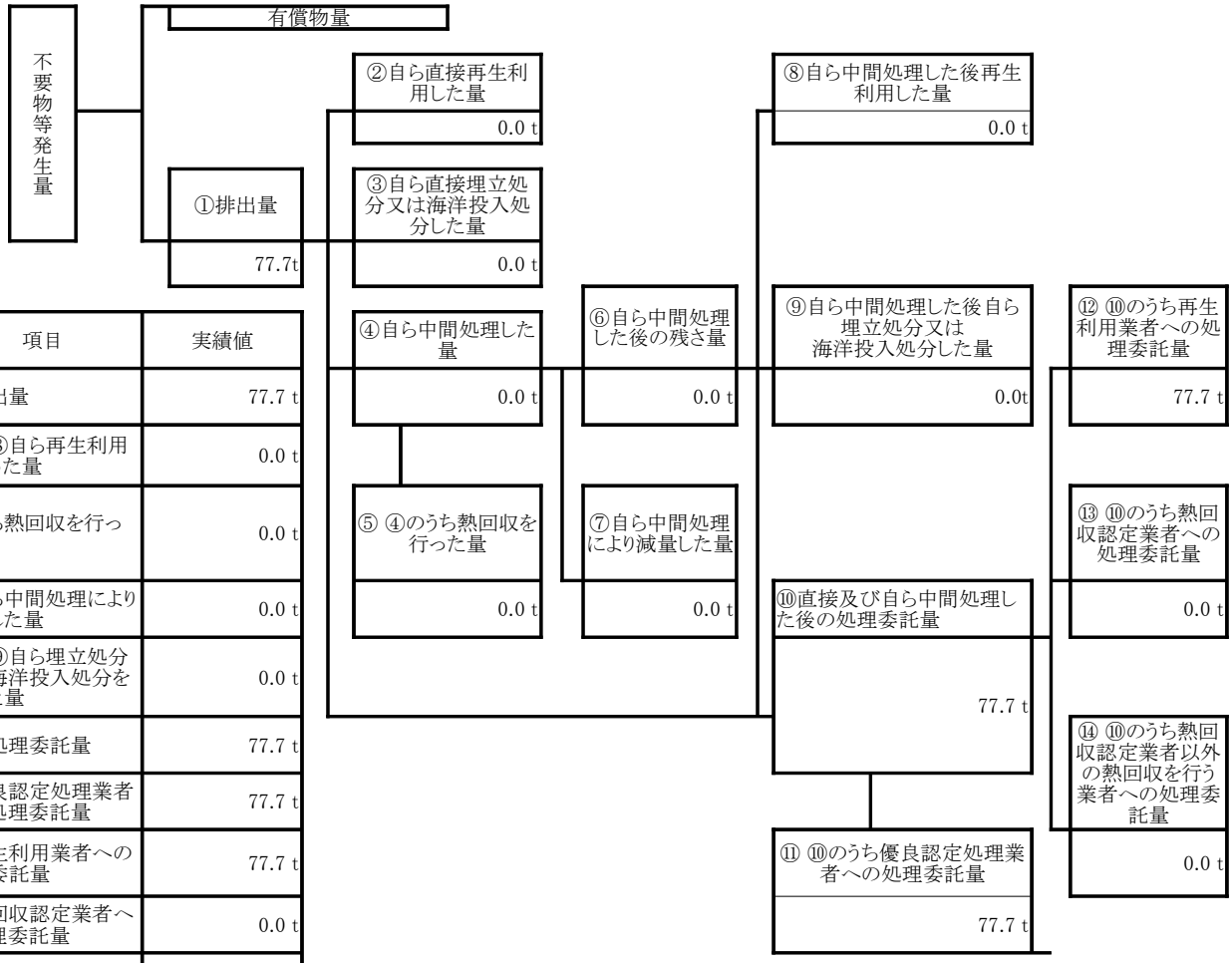


項目	実績値
①排出量	339.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	339.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	273.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	31.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

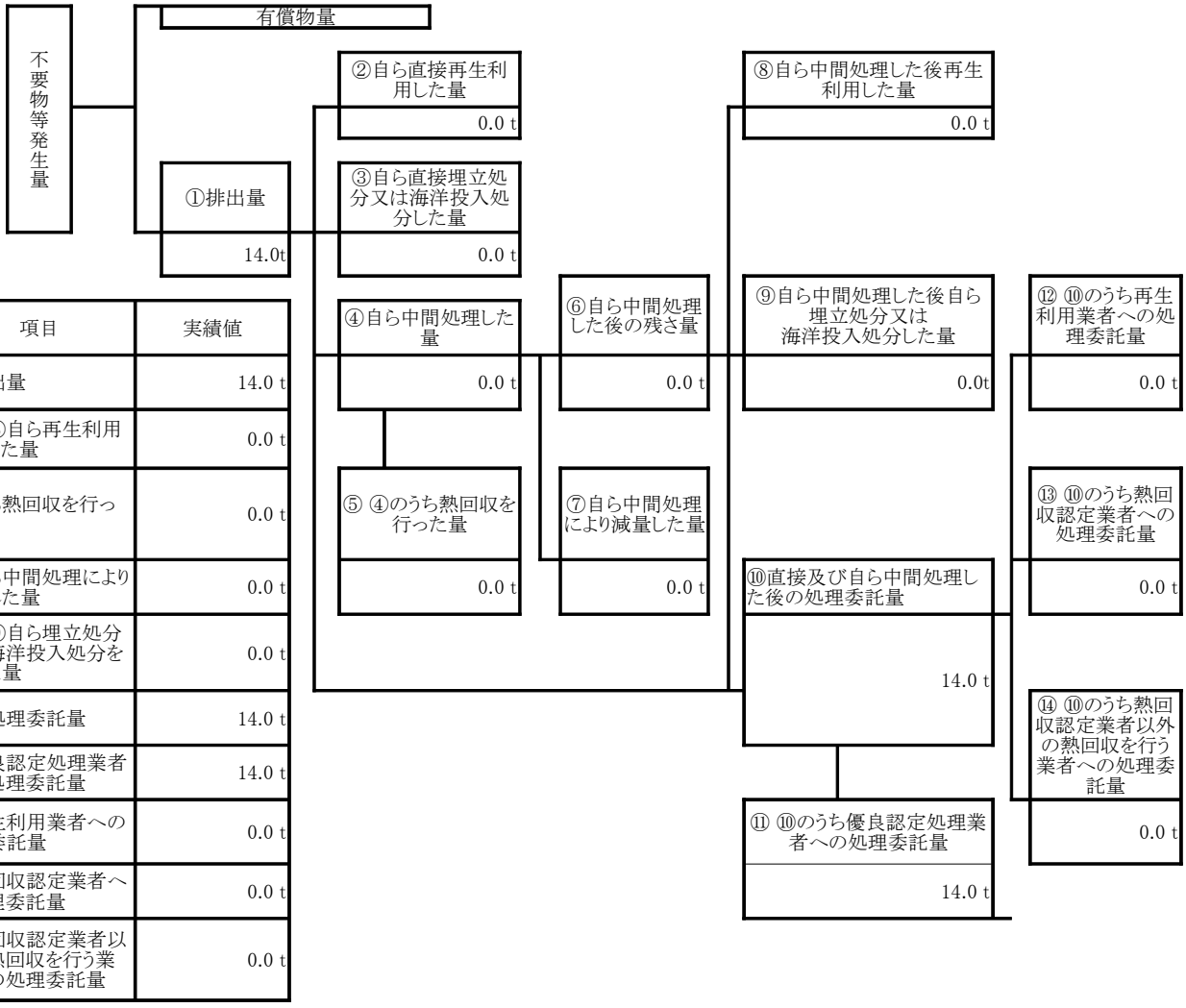


項目	実績値
①排出量	77.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	77.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	77.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	77.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

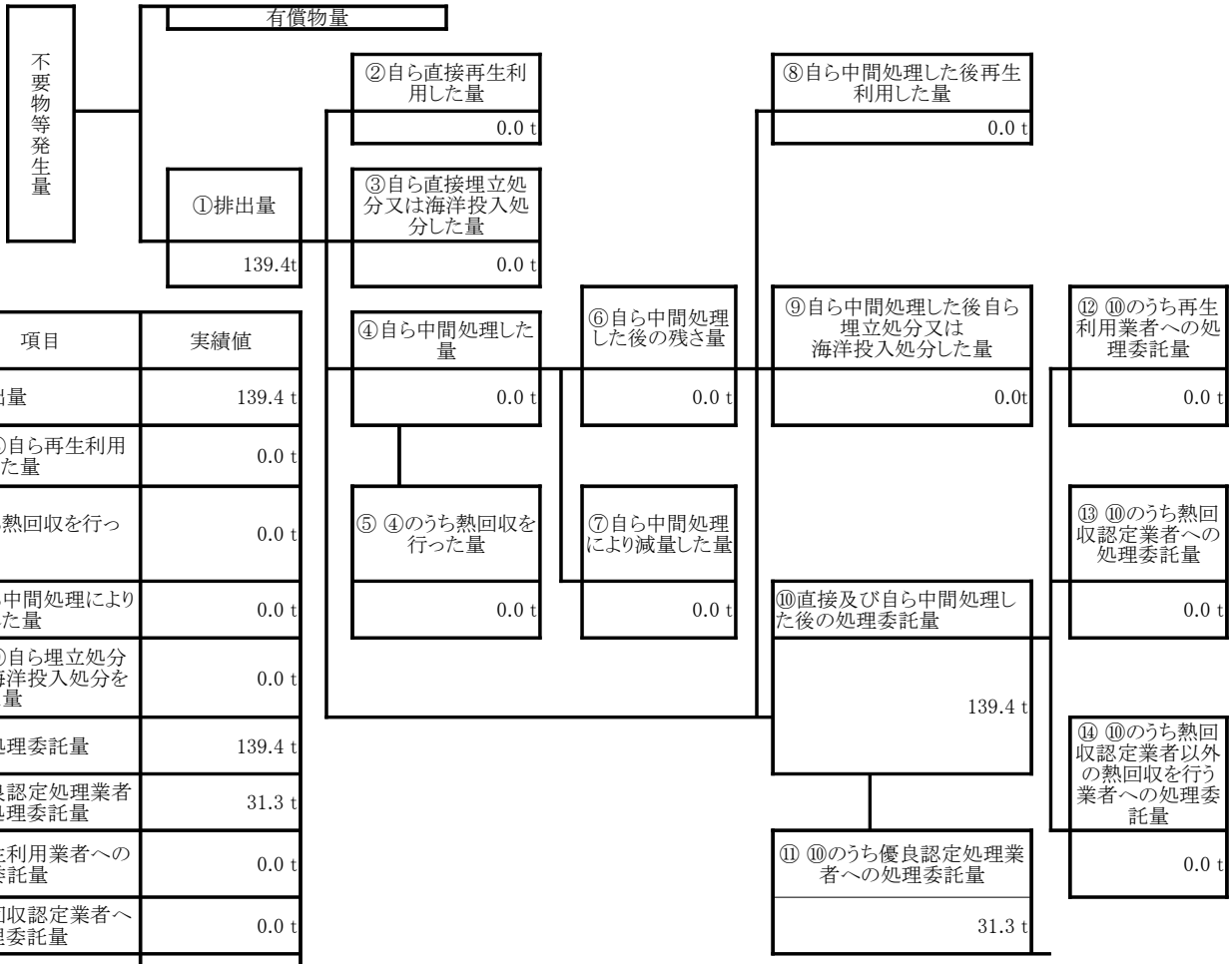


項目	実績値
①排出量	14.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**スくず、コンクリートくず、陶磁器**）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

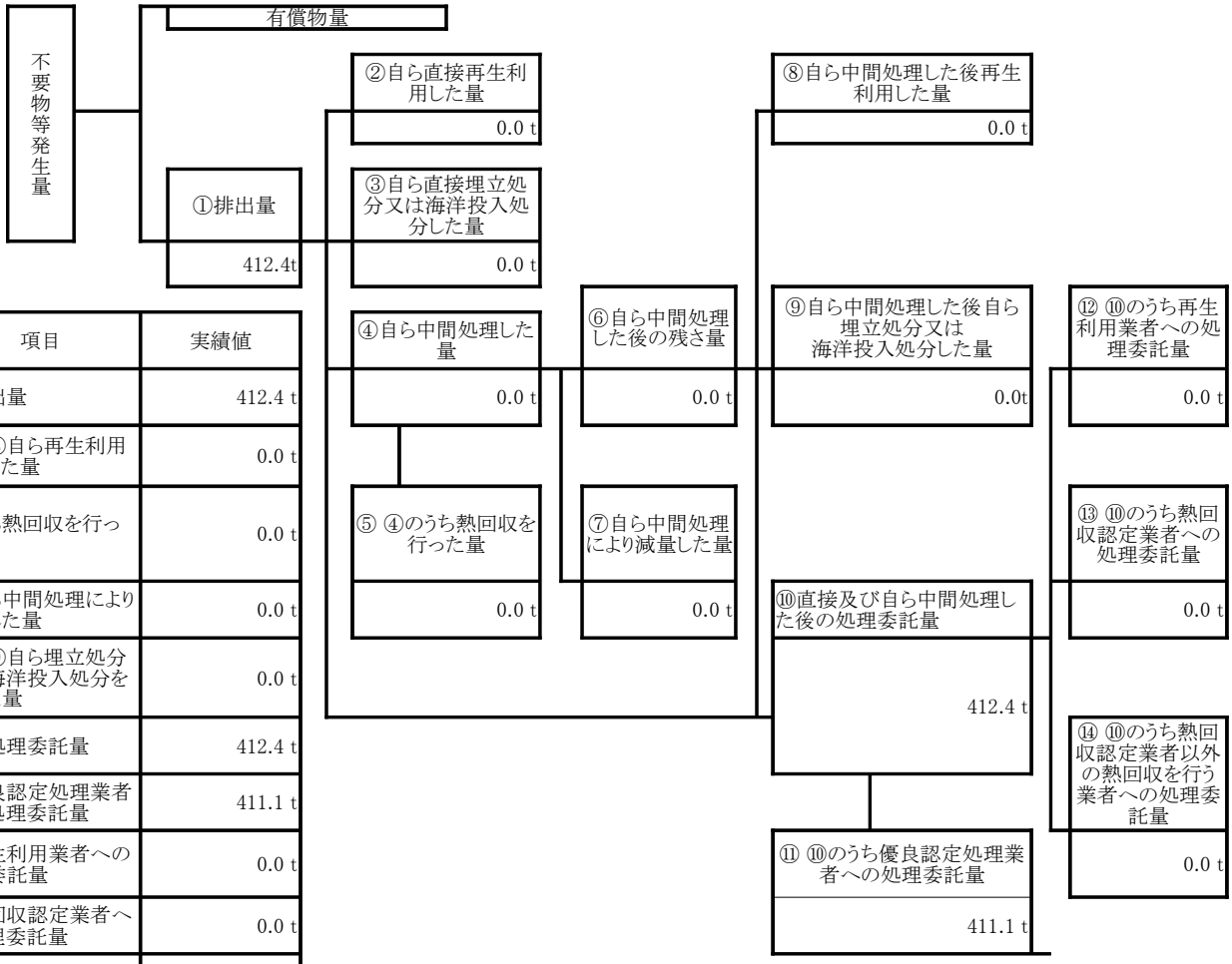


項目	実績値
①排出量	139.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	139.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃電気機械器具**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

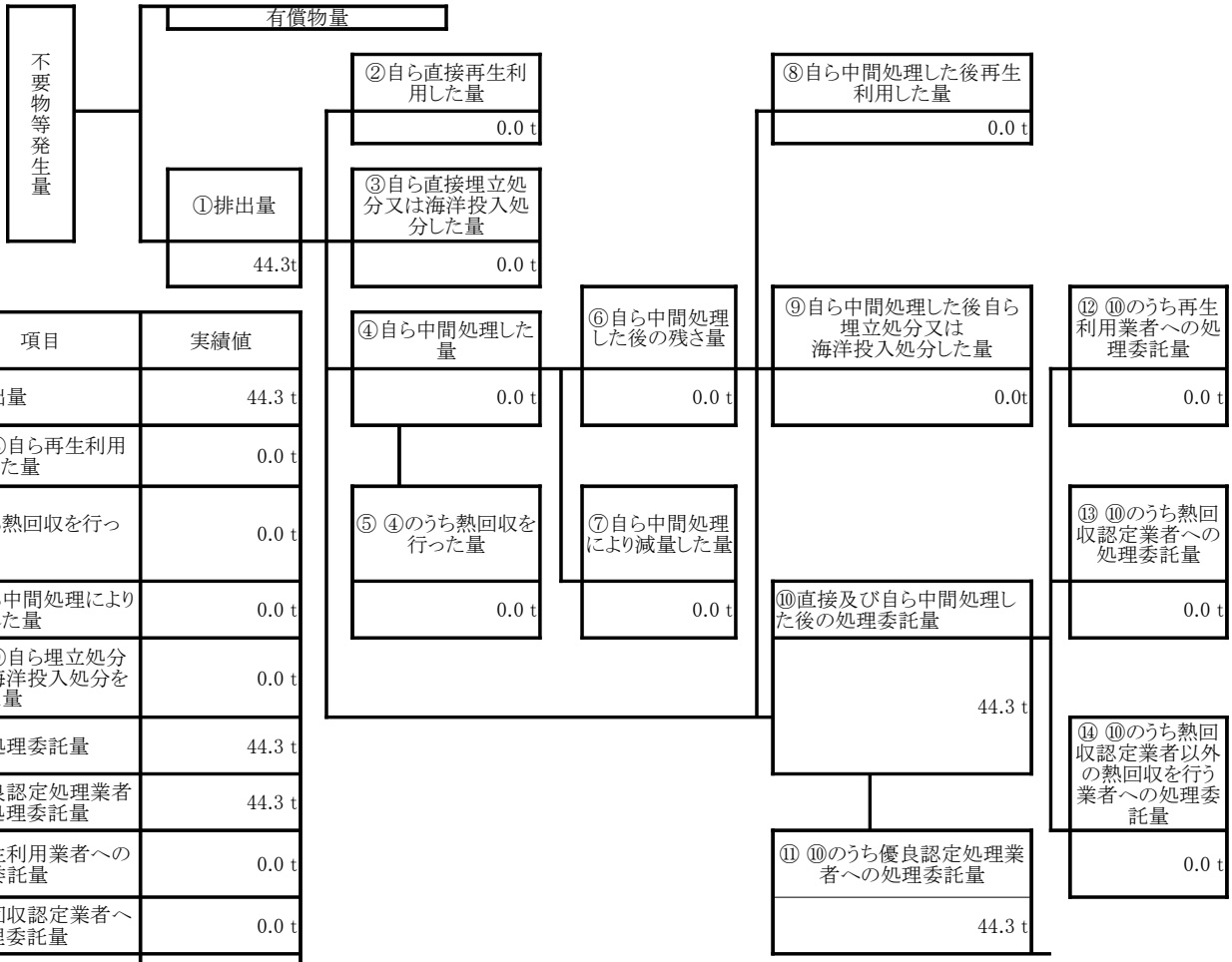


項目	実績値
①排出量	412.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	412.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	411.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他混合廃棄物等**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

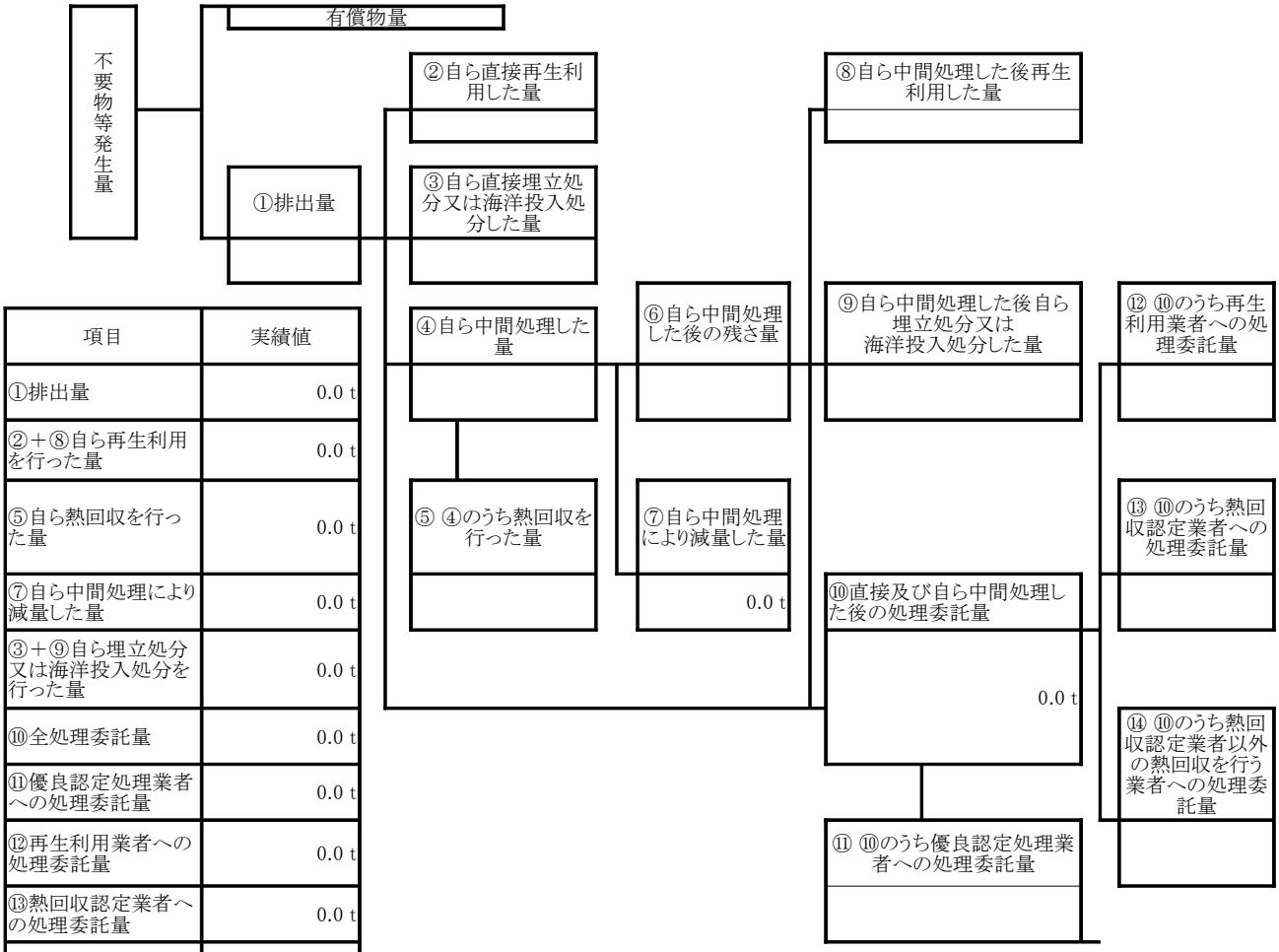


項目	実績値
①排出量	44.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	44.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



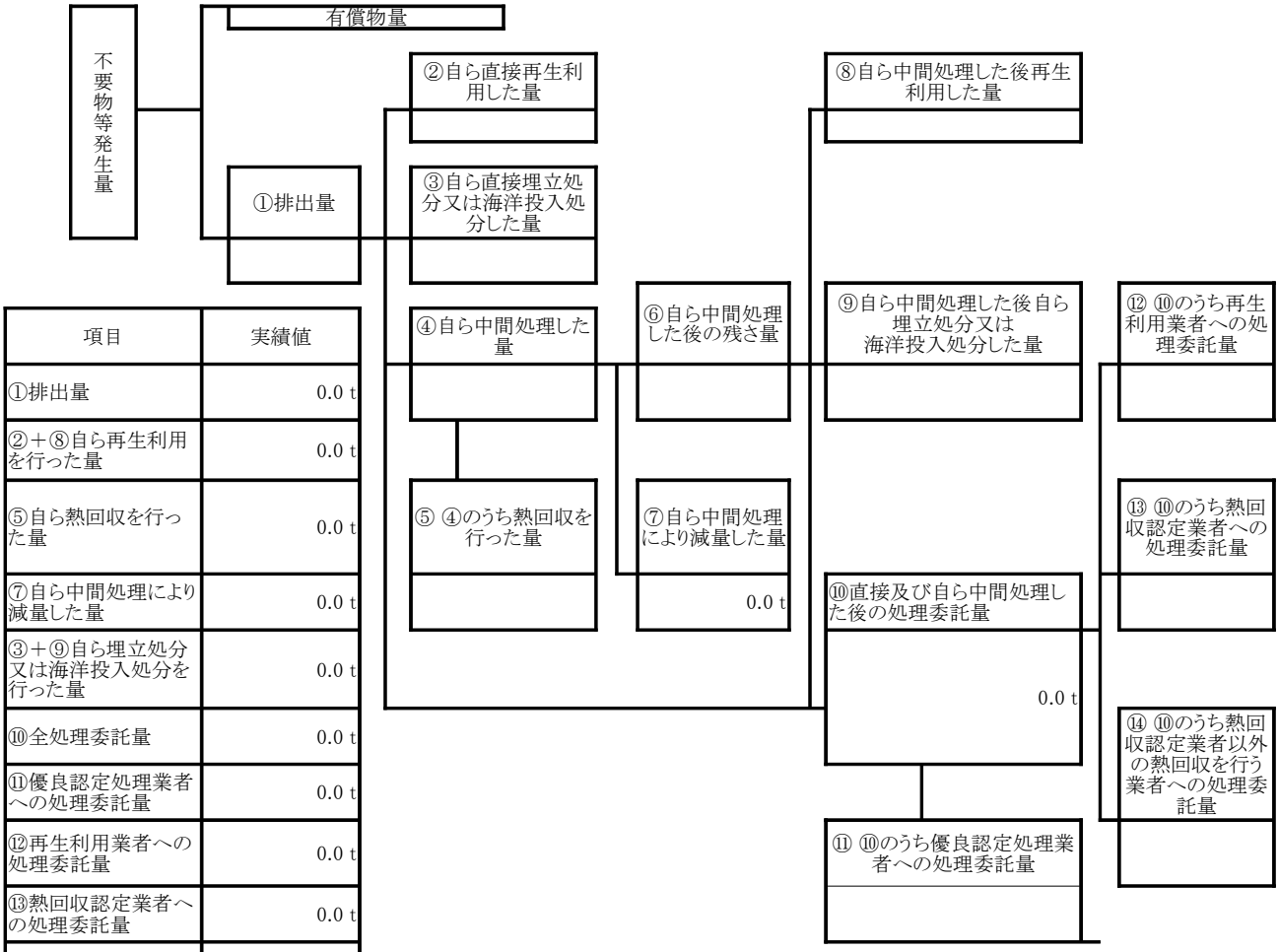
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



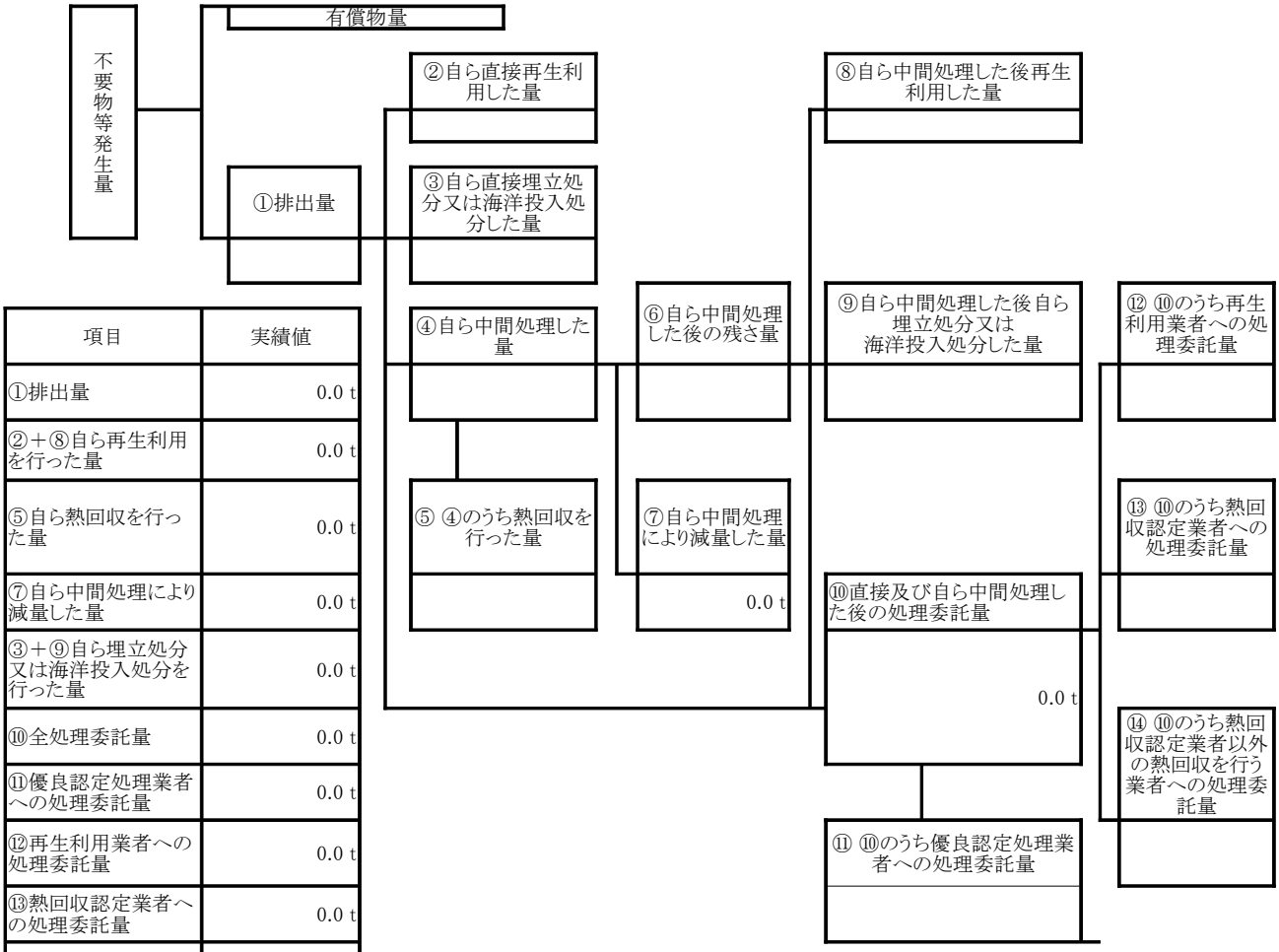
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

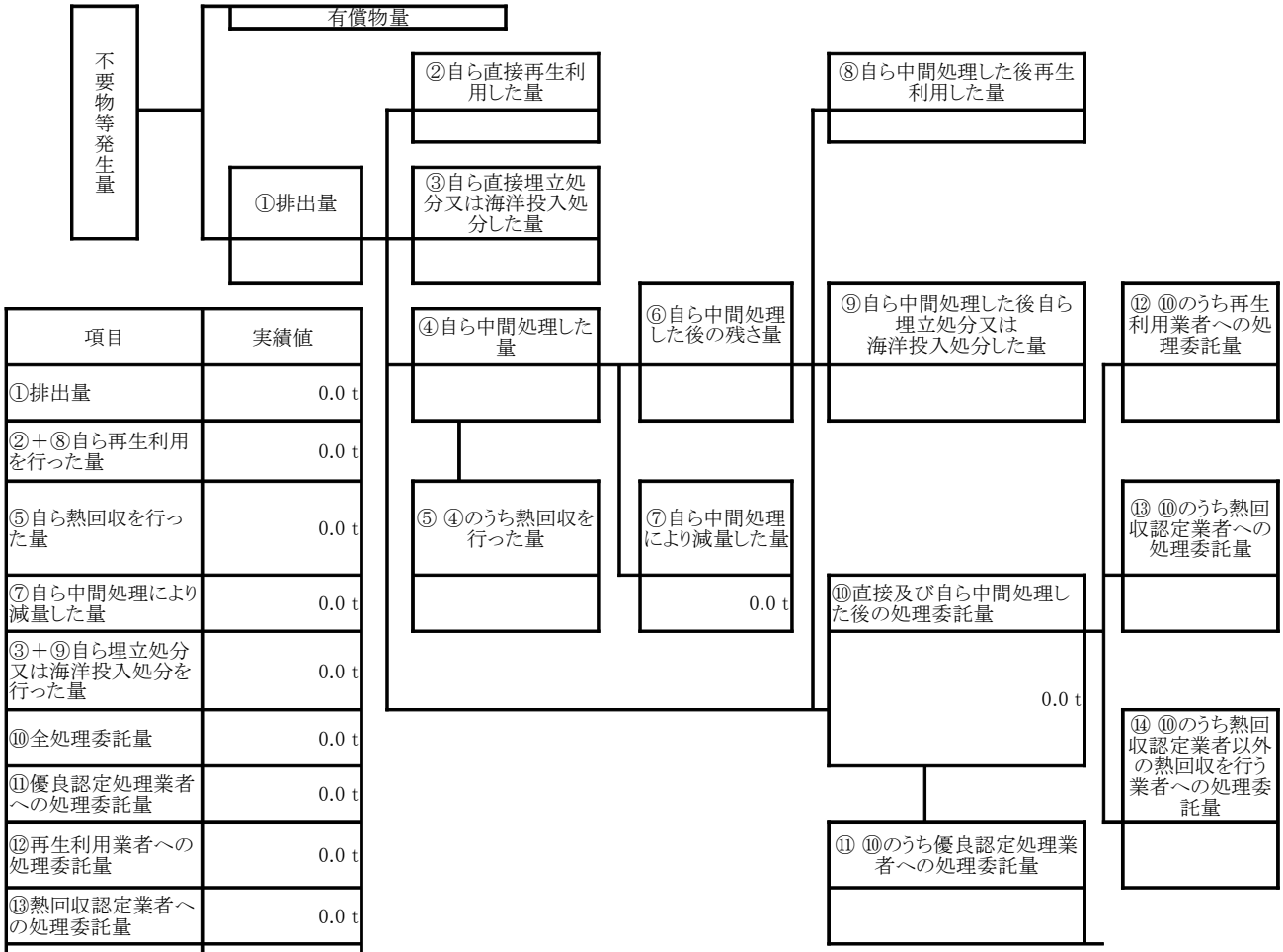


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



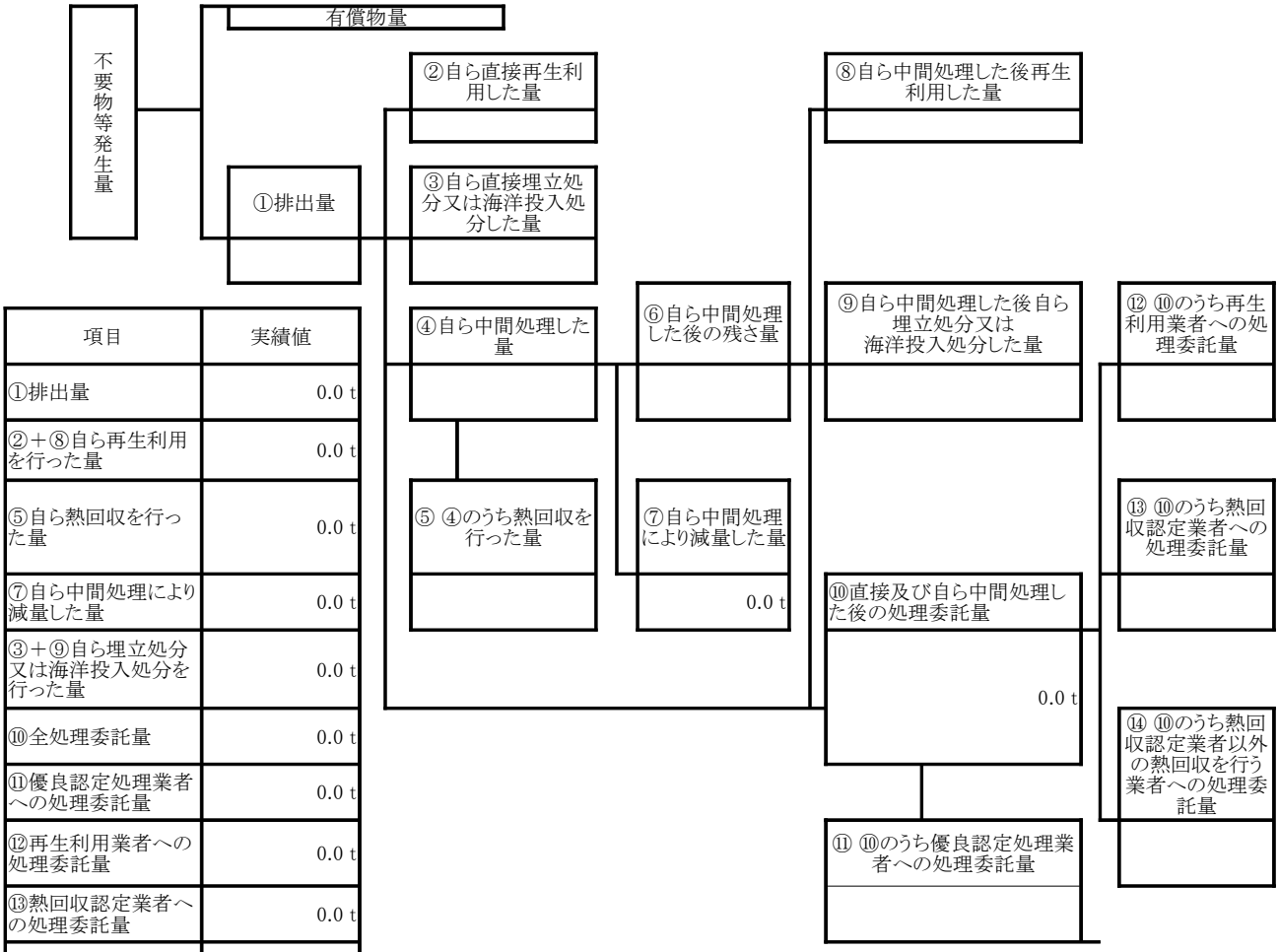
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

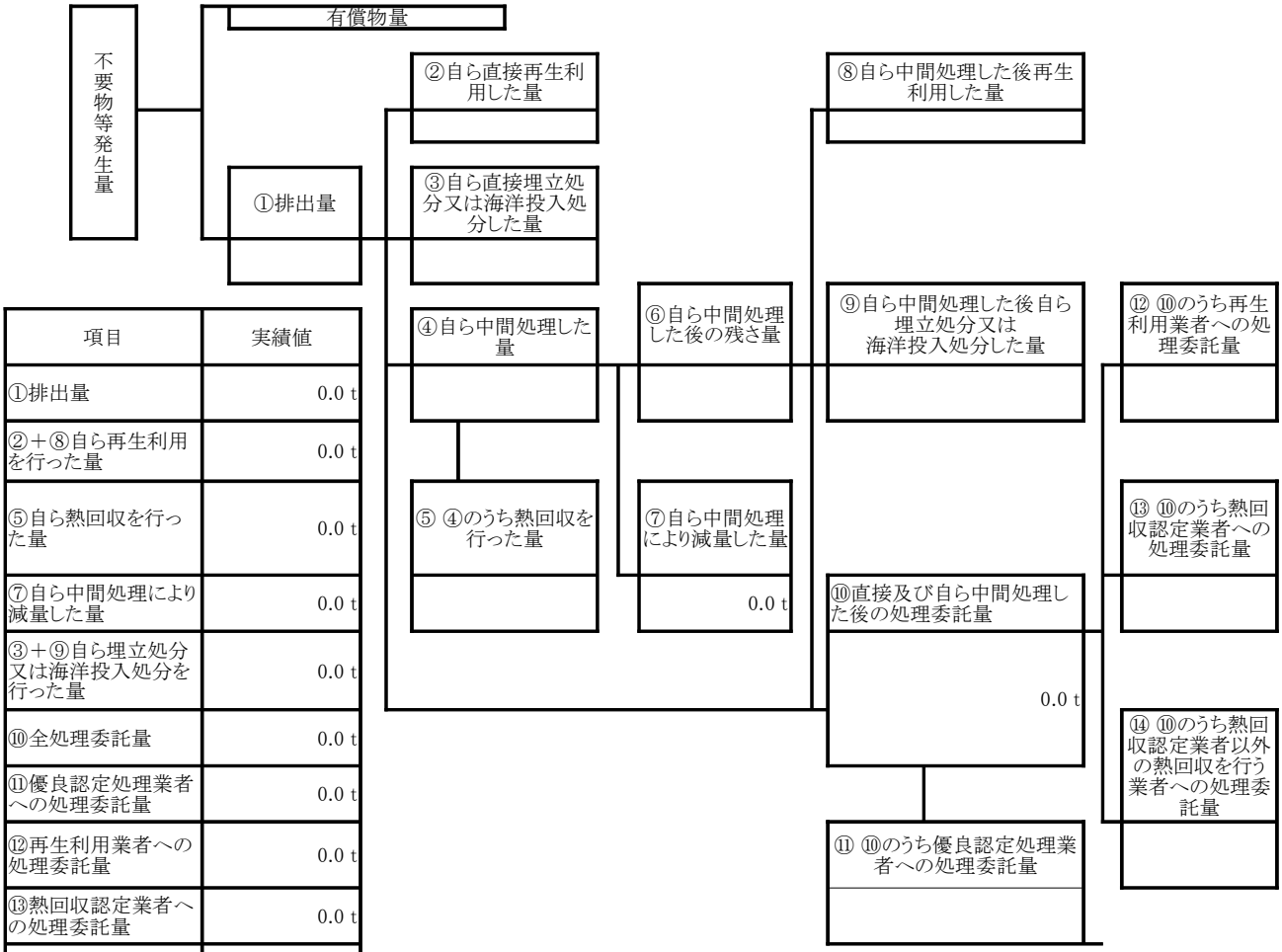


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

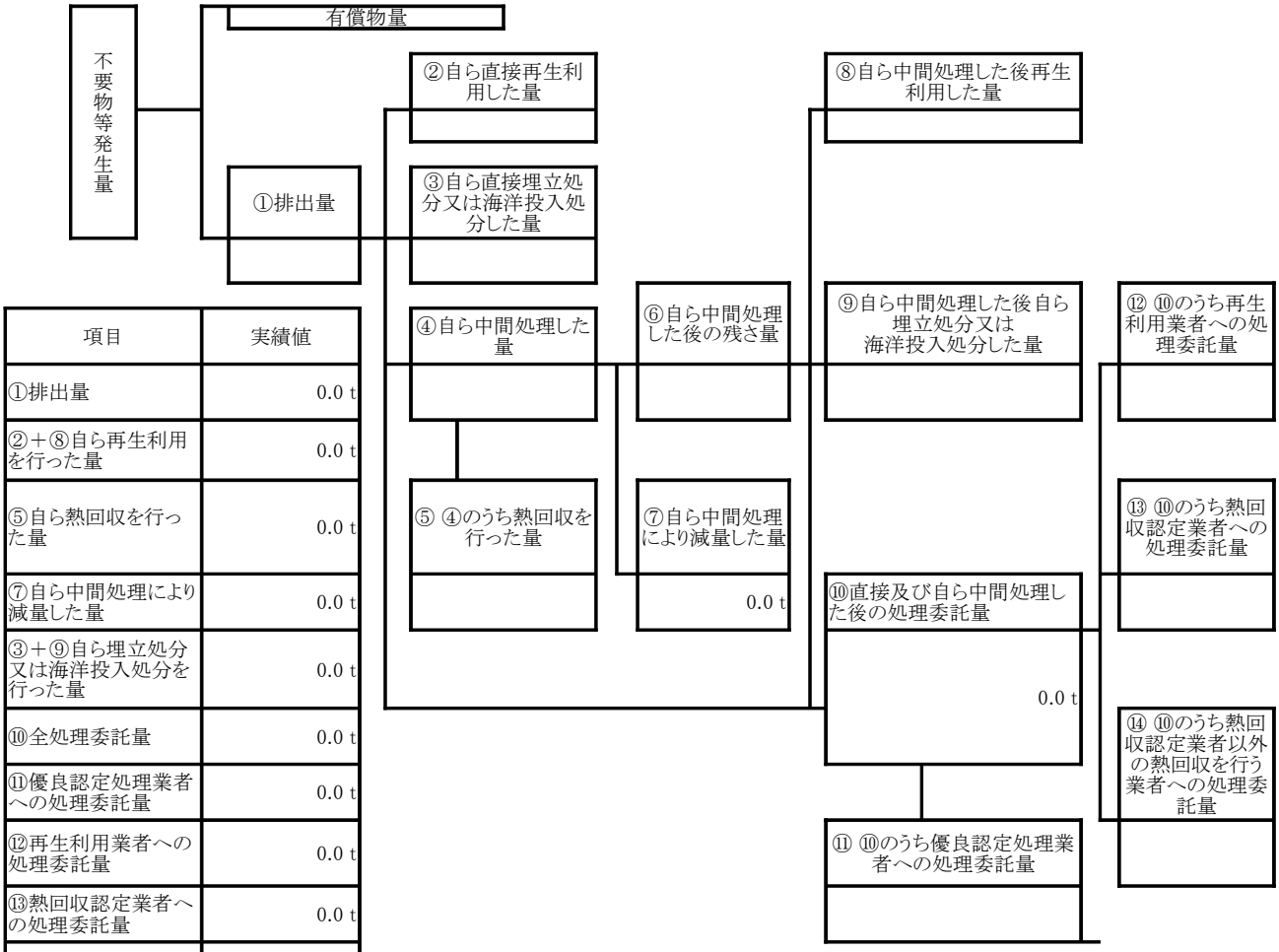


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



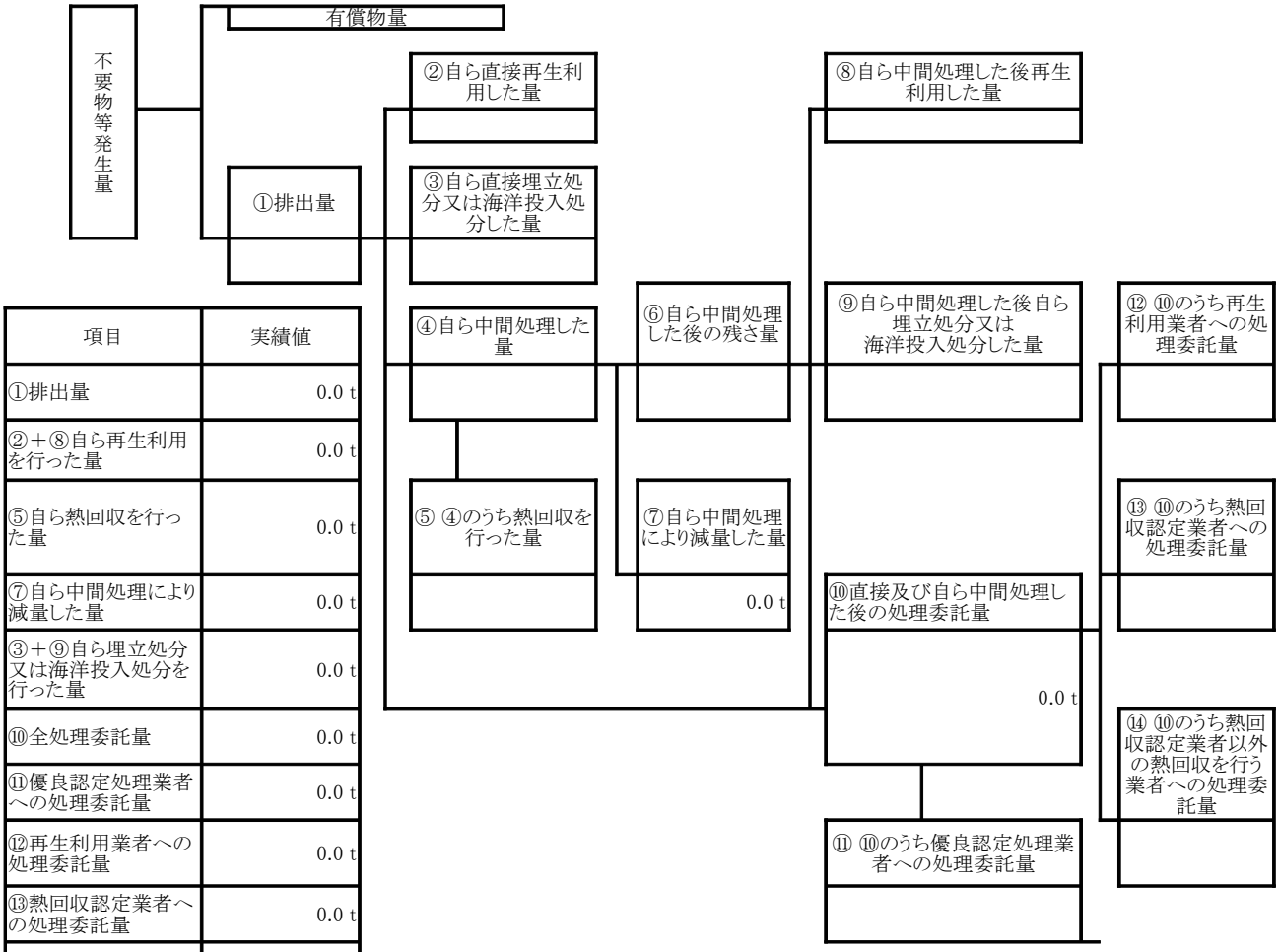
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

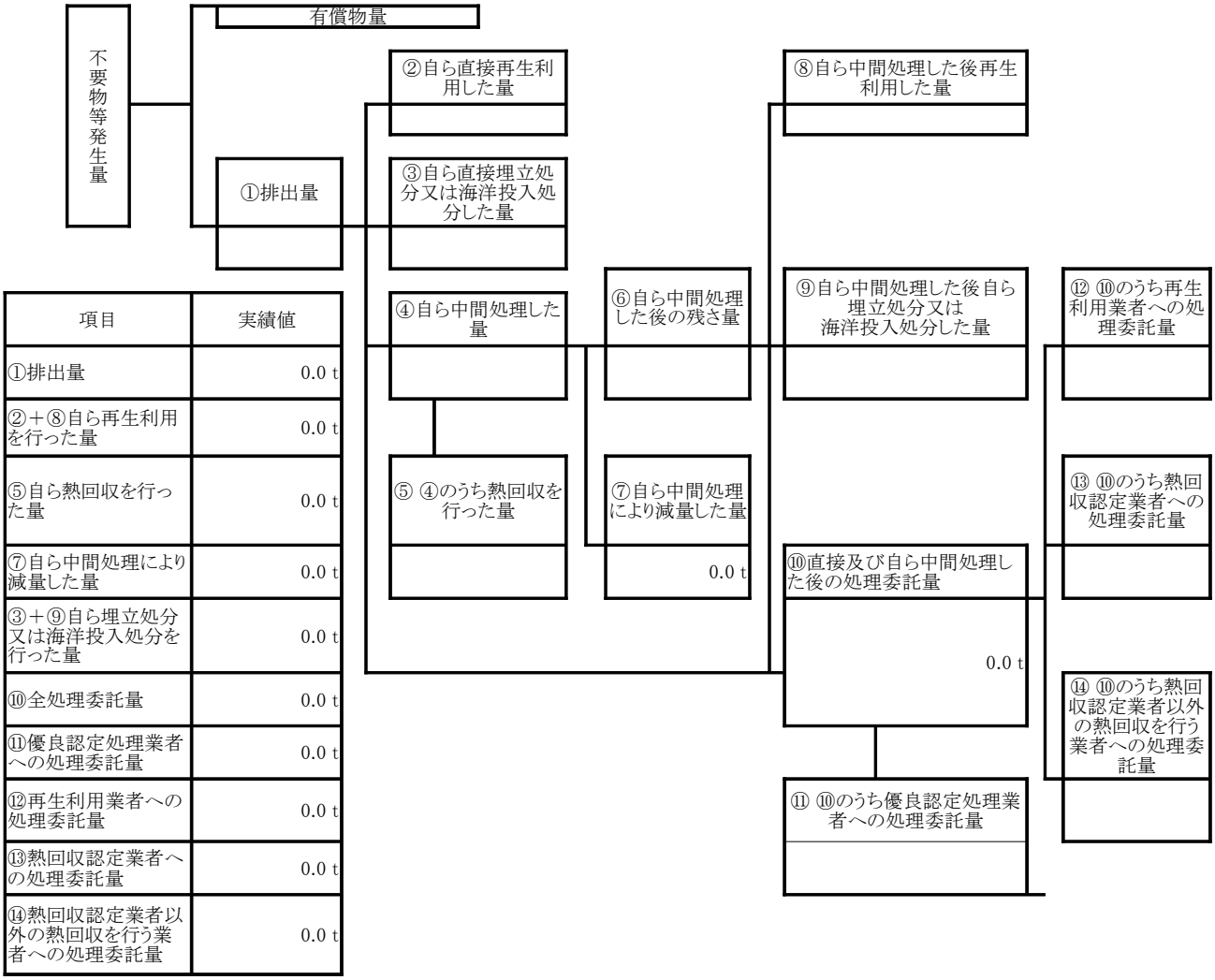


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

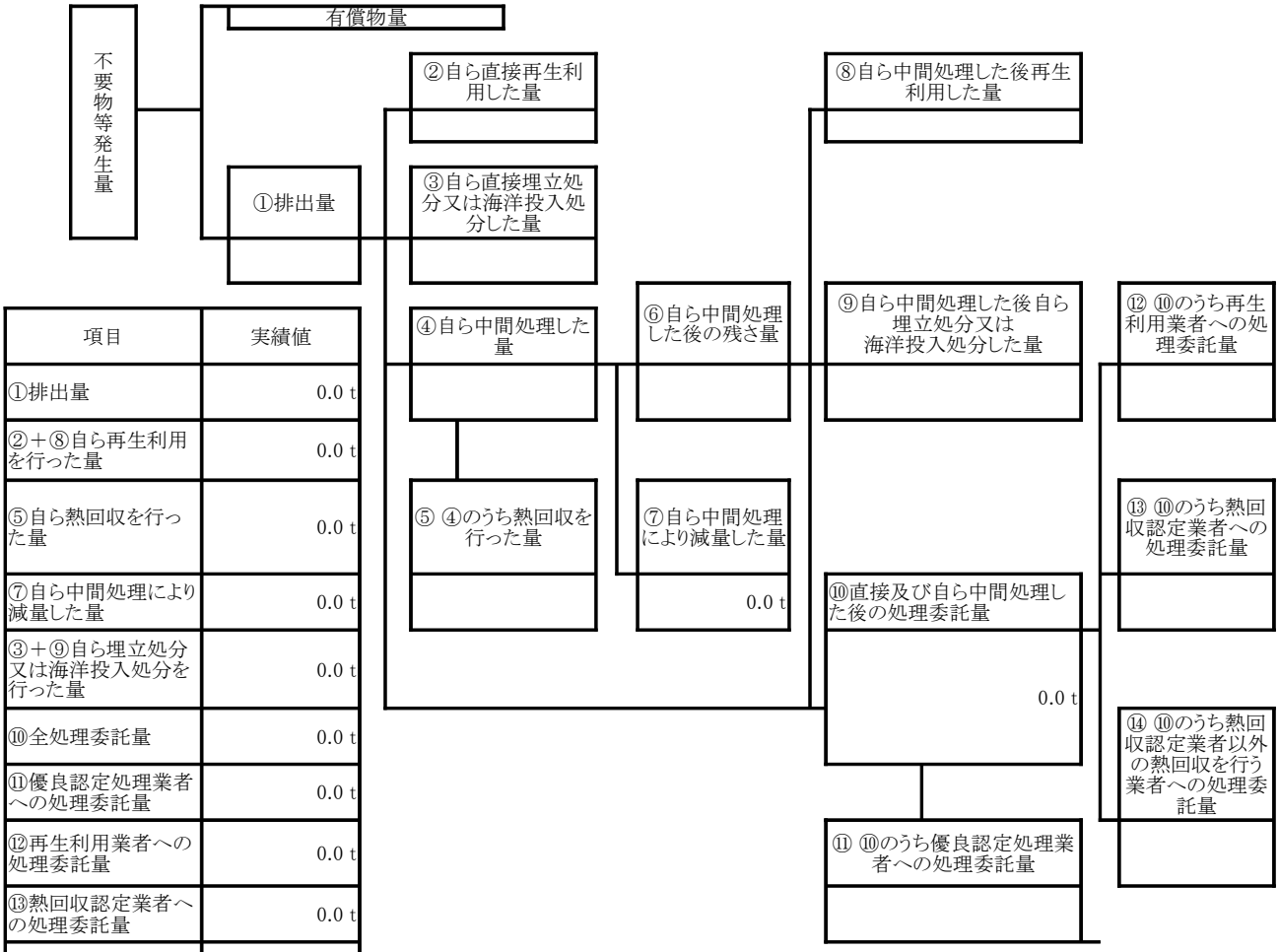


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月5日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　285-8550

住　所　佐倉市六崎1440

法人名　株式会社フジクラ　佐倉事業所

代表者　山中　正義

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-484-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社フジクラ　佐倉事業所
事業場の所在地	千葉県佐倉市六崎１４４０
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　非鉄金属製造業
②事業の規模	製造品出荷額：235億円
③従業員数	1478人（正社員　1379人　常勤関係社員　99人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃油（引火性）　→　油水分離　→　再生利用 廃酸（強酸）　→　中和・脱水　→　再生利用 廃アルカリ（強アルカリ）　→　中和・脱水　→再生利用 感染性廃棄物　→　焼却　→再生利用 特定有害産業廃棄物　→　焼却　→再生利用

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）
排出量	5.9 t	402 t

（これまでに実施した取組）
発生工程見直しによる廃棄物量の削減をおこなう

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）
排出量	6 t	380 t

（今後実施する予定の取組）
昨年度の活動を継続する

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃棄物の内容に合わせて適切な容器で保管をしている

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
継続して分別保管をおこなう

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃油（引火性）	廃酸（強酸）
全処理委託量		5.9ｔ	402ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	5.9ｔ	402ｔ
	再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

優良認定処理業者への委託先変更をおこなう

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃酸（強酸）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>6 t</td><td>380 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>6 t</td><td>380 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
継続して、優良認定処理業者への委託先変更をおこなう</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 439.6 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
電子マニフェスト導入済</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

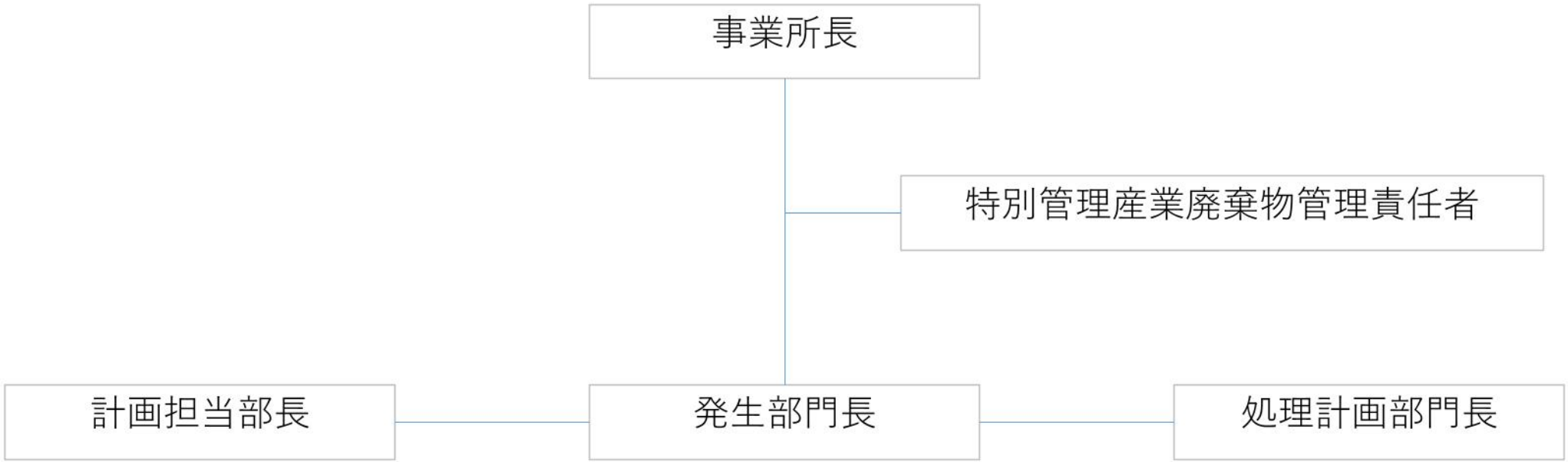
５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状	【前年度（令和５年度）実績】									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物						
	排　出　量	30.5 t	0.017 t	1.2 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物				2024/06/05		
	排　出　量	10 t	0.03 t	1 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
①現状	【前年度（令和５年度）実績】									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物						
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物				6月5日		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状	【前年度（令和５年度）実績】									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物						
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物				6月5日		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項自ら行う特										
①現状①現	【前年度（令和５年度）実績】									
	特別管理産業廃棄物の種類特別管理産業廃棄物の種類特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物						
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

	②計画②計	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類特別管理産業廃棄物の種類特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物				6月5日	
		分を自ら埋立処分を自ら 別管理行う特別管理行う特 産業廃棄物の量産業廃棄物の量産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項特別管理産業廃棄物の処										
	①現状①現	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類特別管理産業廃棄物の種類特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物					
		委託量全処理委託量全処理	30.5 t	0.017 t	1.2 t	t	t	t	t	t
		への優良認定処理業者への優良 処理委託量処理委託量	30.5 t	0.017 t	1.2 t	t	t	t	t	t
		用業者への再生利用業 処理委託量処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		回収業者への認定熱回収業 処理委託量処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		回収業者以外の認定熱回収業者 を行う業者への熱回収を行う業 処理委託量処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画②計	【目標】【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類特別管理産業廃棄物の種類	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物				6月5日	
		全処理委託量全処理委託量	10 t	0.03 t	1 t	t	t	t	t	t
		定処理業者への優良認定処理業 処理委託量処理委託量	10 t	0.03 t	1 t	t	t	t	t	t
		用業者への再生利用業 処理委託量処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		回収業者への認定熱回収業 処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月3日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　285-8550

住所 佐倉市六崎1440

法人名 株式会社フジクラ 佐倉事業所

代表者 山中 正義

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-484-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社フジクラ 佐倉事業所
事業場の所在地	千葉県佐倉市六崎1440
事業の種類	大分類　製造業　中分類 非鉄金属製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	364.5 t	全処理委託量	364.5 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	364.5 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	364.5 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	371.1 t
	前年度（令和5年度）	439.6 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

電子マニフェスト導入済

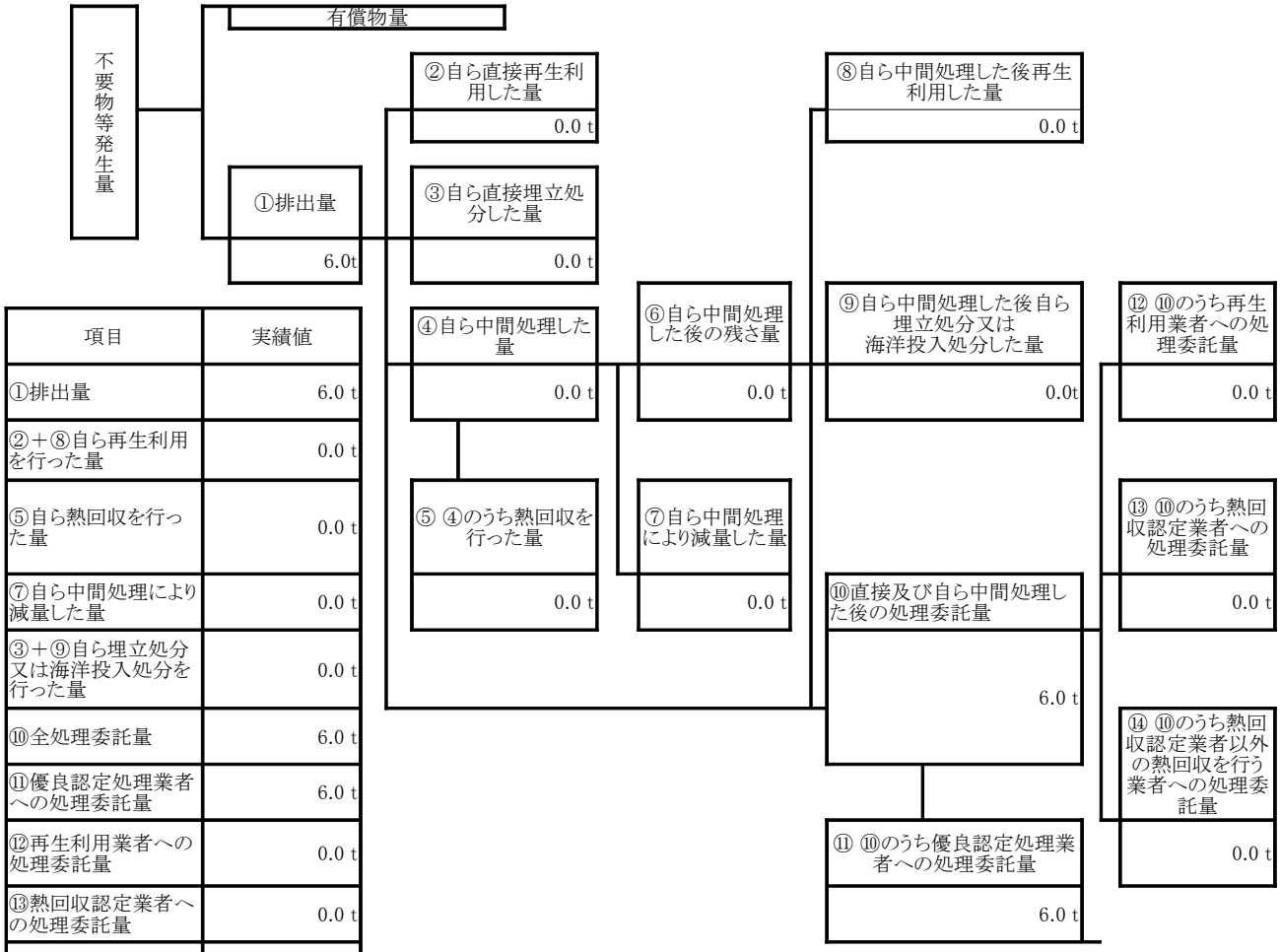
（日本産業規格　A列4番）

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

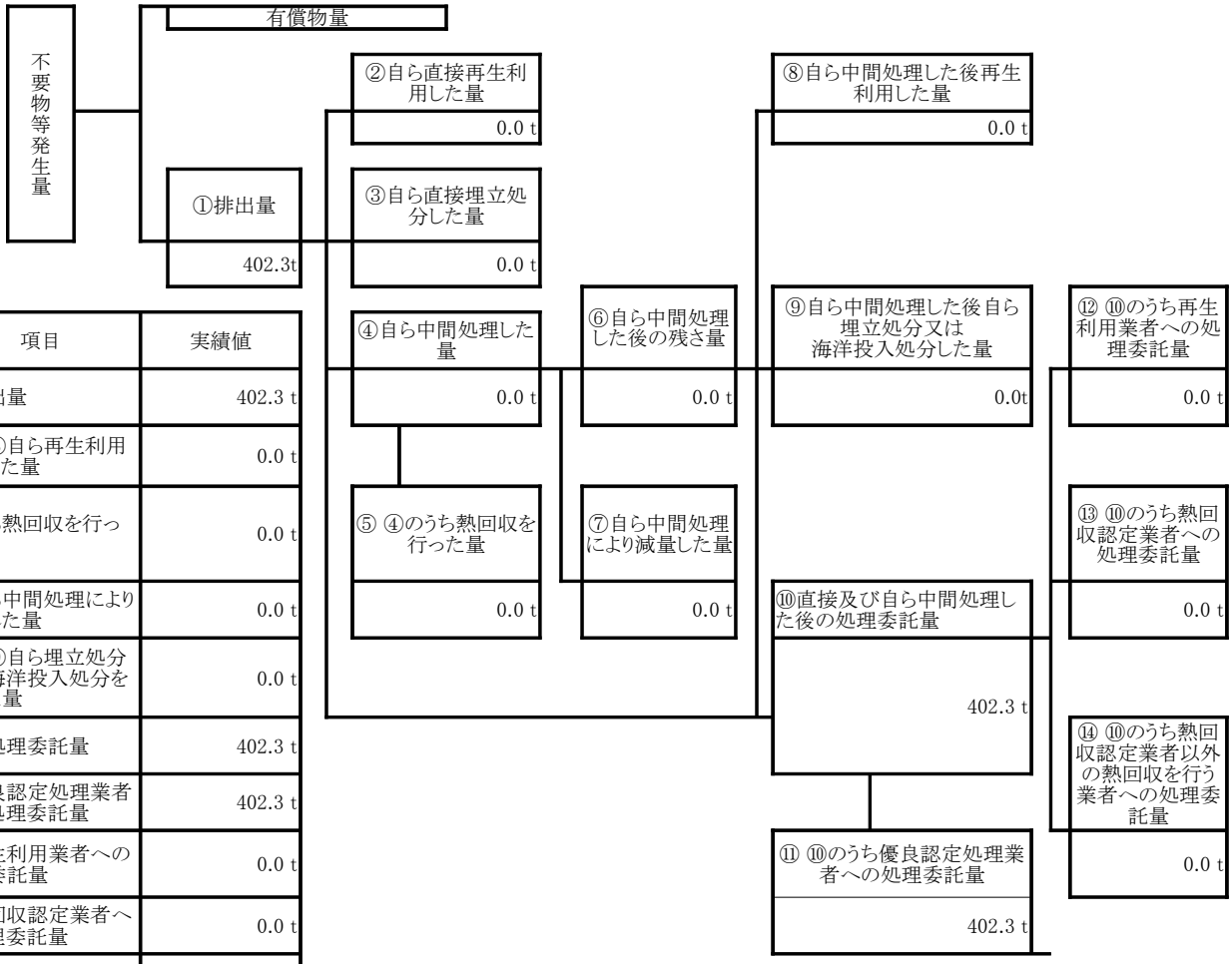
（特別管理産業廃棄物の種類:　廃油（引火性）　）



項目	実績値
①排出量	6.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃酸(強酸)**　）



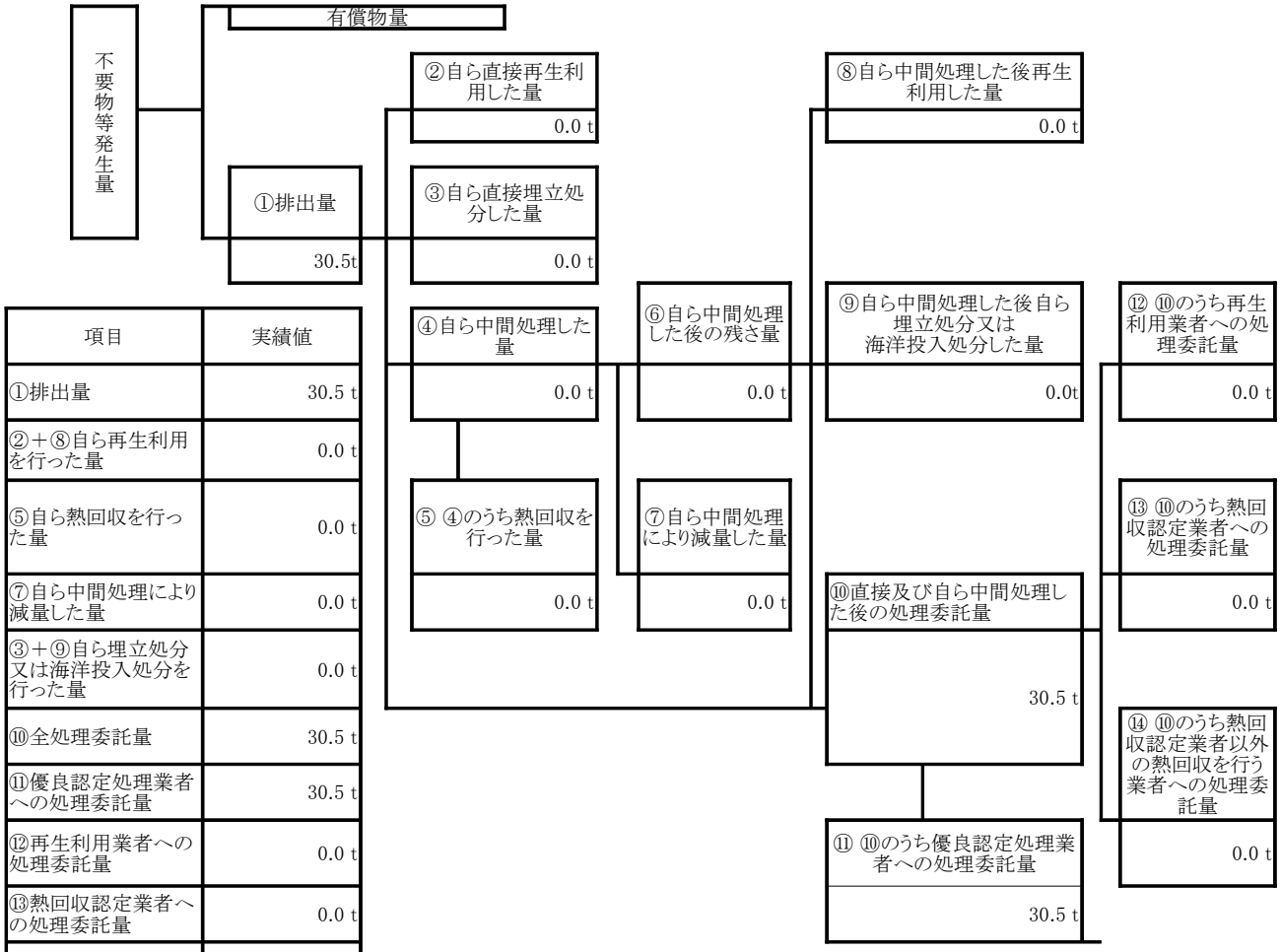
項目	実績値
①排出量	402.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	402.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	402.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃アルカリ(強アルカリ)**　）



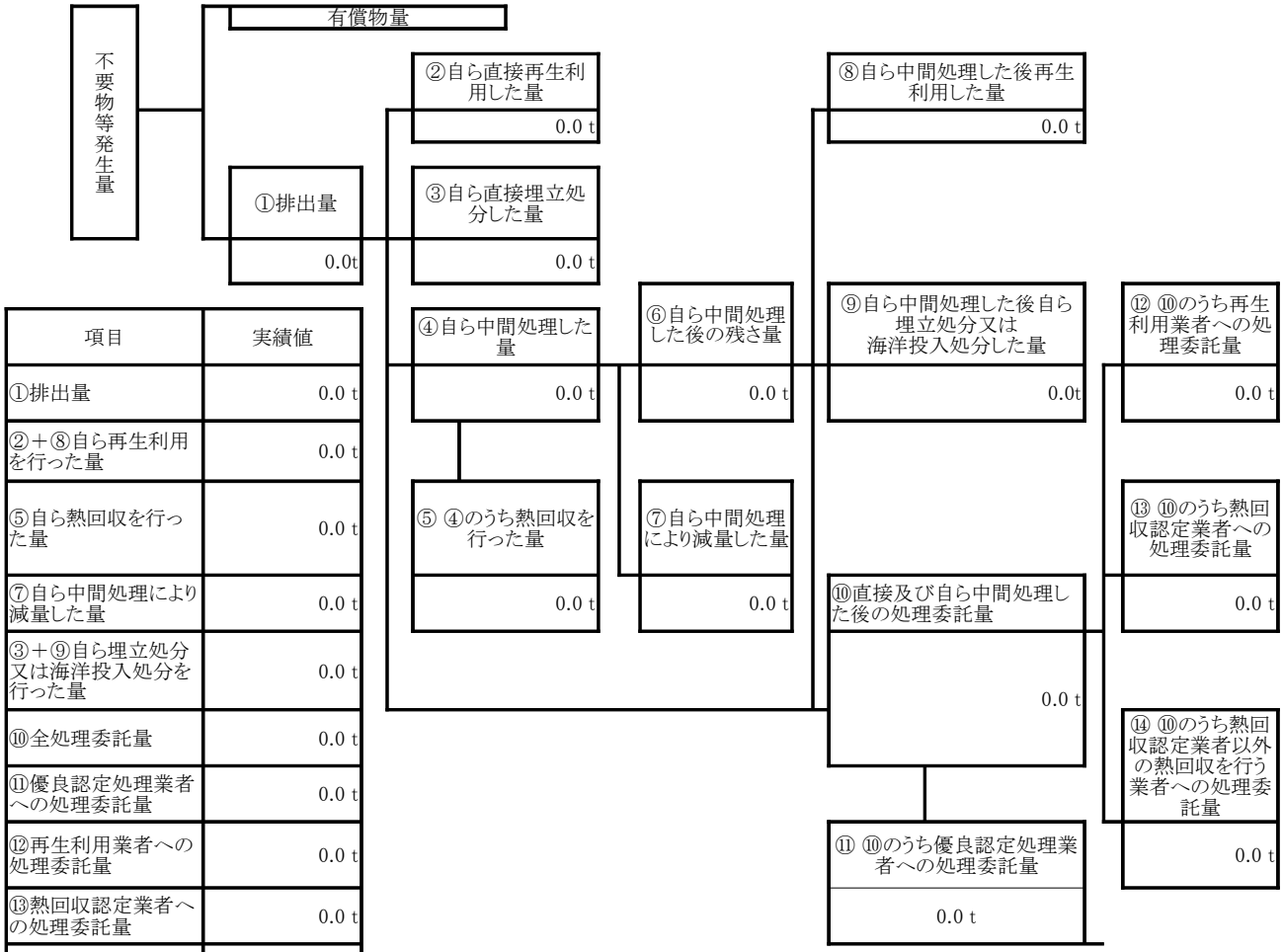
項目	実績値
①排出量	30.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　**感染性廃棄物**　）



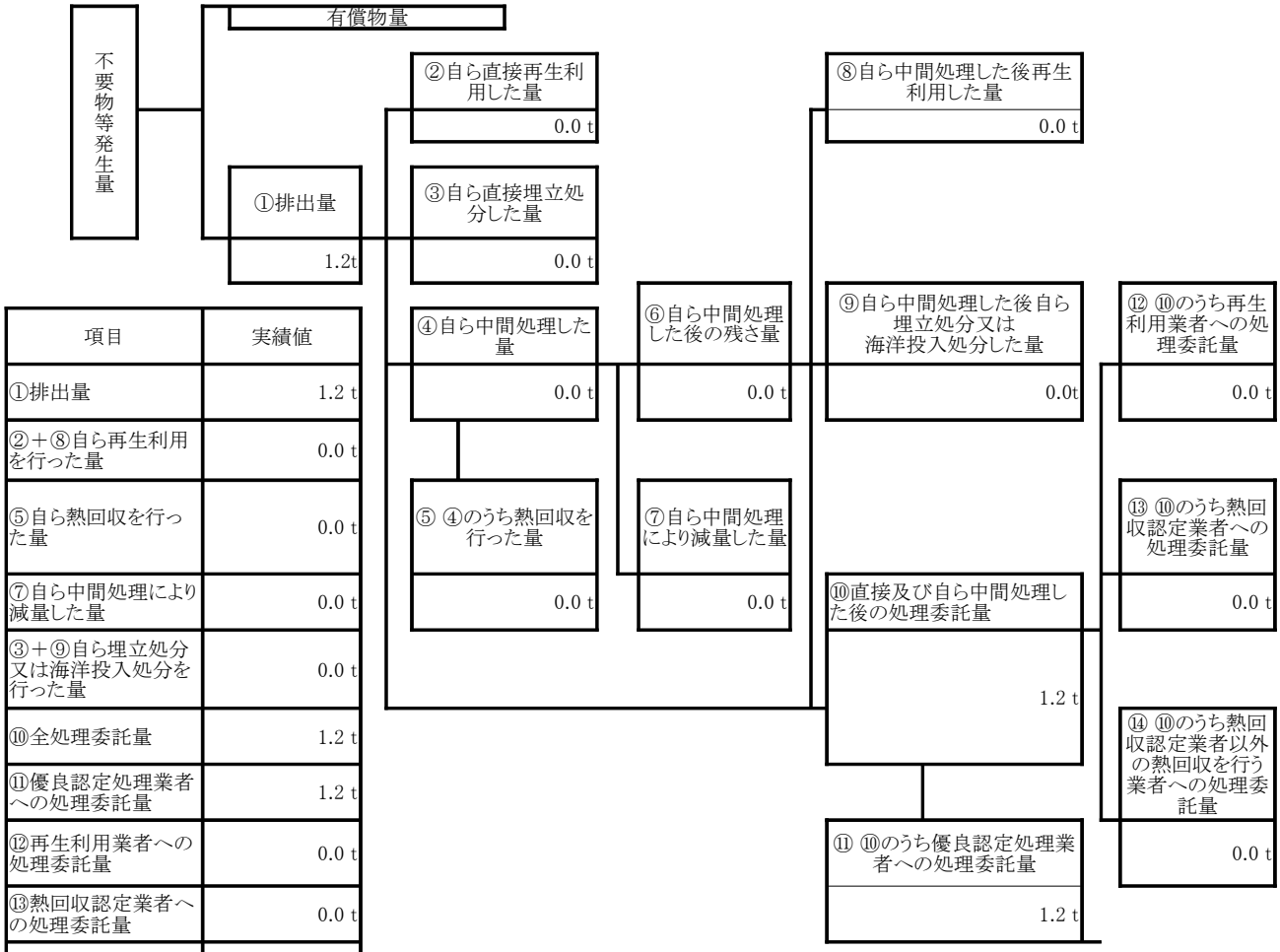
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　**特定有害産業廃棄物**　）

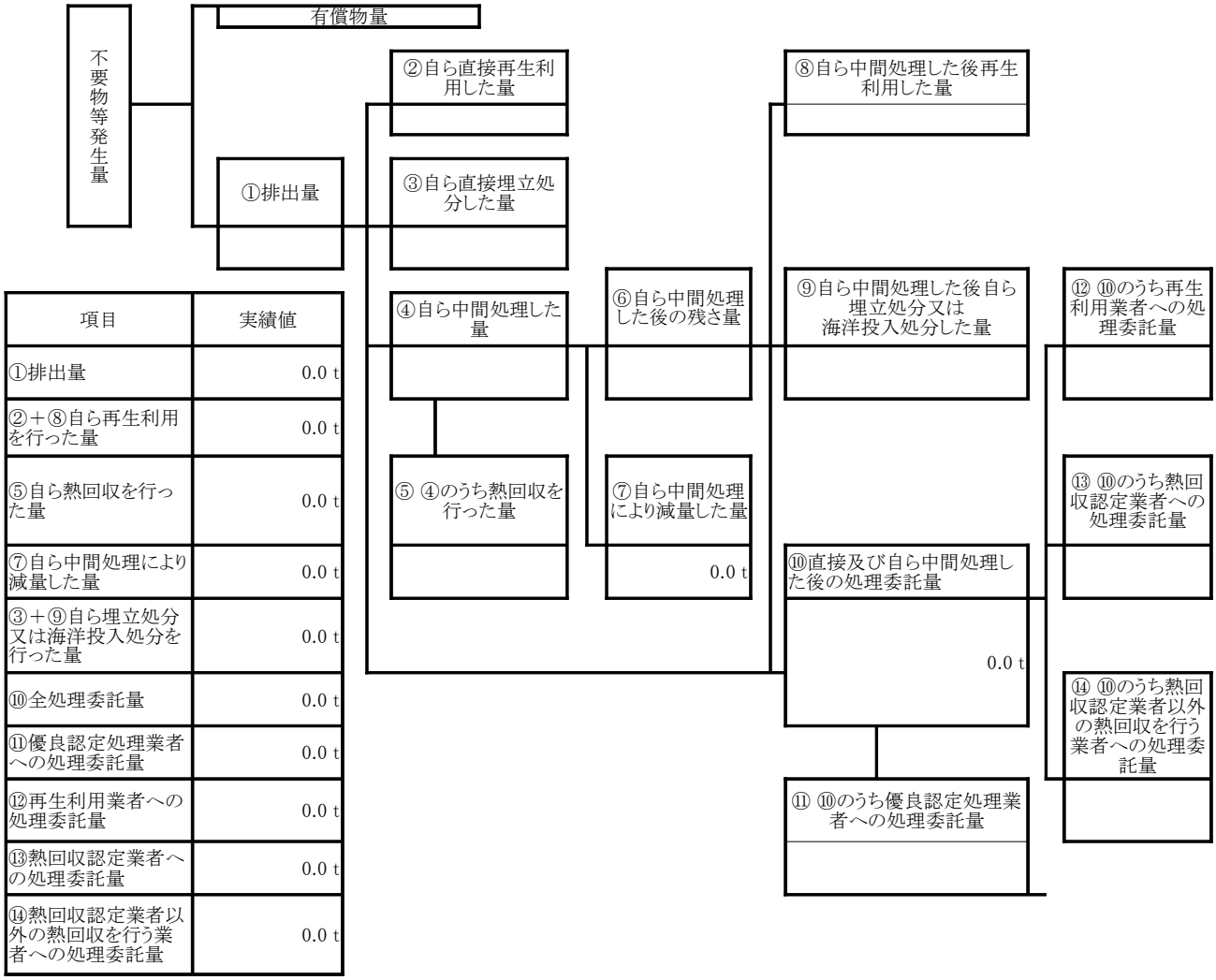


項目	実績値
①排出量	1.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

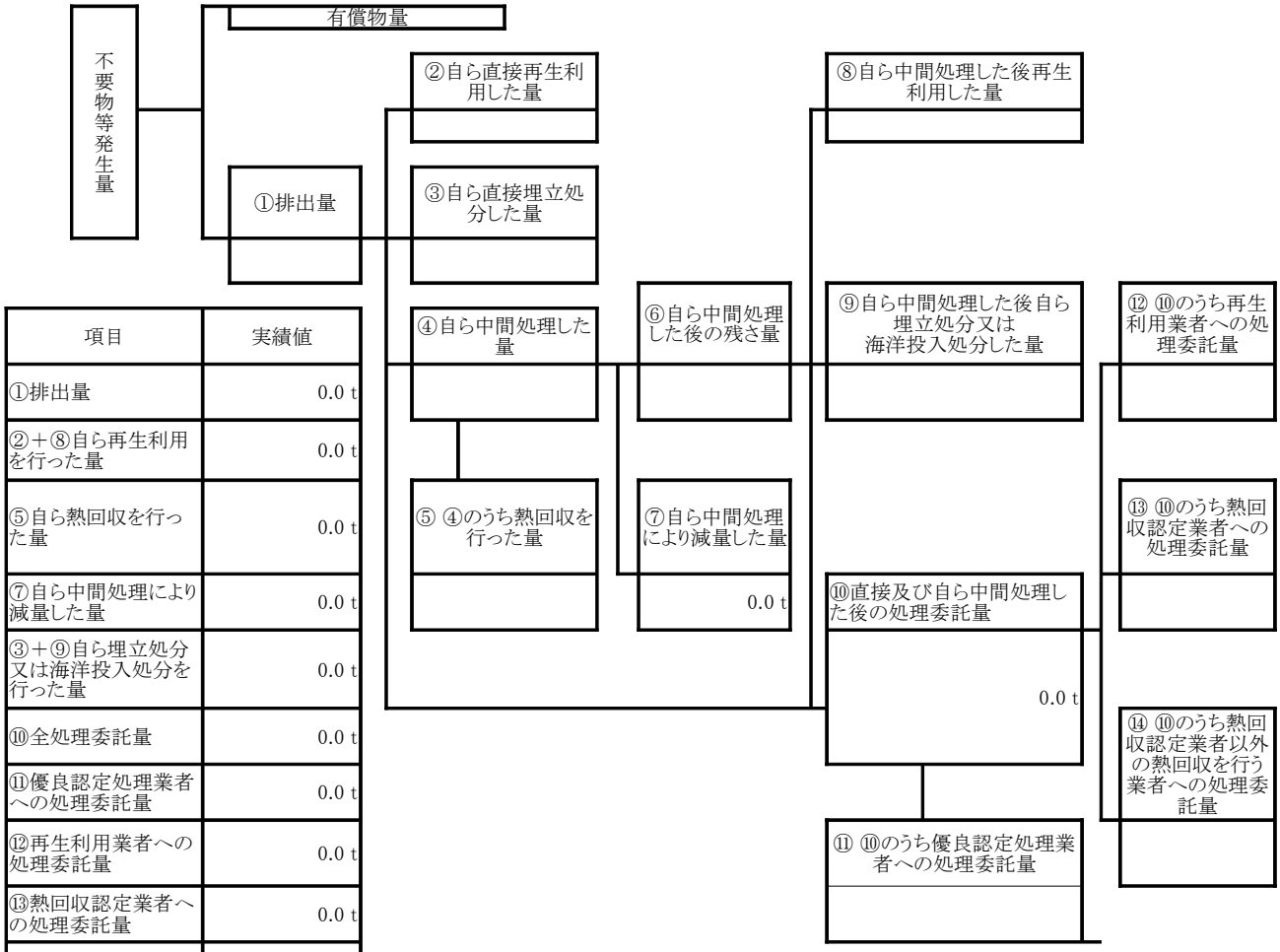


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

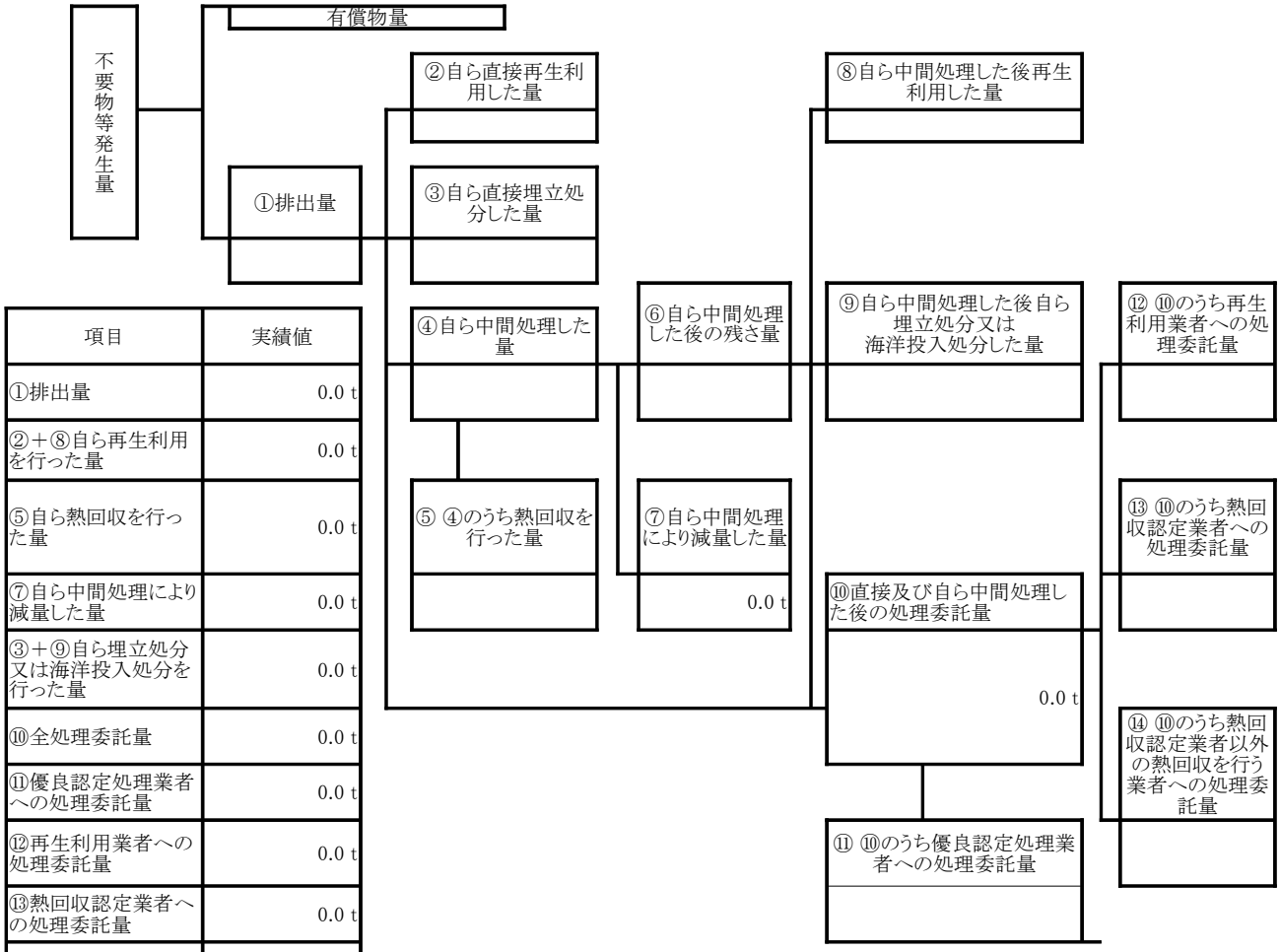


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

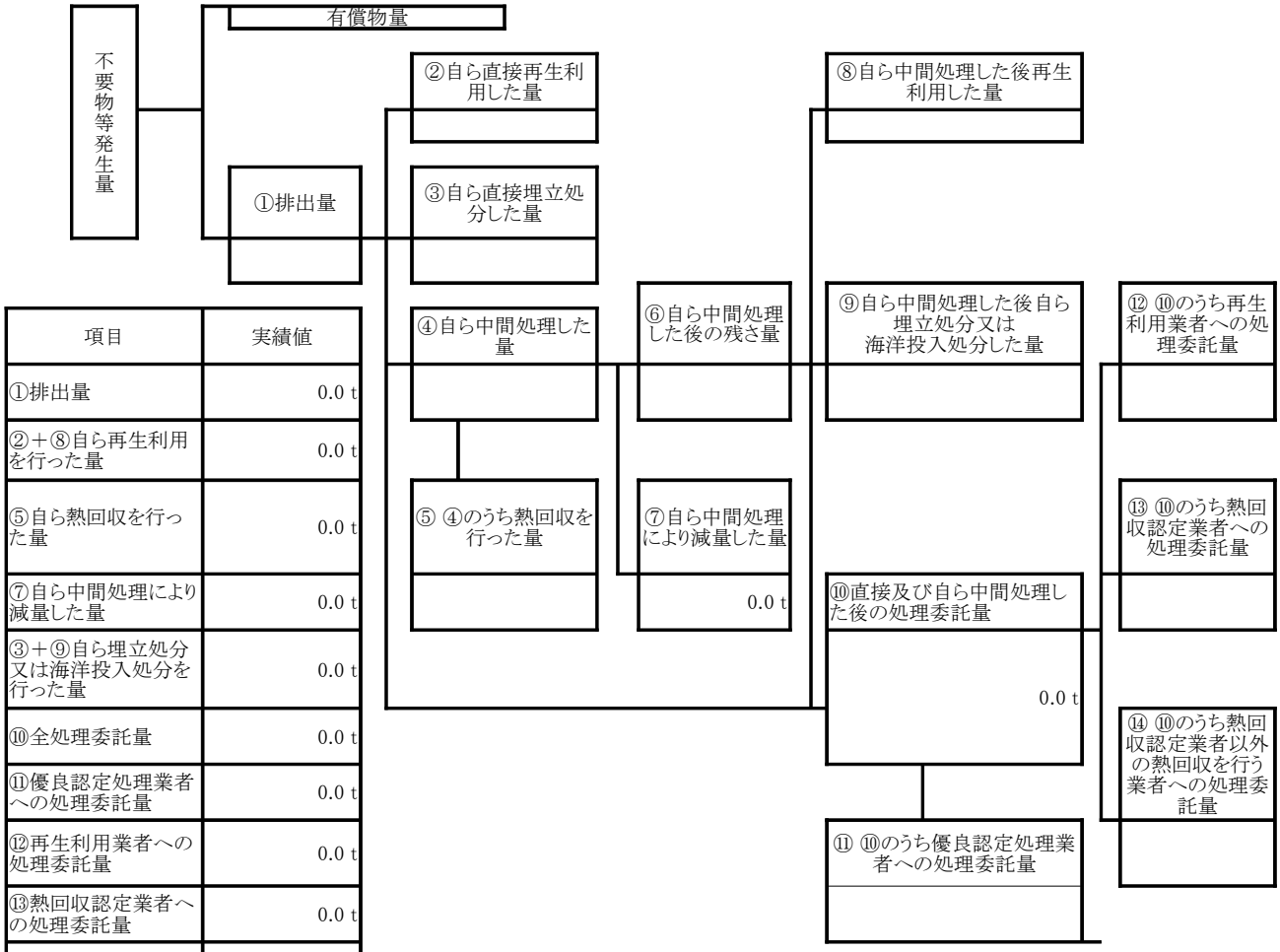


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

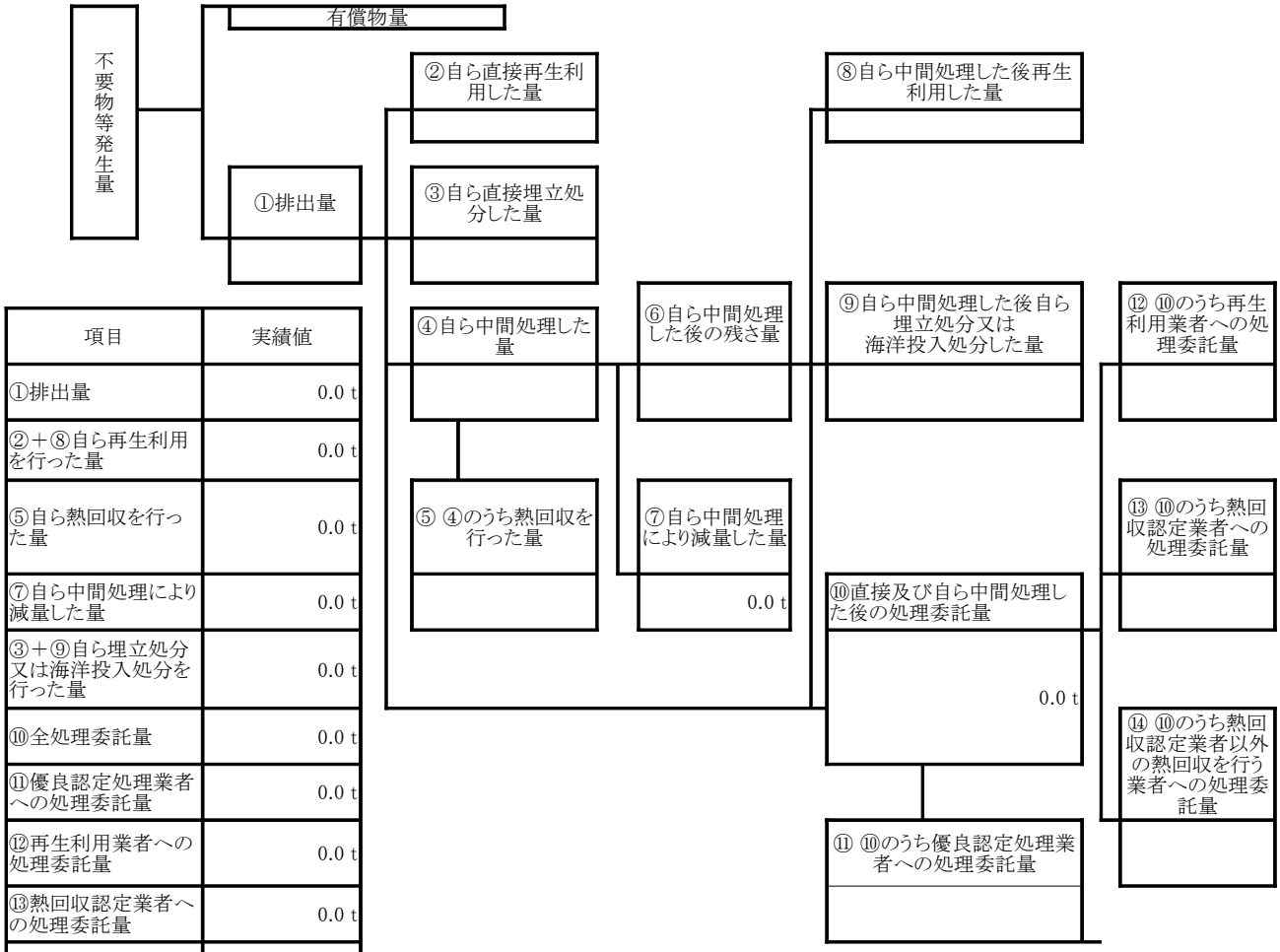


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



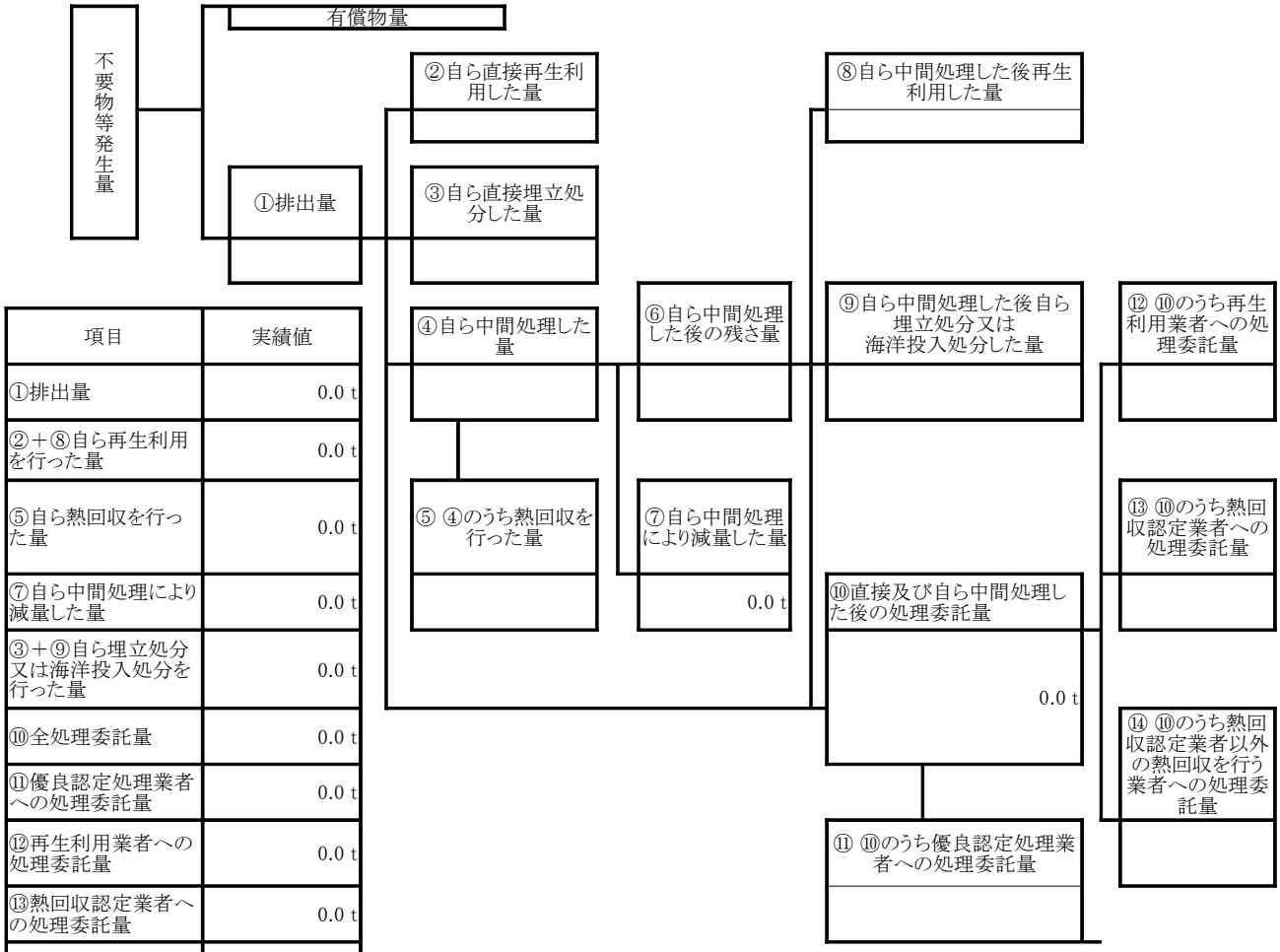
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

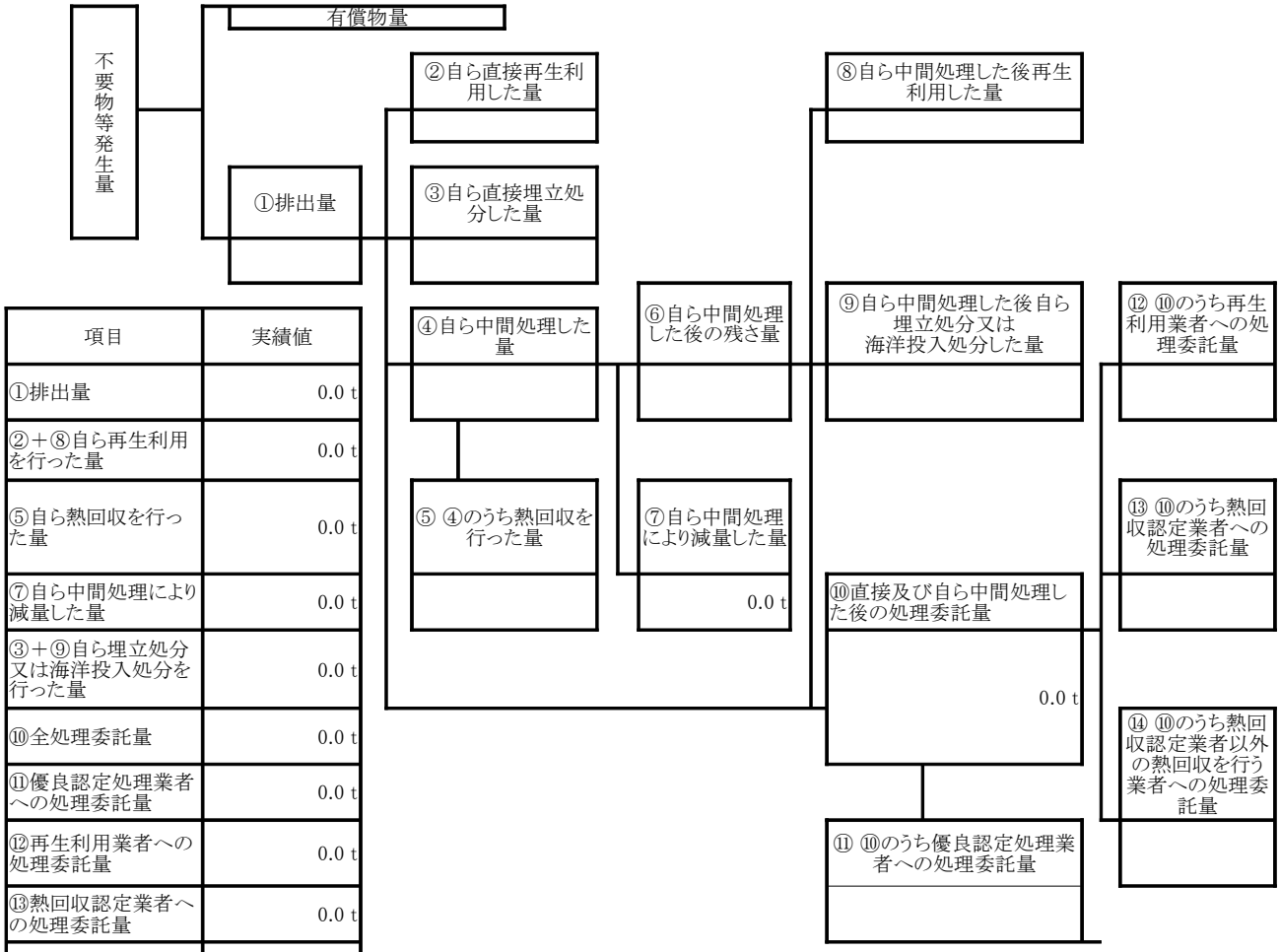


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

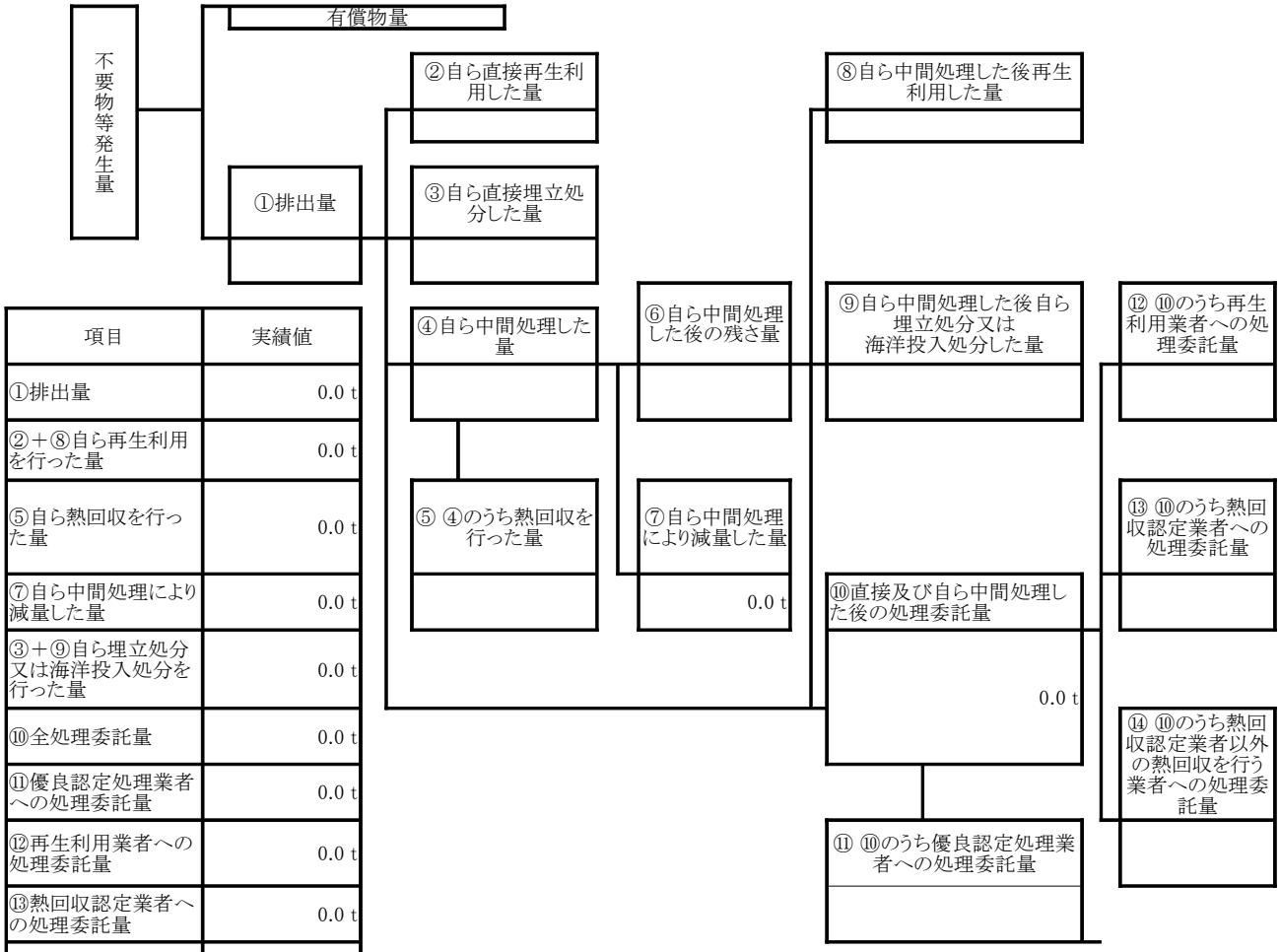


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

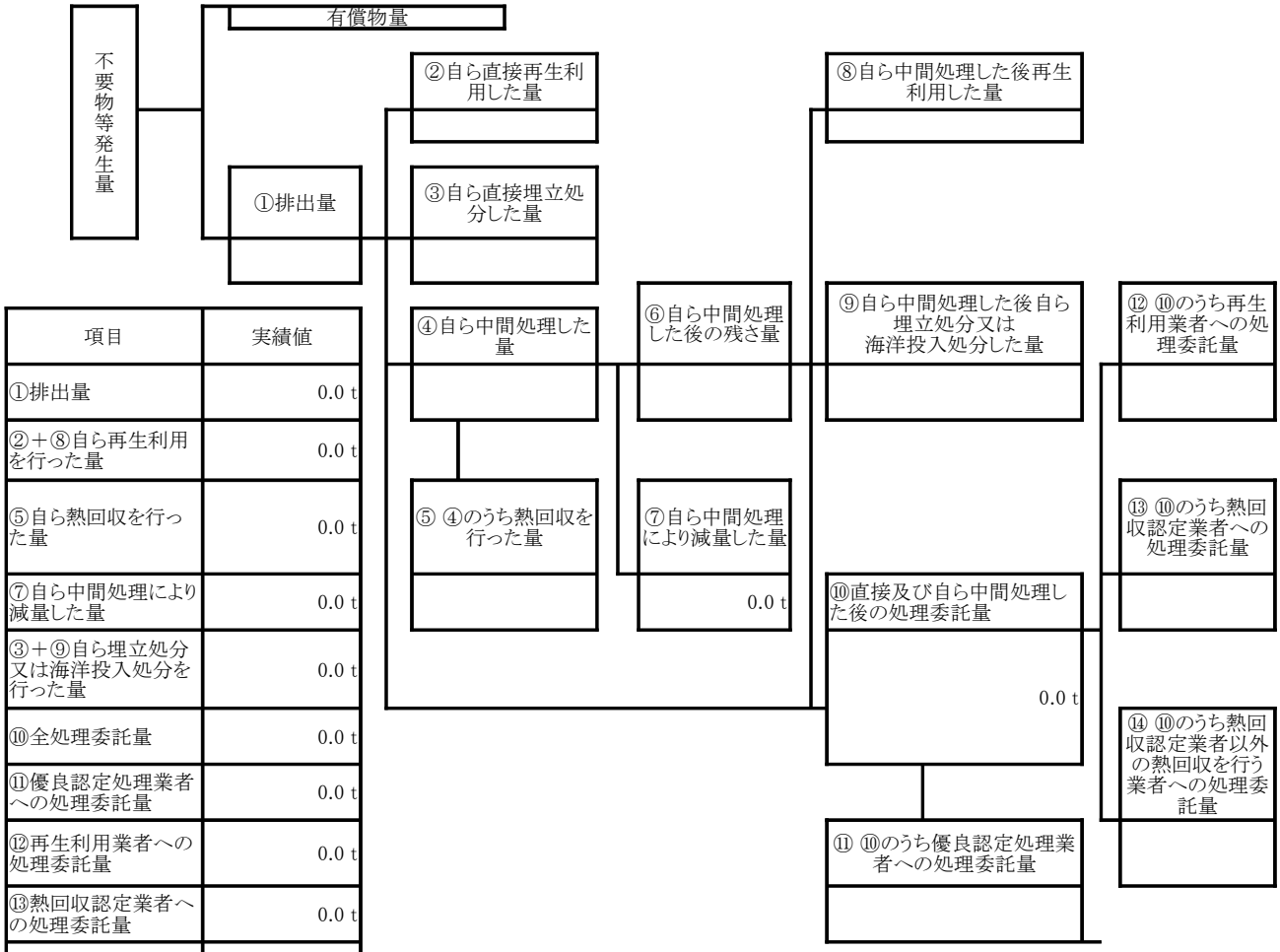


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



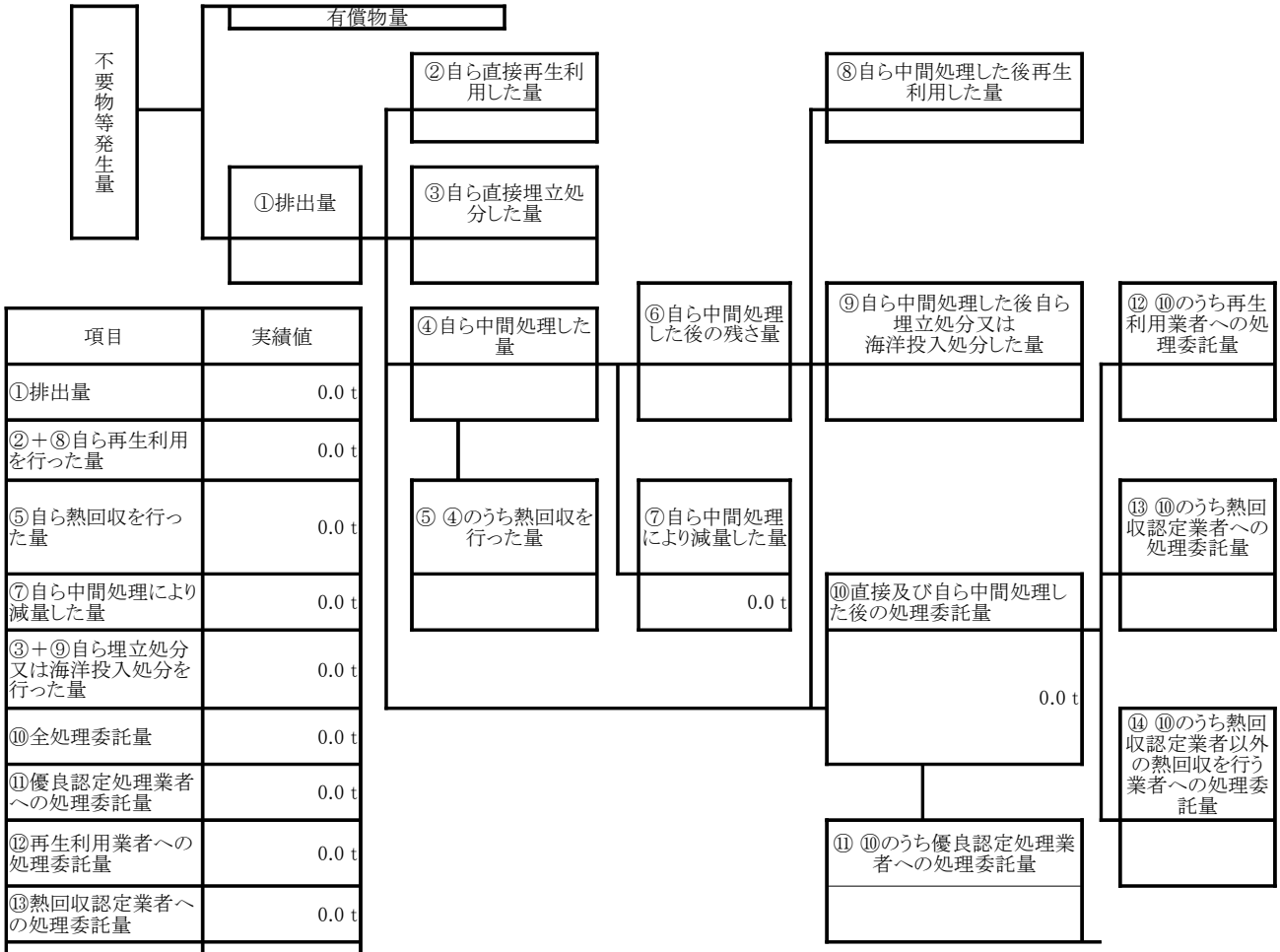
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



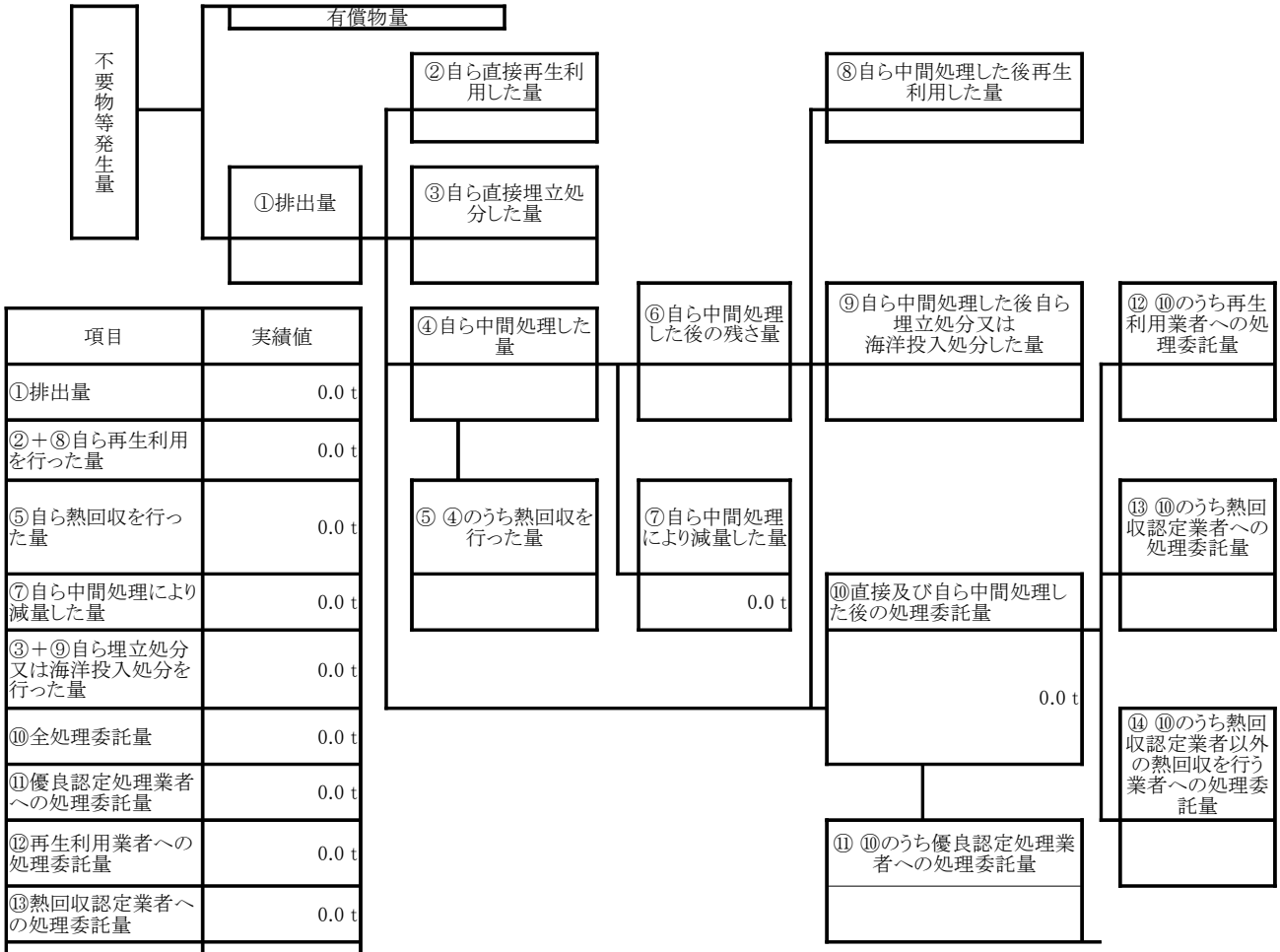
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

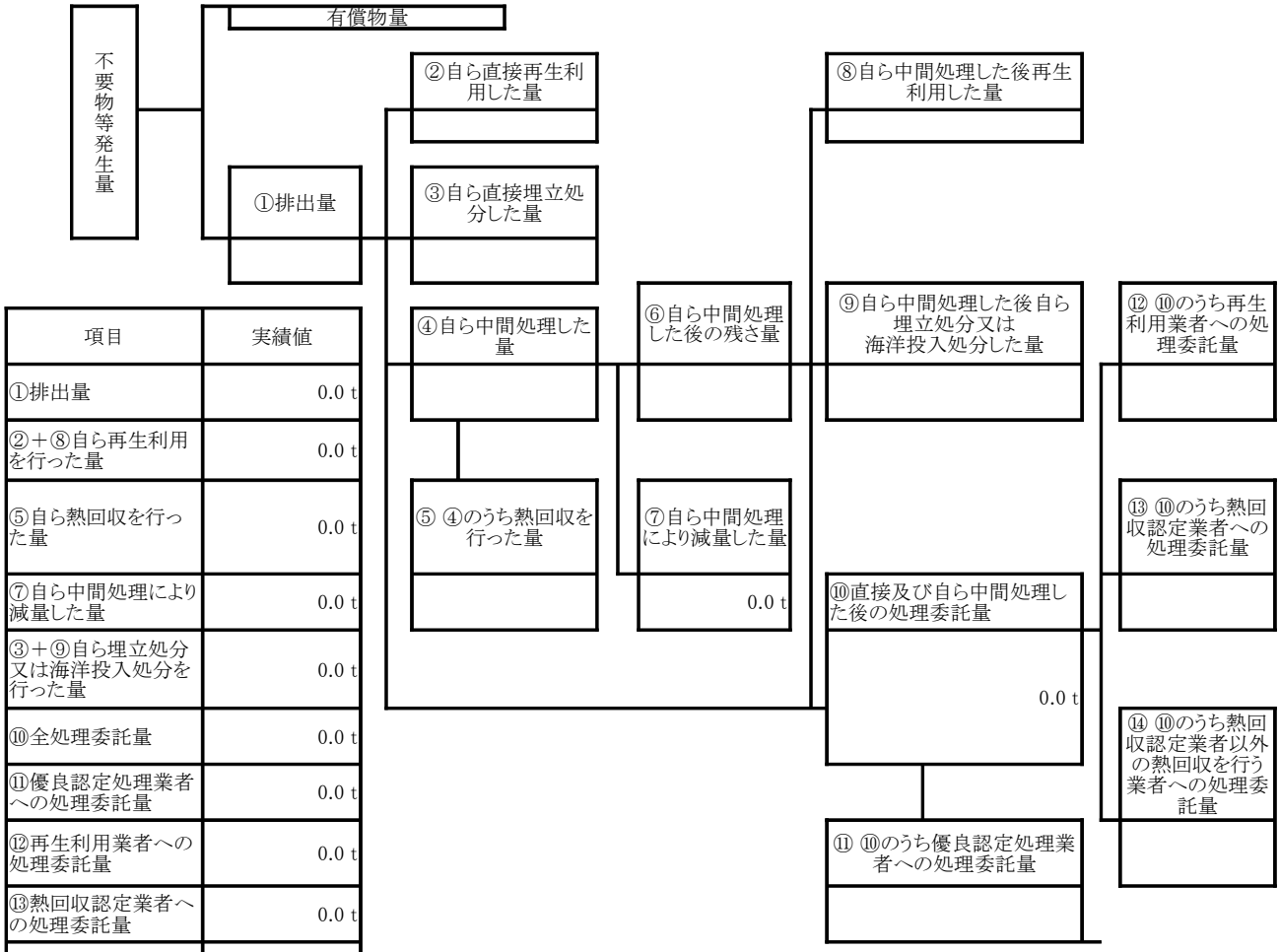


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

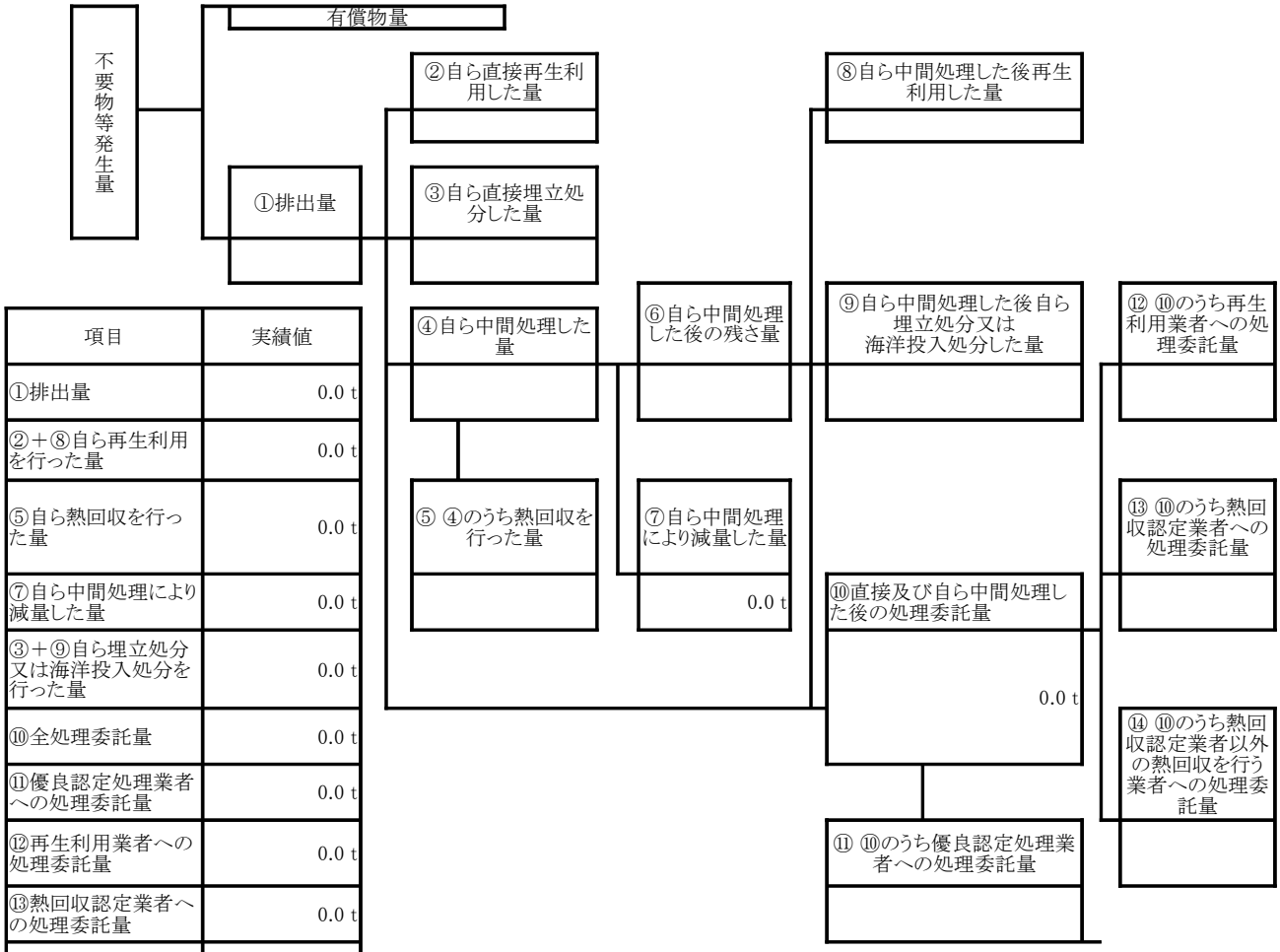


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

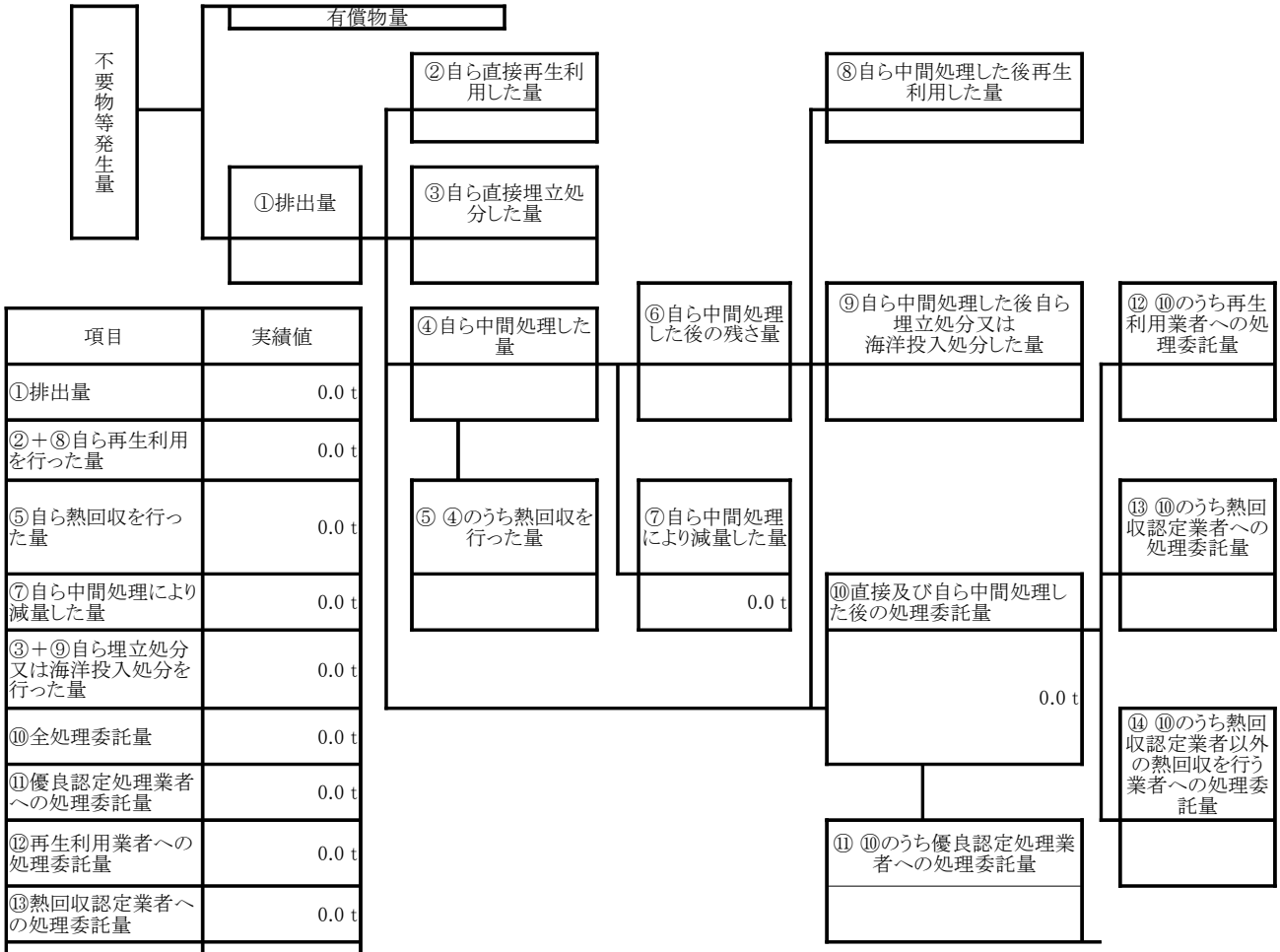


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

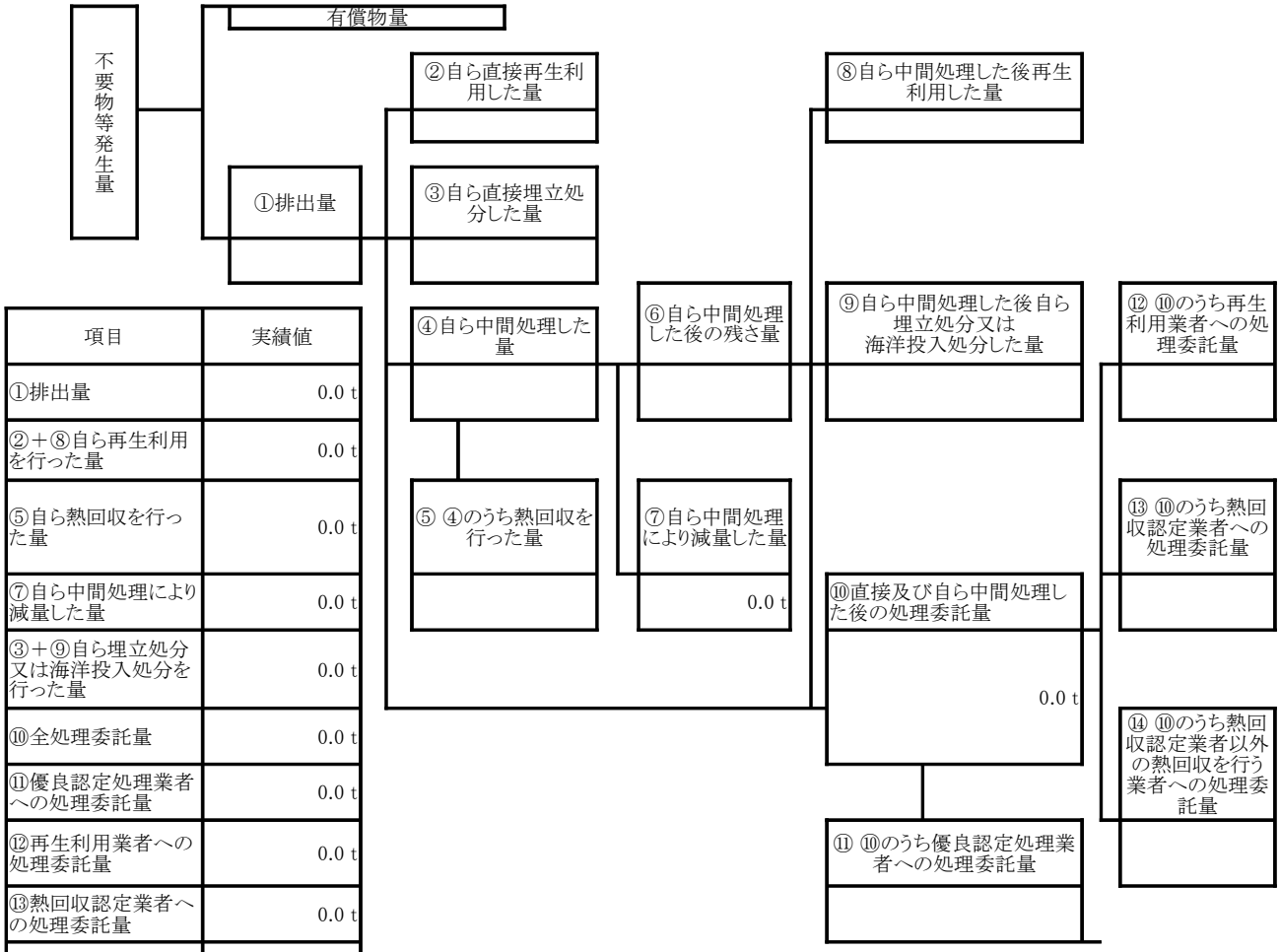


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月28日

千葉県知事
熊　谷　　俊　人　殿

提出者　　〒299-0266
住　所　千葉県袖ケ浦市北袖1番地
氏　名　富士石油株式会社　袖ケ浦製油所
取締役常務執行役員製油所長 岩本 巧
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0438-63-7044

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富士石油株式会社　袖ケ浦製油所
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖1番地
計画期間	令和６年４月１日　～　令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業 中分類：石油製品・石炭製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　7123億円
③従業員数	338人（正社員270人、常勤関係社員68人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり。

（日本工業規格　A列４番）

君津地域振興事務所
-6.6.28
収受

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

別紙2のとおり。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙3のとおり。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙3のとおり。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
原則的に全ての廃棄物を分別しており、令和５年度の埋め立て処理量はゼロ[t]を達成し、ゼロエミッションを継続し、十分な分別を実施している。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
上記取組を継続する。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	------	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	------	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用を実施する計画はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1637 t	t
	（これまでに実施した取組） 廃水含みの廃油を、製油所内の中間処理施設（油水分離施設）で分離し、廃水分を製油所内排水処理設備で処理することにより、委託処分する廃油を減量化している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1500 t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記取組を継続する。		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-----</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>-----</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を実施する計画はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙4のとおり。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）

別紙4のとおり。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

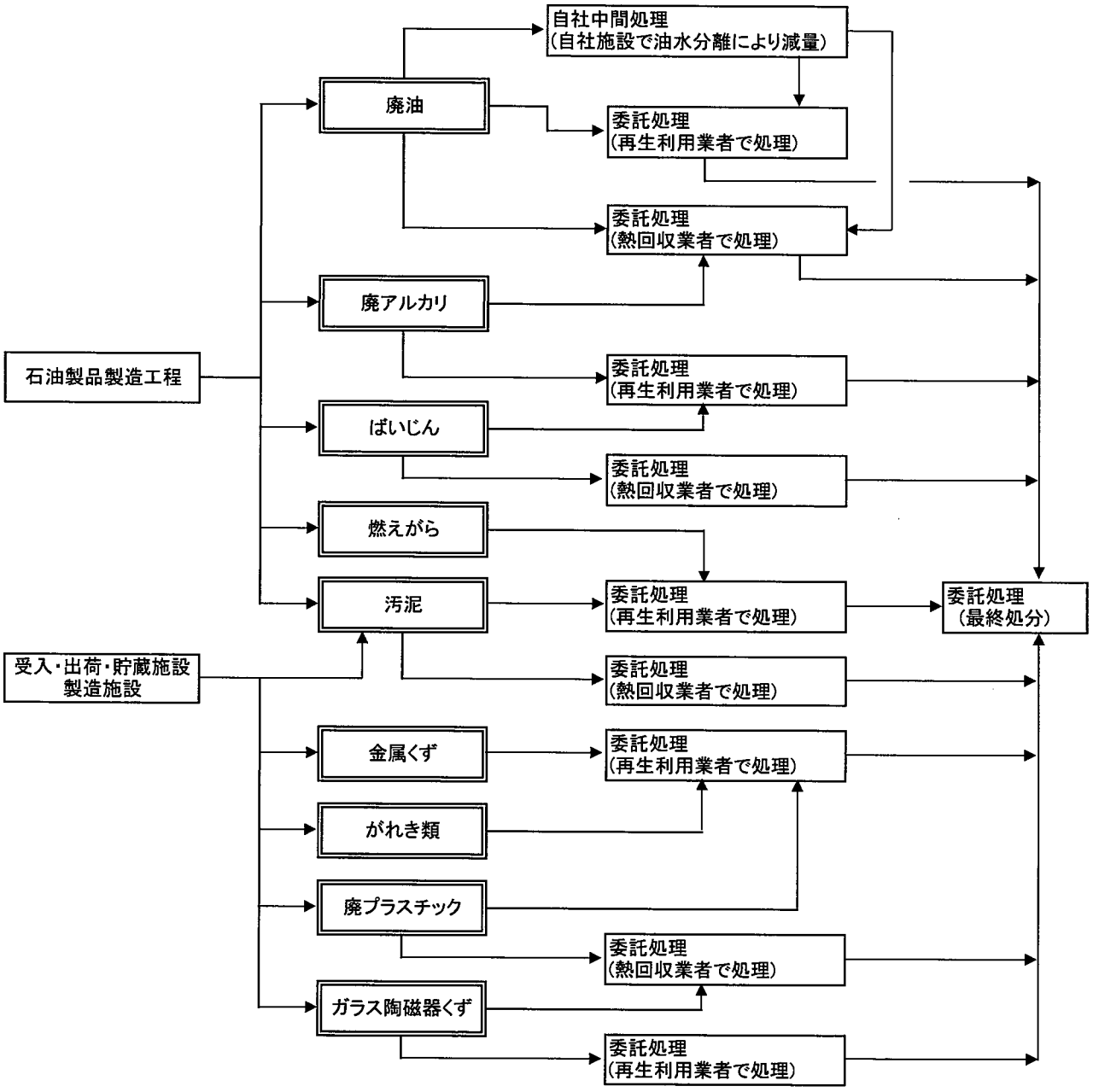
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

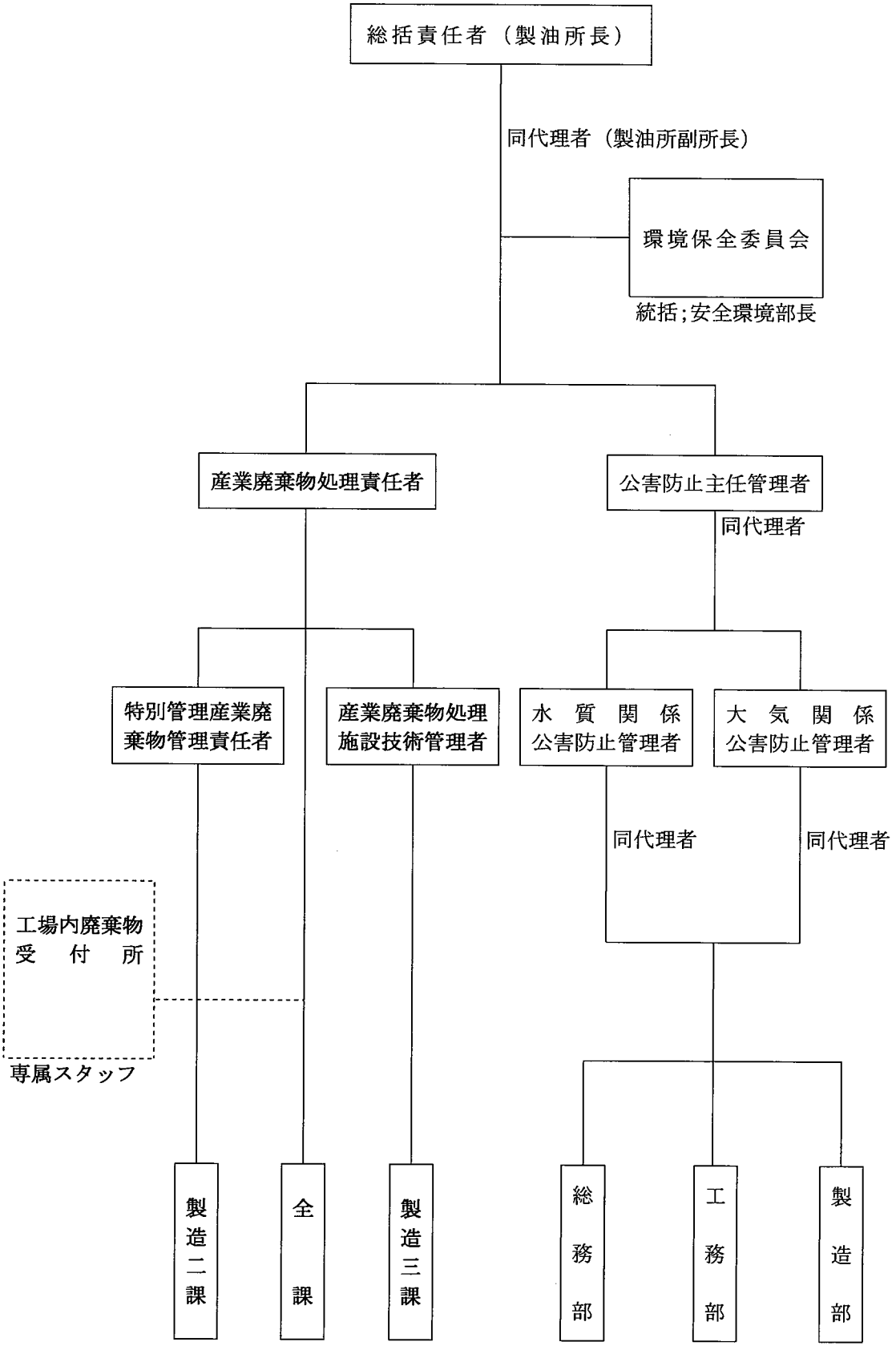
【 別紙1 】
処理工程図(産業廃棄物)



【　別紙2　】
産業廃棄物対策組織図

富士石油株式会社袖ケ浦製油所

産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制図



<table>
<tr><td colspan="3">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>①　現状</td><td>
<table>
<tr><td colspan="5">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>12236[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

当該廃棄物の主な発生源であるボイラーにおいて、適正な燃焼状態を保持することにより、未燃分等の生成を抑制している。
製油所内の排水処理設備での凝集剤等の添加薬剤の最適化(種類/量)により、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を
減量化している。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td>
<table>
<tr><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>11010[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)
排水処理汚泥減量化のため建設した脱水機と乾燥機が、令和６年度に本稼働を開始するので、排出量の減少を見込んでいる。
また、上記取組を継続し抑制に努める。(脱水機と乾燥機は試運転が長引いていて、本稼働が予定より遅れている)</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="3">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="5">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>2487 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

製油所内の中間処理施設(油水分離施設)において廃油を油水分離し、分離した廃水は、製油所内の排水処理施設で処理することにより、当該廃棄物の処分委託を減量化している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>2200[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

今年度は非定修年のため、前年と比べ排出量は減少する。
上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="5">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>283[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

発生源となる装置の運転管理を強化することにより、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>130[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

今年度は非定修年のため、前年と比べ排出量は減少する。
上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="3">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度(令和5年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>43[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

購入薬品等に関して、ワンウェイのプラスチック容器等では無く、ローリー車輌等で納品させることにより、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>40[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

今年度は非定修年のため、前年と比べ排出量は減少する。
上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="3">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>① 現状</td><td>
<table>
<tr><td colspan="5">【前年度(令和5年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>ガラス陶磁器くず</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>102[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

当該廃棄物は主に設備機器類の保温材屑等であるため、設備機器類のメインテナンス等において、保温材の再使用を実施し、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td>
<table>
<tr><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>ガラス陶磁器くず</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>80[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

今年度は非定修年のため、前年と比べ排出量は減少する。
上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="4">【前年度(令和5年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

がれき類は通常の操業では発生せず、工作物の撤去等で発生するため施工内容を精査することにより、当該廃棄物の発生を抑制し処分委託を減量化している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>10 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="5">【前年度(令和5年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>ばいじん</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>22[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

当該廃棄物の発生源であるボイラーにおいて、適正な燃焼状態を保持することにより、未燃分等の生成を抑制している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>ばいじん</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>5[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

今年度は非定修年のため、前年と比べ排出量は減少する。
上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">② 現状</td><td colspan="5">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>燃えがら</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>344[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

当該廃棄物の発生源であるボイラーにおいて、適正な燃焼状態を保持することにより、未燃分等の生成を抑制している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>燃えがら</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>280[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="7">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">③　現状</td><td colspan="5">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>金属くず</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

当該廃棄物の分別を徹底して、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>金属くず</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>10[t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="11"></td><td rowspan="6">① 現状</td><td colspan="4">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>12236 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>10187 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>8576 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>3651 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>9 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(これまでに実施した取組)

再生利用もしくは熱回収を行う業者へ処理委託している。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>11010 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>9000 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>8000 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>3000 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>10 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(今後実施する予定の取組)

可能な限り優良認定処理業者もしくは再生利用業者へ処理委託する方針で検討する。</td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和５年度)実績】			
		産業廃棄物の種類		廃油	
		全処理委託量		850 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	850 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	376 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	474 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組) 再生利用もしくは熱回収を行う業者へ処理委託している。			
	② 計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		廃油	
		全処理委託量		700 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	700 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	300 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	400 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組) 可能な限り優良認定処理業者もしくは再生利用業者へ処理委託する方針で検討する。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和５年度)実績】			
		産業廃棄物の種類		廃アルカリ	
		全処理委託量		283 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	283 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	126 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	55 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	102 [t]	
		(これまでに実施した取組) 再生利用もしくは熱回収を行う業者へ処理委託している。			
	② 計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		廃アルカリ	
		全処理委託量		130 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	130 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	80 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	50 [t]	
		(今後実施する予定の取組) 可能な限り優良認定処理業者へ処理委託する方針で検討する。			

<table>
<tr><td colspan="6">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="6">① 現状</td><td colspan="4">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>43 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>43 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>8 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>35 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(これまでに実施した取組)

再生利用もしくは熱回収を行う業者へ処理委託している。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>40 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>40 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>10 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>30 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(今後実施する予定の取組)

可能な限り優良認定処理業者もしくは再生利用業者へ処理委託する方針で検討する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="11"></td><td rowspan="6">① 現状</td><td colspan="4">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ガラス陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>102 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>66 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>43 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>23 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>36 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(これまでに実施した取組)

再生利用業者もしくは熱回収を行う業者へ処理委託している。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ガラス陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>80 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>50 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>30 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>20 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>30 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(今後実施する予定の取組)

可能な限り優良認定業者もしくは再生利用業者へ処理委託する方針で検討する。</td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和５年度)実績】			
		産業廃棄物の種類		がれき類	
		全処理委託量		0 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	0 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組) 再生利用を行う業者へ処理委託している。			
	② 画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		がれき類	
		全処理委託量		10 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	10 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	10 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組) 可能な限り再生利用業者へ処理委託する方針で検討する。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和５年度)実績】			
		産業廃棄物の種類		ばいじん	
		全処理委託量		22 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	22 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	19 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	3 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
			(これまでに実施した取組) 再生利用もしくは熱回収を行う業者へ処理委託している。		
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		ばいじん	
		全処理委託量		5 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	5 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	5 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
			(今後実施する予定の取組) 可能な限り優良認定業者もしくは認定熱回収業者へ処理委託する方針で検討する。		

<table>
<tr><td colspan="6">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="6">② 現状</td><td colspan="4">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>燃えがら</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>344 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>344 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>344 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(これまでに実施した取組)

再生利用を行う業者へ処理委託している。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>燃えがら</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>280 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>280 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>280 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(今後実施する予定の取組)

可能な限り優良認定処理業者もしくは再生利用業者へ処理委託する方針で検討する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="11"></td><td rowspan="6">③ 現状</td><td colspan="4">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>金属くず</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(これまでに実施した取組)

再生利用を行う業者へ処理委託している。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>金属くず</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>10 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>10 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>5 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>5 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(今後実施する予定の取組)

可能な限り優良認定処理業者もしくは再生利用業者へ処理委託する方針で検討する。</td></tr>
</table>

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和６年　６月２８日

千葉県知事
熊　谷　　俊　人　殿

提出者　　〒299-0266
住　所　千葉県袖ケ浦市北袖1番地
氏　名　富士石油株式会社　袖ケ浦製油所
取締役常務執行役員製油所長 岩本 巧
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0438-63-7044

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和~~４~~５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	富士石油株式会社　袖ケ浦製油所
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖1番地
事業の種類	大分類：製造業　　中分類：石油製品・石炭製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月１日　～　令和６年３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	12740 t	全処理委託量	10740 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	5726 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	4680 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2000 t	認定熱回収業者への処理委託量	3980 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2080 t

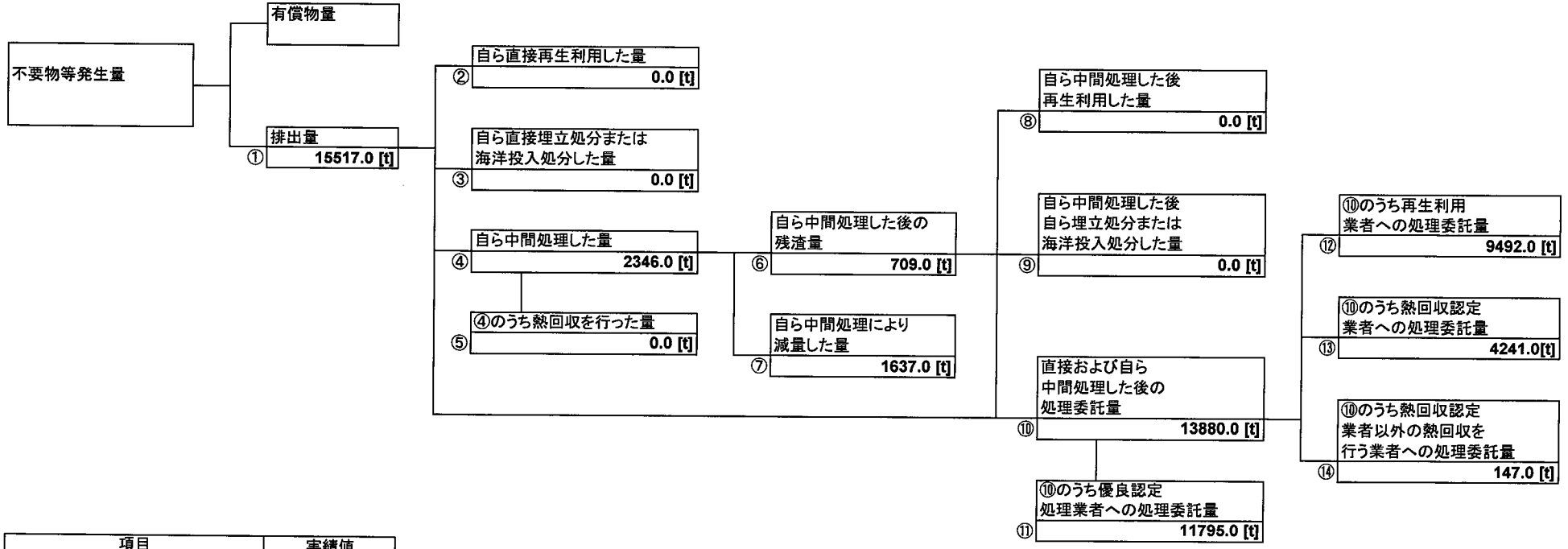
※事務処理欄	

君津地域振興事務所 -6.6.28 収受

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

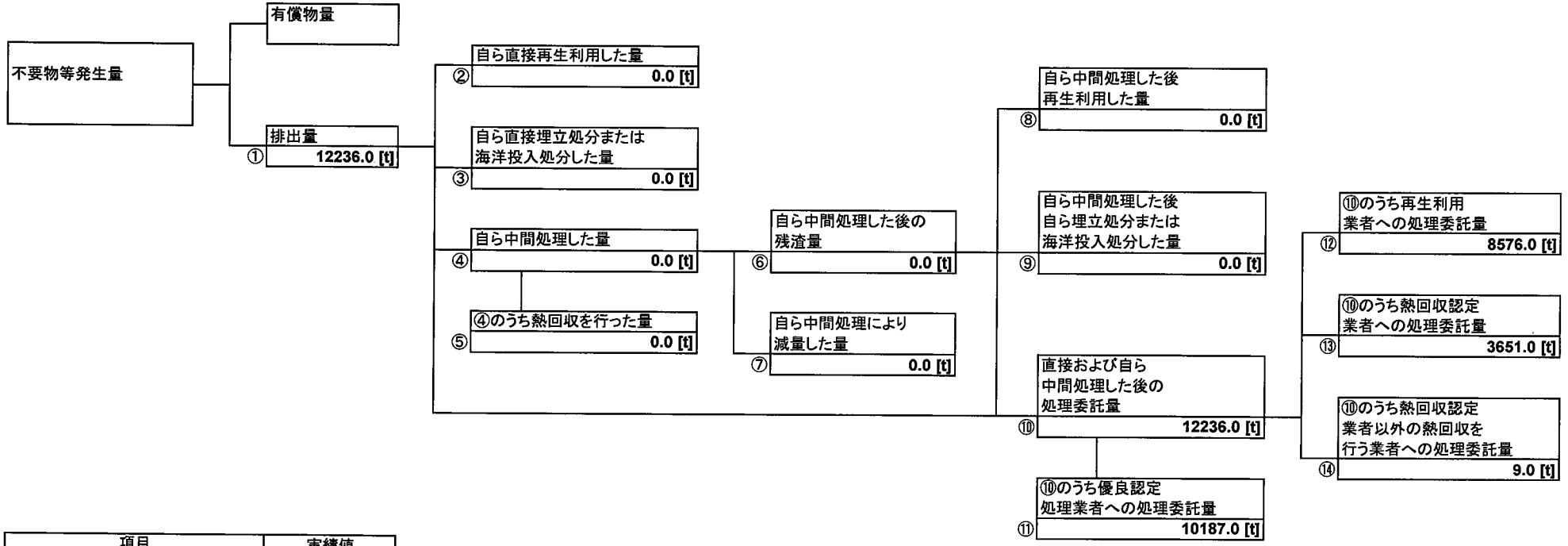
(産業廃棄物の種類:総量)



項目	実績値
①排出量	15517.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	1637.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	13880.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11795.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	9492.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	4241.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	147.0 [t]

計画の実施状況

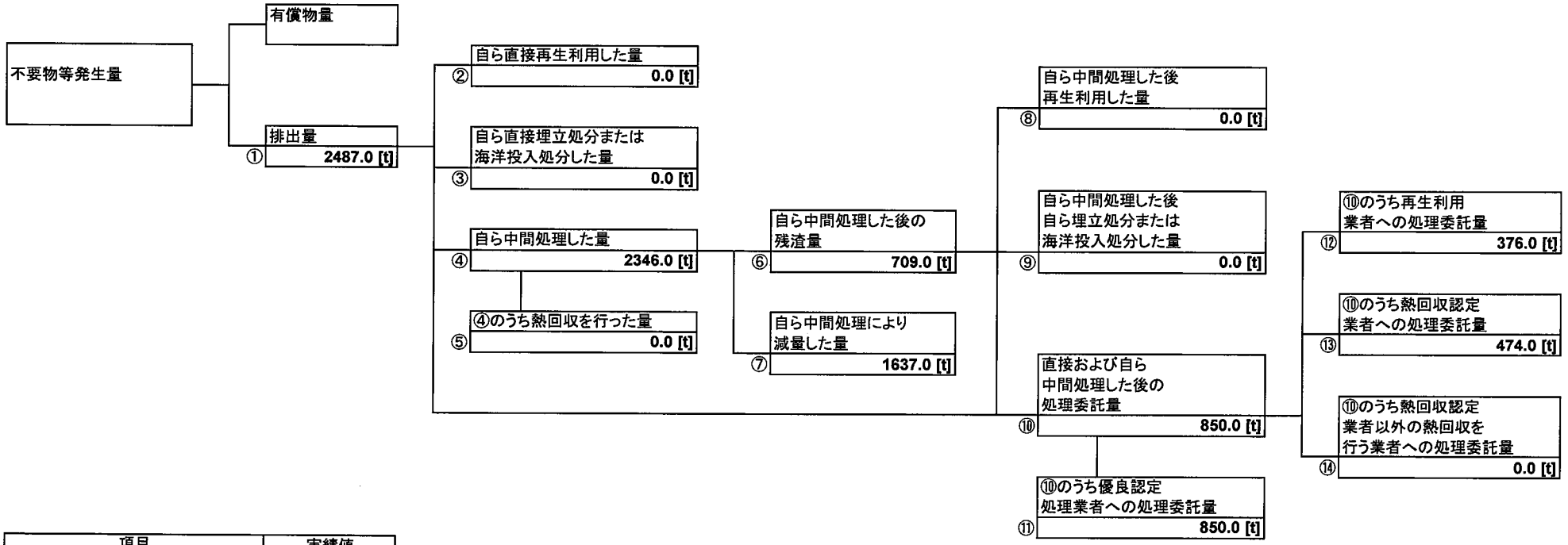
(産業廃棄物の種類: 汚泥)



項目	実績値
①排出量	12236.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	12236.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10187.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	8576.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	3651.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	9.0 [t]

計画の実施状況

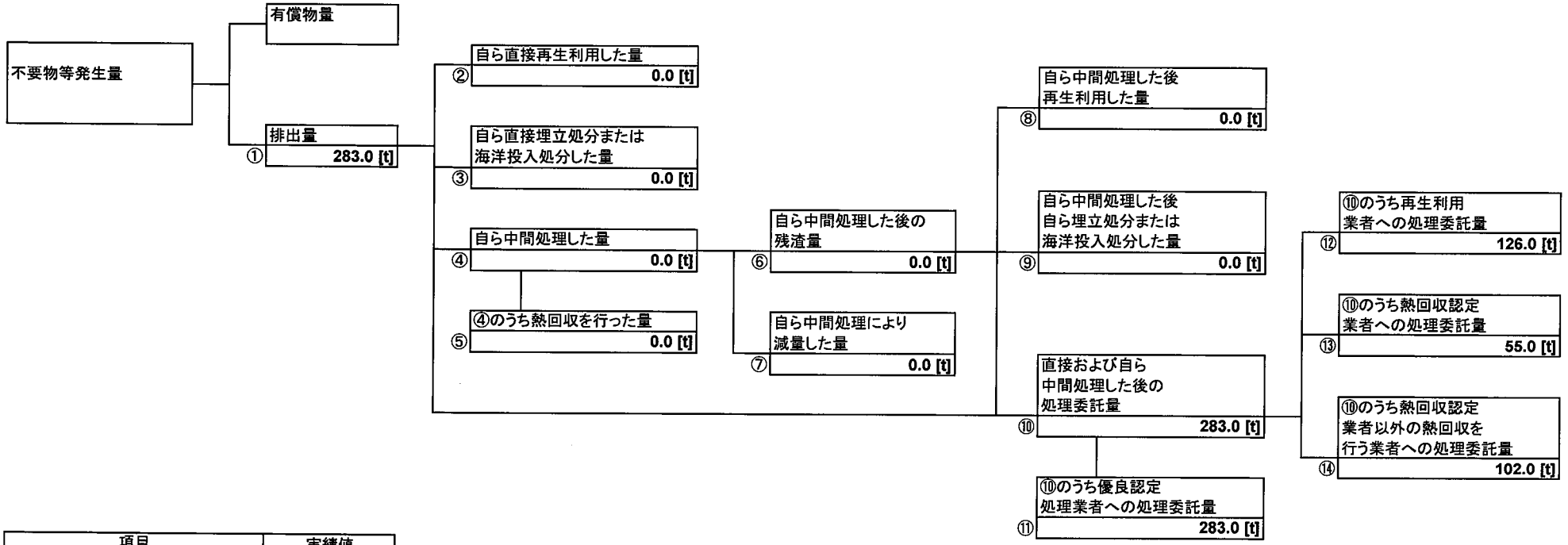
(産業廃棄物の種類: 廃油)



項目	実績値
①排出量	2487.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	1637.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	850.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	850.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	376.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	474.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

計画の実施状況

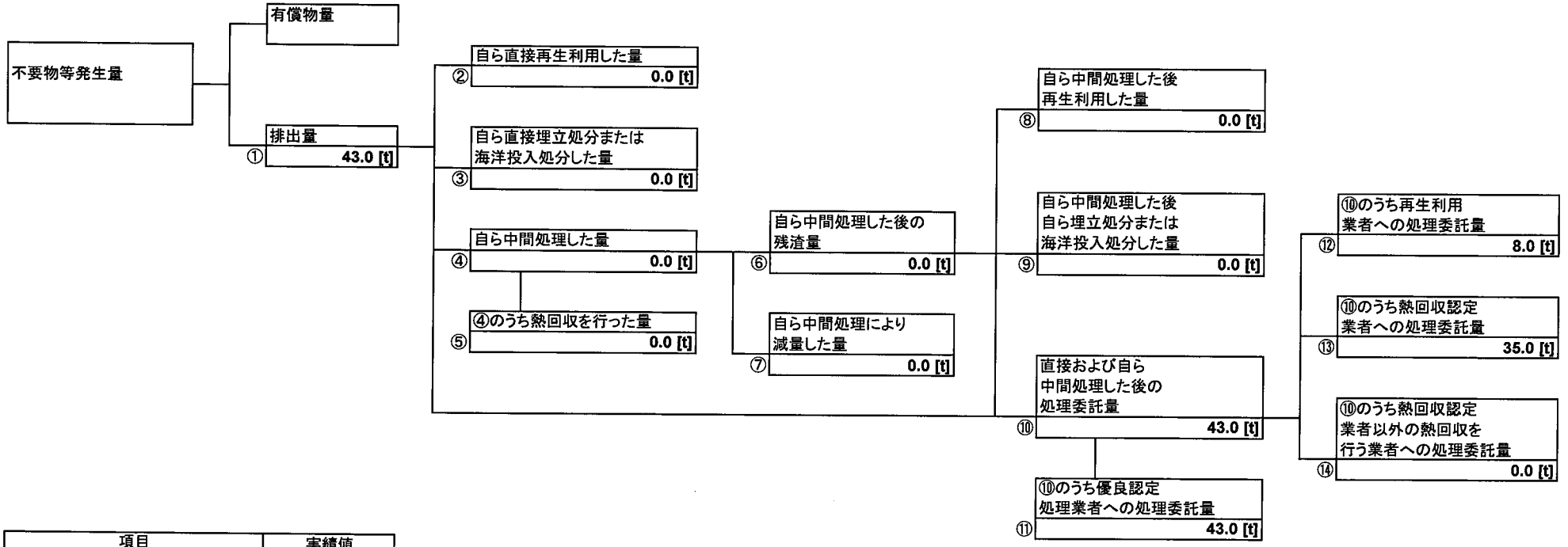
(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)



項目	実績値
①排出量	283.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	283.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	283.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	126.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	55.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	102.0 [t]

計画の実施状況

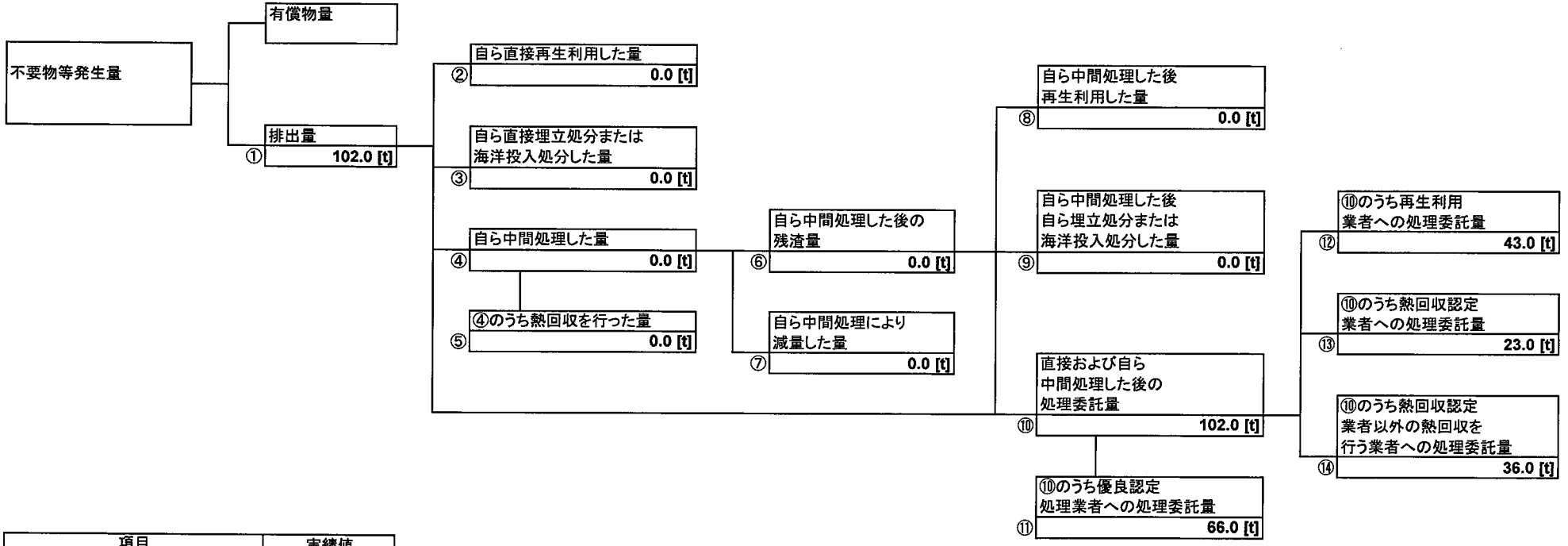
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



項目	実績値
①排出量	43.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	43.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	43.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	8.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	35.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

計画の実施状況

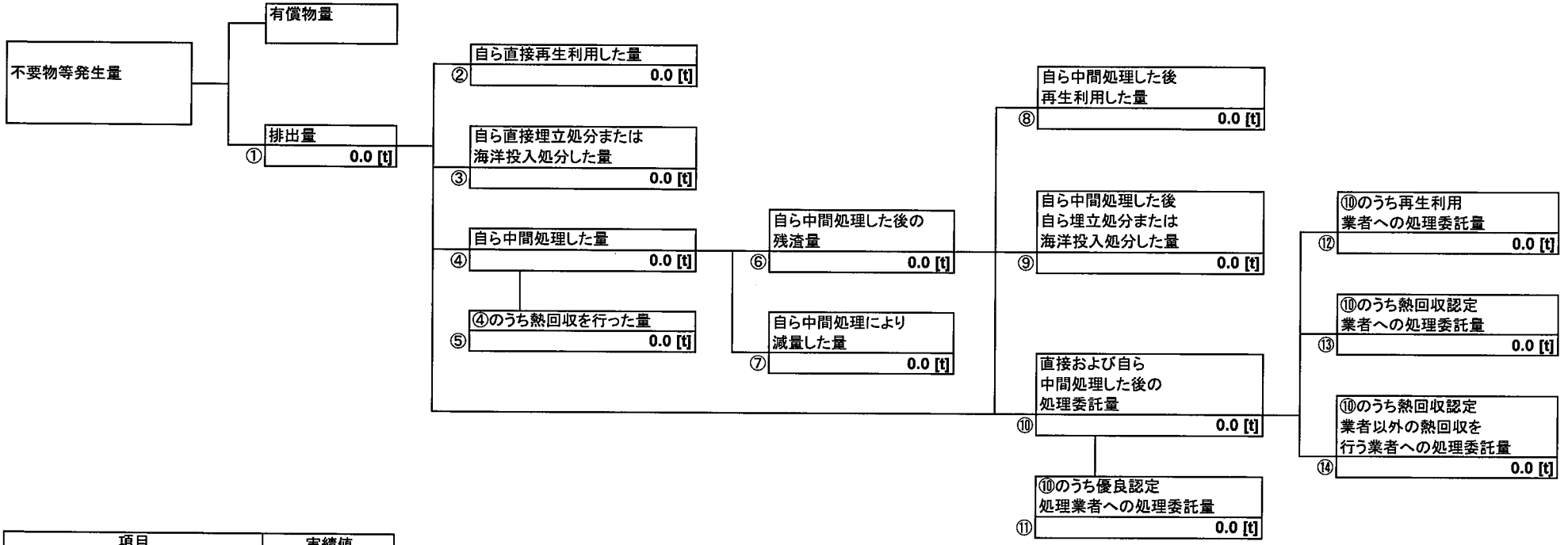
(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	102.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	102.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	43.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	23.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	36.0 [t]

計画の実施状況

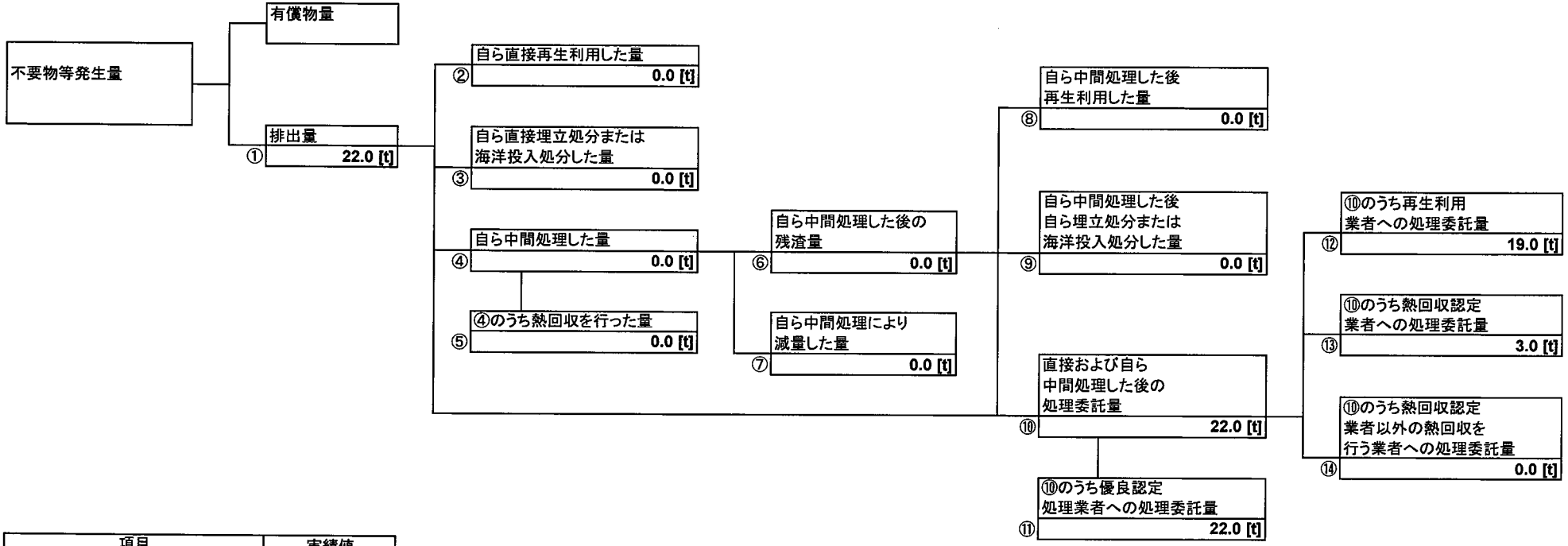
(産業廃棄物の種類: がれき類)



項目	実績値
①排出量	0.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	0.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

計画の実施状況

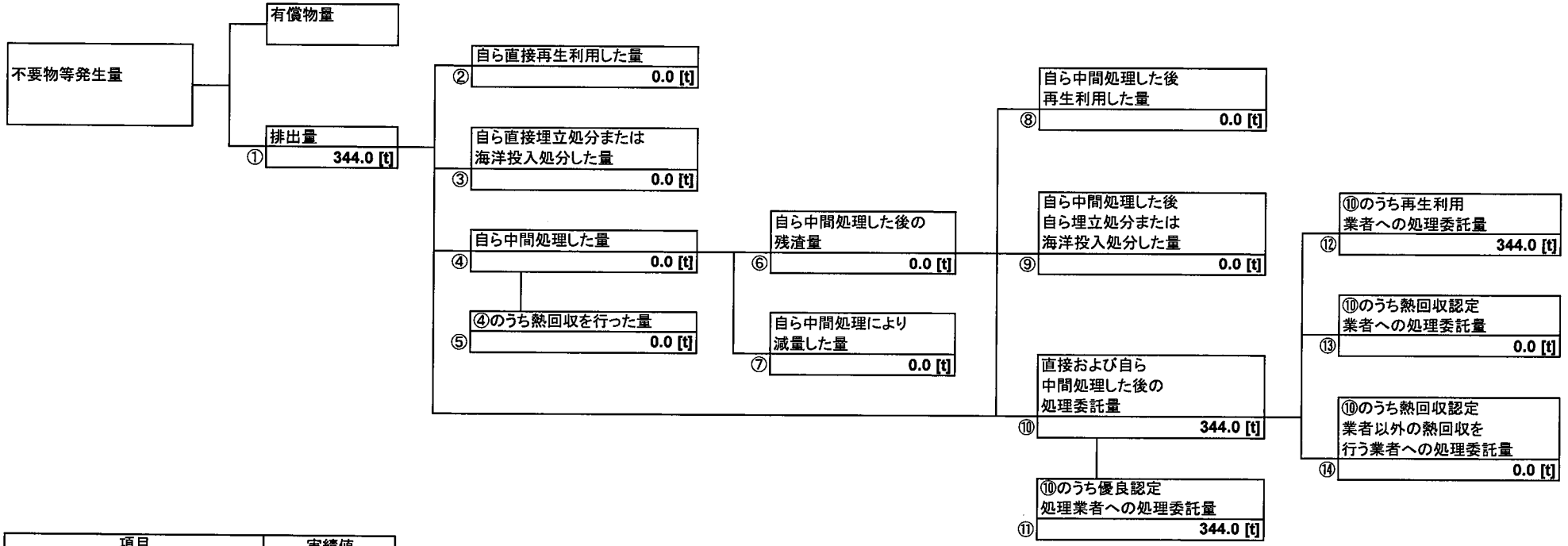
(産業廃棄物の種類: ばいじん)



項目	実績値
①排出量	22.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	22.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	19.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	3.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

計画の実施状況

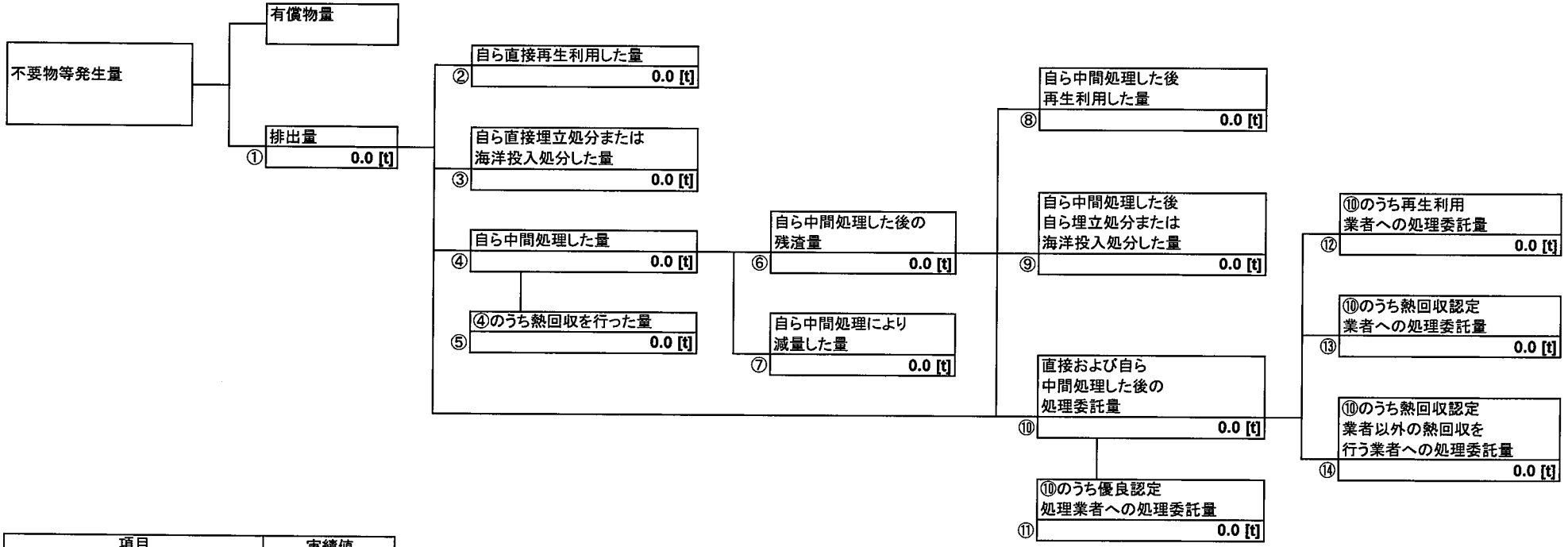
(産業廃棄物の種類: 燃えがら)



項目	実績値
①排出量	344.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	344.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	344.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	344.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



項目	実績値
①排出量	0.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	0.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月28日

千葉県知事
熊　谷　　俊　人　殿

提出者　　〒299-0266
住　所　千葉県袖ケ浦市北袖1番地
氏　名　富士石油株式会社　袖ケ浦製油所
取締役常務執行役員製油所長 岩本 巧
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0438-63-7044

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富士石油株式会社　袖ケ浦製油所
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖1番地
計画期間	令和６年４月１日　～　令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業 中分類：石油製品・石炭製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　7123億円
③従業員数	338人（正社員270人、常勤関係社員68人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり。

（日本工業規格　A列４番

君津
地域振興事務所
-6.6.28
収受

<table>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

別紙2のとおり。</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙3のとおり。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙3のとおり。</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

全ての特別管理廃棄物を分別している。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
上記取組を継続する。</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	407 t	t
	（これまでに実施した取組） 装置のpH調整で、廃ソーダを再利用している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	438 t	t
	（今後実施する予定の取組） 装置のpH調整で、廃ソーダを再利用する。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	------	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理は実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	------	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理を実施する計画はない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	------	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分は実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	------	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分を実施する計画はない。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙4のとおり。		

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙4のとおり。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物
排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td colspan="2">8488 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）

電子情報処理組織（電子マニフェスト）使用している。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

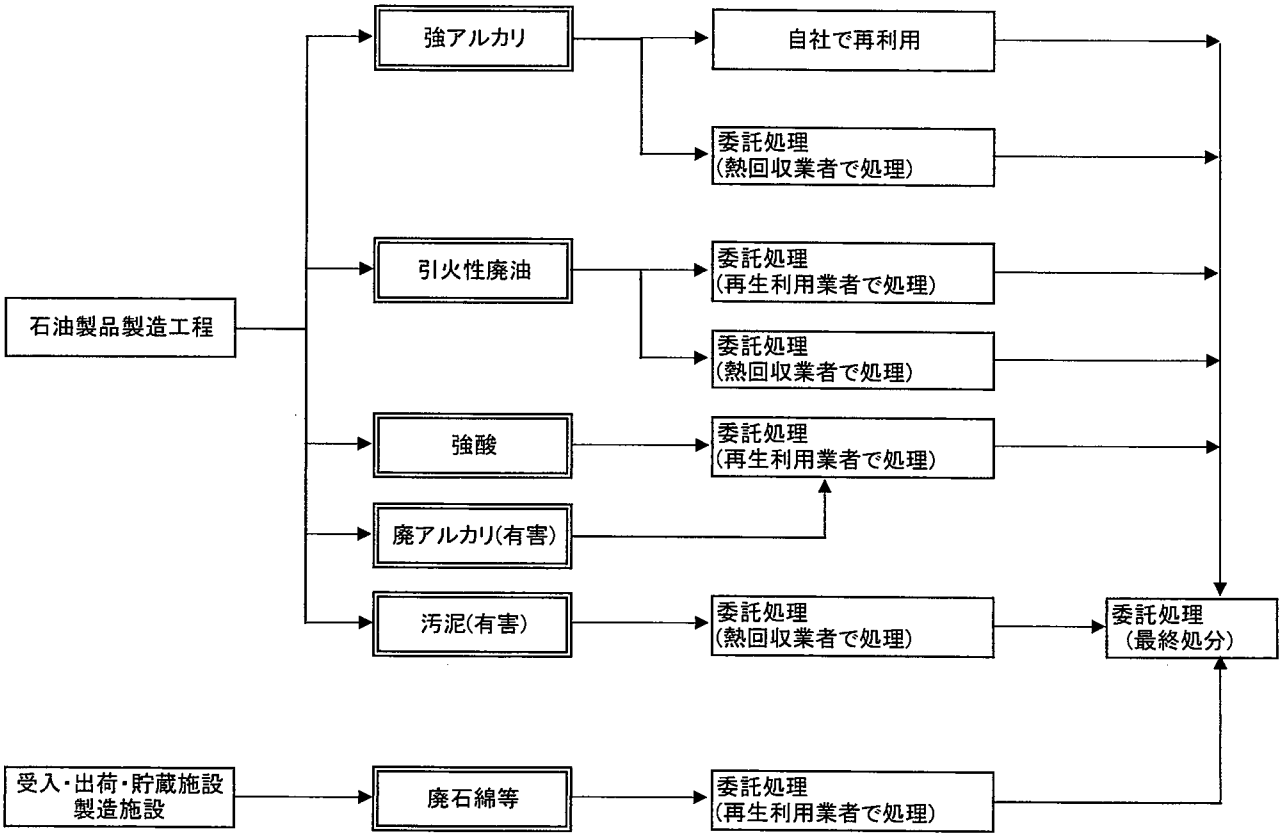
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

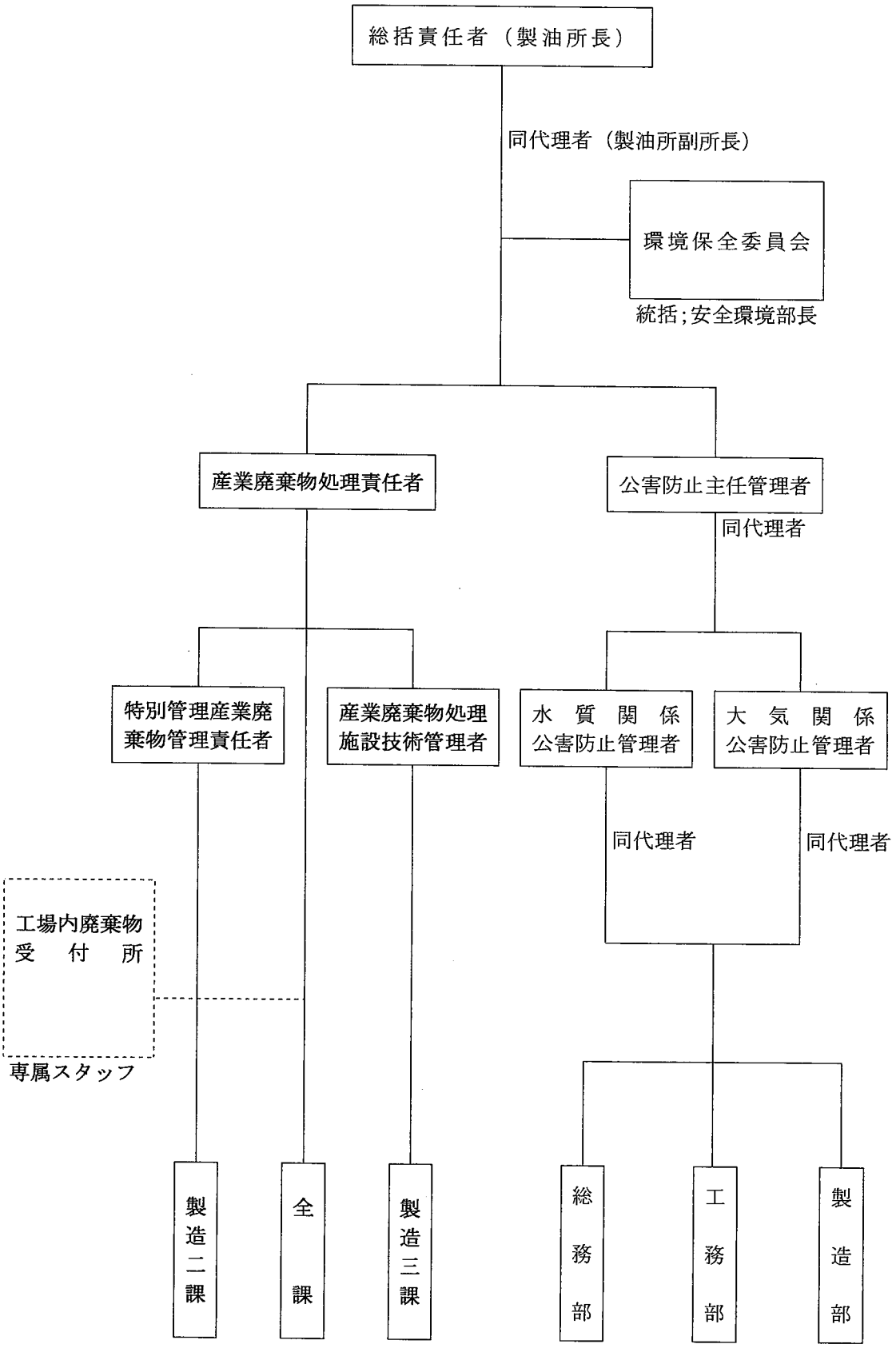
【 別紙1 】
処理工程図(特別管理産業廃棄物)



【　別紙2　】
産業廃棄物対策組織図

富士石油株式会社袖ケ浦製油所

産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制図



<table>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="5">【前年度(令和5年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>引火性廃油</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>411 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

発生源となる貯槽の運転管理を強化することにより、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>引火性廃油</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>460 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

上記取組を継続し発生の抑制に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="3">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="5">【前年度(令和5年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>強酸</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>7152 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

発生源となる装置の運転管理を強化することにより、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>強酸</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>8400 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

今年度は非定修年のため前年と比べ排出量は増加する。
上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="3">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度(令和5年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>強アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>826 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

装置の pH 調整で、廃ソーダを再利用している。
発生源となる装置の運転管理を強化することにより、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>強アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>排出量</td><td>1038 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

上記取組を継続する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度(令和5年度)実績】</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃石綿等</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>7 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

石綿を含有する可能性がある設備機器類の廃保温材等に対して、組成分析を行い石綿の含有の有無を確認することにより、
処分委託量を減量化している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃石綿等</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>5 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

今年度は非定修年のため、前年と比べ排出量は減少する。
上記取組を継続し抑制に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="4">【前年度(令和5年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>汚泥(有害)</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>92 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(これまでに実施した取組)

発生源となる装置の運転管理を強化することにより、当該廃棄物の発生を抑制(当該装置吸着材の交換頻度を低減)し、処分委託を減量化している。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>汚泥(有害)</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>90 [t]</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">(今後実施する予定の取組)

上記取組を継続する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="4">② 現状</td><td colspan="4">【前年度(令和5年度)実績】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ(有害)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0 [t]</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(これまでに実施した取組)

処理委託なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td>廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ(有害)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>排出量</td><td>0 [t]</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">(今後実施する予定の取組)

今年度は処理委託予定なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度(令和５年度)実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>引火性廃油</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>411 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>411 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>331 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>80 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">(これまでに実施した取組)

再生利用を行う業者、優良認定処理業者もしくは熱回収を行う業者へ処理委託している。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>引火性廃油</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>460 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>460 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>360 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>100 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 [t]</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">(今後実施する予定の取組)

可能な限り再生利用業者、優良認定処理業者もしくは熱回収業者へ処理委託する方針で検討する。</td></tr>
</table>

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和５年度)実績】			
		産業廃棄物の種類		強酸	
		全処理委託量		7152 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	0 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	7152 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組) 再生利用を行う業者へ処理委託している。			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		強酸	
		全処理委託量		8400 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	0 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	8400 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組) 可能な限り再生利用を行う業者へ処理委託する方針で検討する。			

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和５年度)実績】			
		産業廃棄物の種類		強アルカリ	
		全処理委託量		419 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	419 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	338 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	81 [t]	
		(これまでに実施した取組) 熱回収を行う業者へ処理委託している。			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		強アルカリ	
		全処理委託量		600 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	600 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	480 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	120 [t]	
		(今後実施する予定の取組) 可能な限り優良認定処理業者もしくは熱回収を行う業者へ委託する方針で検討する。			

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和５年度)実績】			
		産業廃棄物の種類		廃石綿等	
		全処理委託量		7 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	7 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	7 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組) 100%リサイクルを行う業者へ処理委託している。			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		廃石綿等	
		全処理委託量		5 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	5 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	5 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組) 可能な限り再生利用を行う業者へ処理委託する方針で検討する。			

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和５年度)実績】			
		産業廃棄物の種類		汚泥(有害)	
		全処理委託量		92 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	92 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	92 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
			(これまでに実施した取組) 熱回収を行う業者へ処理委託している。		
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		汚泥(有害)	
		全処理委託量		90 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	90 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	90 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
			(今後実施する予定の取組) 可能な限り再生利用を行う業者もしくは熱回収業者へ処理委託する方針で検討する。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	② 現状	【前年度(令和５年度)実績】			
		産業廃棄物の種類		廃アルカリ(有害)	
		全処理委託量		0 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	0 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組) 処理委託なし			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		廃アルカリ(有害)	
		全処理委託量		0 [t]	
			優良認定処理業者への処理委託量	0 [t]	
			再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組) 今年度は処理委託の予定なし。			

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和６年　６月２８日

千葉県知事
熊　谷　　俊　人　殿

提出者　　〒299-0266
住　所　千葉県袖ケ浦市北袖1番地
氏　名　富士石油株式会社　袖ケ浦製油所
取締役常務執行役員製油所長 岩本 巧
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0438-63-7044

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第11項の規定に基づき、令和~~６~~５年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	富士石油株式会社　袖ケ浦製油所
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖1番地
事業の種類	大分類：製造業　　中分類：石油製品・石炭製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月１日　～　令和６年３月３１日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	8850 t	全処理委託量	8485 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	365 t	優良認定処理業者への処理委託量	595 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	7905 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	480 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	100 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度　10270 t 前年度　8488 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

電子情報処理組織（電子マニフェスト）使用している。

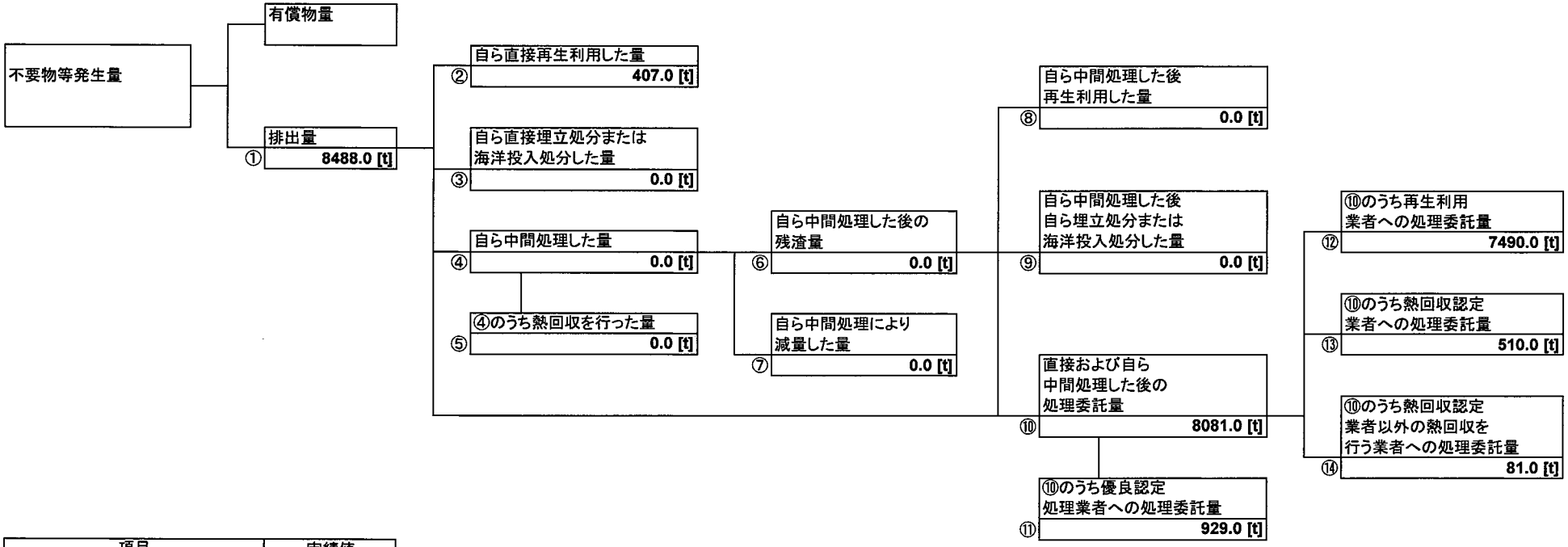
※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

君津地域振興事務所 -6.6.28 収受

計画の実施状況

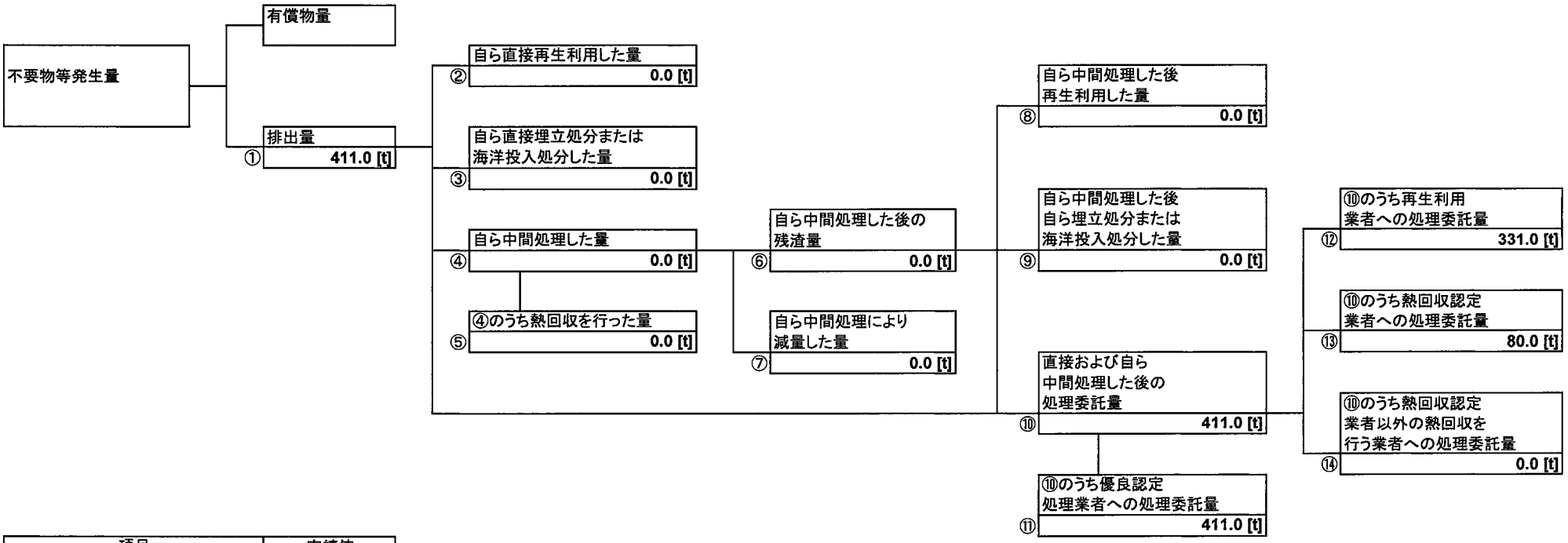
(特別産業廃棄物の種類:総量)



項目	実績値
①排出量	8488.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	407.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	8081.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	929.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	7490.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	510.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	81.0 [t]

計画の実施状況

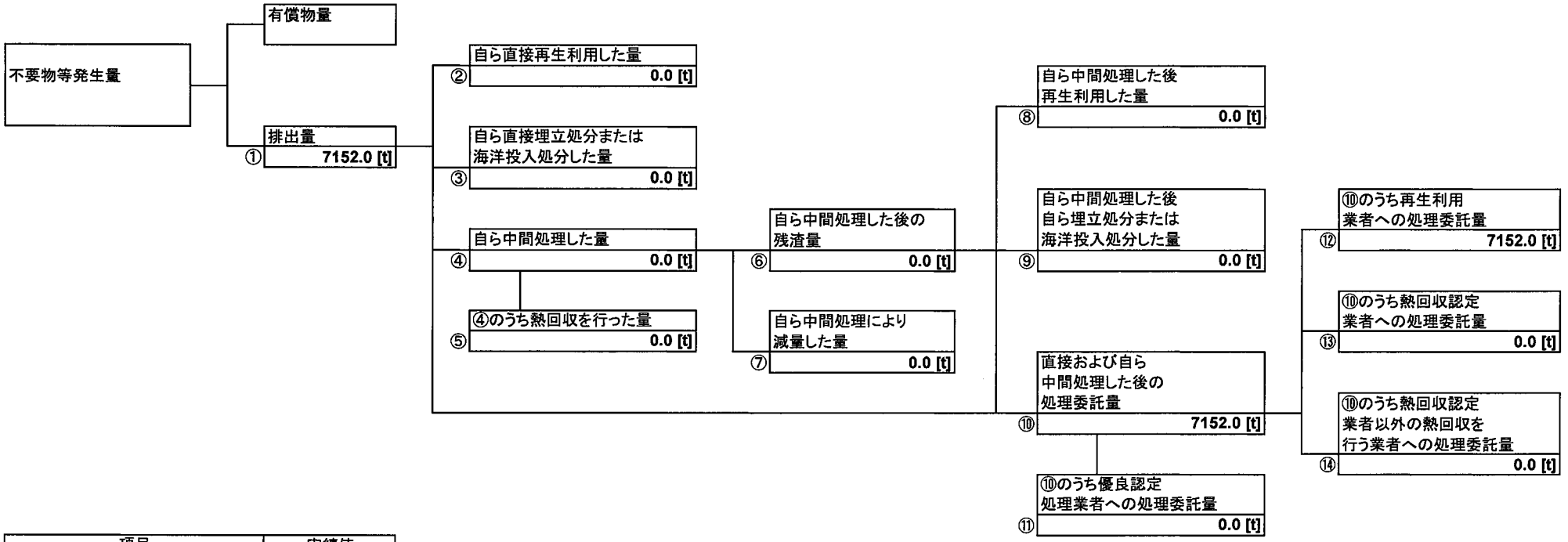
(産業廃棄物の種類: 引火性廃油)



項目	実績値
①排出量	411.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	411.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	411.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	331.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	80.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

計画の実施状況

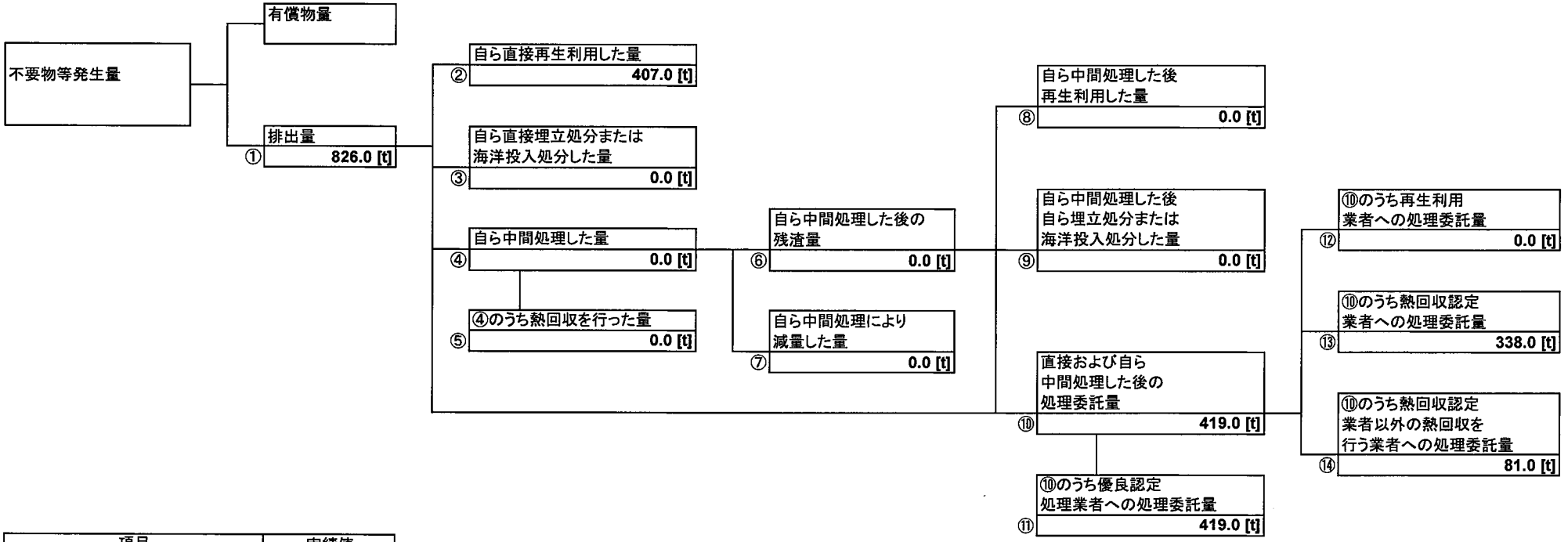
(産業廃棄物の種類: 強酸)



項目	実績値
①排出量	7152.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	7152.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	7152.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

計画の実施状況

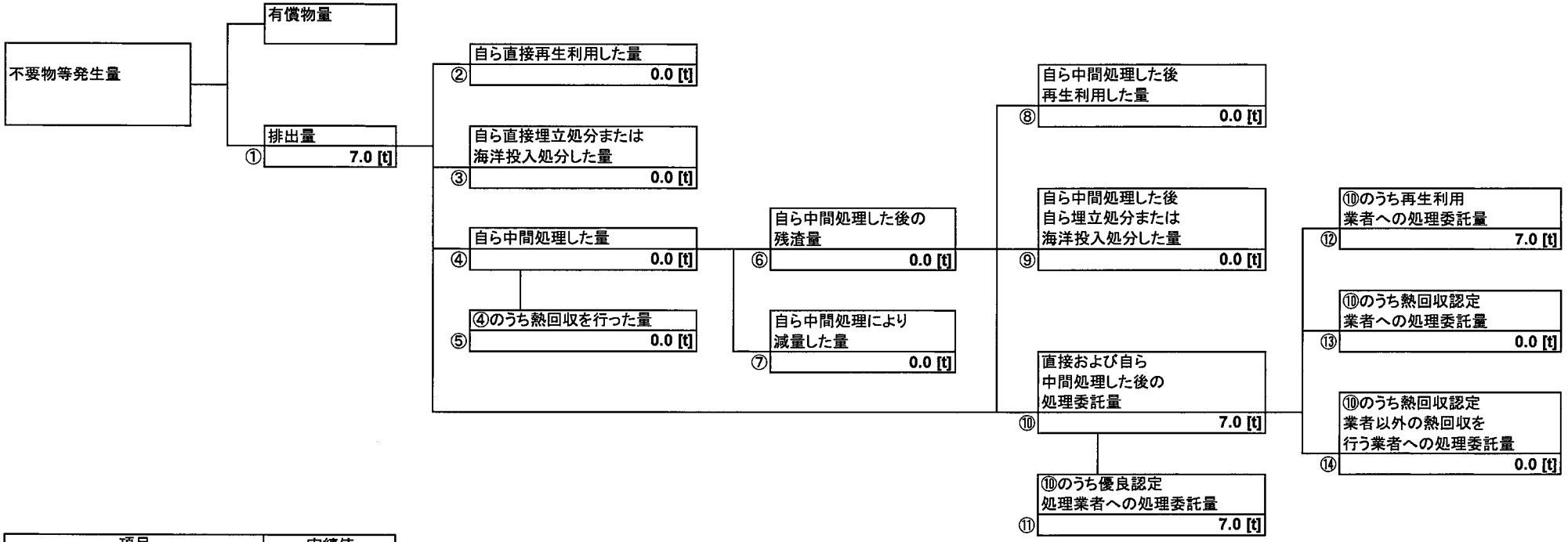
(産業廃棄物の種類: 強アルカリ)



項目	実績値
①排出量	826.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	407.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	419.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	419.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	338.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	81.0 [t]

計画の実施状況

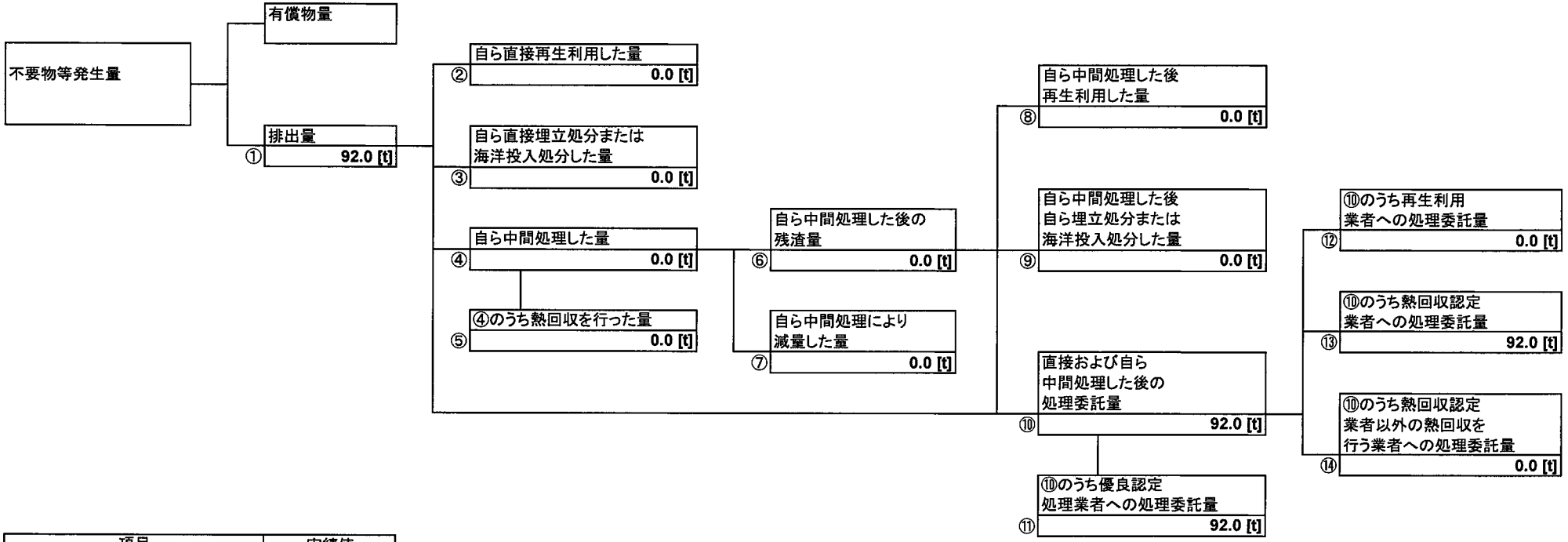
(産業廃棄物の種類: 廃石綿等)



項目	実績値
①排出量	7.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	7.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	7.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

計画の実施状況

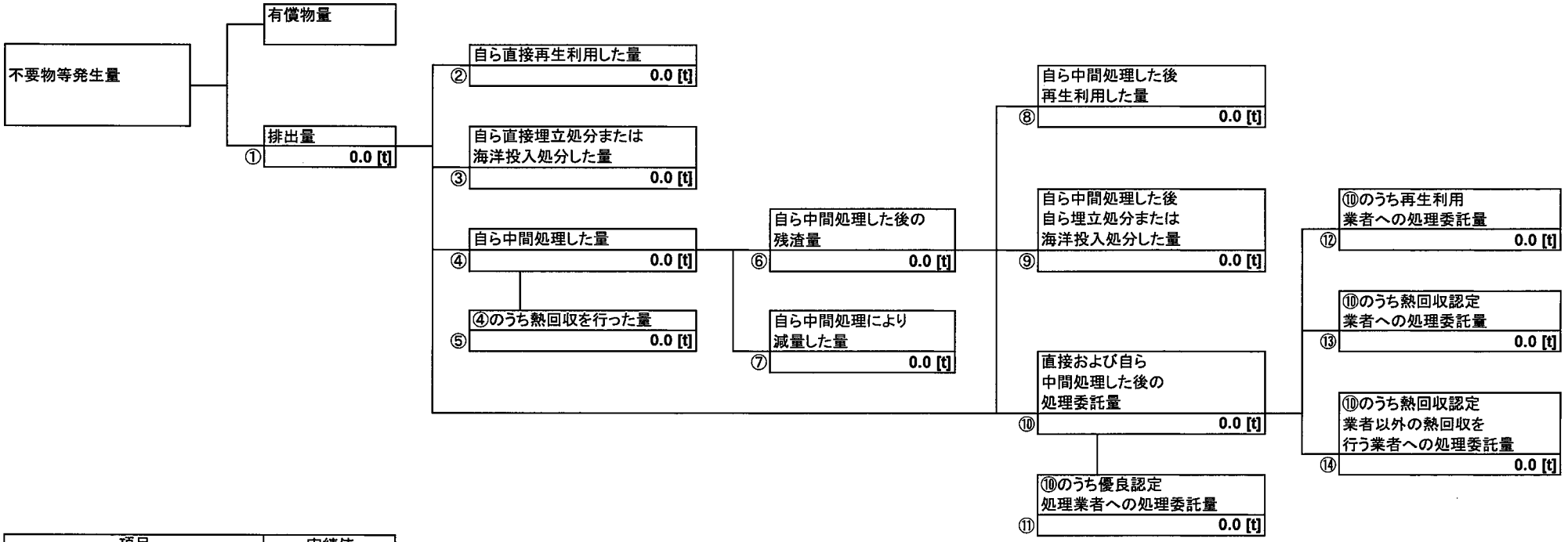
(産業廃棄物の種類: 汚泥(有害))



項目	実績値
①排出量	92.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	92.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	92.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	92.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ(有害))



項目	実績値
①排出量	0.0 [t]
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 [t]
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 [t]
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 [t]
③+⑨自ら埋立処分または海洋投入処分を行った量	0.0 [t]
⑩全処分委託量	0.0 [t]
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 [t]
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 [t]
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 [t]
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 [t]

備考

1　翌年度の６月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　　6 年　 6 月 21 日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者〒290-8511

住　所　千葉県市原市八幡海岸通7番地

氏　名　富士電機株式会社
　　工場長　西條　学

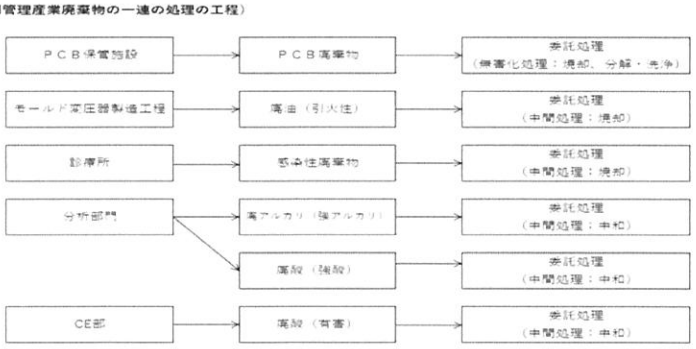
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　 0436-42-8517

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富士電機株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通7番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

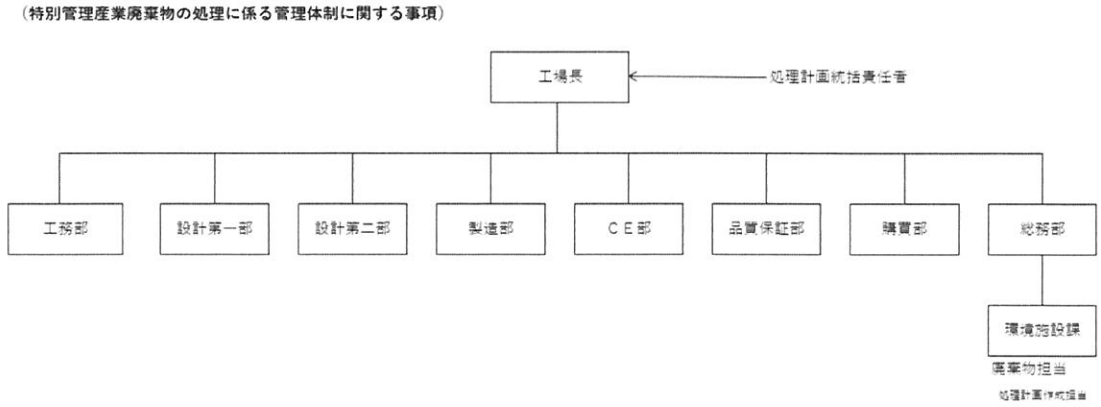
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　中分類：電気機械器具製造業
②事業の規模	前年度出荷額：307億円
③従業員数	741名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 計画的に材料を発注し余剰材による産業廃棄物の排出の抑制している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、廃棄物の搬出抑制に取り組む。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の品目ごとに施錠し保管している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引きつづき、分別保管を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに実績はない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も実施しない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに実績はない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組 ） 今後も実施しない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
これまでに実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
今後も実施しない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
優良認定事業者への委託を心掛け契約前は必ず現地確認を実施している。

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も、優良認定事業者への委託を継続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>6　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）
既に、電子マニフェストを導入済。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
		排　出　量	53.226　t	6.043　t	0　t	0.02　t	0　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
		排　出　量	100　t	10　t	0.5　t	0.5　t	0.5　t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
全処理委託量	53.226 t	6.043 t	0 t	0.02 t	0 t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	6.043 t	0 t	0.02 t	0 t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	PCB廃棄物	引火性廃油	廃酸（強酸）	廃酸（有害）	感染性廃棄物			
全処理委託量	100 t	10 t	0.5 t	0.5 t	0.5 t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	10 t	0.5 t	0.5 t	0.5 t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　6年　6月 21 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒290-8511
住 所　千葉県市原市八幡海岸通7番地
氏 名　富士電機株式会社 千葉工場
工場長 西條 学
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0436-42-5817

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、 令和5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	富士電機株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通7番地
事業の種類	大分類:製造業 中分類:電気機械器具製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	61.5 t	全処理委託量	61.5 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	9.7 t
	前年度	6t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

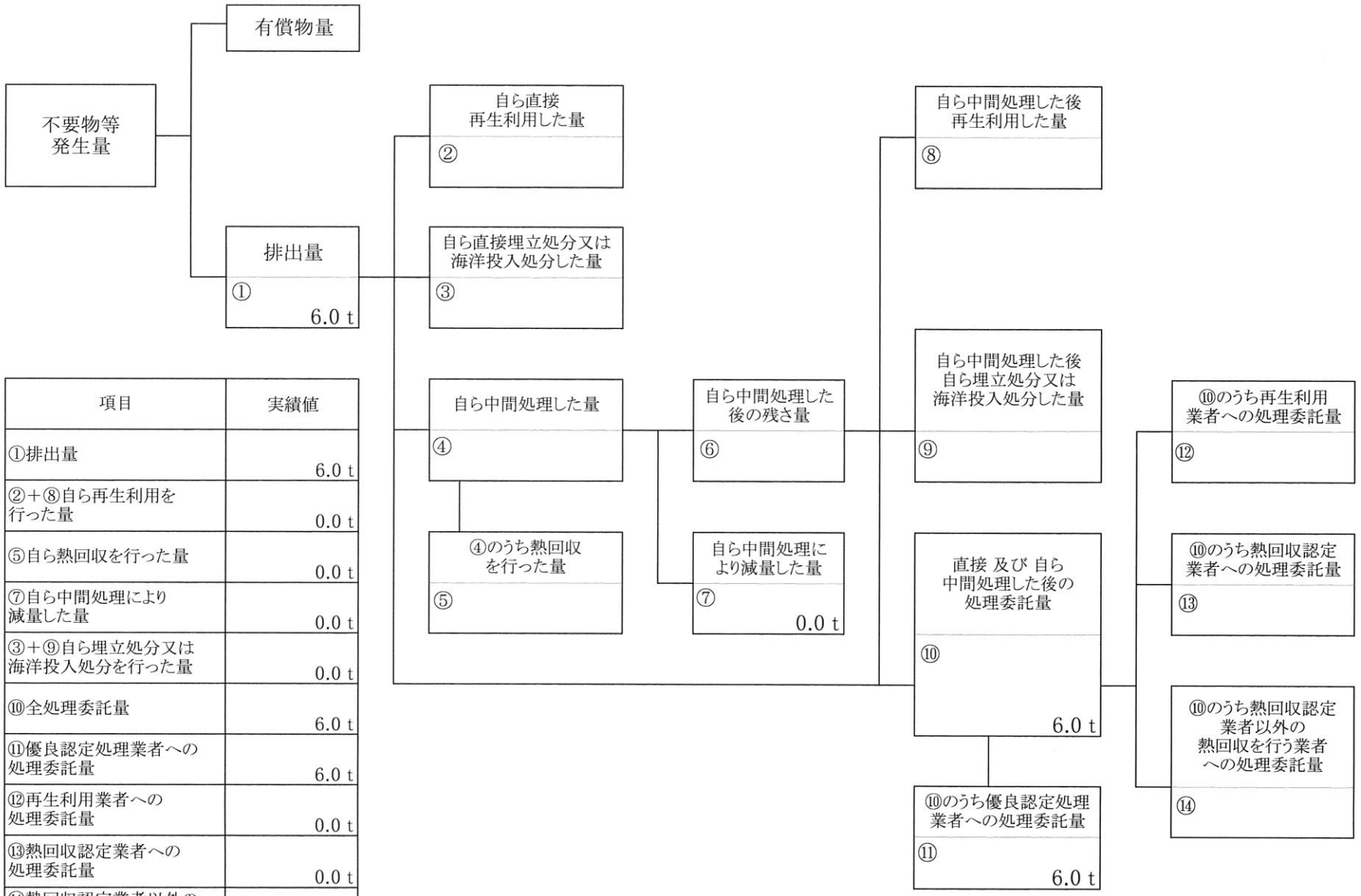
既に、電子マニフェストを導入済

※事務処理欄	

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（引火性廃油）　）

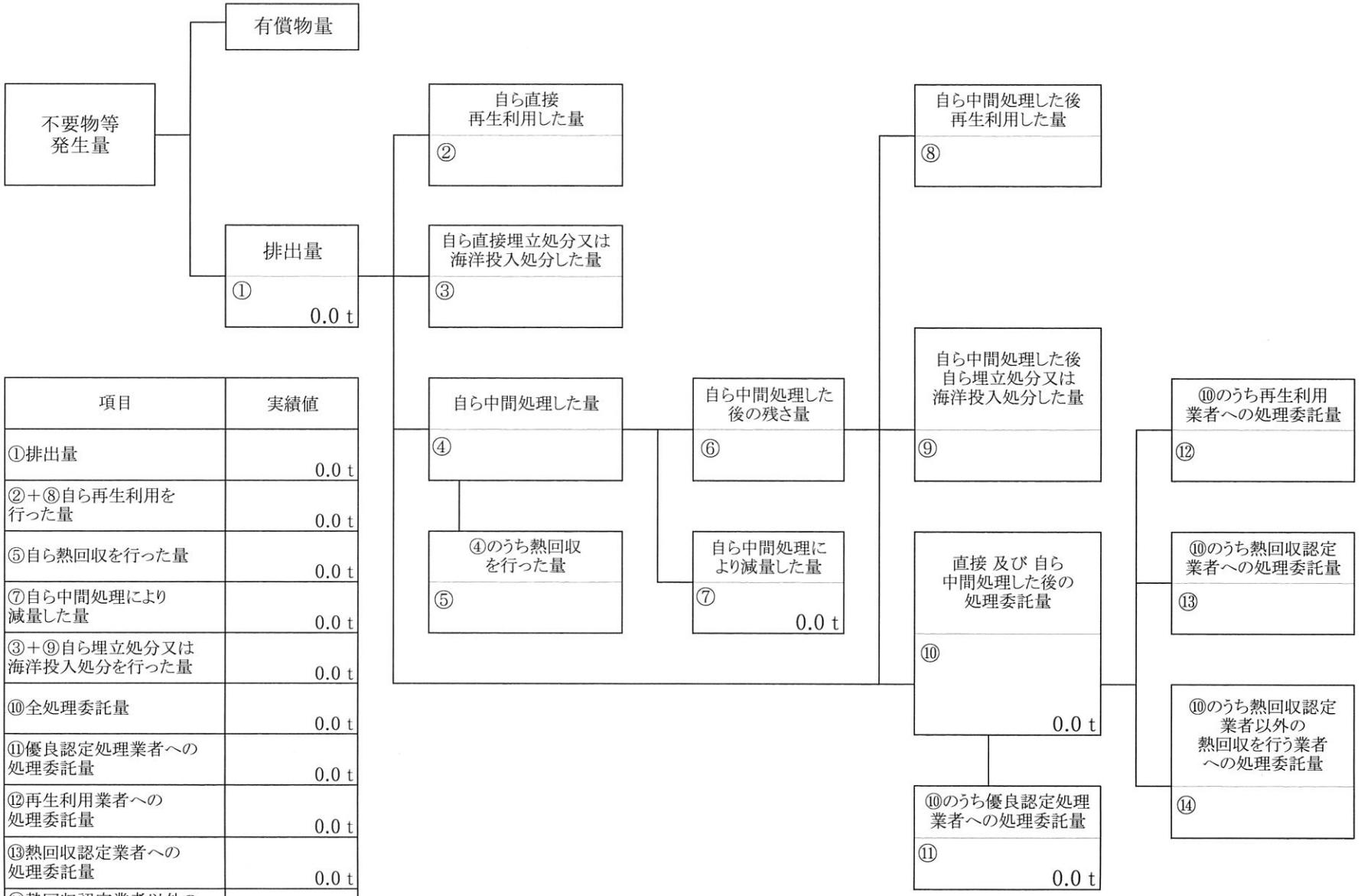


項目	実績値
①排出量	6.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸（強酸）　）

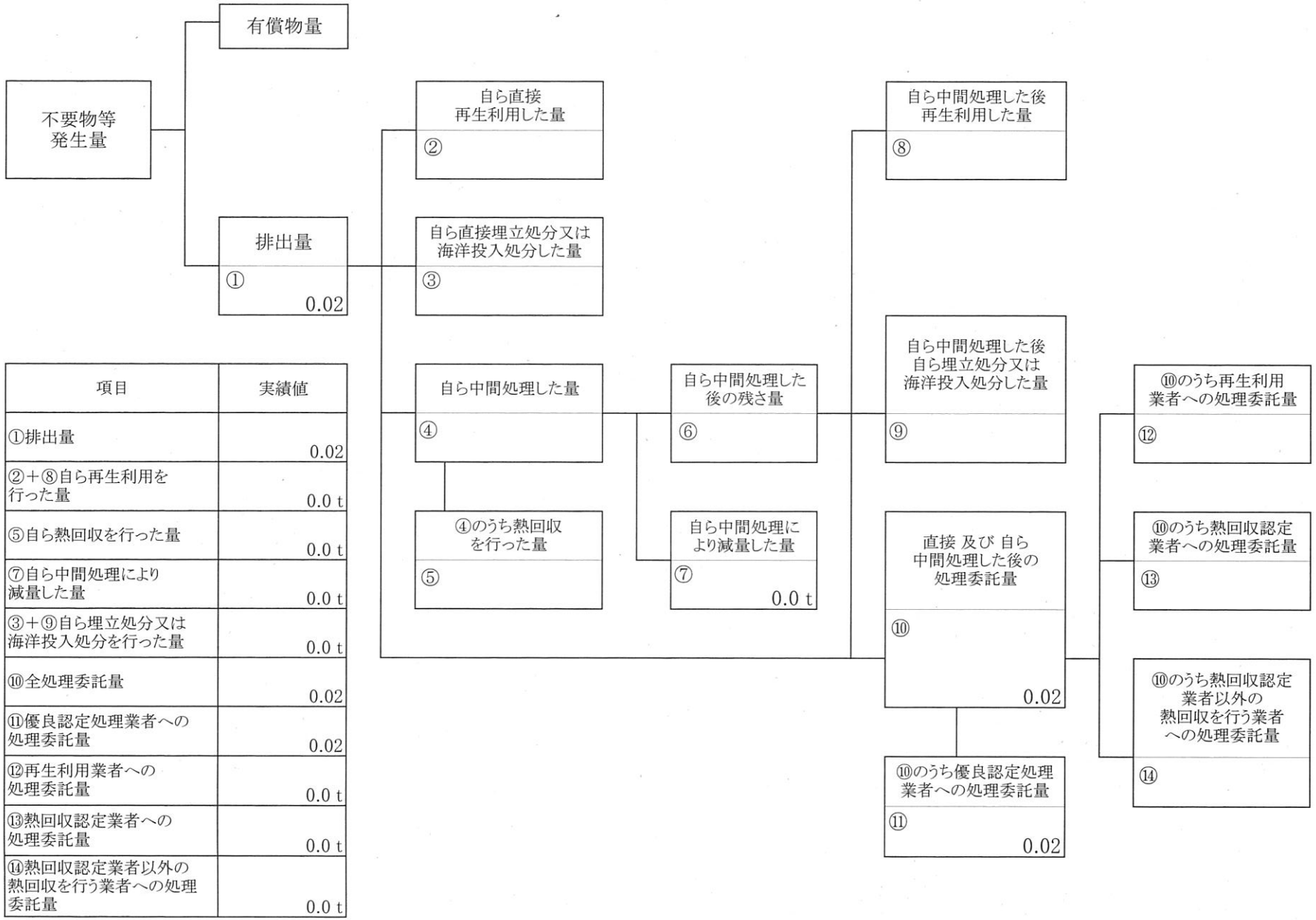


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸（有害）　）

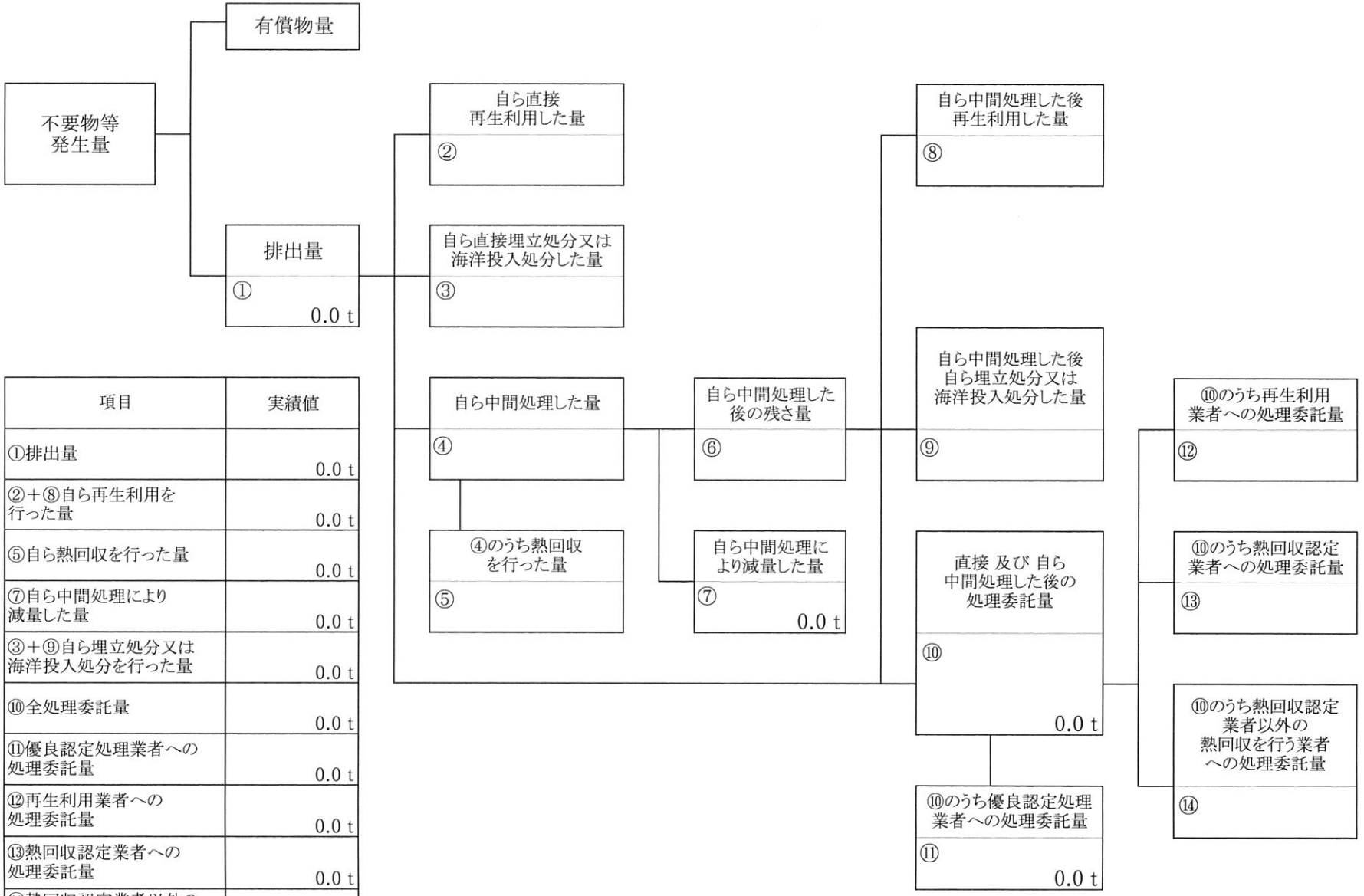


項目	実績値
①排出量	0.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　感染性廃棄物　）

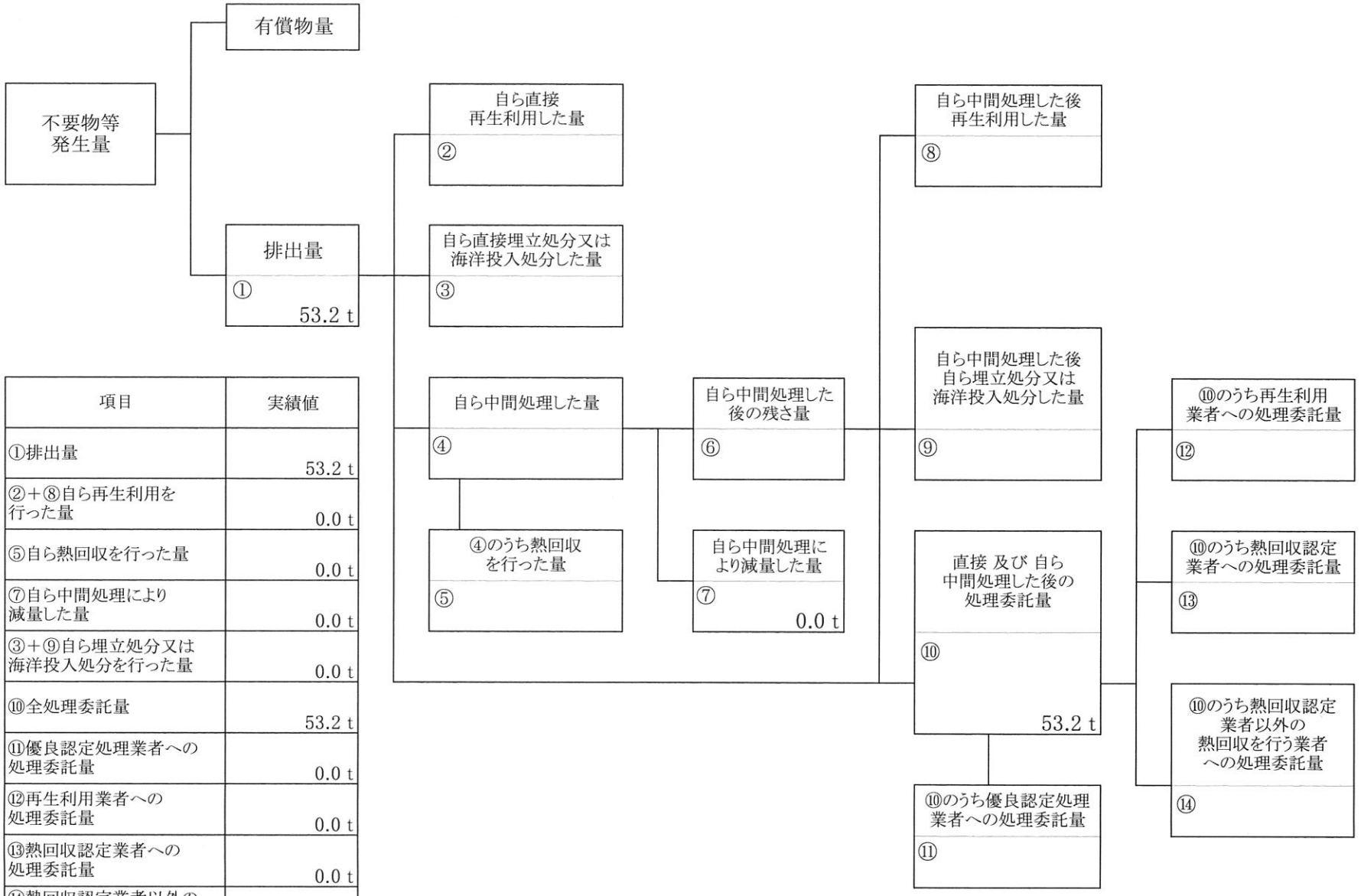


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　PCB廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	53.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	53.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　6年　　6月　　30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒275-0001
住　所　千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
WBGマリヴウエスト２０F
氏　名　フジフーズ株式会社
代表取締役　社長執行役員
武藤与志巳
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　043-297-8300

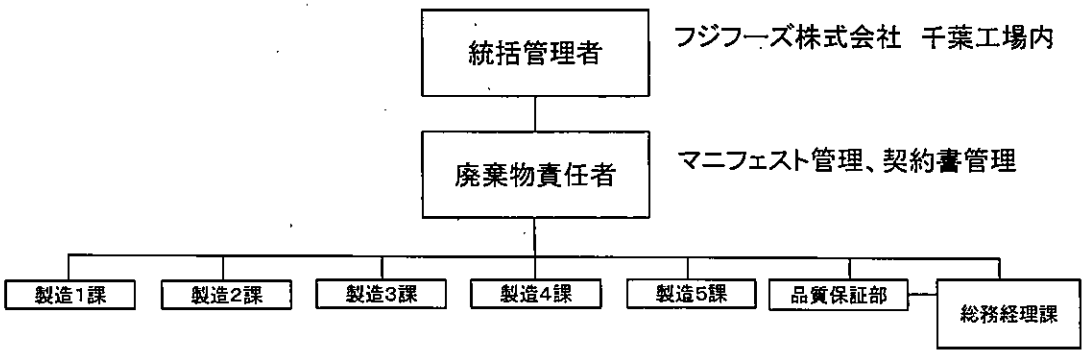
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	フジフーズ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県習志野市東習志野6-22-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　中分類：食品製造業
②事業の規模	前年度の製品出荷額：　396.6億円
③従業員数	従業員：1,680名(正社員：114名、嘱託社員：3名、時給制従業員：1,277名、実習生：220名、臨時従業員：66名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１参照

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】　別紙２の通り		
	産業廃棄物の種類_		
	排　　出　　量_	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	排　　出　　量_	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 適正に種類ごとに分類している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 適正な分類を継続する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】　別紙２の通り		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】　別紙２の通り		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】　別紙２の通り		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】　別紙２の通り		
	産業廃棄物の種類_		
	全処理委託量_	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

	②計画	【目標】　別紙２の通り		
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

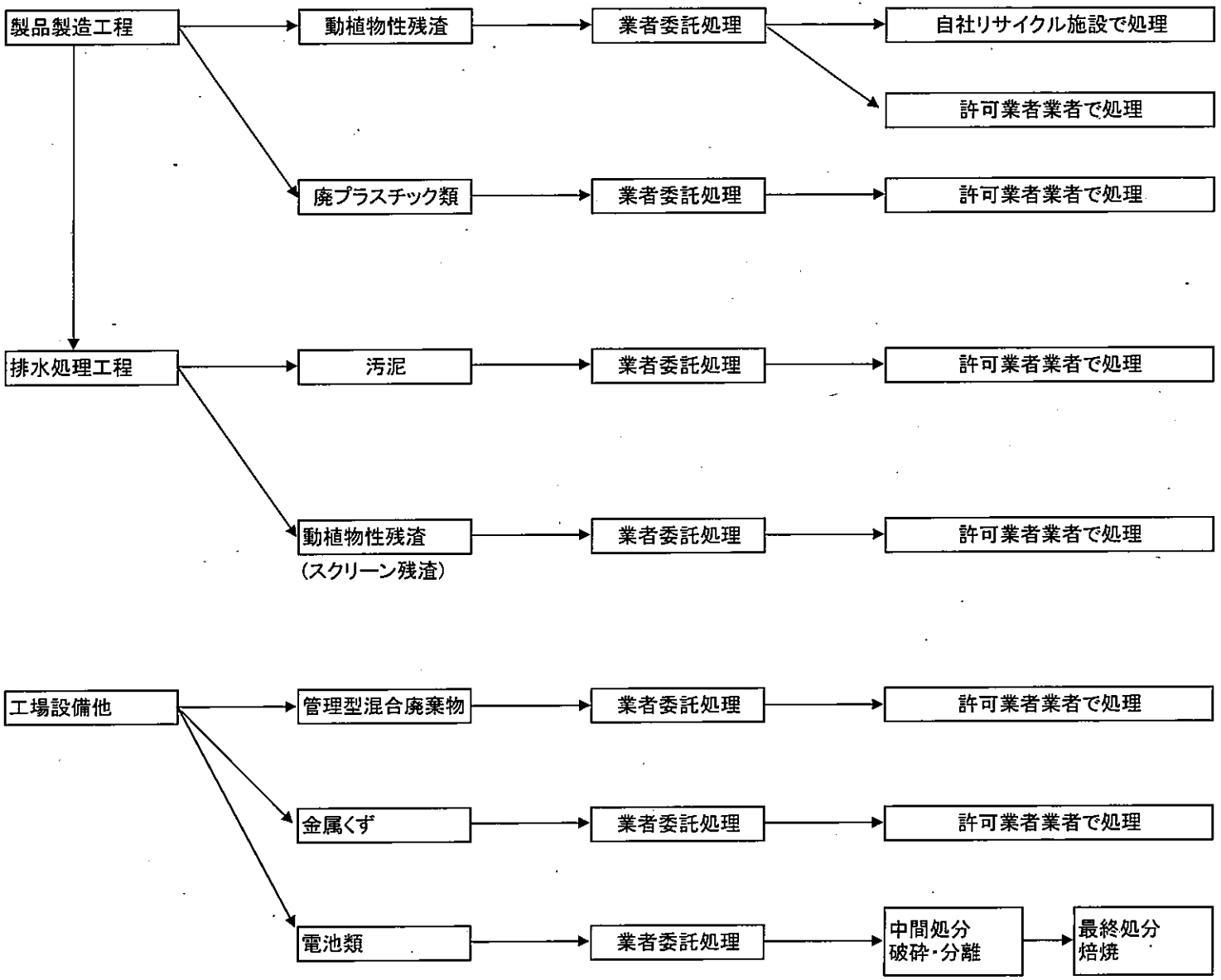
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1

④産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和　5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
排出量	811.0 t	3,002.7 t	2,438.4 t	3.9 t	1.2 t	0.2 t	t

(これまでに実施した取組)
廃プラスチック類:分別の強化。不用品の削減。
金属くず:鋼材の管理強化。
(破材のムダ削減及び新品鋼材と中古鋼材の置場管理)
混合廃棄物:金属と分別できるものは極力分別。
汚泥:排水業者の定期的な点検及び部品交換。現場での節水及び酵素装置の活用。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
排出量	729.9 t	2,702.4 t	2,194.6 t	3.5 t	1.1 t	0.1 t	t

(今後実施する予定の取組)
上記事項を継続して取り組んでいく。
従業員及び管理業者との連携を強化し新しい設備やムダの排除に取り組んでいく。
廃棄物発生量の10%削減。
動植物性残さ:自社でリキッド飼料化の原料として使用する為、産業廃棄物として排出しないことにより大幅削減になる。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和　5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和　5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t

(これまでに実施した取組)
実績無し

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t

(今後実施する予定の取組)
予定無し

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和　5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t

(これまでに実施した取組)
実績無し

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t

(今後実施する予定の取組)
予定無し

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和 5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
全処理委託量	811.0 t	3,002.7 t	2,438.4 t	3.9 t	1.2 t	0.2 t	
優良認定処理業者への処理委託量	700.9 t	1,159.0 t	205.5 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
再生利用業者への処理委託量							
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			2,267.4 t				

(これまでに実施した取組)
廃プラスチック類:分別の強化。不用品の削減。
金属くず:鋼材の管理強化。
(破材のムダ削減及び新品鋼材と中古鋼材の置場管理)
混合廃棄物:金属と分別できるものは極力分別。
汚泥:排水業者の定期的な点検及び部品交換。現場での節水及び酵素装置の活用。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	金属くず	水銀使用製品産業廃棄物	
全処理委託量	729.9 t	2,702.4 t	2,194.6 t	3.5 t	1.1 t	0.1 t	
優良認定処理業者への処理委託量	630.8 t	1,043.1 t	185.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
再生利用業者への処理委託量							
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			2,040.7 t				

(これまでに実施した取組)
上記事項を継続して取り組んでいく。
従業員及び管理業者との連携を強化し新しい設備やムダの排除に取り組んでいく。
廃棄物発生量の10%削減。
動植物性残さ:自社でリキッド飼料化の原料として使用する為、産業廃棄物として排出しないことにより大幅削減になる。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒275-0001
住 所　千葉県千葉市美浜区中瀬2－6－1
WBGマリヴウエスト20F
氏 名　フジフーズ株式会社
代表取締役 社長執行役員 武藤与志巳
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 043-297-8300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	フジフーズ株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県習志野市東習志野6-22-1
事業の種類	大分類:製造業 中分類:食品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

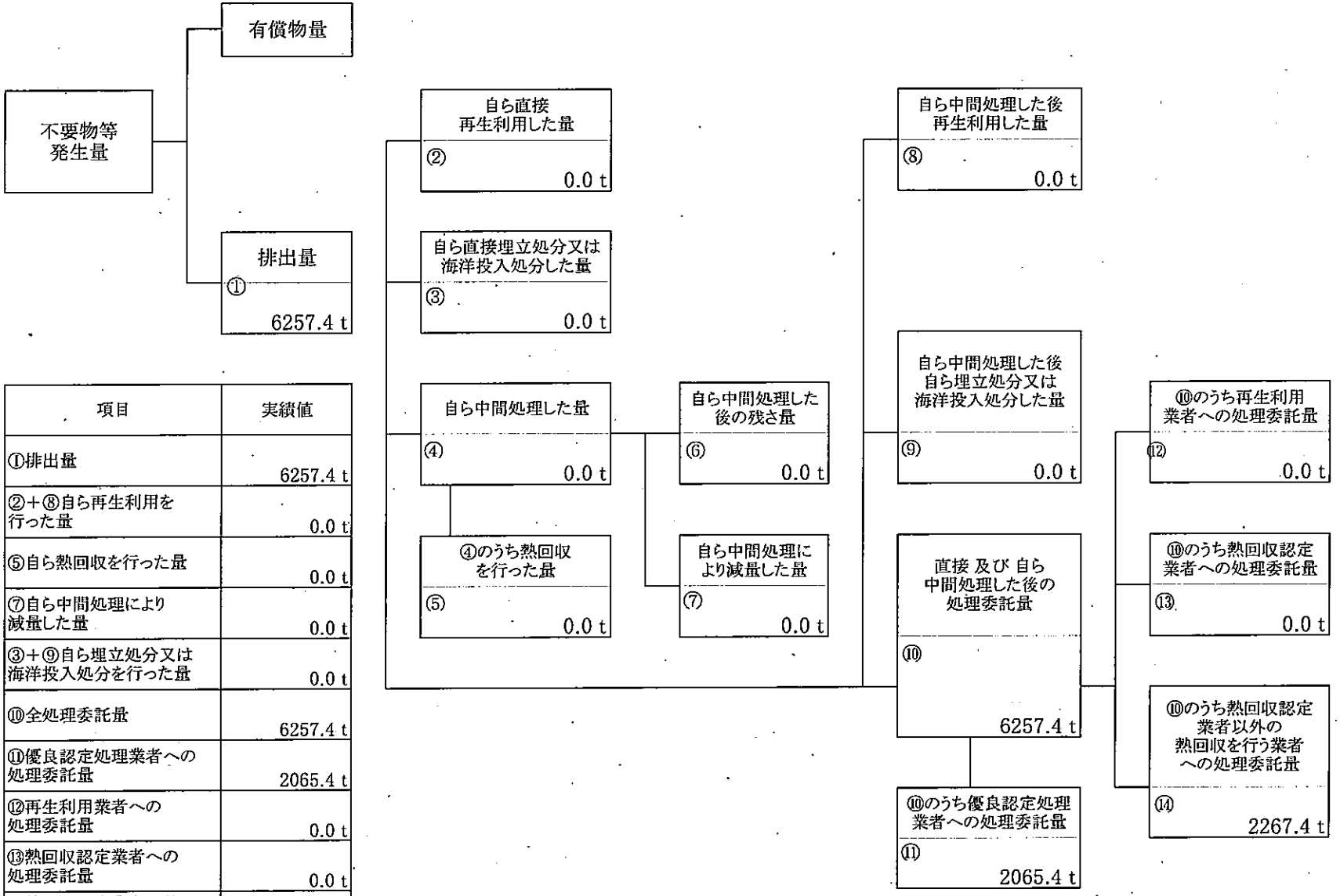
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	~~5684.3~~ 5439.1 t	全処理委託量	~~5684.3~~ 5439.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1661.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：全体　　）

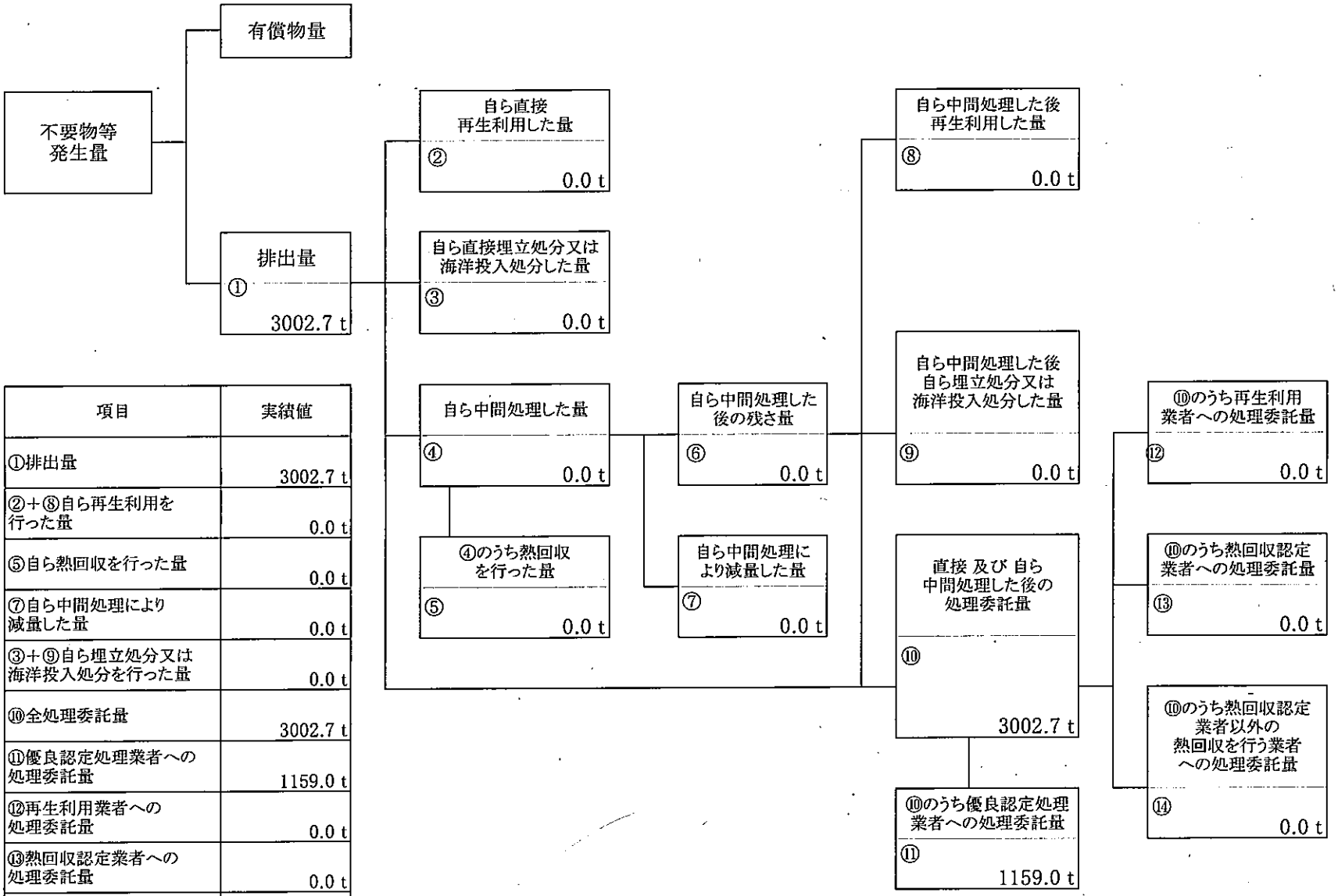


項目	実績値
①排出量	6257.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6257.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2065.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2267.4 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：汚泥　　）

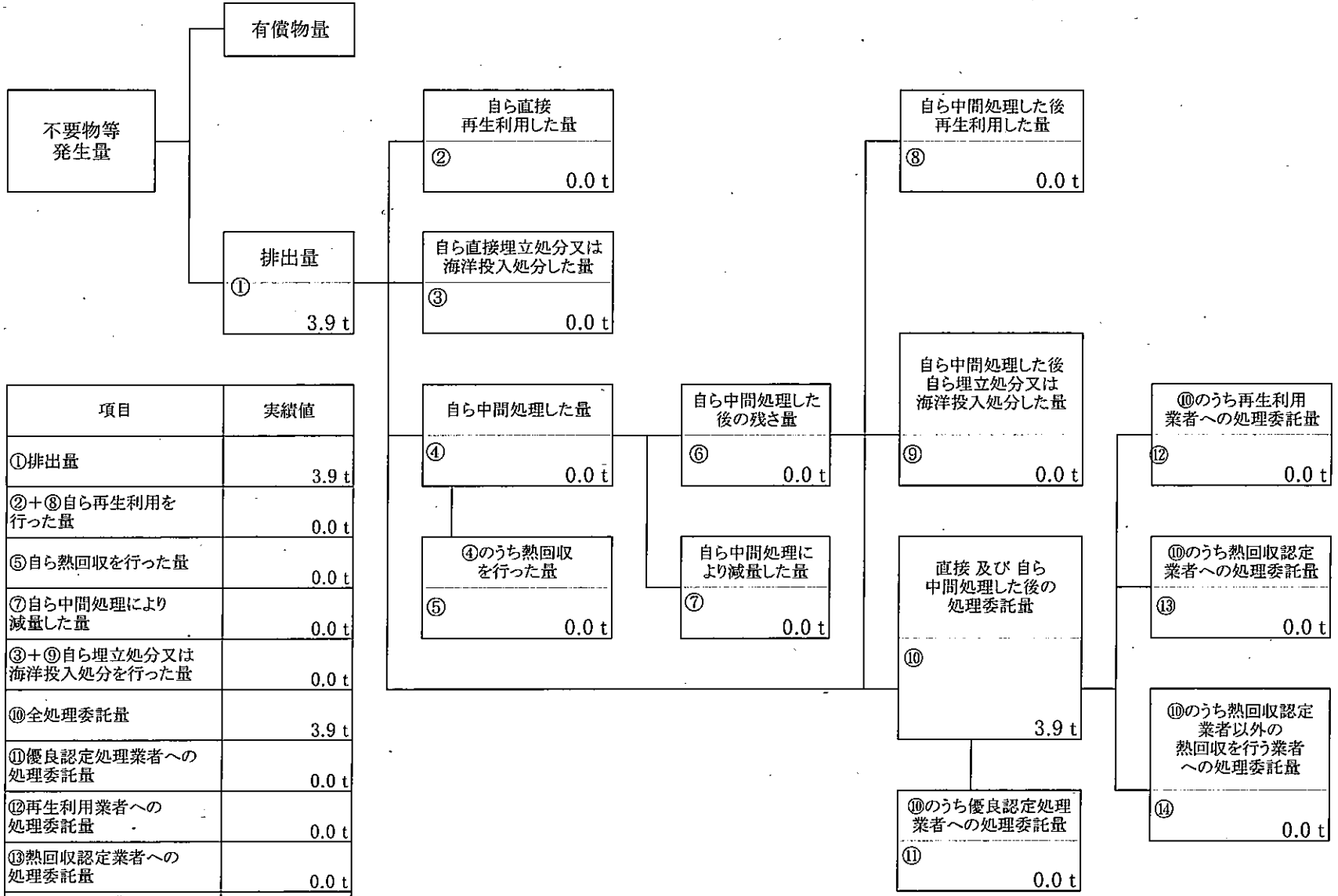


項目	実績値
①排出量	3002.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3002.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1159.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：管理型混合廃棄物　　）

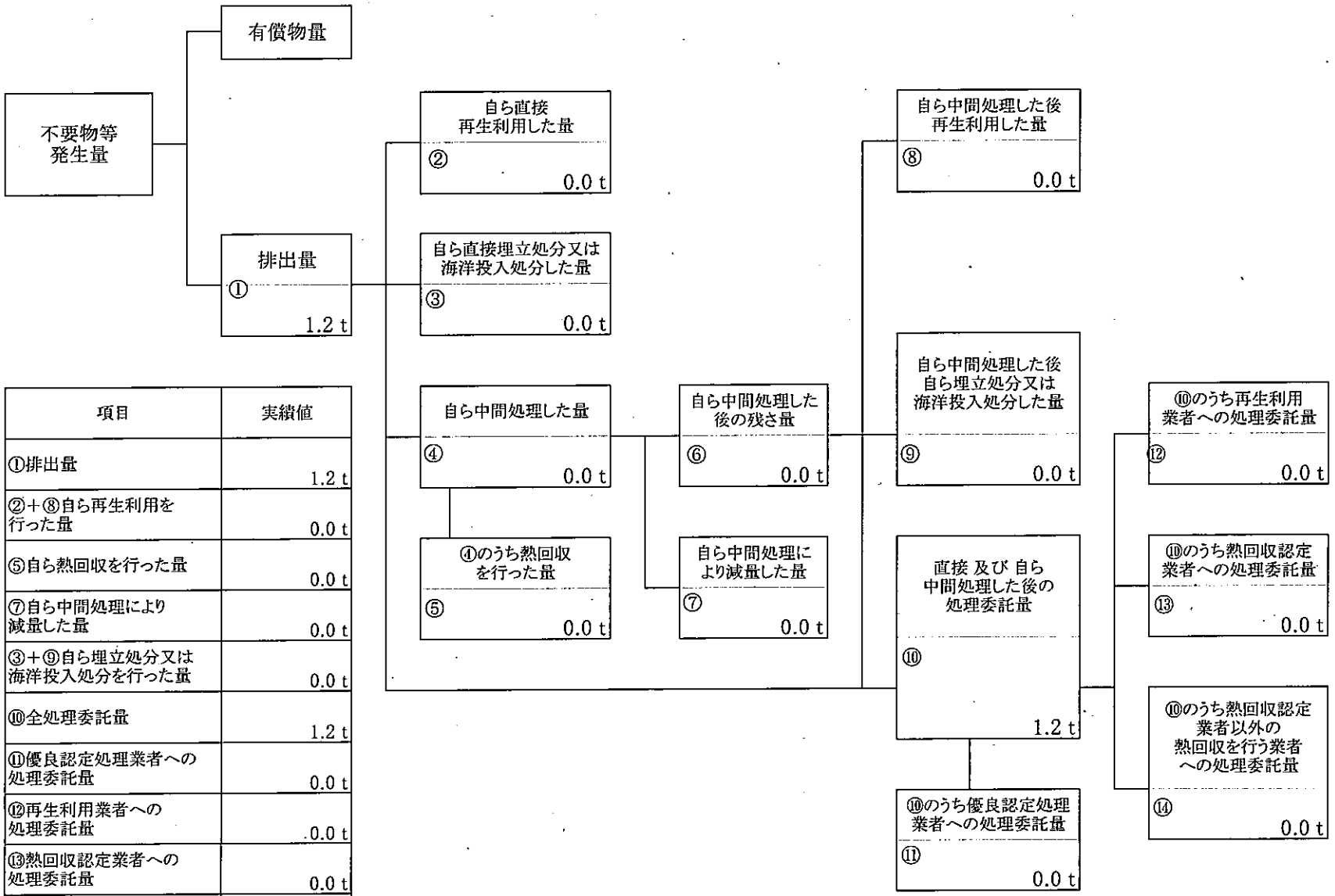


項目	実績値
①排出量	3.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：金属くず　　）

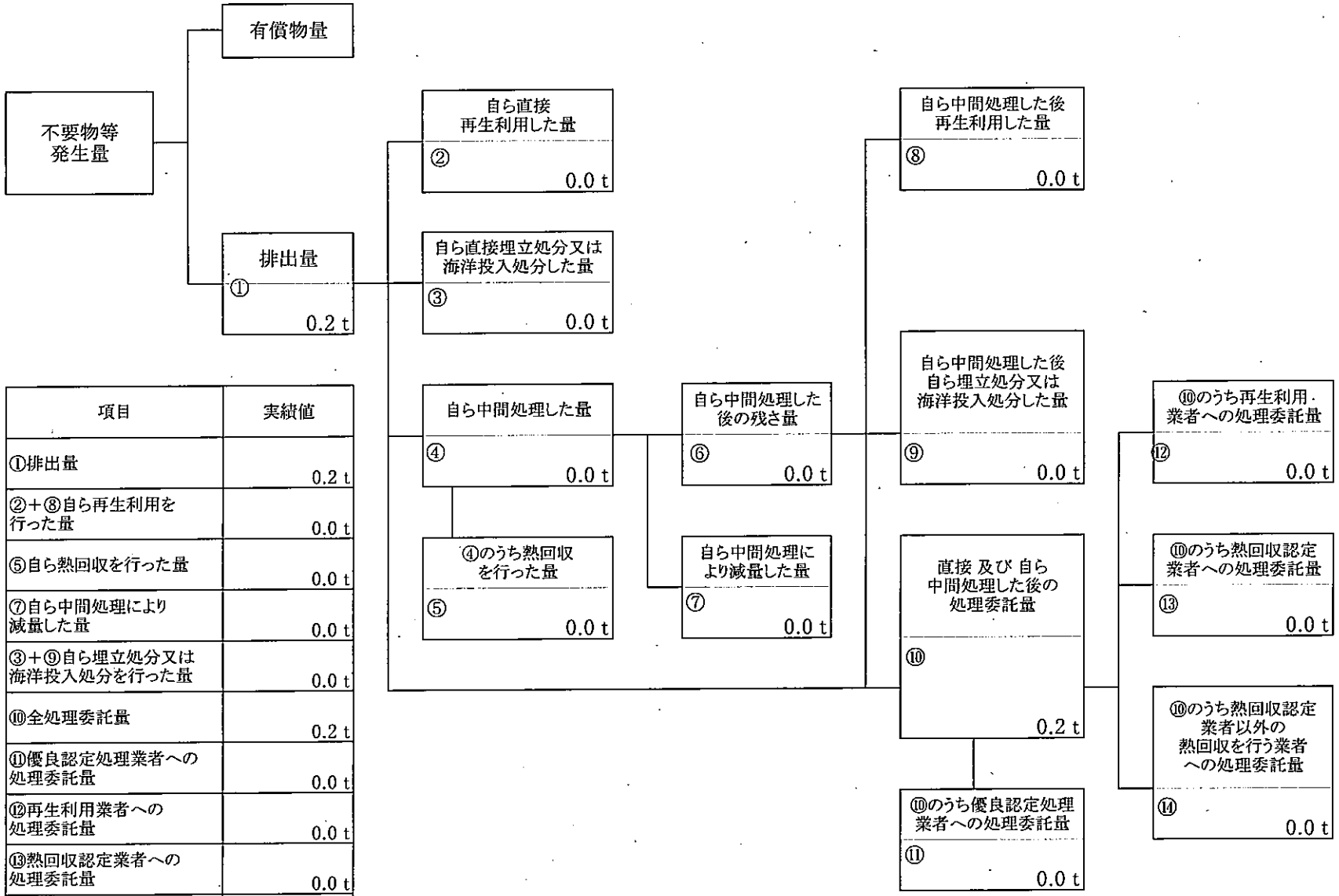


項目	実績値
①排出量	1.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物　　）

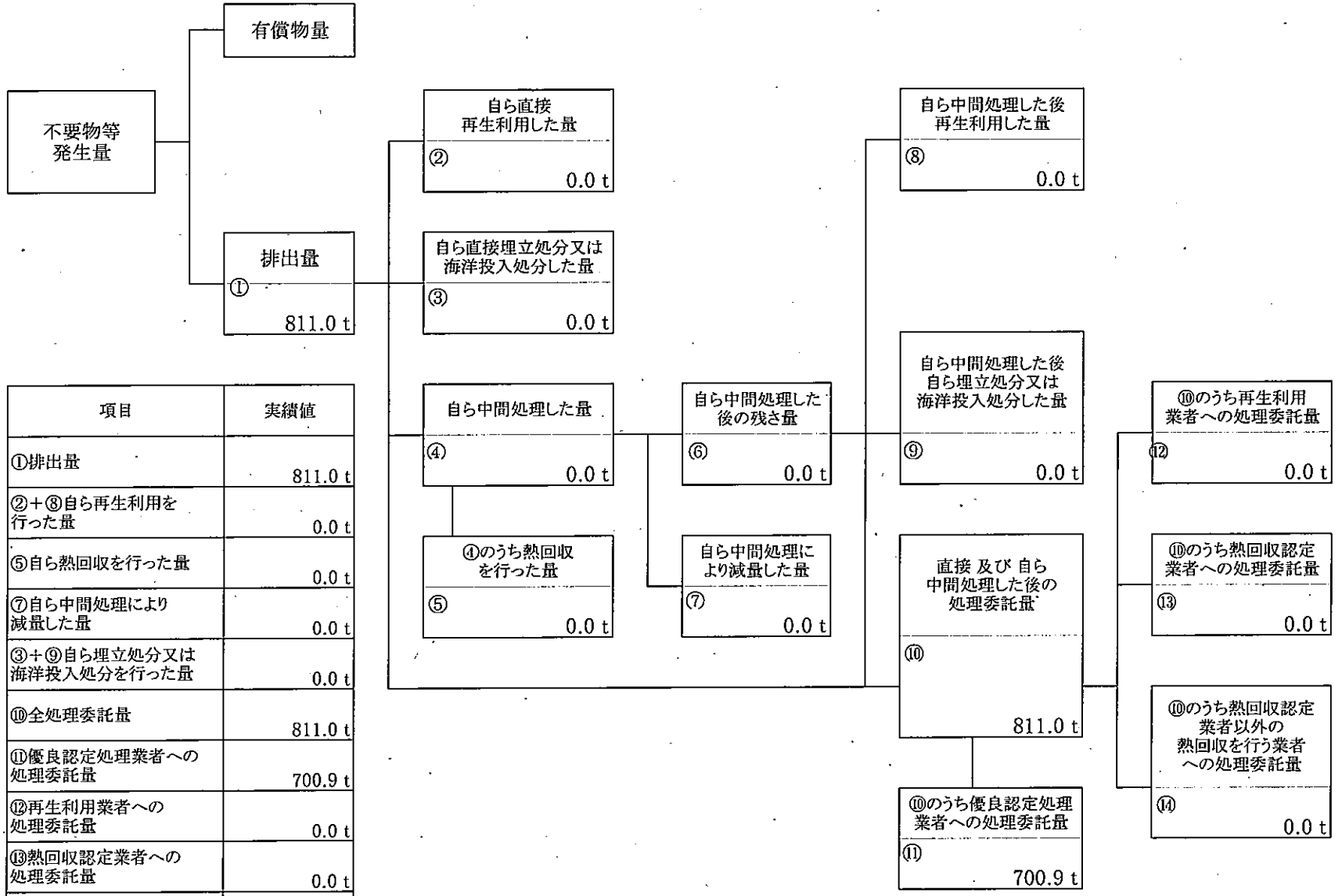


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：動・植物性残渣　　）

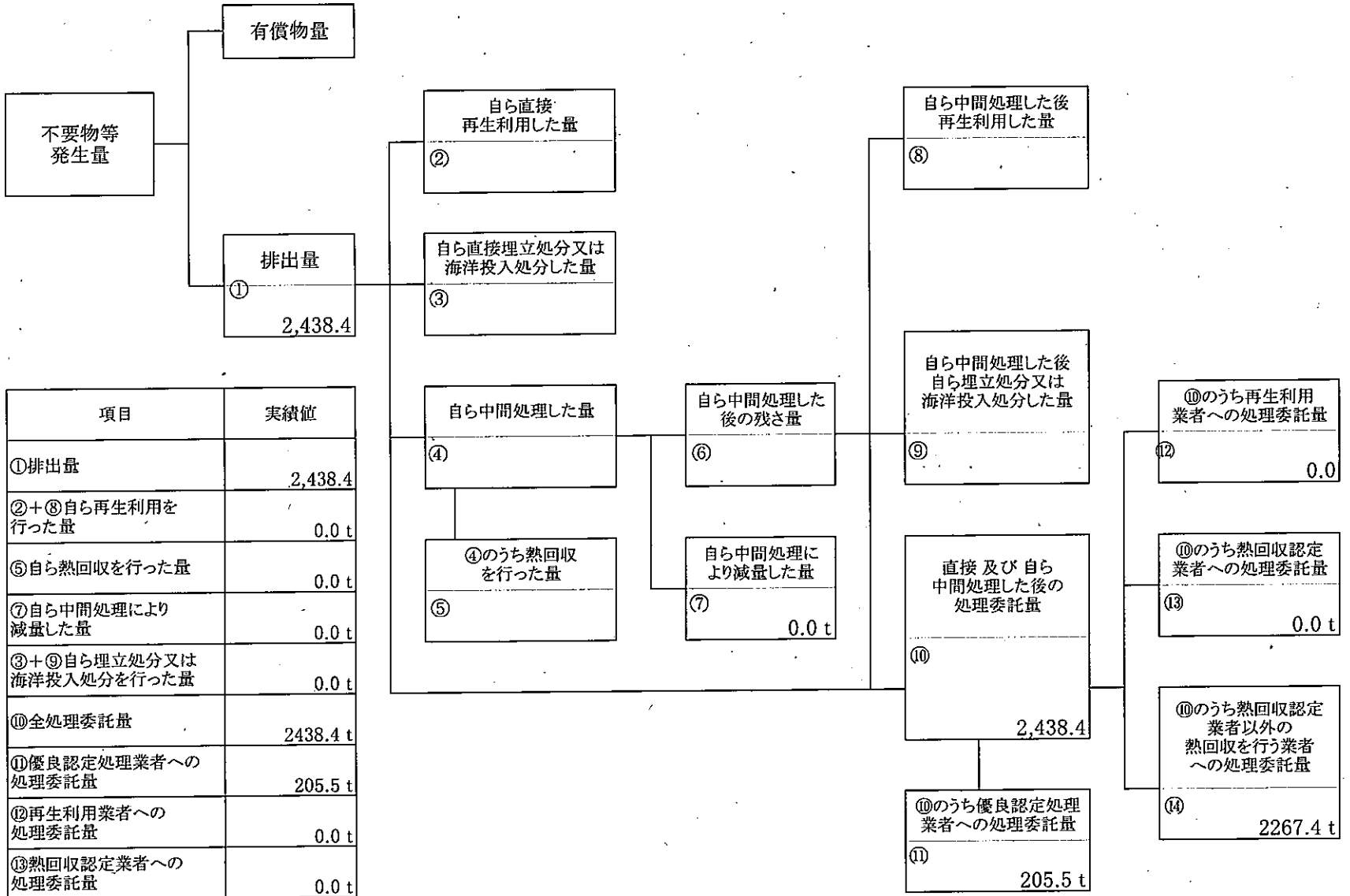


項目	実績値
①排出量	811.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	811.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	700.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類　　）



項目	実績値
①排出量	2,438.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2438.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	205.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2267.4 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月4日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　290-0067

住　所　千葉県市原市八幡海岸通13

法人名　不二ライトメタル株式会社　東資材生産部

代表者　東資材生産部長 米山　能

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-43-0566

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	不二ライトメタル株式会社　東資材生産部
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通13番地
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　金属製品製造業
②事業の規模	前年度の製品出荷額　9,242百万円
③従業員数	332人（正社員203人　パート他23人　請負106人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料の通り

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
添付資料の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	8	
	排出量	1029.5 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	8	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の分別について職制にメールを配信し各部署内にて 周知させるよう依頼している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 各種廃棄物の有価化を推進するにあたり分別が細かくなるため、 都度関係者に分別についてメール配信を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	8	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	8	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	8	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	8	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	8	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	8	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

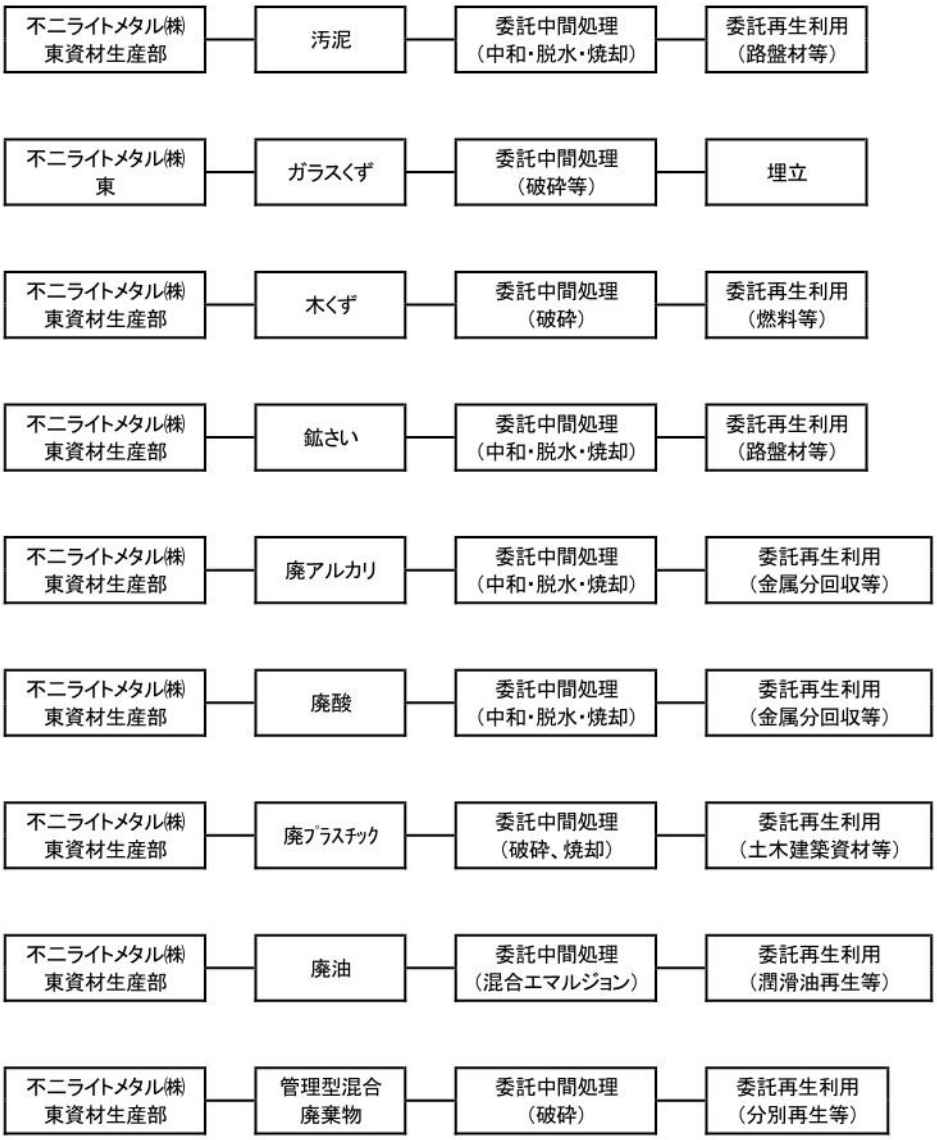
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	8	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	8	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

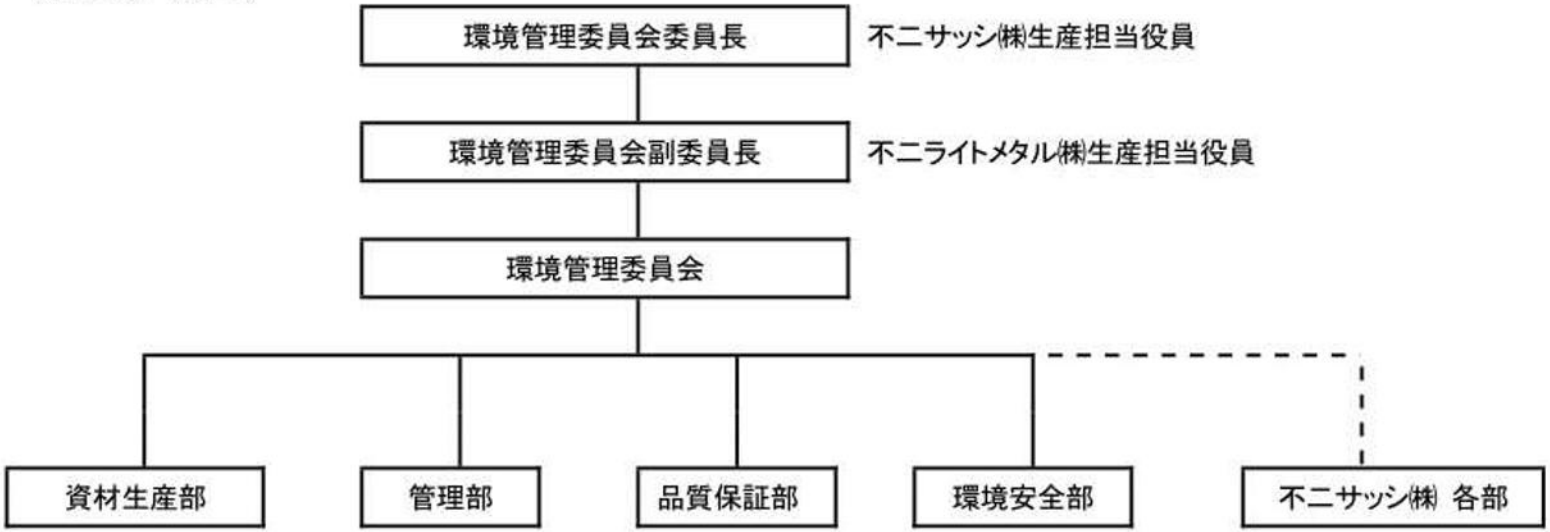
別紙1

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



別紙２

<table>
<tr><td colspan="7">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="3">①　現状</td><td colspan="5">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>木くず</td><td>廃アルカリ</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>876.8t</td><td>14.8t</td><td>24.9t</td><td>74..5t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）
表面処理工程で発生する中和生成スラリーを土木材料として有価売却できるように契約を締結したため、これを進めた。また、木くずに関しても安定した品質のものは、発電用の材料として有価売却できるように契約を締結した。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>木くず</td><td>廃アルカリ</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>850.６ｔ</td><td>14.２ｔ</td><td>18.７ｔ</td><td>72.２ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
表面処理工程で発生する中和生成スラリーを土木材料として有価売却できるように契約を締結したので、更に売却量増加を推進する。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量				
	（これまでに実施した取組）				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量				
	（今後実施する予定の取組）				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量				
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量				
	（これまでに実施した取組）				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量				
	（今後実施する予定の取組）				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量					
	（これまでに実施した取組）					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量					
	（今後実施する予定の取組）					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	廃油
全処理委託量	876.8t	14.8t	24.9ｔ	74.5ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	768.4t	14.8ｔ	24.9ｔ	74.5ｔ
再生利用業者への処理委託量	787.9t	14.8t	24.9ｔ	74.5ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）
再生利用業者への委託を推進。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="5">【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>木くず</td><td>廃アルカリ</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>850.6ｔ</td><td>14.2ｔ</td><td>18.7ｔ</td><td>72.2ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>780.0ｔ</td><td>14.2ｔ</td><td>18.7ｔ</td><td>72.2ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>780.0ｔ</td><td>14.2ｔ</td><td>18.7ｔ</td><td>72.2ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
今年度も引続き再生利用業者への委託を推進する。</td></tr>
</table>

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月4日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　290-0067

住所 千葉県市原市八幡海岸通13

法人名 不二ライトメタル株式会社 東資材生産部

代表者 東資材生産部長 米山 能

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-43-0566

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	不二ライトメタル株式会社 東資材生産部
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通13番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 金属製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

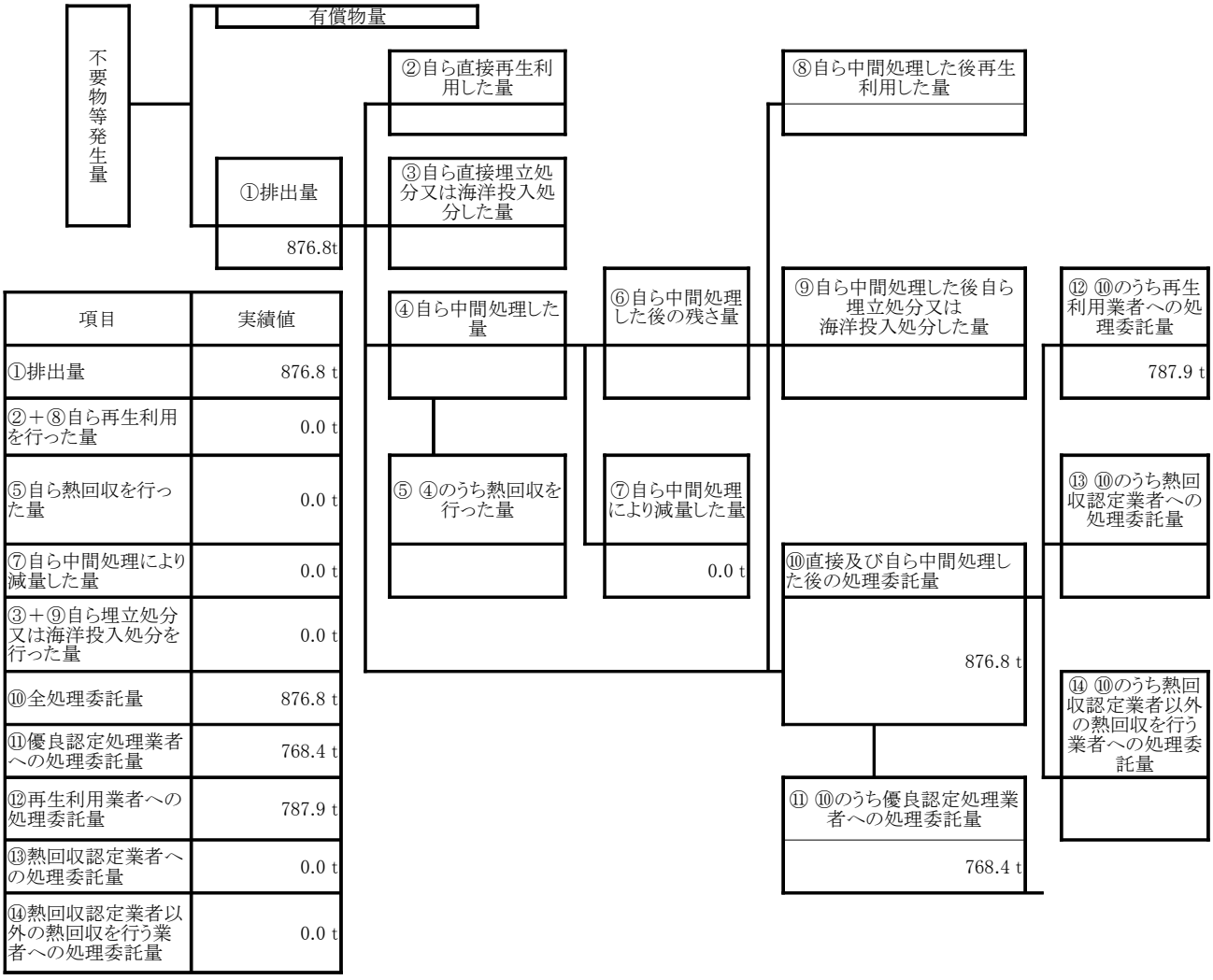
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1483.5 t	全処理委託量	1483.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1439.6 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1431.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

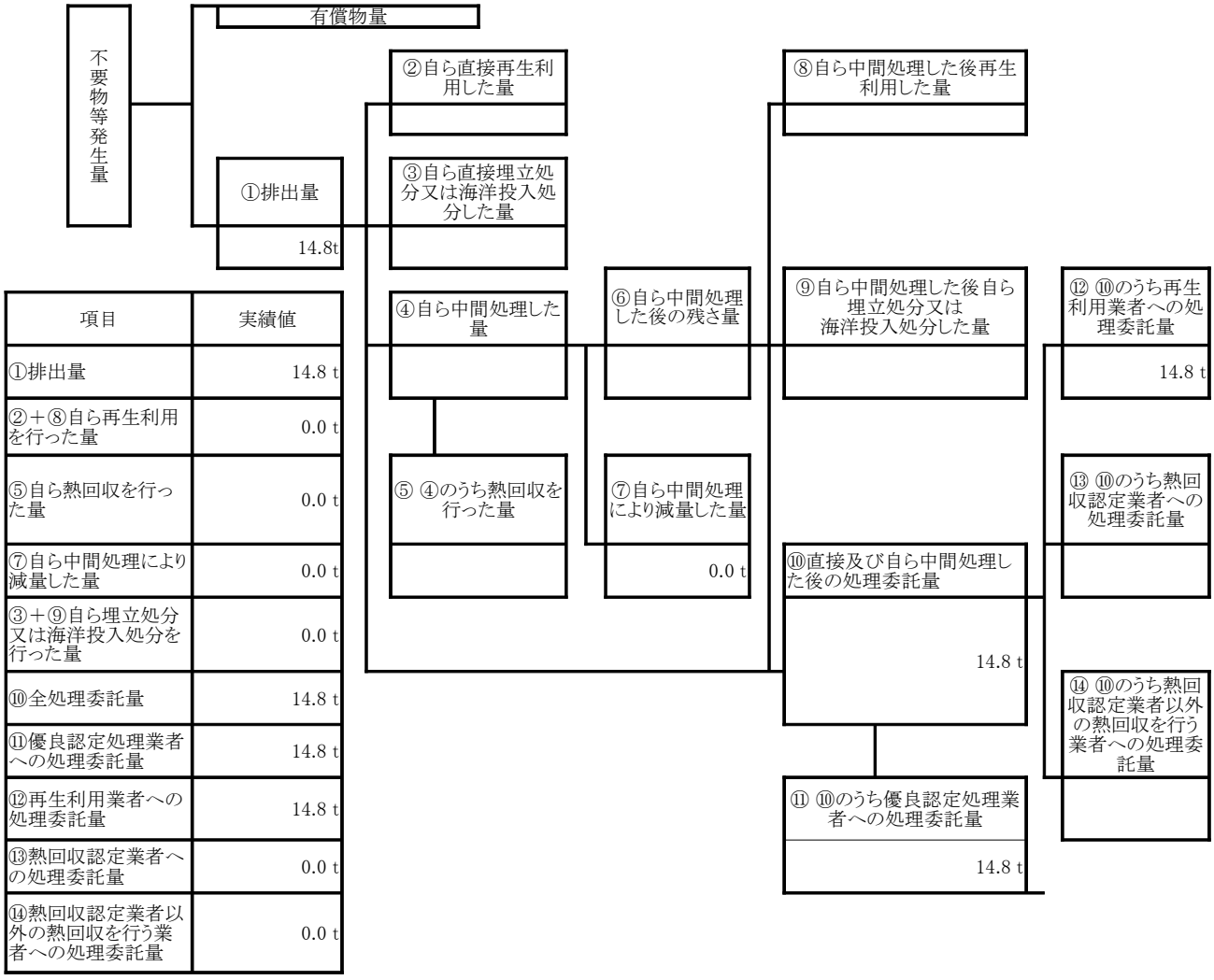


項目	実績値
①排出量	876.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	876.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	768.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	787.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



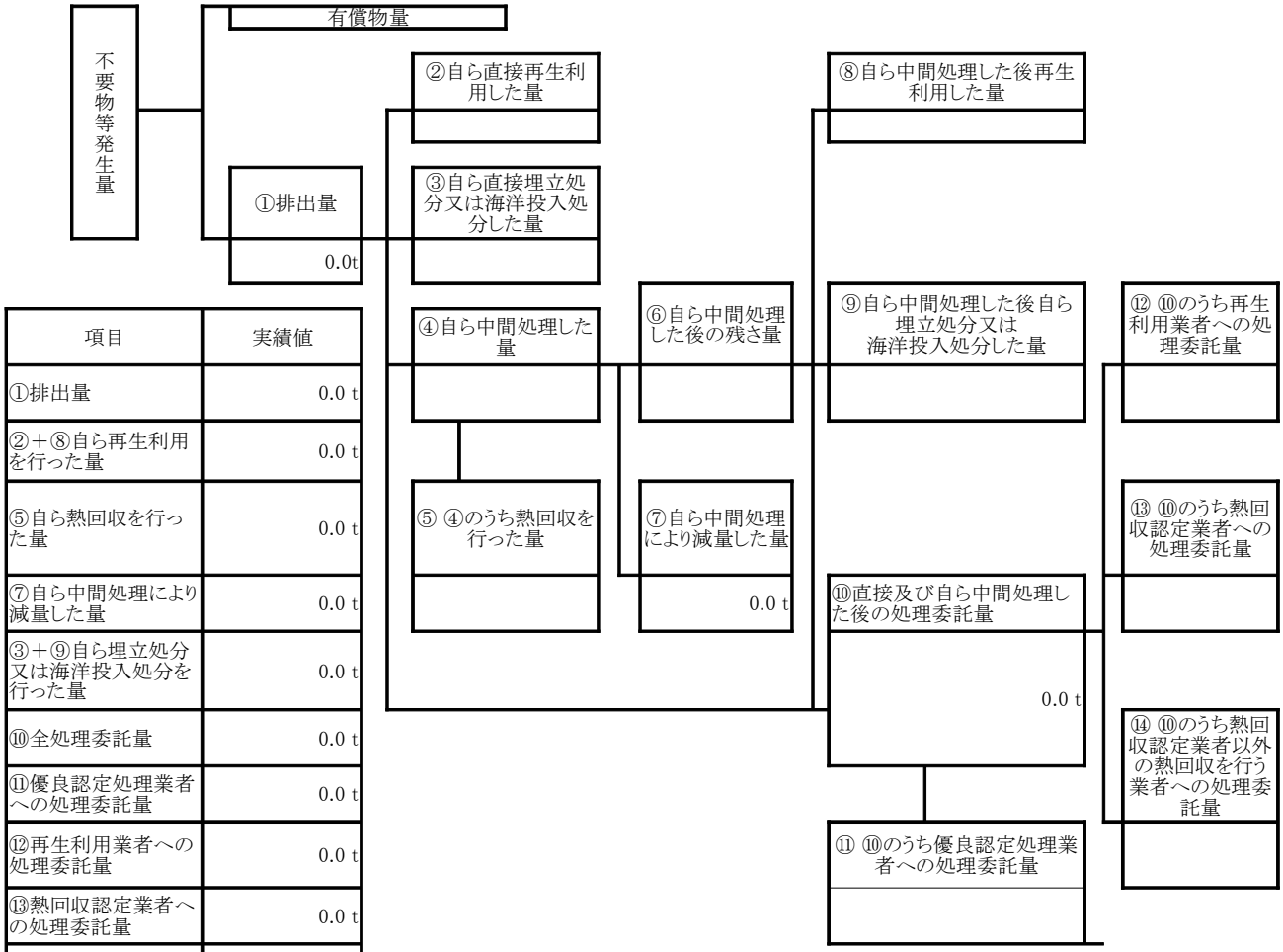
項目	実績値
①排出量	14.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　鉱さい　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

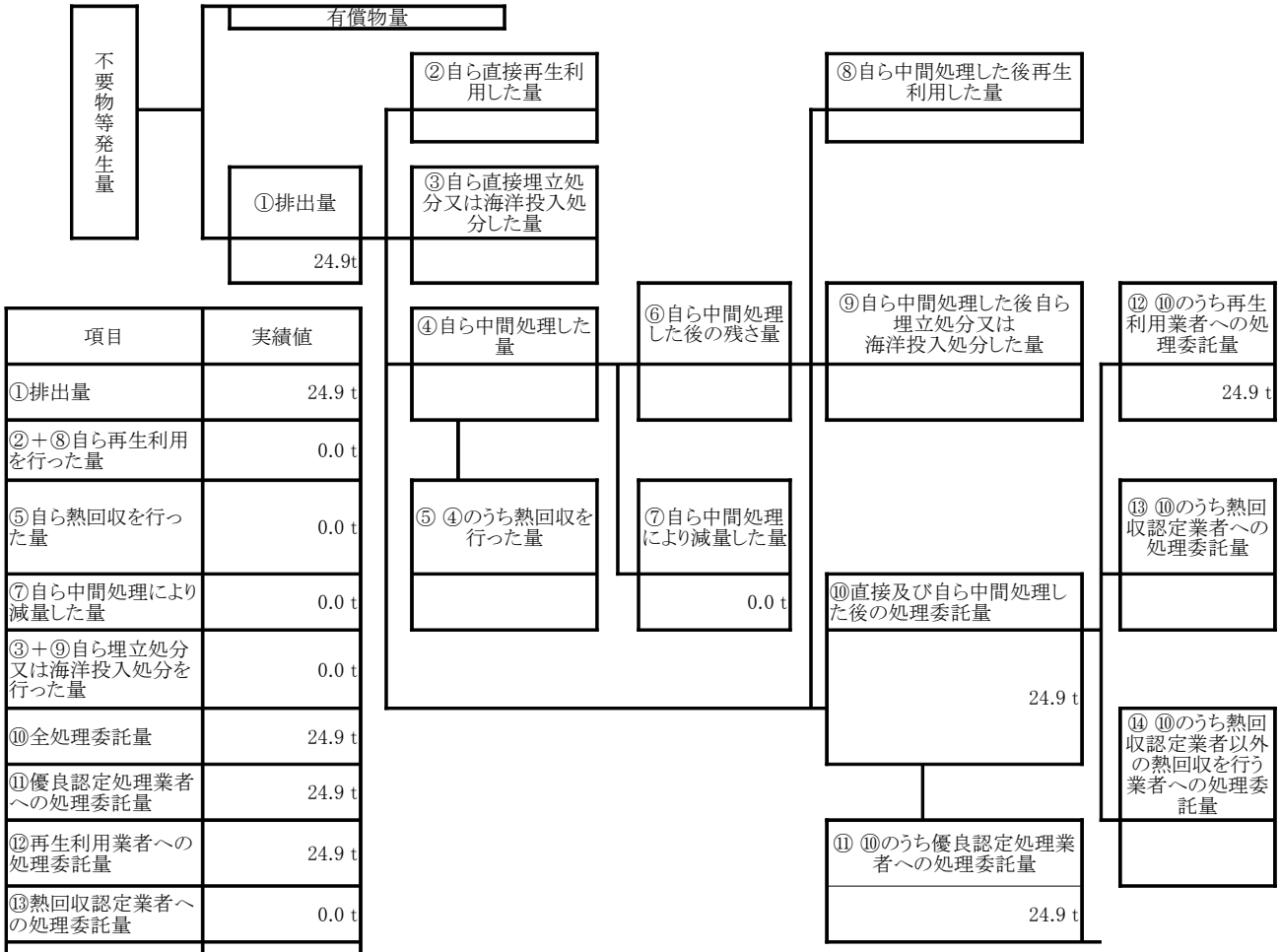


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



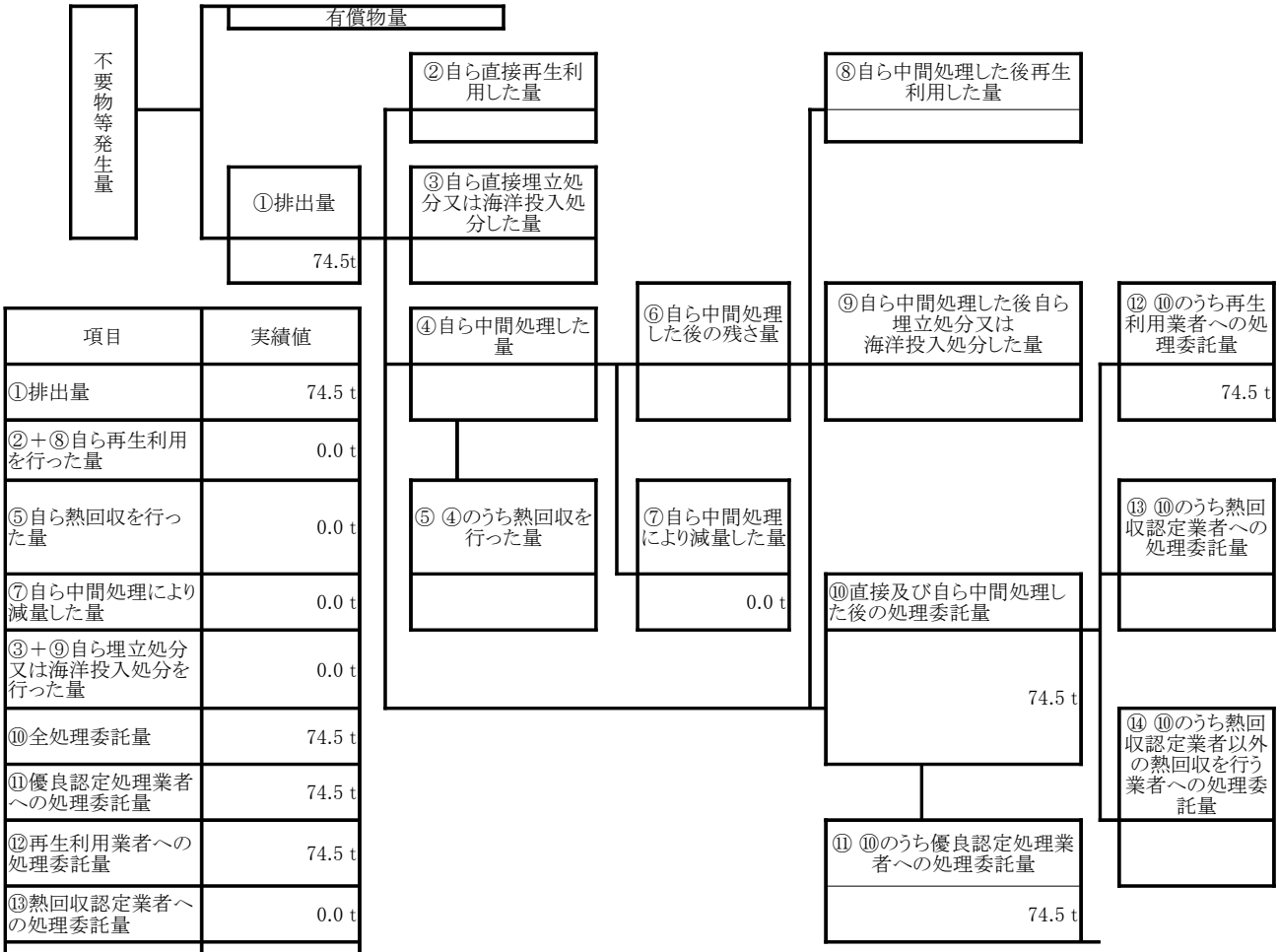
項目	実績値
①排出量	24.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	24.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	24.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	24.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃油　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

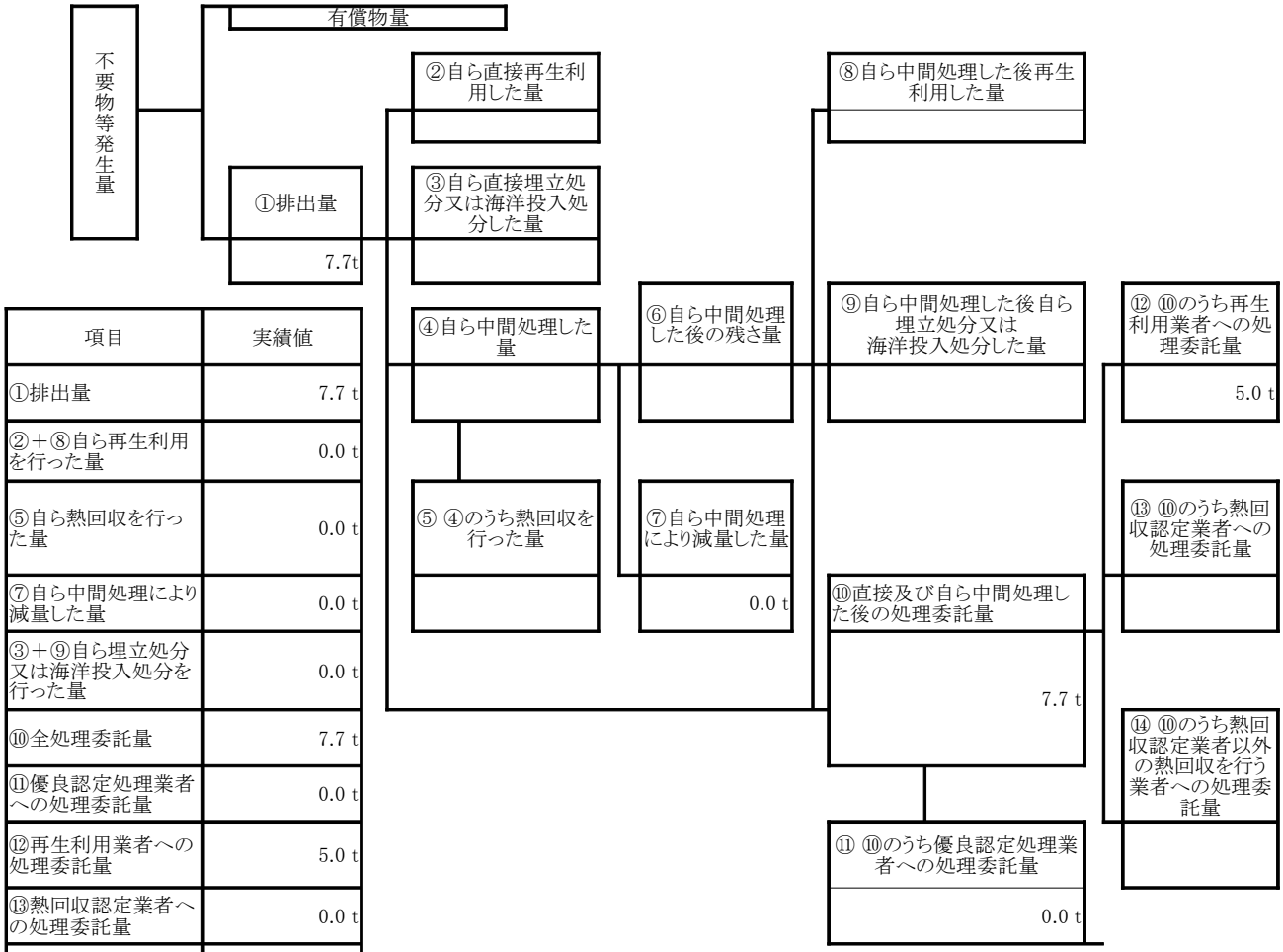


項目	実績値
①排出量	74.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	74.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	74.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	74.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

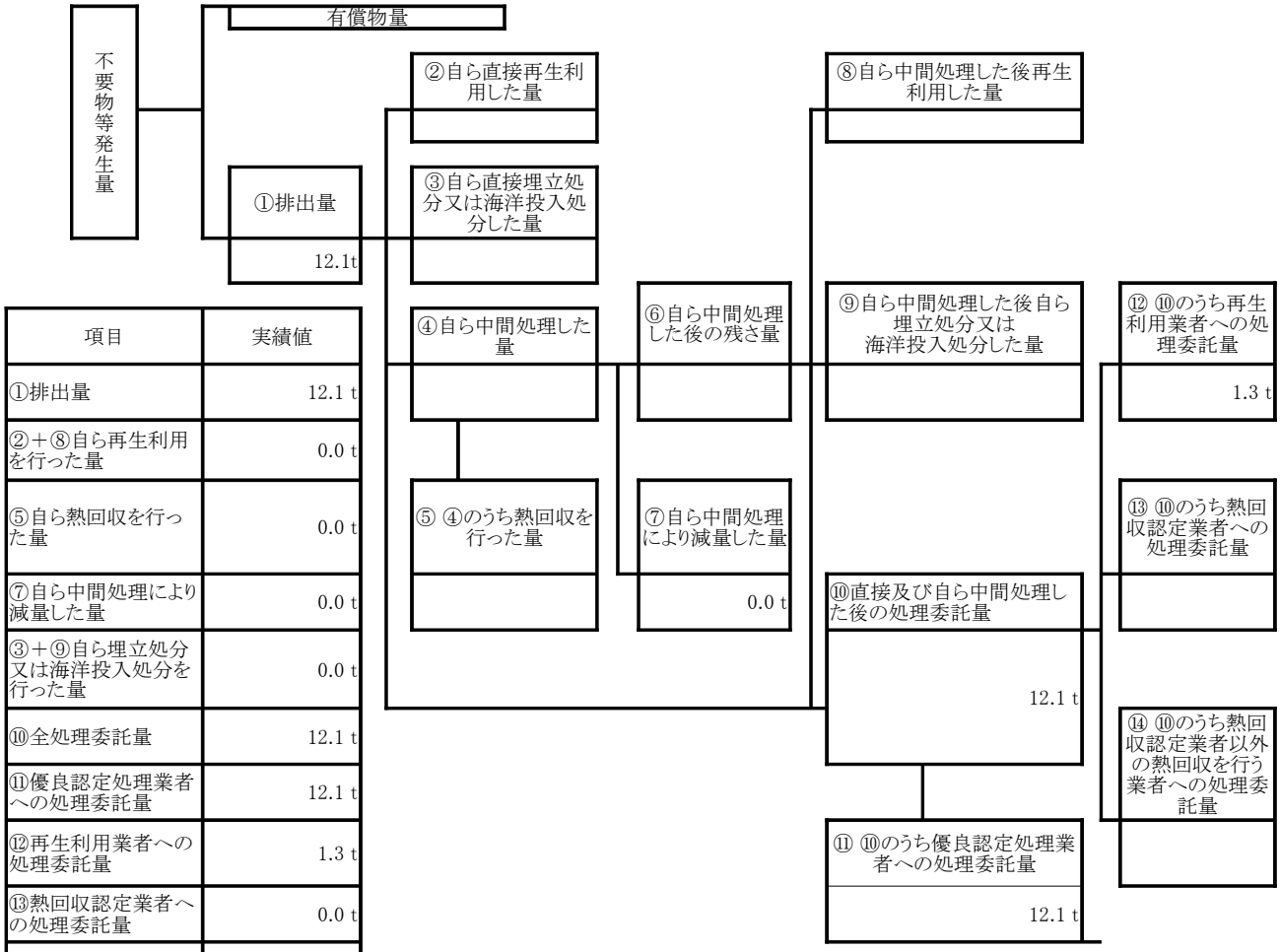


項目	実績値
①排出量	7.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

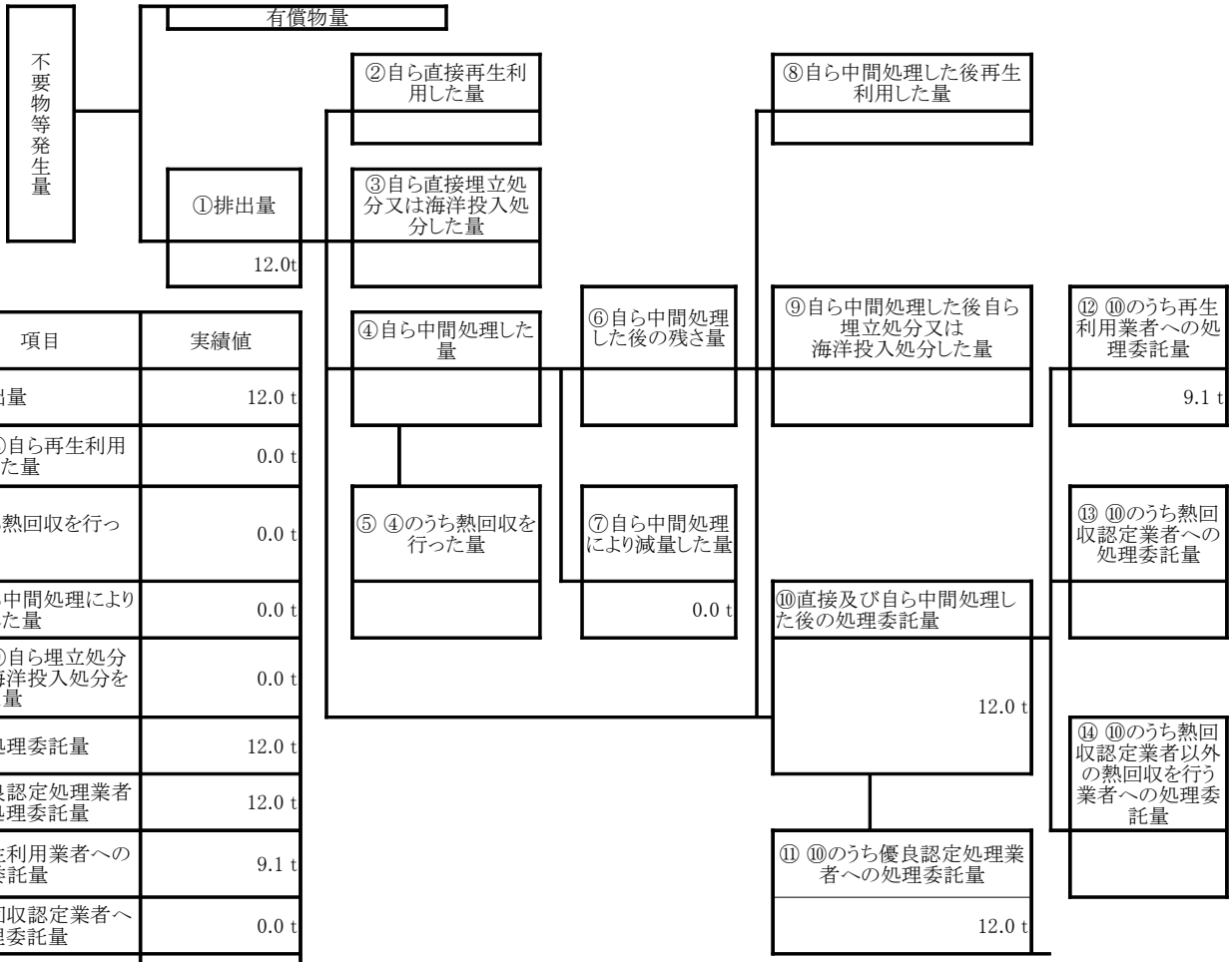


項目	実績値
①排出量	12.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

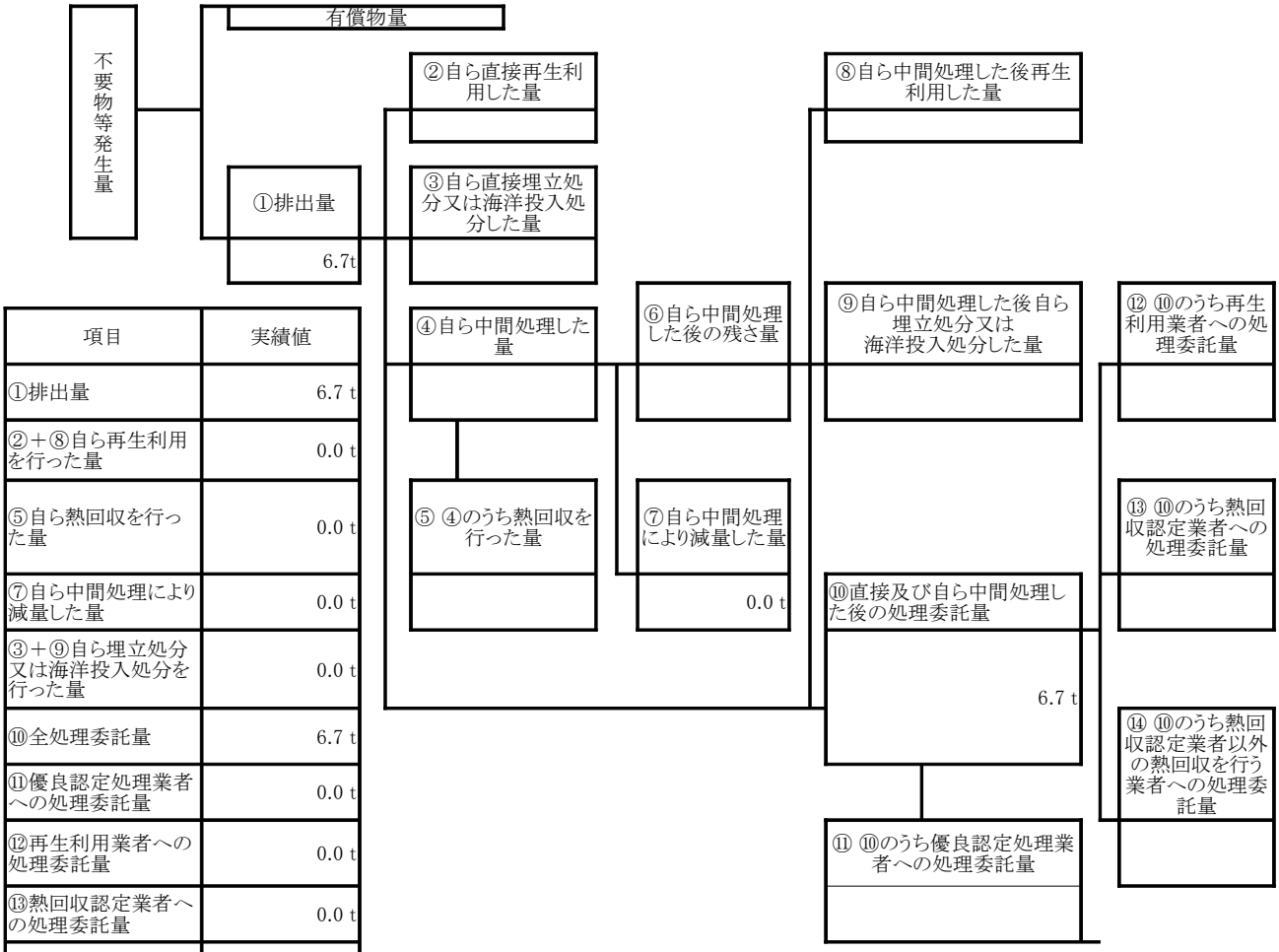


項目	実績値
①排出量	12.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



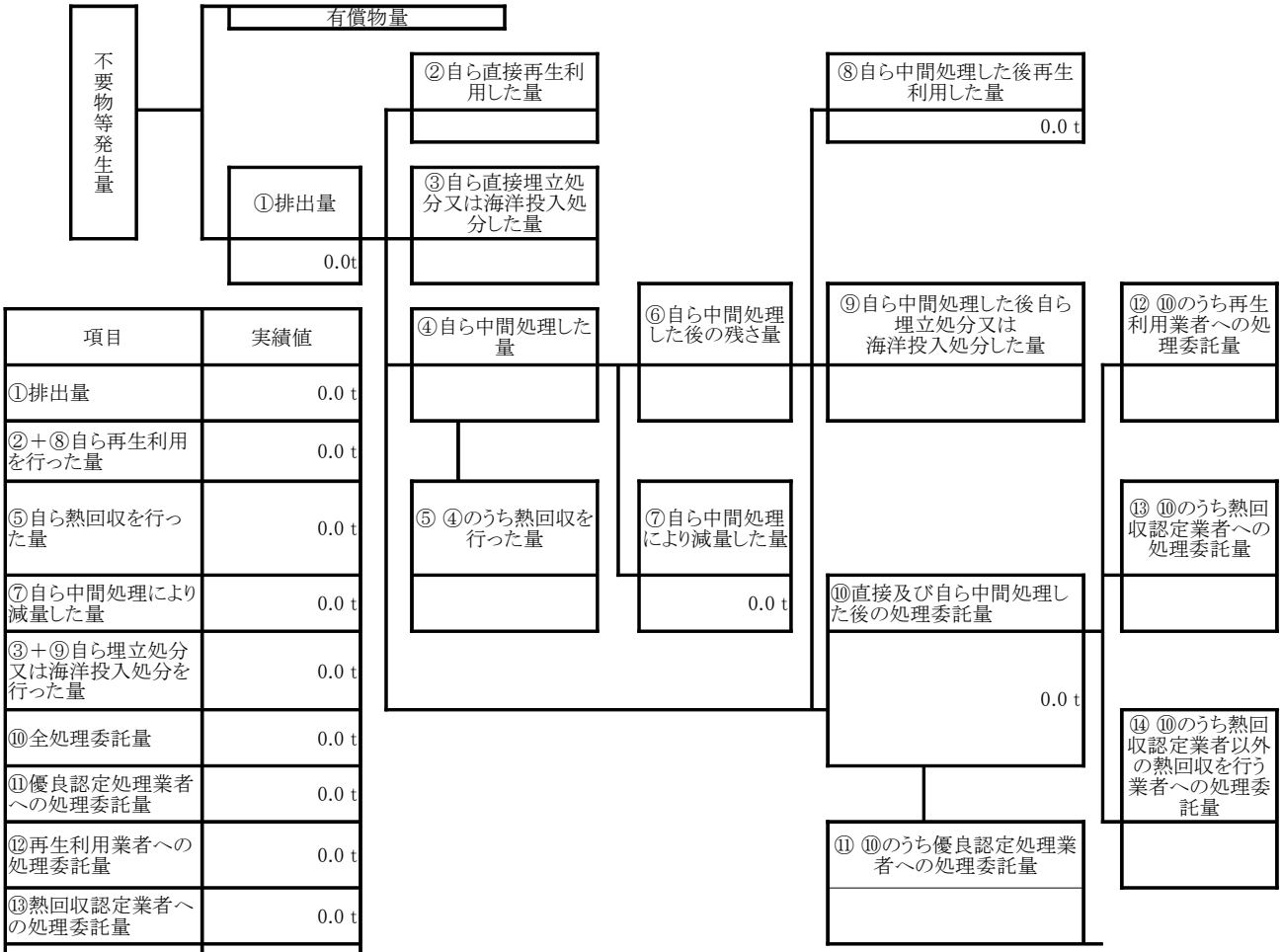
項目	実績値
①排出量	6.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ばいじん　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

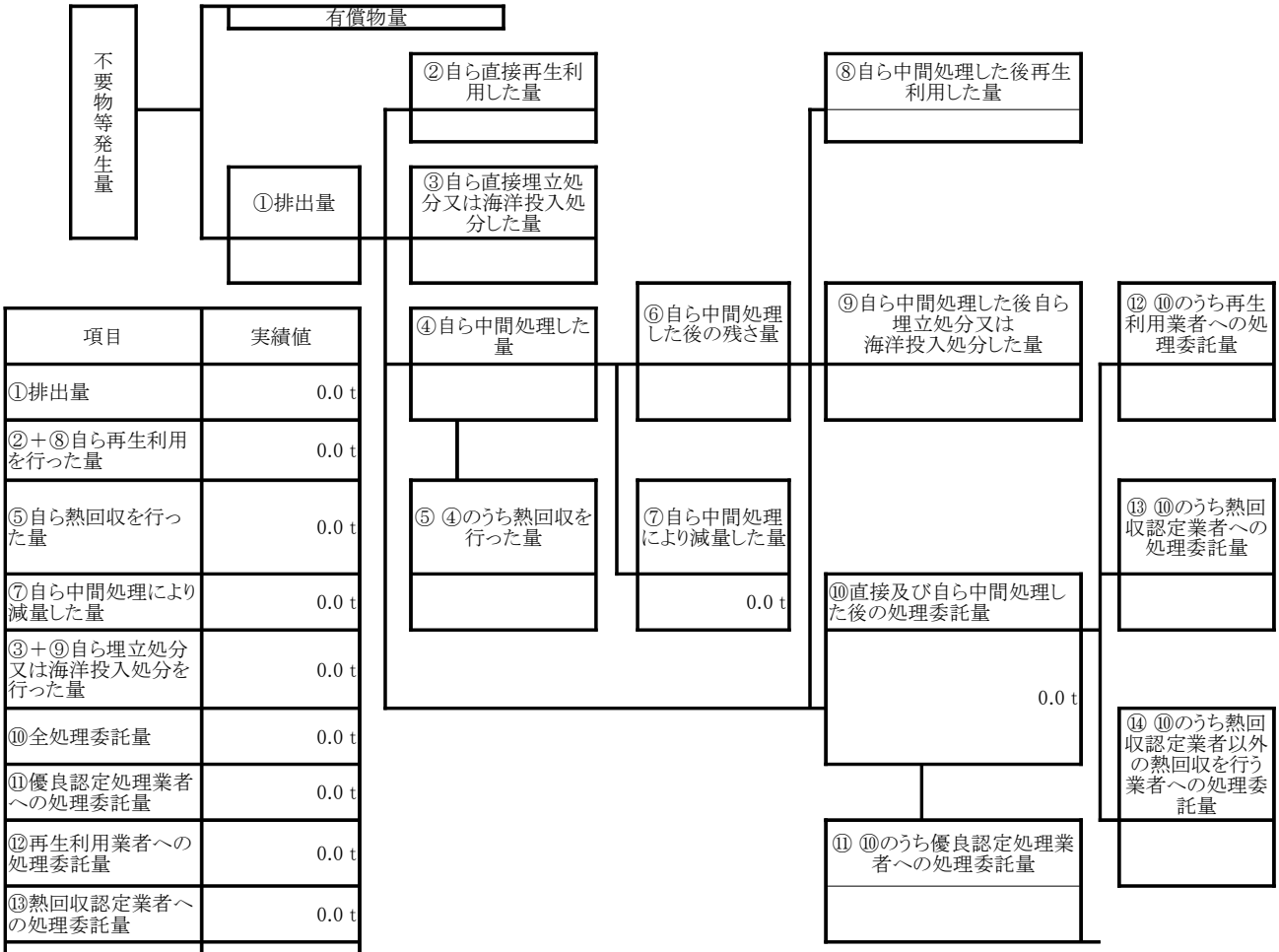


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



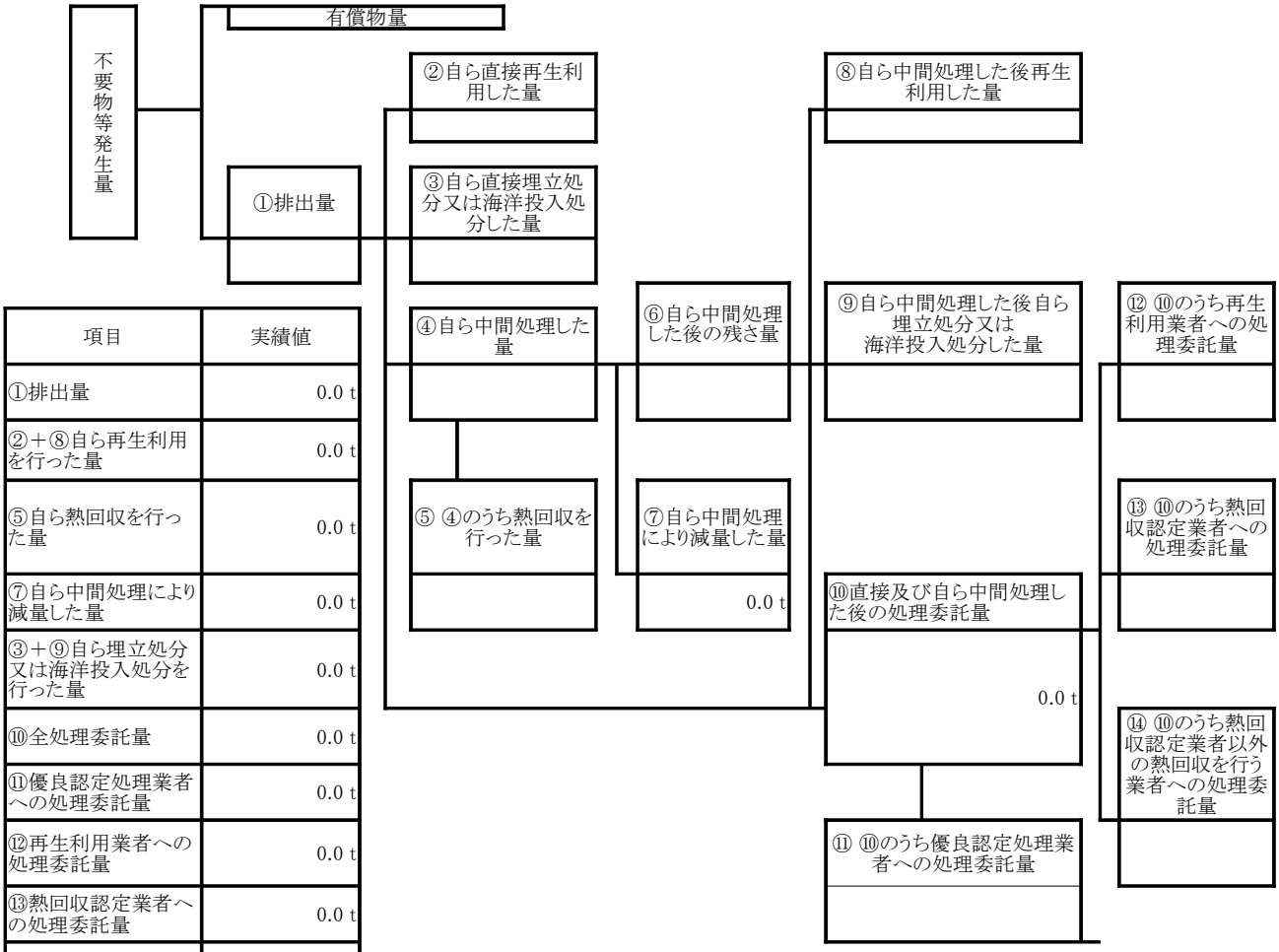
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



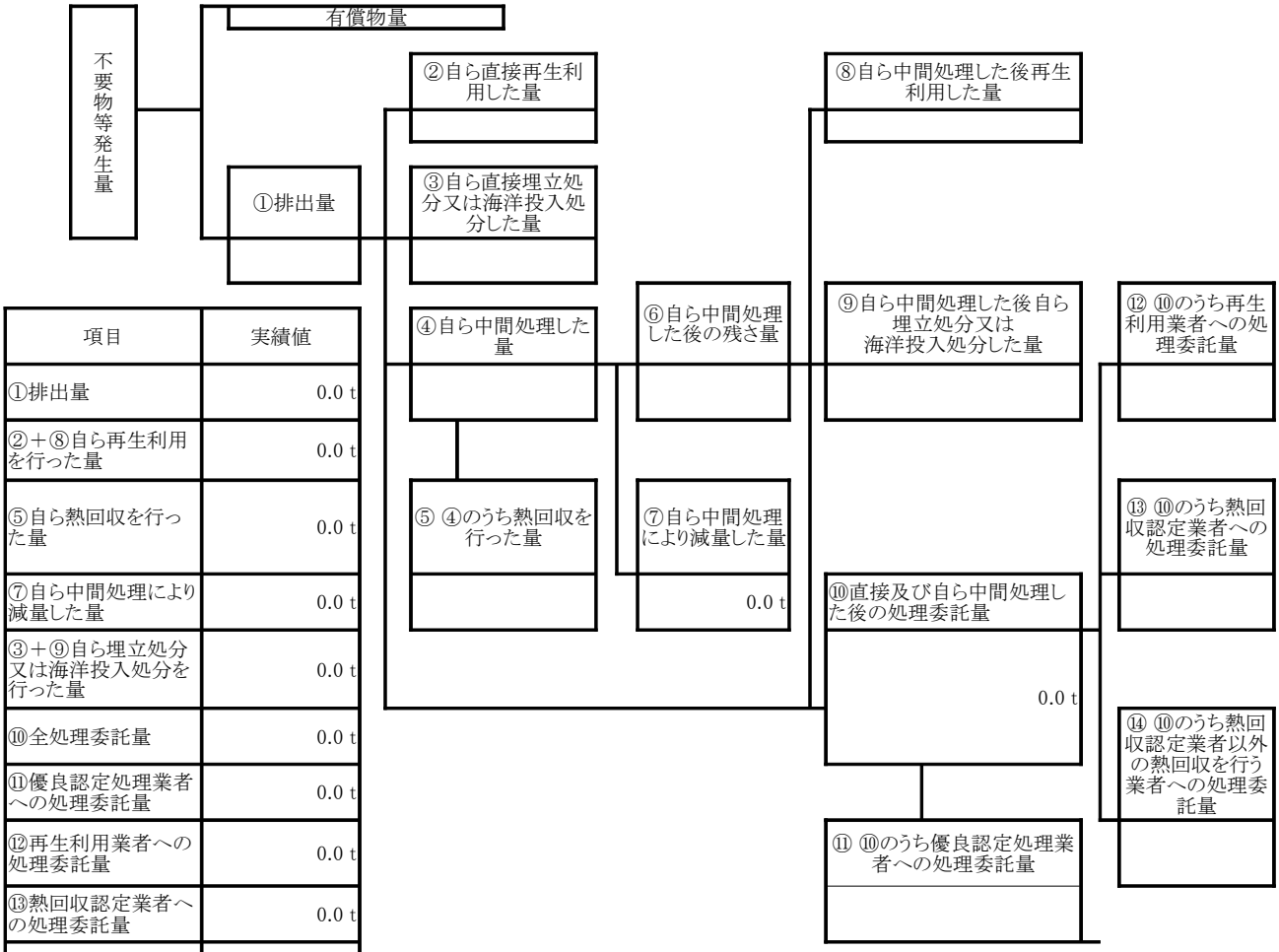
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

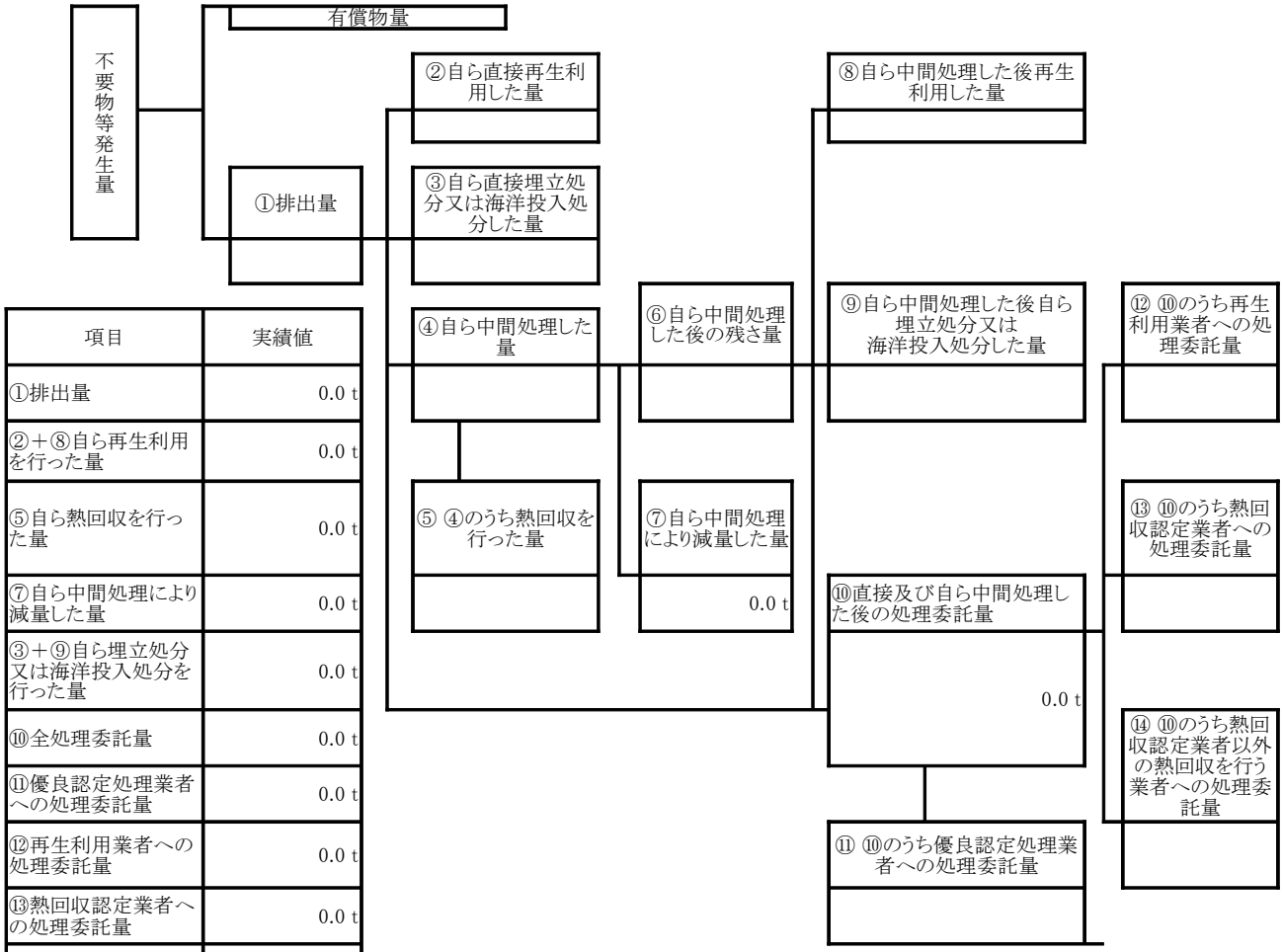


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



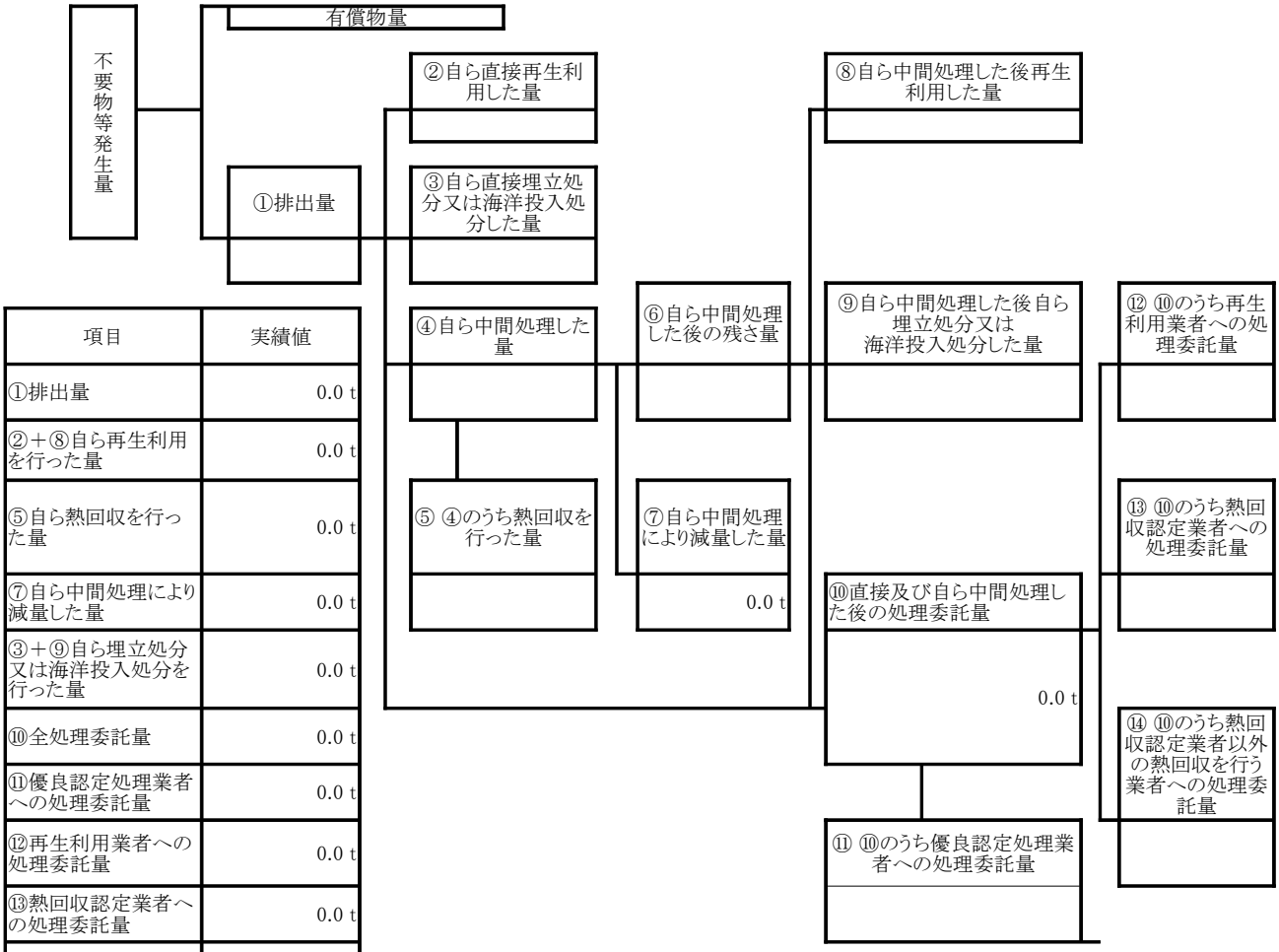
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

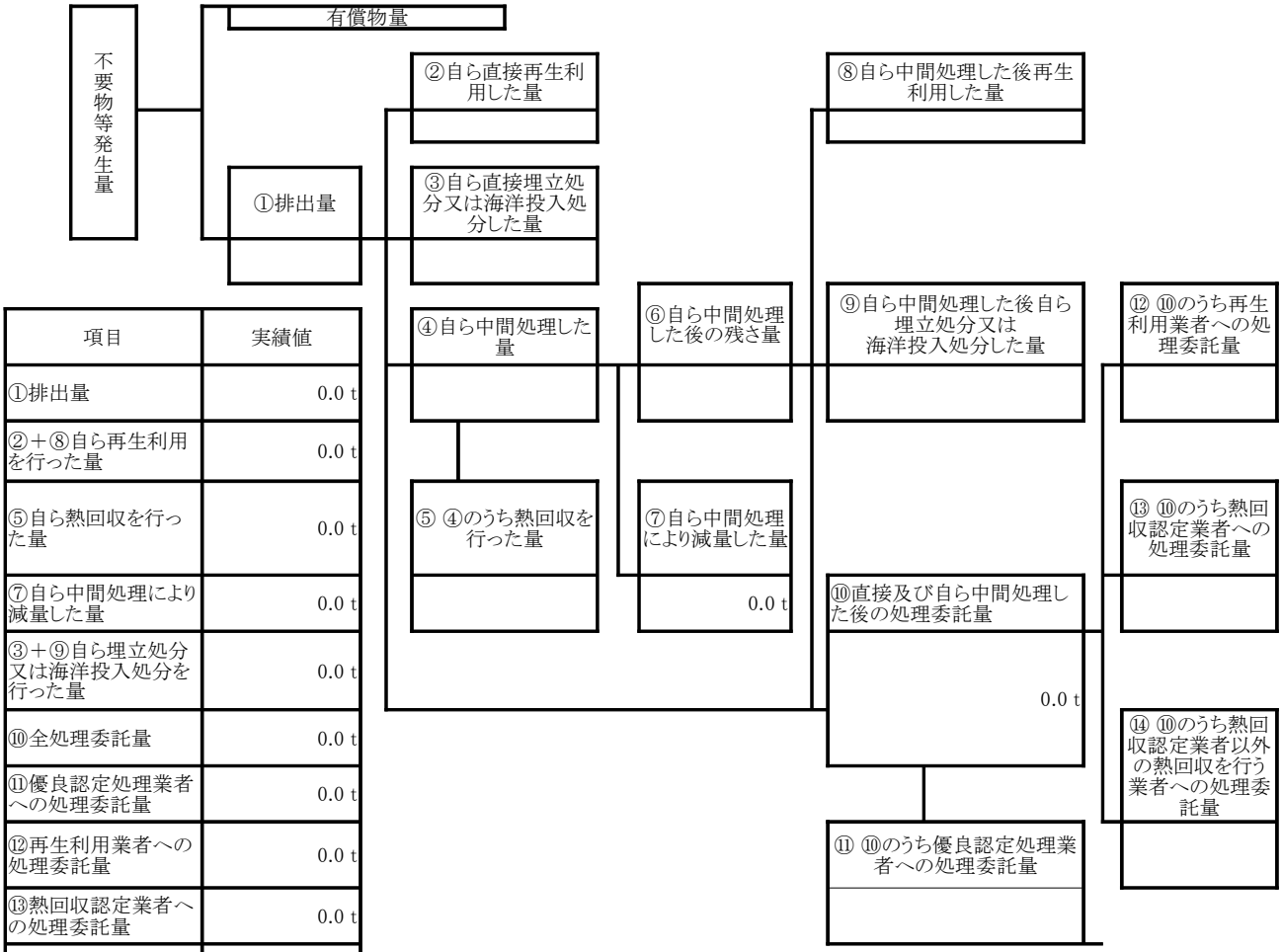


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

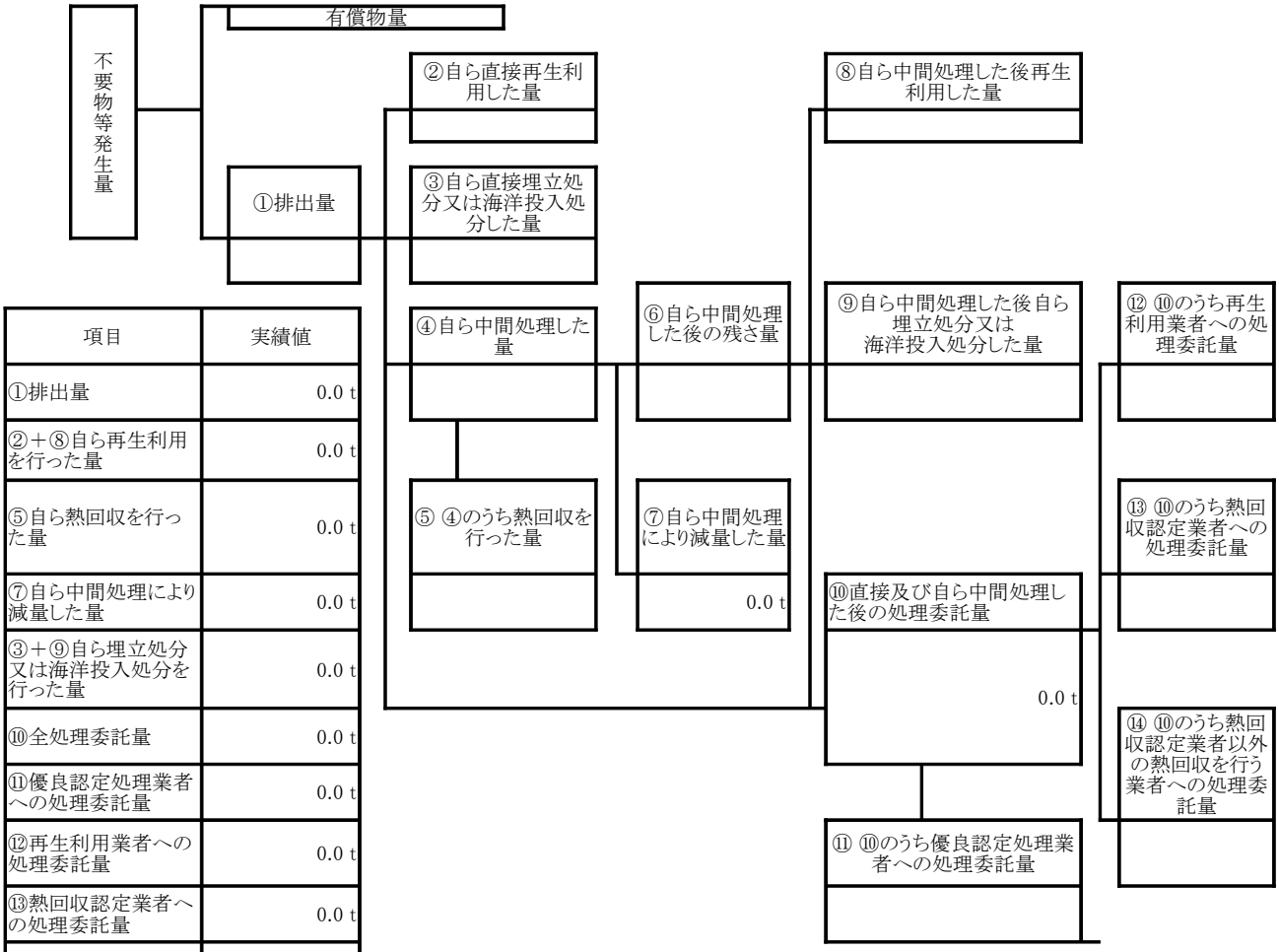


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



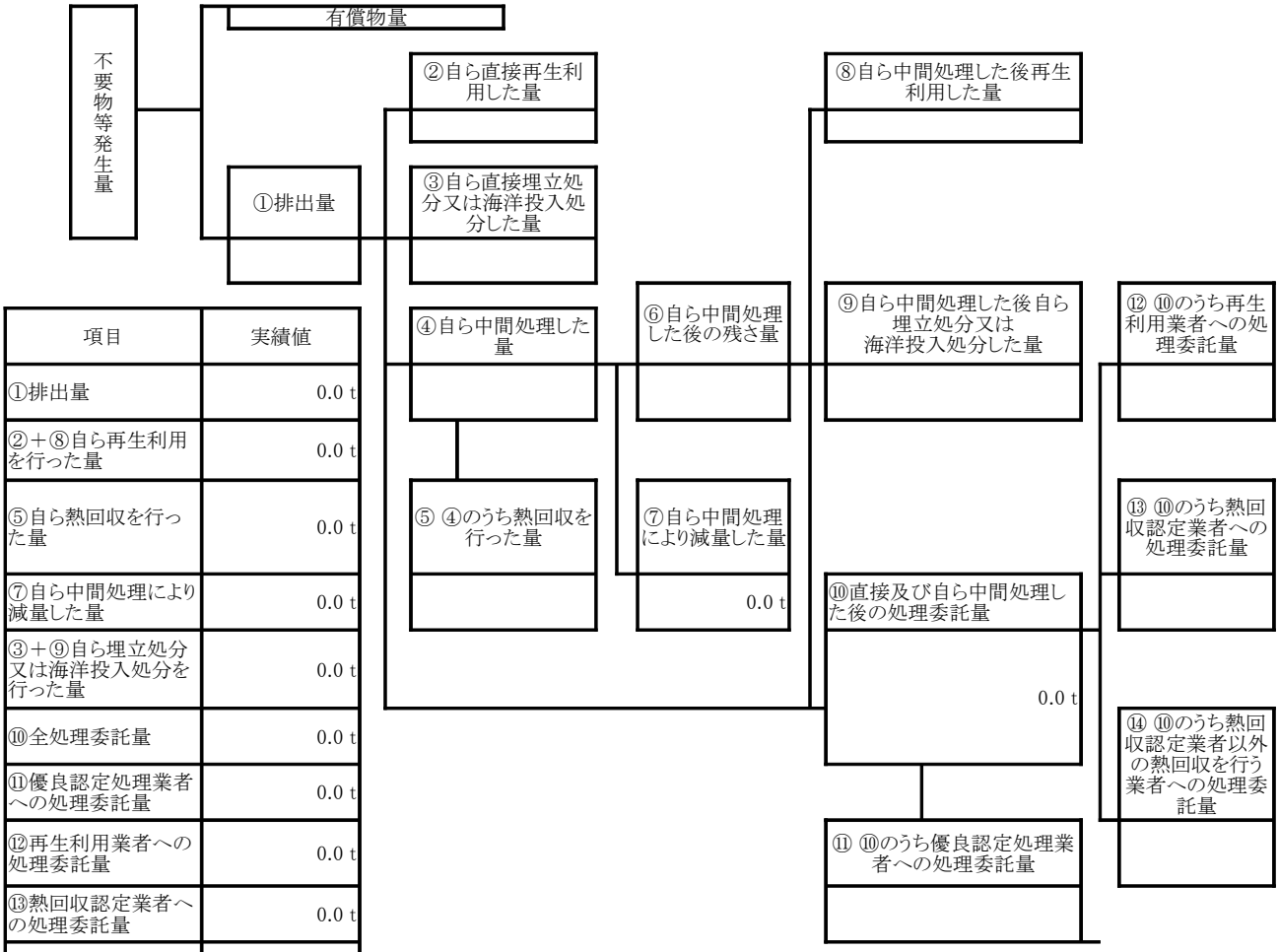
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

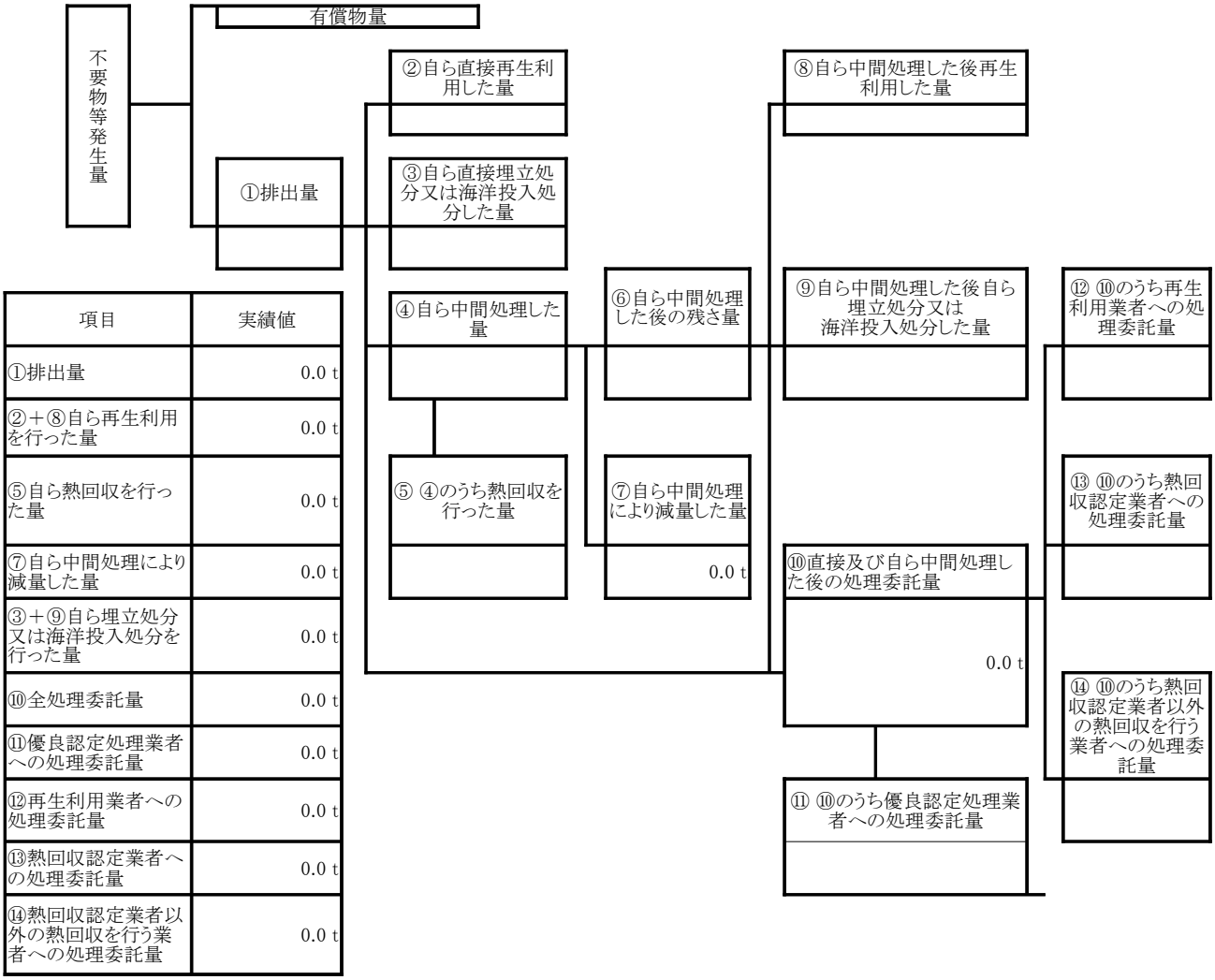


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

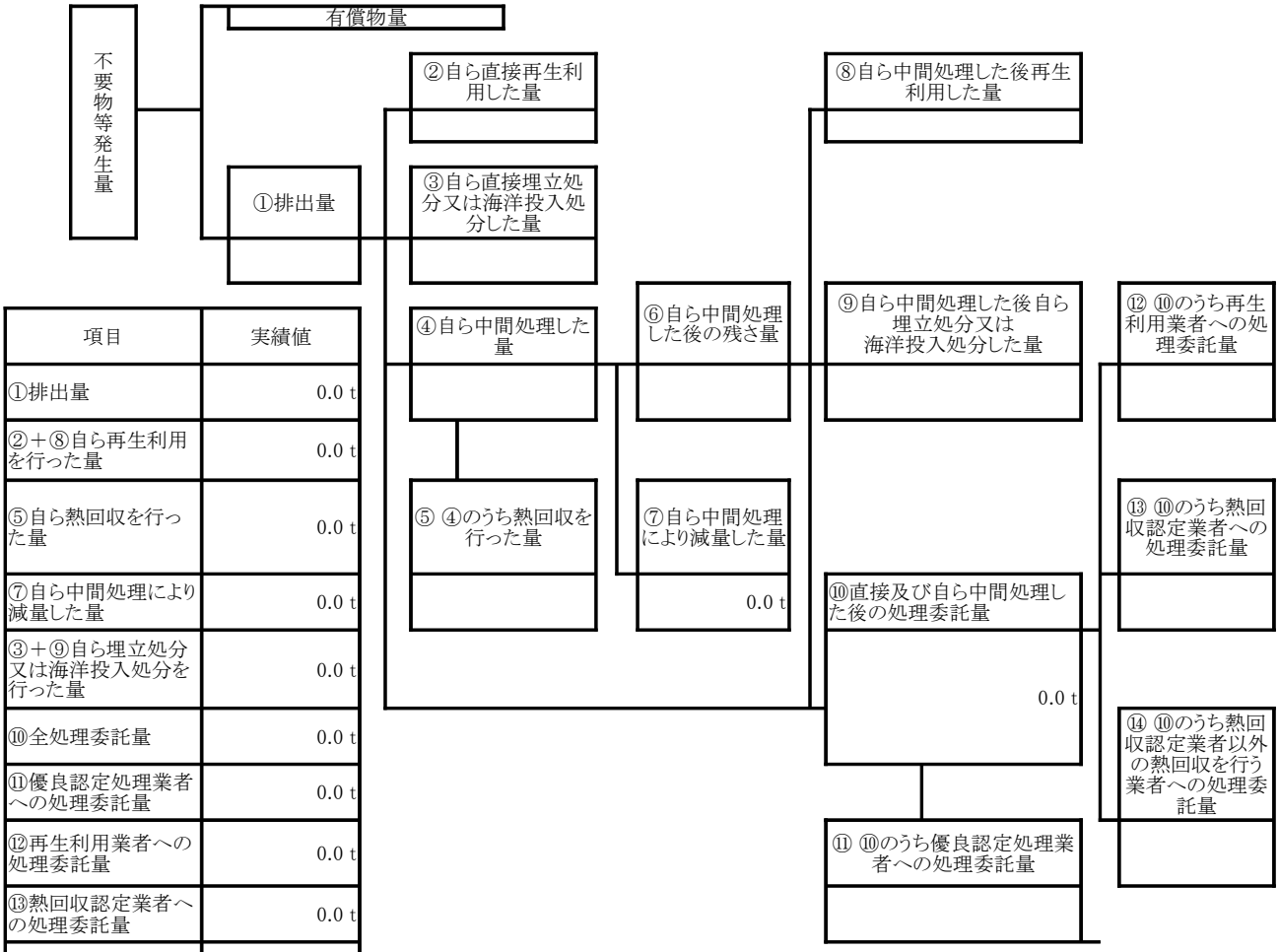


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月15日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　290-8555

住　所　千葉県市原市八幡海岸通６番地

法人名　古河ﾌｧｲﾃﾙｵﾌﾟﾃｨｶﾙﾃﾞﾊﾞｲｽ株式会社

代表者　吉田 将史

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-42-1709

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	古河ファイテルオプティカルデバイス株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通６番地
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	前年度の製品売上高　　41.2億円（千葉工場）
③従業員数	198 人　（令和6年6月1日現在；千葉工場）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙（処理工程）」

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
「別紙（管理体制）」

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ
排出量	28.15 t	12.41 t

（これまでに実施した取組）
製造条件の最適化を図り、廃棄物の排出抑制を行いました。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ
排出量	40.25 t	17.75 t

（今後実施する予定の取組）
製造条件の最適化を図り、廃棄物の排出抑制を行います。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
発生段階から、種類ごとに分別を行っております。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
発生段階から、種類ごとに分別を行っていきます。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特にありません。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

特にありません。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

自ら中間処理を行ったことはありません。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら中間処理を行ったことはありません。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		引火性廃油	強ｱﾙｶﾘ
全 処 理 委 託 量		28.15 t	12.41 t
	優良認定処理業者への処理委託量	28.15 t	7.5 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	7.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	28.15 t	4.92 t

（これまでに実施した取組）

再資源化可能な処理会社へ委託をおこないました。

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>引火性廃油</td><td>強ｱﾙｶﾘ</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>40.25 t</td><td>17.75 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>40.25 t</td><td>11.54 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>11.54 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>40.25 t</td><td>6.21 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
再資源化可能な処理会社へ委託を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 115.55 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
全て電子マニフェスト対応済みとなっております。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

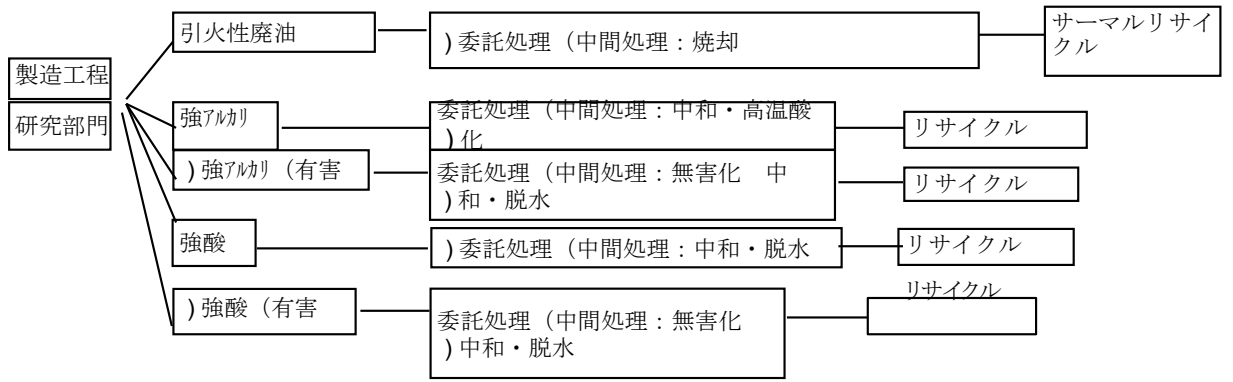
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

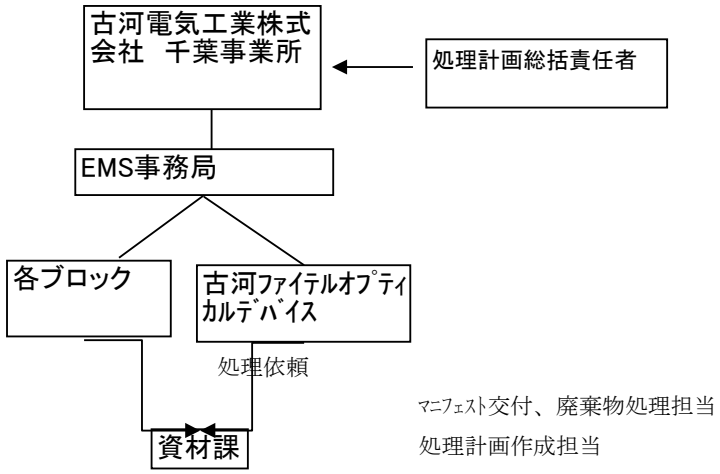
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

	④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）					
	排　出　量	20.73　t	50.34　t	3.92　t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）					
	排　出　量	29.64　t	71.99　t	5.61　t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）					
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）					
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）					
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）					
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）					
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
	【目標】								

②計画	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）						
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】									
	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）						
	全処理委託量	20.73 t	50.34 t	3.92 t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	20.73 t	32.98 t	3.92 t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	20.73 t	50.34 t	3.92 t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	

②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	強ｱﾙｶﾘ（有害）	強酸	強酸（有害）						
	全処理委託量	29.64 t	71.99 t	5.61 t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	29.64 t	46.79 t	5.61 t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	29.64 t	71.99 t	5.61 t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t	

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月15日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　290-8555

住所　千葉県市原市八幡海岸通6番地

法人名 古河ﾌｧｲﾃﾙｵﾌﾟﾃｨｶﾙﾃﾞﾊﾞｲｽ株式会社

代表者 吉田 将史

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0436-42-1709

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	古河ファイテルオプティカルデバイス株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通6番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 電子部品・デバイス・電子回路製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	231.11 t	全処理委託量	231.11 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	215.35 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	168.96 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	62.15 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

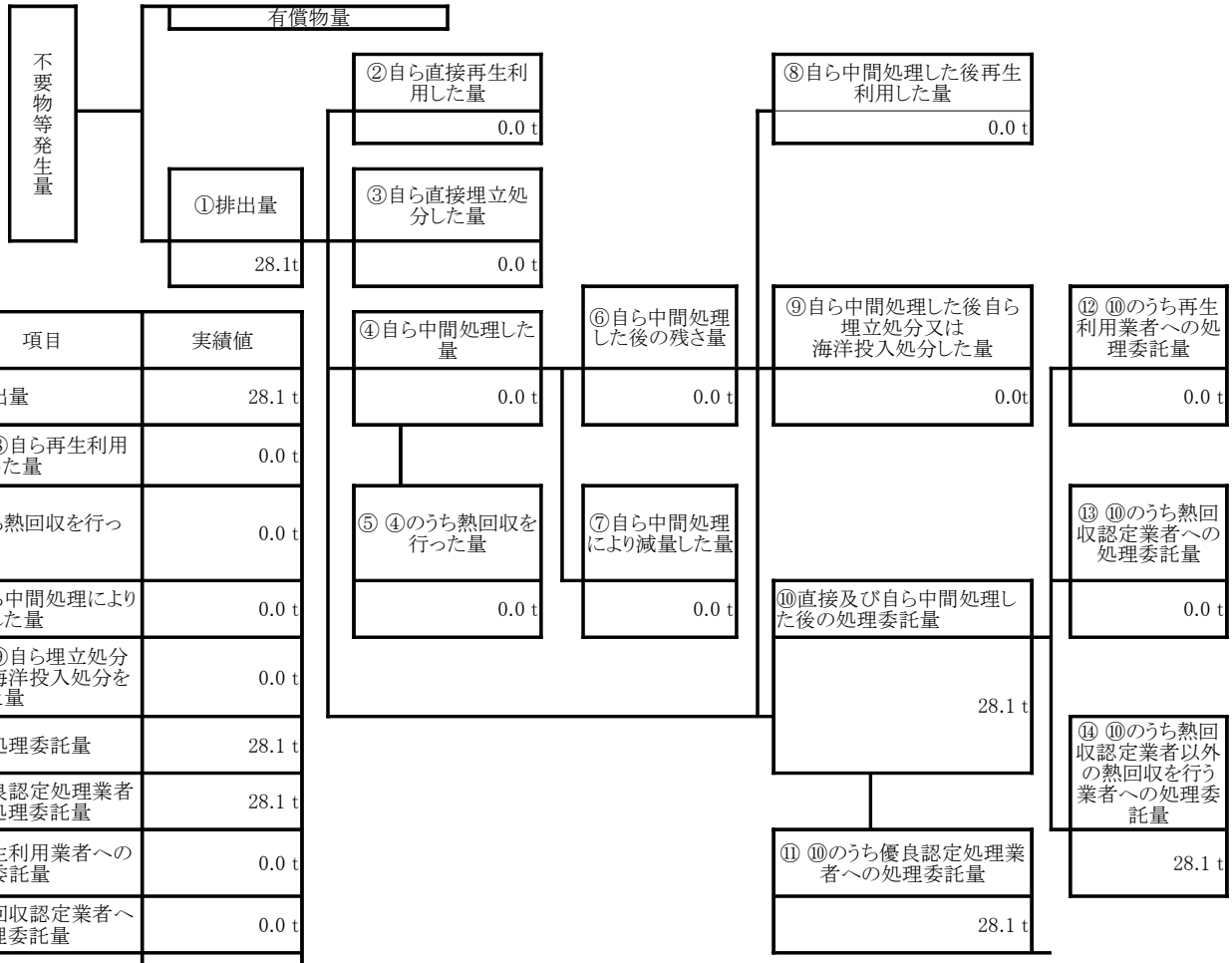
特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	206.34 t
	前年度（令和5年度）	115.55 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
全て電子マニフェスト対応済みです。

（日本産業規格　A列4番）

N0.1

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　引火性廃油　）



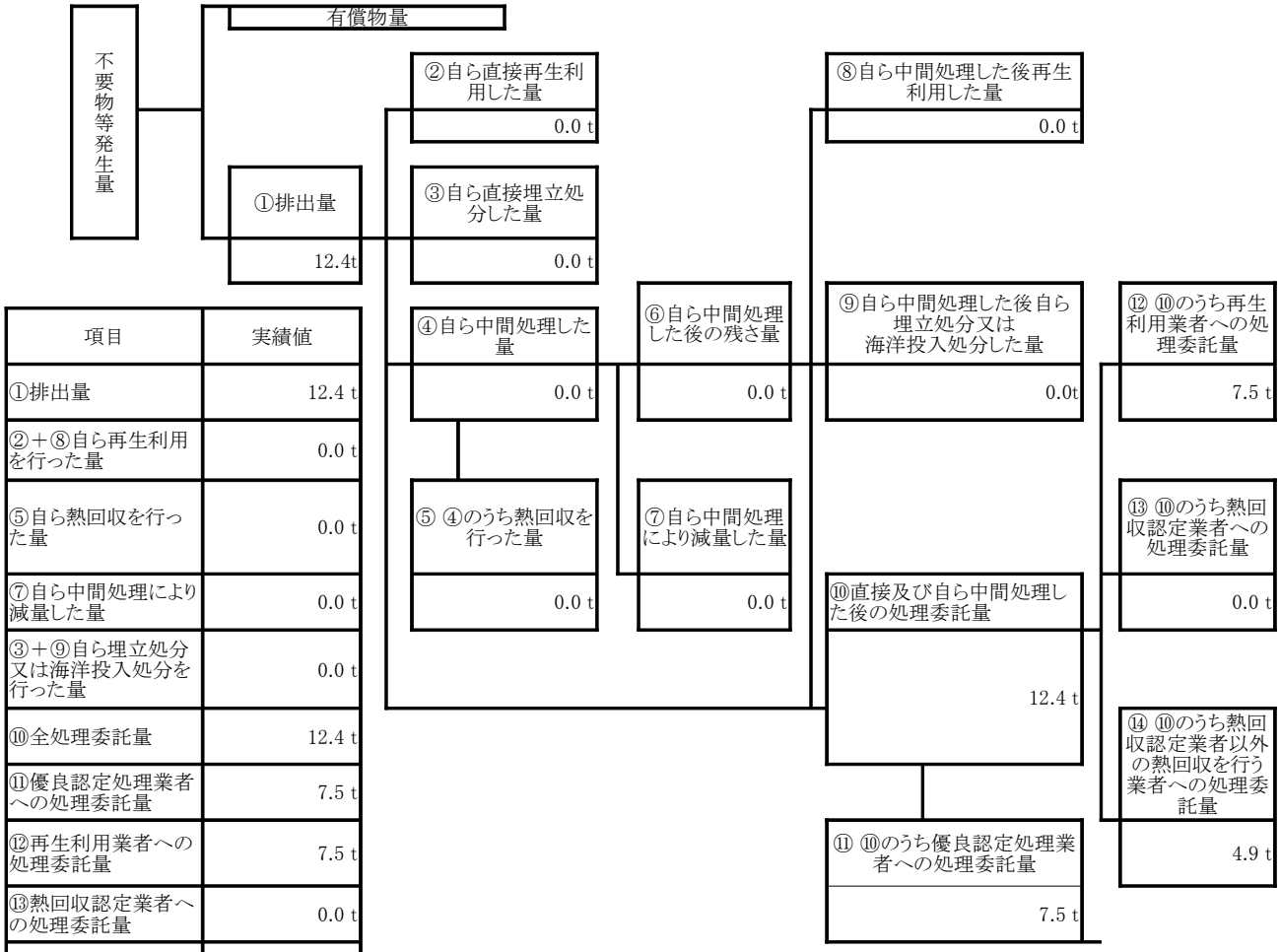
項目	実績値
①排出量	28.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	28.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	28.1 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　強アルカリ　）



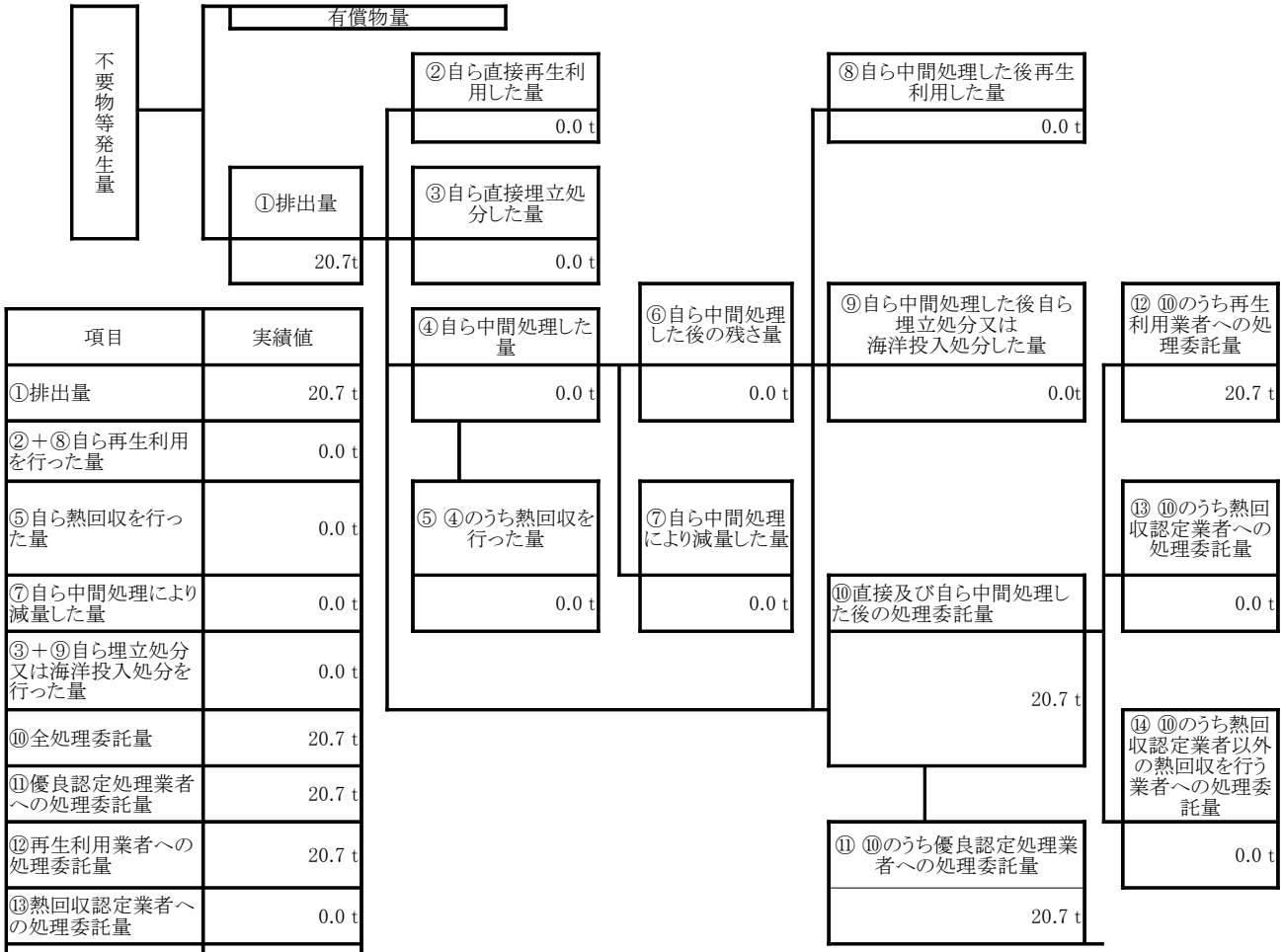
項目	実績値
①排出量	12.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.9 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況

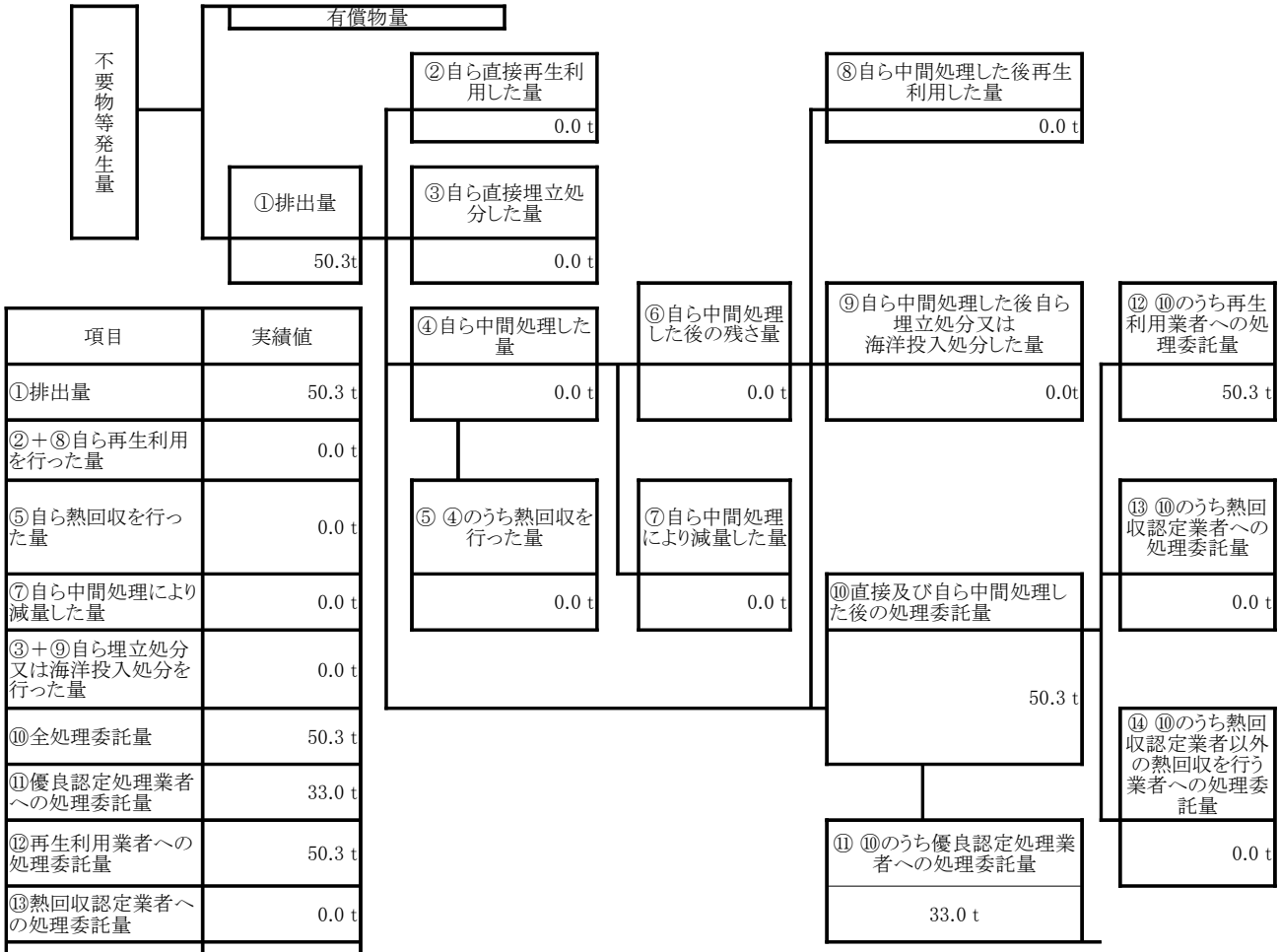
（特別管理産業廃棄物の種類:　強ｱﾙｶﾘ　有害　）



項目	実績値
①排出量	20.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　強酸　）



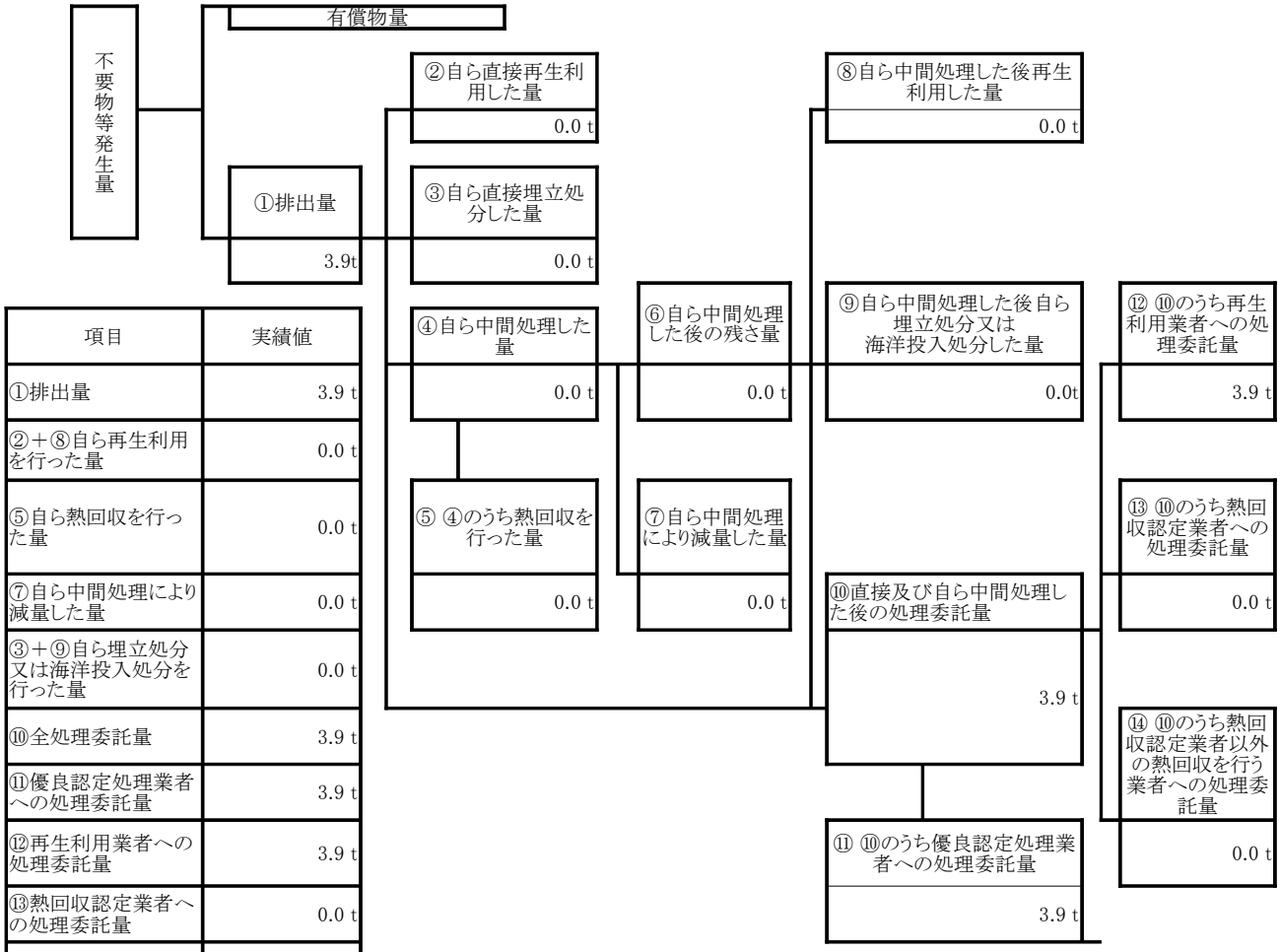
項目	実績値
①排出量	50.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	50.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	50.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　強酸　有害　）

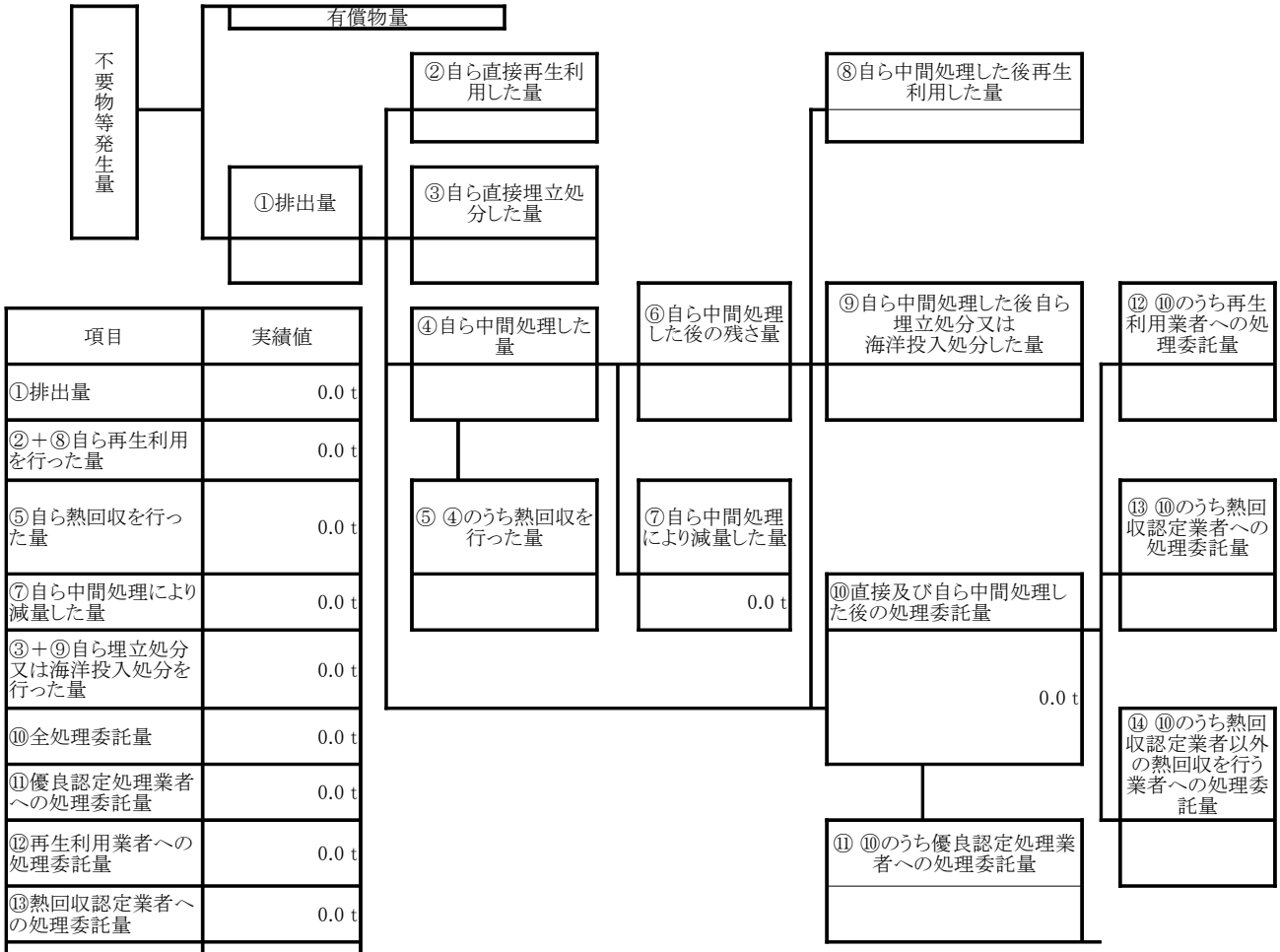


項目	実績値
①排出量	3.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

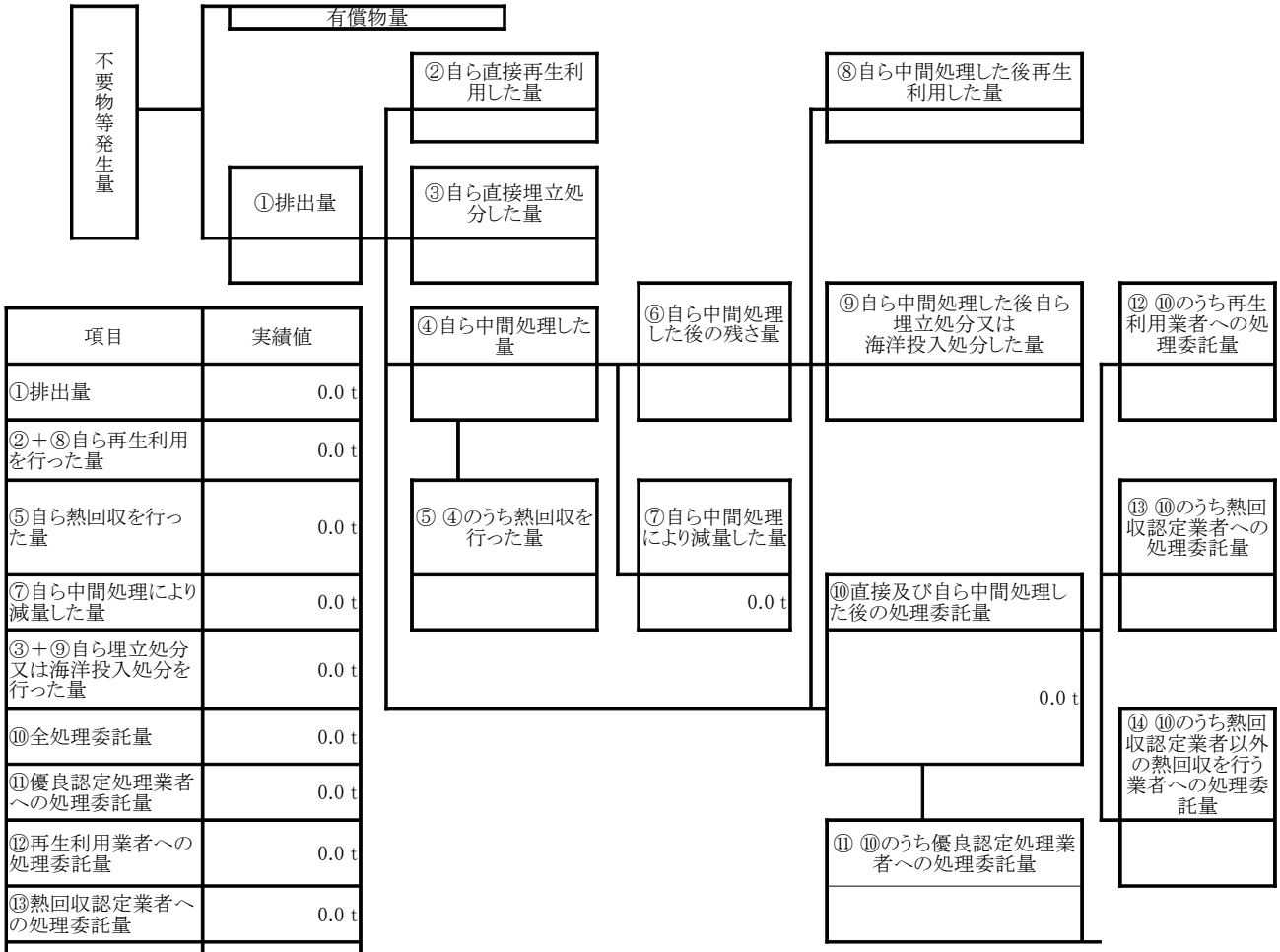


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

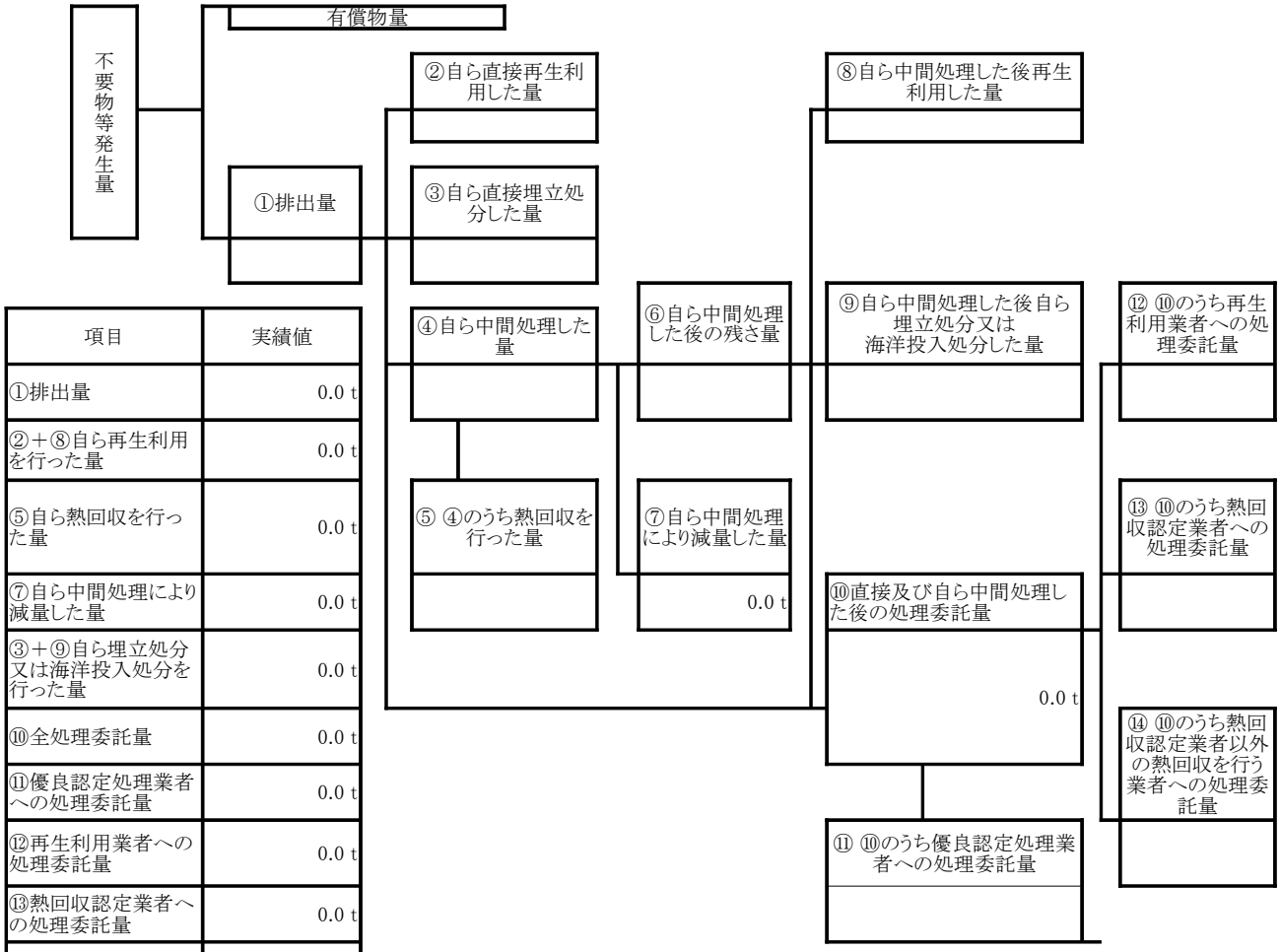


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

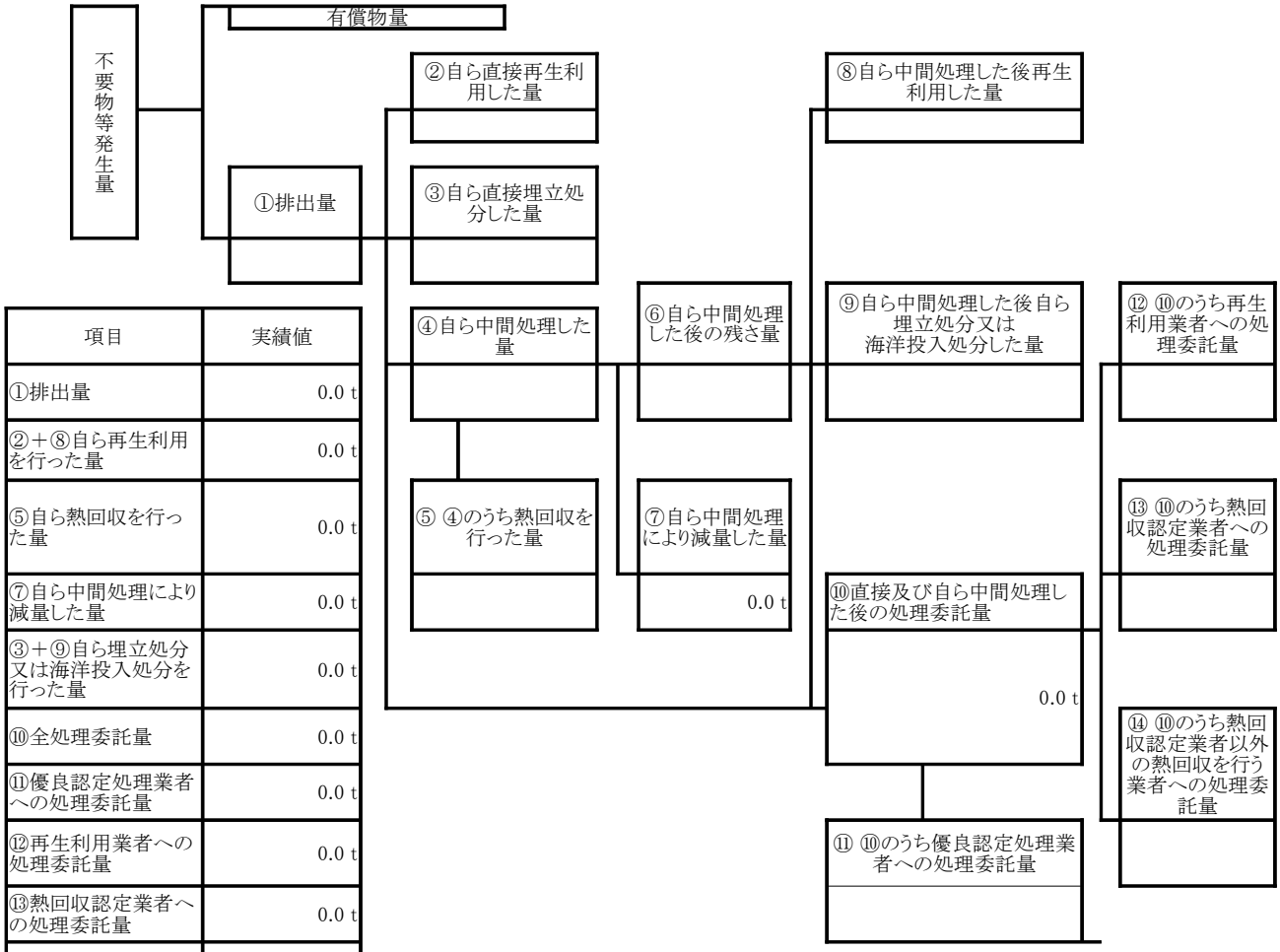


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

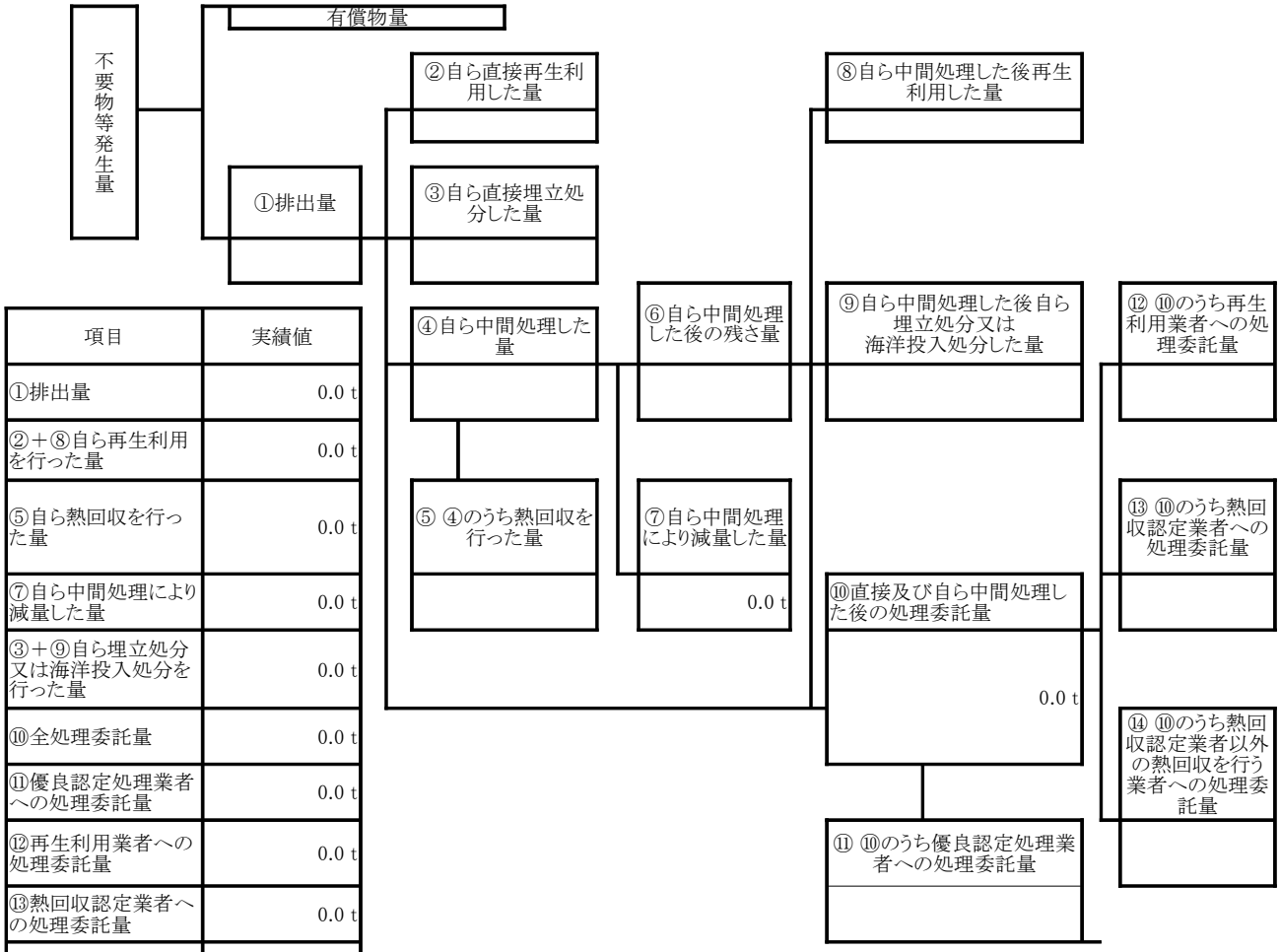


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



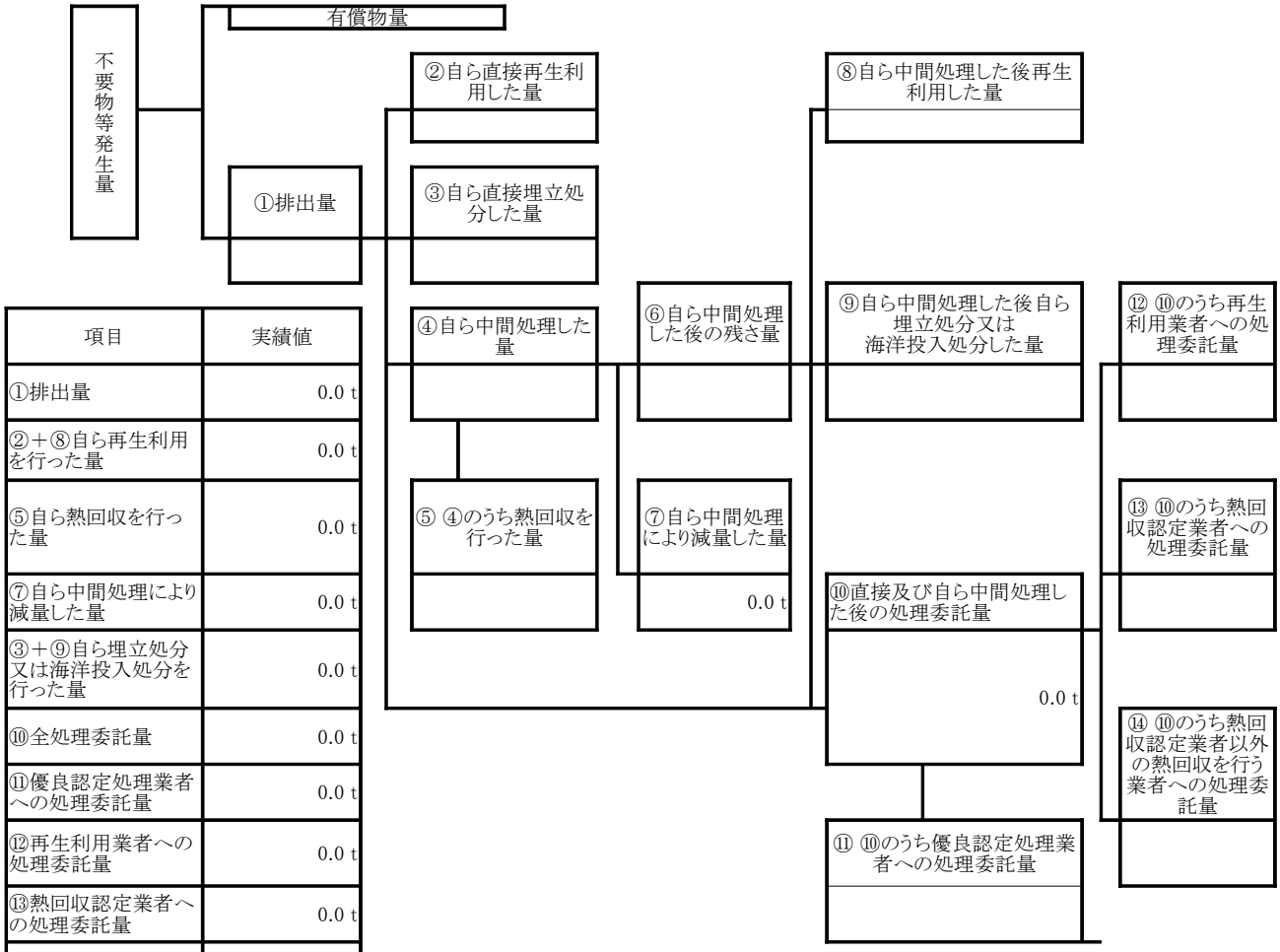
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

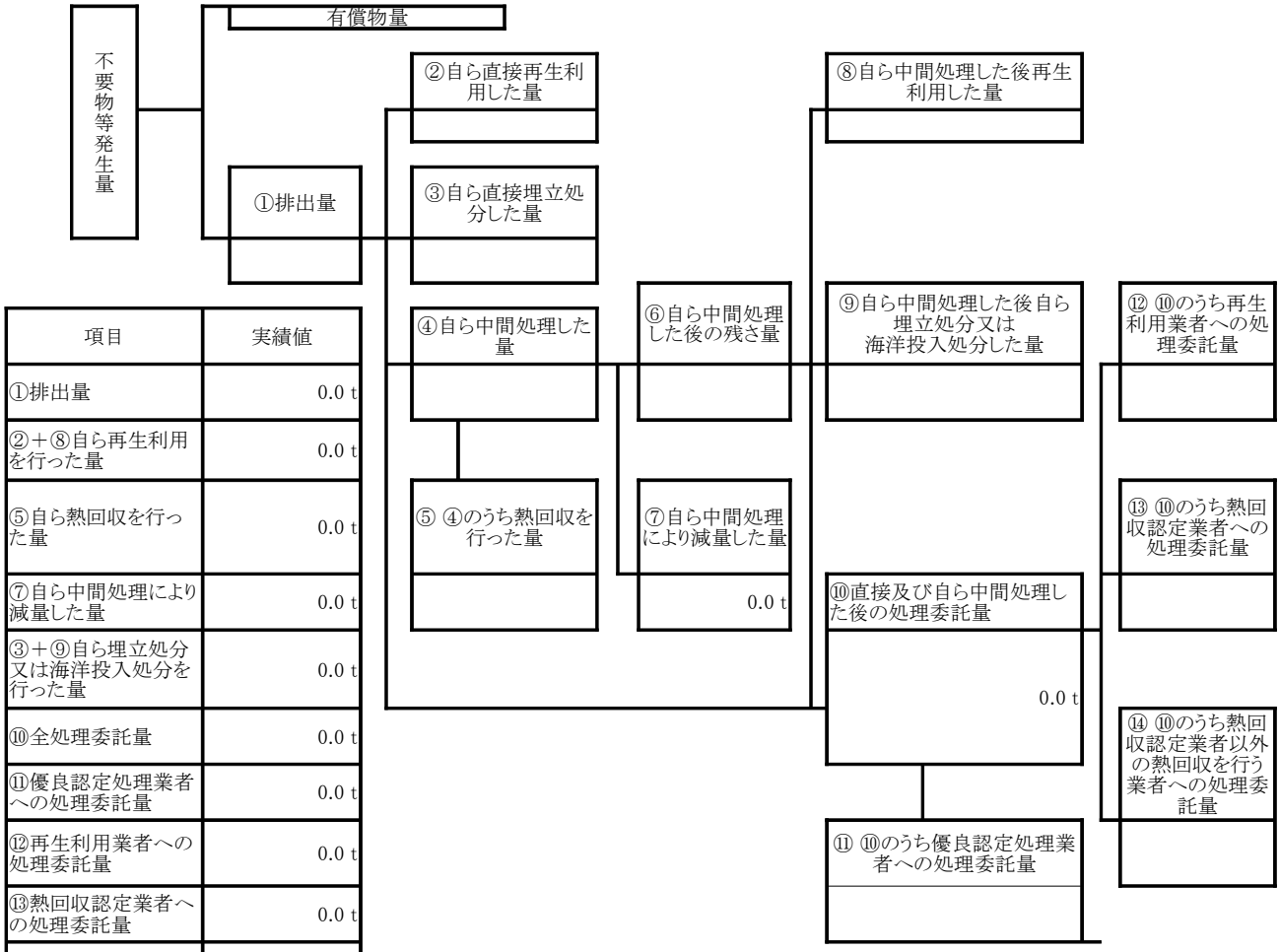


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

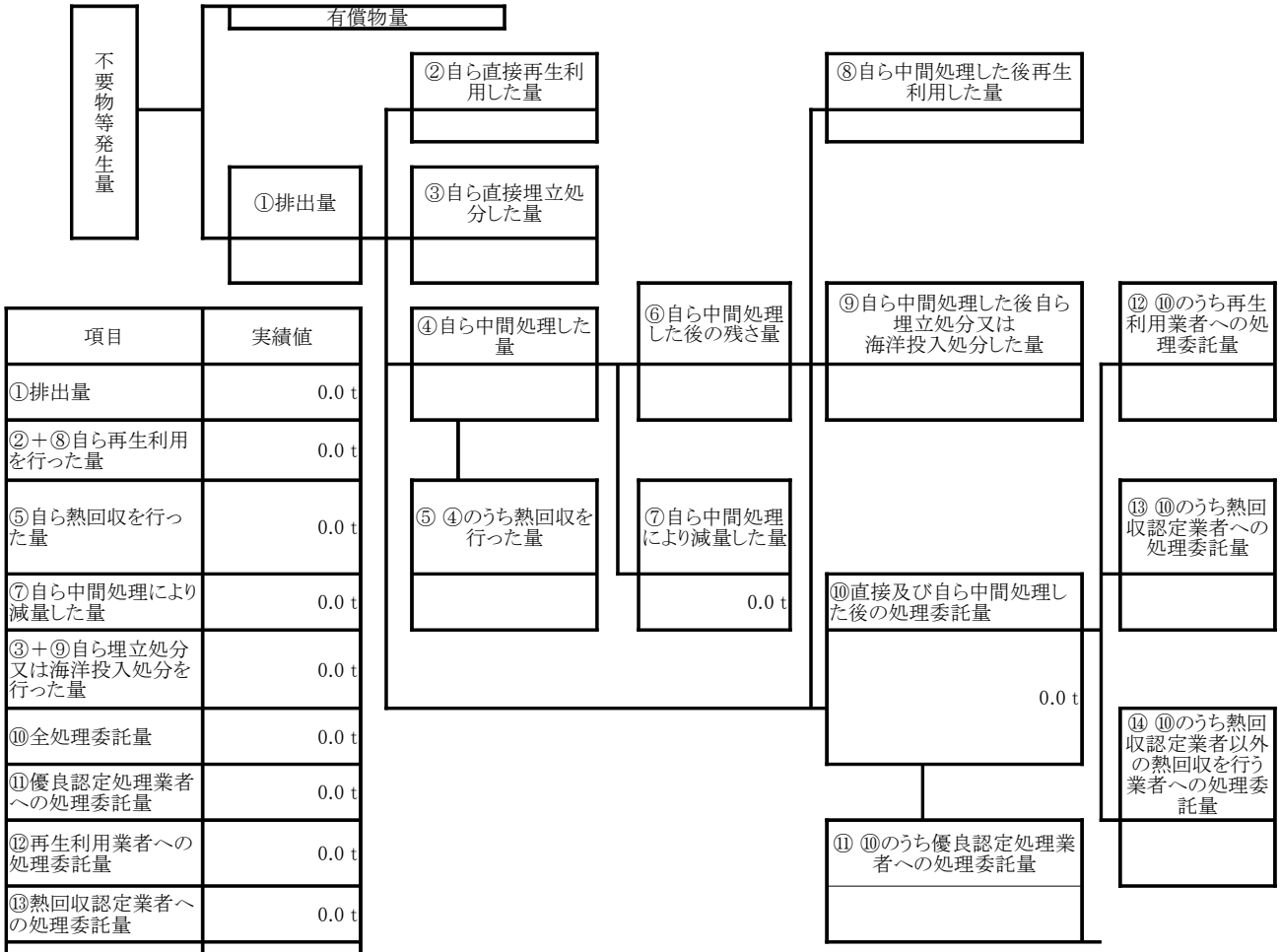


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



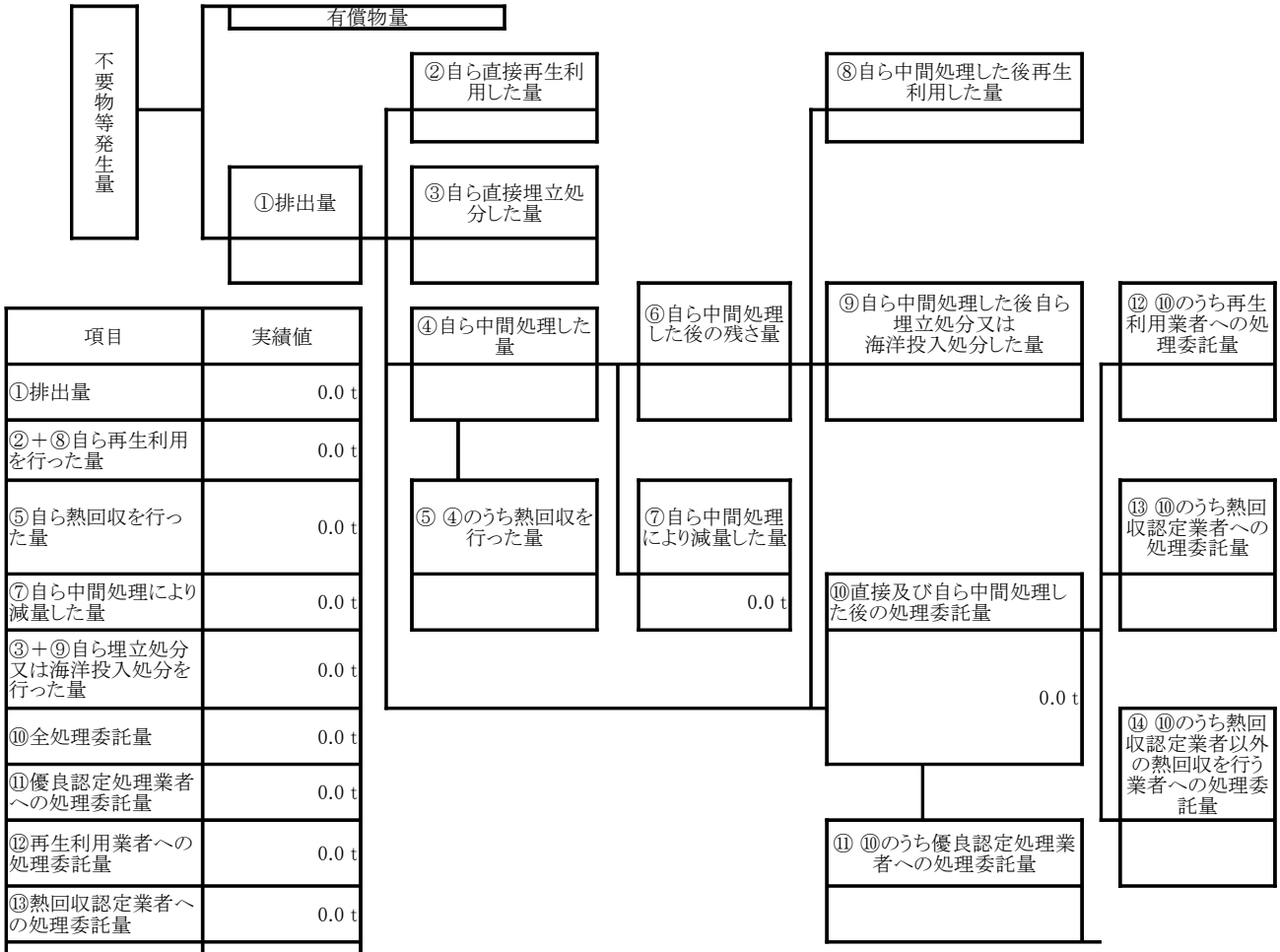
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



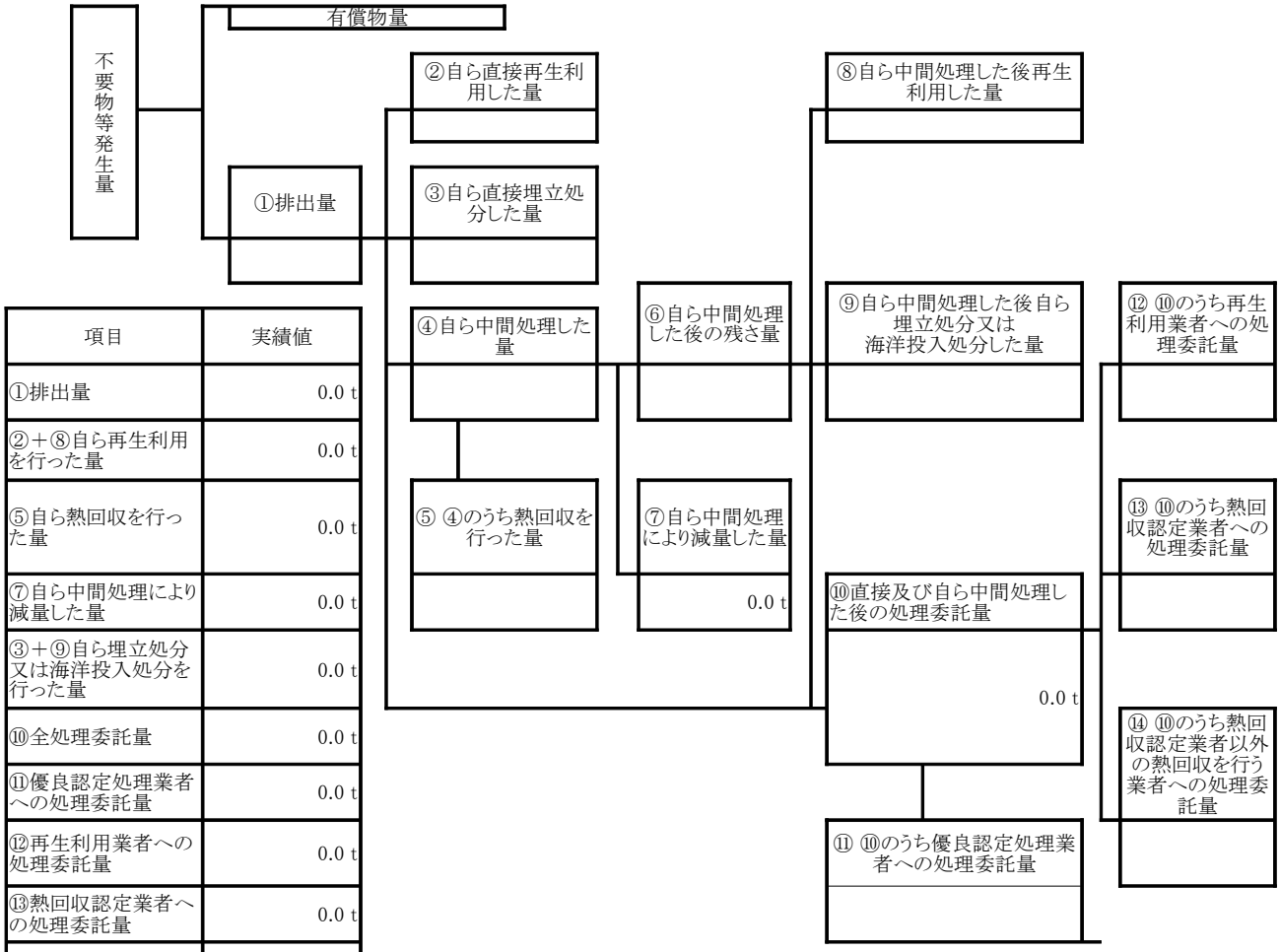
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

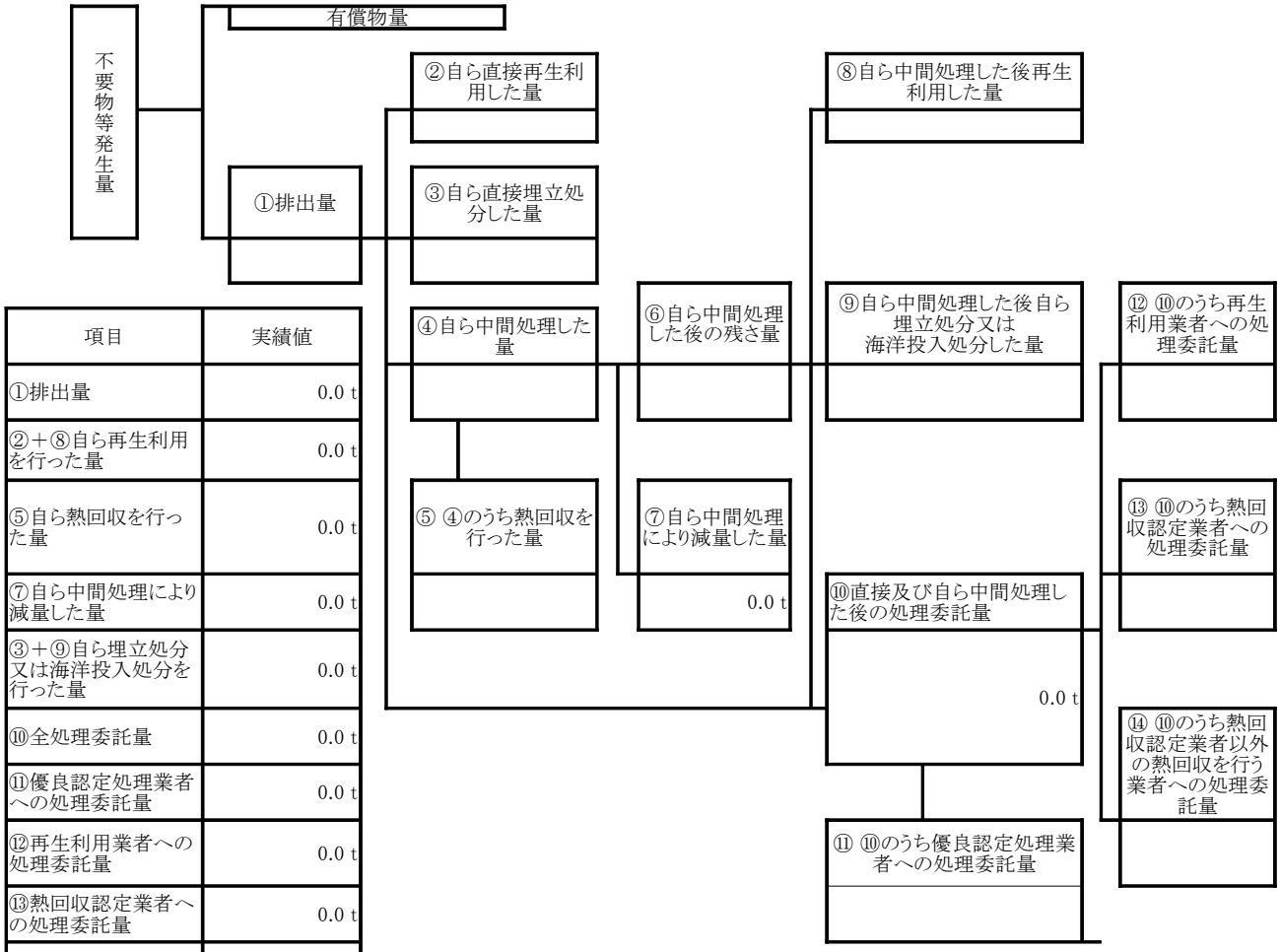


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

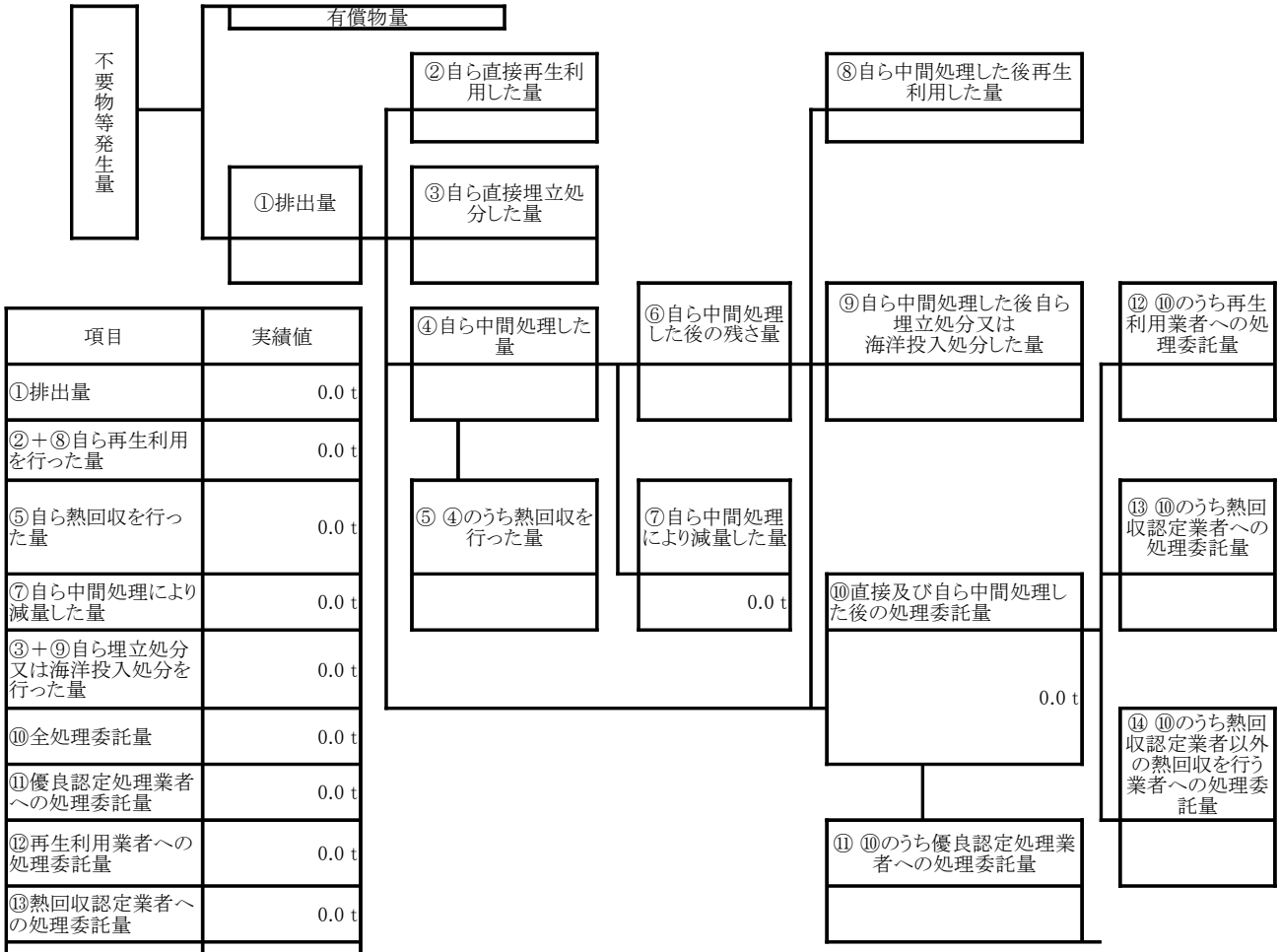


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



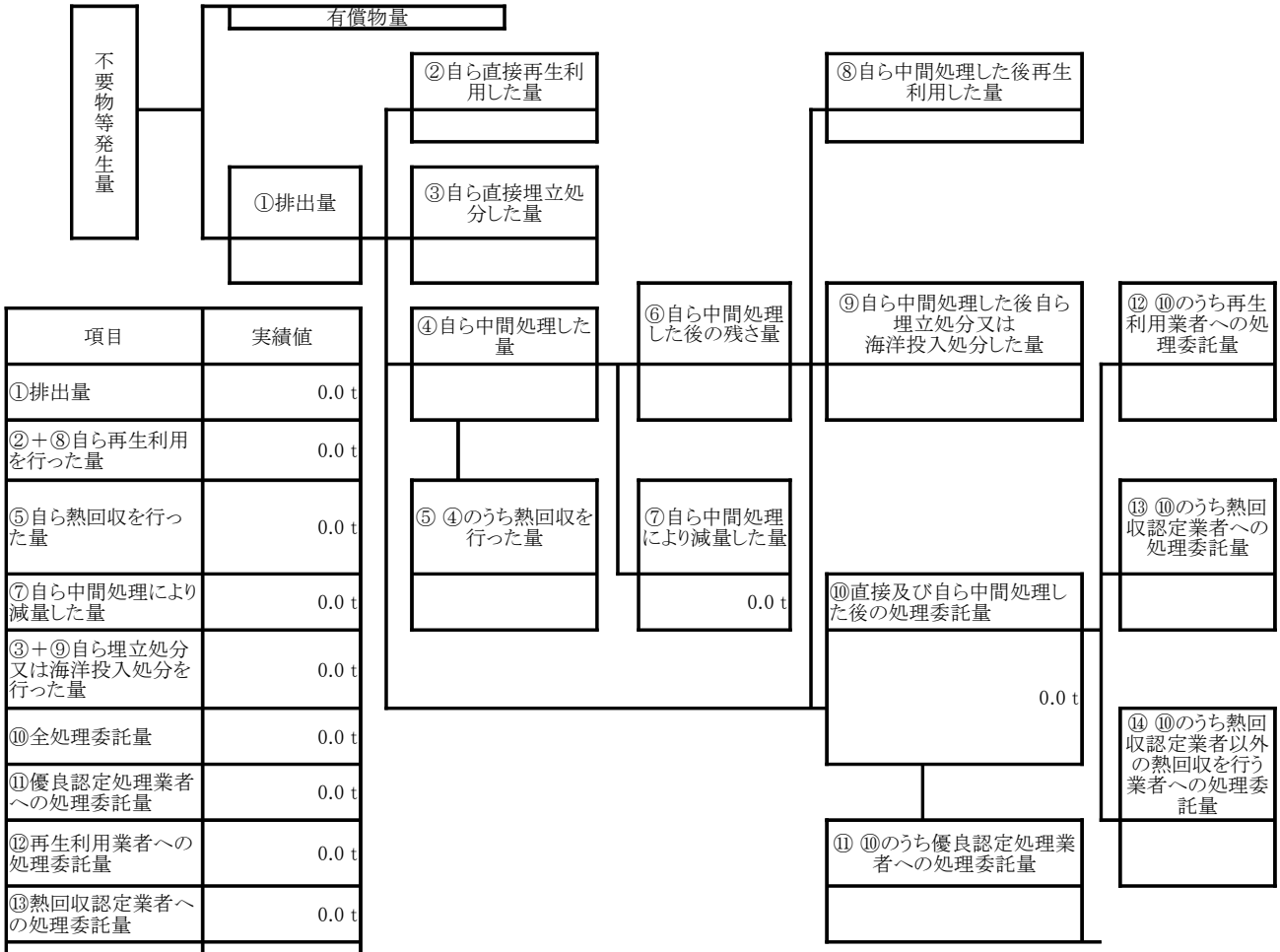
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

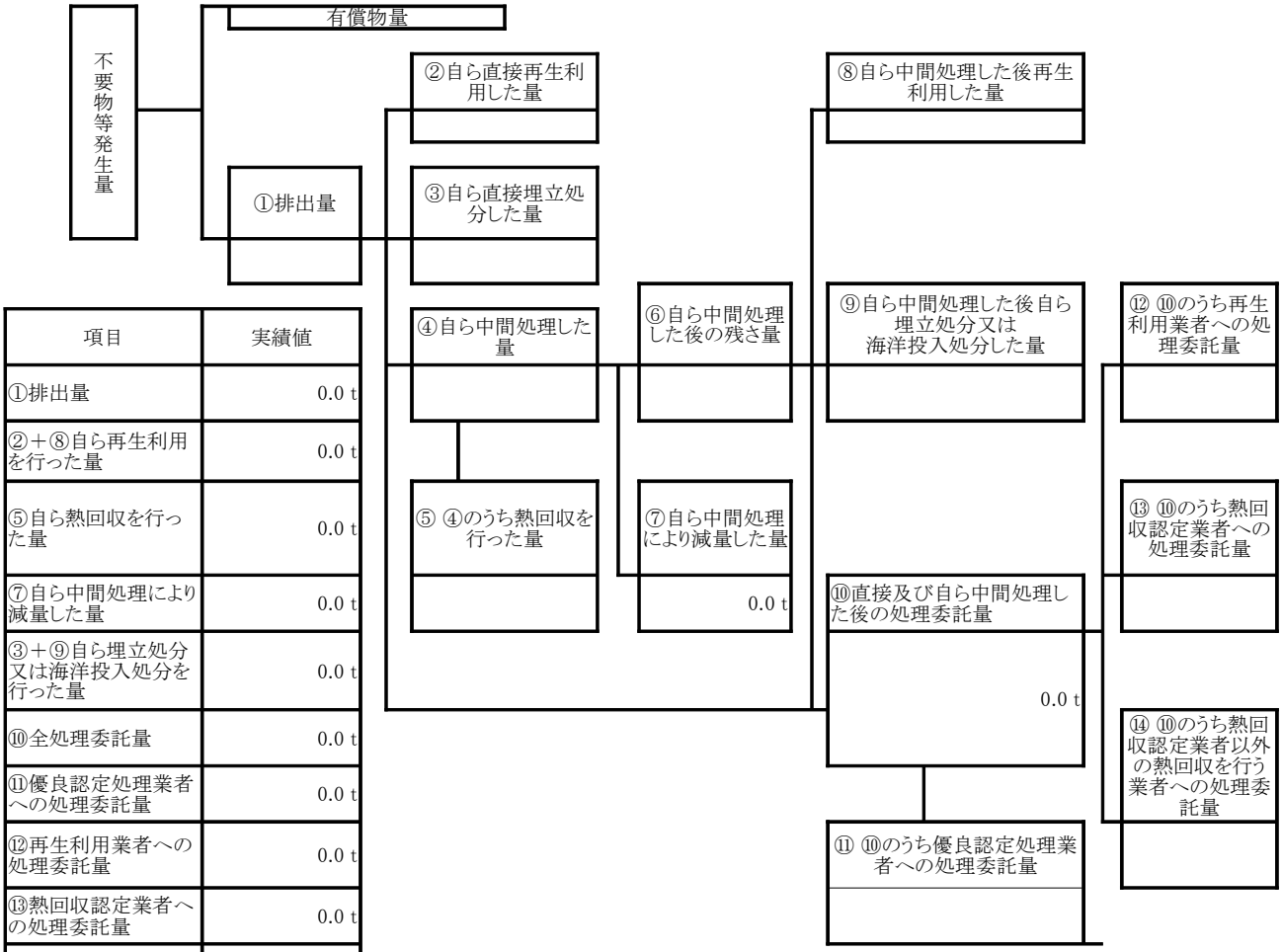


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

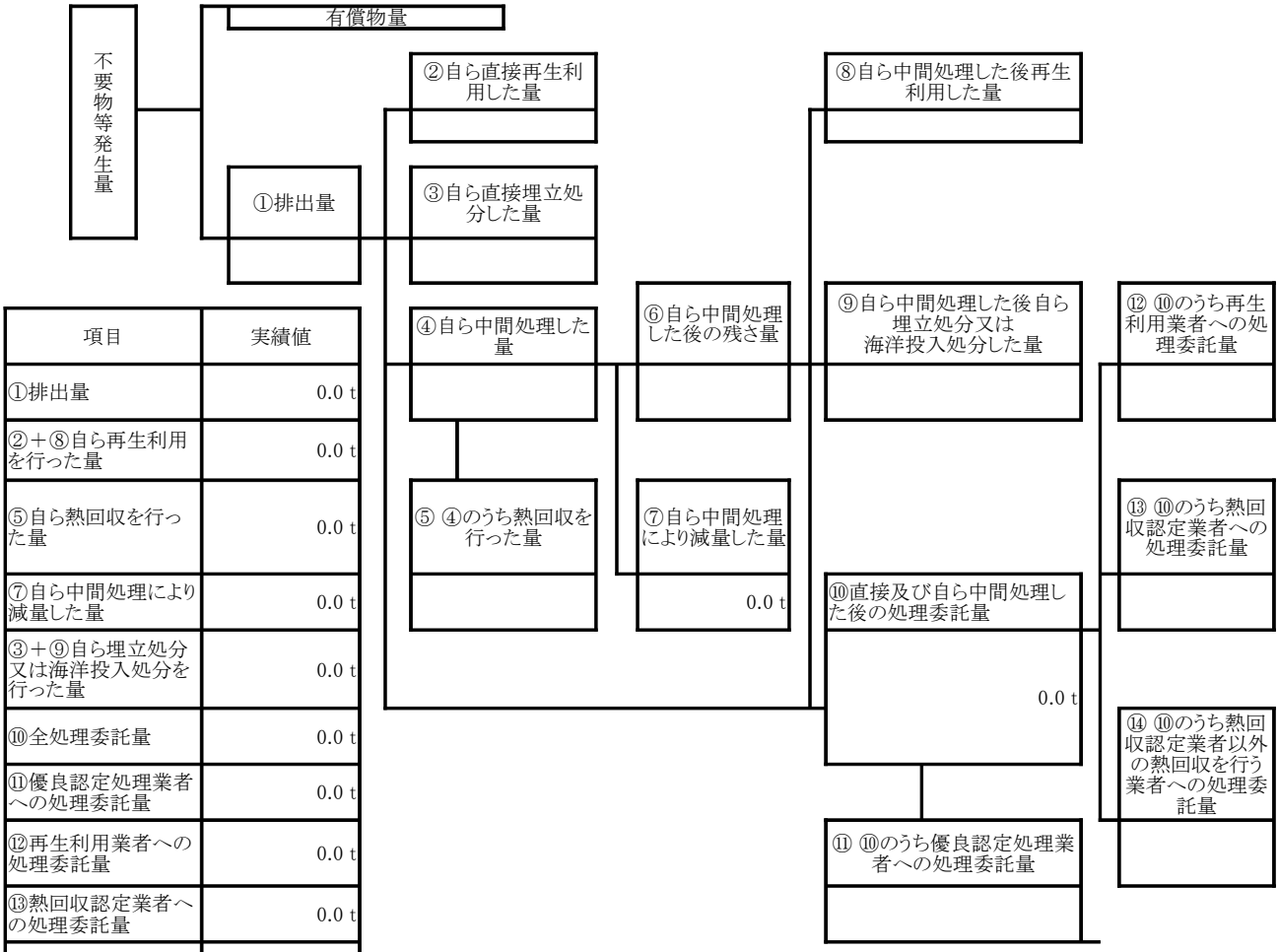
計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月22日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　290-8555

住　所　千葉県市原市八幡海岸通6番地

法人名　古河電気工業株式会社千葉事業所

代表者　吉田 将史

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-42-1709

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	古河電気工業株式会社　千葉事業所
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通６番地
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　非鉄金属製造業
②事業の規模	前年度の製品売上額　316億円
③従業員数	904　人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑
排出量	444.71 t	6.9 t

（これまでに実施した取組）
分別活動及び製造条件の最適化に取り組み削減を目指した。
廃プラスチック類の有価化を進めた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑
排出量	431.37 t	6.9 t

（今後実施する予定の取組）
分別活動及び製造条件の最適化を図り、廃棄物の排出抑制を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック、金属屑：再生利用をしやすいように分別を行っている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック、金属屑：再生利用をしやすいように分別を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

近年、自ら中間処理を行ったことはない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら中間処理を行う予定はない

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

近年、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

埋立処分又は海洋投入処分の予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		廃プラスチック	ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑
全処理委託量		444.71 t	6.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	147.06 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	313.07 t	6.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	131.64 t	0 t

（これまでに実施した取組）

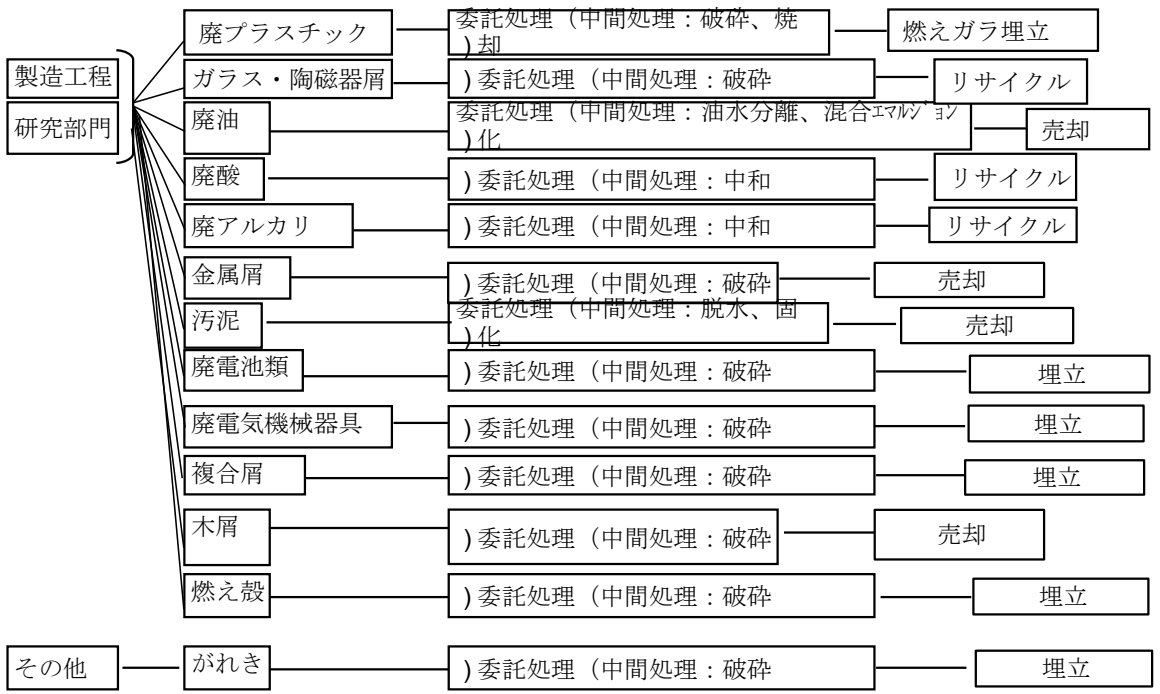
処理委託業者を訪問して、廃掃法に従い処理がされているか現地確認を行った。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック</td><td>ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>431.37 t</td><td>6.9 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>172.55 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>310.58 t</td><td>6.9 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>120.78 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
処理委託業者を訪問して、廃掃法に従い処理がされているか確認を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

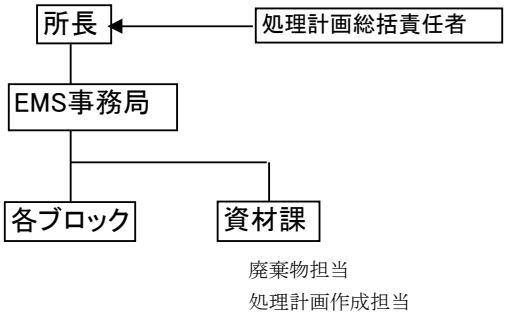
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

	④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
排　出　量	100.613 t	2.492 t	288.581 t	0.264 t	108.54 t	13.27 t	1.18 t	13.09 t	39.42 t	0.006 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
排　出　量	98.60074 t	2.492 t	279.92357 t	0.264 t	106.3692 t	13.27 t	1.18 t	13.09 t	39.42 t	0.02 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
全処理委託量	100.613 t	2.492 t	288.581 t	0.264 t	108.54 t	13.27 t	1.18 t	13.09 t	39.42 t	0.006 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	88.232 t	2.07 t	288.581 t	0 t	99.391 t	0 t	0 t	2.69 t	39.42 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	97.112 t	2.07 t	288.581 t	0.264 t	99.39 t	13.27 t	1.18 t	13.09 t	39.42 t	0.006 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.501 t	0.422 t	0 t	0 t	9.15 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
全処理委託量	98.60074 t	2.492 t	279.92357 t	0.264 t	106.3692 t	13.27 t	1.18 t	13.09 t	39.42 t	0.02 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	88.740666 t	2.06836 t	263.1281558 t	0 t	97.859664 t	0 t	0 t	2.689995 t	39.42 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	88.740666 t	2.06836 t	279.92357 t	0.264 t	97.859664 t	13.27 t	1.18 t	13.09 t	39.42 t	0.02 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	9.860074 t	0.42364 t	0 t	0 t	8.509536 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月22日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　290-8555

住所 千葉県市原市八幡海岸通6番地

法人名 古河電気工業株式会社千葉事業所

代表者 吉田 将史

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-42-1709

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	古河電気工業株式会社 千葉事業所
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通6番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 非鉄金属製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

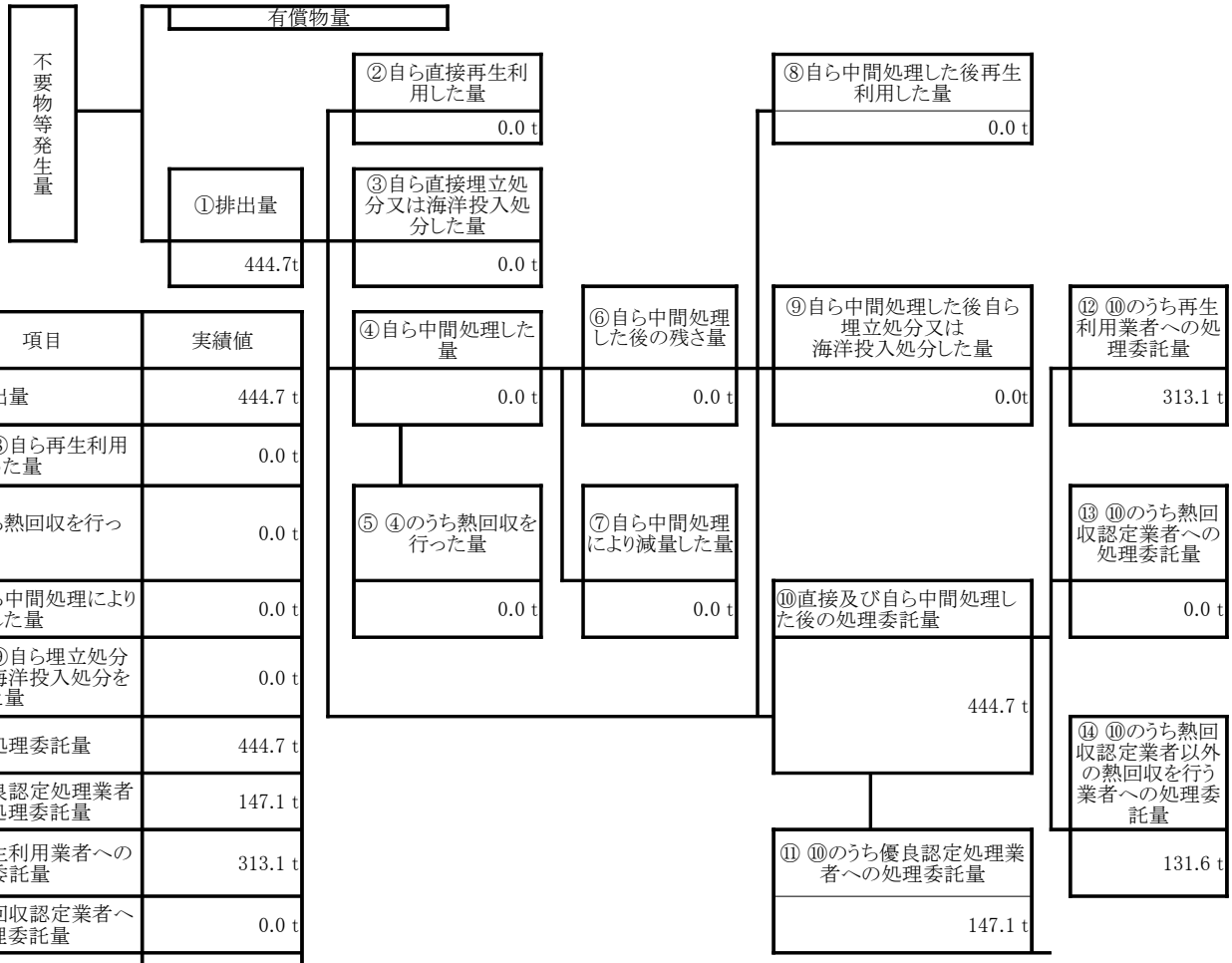
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1607.49 t	全処理委託量	1607.49 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	921.04 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1457.29 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	150.2 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

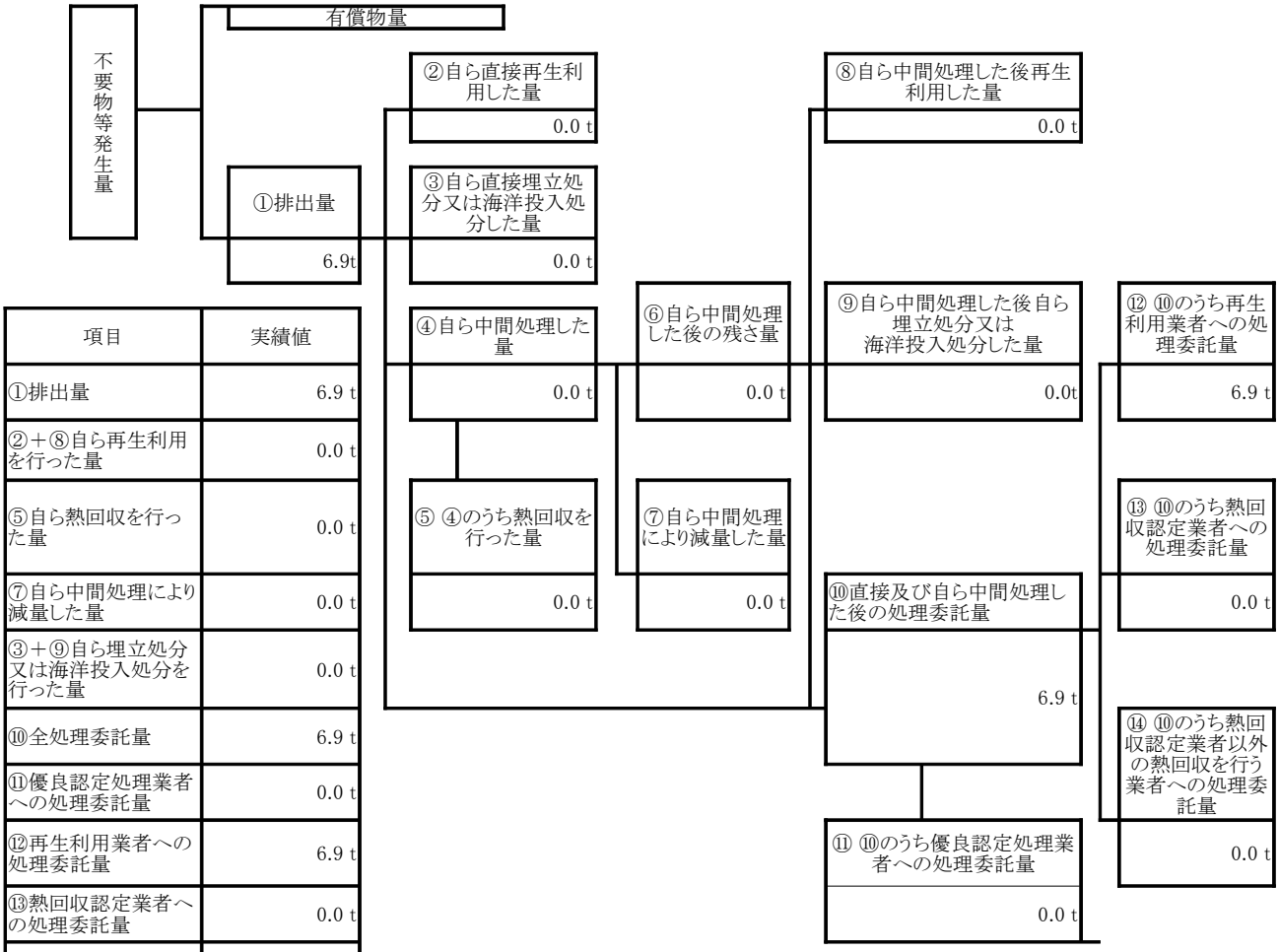


項目	実績値
①排出量	444.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	444.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	147.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	313.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	131.6 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



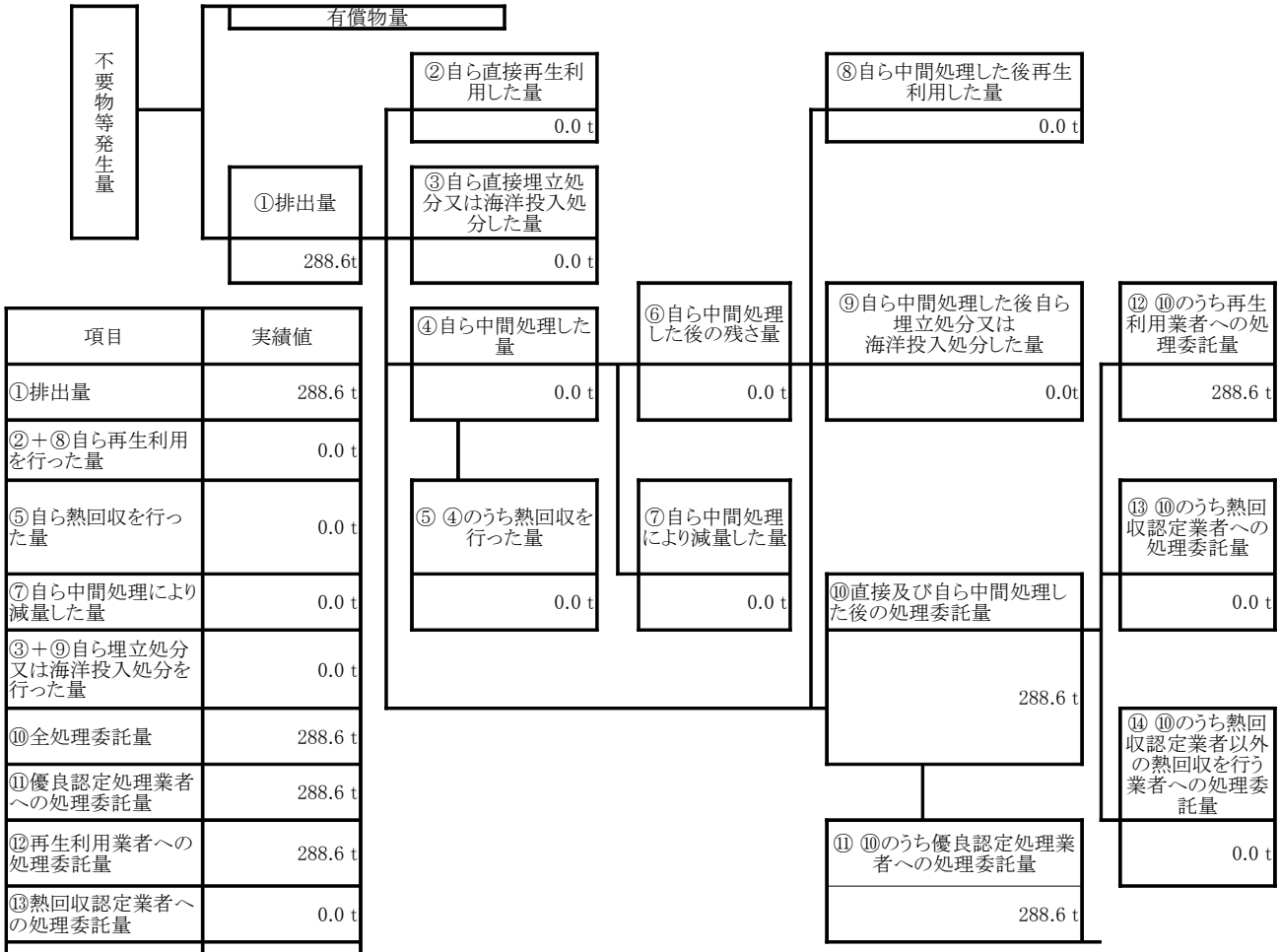
項目	実績値
①排出量	6.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃アルカリ　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

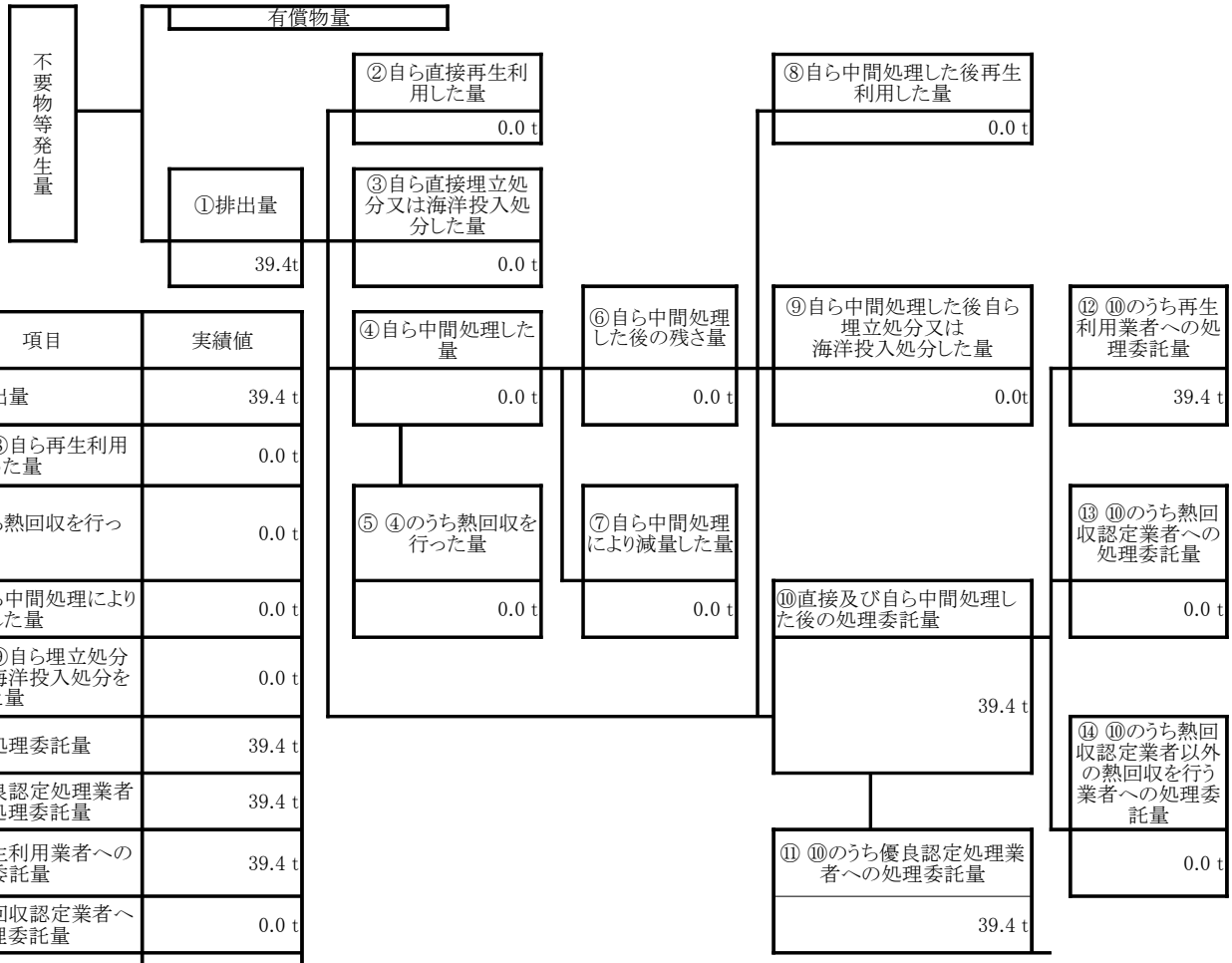


項目	実績値
①排出量	288.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	288.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	288.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	288.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木屑　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

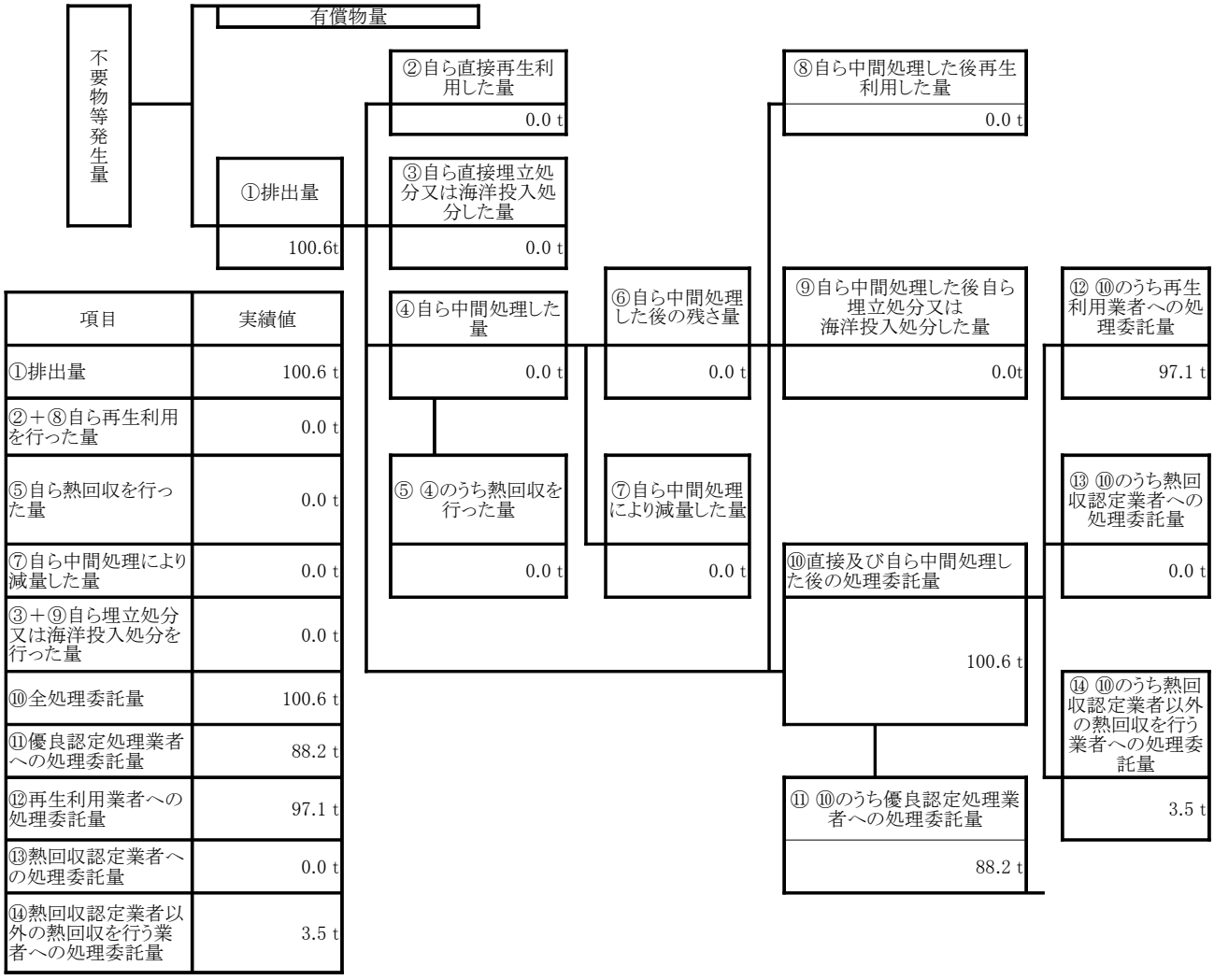


項目	実績値
①排出量	39.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	39.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	39.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

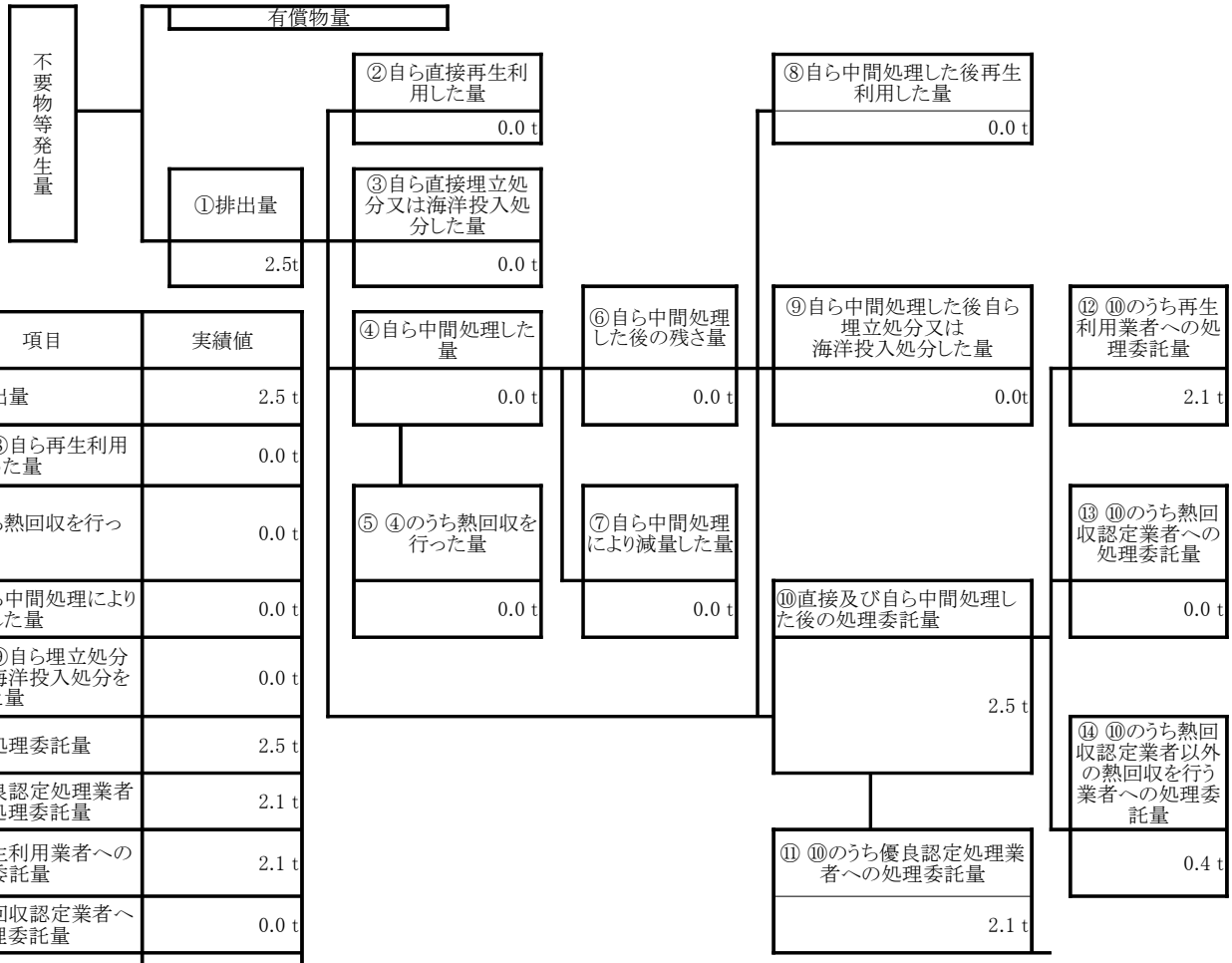


項目	実績値
①排出量	100.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	100.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	88.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	97.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.5 t

N0.6

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　**廃酸**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

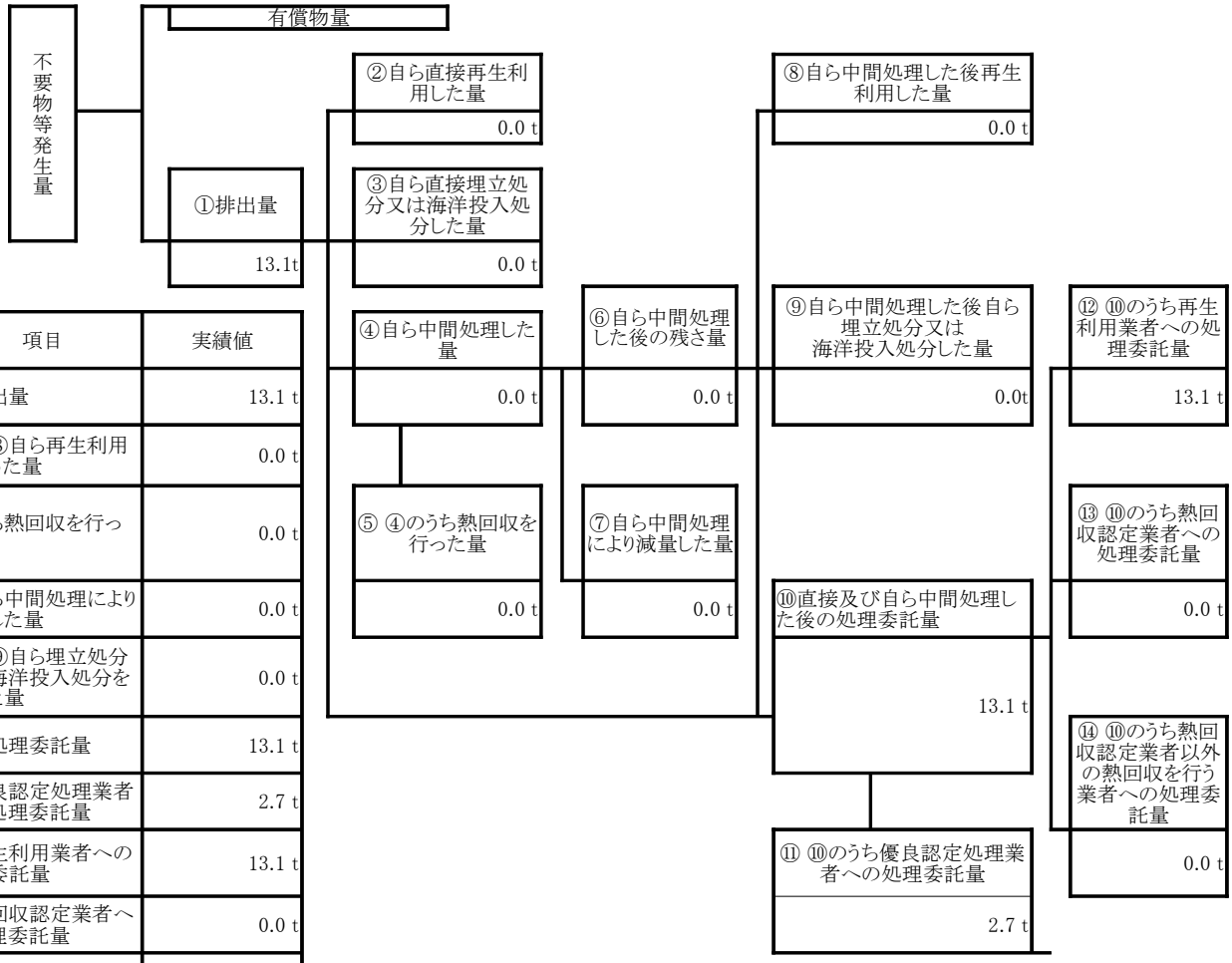


項目	実績値
①排出量	2.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.4 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　複合材　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

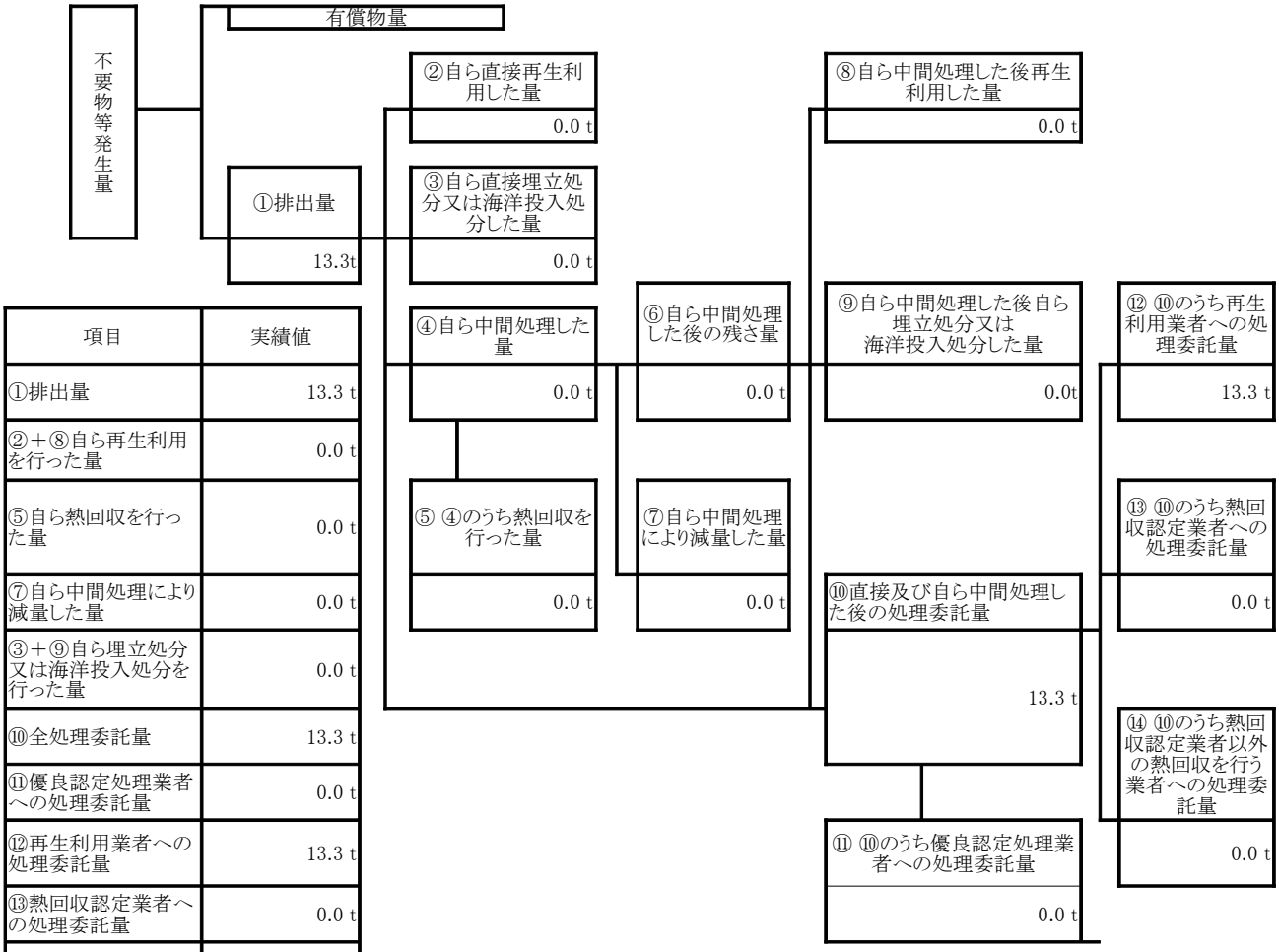


項目	実績値
①排出量	13.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型混合廃棄**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

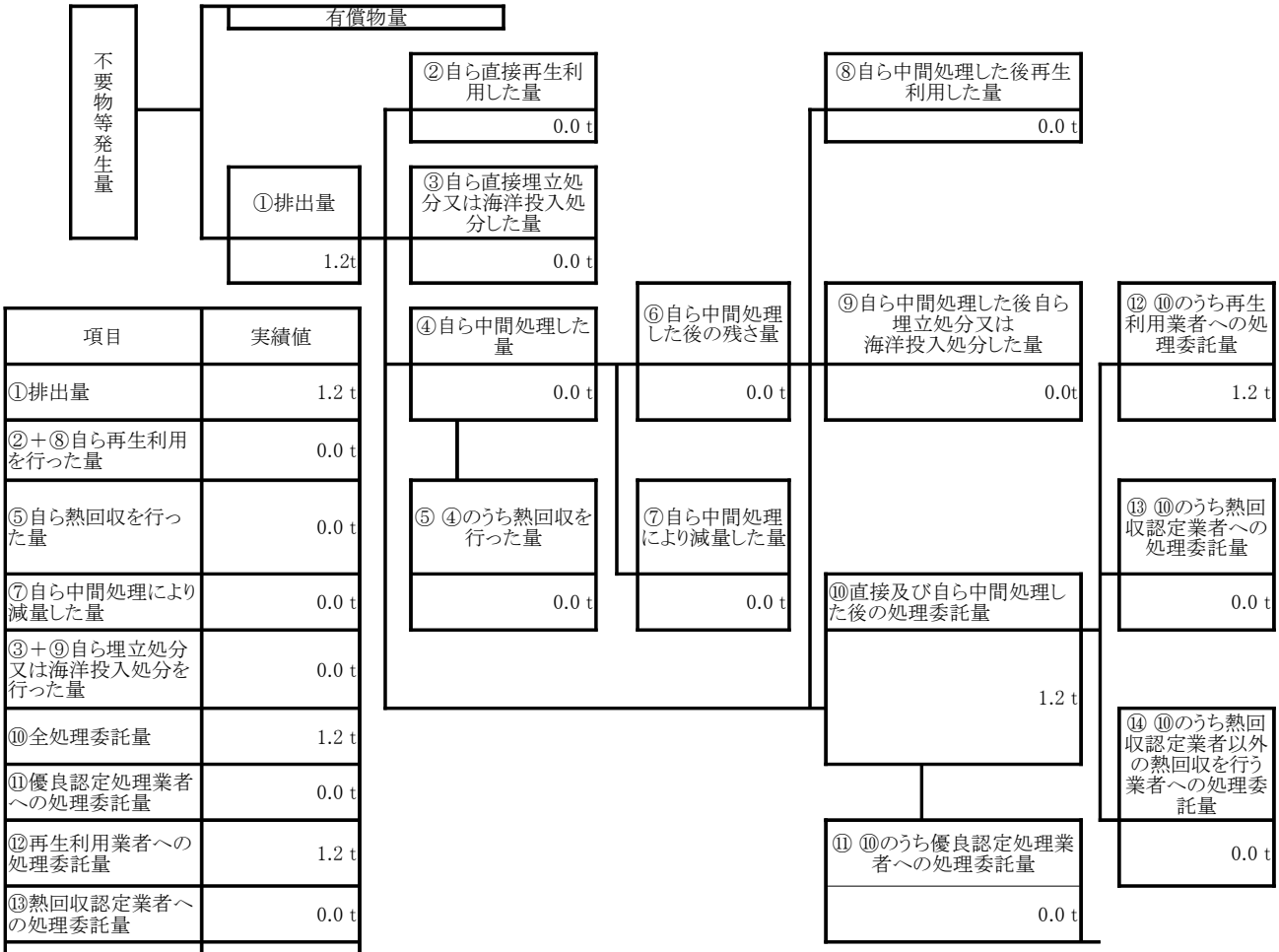


項目	実績値
①排出量	13.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃電気機械器具**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

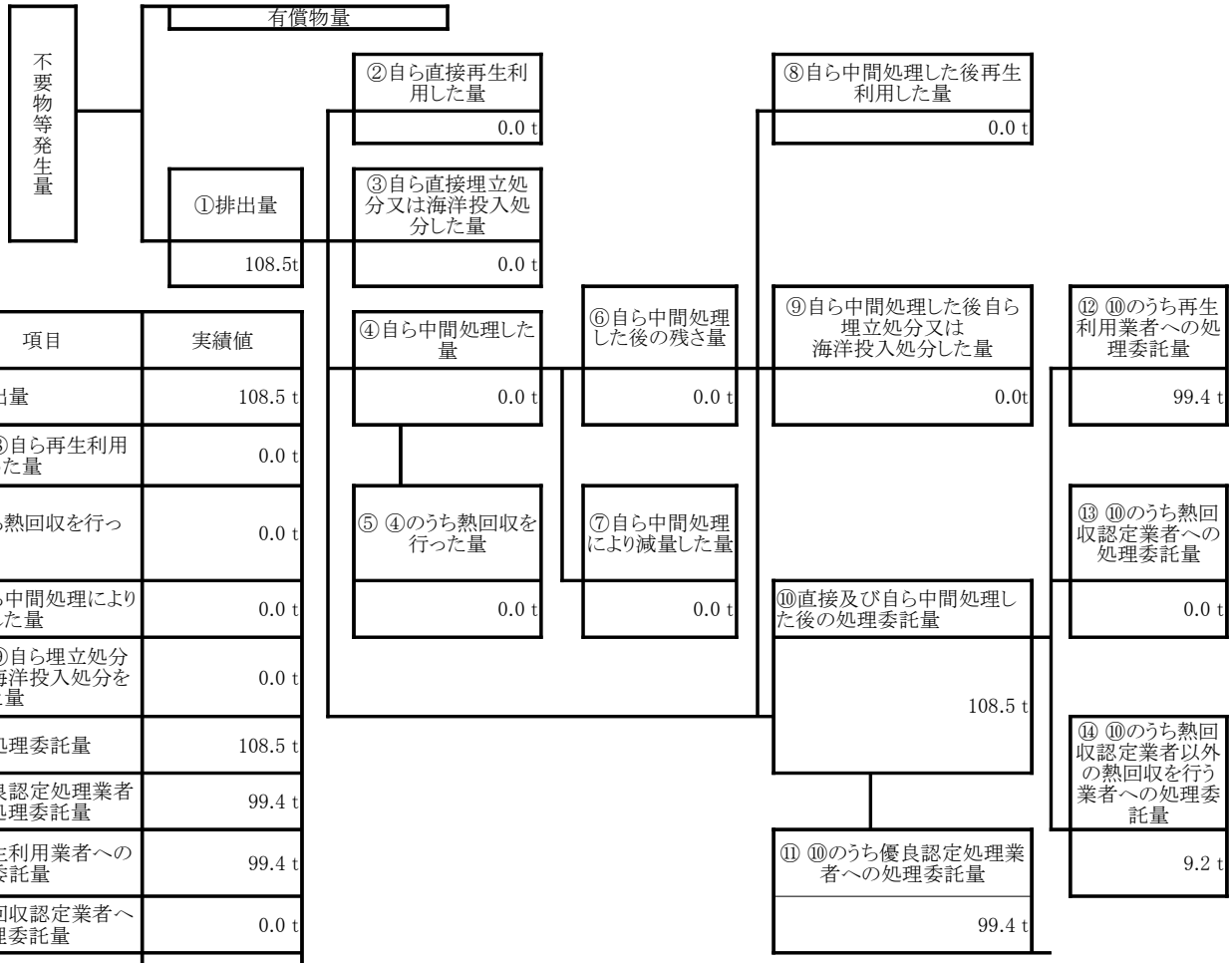


項目	実績値
①排出量	1.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

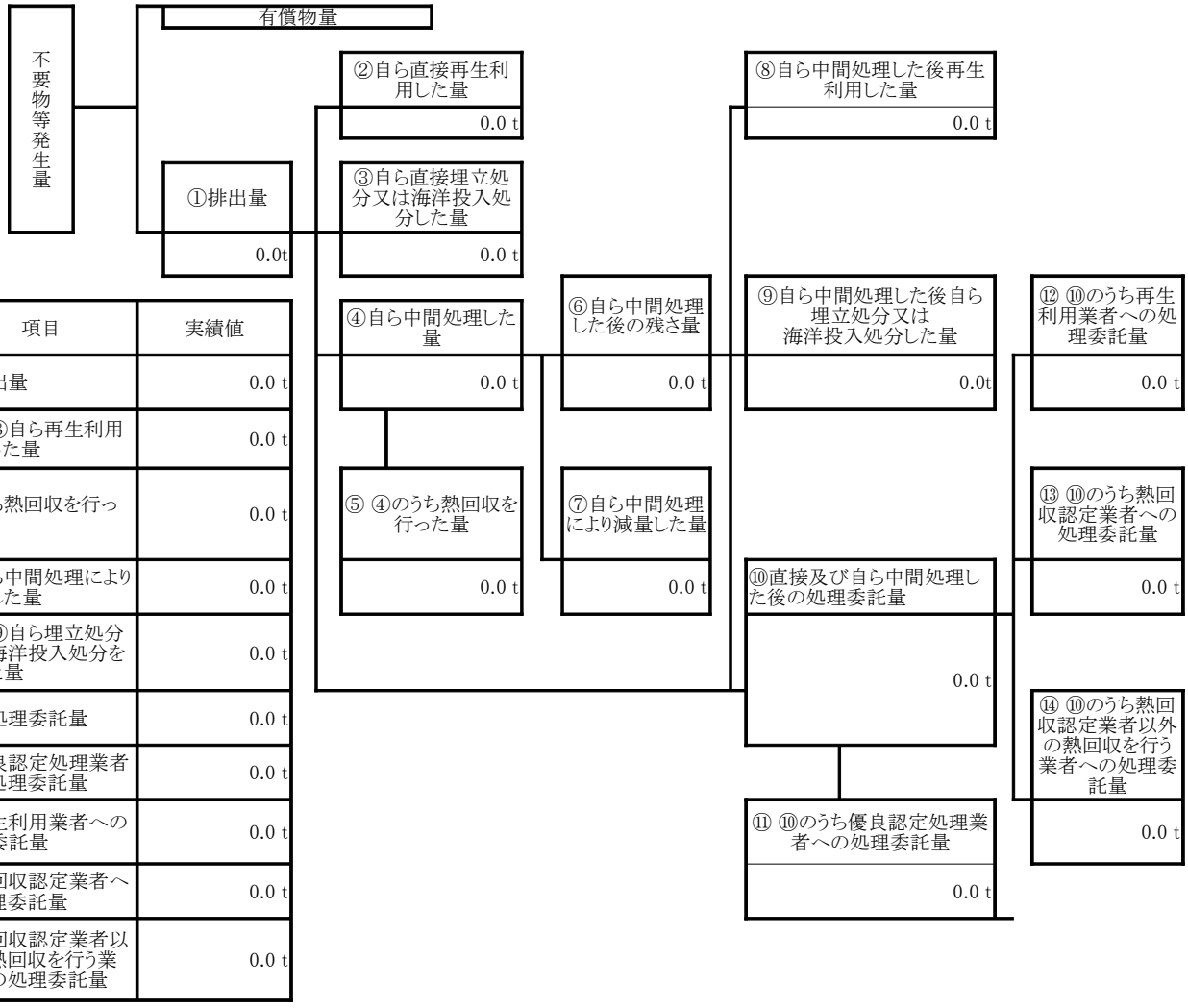


項目	実績値
①排出量	108.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	108.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	99.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	99.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	9.2 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃水銀(水銀使用製品)**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

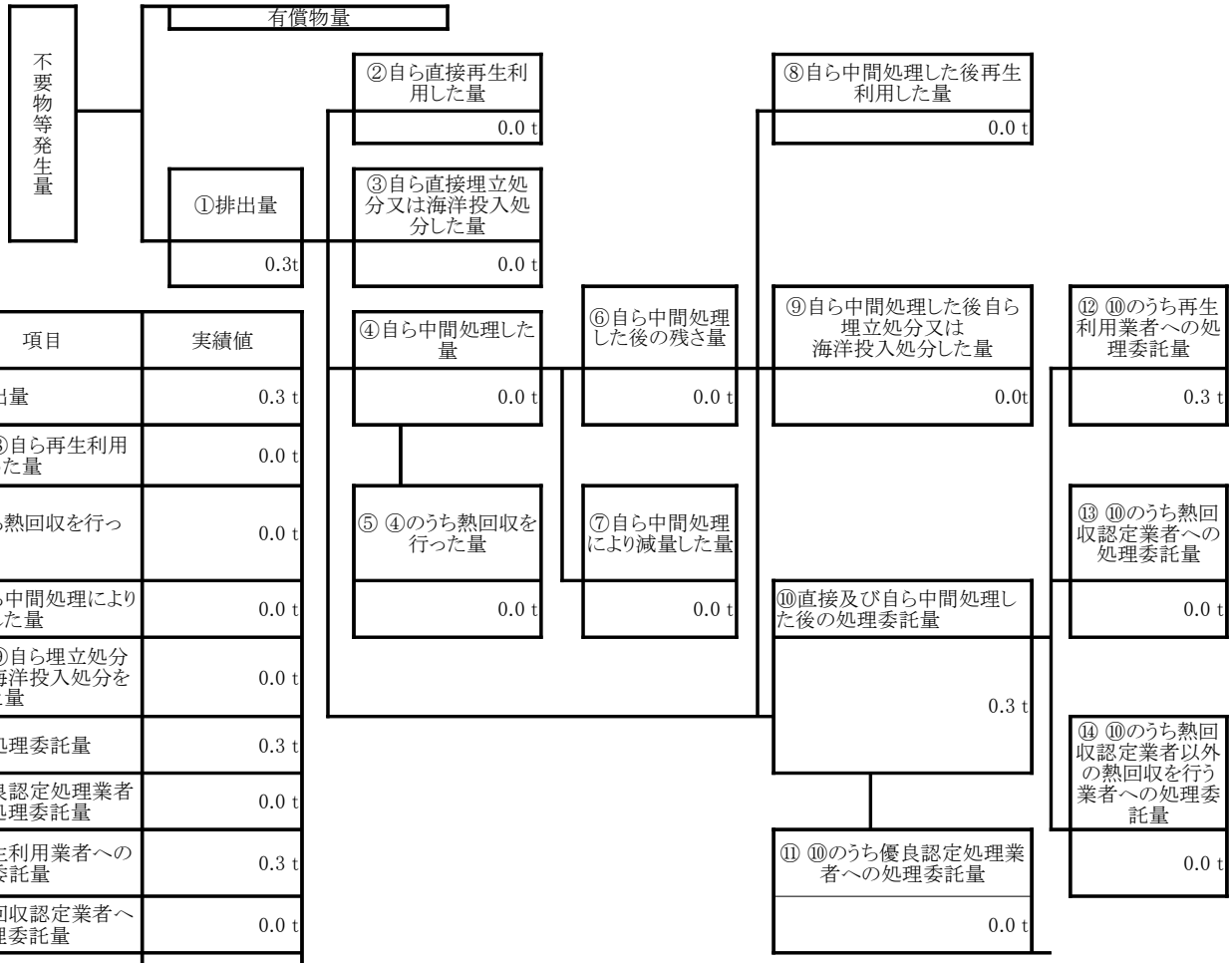


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属屑**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

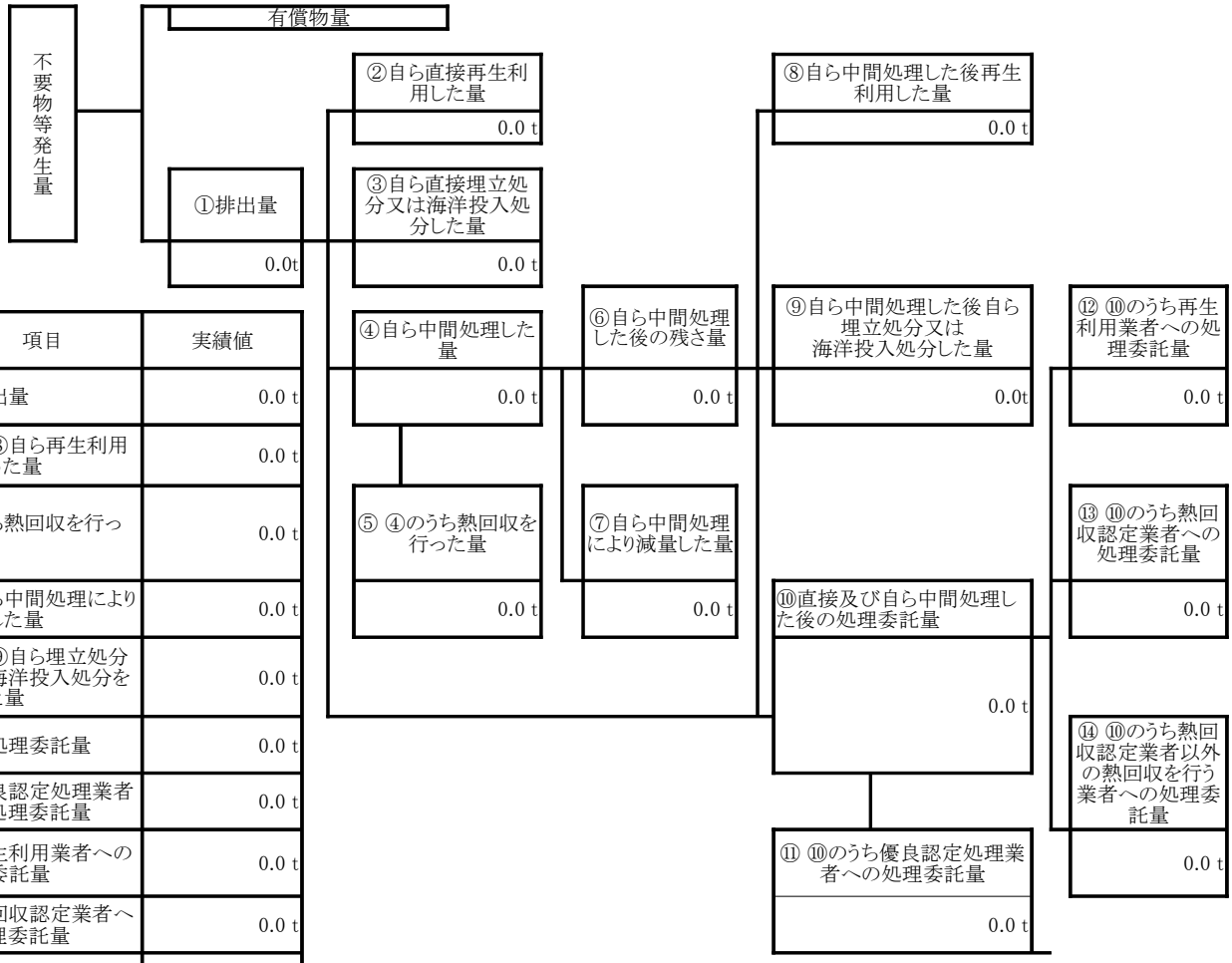


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　がれき　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

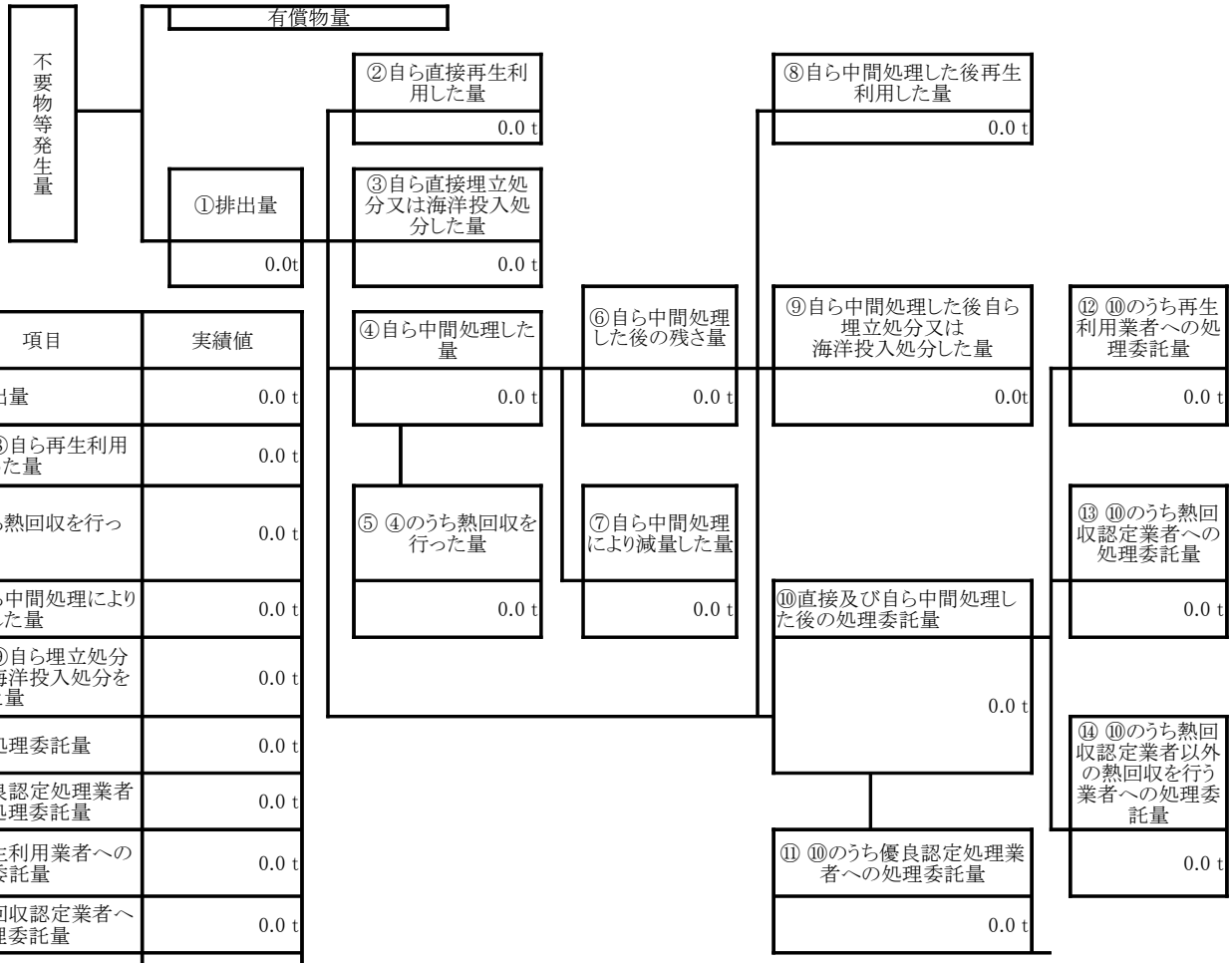


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**燃え殻**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



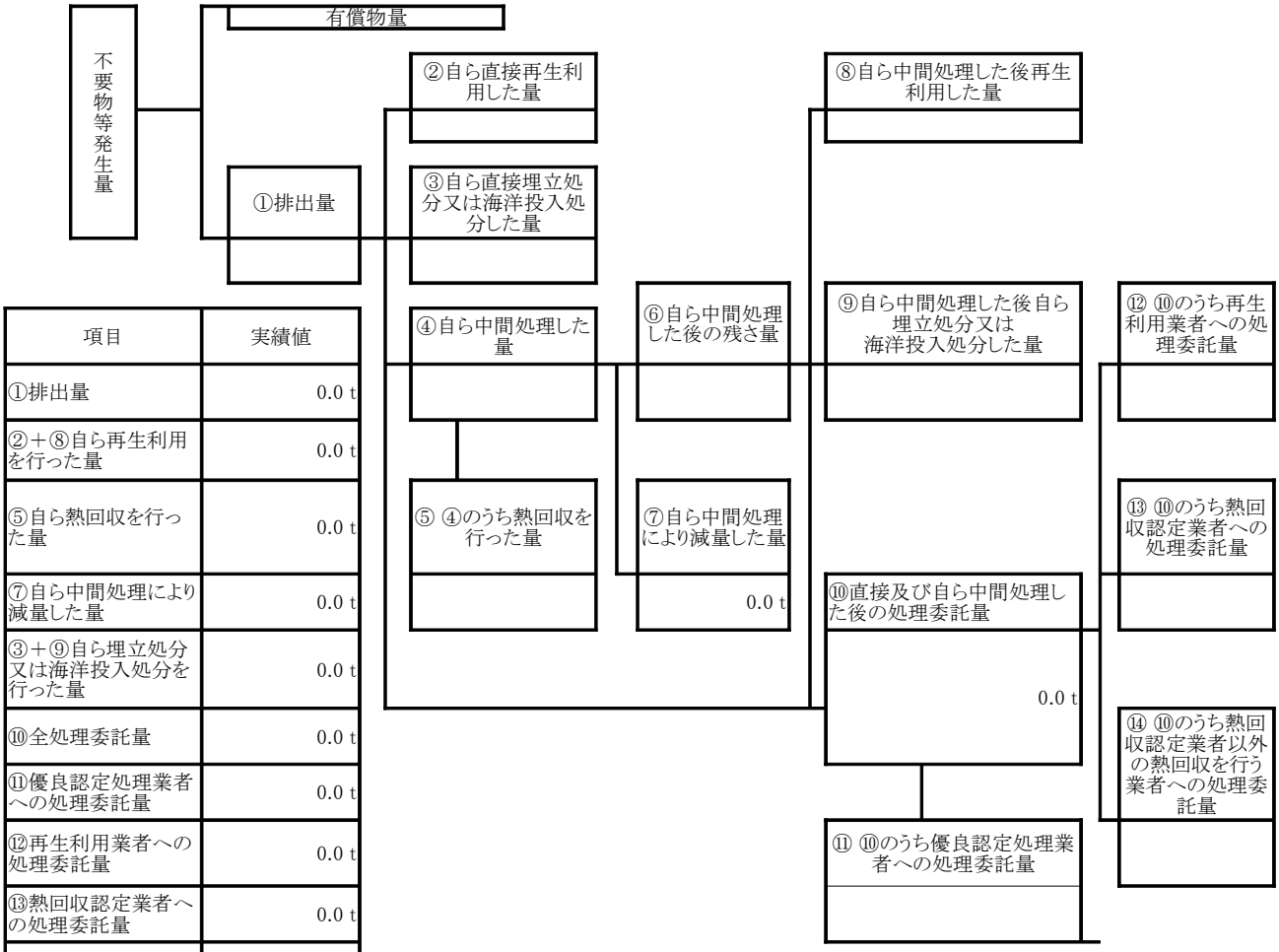
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

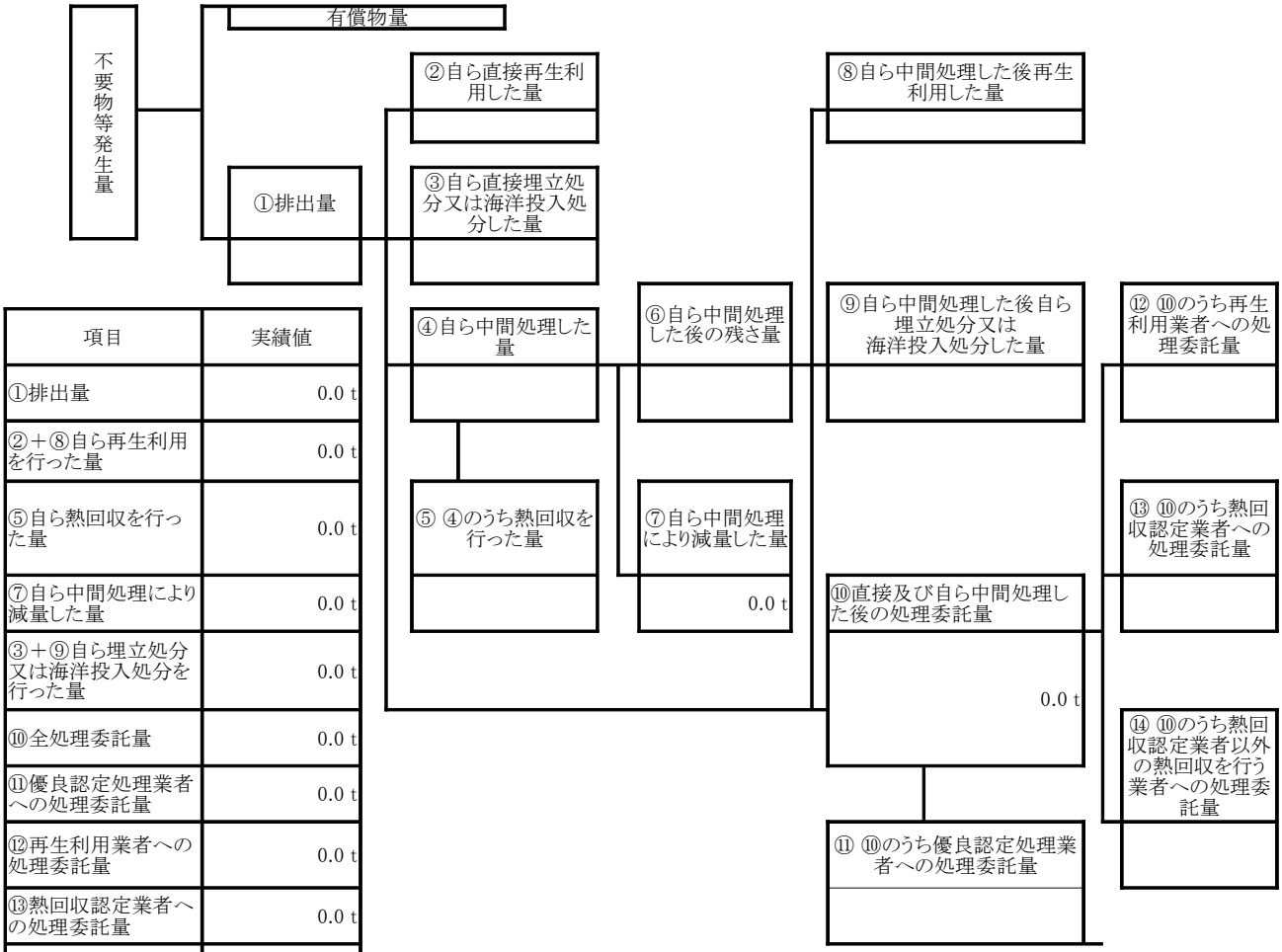


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

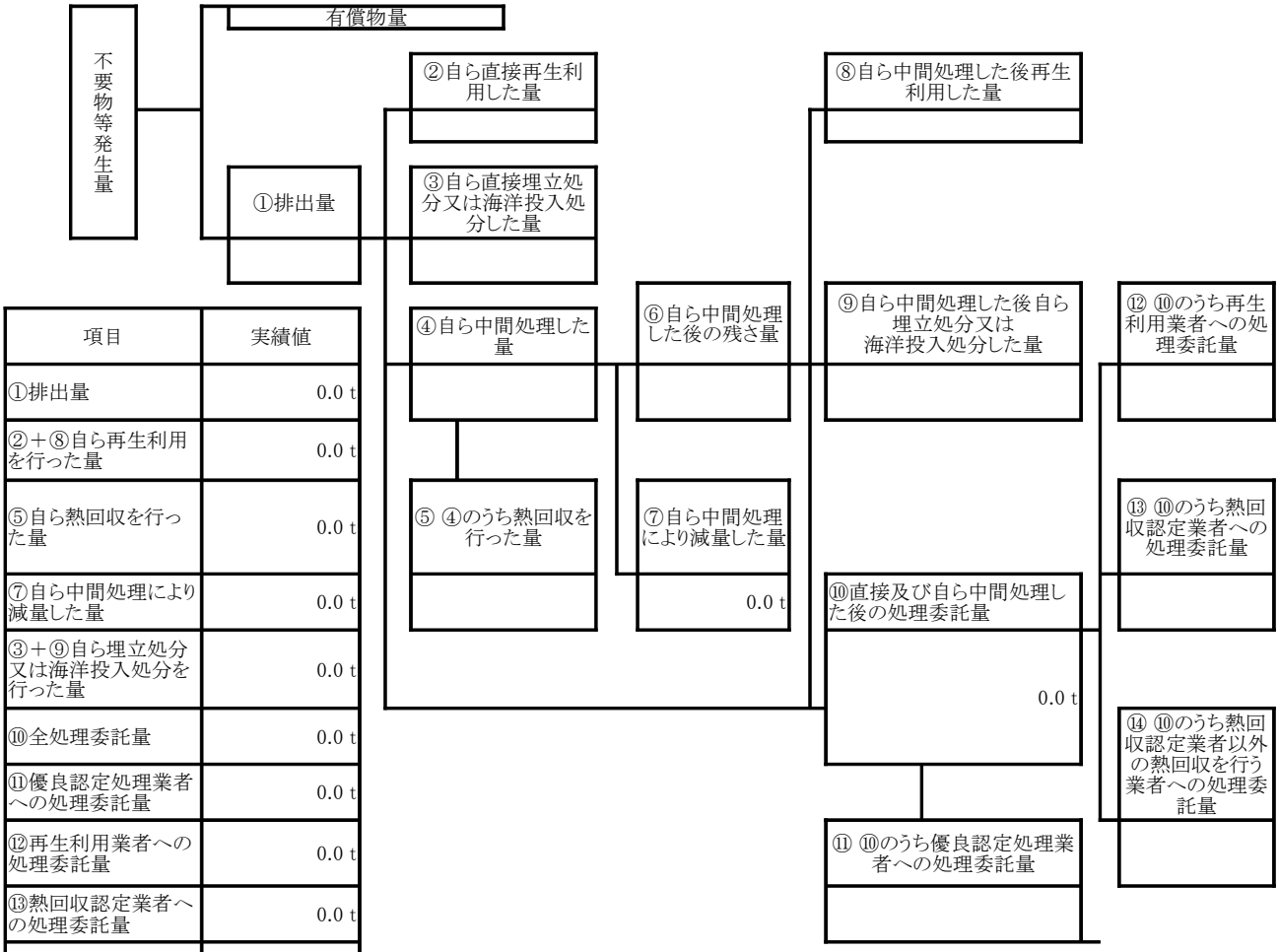


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



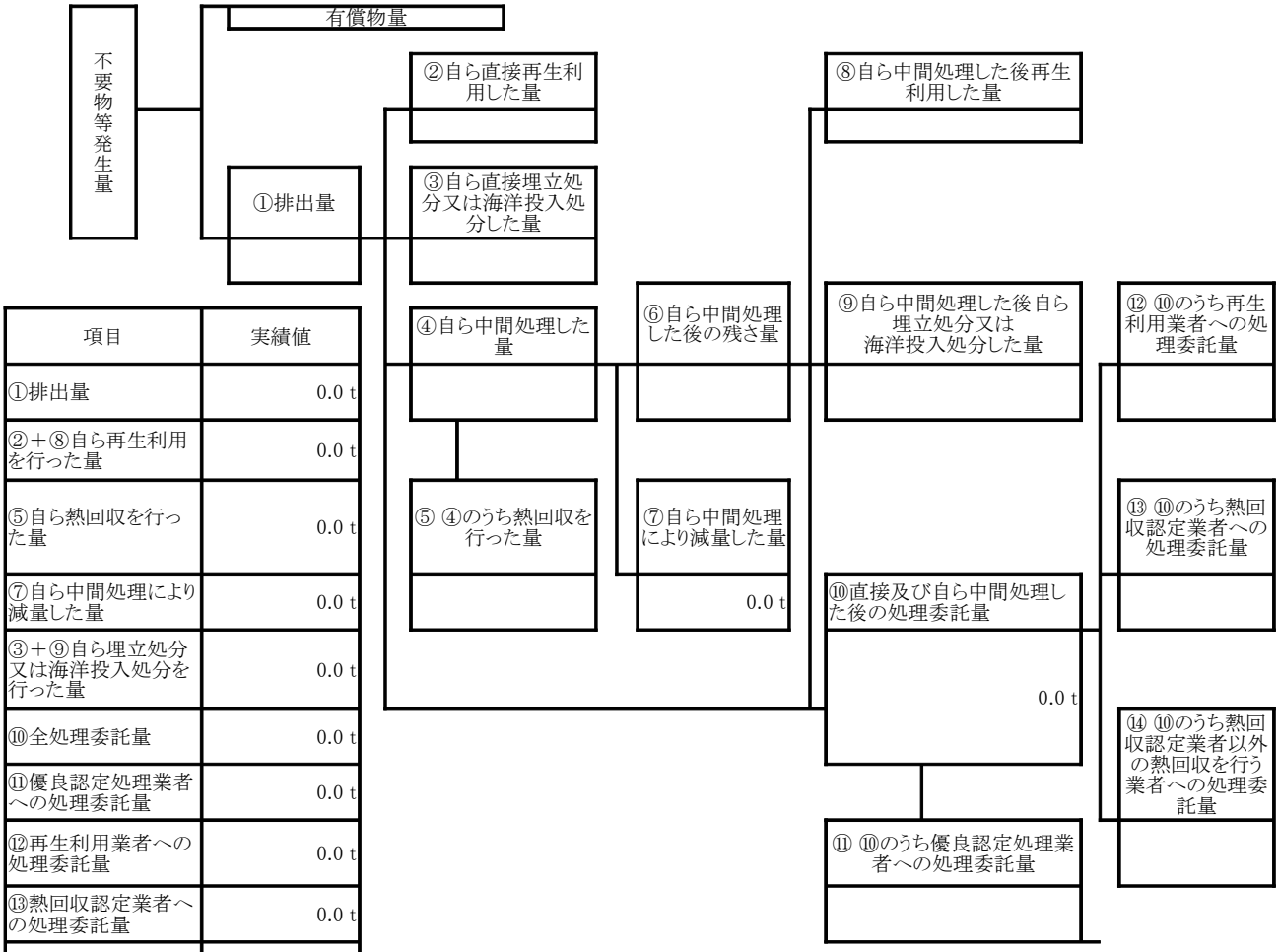
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

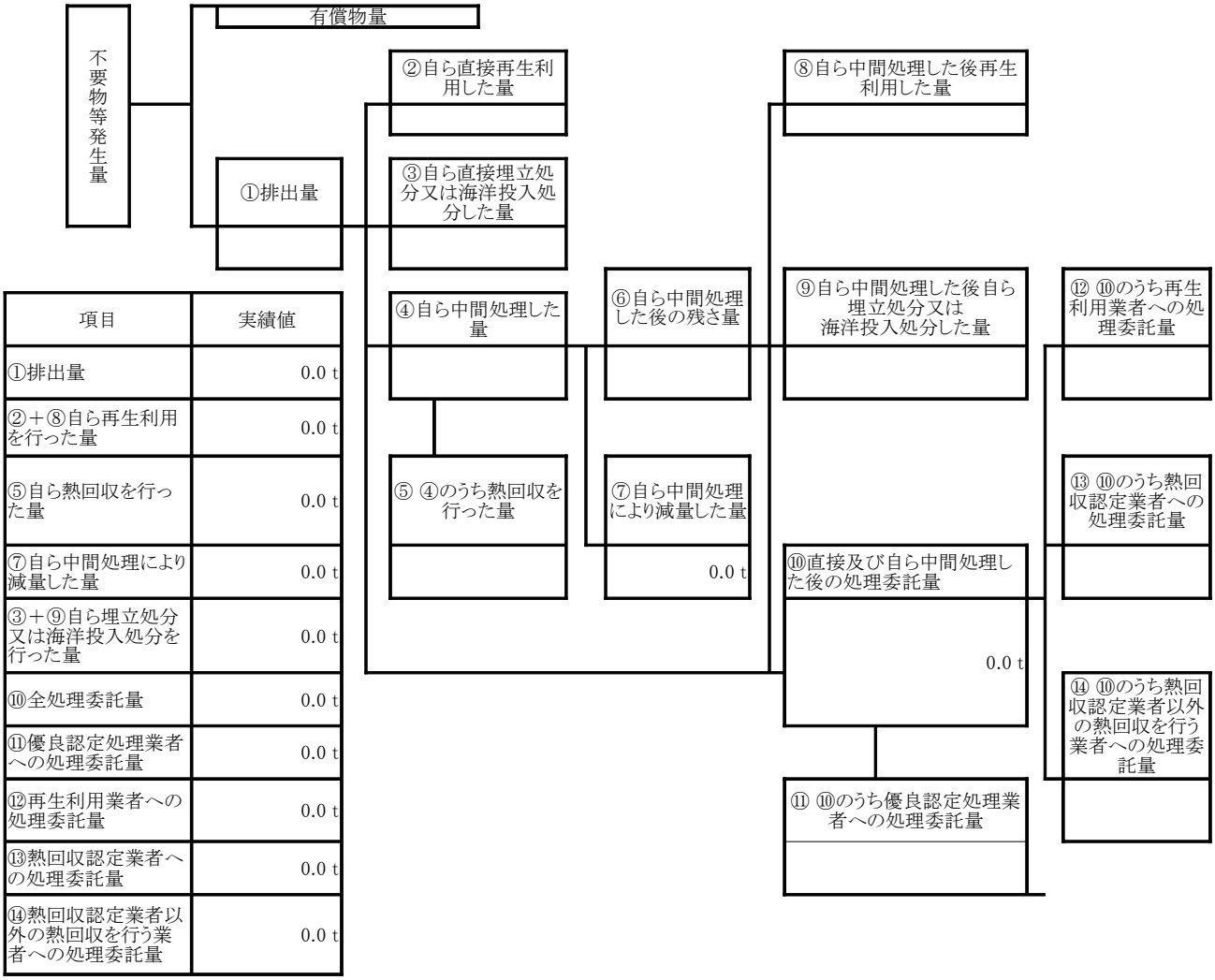


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

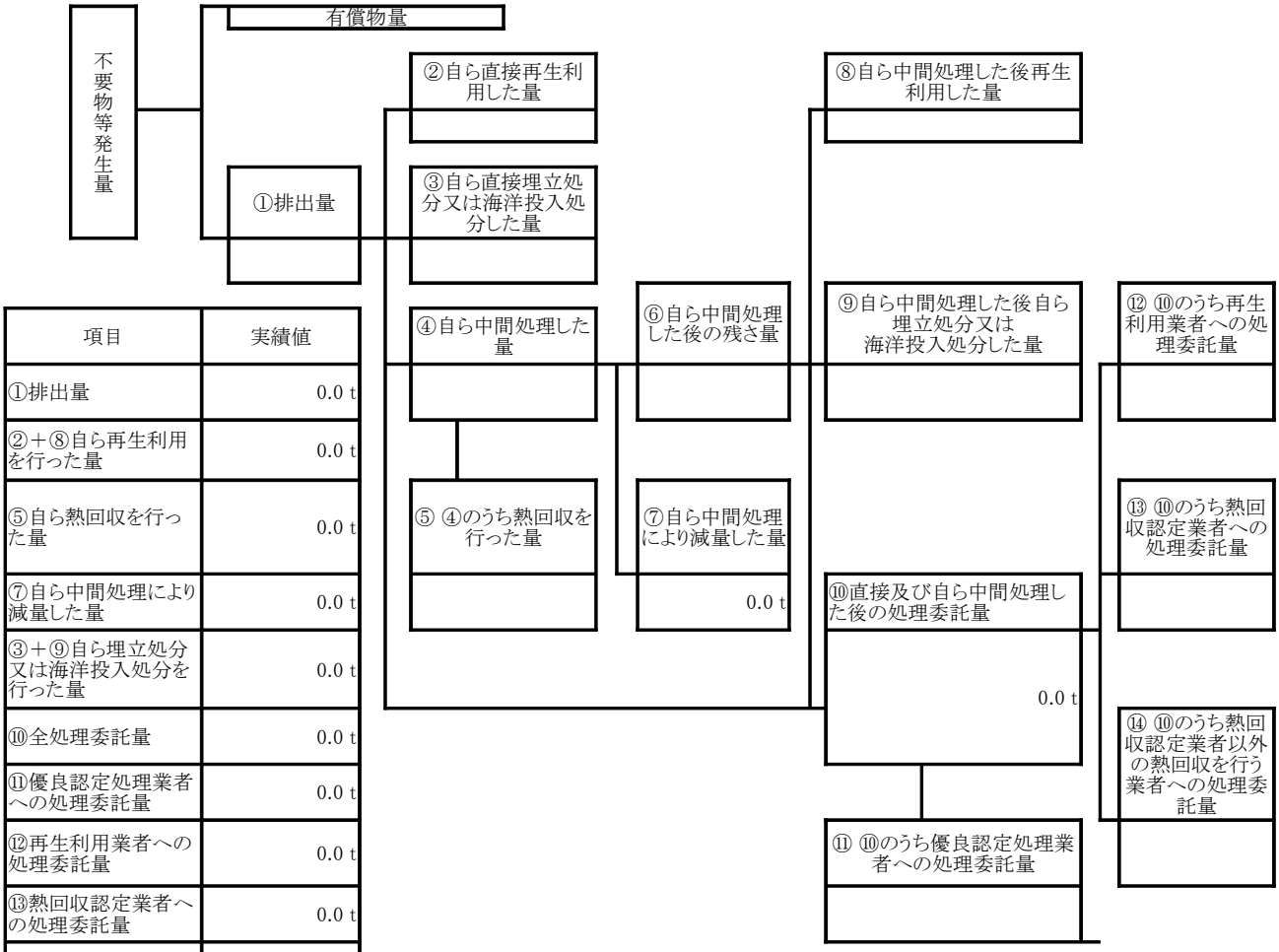


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月22日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　290-8555

住所 千葉県市原市八幡海岸通6番地

法人名 古河電気工業株式会社千葉事業所

代表者 吉田 将史

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-42-1709

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	古河電気工業株式会社　千葉事業所
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通6番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 非鉄金属製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	86.74 t	全処理委託量	86.74 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	86.28 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	50.37 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	36.36 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	全前年度(令和4年度)	3.33 t
	前年度(令和5年度)	2.54 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)		

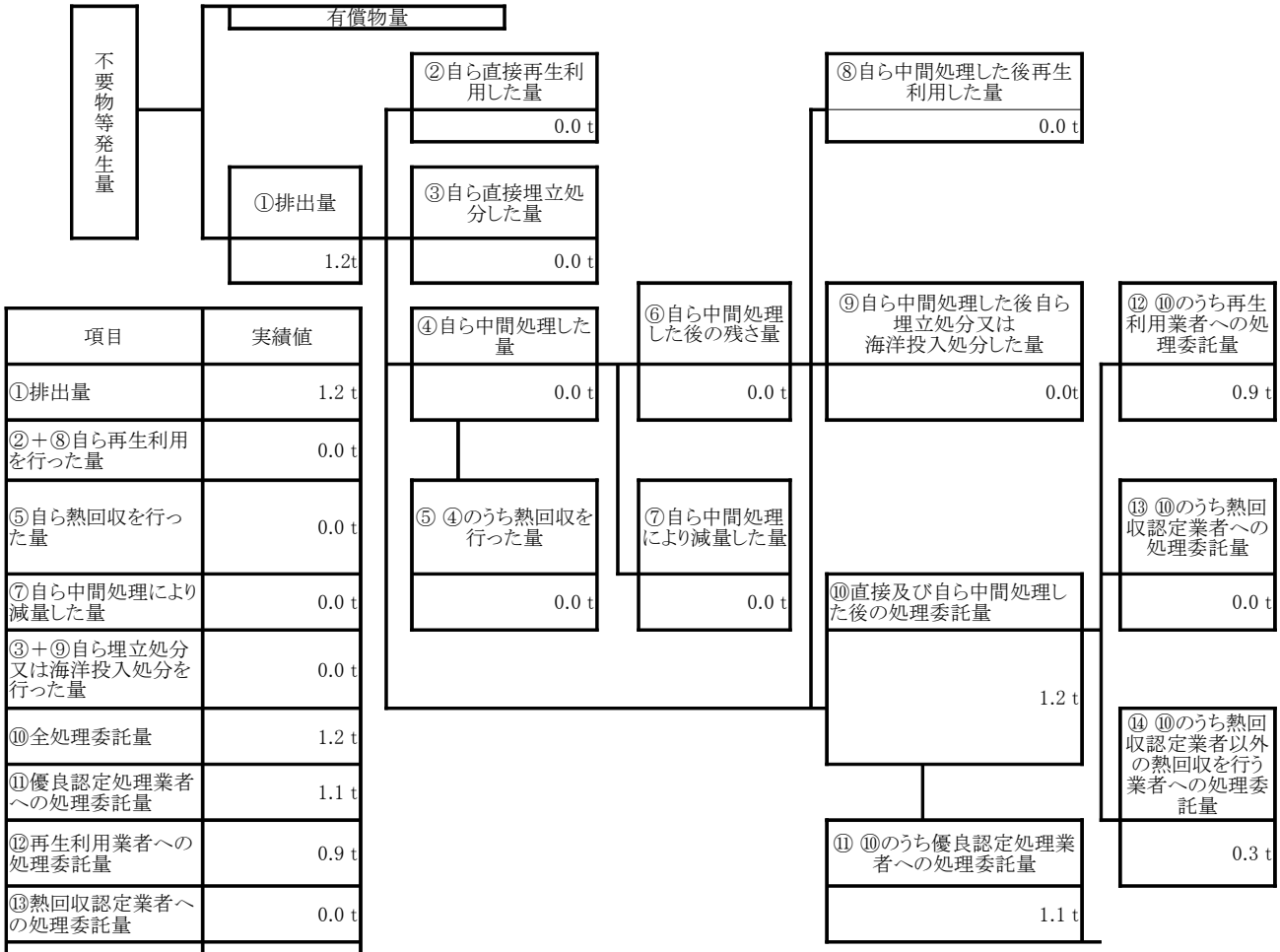
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

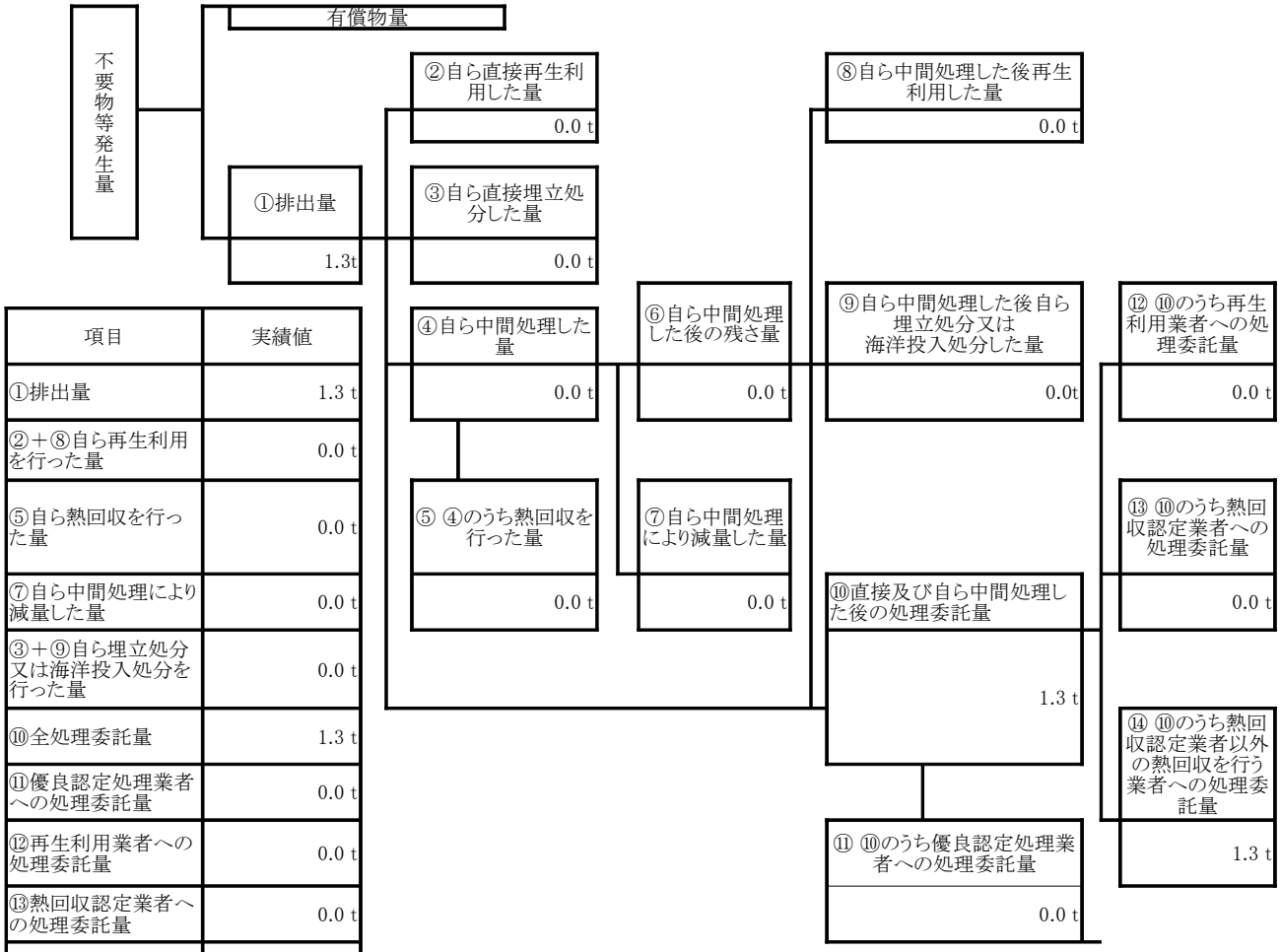
（特別管理産業廃棄物の種類: **引火性廃油** ）



項目	実績値
①排出量	1.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.3 t

N0.2

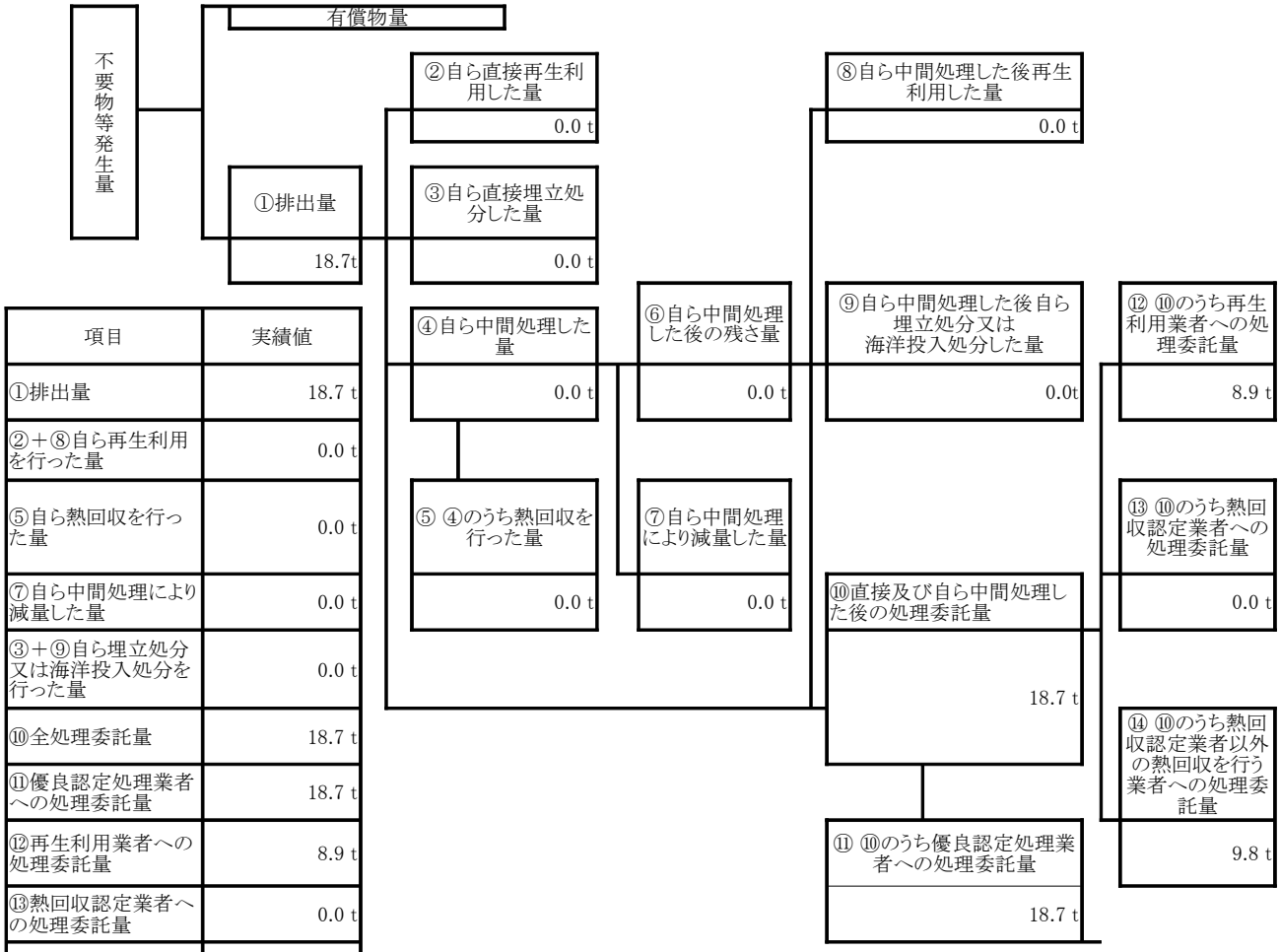
計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　強アルカリ　）



項目	実績値
①排出量	1.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.3 t

N0.3

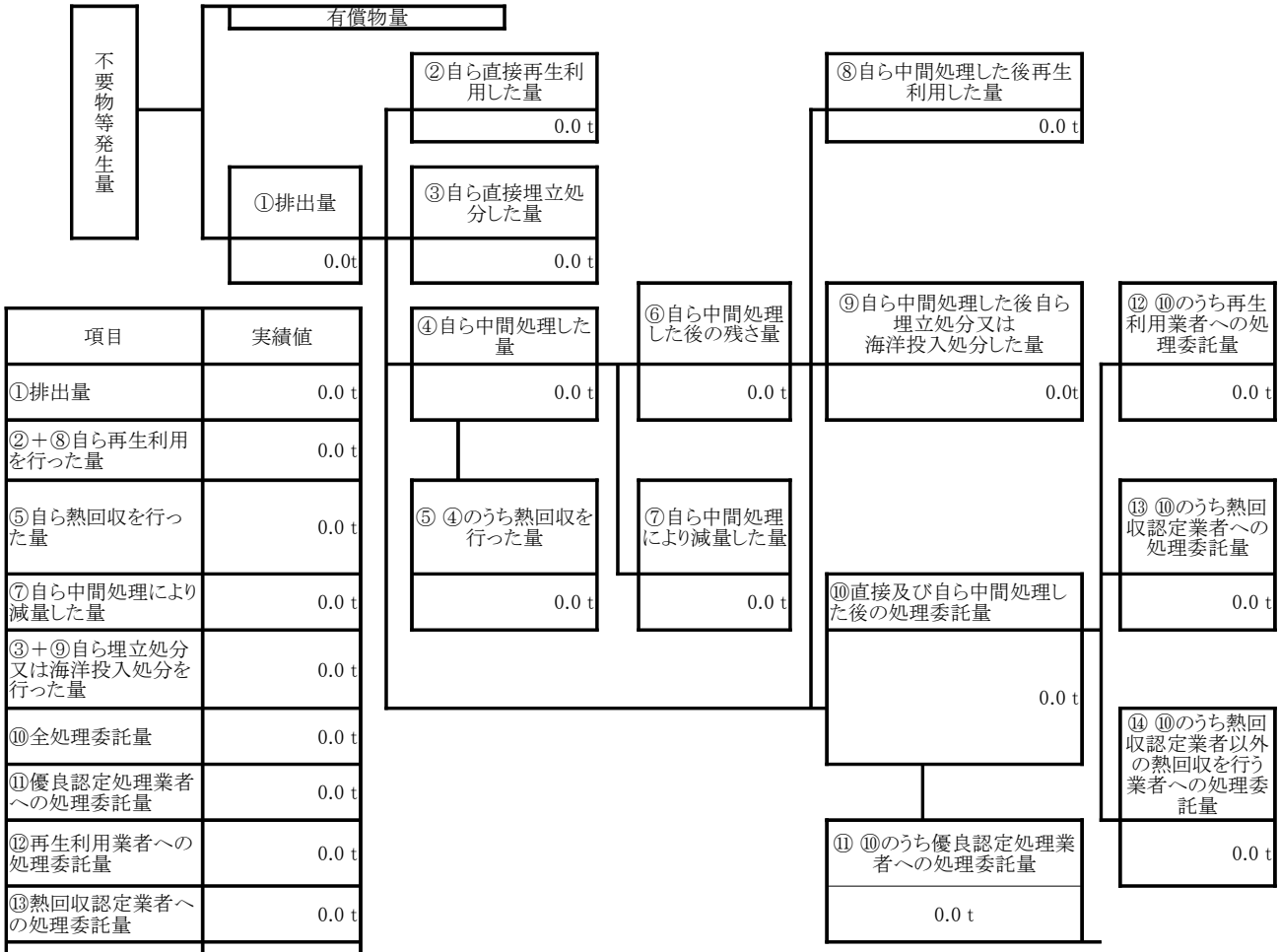
計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　廃PCB等　）



項目	実績値
①排出量	18.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	9.8 t

N0.4

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　強酸　）

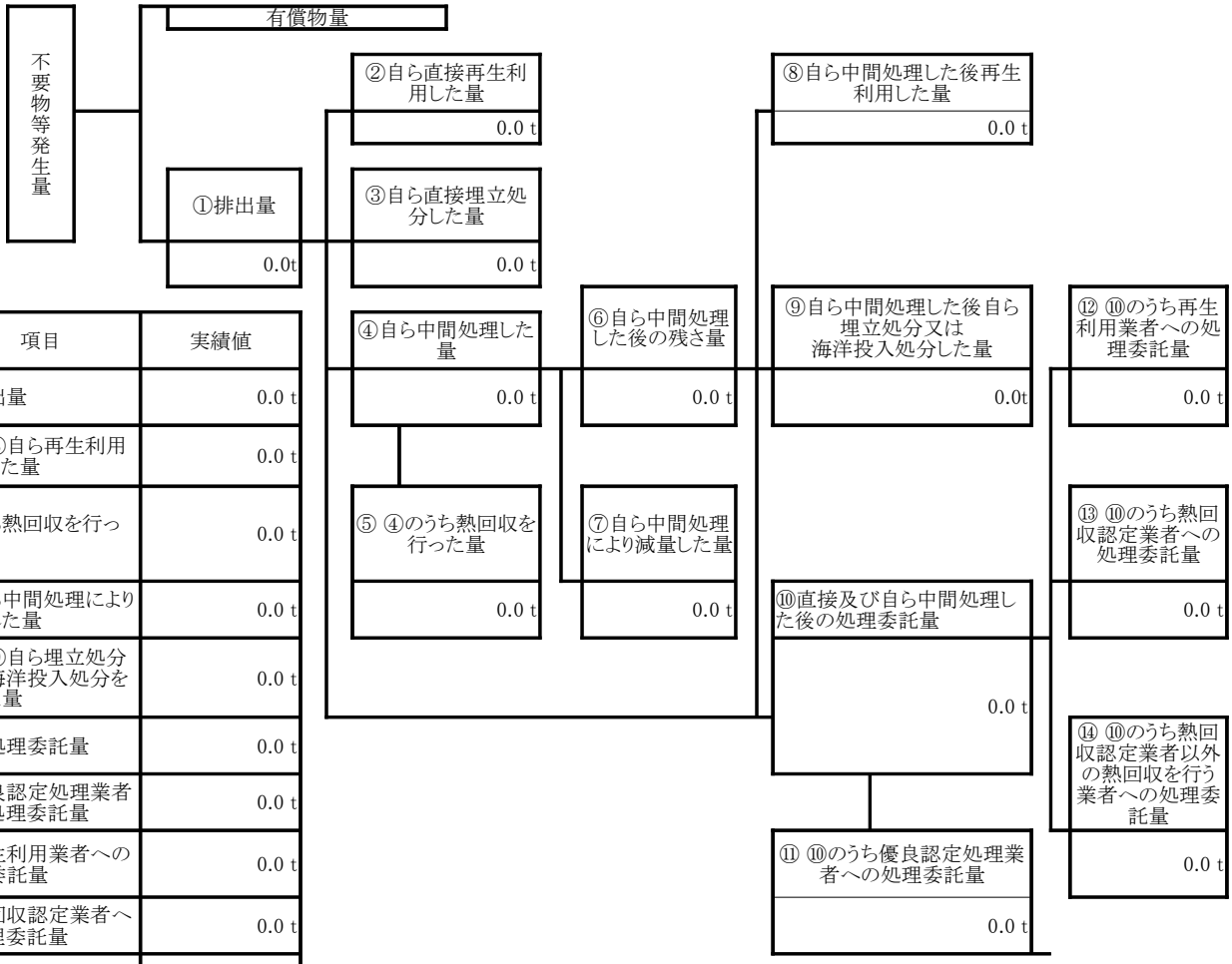


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　汚泥(有害)　）



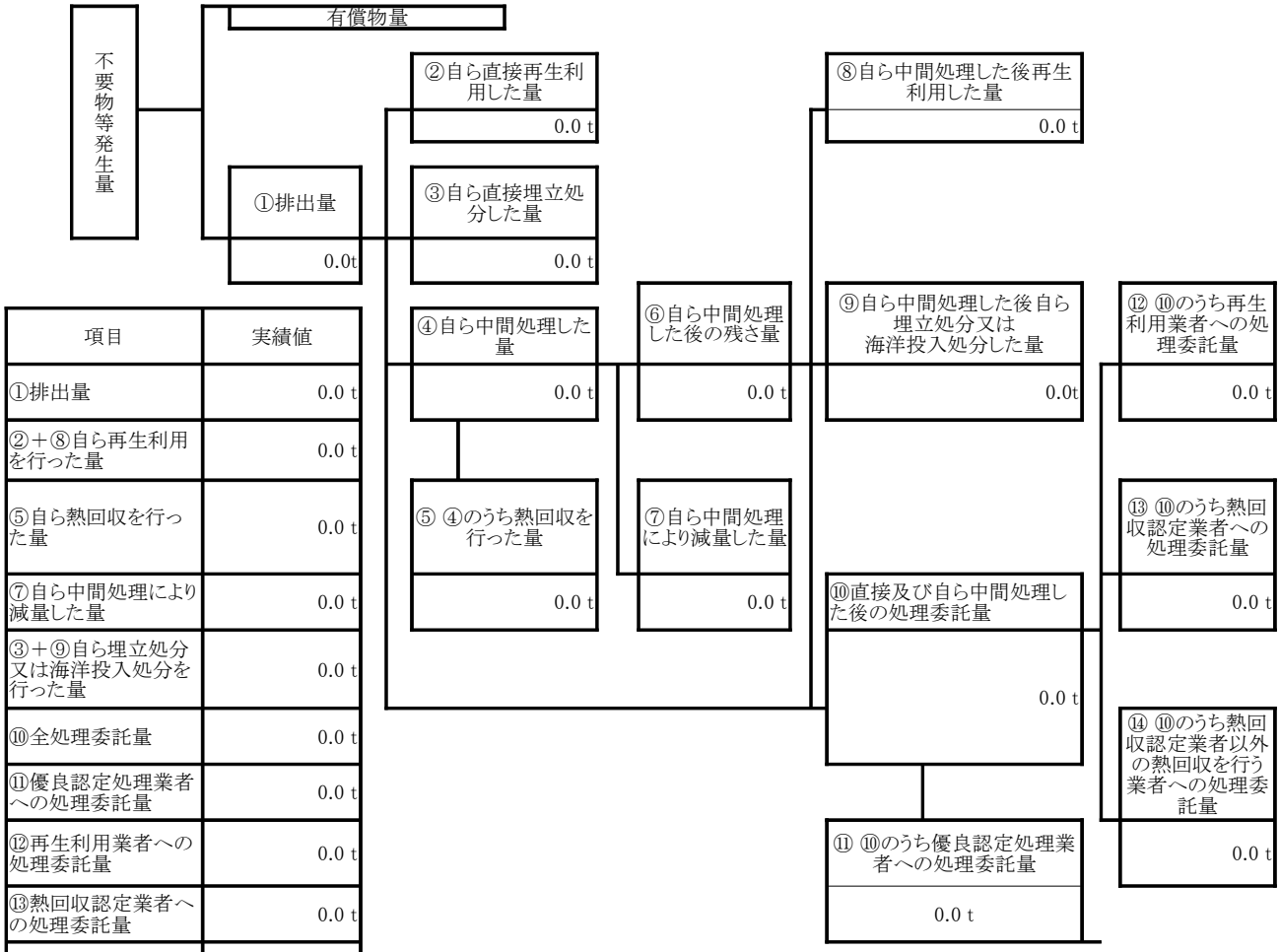
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　**感性性廃棄物**　）



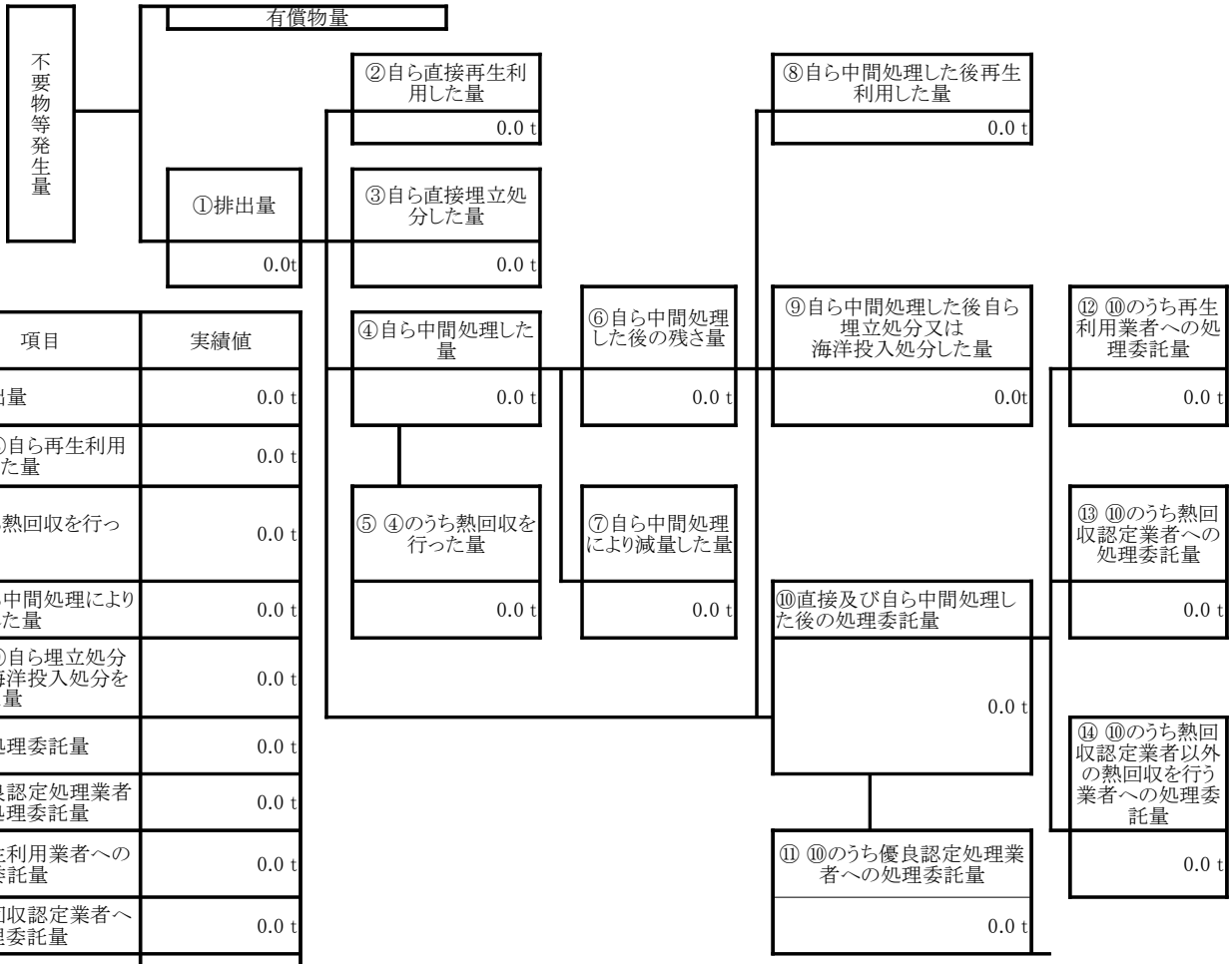
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　廃石綿等(飛散性)　）

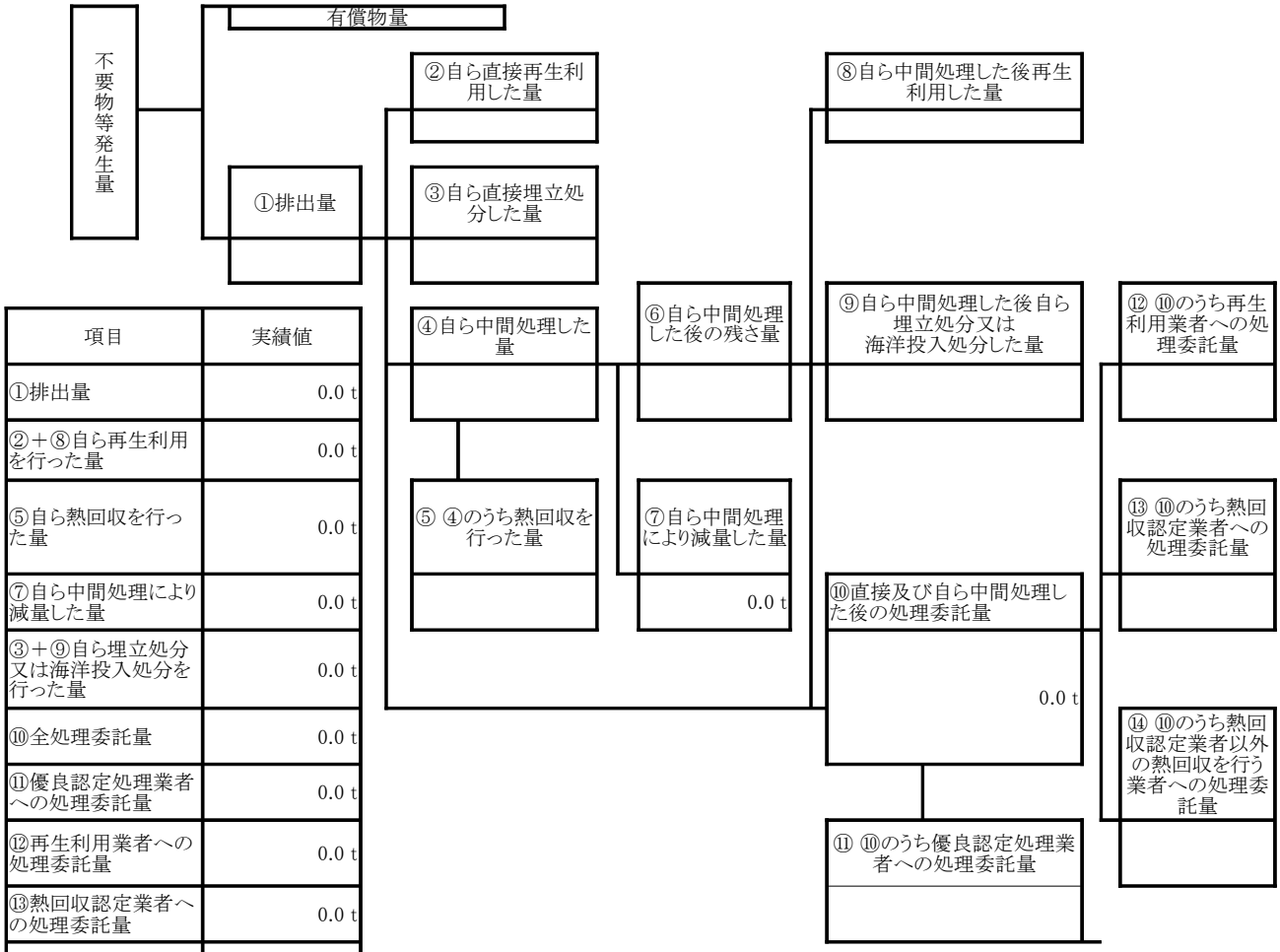


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

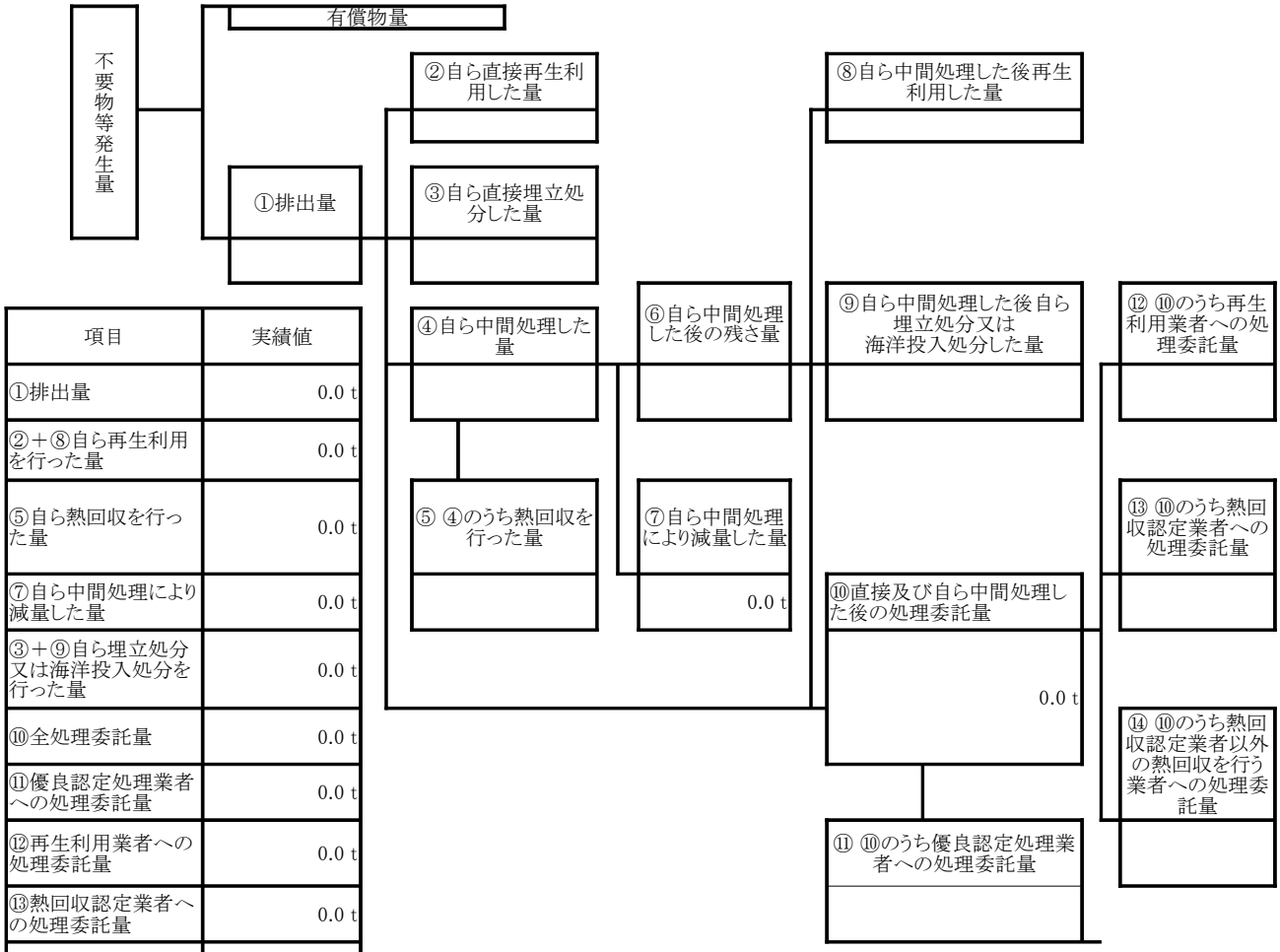


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

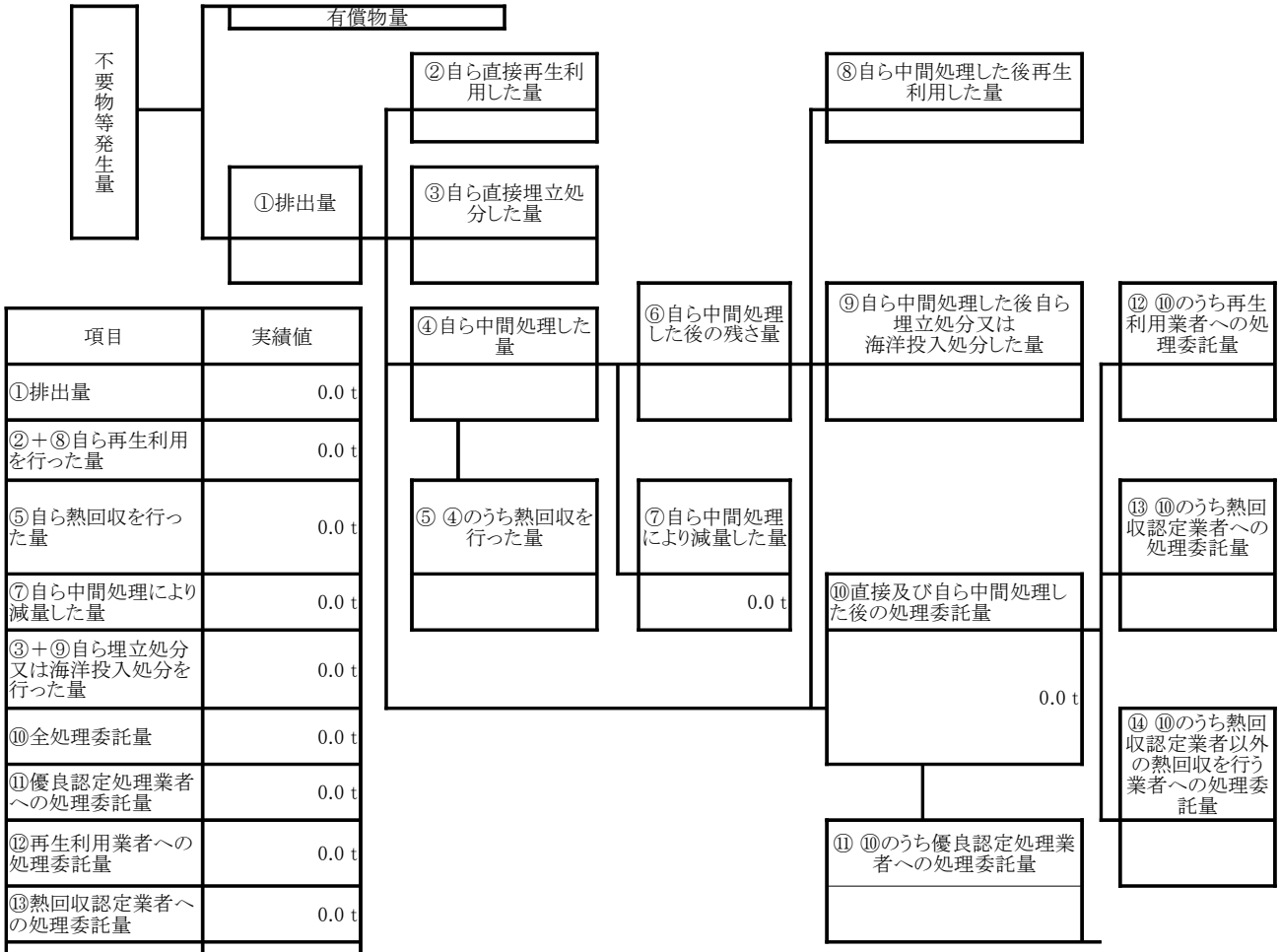


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



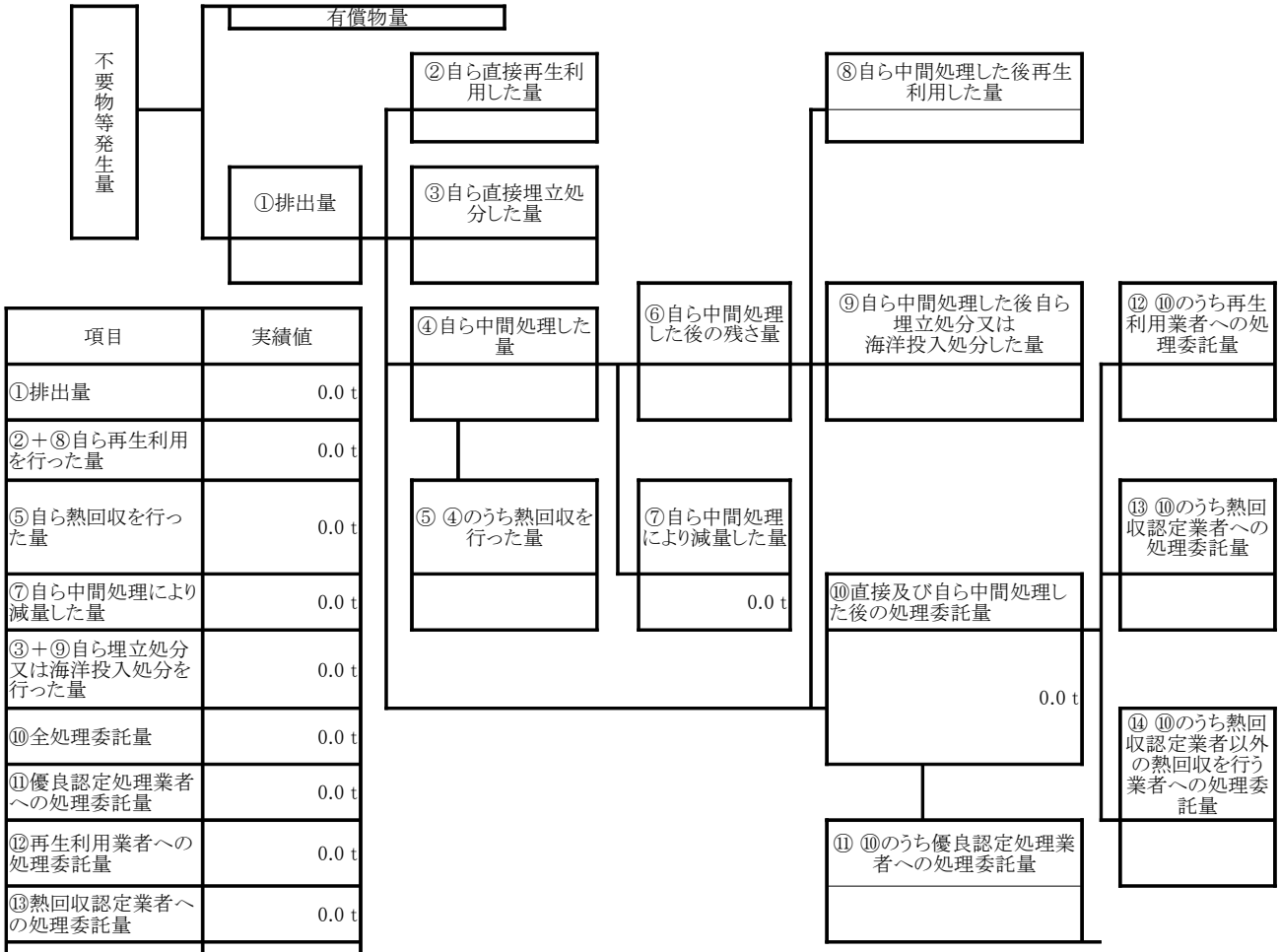
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

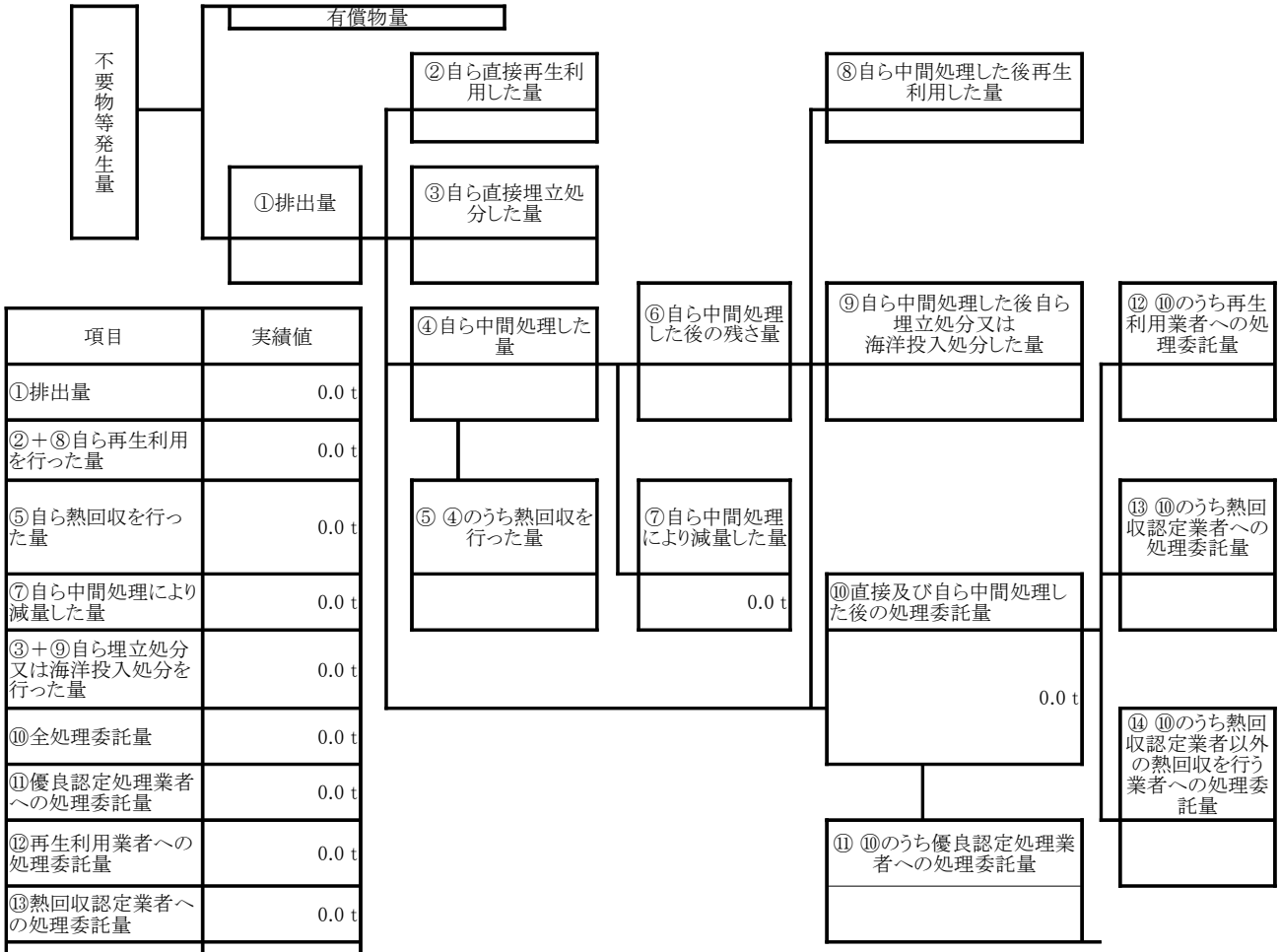


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

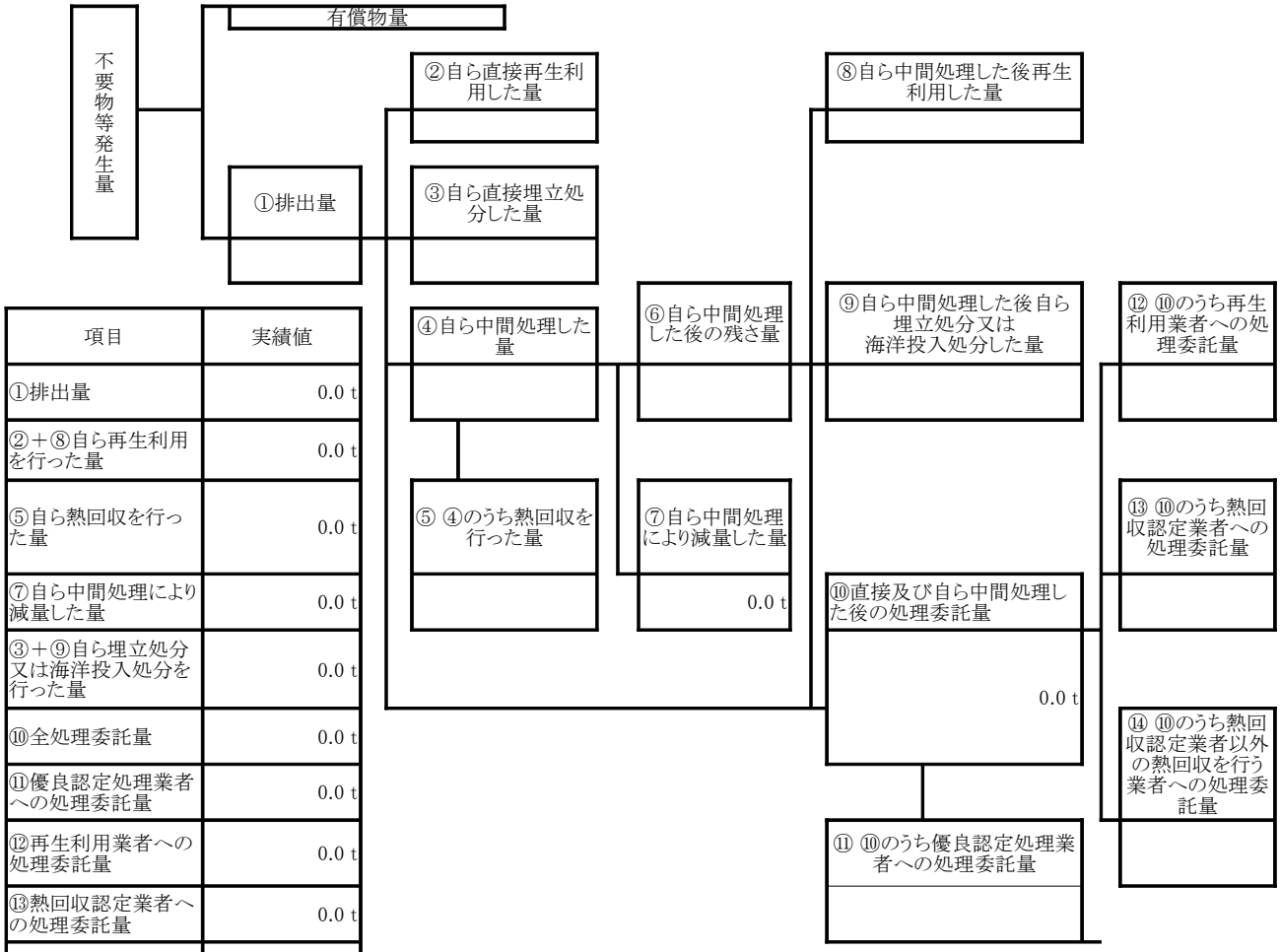


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

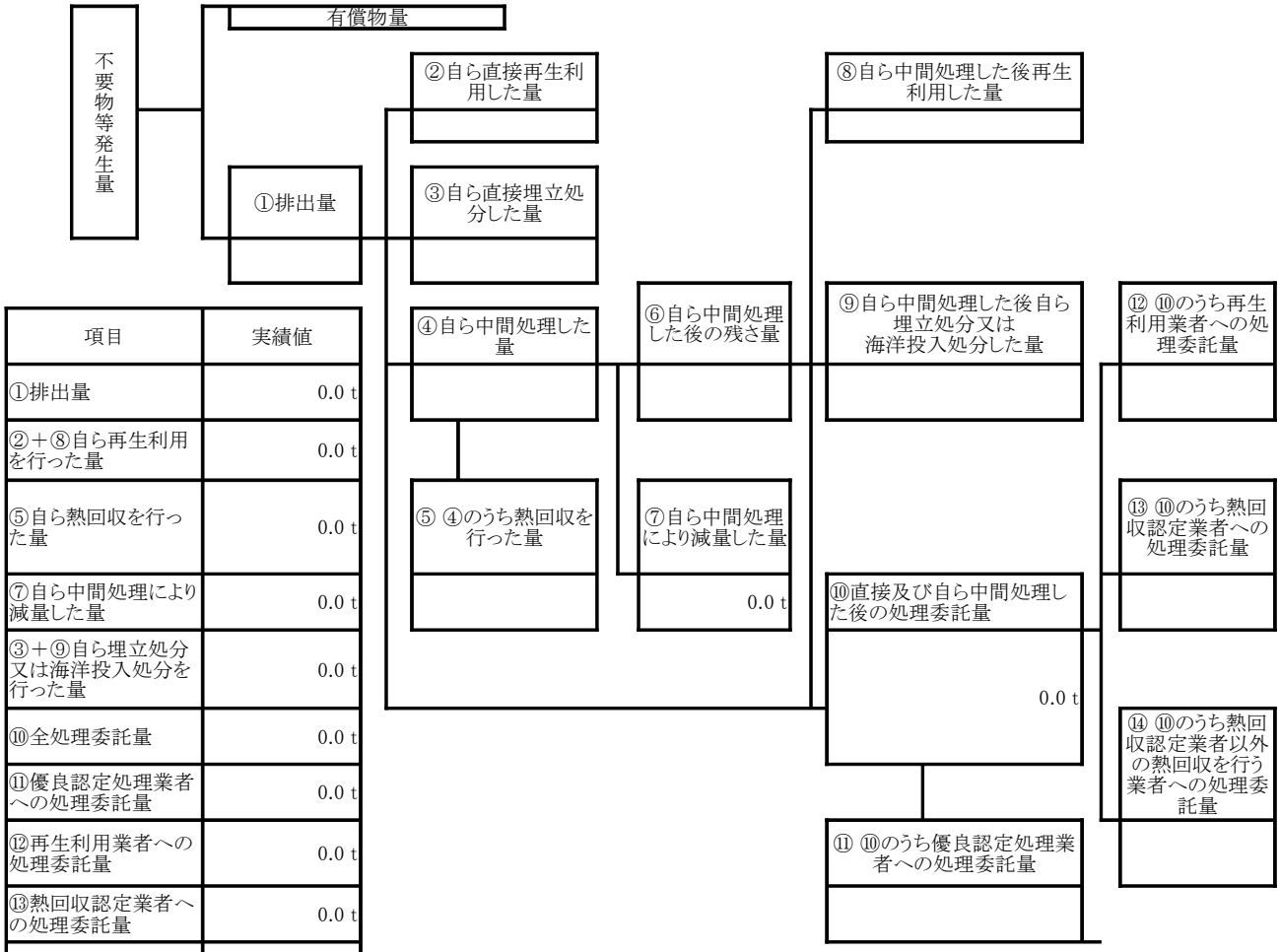


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



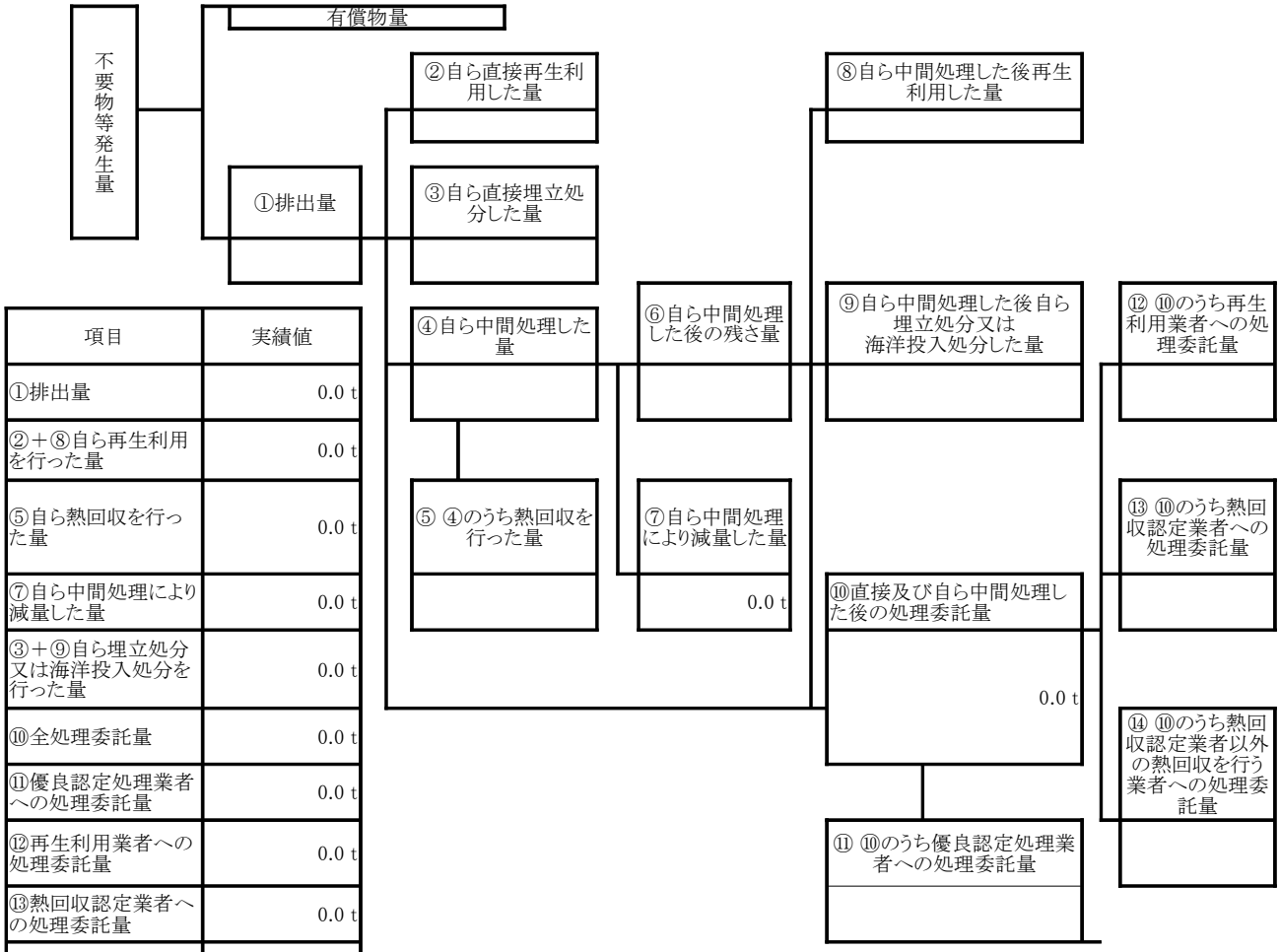
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



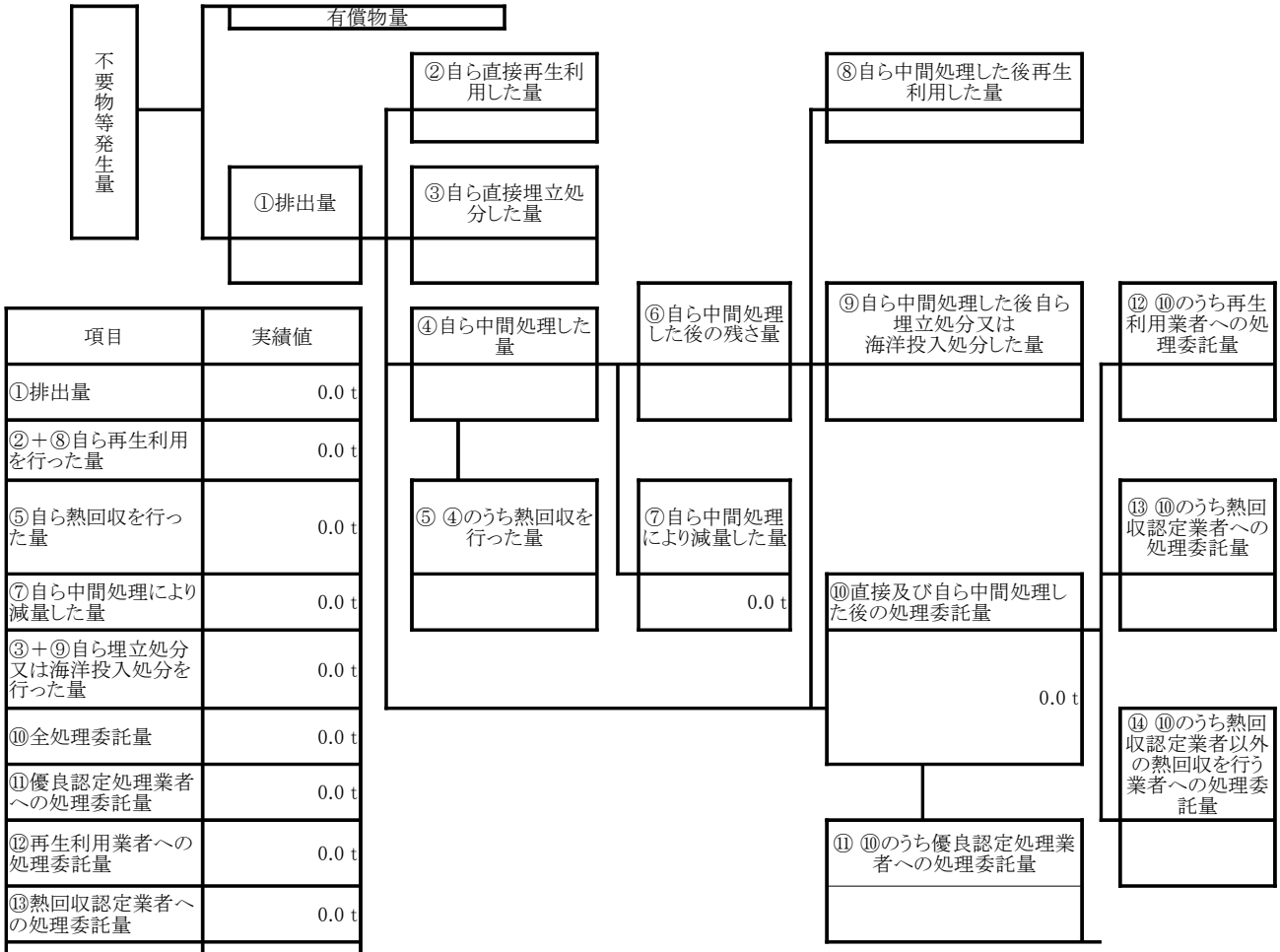
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

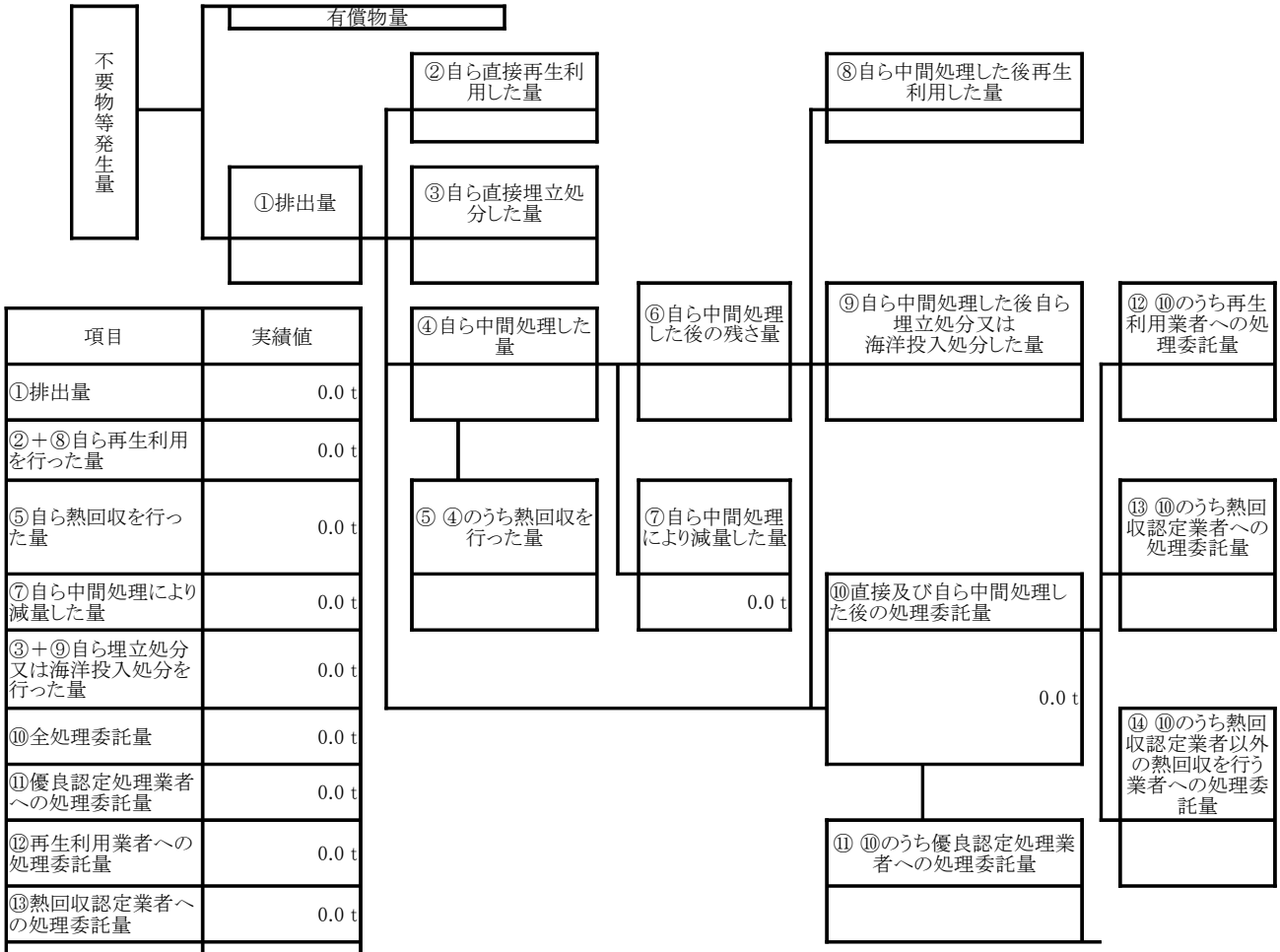


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

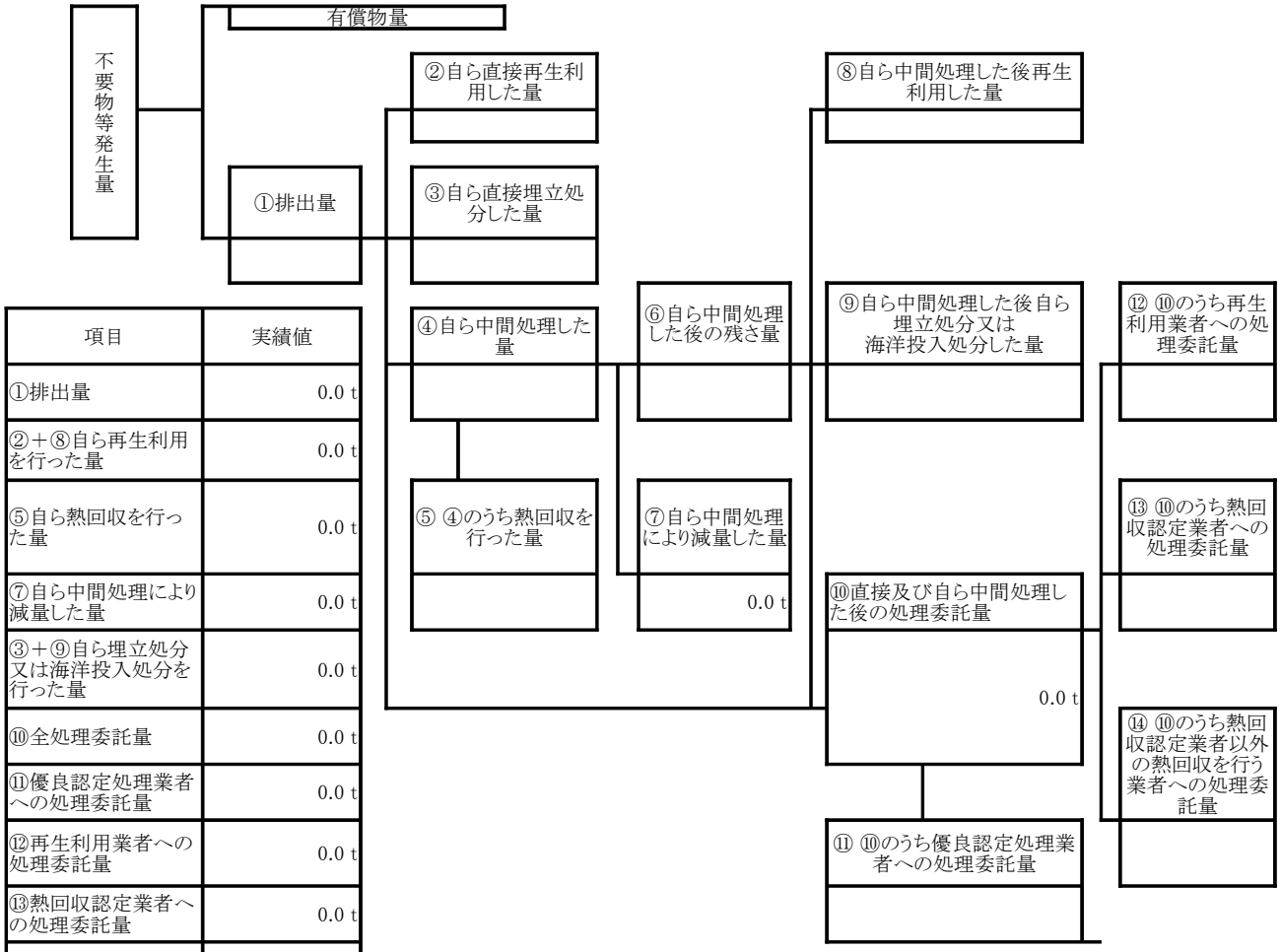


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

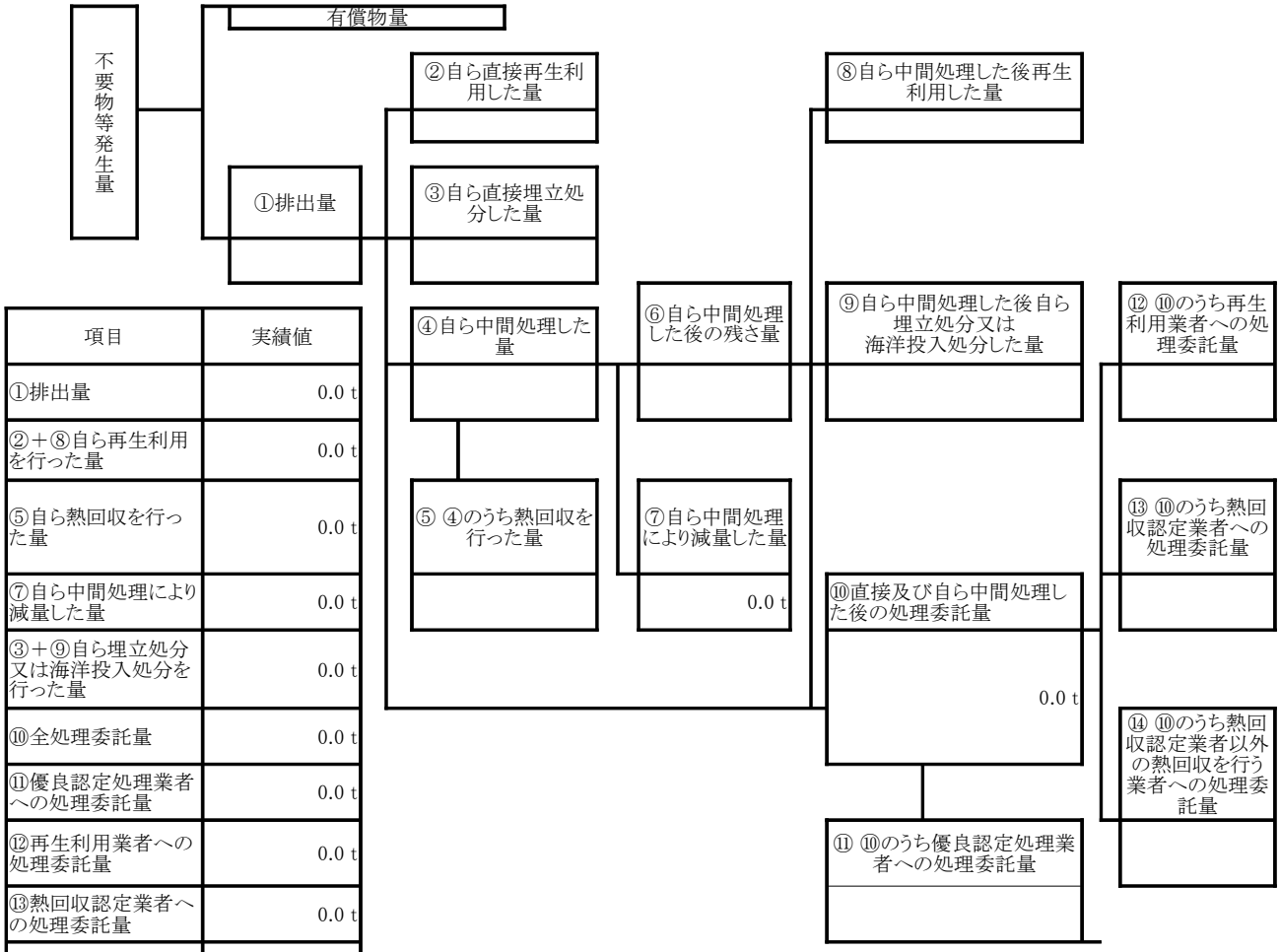


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

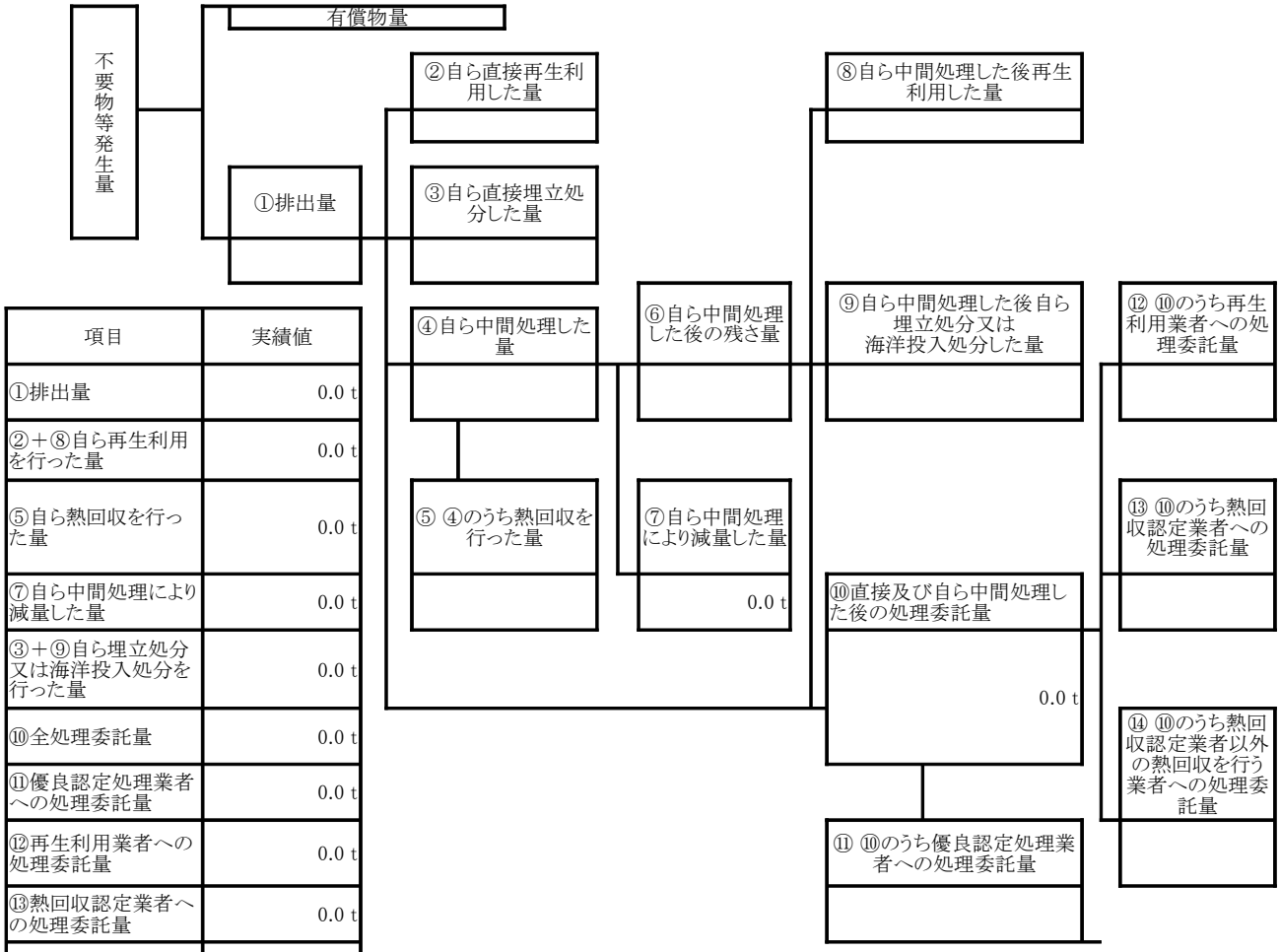


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　千葉県千葉市中央区中央3-10-6　北野京葉ビル４階
氏　名　古谷乳業株式会社
代表取締役社長　古谷裕彦
電話番号043-201-0331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	古谷乳業株式会社成田工場
事業場の所在地	千葉県香取郡多古町水戸字水戸台1-16
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　中分類：食料品製造業　小分類：畜産食料品製造業
②事業の規模	前年度製造品出荷額　139億円
③従業員数	164人（正社員130人、常勤関係職員34人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本工業規格　A列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　5　年度）実績】その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>1324.3ｔ</td><td>364.8ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
①汚泥発生量の削減
運転及び薬剤の検討による削減
②動植物性残渣、廃酸の削減
不良品排出の削減</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>1320.3ｔ</td><td>363.7ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
汚水処理場の、曝気槽の酸素不足解消対策として、酸素供給剤を適宜供給することにより汚泥発生量の削減を目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
木くず：木製パレットの仕様は止めて、プラスチックパレットを使用し、木くずの発生を抑える。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック類：プラスチックの種類ごとに分け、再生できるものを分別する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　5　年度）実績】その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
弊社では実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　5　年度）実績】その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>1072.7ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
汚泥は排水処理場にて脱水をして、廃棄量を削減している。
紙類は再生できるものは、リサイクルに出している。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】　その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>1069.4ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
汚水処理場の曝気槽の酸素不足解消対策として、酸素供給剤を適宜供給することにより、汚泥発生量の削減を目指す。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（　　5　　年度）実績】その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
弊社では実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
今後も予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（　　5　年度）実績】 その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>251.6ｔ</td><td>364.8ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>14.8ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>251.6ｔ</td><td>364.8ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
廃酸、動植物性残渣（食品リサイクル可能な物）は全て、食品リサイクルとして委託業者に処理を委託している。
汚泥は肥料として委託業者に処理を委託している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】その他別紙のとおり</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>250.8ｔ</td><td>363.7ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>14.0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>250.8ｔ</td><td>363.7ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
再生利用できる処理業者への委託をする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

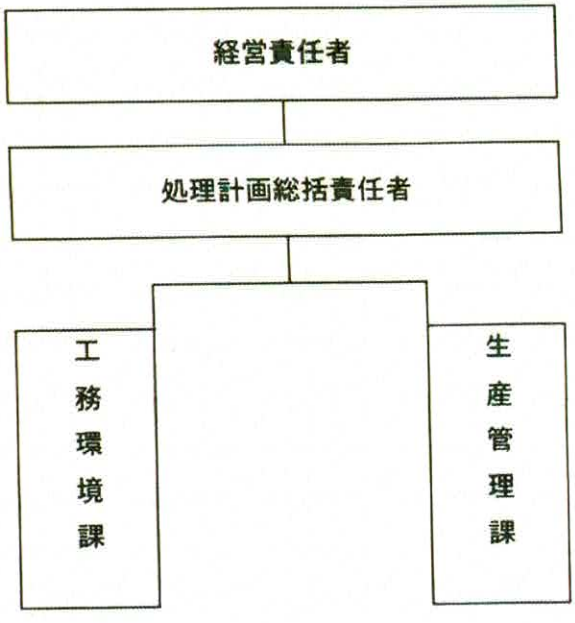
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

廃棄物管理組織・体制

管理組織責任者	所属　　生産部	職　　生産部部長	
廃棄物担当組織名	組織名　　生産部	廃棄物担当組織人数　　5人	
	電話番号	0479-76-7770	
処理計画組織規程	名称	産業廃棄物の管理	
	概要	・経営責任者 ・処理計画総括責任者 ・処理計画作成機関 ①廃棄物の分別管理 ②運搬業者、中間最終処分場の確認とマニュフェスト管理	
	情報管理方法	①マニフェストの管理 ②委託業者の許可内容及び許可期限の確認を契約の都度行う ③廃棄物保管場所の管理	

産業廃棄物対策組織図



備考1. 処理計画既定の概要では、経営責任者、処理計画総括責任者、処理計画作成機関、処理計画への関与、権限、責任範囲等を明確にする。

備考2. 処理計画組織規程の情報管理方法には、廃棄物処理実態の把握方法、保管・委託に関する情報管理をどのように実施しているかを示す。

事業工程図

※　別紙3枚有り

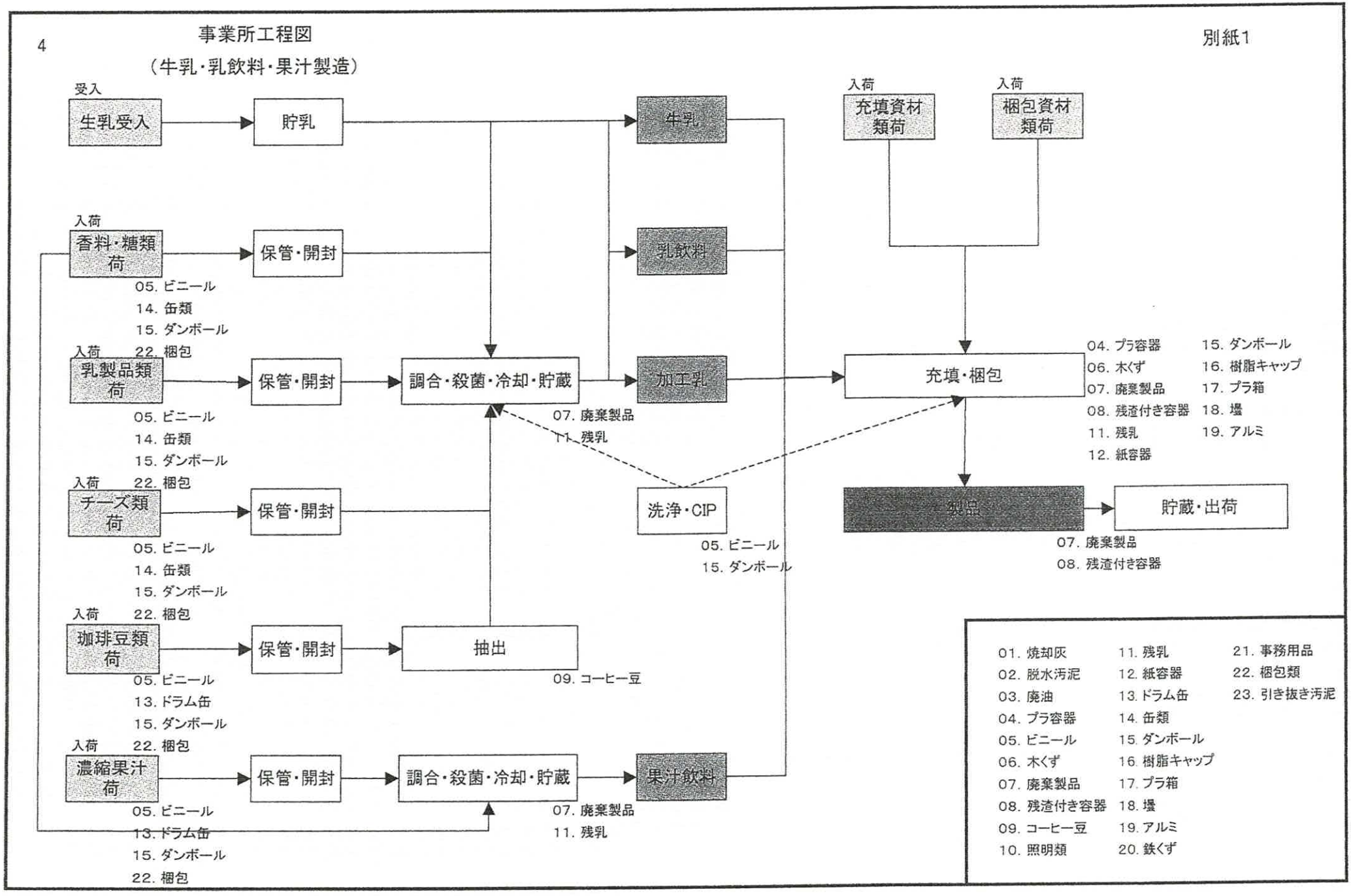
注1. 作業の工程、製造品目ごとに工程図を作成し、各段階で発生する廃棄物（一般廃棄物を含む。）を性状がわかるように具体的に記入すること。

注2. 発生する廃棄物には番号を付け、産業廃棄物にはアンダーラインを付けること。また、5（1）廃棄物処理実績総括表、別表1、別表2、5（2）産業廃棄物処理実績フローの廃棄物の番号と連動させること。

注3. この表のほか、5（1）廃棄物処理実績総括表、別表1、別表2については一般廃棄物についても記載してください。

事業所工程図
（牛乳・乳飲料・果汁製造）

別紙1

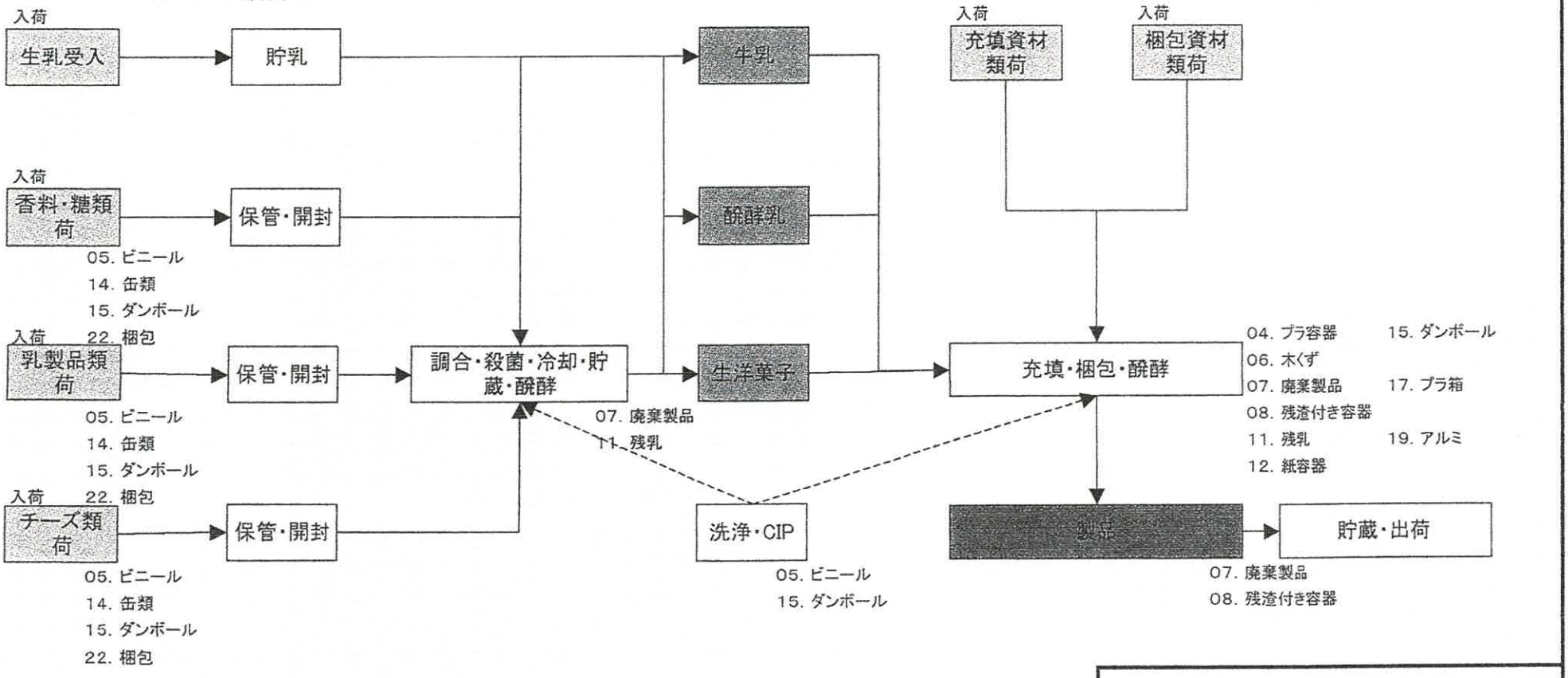


4

別紙2

事業所工程図

（デザート類製造）

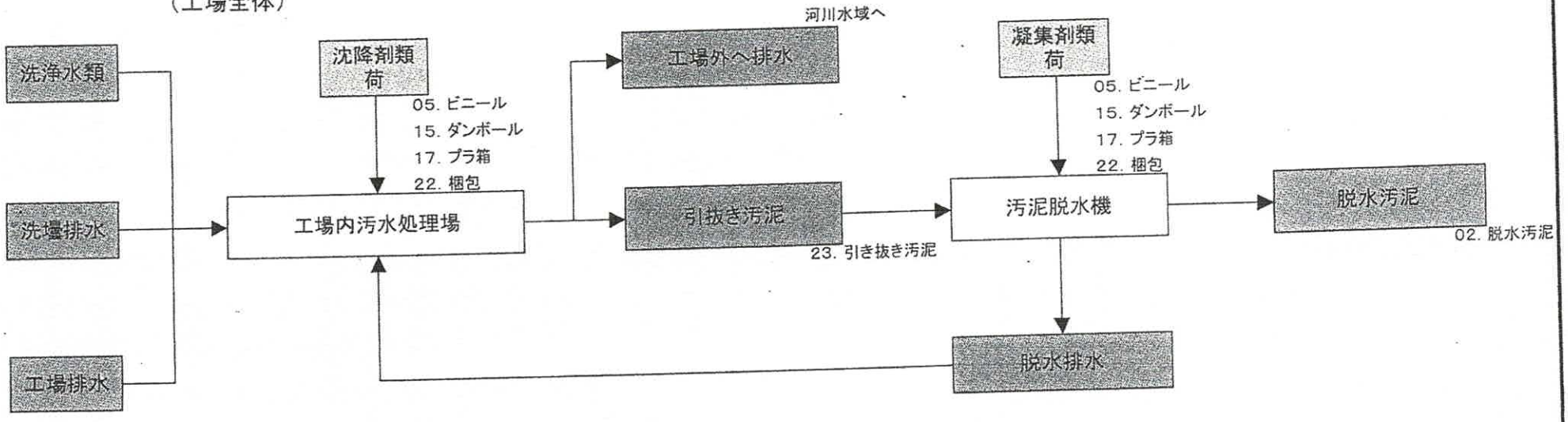


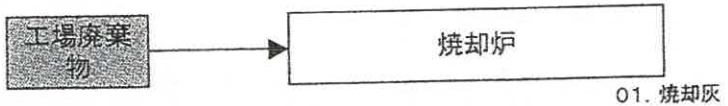
01. 焼却灰	11. 残乳	21. 事務用品
02. 脱水汚泥	12. 紙容器	22. 梱包類
03. 廃油	13. ドラム缶	23. 引き抜き汚泥
04. プラ容器	14. 缶類	
05. ビニール	15. ダンボール	
06. 木くず	16. 樹脂キャップ	
07. 廃棄製品	17. プラ箱	
08. 残渣付き容器	18. 壜	
09. コーヒー豆	19. アルミ	
10. 照明類	20. 鉄くず	

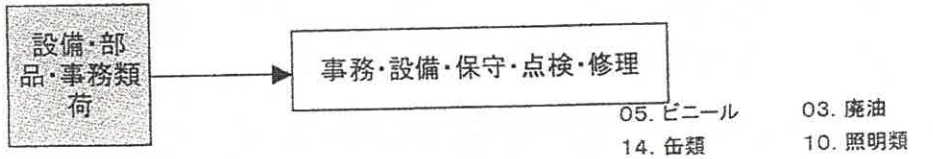
別紙3

4

事業所工程図
（工場全体）







01. 焼却灰
02. 脱水汚泥
03. 廃油
04. プラ容器
05. ビニール
06. 木くず
07. 廃棄製品
08. 残渣付き容器
09. コーヒー豆
10. 照明類
11. 残乳
12. 紙容器
13. ドラム缶
14. 缶類
15. ダンボール
16. 樹脂キャップ
17. プラ箱
18. 壜
19. アルミ
20. 鉄くず
21. 事務用品
22. 梱包類
23. 引き抜き汚泥

2024年6月28日

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項　　単位　トン

	燃え殻	廃油	木くず	廃プラスチック類	動植物性残さ	廃蛍光灯
産業廃棄物排出量令和　5年度実績	6.0	0	0	78.0	2.0	0.2
産業廃棄物排出量令和　6年度目標	5.8	0	0	76.0	2.0	0.2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項　　単位　トン

	燃え殻	廃油	木くず	廃プラスチック類	動植物性残さ	廃蛍光灯
自ら再生利用行った産業廃棄物の量実績	0	0	0	0	0	0
自ら再生利用行う産業廃棄物の量目標	0	0	0	0	0	0

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項　　単位　トン

	燃え殻	廃油	木くず	廃プラスチック類	動植物性残さ	廃蛍光灯
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量実績	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量実績	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量目標	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量目標	0	0	0	0	0	0

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項　　単位　トン

	燃え殻	廃油	木くず	廃プラスチック類	動植物性残さ	廃蛍光灯
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量実績	0	0	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量目標	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項　　単位　トン

	燃え殻	廃油	木くず	廃プラスチック類	動植物性残さ	廃蛍光灯
全処理委託量令和5年度実績	6.0	0	0	78.0	2.0	0.2
優良認定処理業者への処理委託量実績	0.0	0	0	0.0	0.0	0
再生利用業者への処理委託量実績	0.0	0	0	78.0	2.0	0
全処理委託量令和6年度目標	5.8	0	0	76.0	2.0	0.2
優良認定処理業者への処理委託量目標	0.0	0	0	0.0	0.0	0
再生利用業者への処理委託量目標	0.0	0	0	78.0	2.0	0

古谷乳業株式会社成田工場

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月29日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒260-0013
住 所　千葉県千葉市中央区中央3-10-6 北野京葉ビル4F
氏 名　古谷乳業株式会社
代表取締役社長 古谷裕彦
電話番号 043-301-0331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	古谷乳業株式会社成田工場
事業場の所在地	千葉県香取郡多古町水戸字水戸台1-16
事業の種類	大分類:製造業　中分類:食料品製造業　小分類:畜産食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

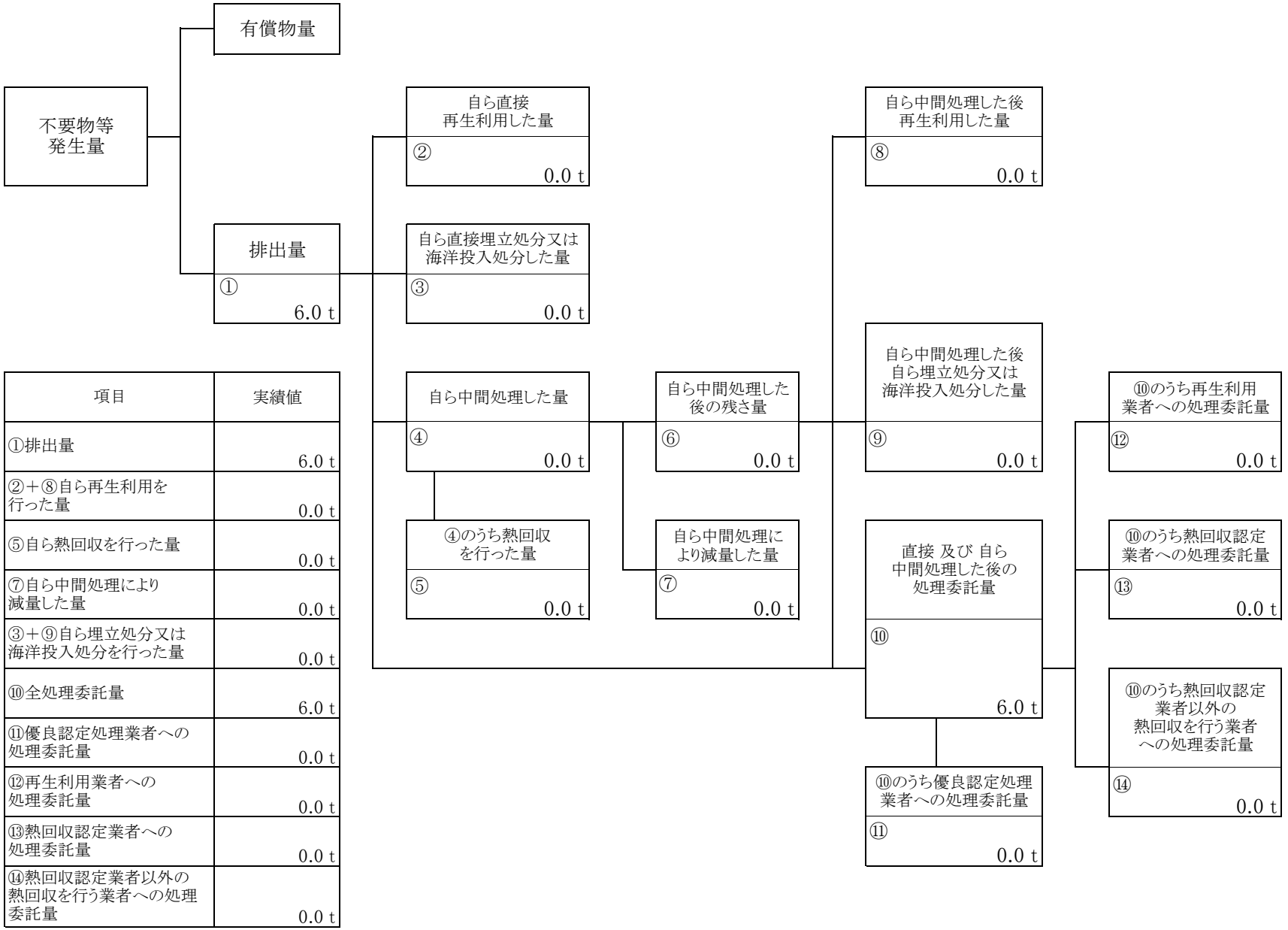
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1699.5 t	全処理委託量	624.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	15.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	618.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1075.5 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **燃え殻** ）

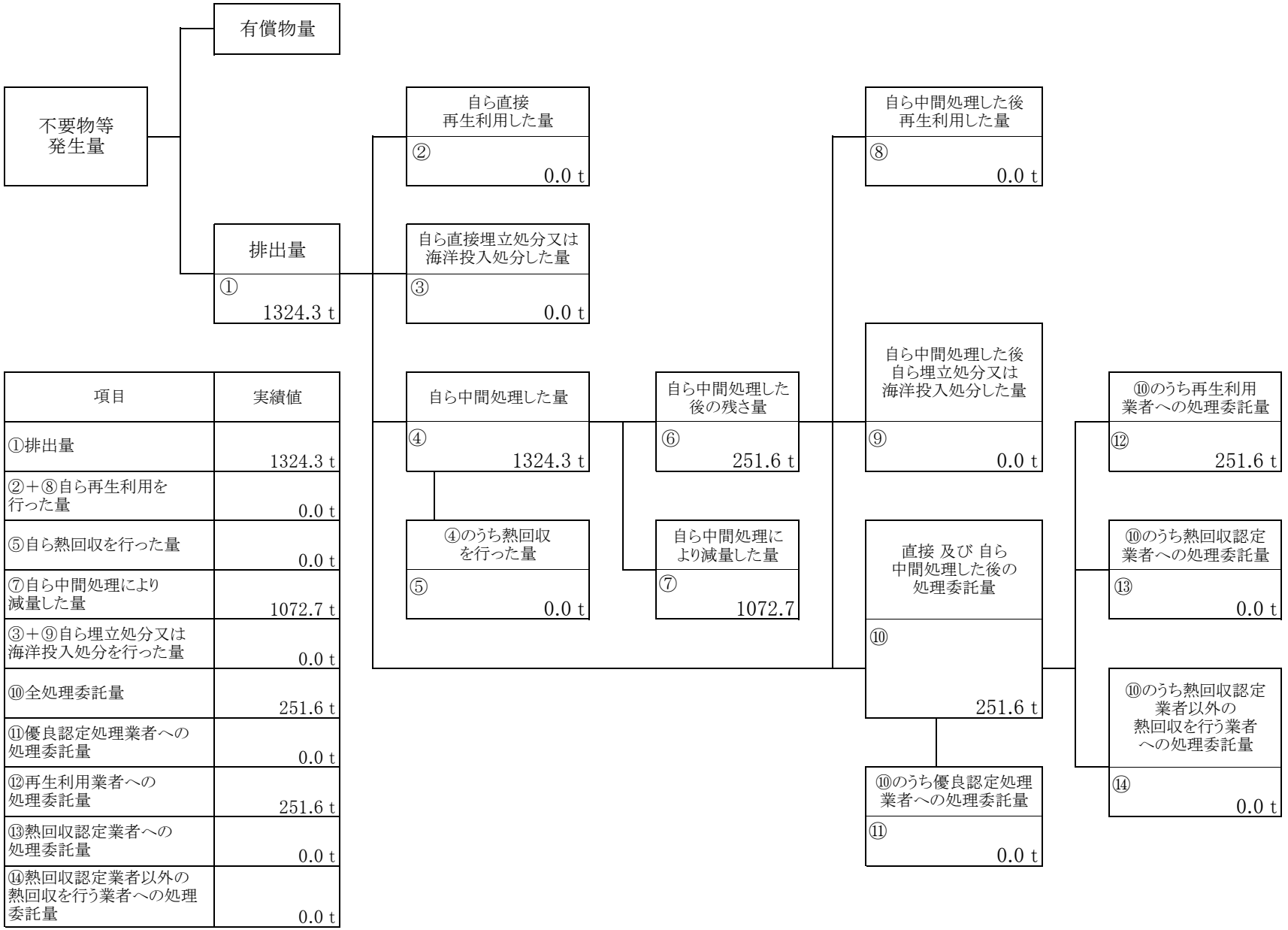


項目	実績値
①排出量	6.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **汚泥** ）

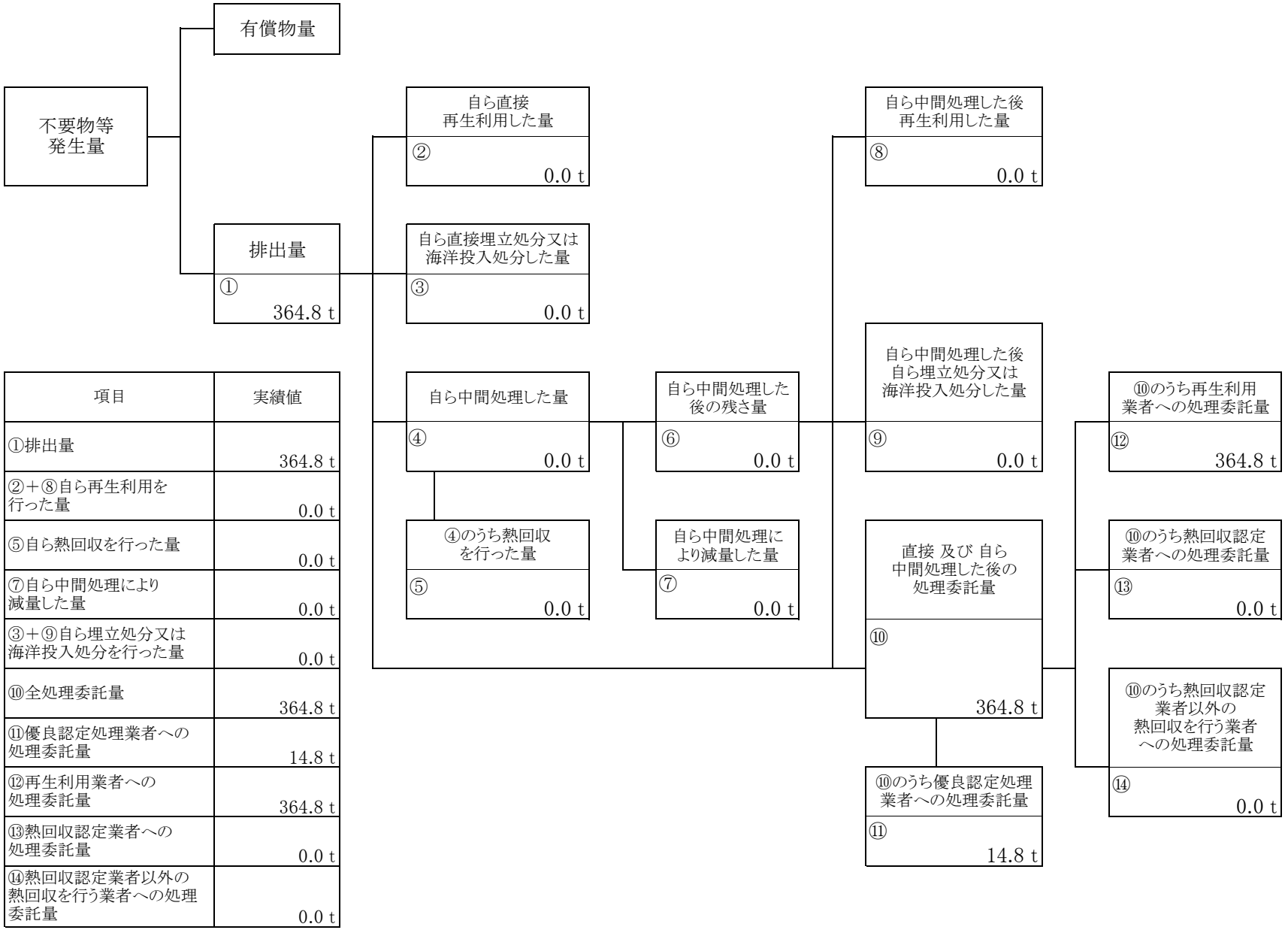


項目	実績値
①排出量	1324.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	1072.7 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	251.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	251.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃酸** ）

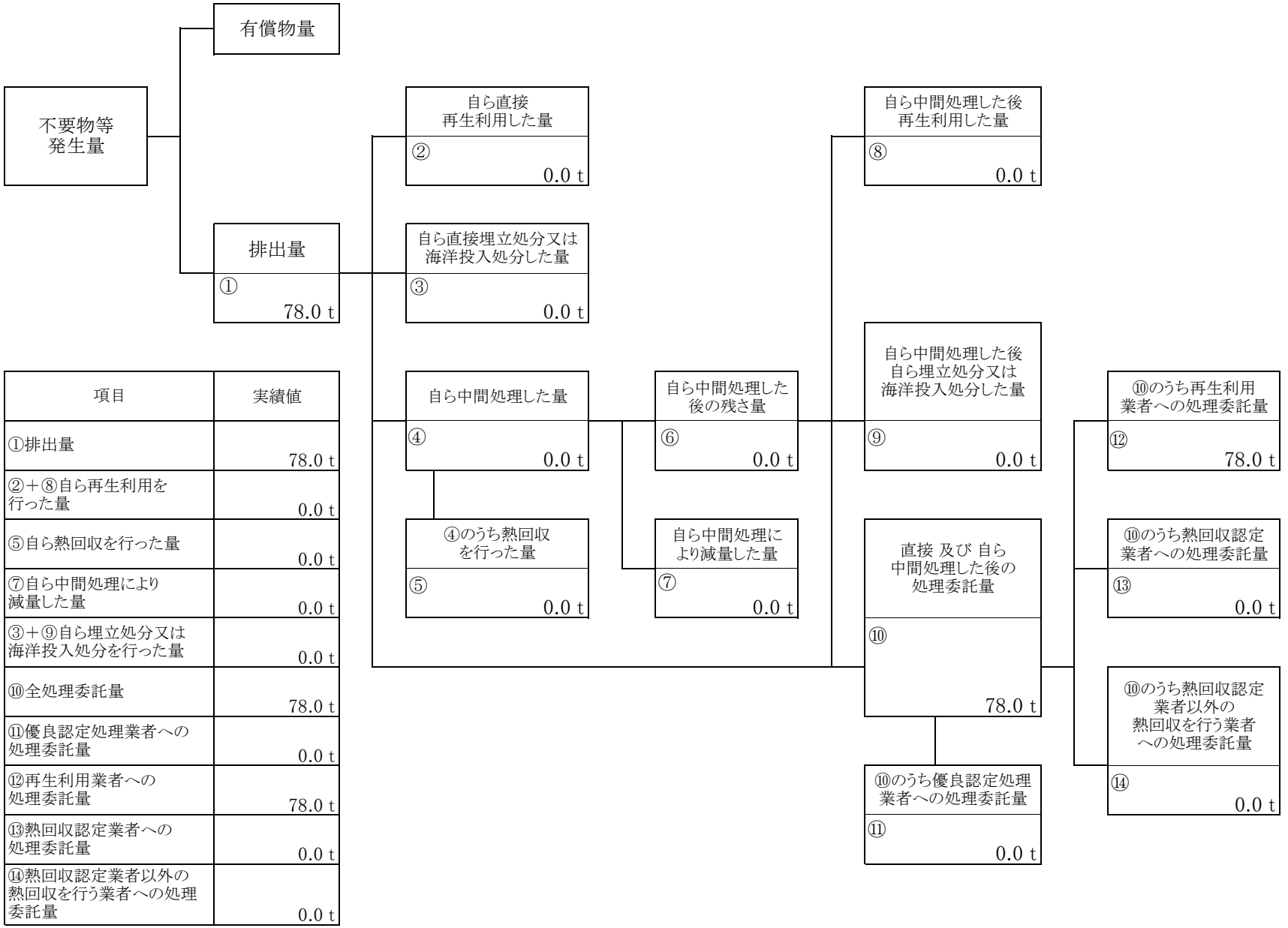


項目	実績値
①排出量	364.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	364.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	364.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃プラスチック類**　）

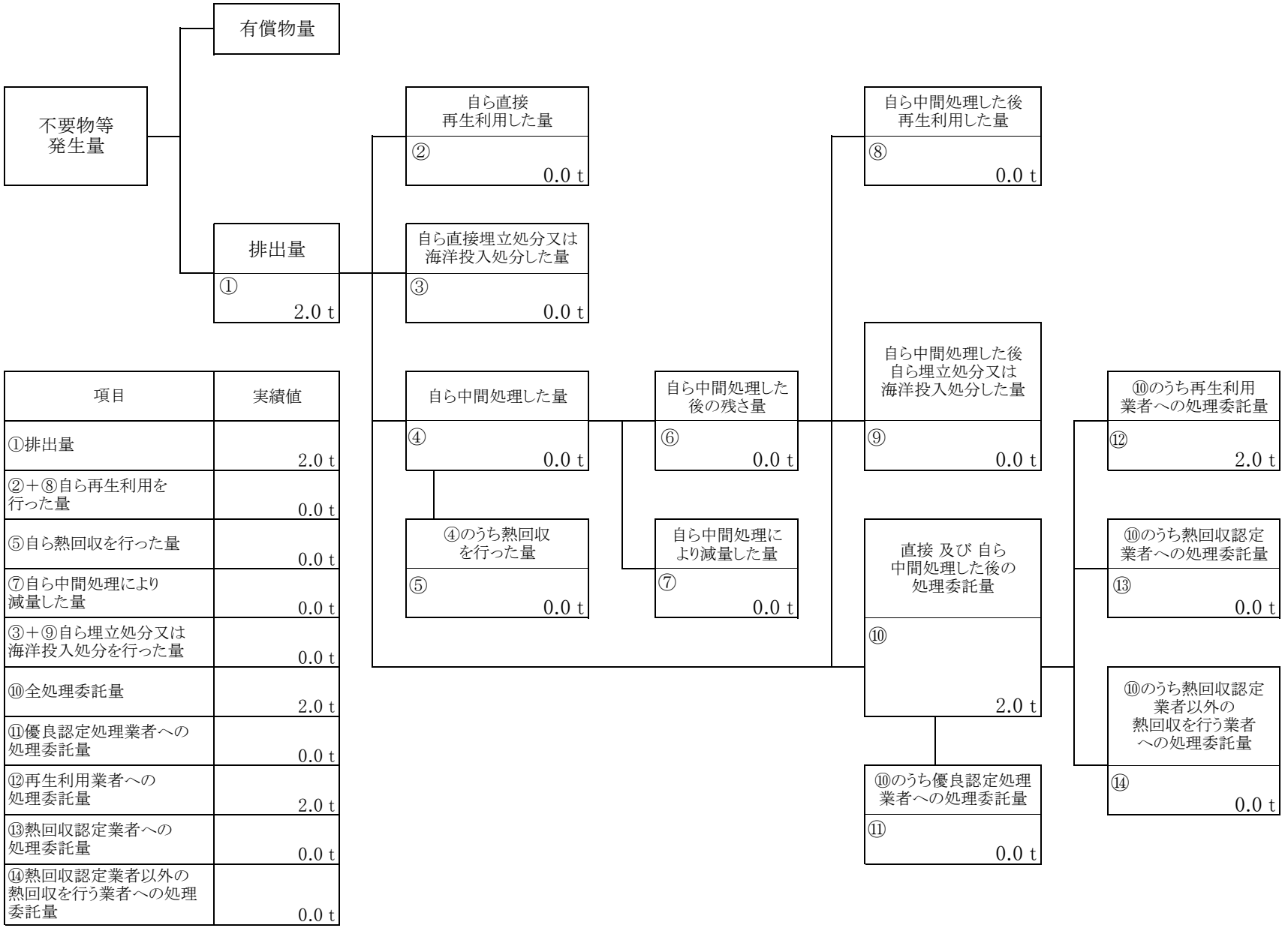


項目	実績値
①排出量	78.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	78.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	78.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**動植物性残さ**　）

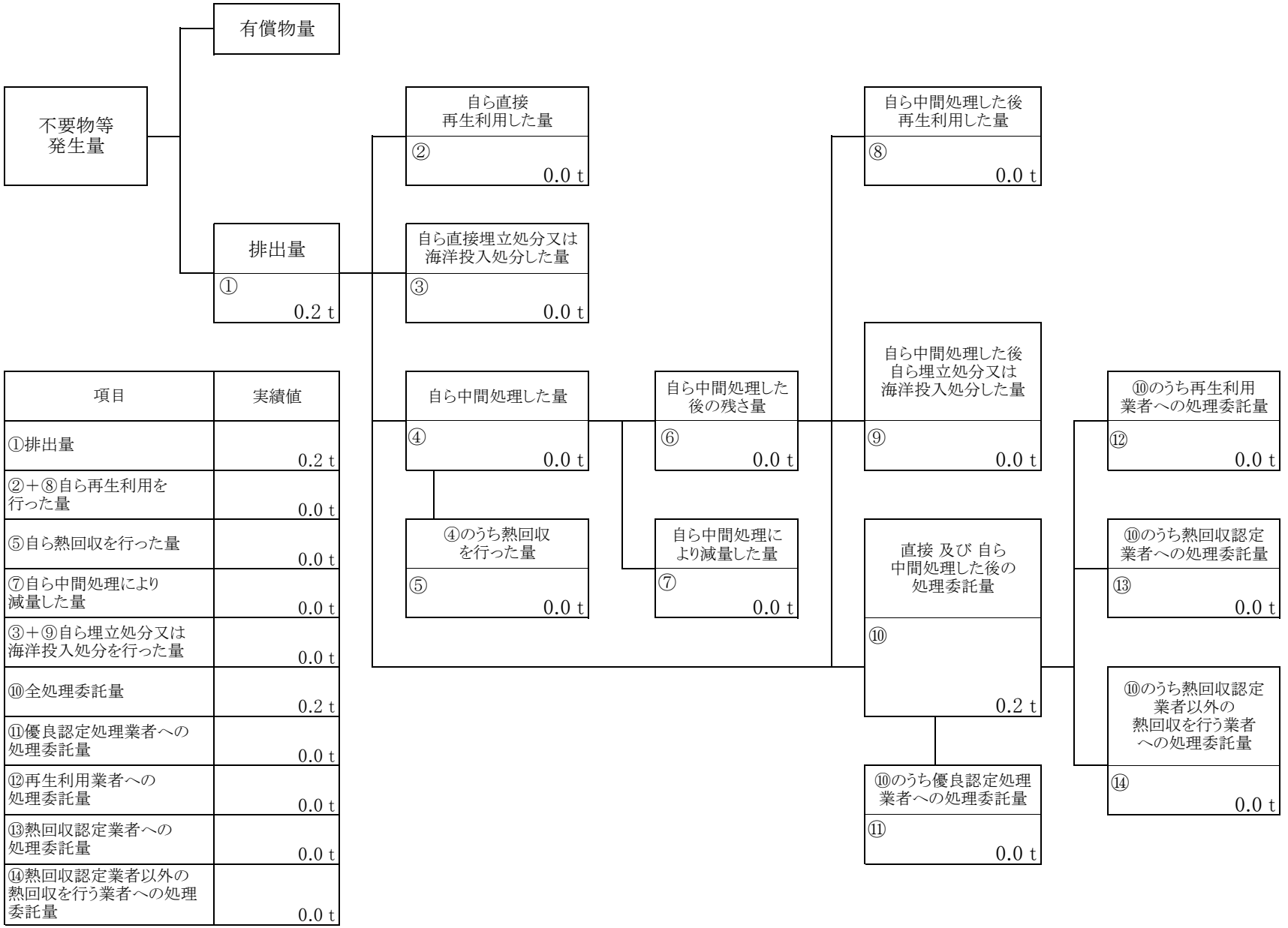


項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃蛍光灯**　）

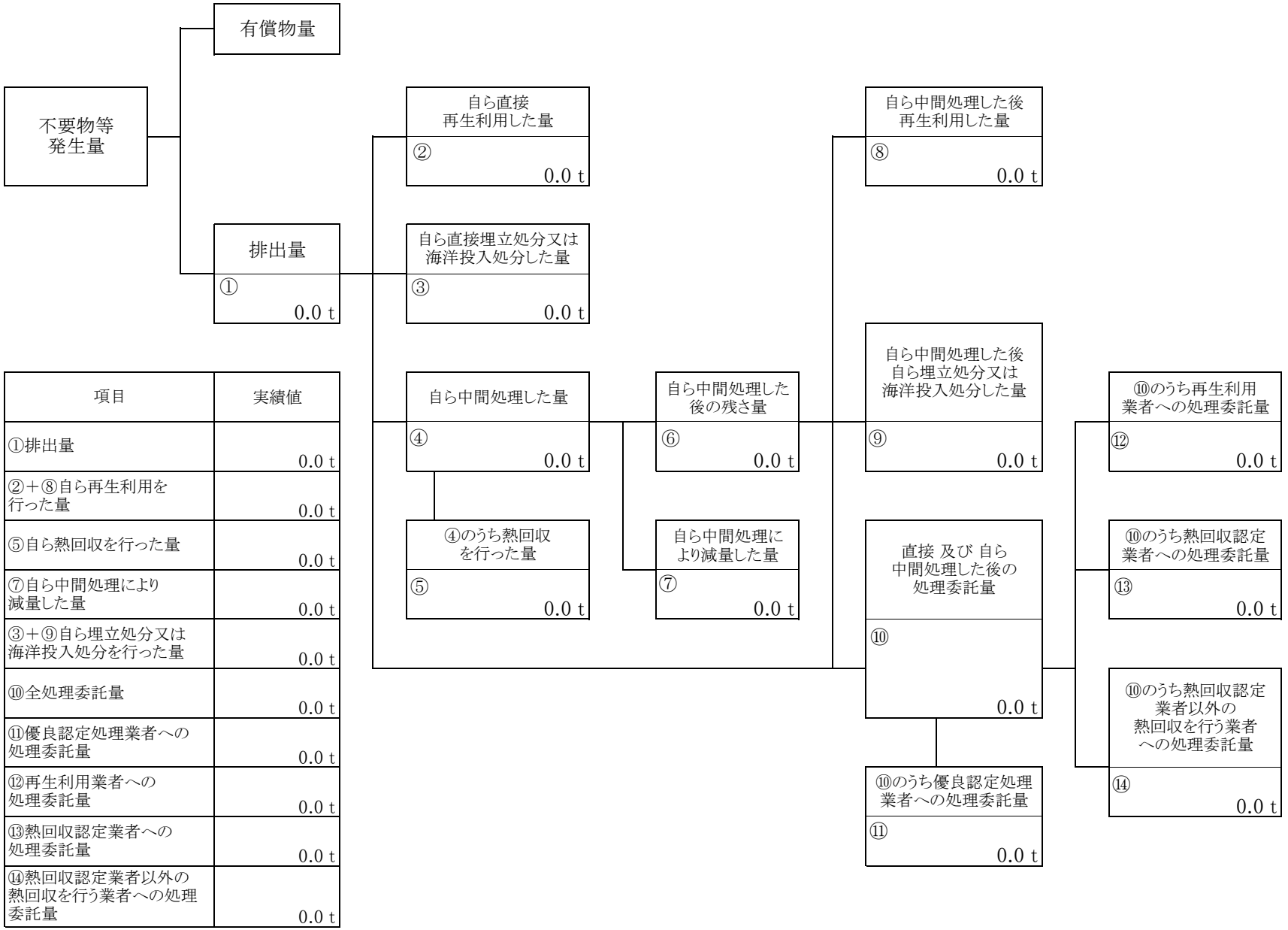


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

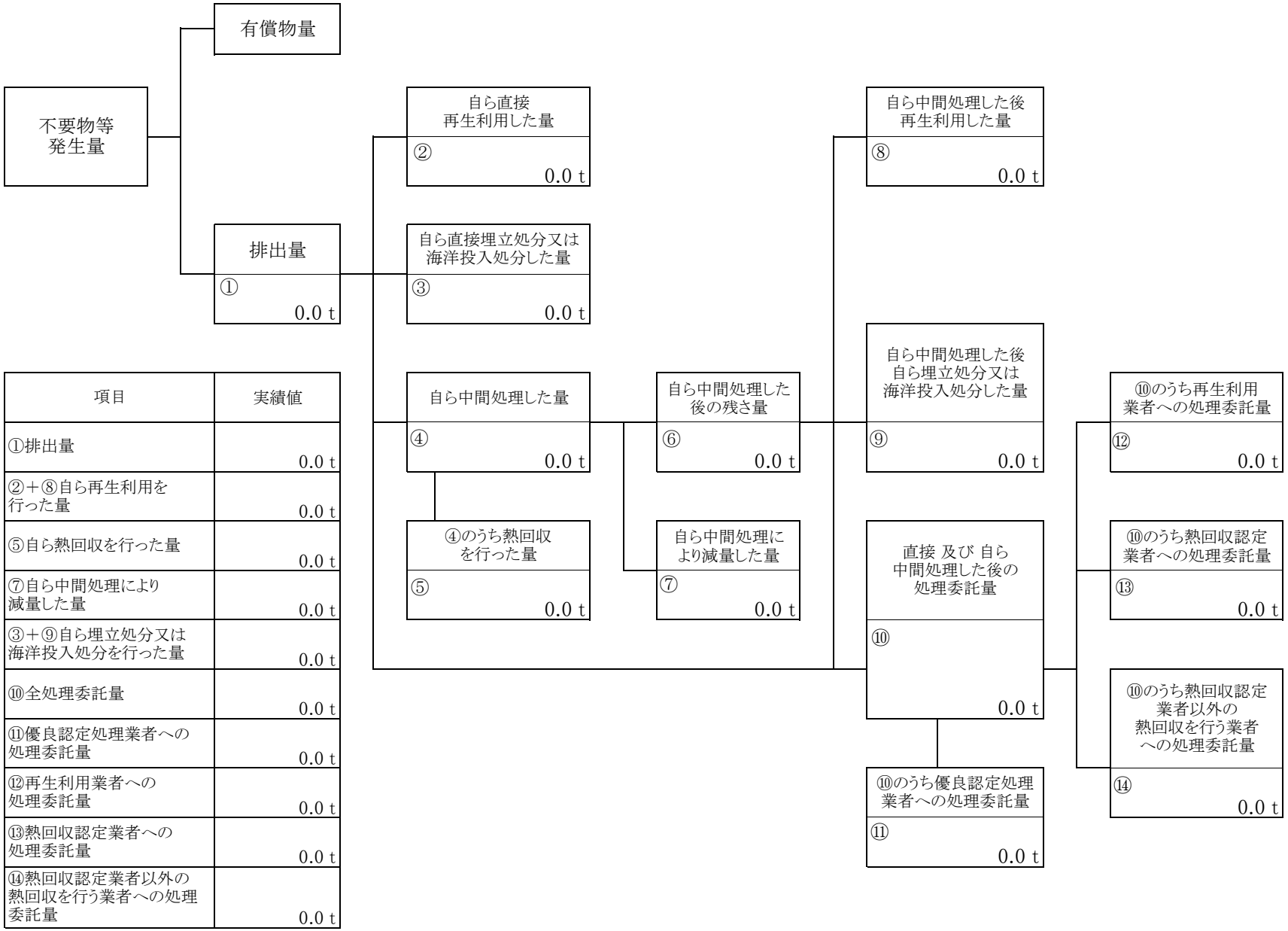


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年4月17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　272-0126

住　所　千葉県市川市千鳥町3番地

法人名　プロモ株式会社

代表者　木下 立郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-397-5101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	プロモ株式会社
事業場の所在地	千葉県市川市千鳥町３番地
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　製造業　　中分類：　　非鉄金属製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　15億72百万円
③従業員数	３８名（正社員３７名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	鉱さい→含有分析→溶出なし→中間処理業者へ委託処理（再生利用） →溶出あり→中間処理業者へ委託処理（最終処分場で管理型 埋立処理） 汚泥→中間処理業者へ委託処理 木くず→中間処理業者へ委託処理 廃アルカリ→中間処理業者へ委託処理

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

取締役会―代表取締役―経営会議―製造本部（工場長）…処理計画統括責任者
環境管理部…処理計画作成担当
業務本部
営業資材部…廃棄物担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ
排出量	1374 t	466 t

（これまでに実施した取組）

廃アルカリは、新・旧の排水処理設備を稼働し、自社処理を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ
排出量	1374 t	466 t

（今後実施する予定の取組）

引き続き、新・旧の排水処理設備を稼働して処理をする。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

鉱さいと廃アルカリは混ざっていません。鉱さい、廃アルカリの両方とも分別していない。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

今後も鉱さい、廃アルカリは分別する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

鉱さい、廃アルカリの自社での再生利用については、これまで実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

鉱さい、廃アルカリの自社での再生利用については、今後も実施する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

自ら行う鉱さいの中間処理については、これまで実施していない。廃アルカリは、新・旧の排水処理設備の能力の最大限で運転し、排水基準値以下に処理してから社外に排水している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

廃アルカリは、引き続き新・旧廃止処理設備を運転して自社処理する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分は行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	鉱さい	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

引き続き、埋立処分又は又は海洋投入処分を行う予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		鉱さい	廃アルカリ
全処理委託量		1374 ｔ	466 ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	466 ｔ
	再生利用業者への処理委託量	1374 ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

鉱さいは、ウエイト材として再生利用している委託業者に処理を委託している。廃アルカリは、優良認定処理業者へ委託しており、委託先では廃酸の中和剤として利用している。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>鉱さい</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1374 t</td><td>466 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>466 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>1374 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
鉱さいは、引き続きウエイト材として再生利用している委託業者に処理委託する。廃アルカリは、引き続き優良認定処理業者へ委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

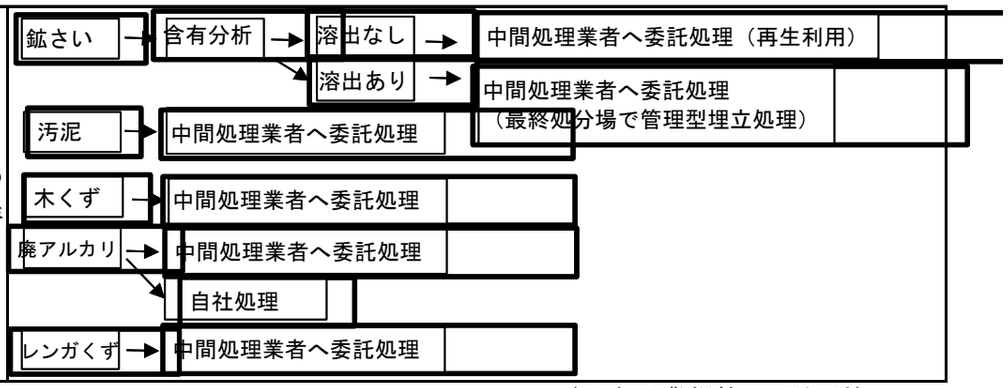
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（ 令和　 5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
		排　出　量	148 t	7 t	57 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
		排　出　量	148 t	7 t	57 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（ 令和　 5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（ 令和　 5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
	全処理委託量	148 t	7 t	57 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	148 t	7 t	57 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	がれき類（レンガくず）					
	全処理委託量	148 t	7 t	57 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	148 t	7 t	57 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列4番）

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月14日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　272-0126

住所 千葉県市川市千鳥町3番地

法人名 プロモ株式会社

代表者 木下 太一郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-397-5101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	プロモ株式会社
事業場の所在地	千葉県市川市千鳥町3番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 非鉄金属製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

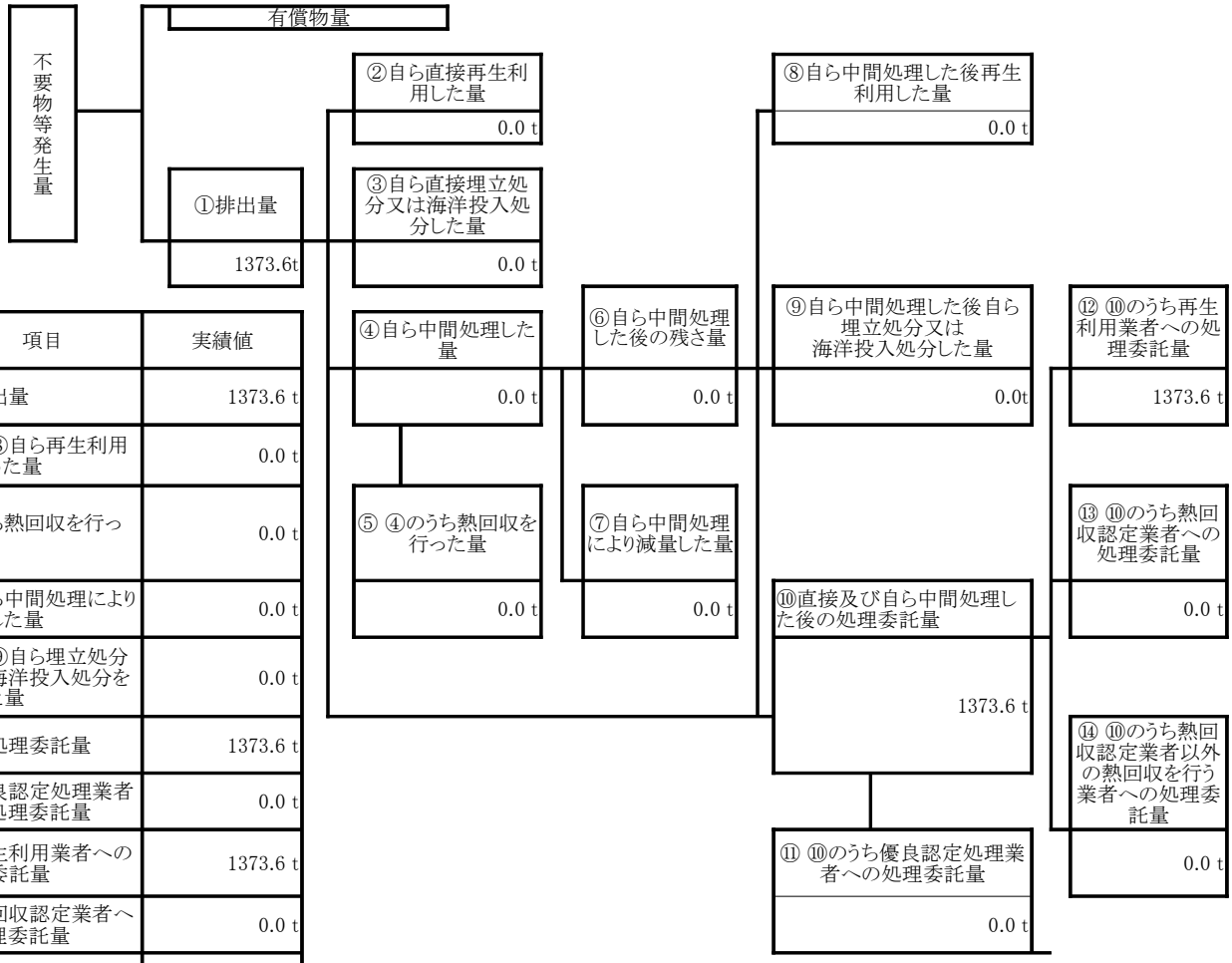
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2075.6 t	全処理委託量	2075.6 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	732.4 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1343.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **鉱さい** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

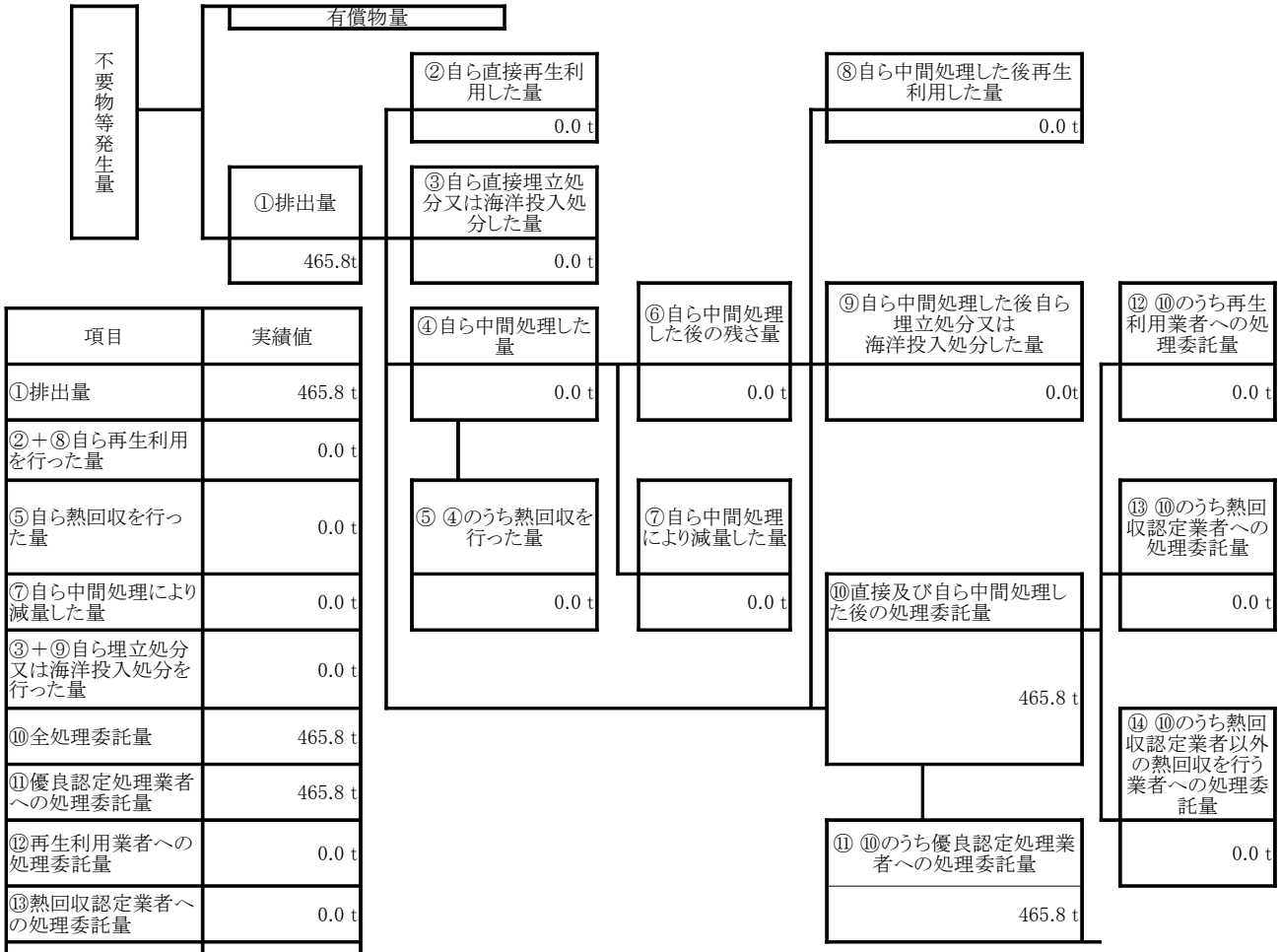


項目	実績値
①排出量	1373.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1373.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1373.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

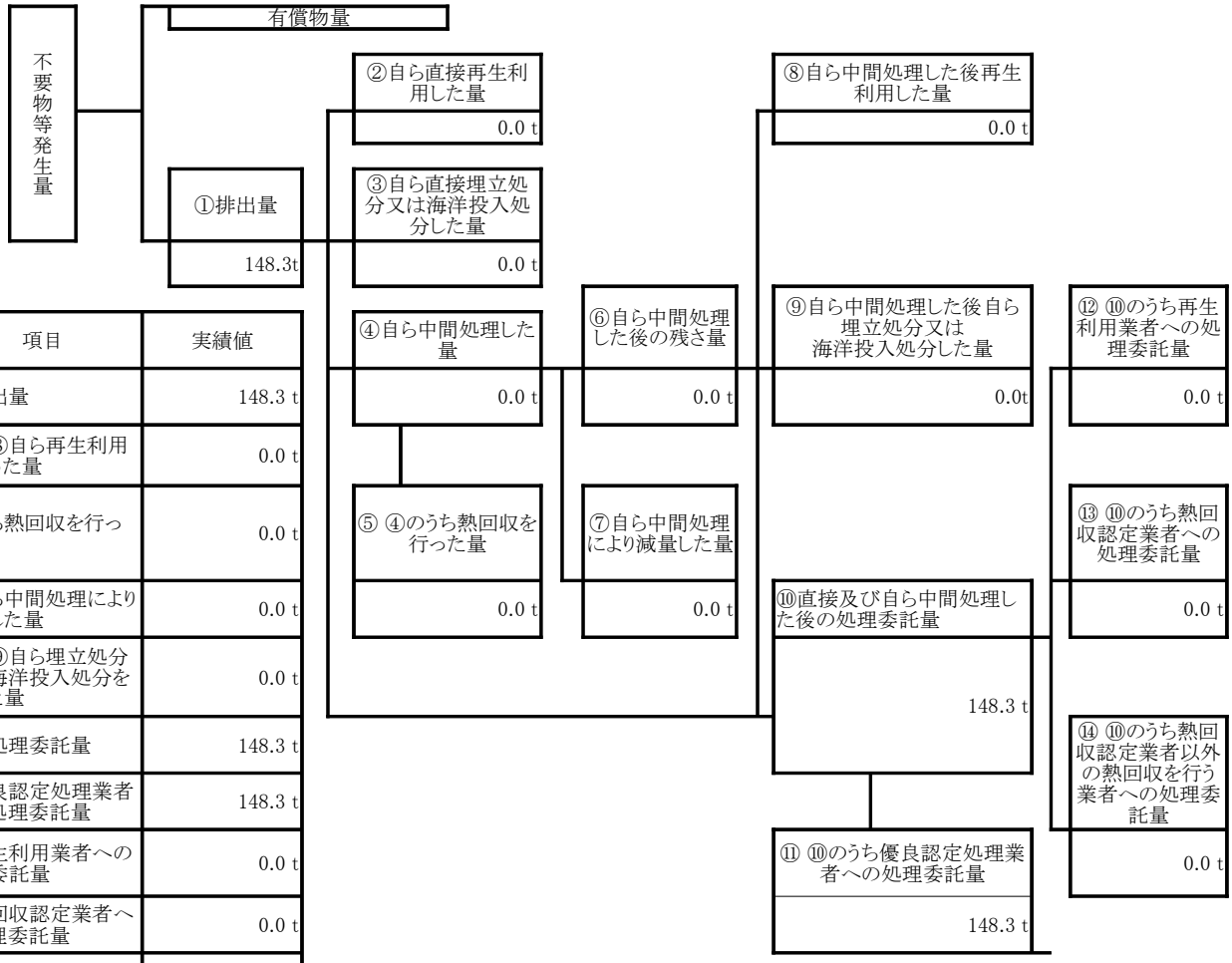


項目	実績値
①排出量	465.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	465.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	465.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

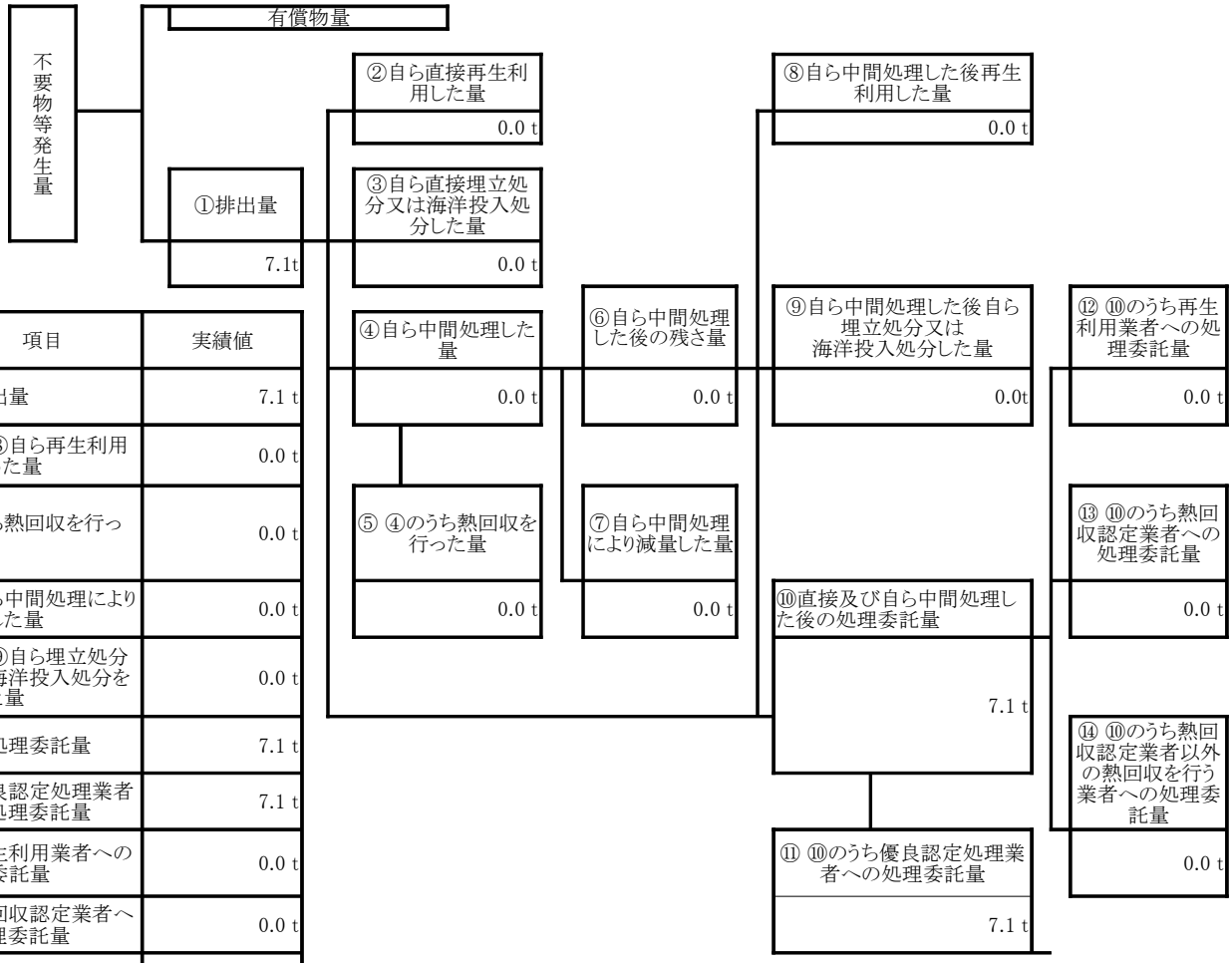


項目	実績値
①排出量	148.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	148.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	148.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

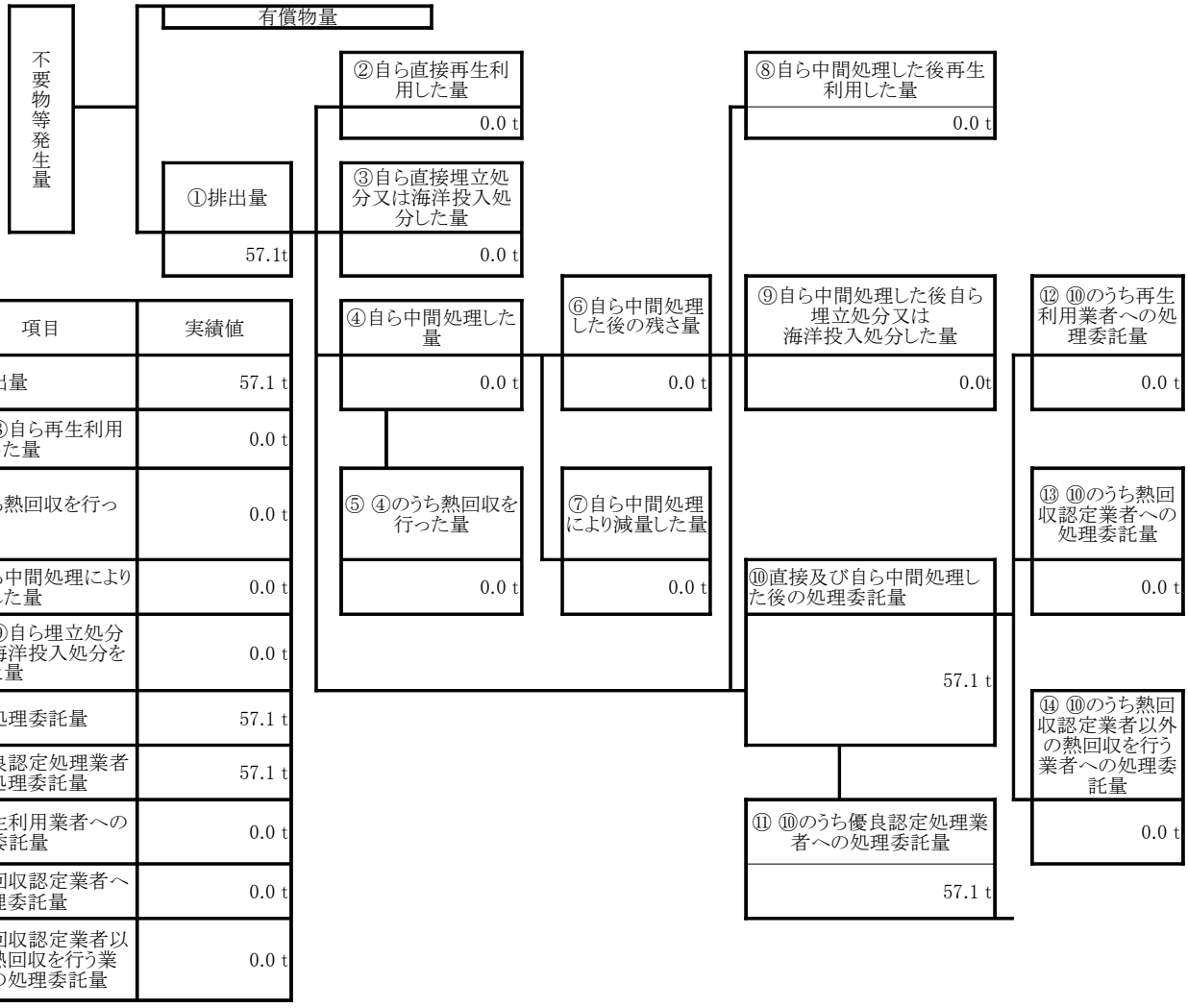


項目	実績値
①排出量	7.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類(レンガくず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

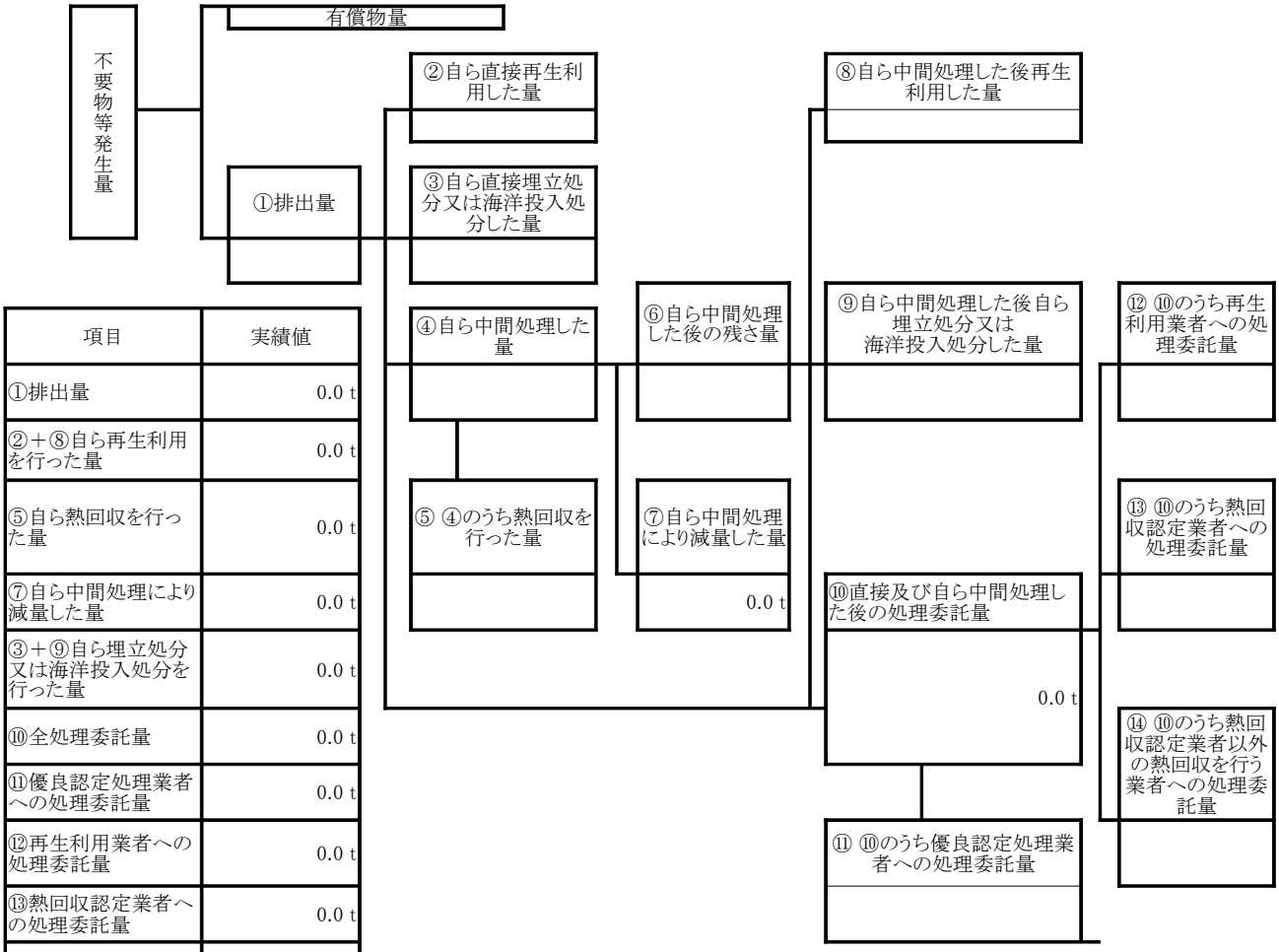


項目	実績値
①排出量	57.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	57.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	57.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



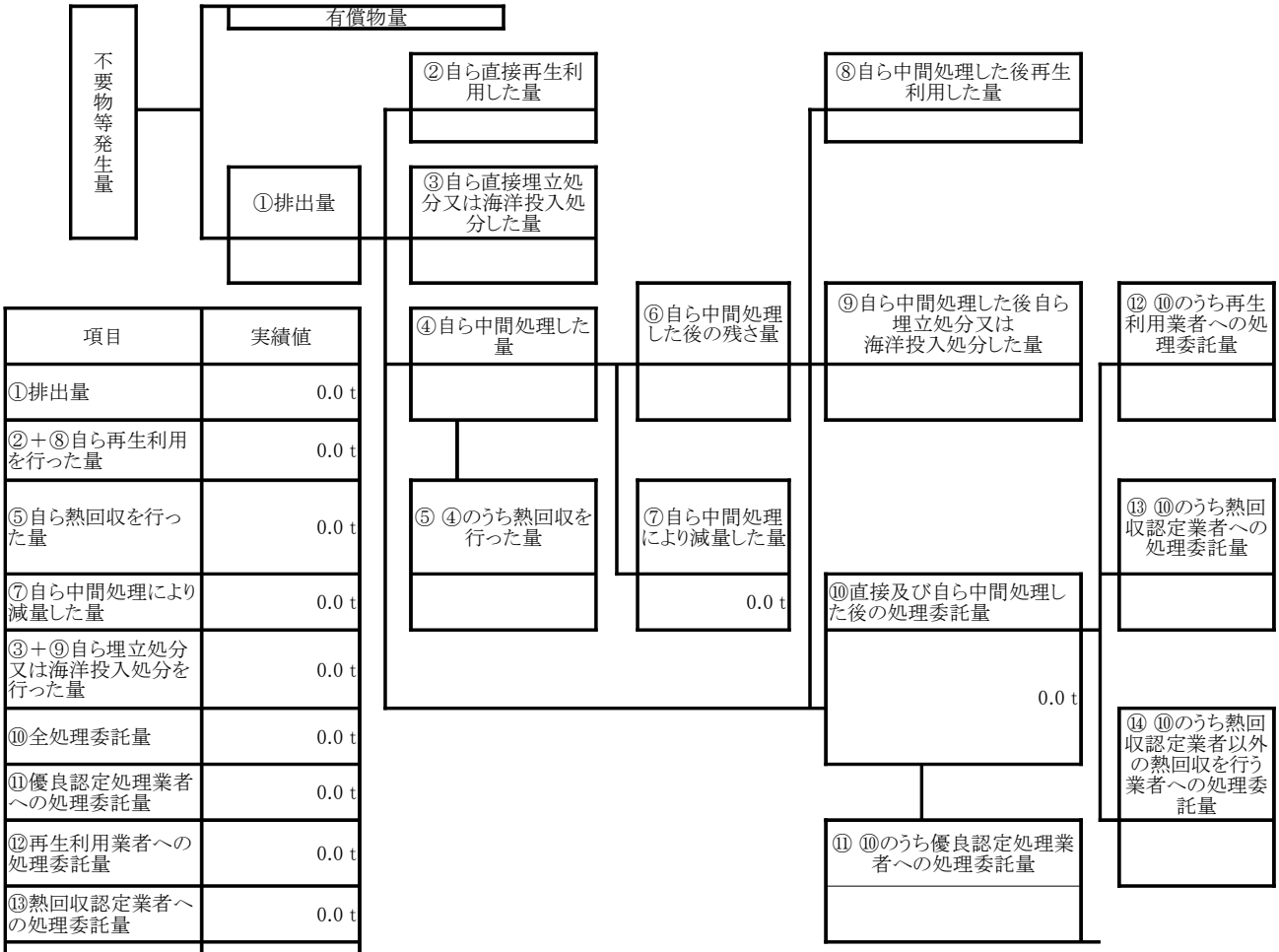
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

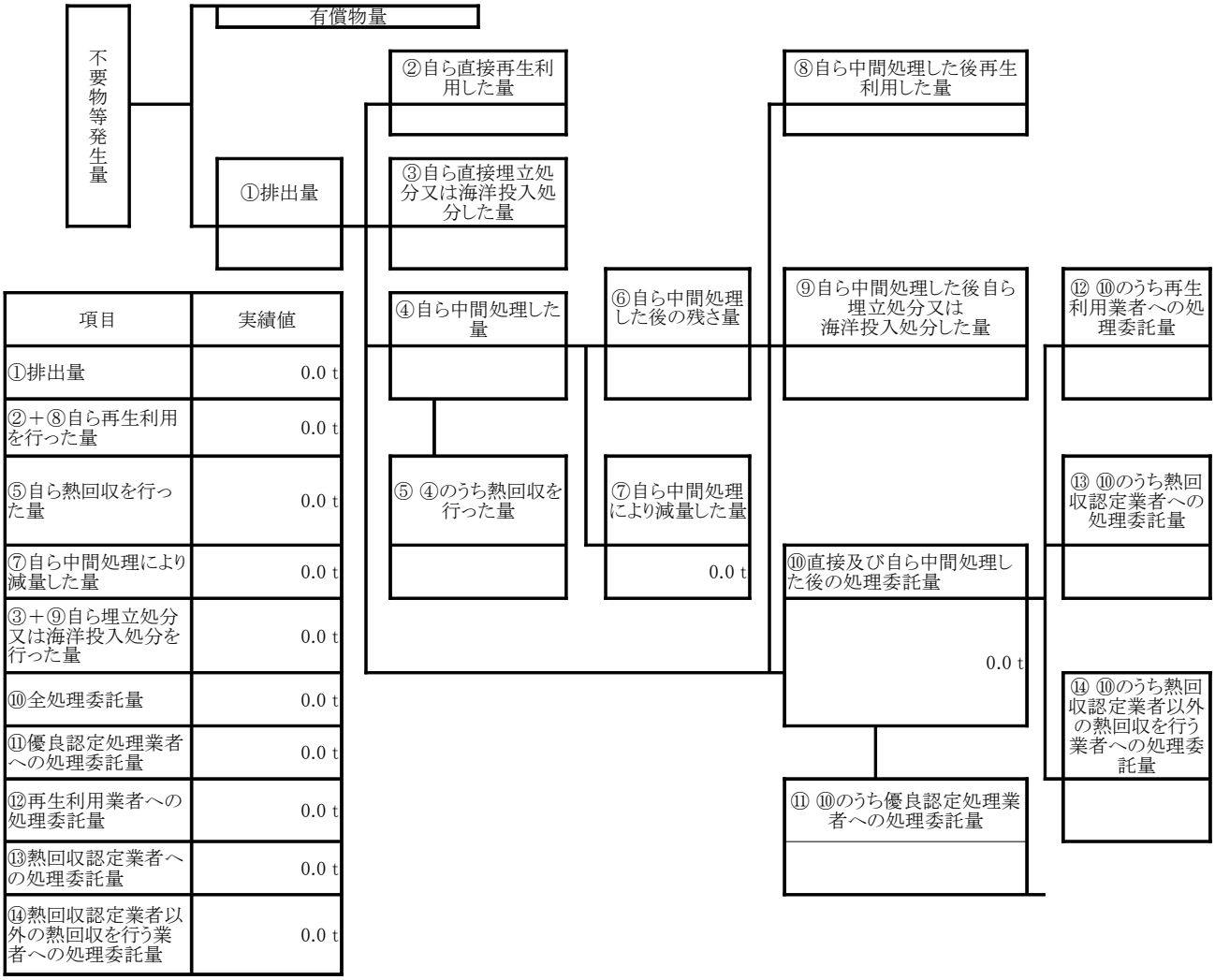


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

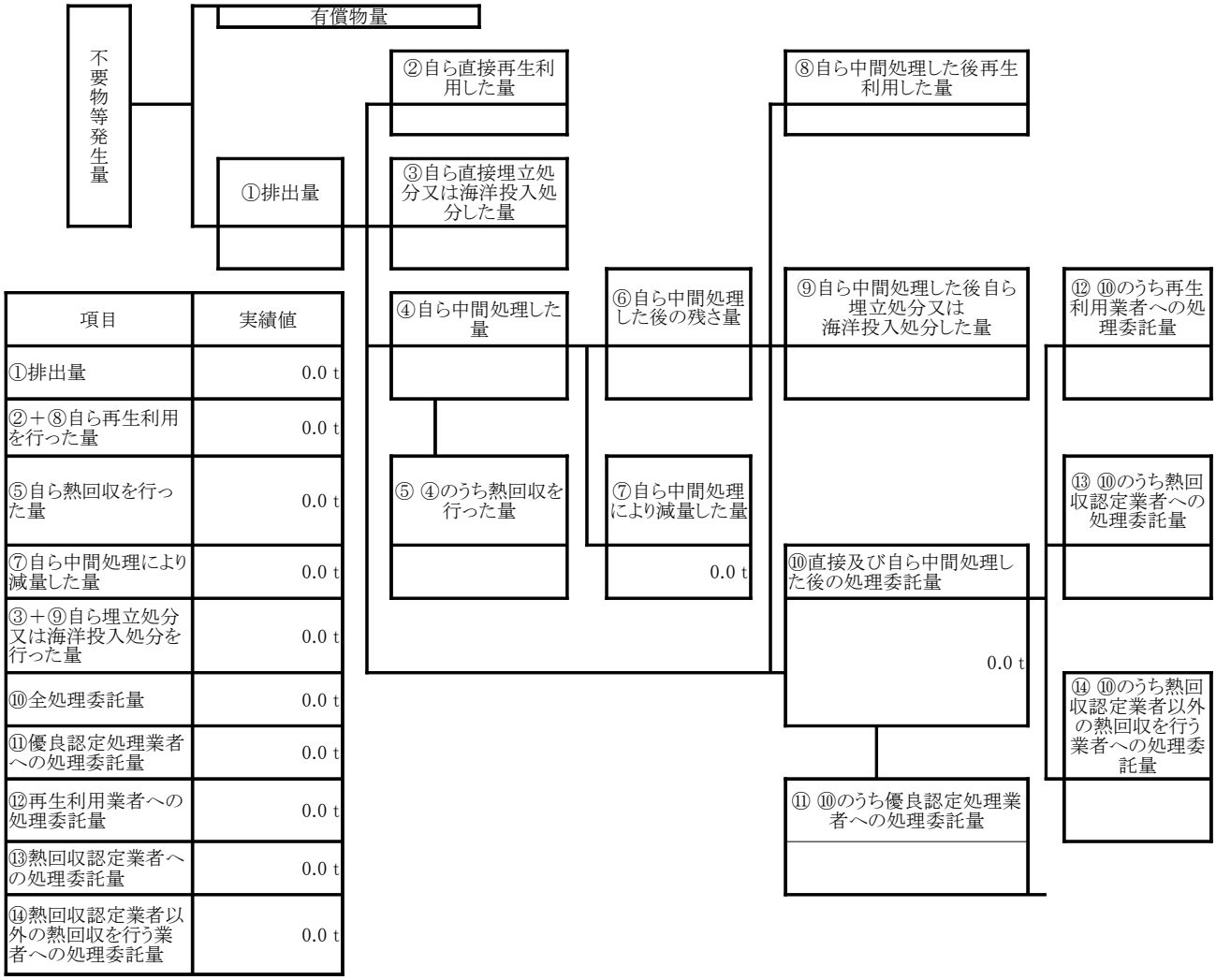


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



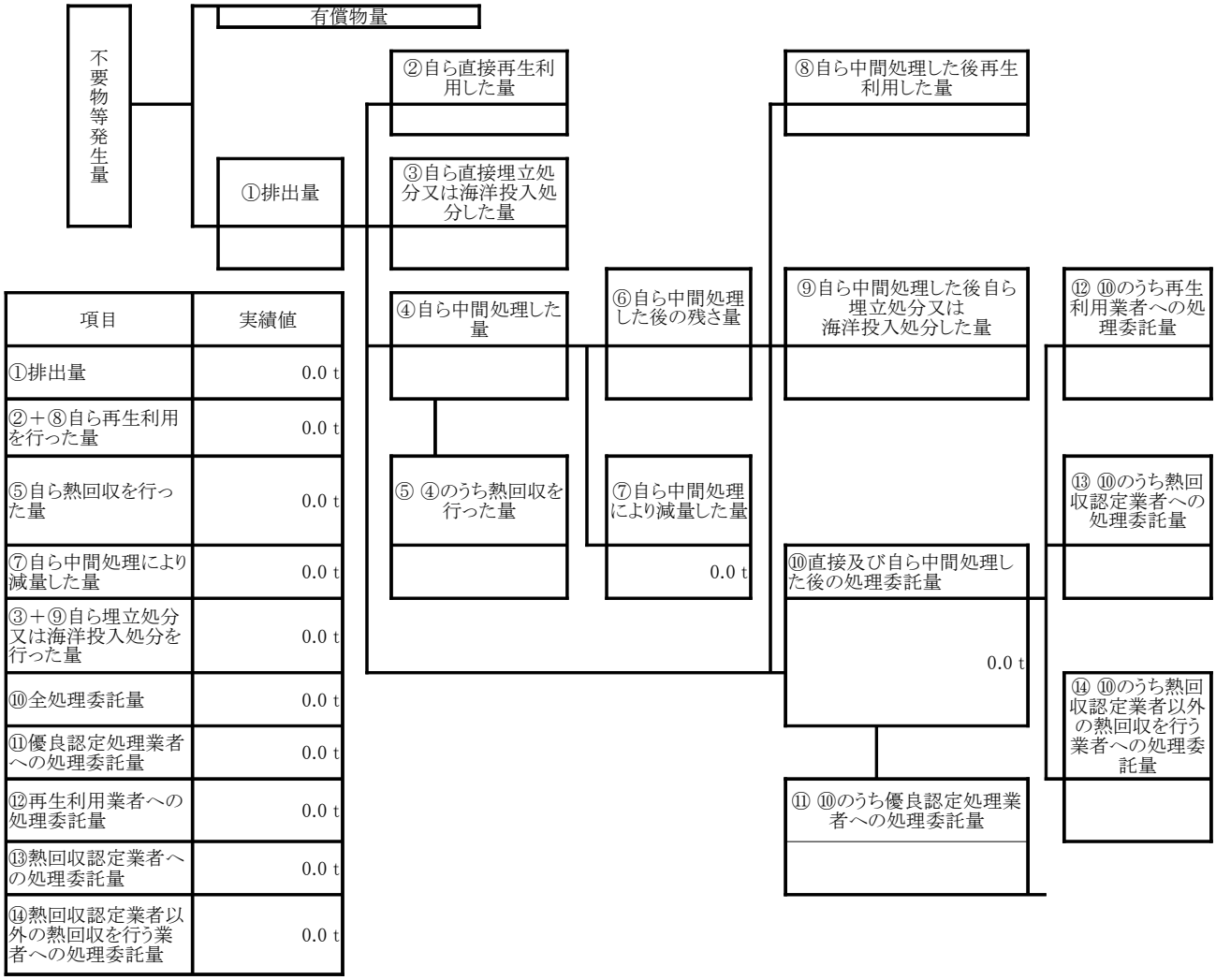
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

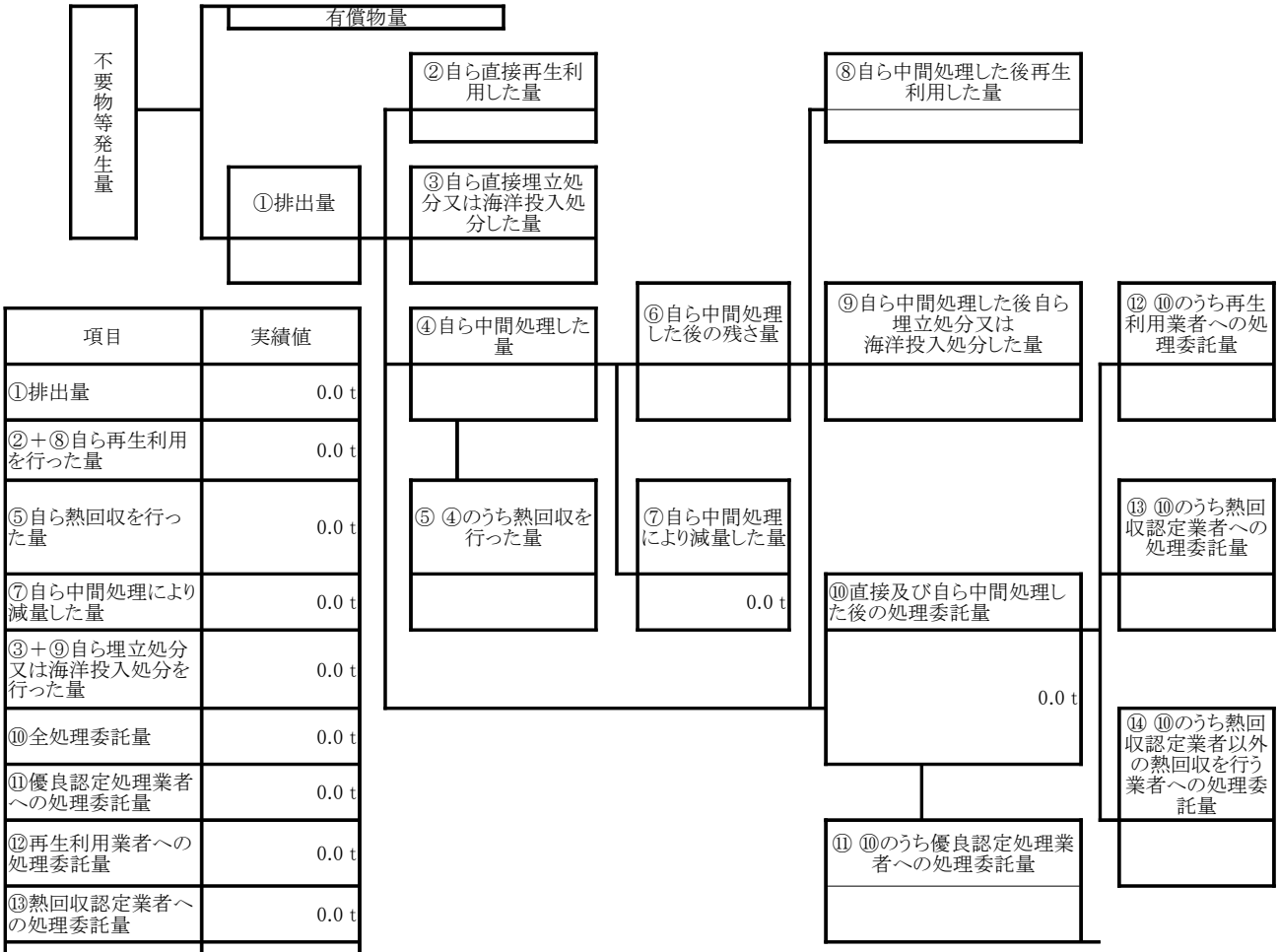


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



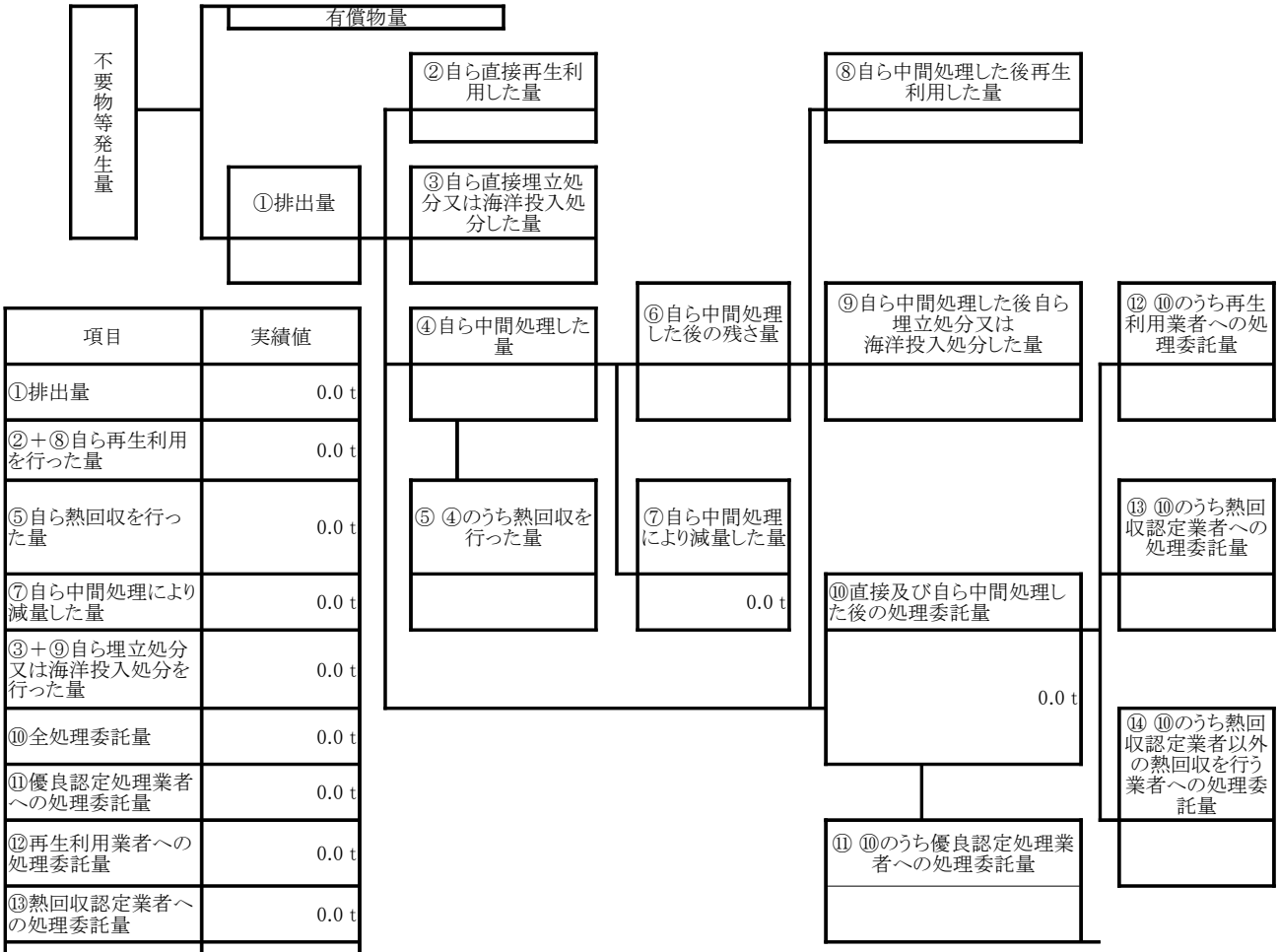
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



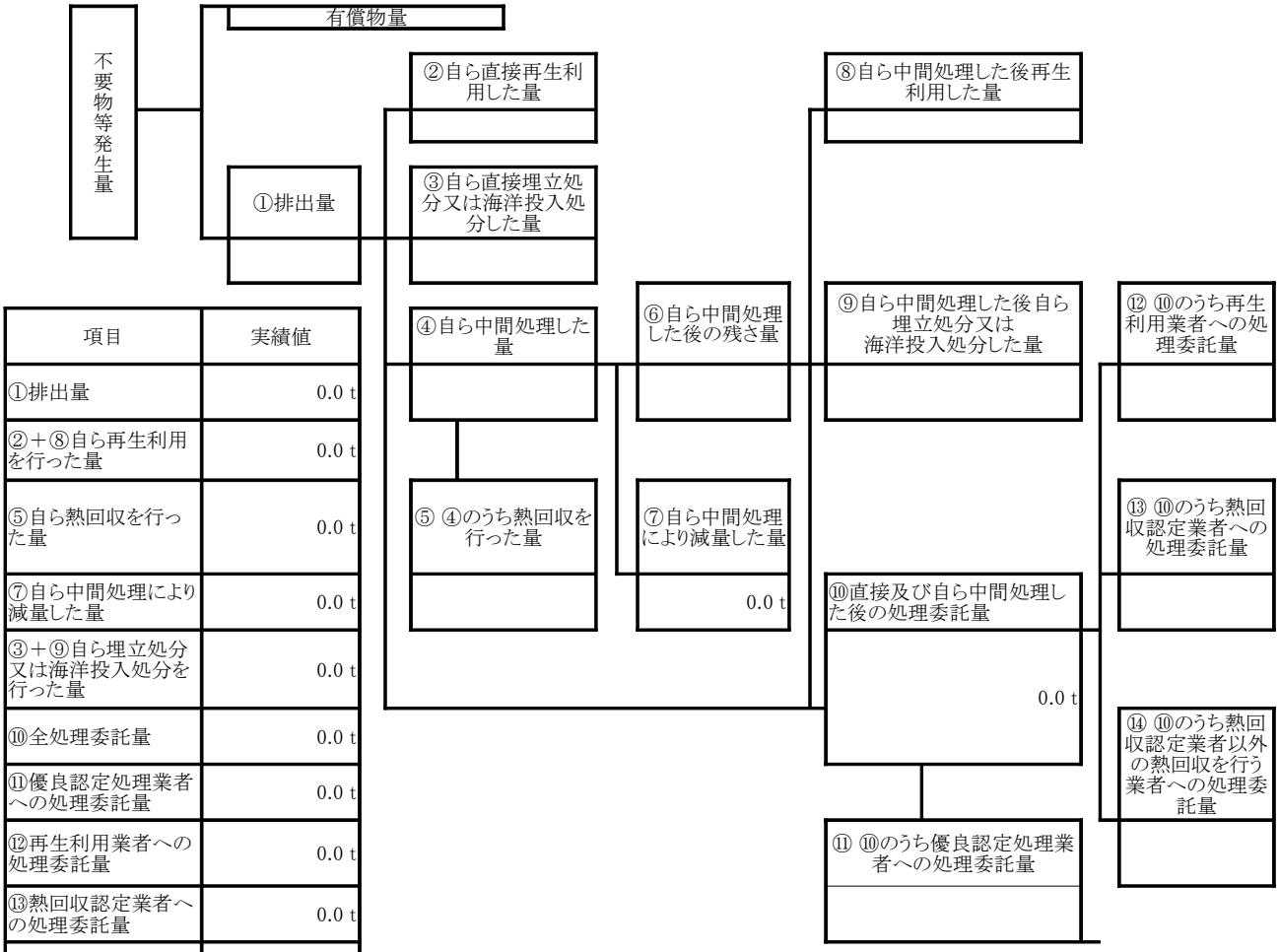
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

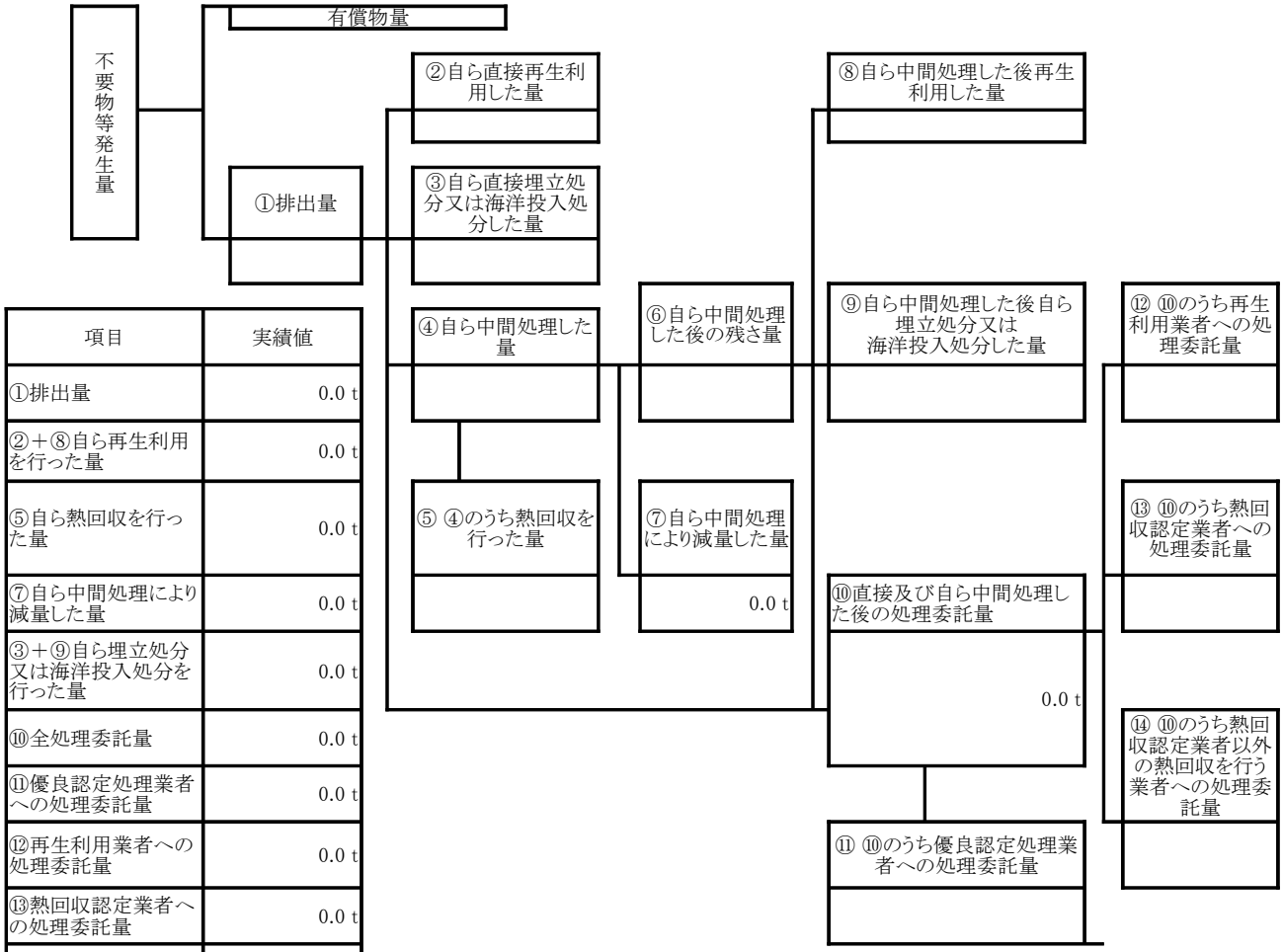


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



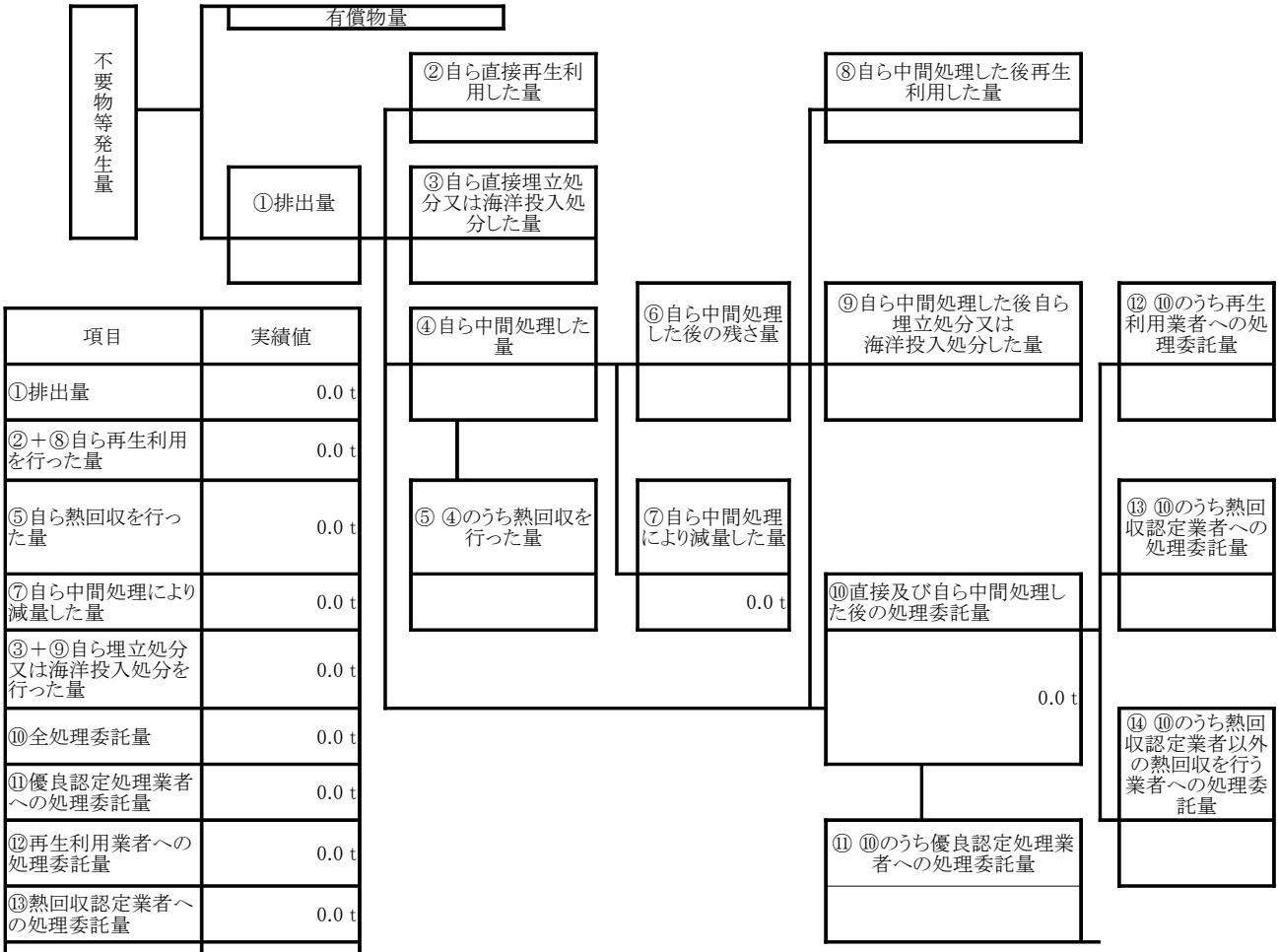
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

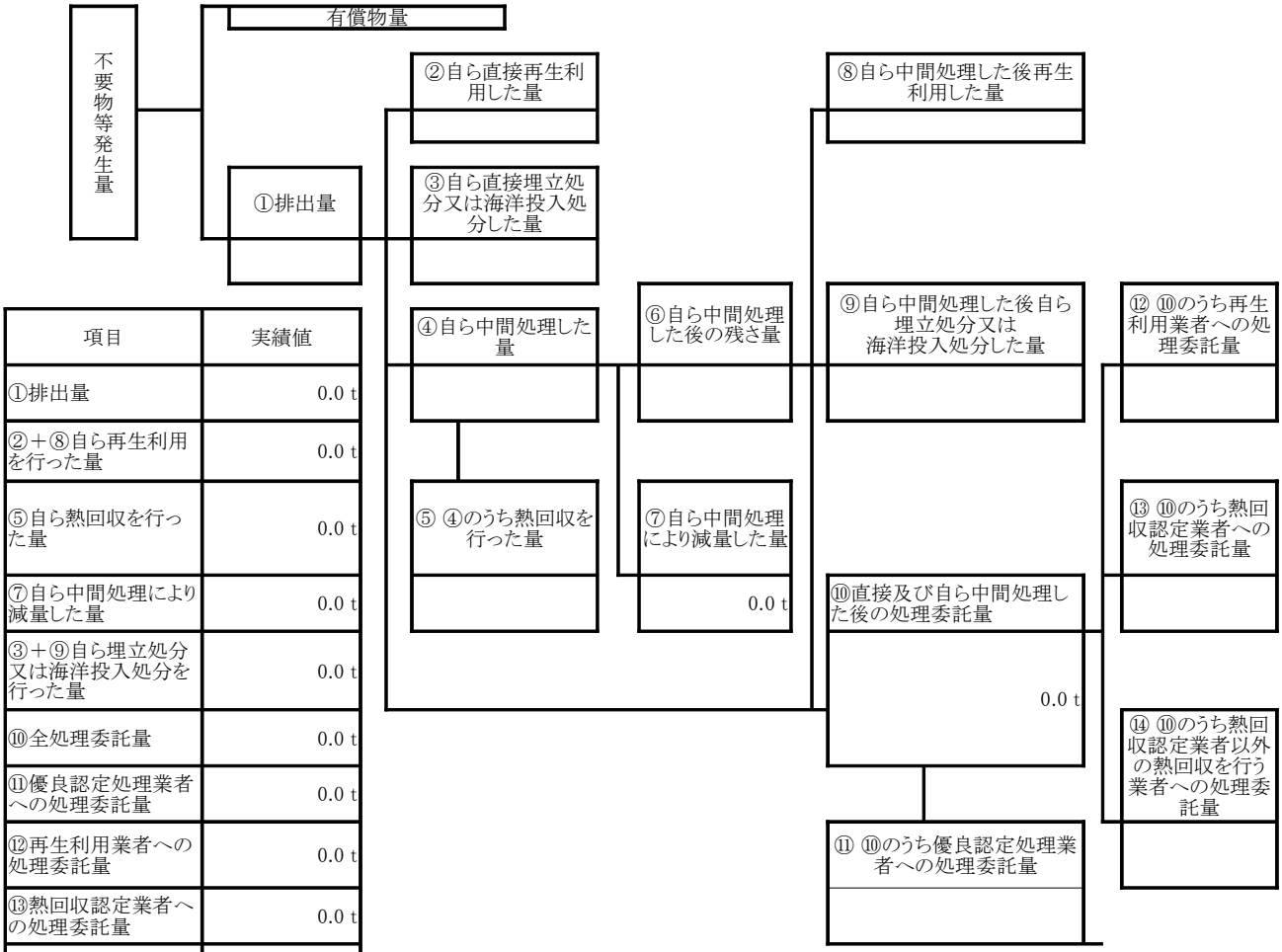


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

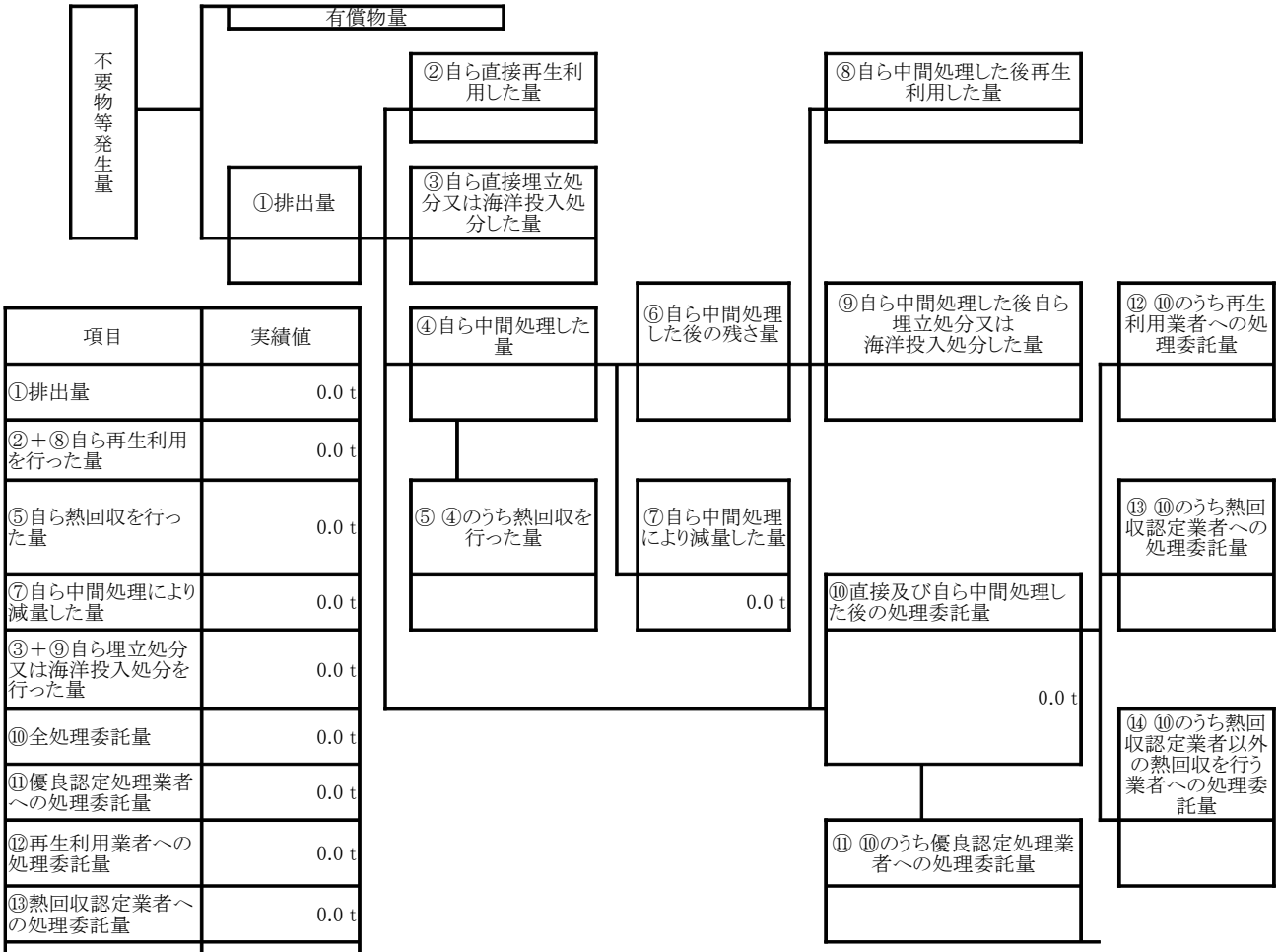


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



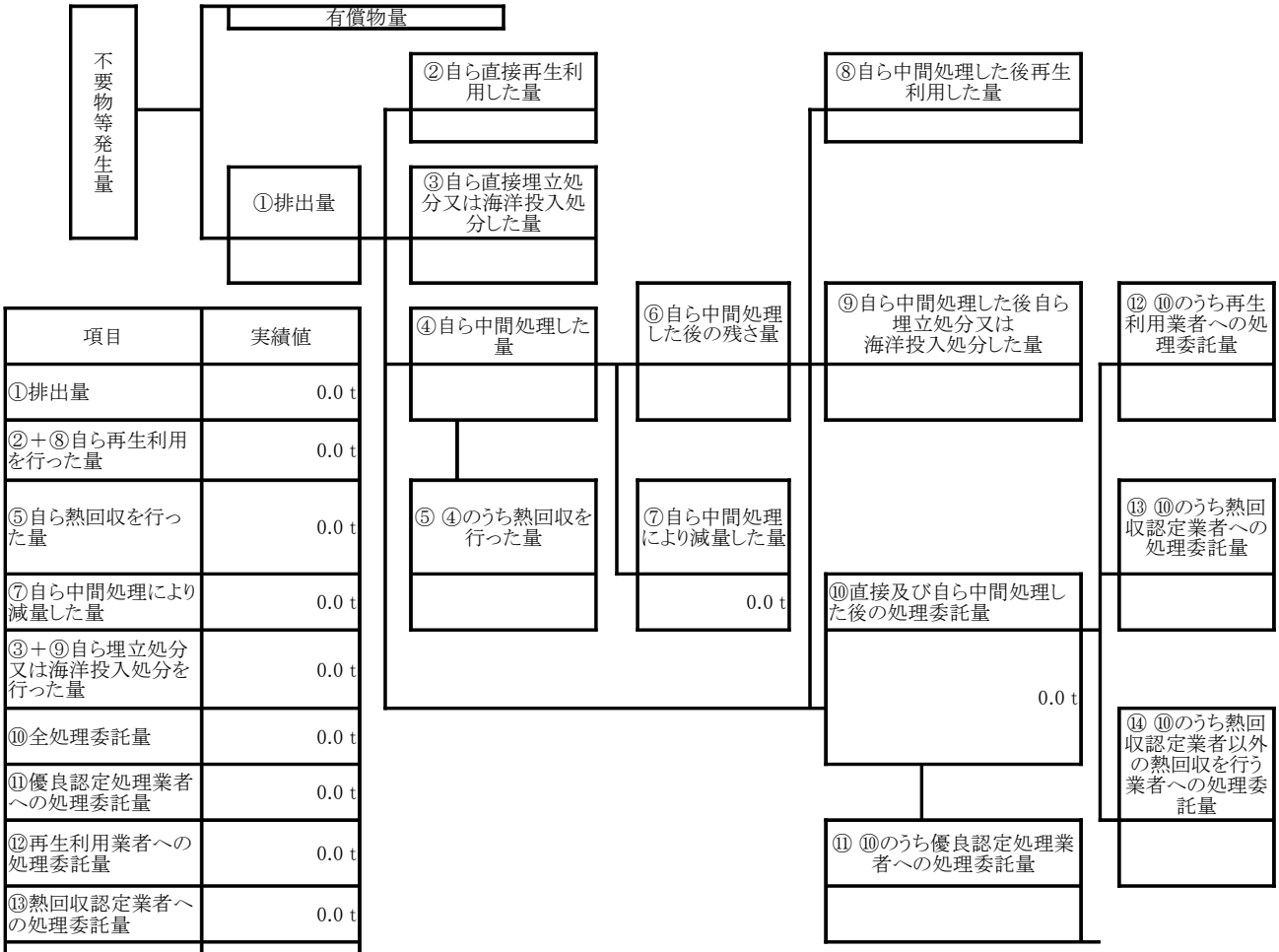
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

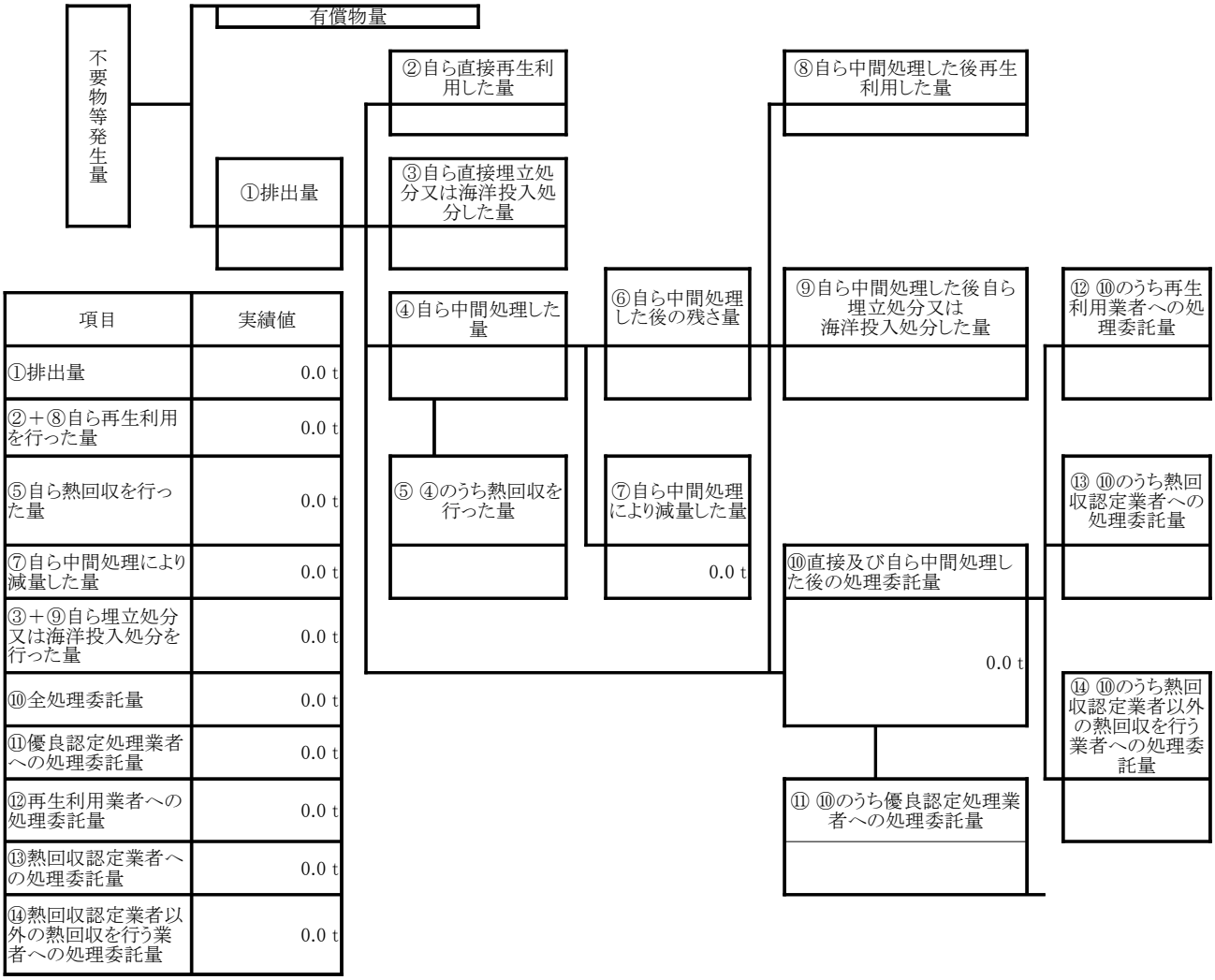


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

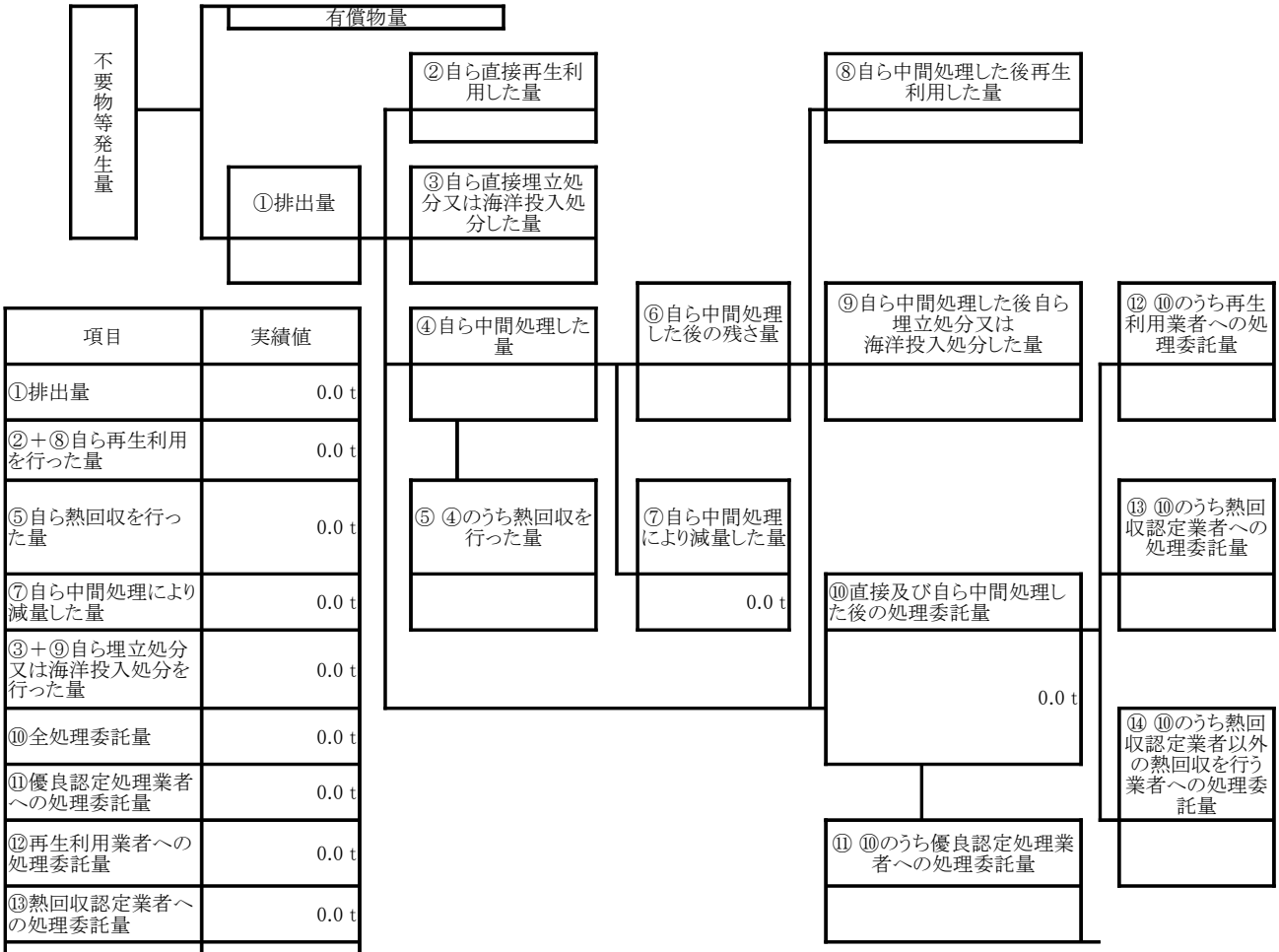


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年4月17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　272-0126

住　所　千葉県市川市千鳥町3番地

法人名　プロモ株式会社

代表者　木下　太一郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-397-5101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	プロモ株式会社
事業場の所在地	千葉県市川市千鳥町３番地
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　非鉄金属製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　15億72百万円
③従業員数	３８名（正社員３７名）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃酸→自社処理 →中間処理業者へ委託処理

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

取締役会―代表取締役―経営会議―製造本部（工場長）…処理計画統括責任者
環境管理部…処理計画作成担当
業務本部
営業資材部…廃棄物担当

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	
排出量	398 t	t

（これまでに実施した取組）
廃アルカリの中和剤として使用する委託処理業者に処理を委託している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	
排出量	398 t	t

（今後実施する予定の取組）
引き続き、廃アルカリの中和剤として使用する委託処理業者に委託する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃酸（強酸）は分別していない。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
今後も廃酸（強酸）は分別する予定はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 廃酸（強酸）の自社での再生利用については、これまで実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 廃酸（強酸）の自社での再生利用については、今後も実施する予定はない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 自ら行う廃酸（強酸）の中間処理については、委託処理を依頼している廃酸（強酸）以外は、自社にて水酸化マグネシウムで中和処理を行っている。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、自ら行う廃酸（強酸）の中間処理については、委託処理を依頼している廃酸（強酸）以外は、自社にて水酸化マグネシウムで中和処理を行う。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分は行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

引き続き、埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃酸（強酸）	
全処理委託量		398 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	398 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

廃酸（強酸）は廃アルカリの中和剤として利用する委託業者に処理委託している。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃酸（強酸）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>398 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>398 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き、廃酸（強酸）は廃アルカリの中和剤として使用している委託業者に処理を委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 398 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
情報処理センターへの登録済み</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年4月17日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　272-0126

住所 千葉県市川市千鳥町3番地

法人名 プロモ株式会社

代表者 木下 太一郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-397-5101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	プロモ株式会社
事業場の所在地	千葉県市川市千鳥町3番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 非鉄金属製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	460 t	全処理委託量	460 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	460 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

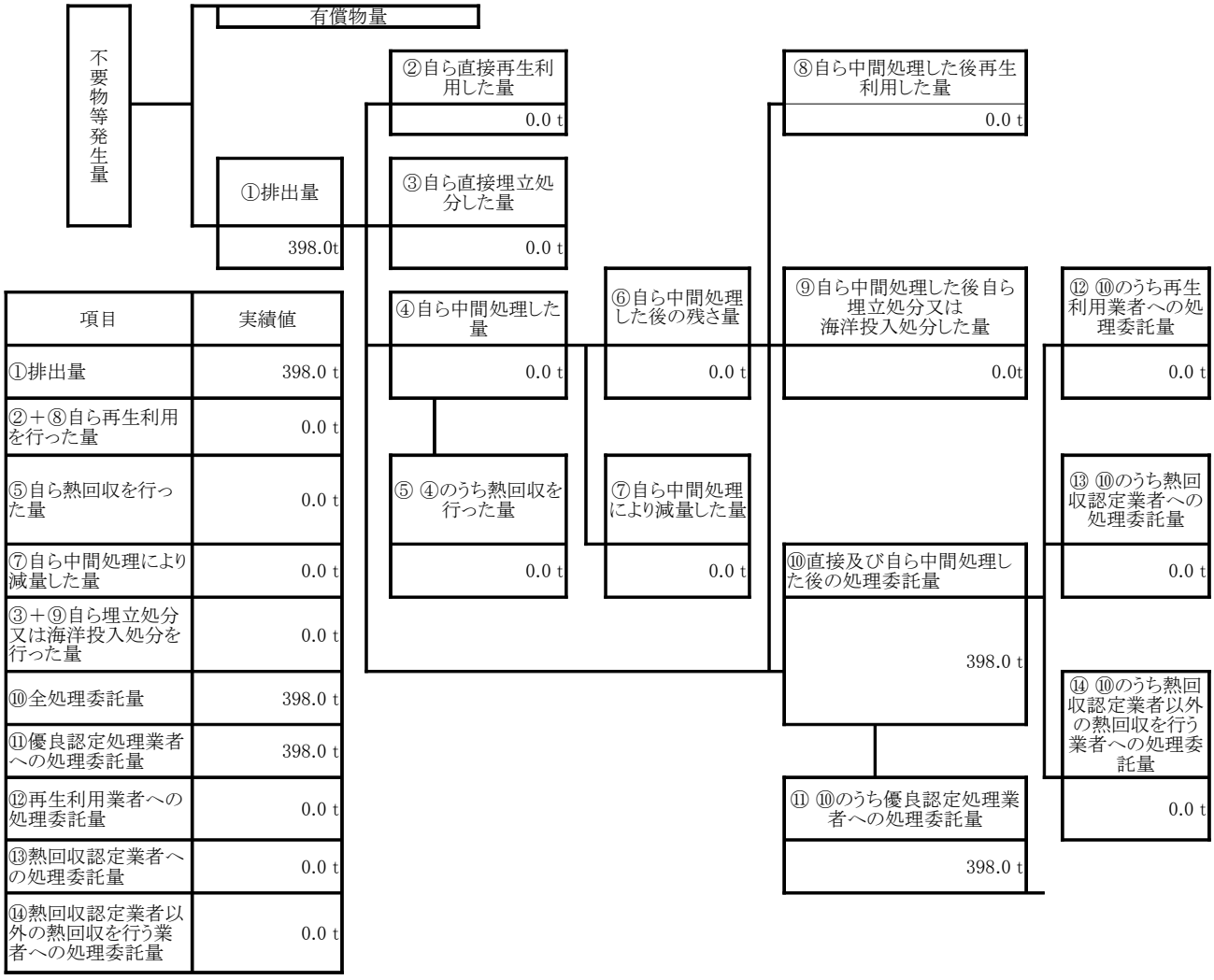
特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	384 t
	前年度（令和5年度）	398 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
情報処理センターへの登録済み

（日本産業規格　A列4番）

N0.1

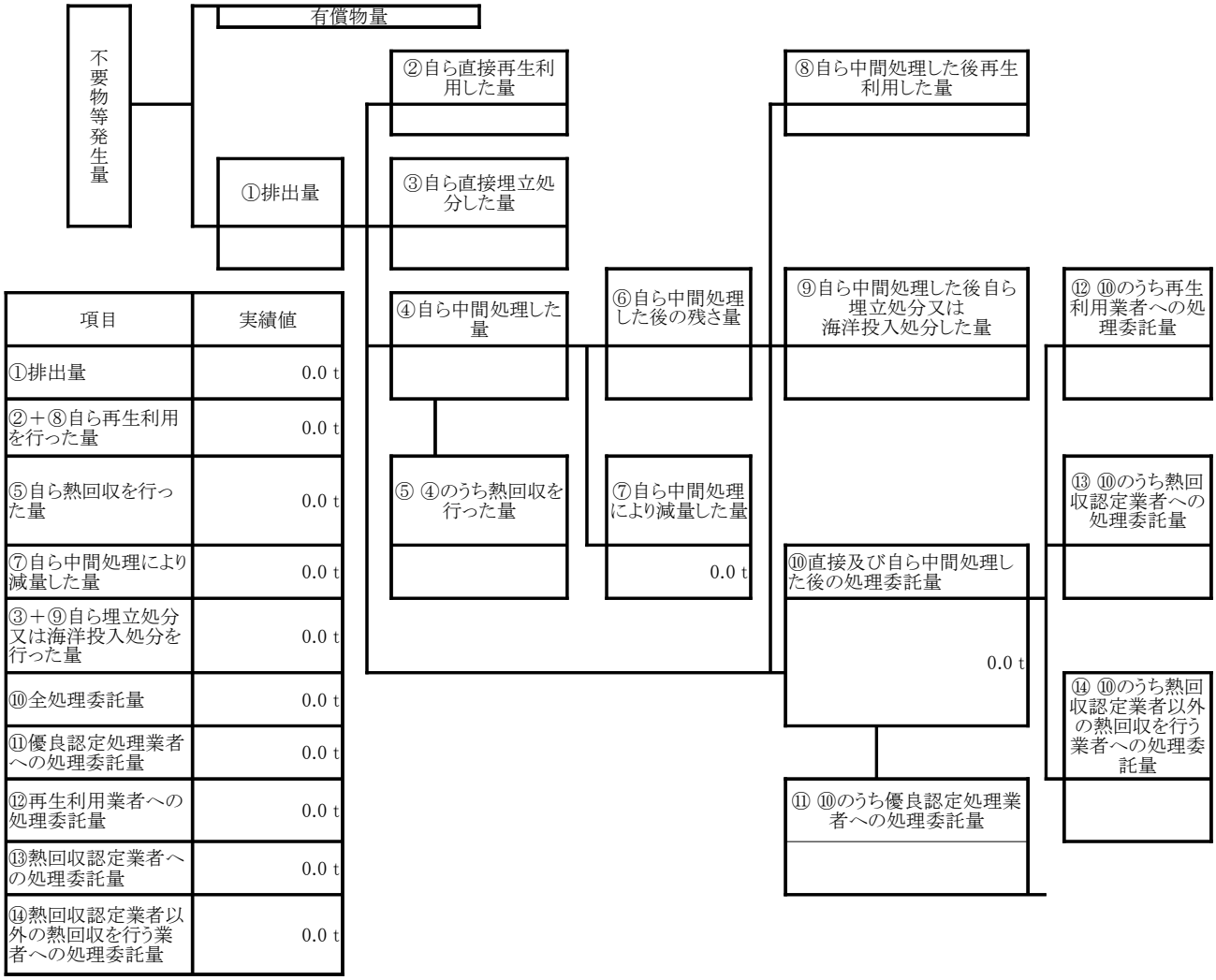
計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃酸(強酸)**　）



項目	実績値
①排出量	398.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	398.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	398.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

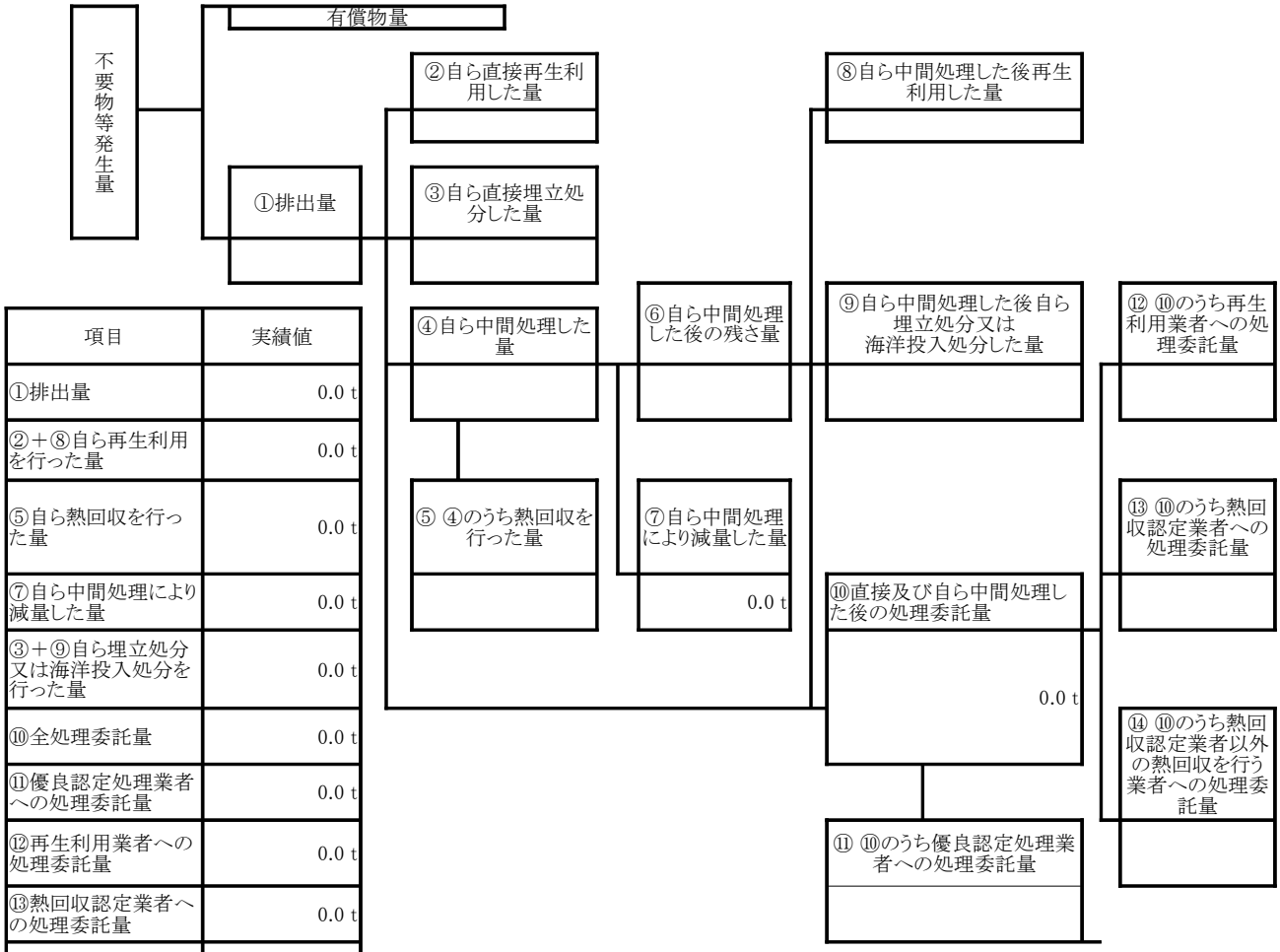


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



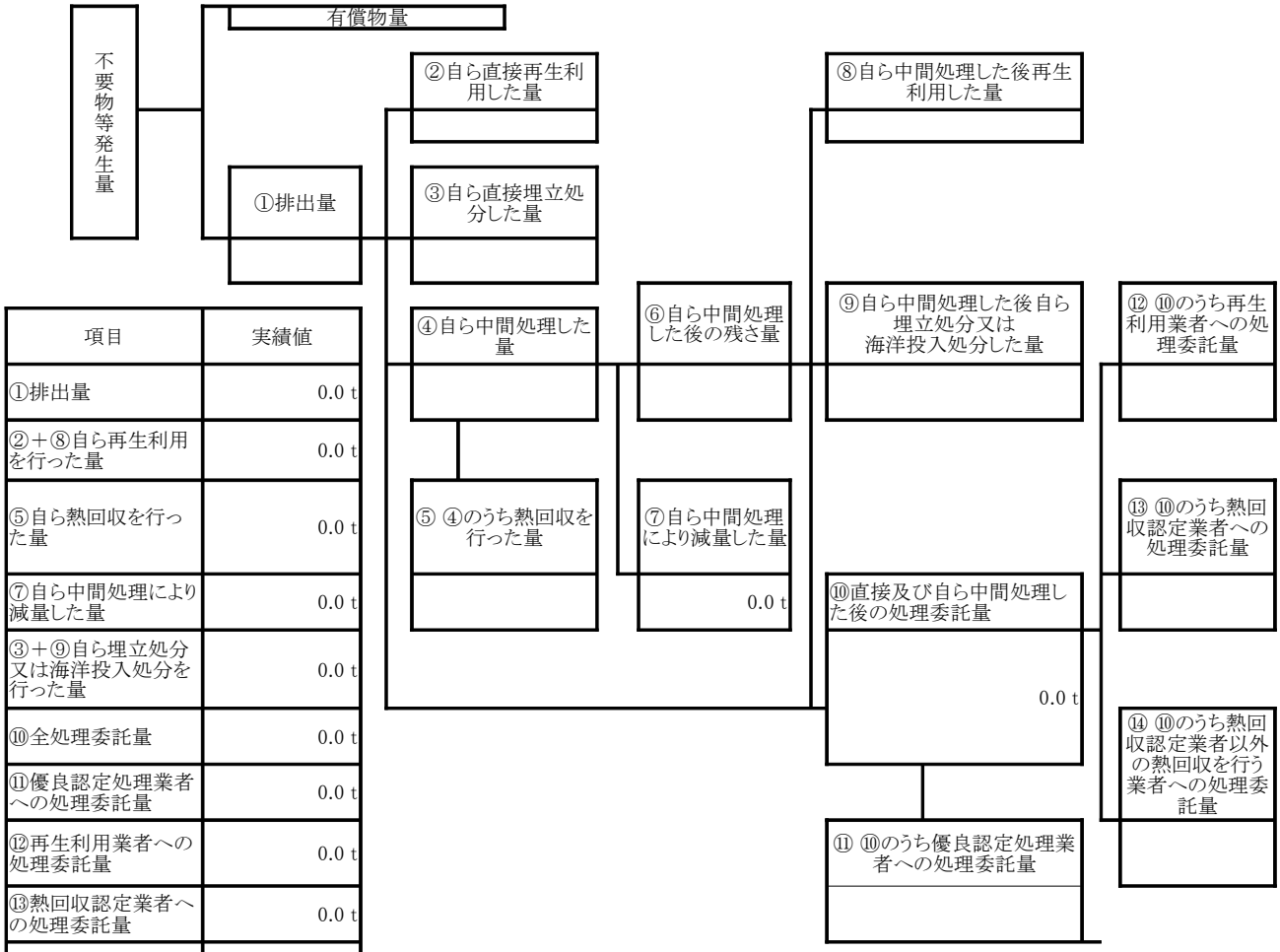
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

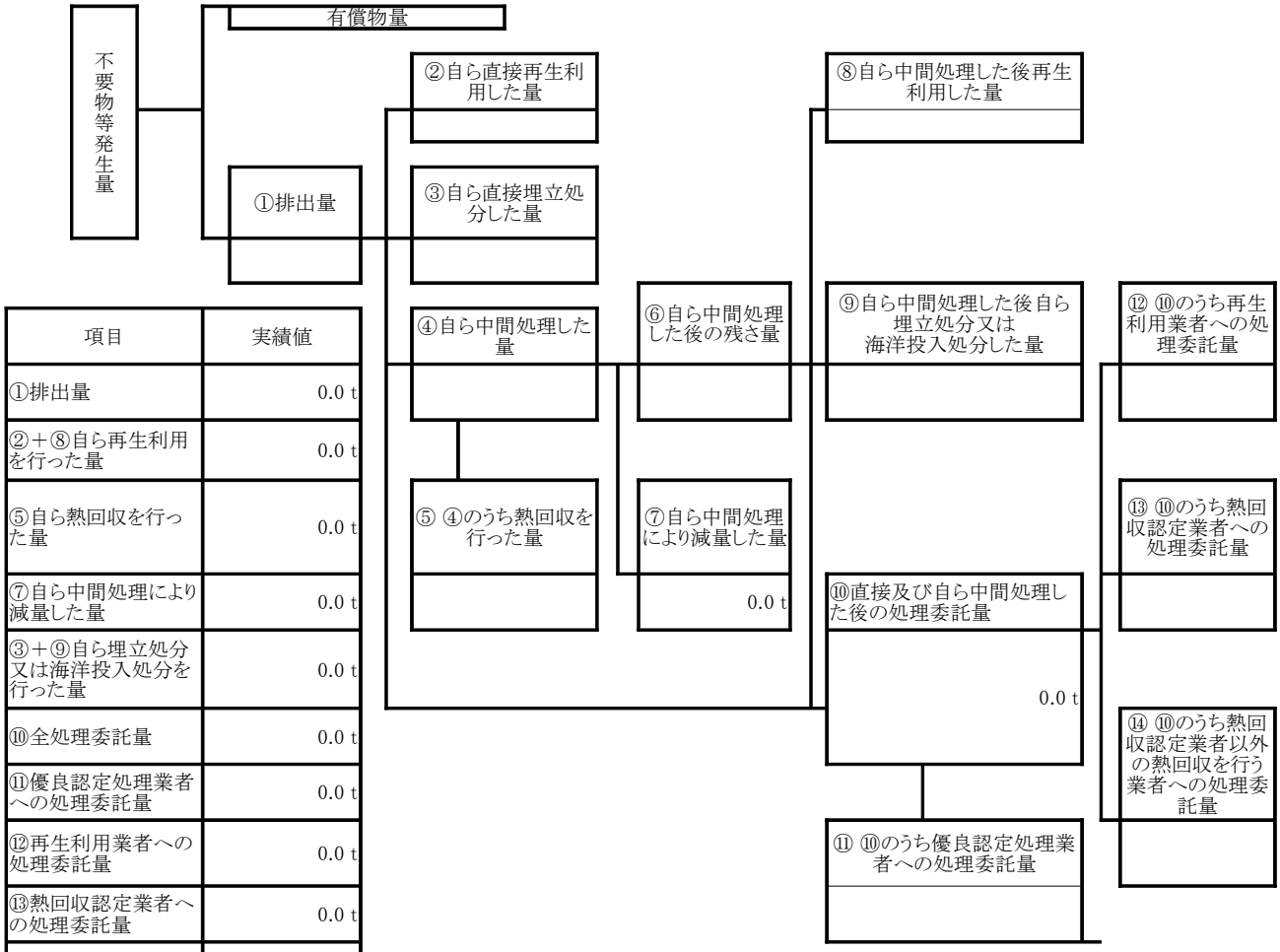


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

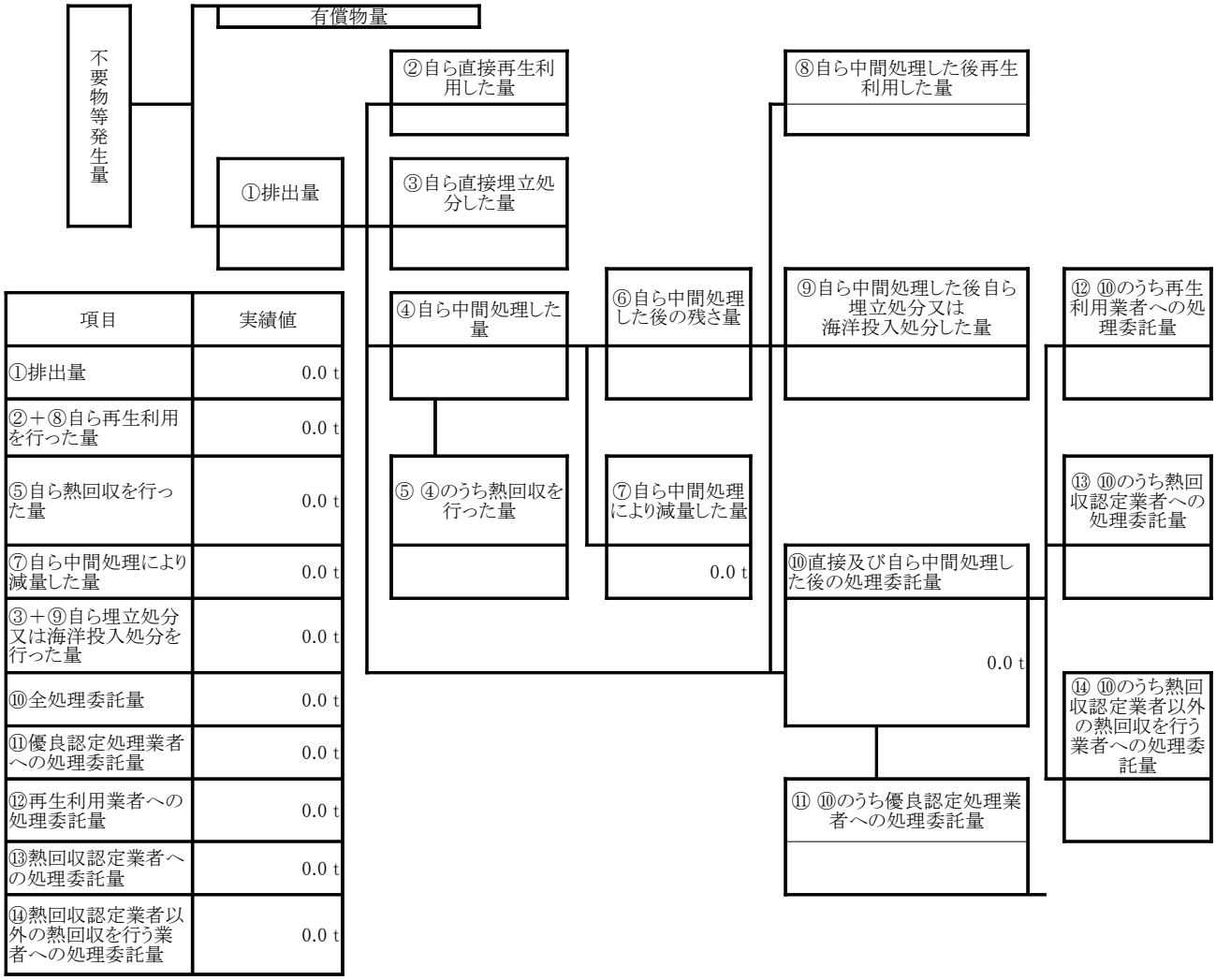


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

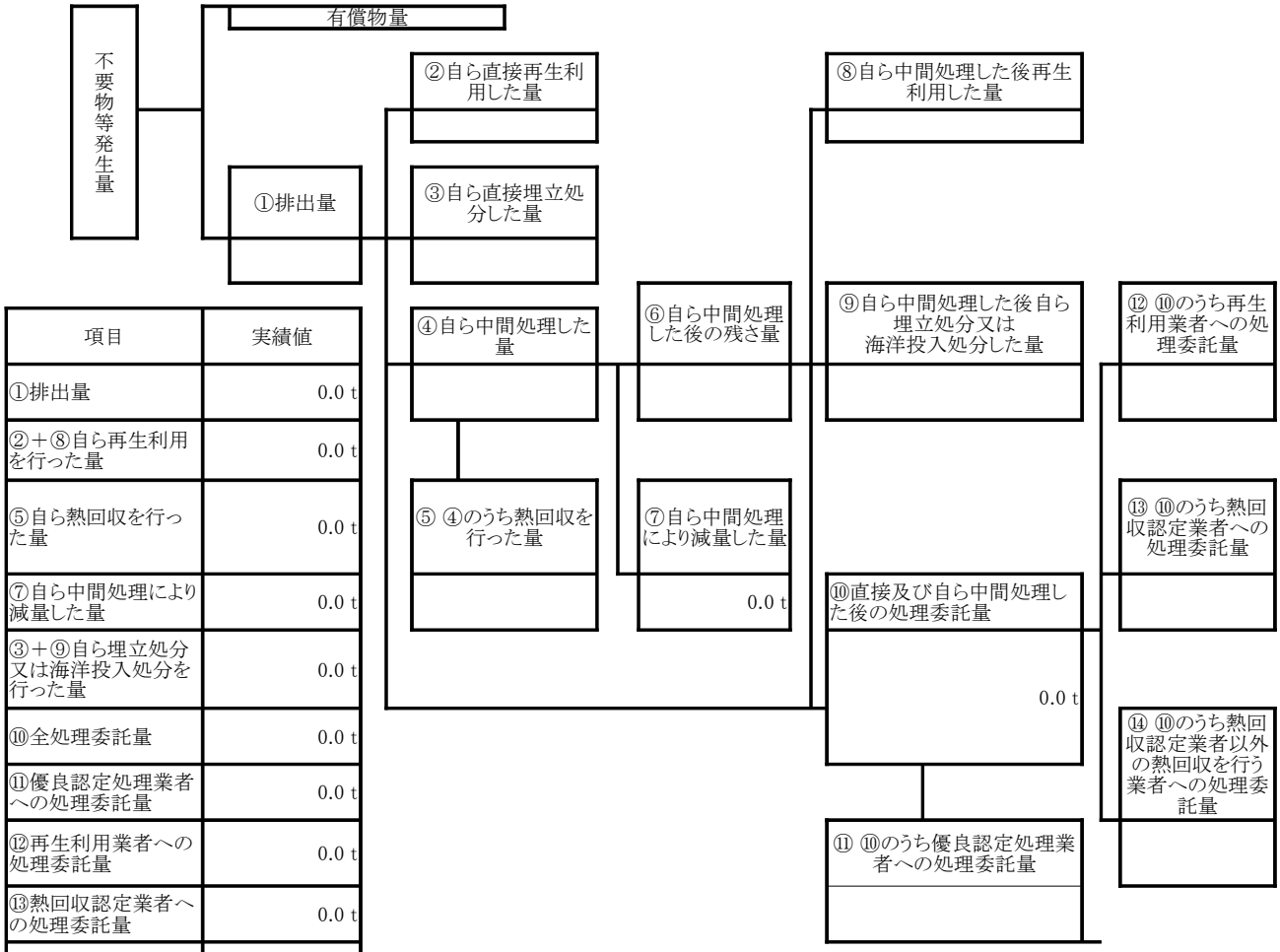


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

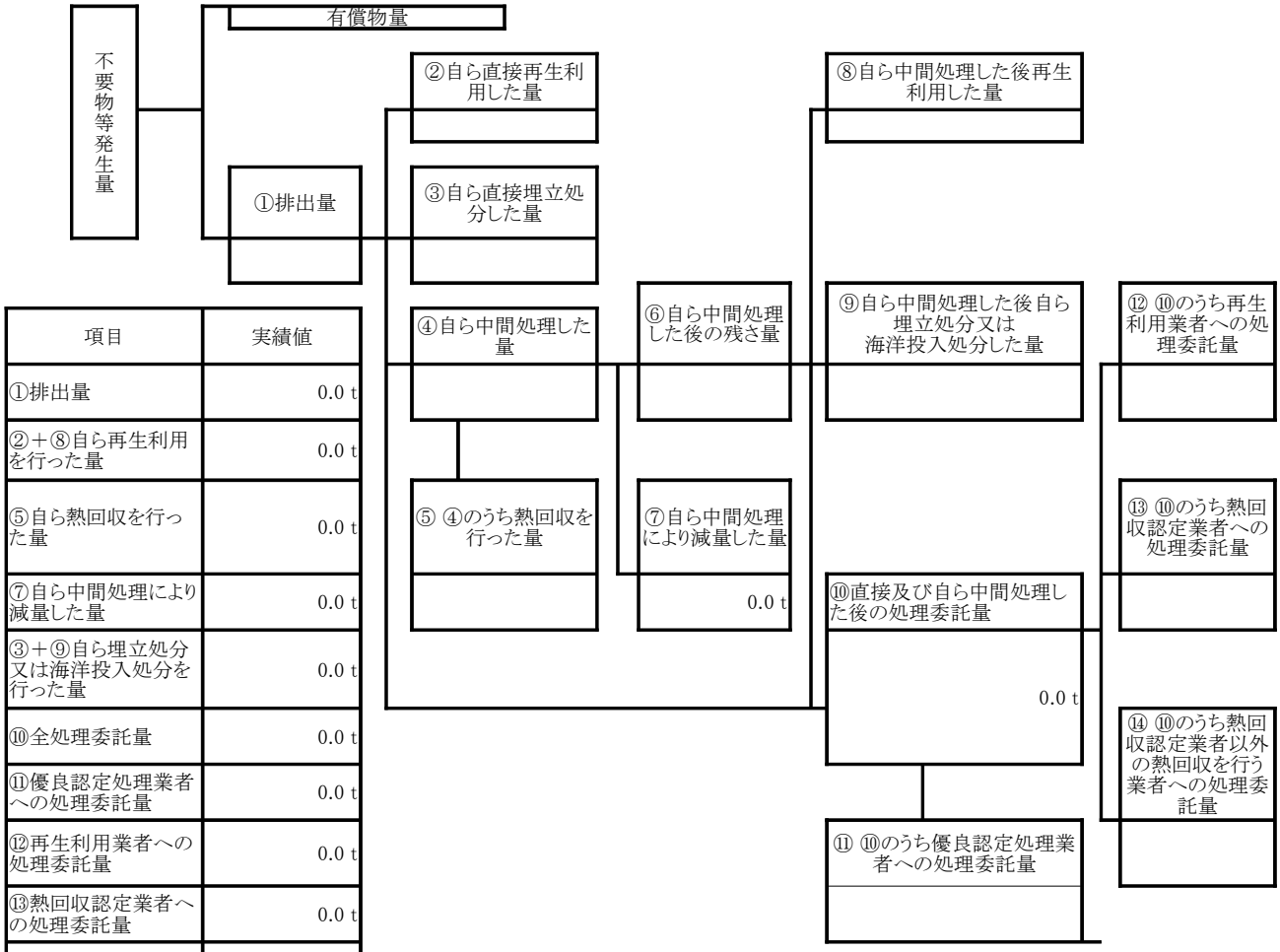


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

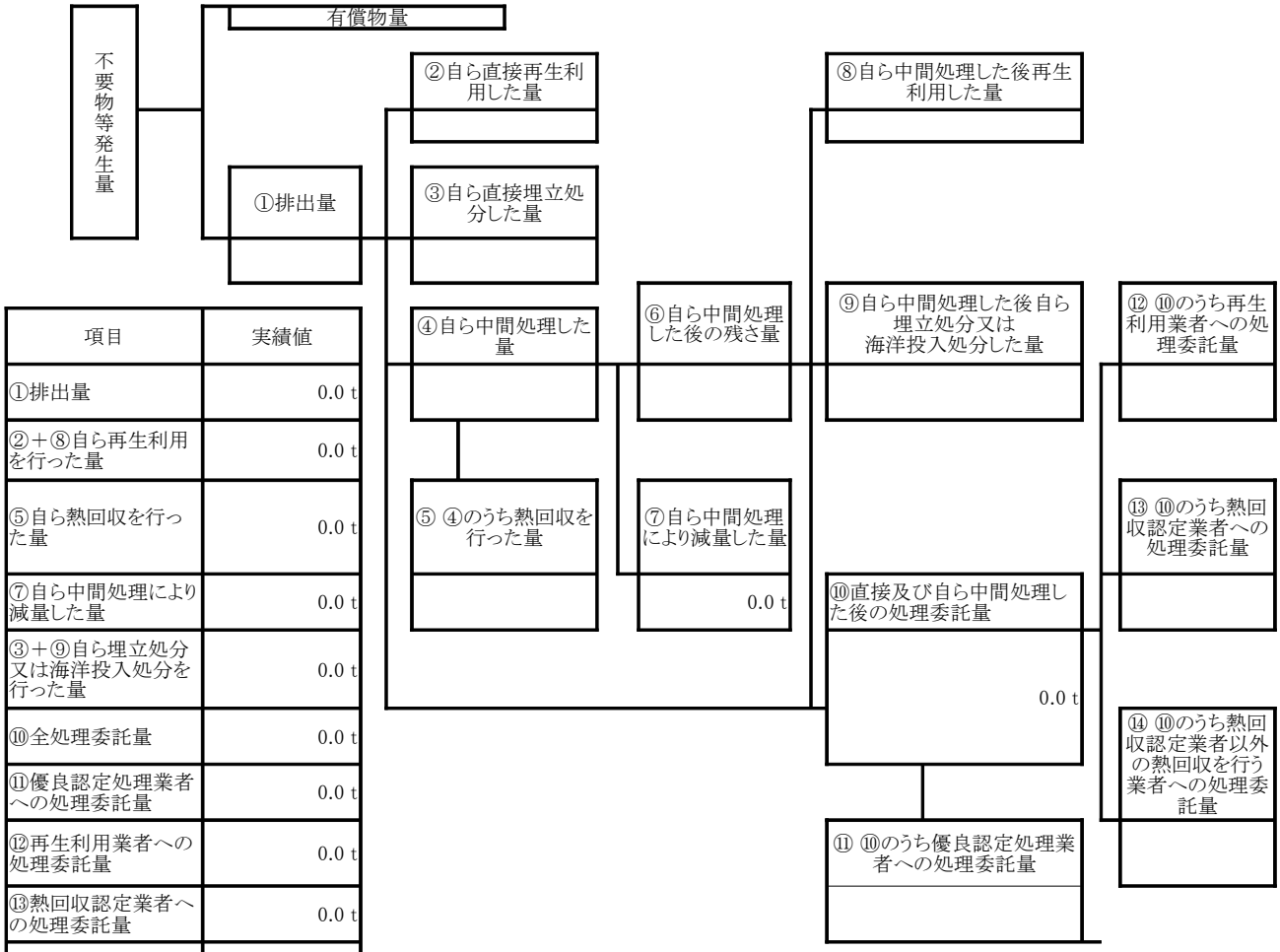


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

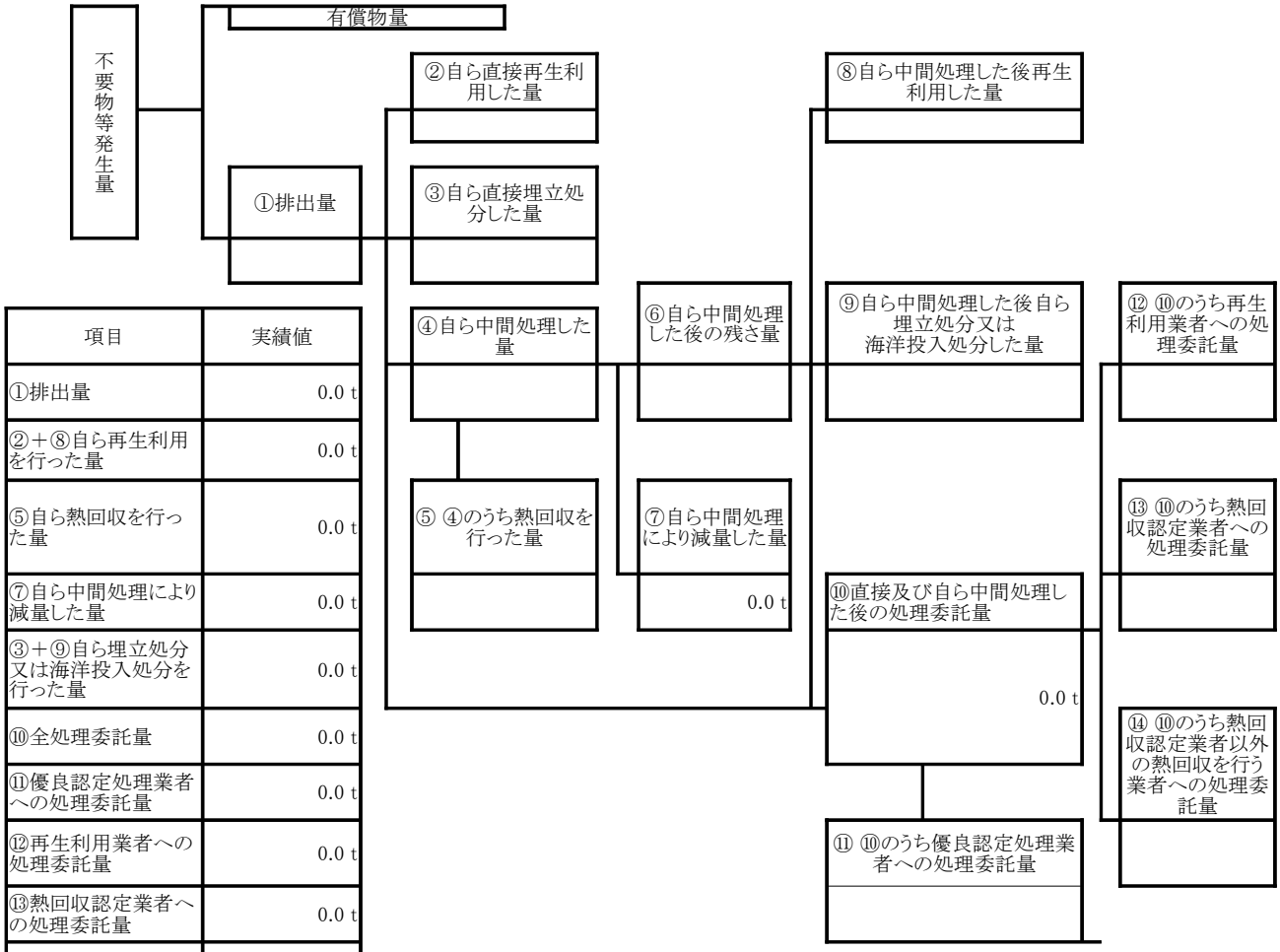


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



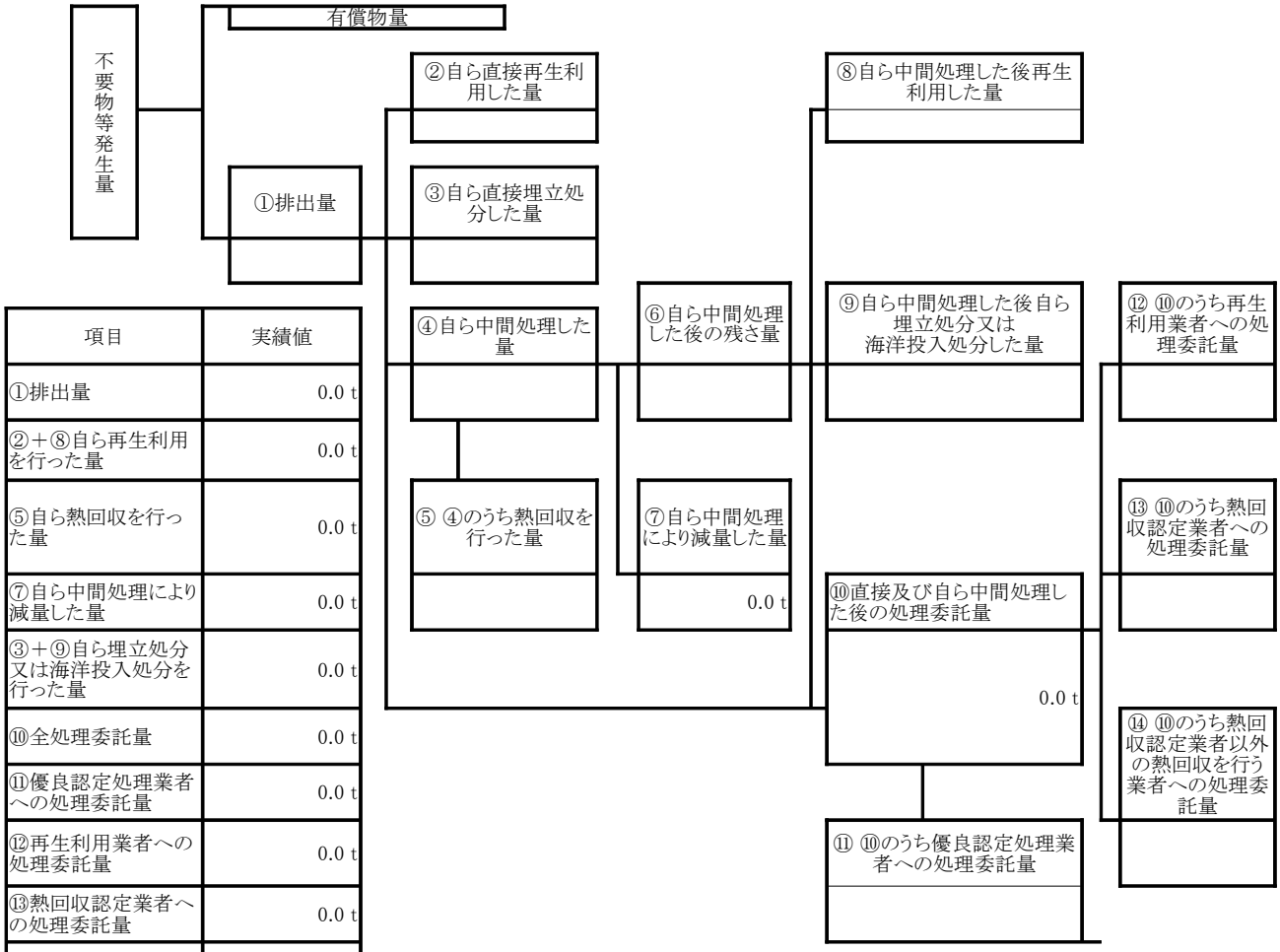
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

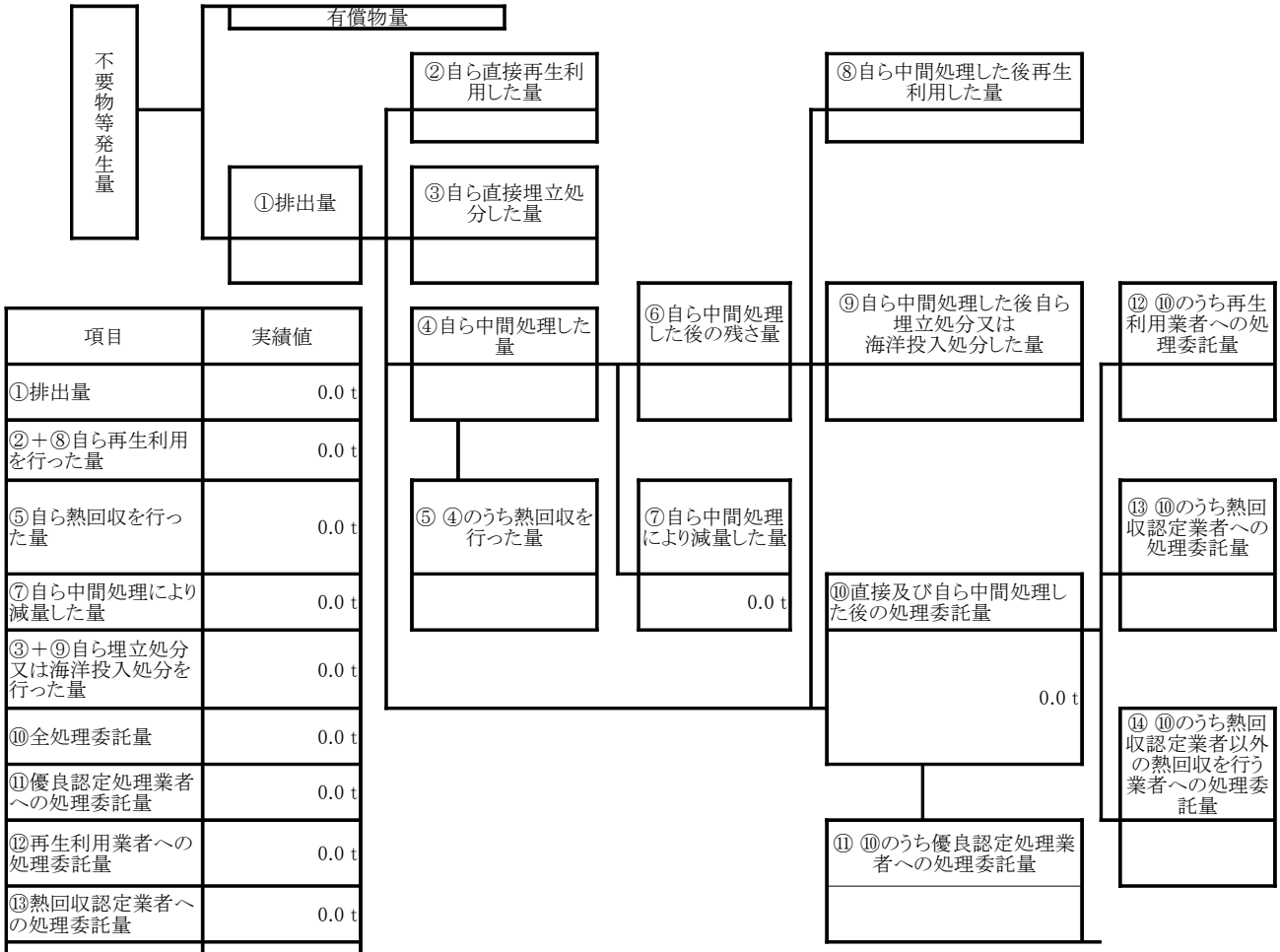


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

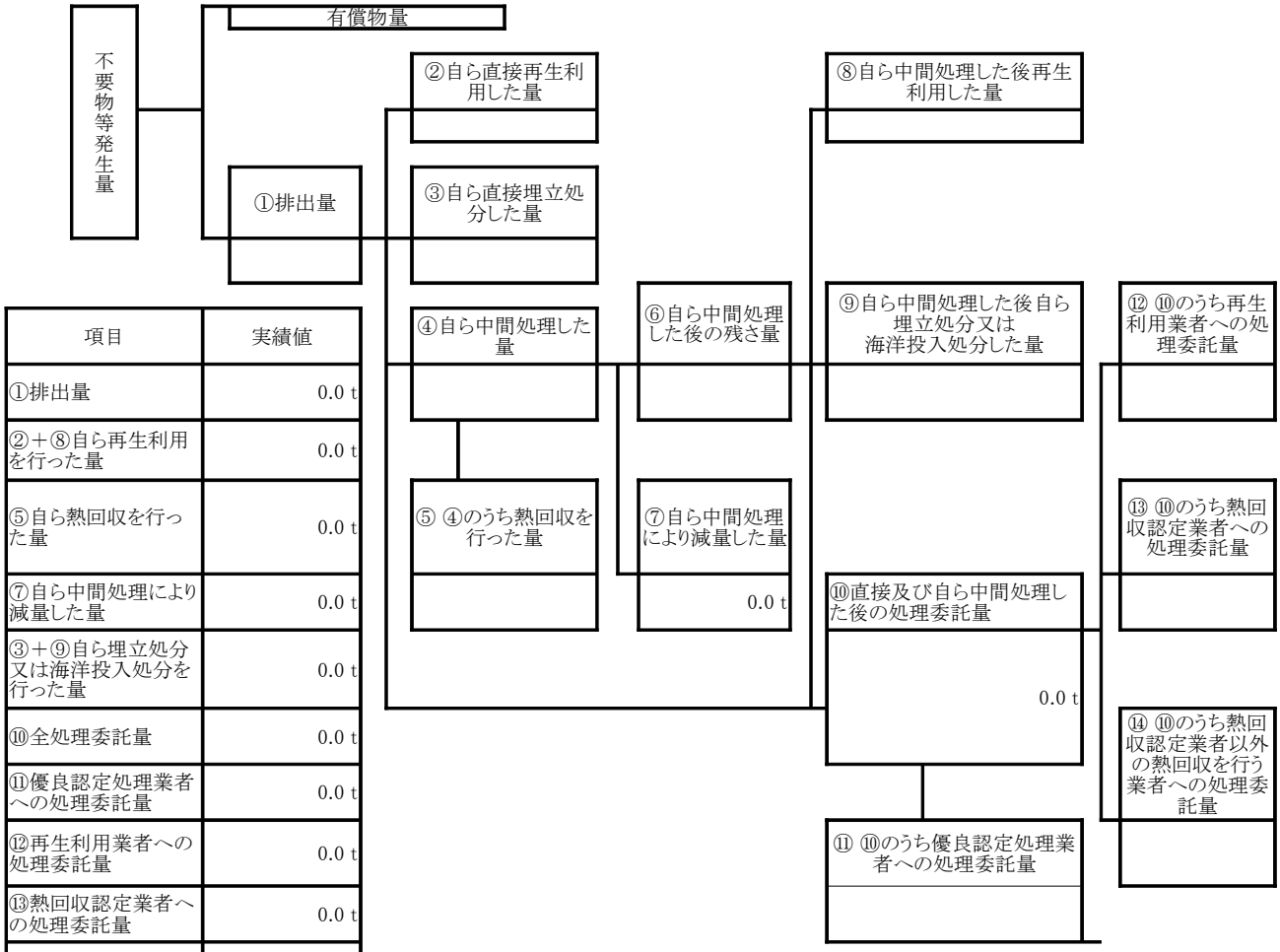


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

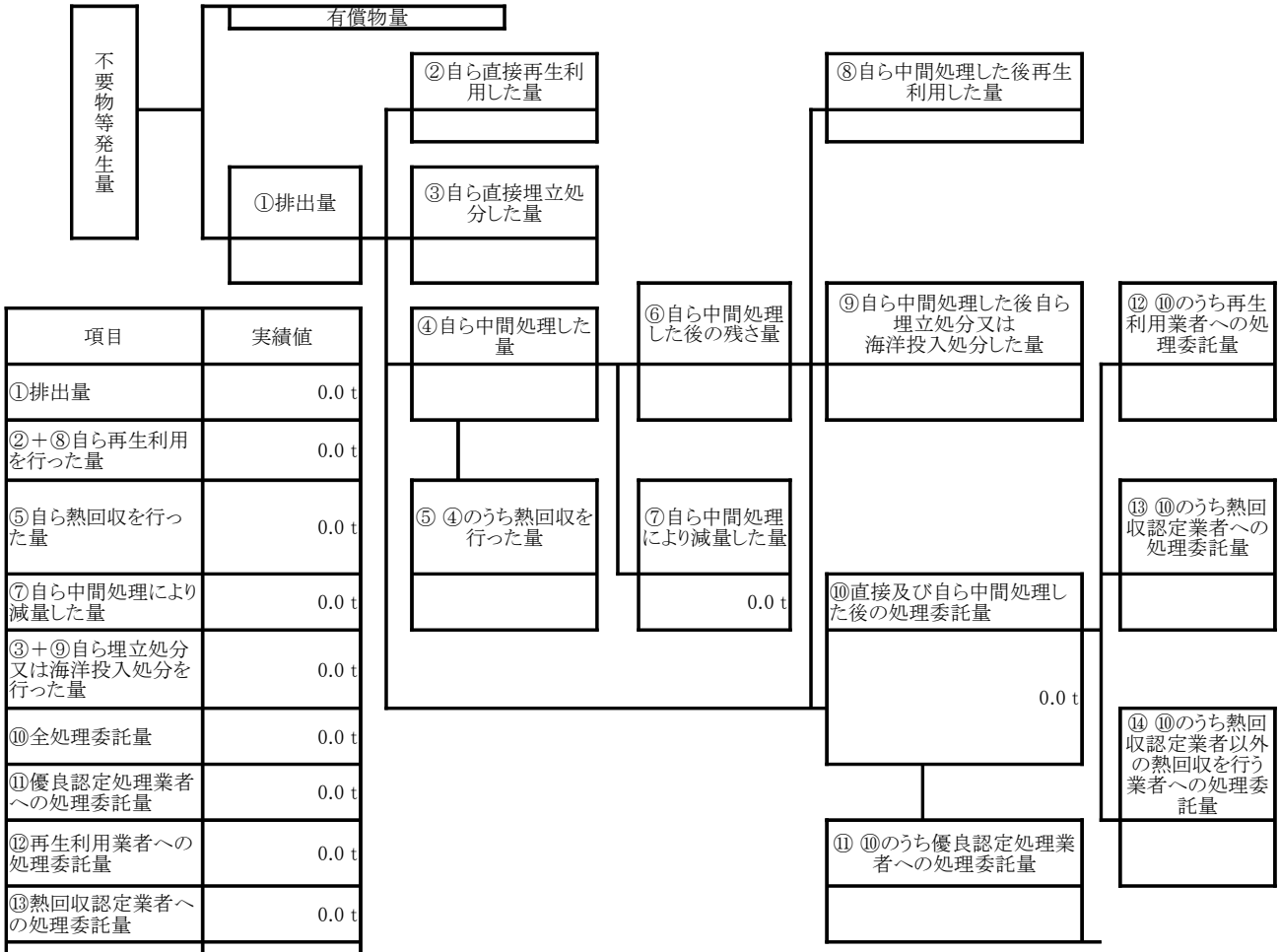


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



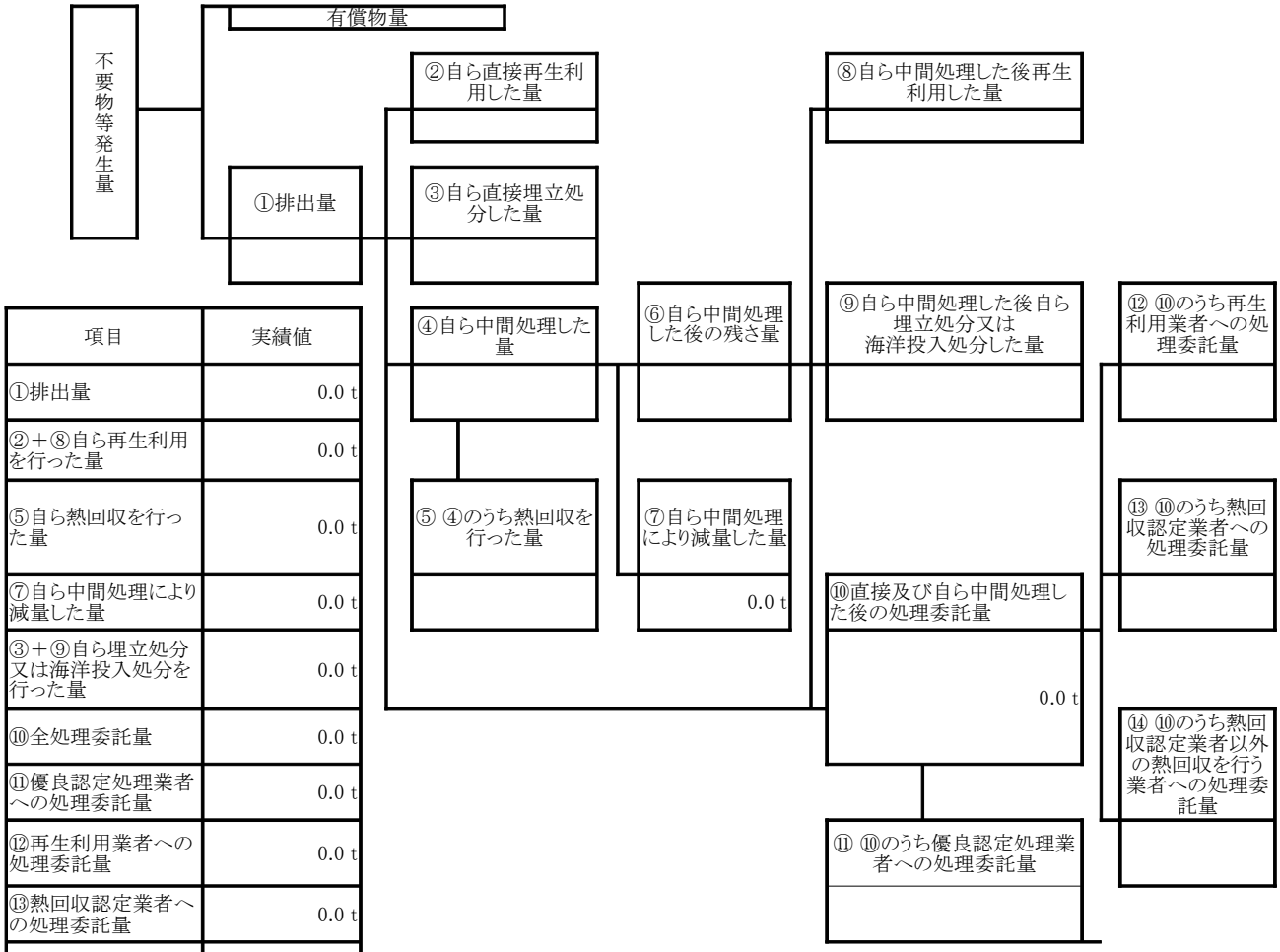
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



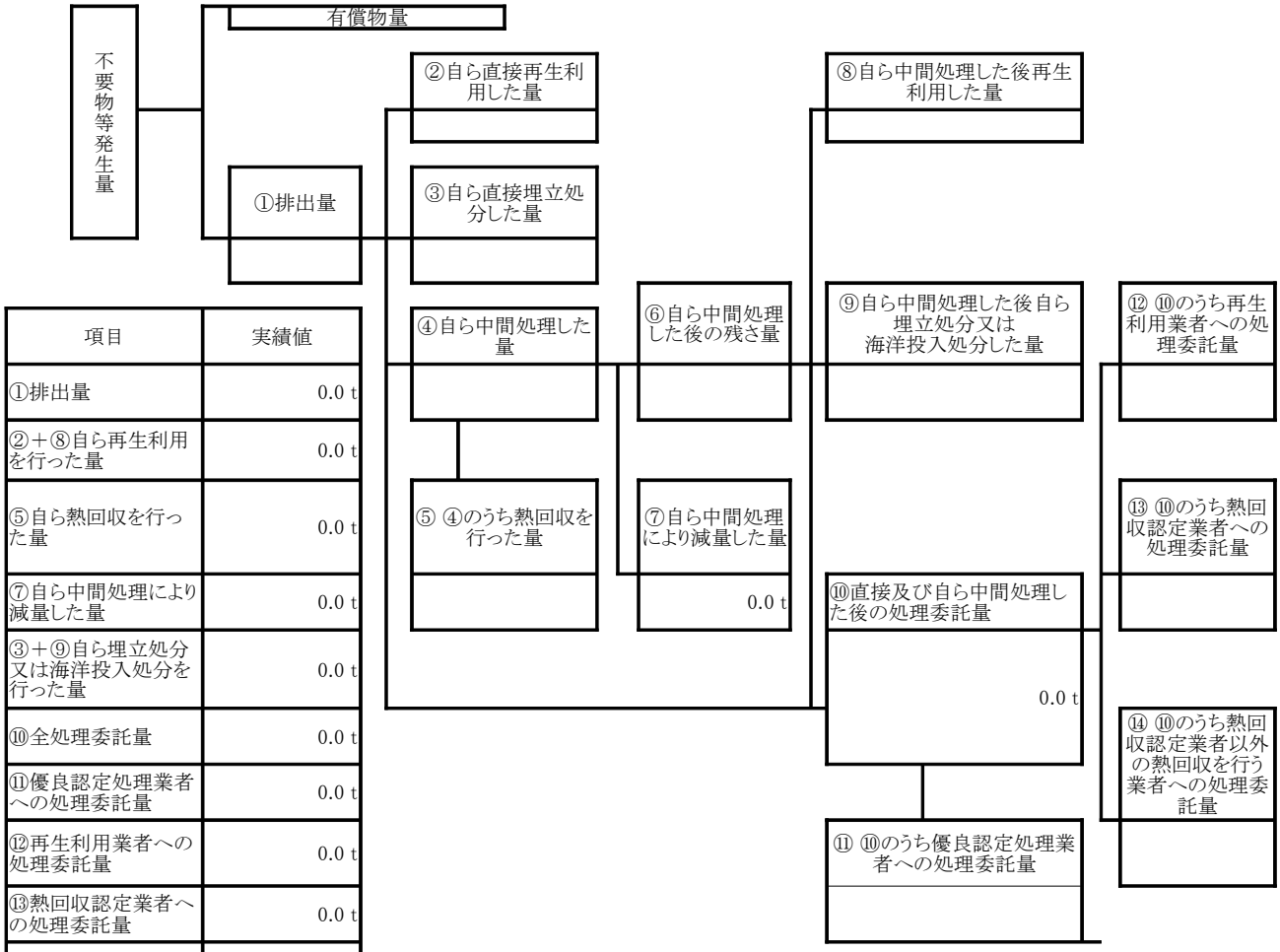
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

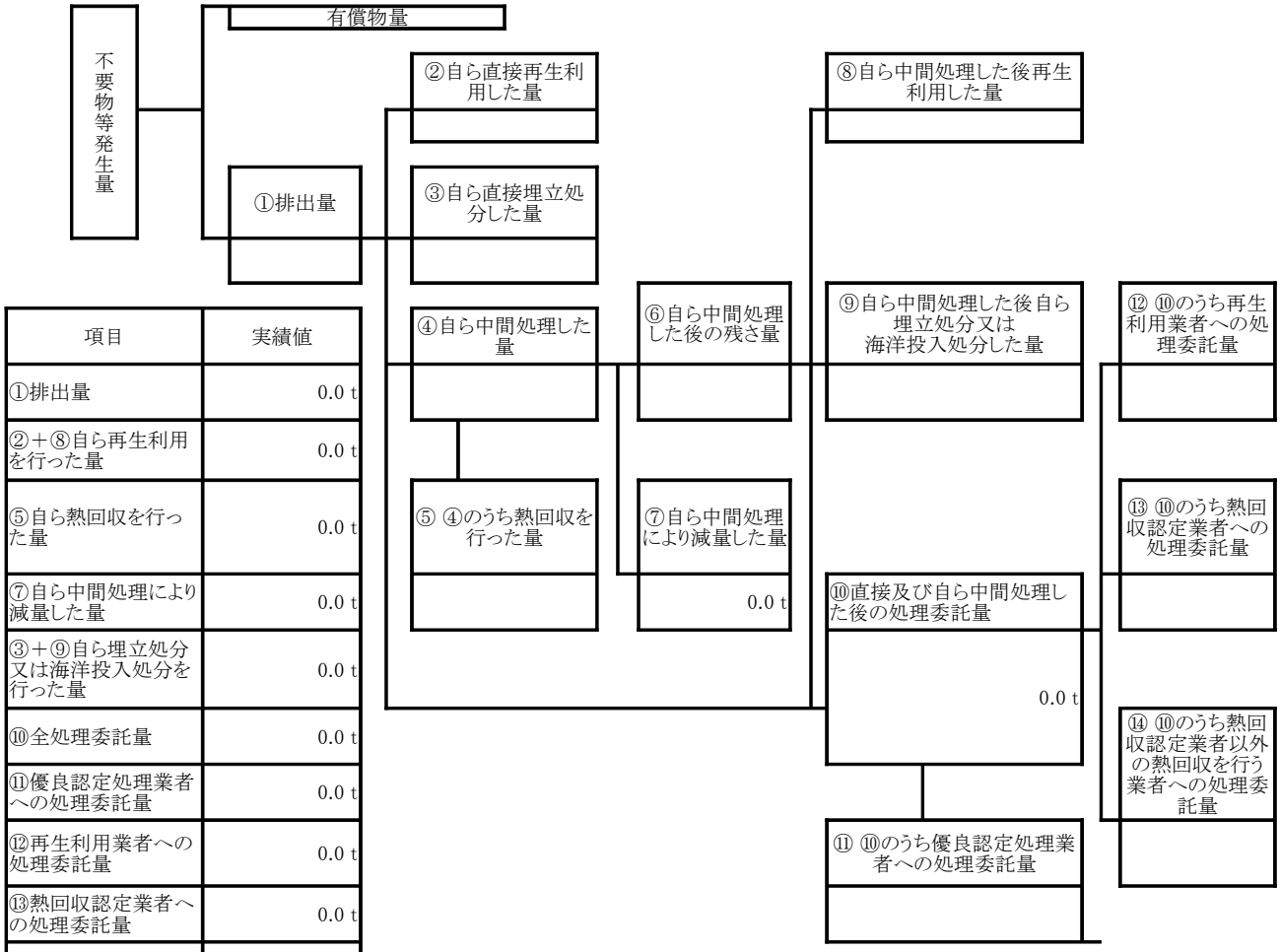


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

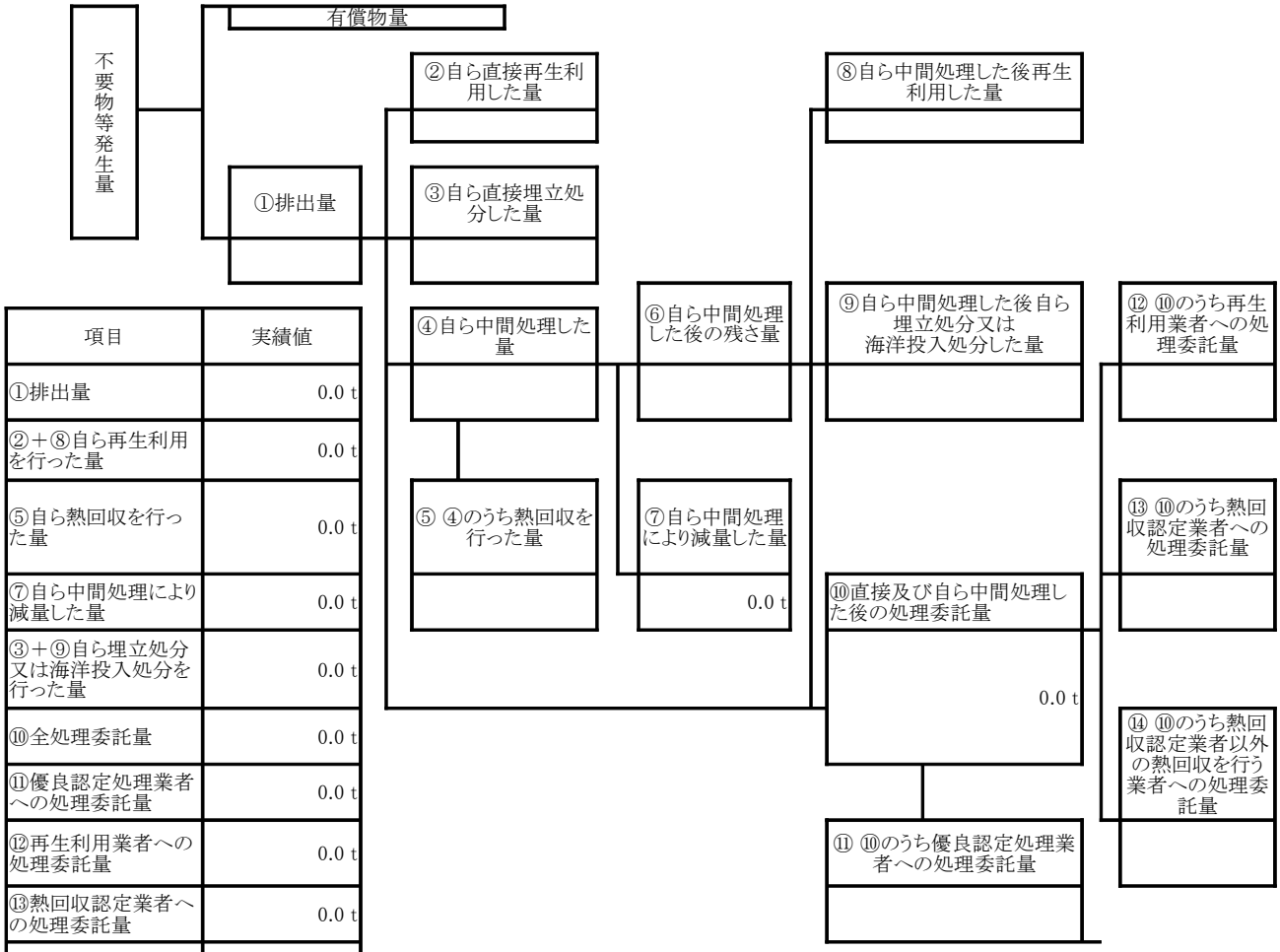


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

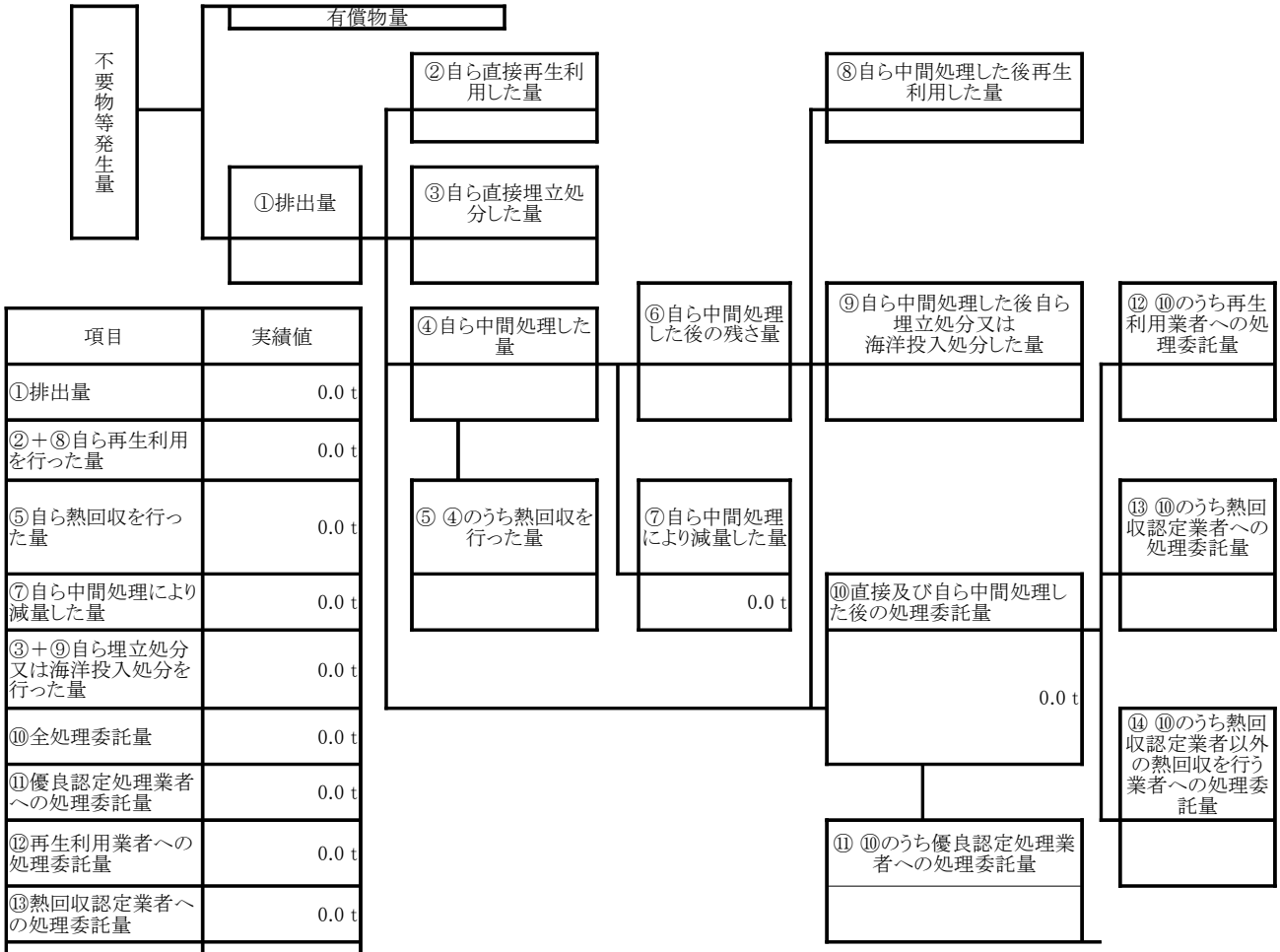


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

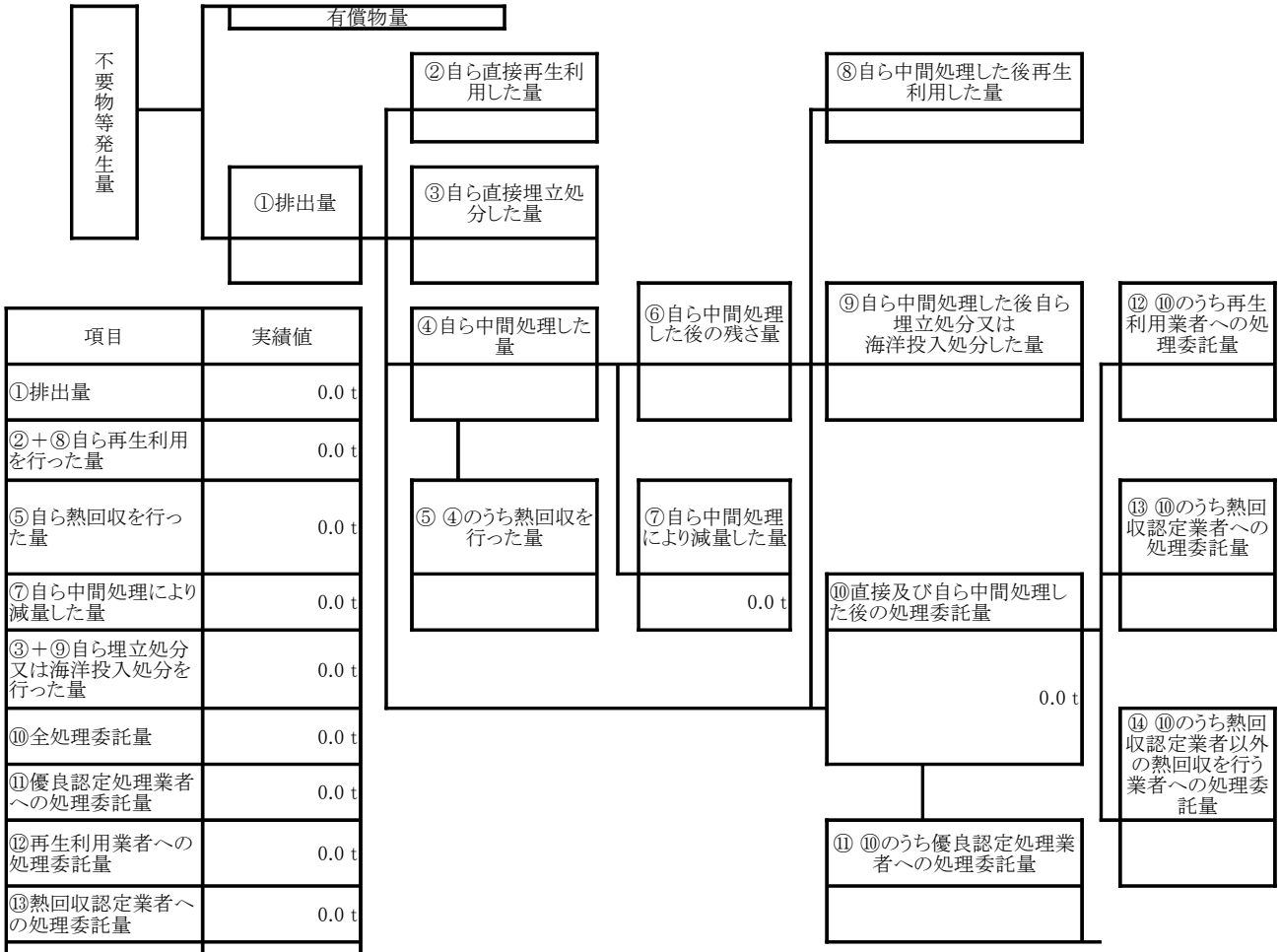


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6 年　　6 月　　28 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者

住　所　千葉県館山市竜岡６１２番地

氏　名　株式会社Boso
代表取締役　　上野　利光

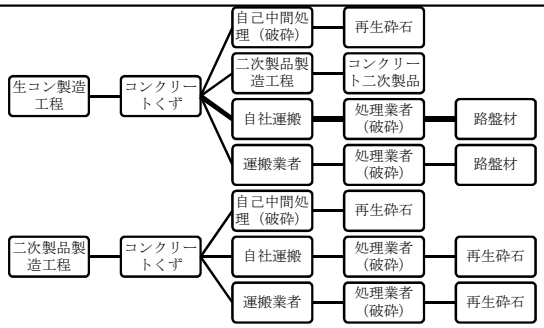
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0470-22-7168

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社Boso 大戸工場
事業場の所在地	千葉県館山市大戸78番地
計画期間	令和６年４月１日　から　令和７年３月31日

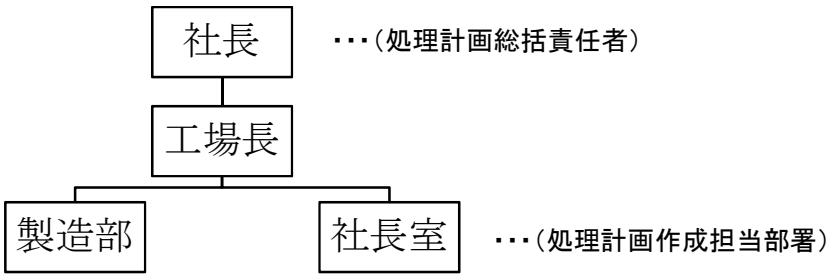
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	大分類：製造業　　中分類：窯業・土石製品製造業
②　事業の規模	前年度製造品出荷額　２億4648万円
③　従業員数	13名　（正社員９名、常勤関係職員４名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和５ 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	
排　　出　　量_	1,856　　t	―　　t

（これまでに実施した取組）

1. 戻りコン・残コンの削減のため、工場と納入現場の連絡を緊密化した。
2. 生産技能教育の強化と、老朽化設備の保守点検を通じて、不良品の発生量を削減した。
3. 洗浄水の処理で使用する処理槽を改良して、骨材の再利用を実施し排水処理に伴う廃棄物の発生量を削減した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	
排　　出　　量_	1,800　　t	―　　t

（今後実施する予定の取組）

1. 品質管理にかかわる教育や監査を強化して、品質トラブルに起因する返品物等の廃棄物を削減する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・廃棄物の性状・種類ごとに保管場所を定め、分類を実施している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・廃棄物取り扱いの要領を定め、それに基づいて分類管理する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　令和５ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1856　t	―　t
	（これまでに実施した取組） ・戻りコン・残コンは、二次製品の製品原料に転用することによって社内で有効活用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1700　t	―　t
	（今後実施する予定の取組） ・戻りコン・残コンを破砕した再生砕石を、生コンクリートの骨材として再利用する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　令和５ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―　t	―　t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	―　t	―　t
	（これまでに実施した取組） ・二次製品の不良品は、小粒化後再生砕石製品の原料として有効活用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	―　t	―　t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―　t	―　t
	（今後実施する予定の取組） ・砕石製造設備の保守・更新により、製造能力を維持する。		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和５ 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>―　　t</td><td>―　　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
―</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>―　　t</td><td>―　　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
―</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和５ 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td><td>―　　t</td><td>―　　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>―　　t</td><td>―　　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>―　　t</td><td>―　　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>―　　t</td><td>―　　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>―　　t</td><td>―　　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・コンクリートくずの処理委託は、有効利用に転化する中間処理業者を優先している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類_</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量_</td><td>100 t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>100 t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>100 t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・現在の取り組みを継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 28日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒294-0232
住 所　千葉県館山市竜岡612
氏 名　株式会社Boso 代表取締役 上野利光
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0470-22-7168

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社Boso 大戸工場
事業場の所在地	〒394-0025 千葉県館山市大戸78
事業の種類	E21－窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

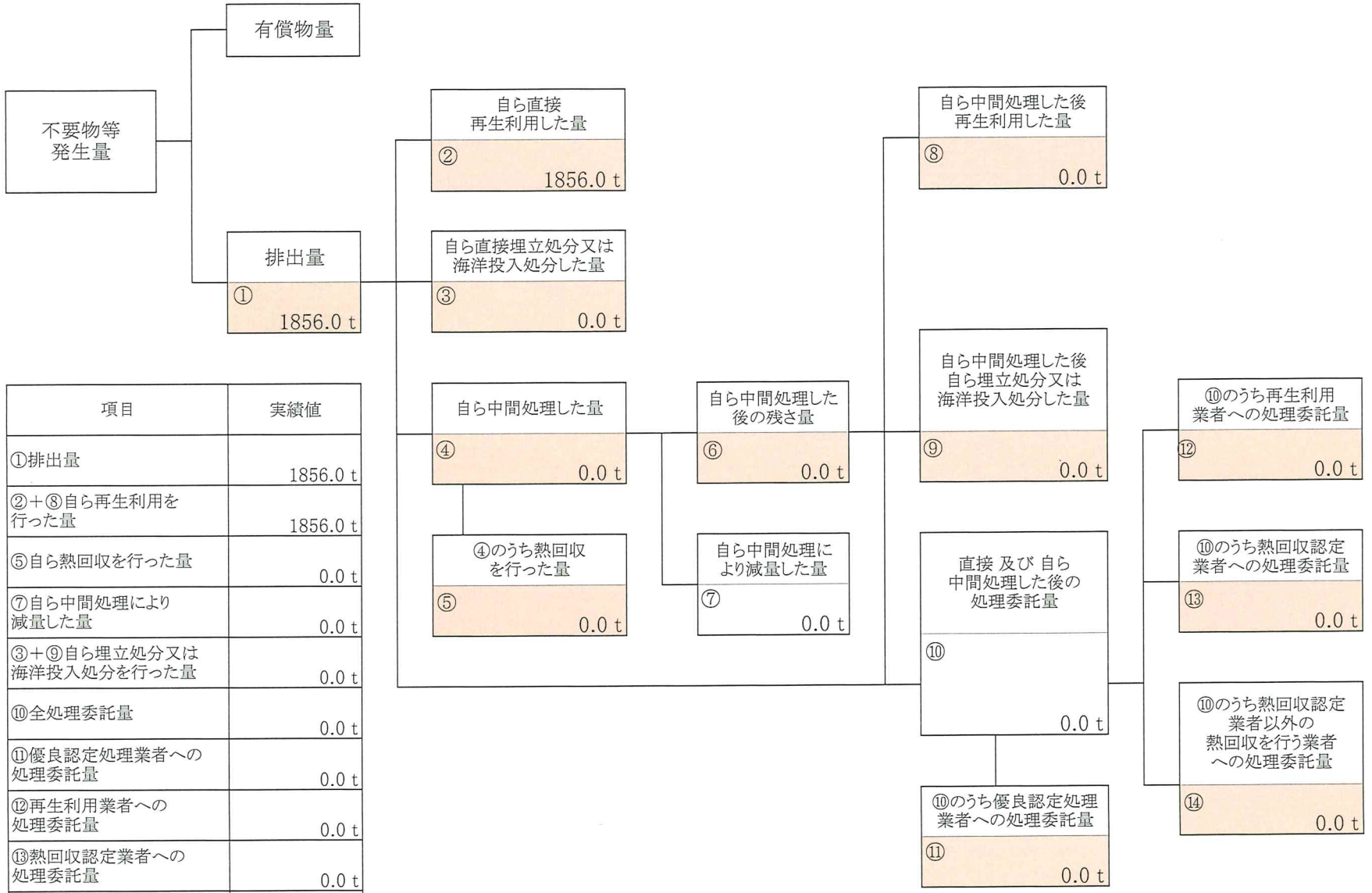
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2100.0 t	全処理委託量	450.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1650.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	450.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	450.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートくず）



項目	実績値
①排出量	1856.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	1856.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　289-1751

住　所　千葉県山武郡横芝光町長山台1-8

法人名　株式会社放電精密加工研究所　成田事業所

代表者　藤田 和寿

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0479-82-5720

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社放電精密加工研究所　成田事業所
事業場の所在地	千葉県山武郡横芝光町長山台1-8
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　金属製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額　1,073百万円/年
③従業員数	51名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	・廃酸(特定有害産業廃棄物)　→　中和　→　下水道放流 ・汚泥(特別管理産業廃棄物)　→　コンクリート固型化　→　埋立 ・廃酸(廃強酸)　→　中和　→　下水道放流

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）
排出量	54.3 t	9.6 t

（これまでに実施した取組）
遠心分離機活用により、廃酸の排出量を削減

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）
排出量	59 t	10 t

（今後実施する予定の取組）
廃酸（特定有害産業廃棄物）削減に向け使用塗料をクロムフリータイプへの変更を2026年度を目標に検討中。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃棄物の品目ごとに分別し、堅牢な容器で保管している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引き続き、現状の分別・保管方法を維持継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

発生する廃棄物は再生利用できる品目ではないため、実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

引き続き、再生利用は行わない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

発生する廃棄物は自ら中間処理できる品目ではないため、実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

引き続き、実施予定なし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

これまでに実績なし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

今後も実施予定なし。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃酸（有害）	汚泥（有害）
全処理委託量		54.3ｔ	9.6ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	54.3ｔ	9.6ｔ
	再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

優良認定事業者への委託を原則としている。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃酸（有害）</td><td>汚泥（有害）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>59 t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>59 t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
優良認定事業者への処分委託を継続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 65.4 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
2023年12月より電子マニュフェストを導入済。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

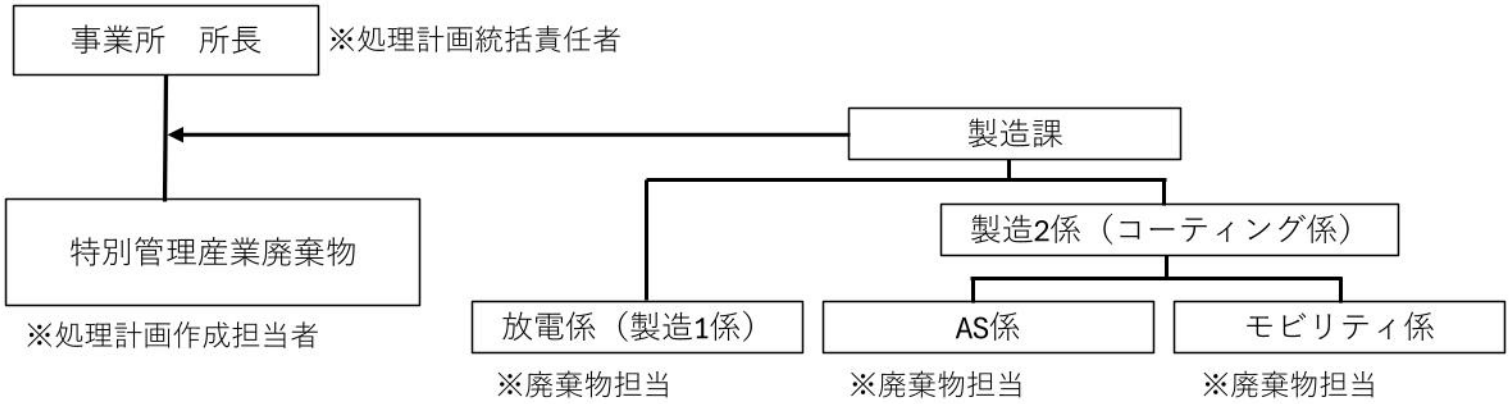
５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

■管理体制図（別紙）


事業所　所長
※処理計画統括責任者
製造課
特別管理産業廃棄物
※処理計画作成担当者
製造2係（コーティング係）
放電係（製造1係）
AS係
モビリティ係
※廃棄物担当
※廃棄物担当
※廃棄物担当

セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		排　出　量	1.4 t	0.1 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		排　出　量	1.5 t	0.2 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		全処理委託量	1.4 t	0.1 t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t	0.1 t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃酸（廃強酸）	廃油（引火性廃油）						
		全処理委託量	1.5 t	0.2 t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t	0.2 t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月18日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　289-1751

住所 千葉県山武郡横芝光町長山台1-8

法人名 株式会社放電精密加工研究所 成田事業所

代表者 藤田 和寿

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0479-82-5720

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社放電精密加工研究所 成田事業所
事業場の所在地	千葉県山武郡横芝光町長山台1-8
事業の種類	大分類　製造業　中分類 金属製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	71.6 t	全処理委託量	71.6 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	71.6 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	全前年度(令和4年度)	68.2 t
	前年度(令和5年度)	65.4 t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)

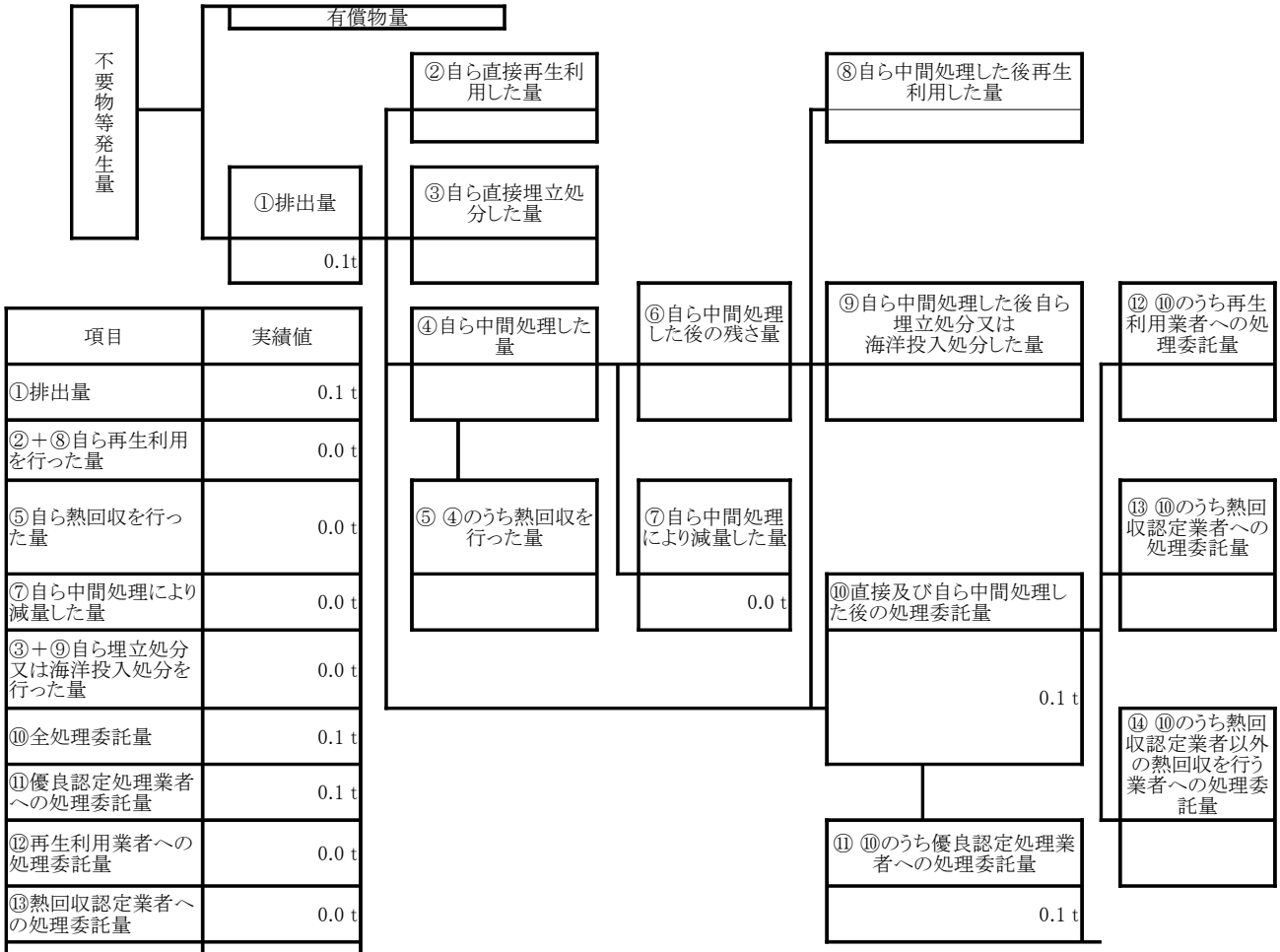
2023年11月より電子マニュフェストの使用を開始致しました。

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃油（引火性廃油）**　）



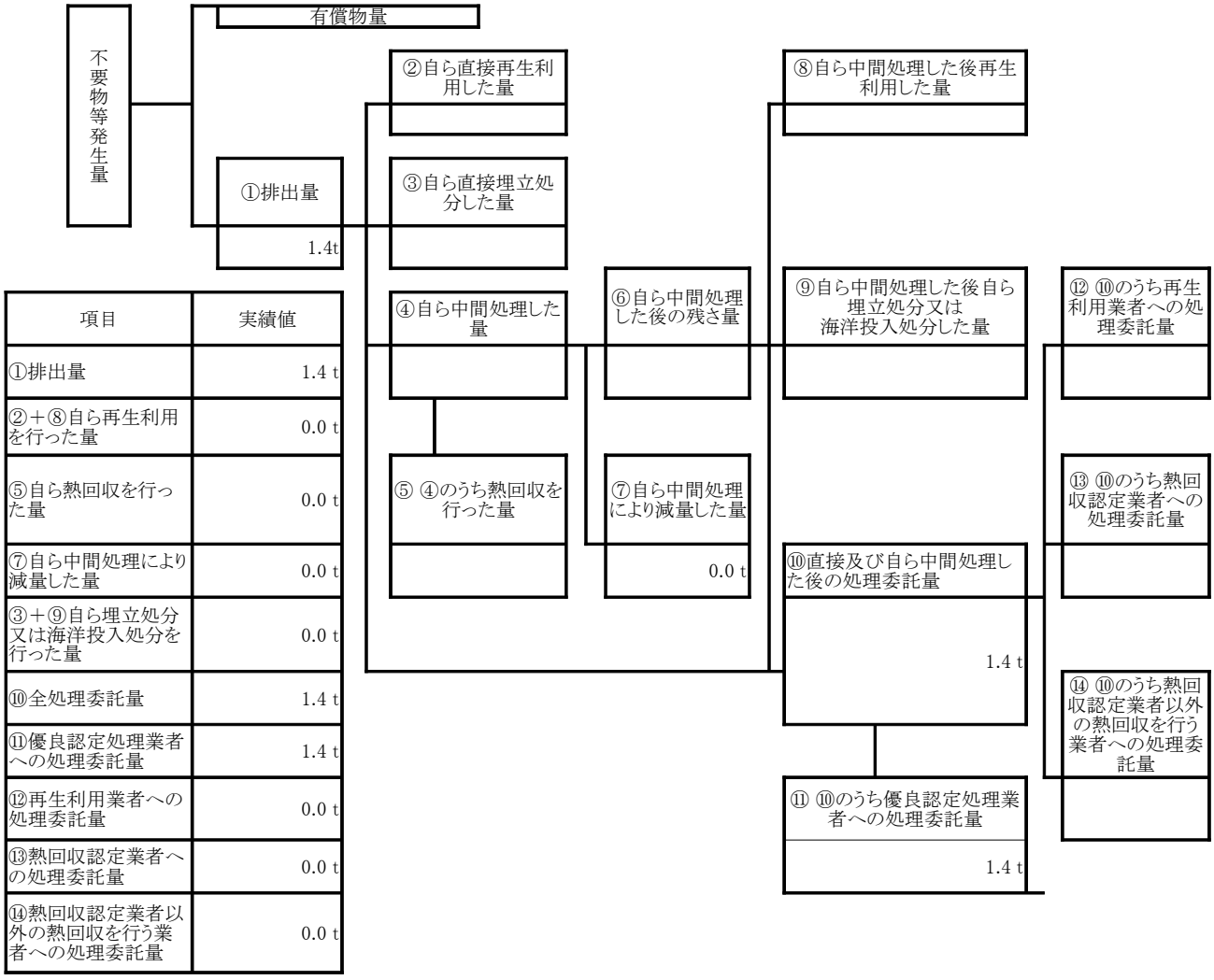
項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃酸（廃強酸）**　）



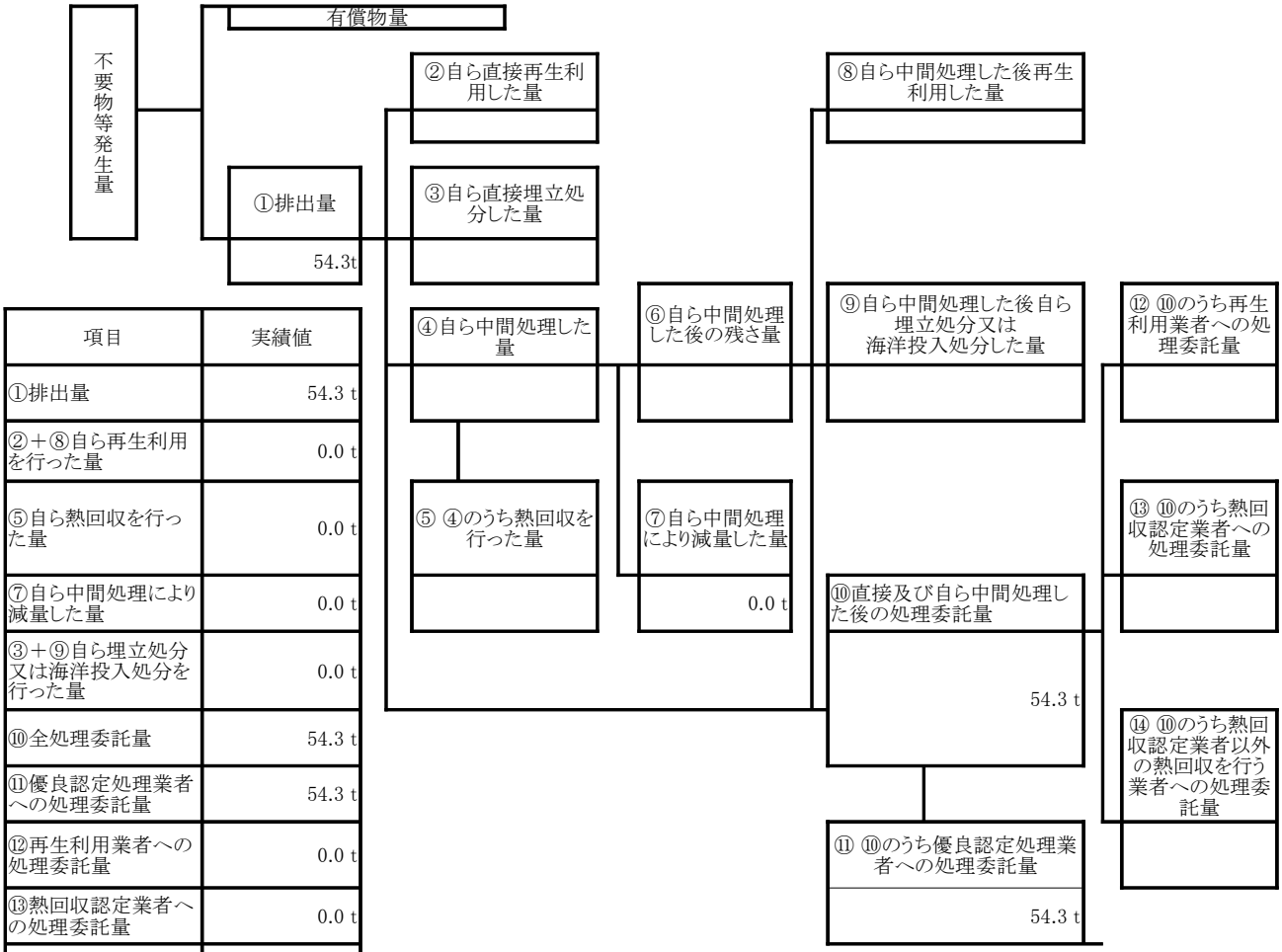
項目	実績値
①排出量	1.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃酸(特定有害産業廃棄物)**　）



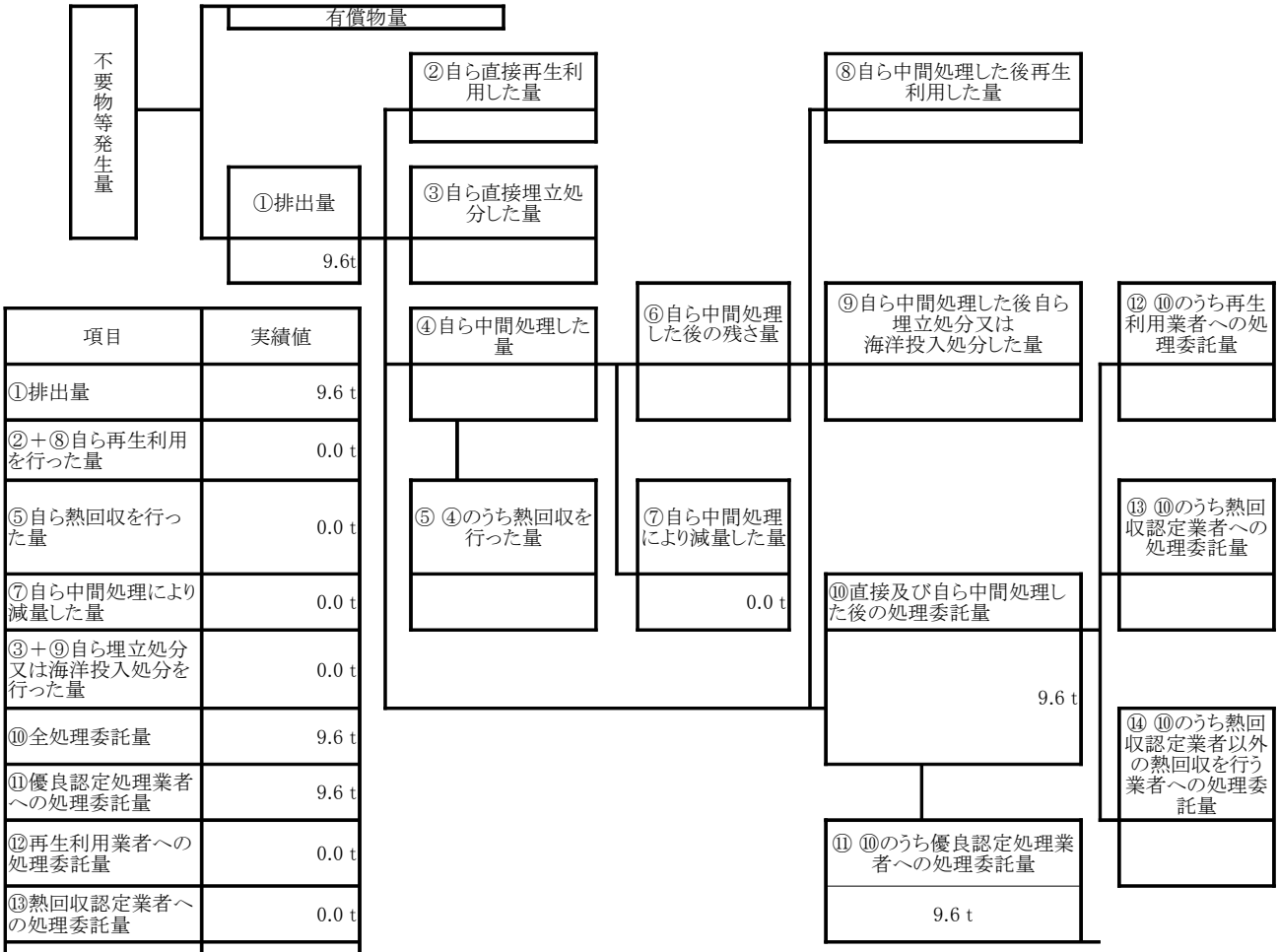
項目	実績値
①排出量	54.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	54.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	54.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　**汚泥(特別管理産業廃棄物)**　）

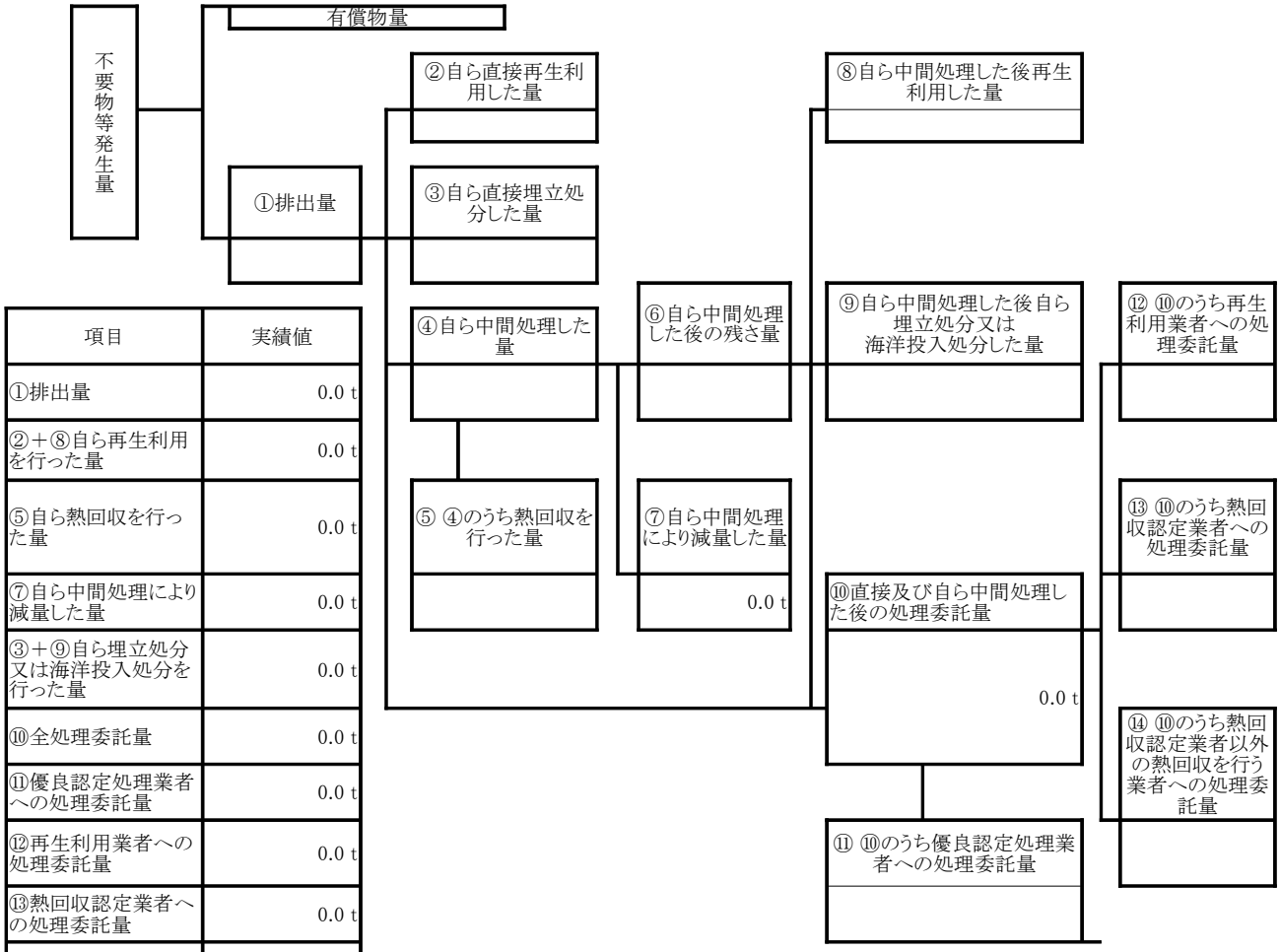


項目	実績値
①排出量	9.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

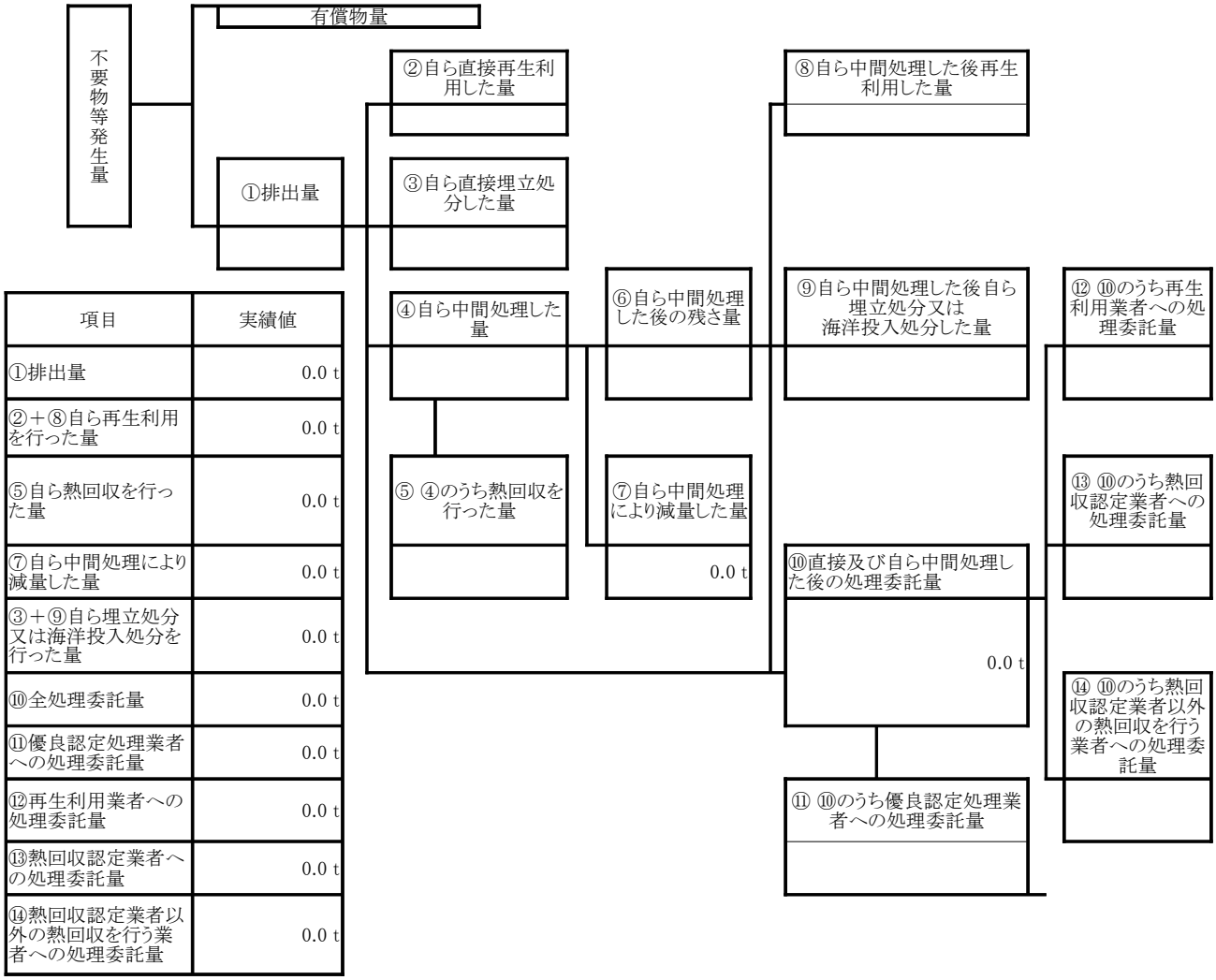


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

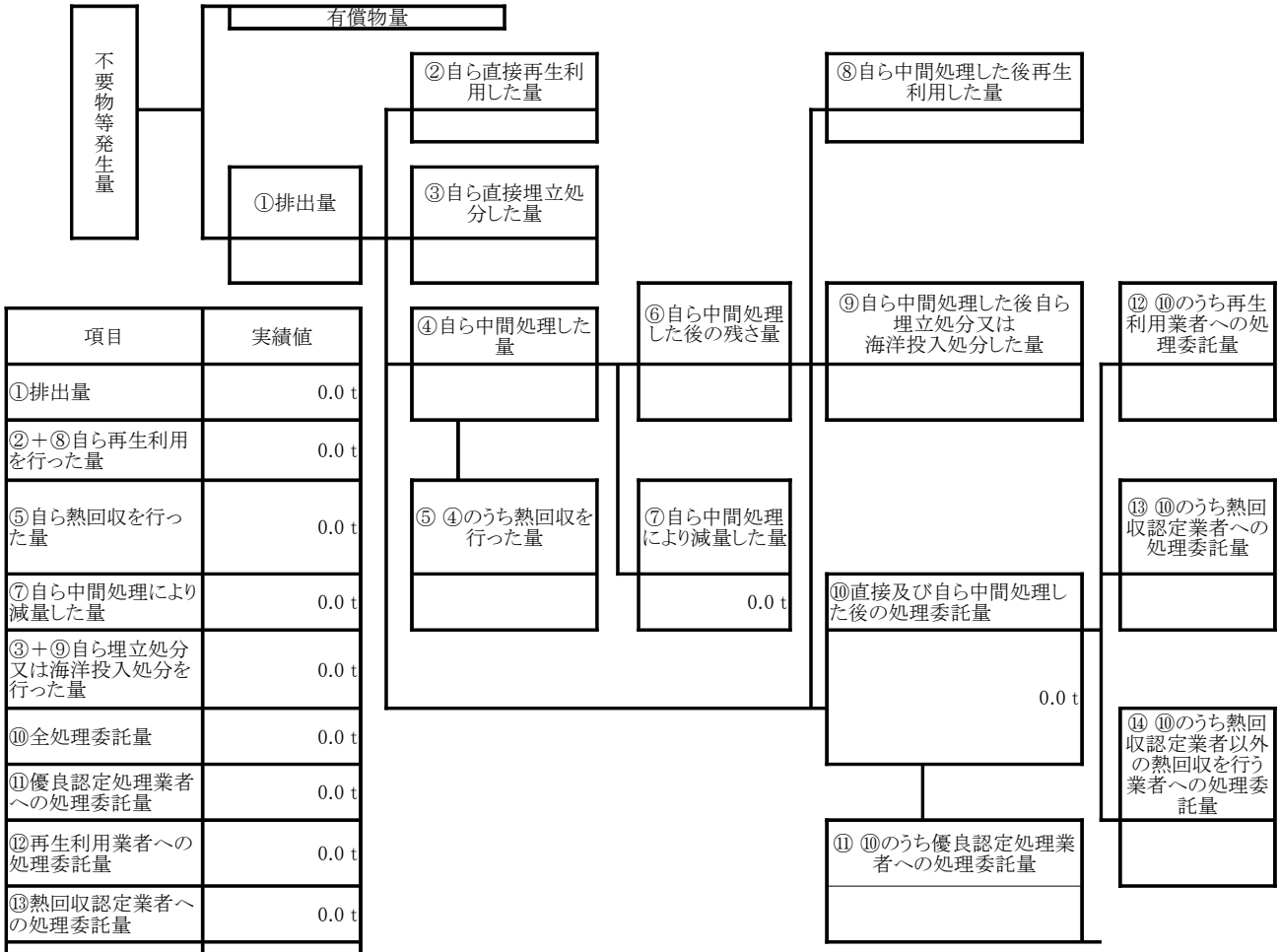


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

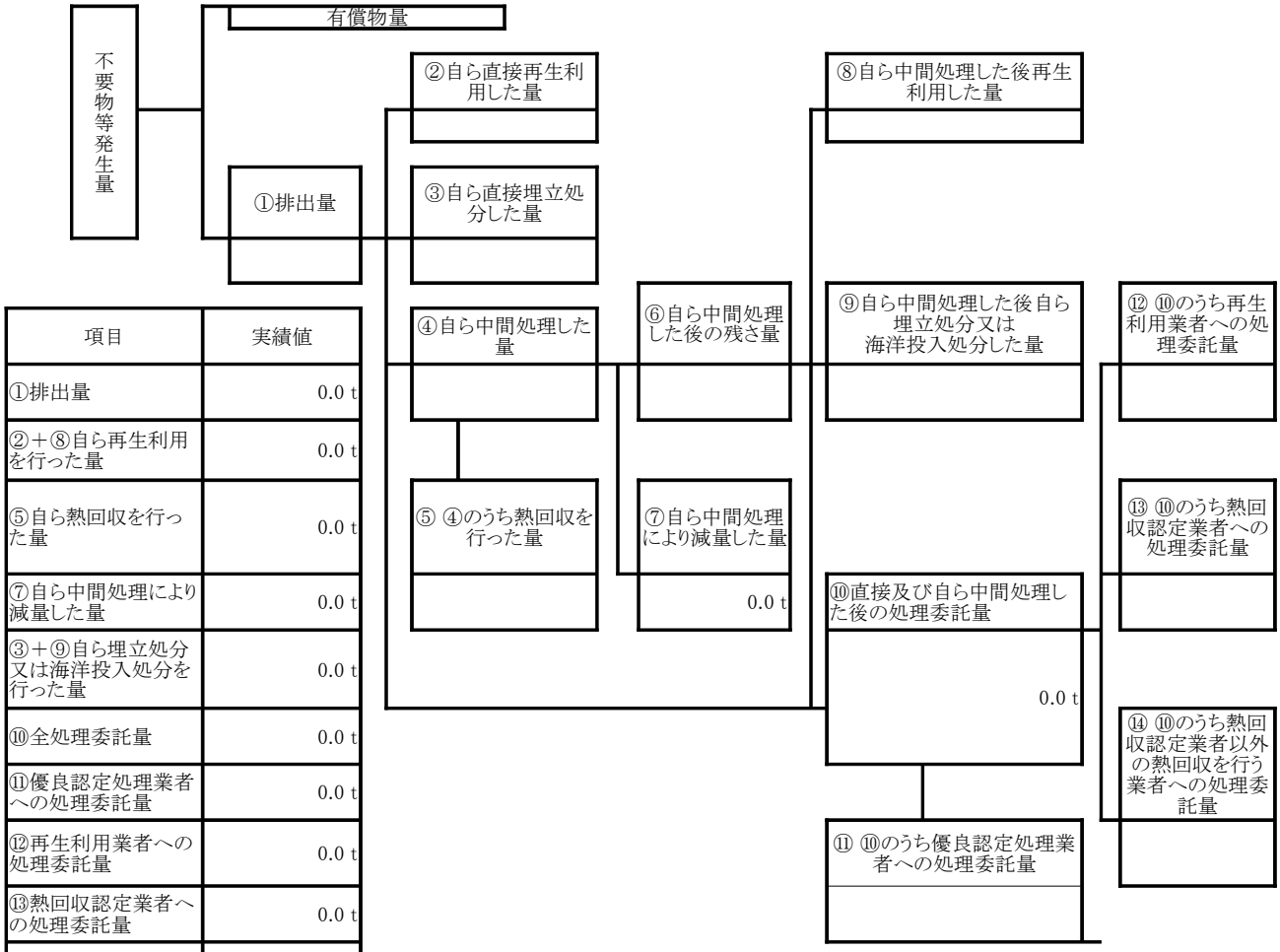


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

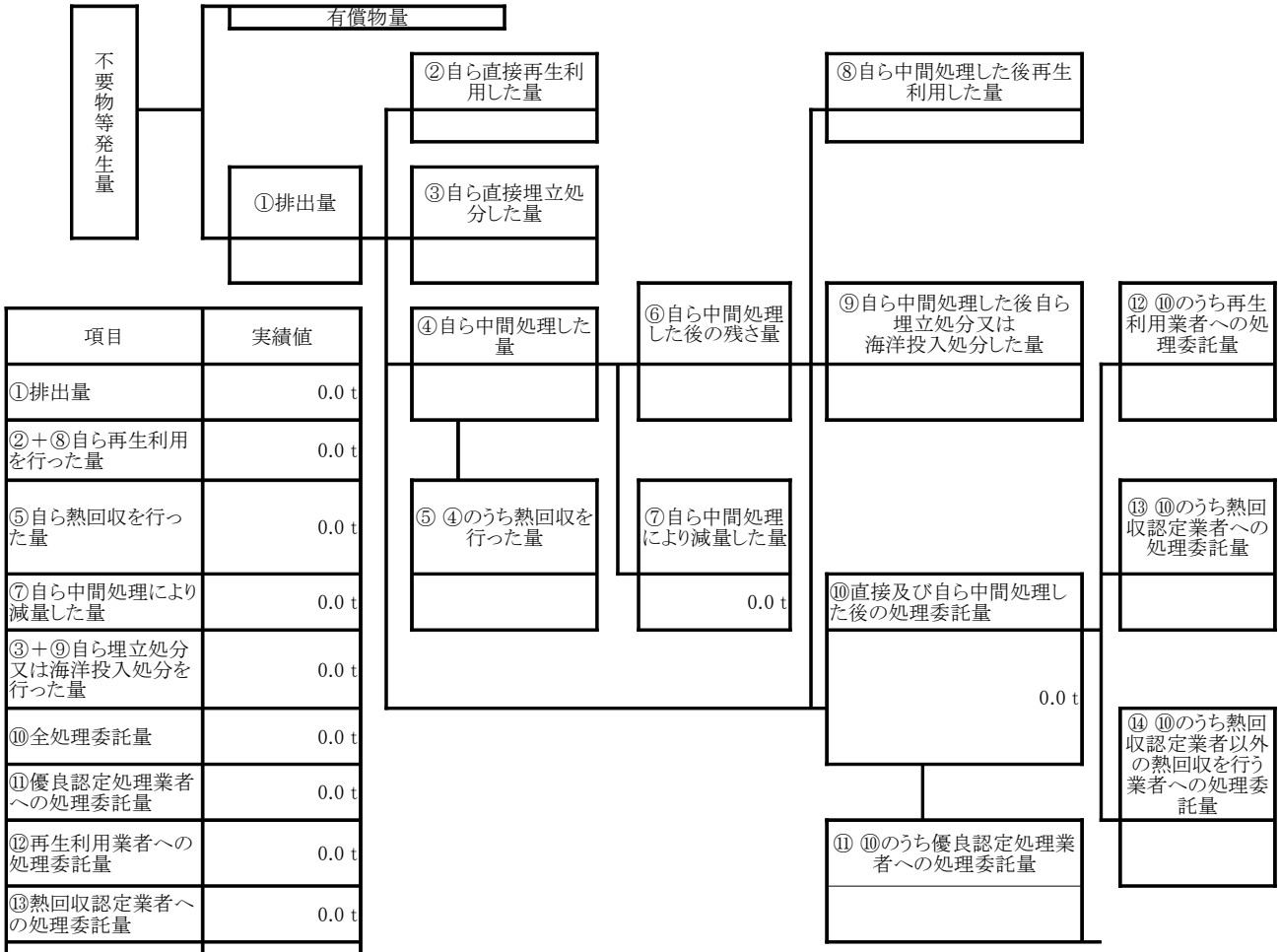


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

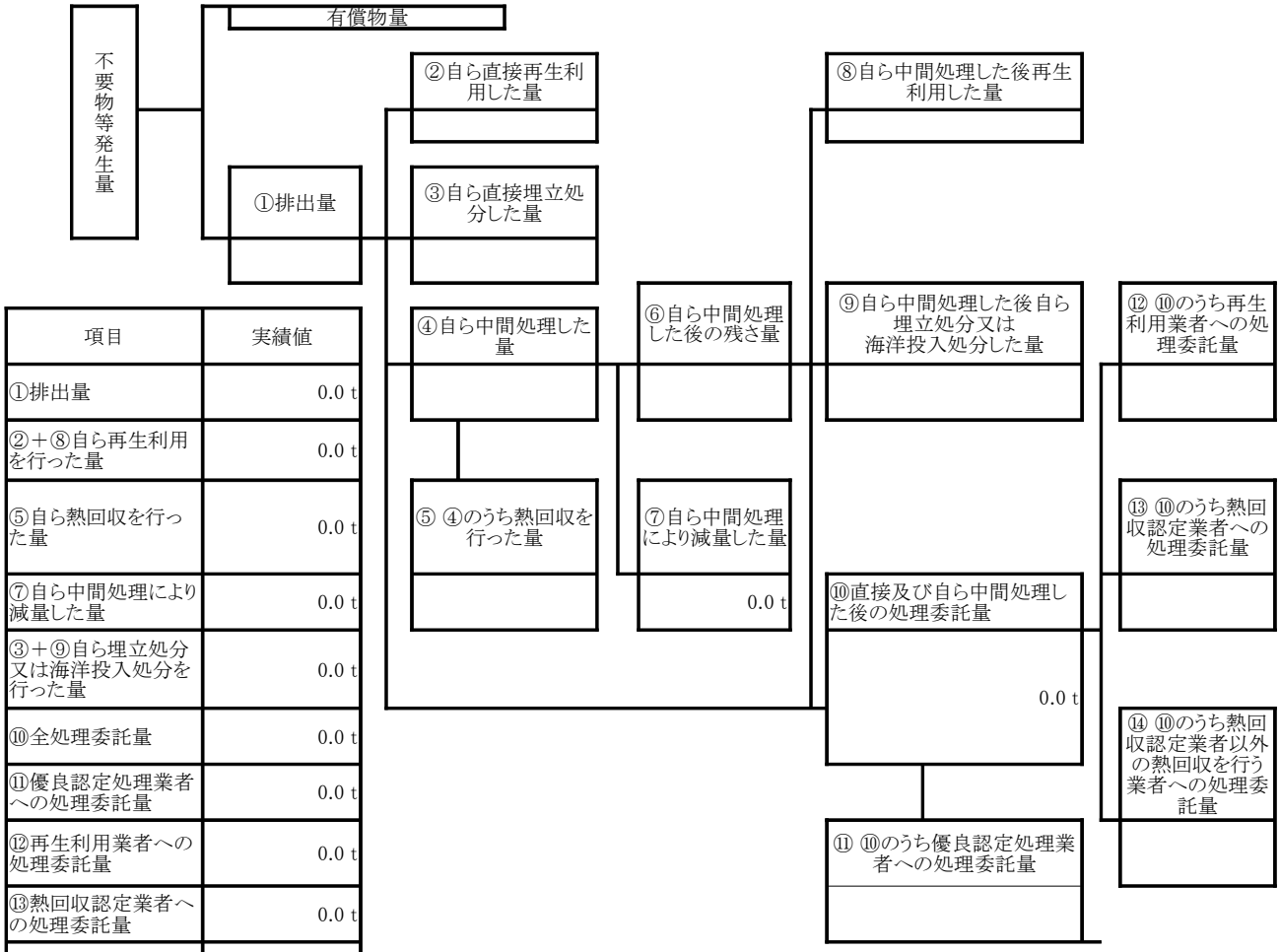


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



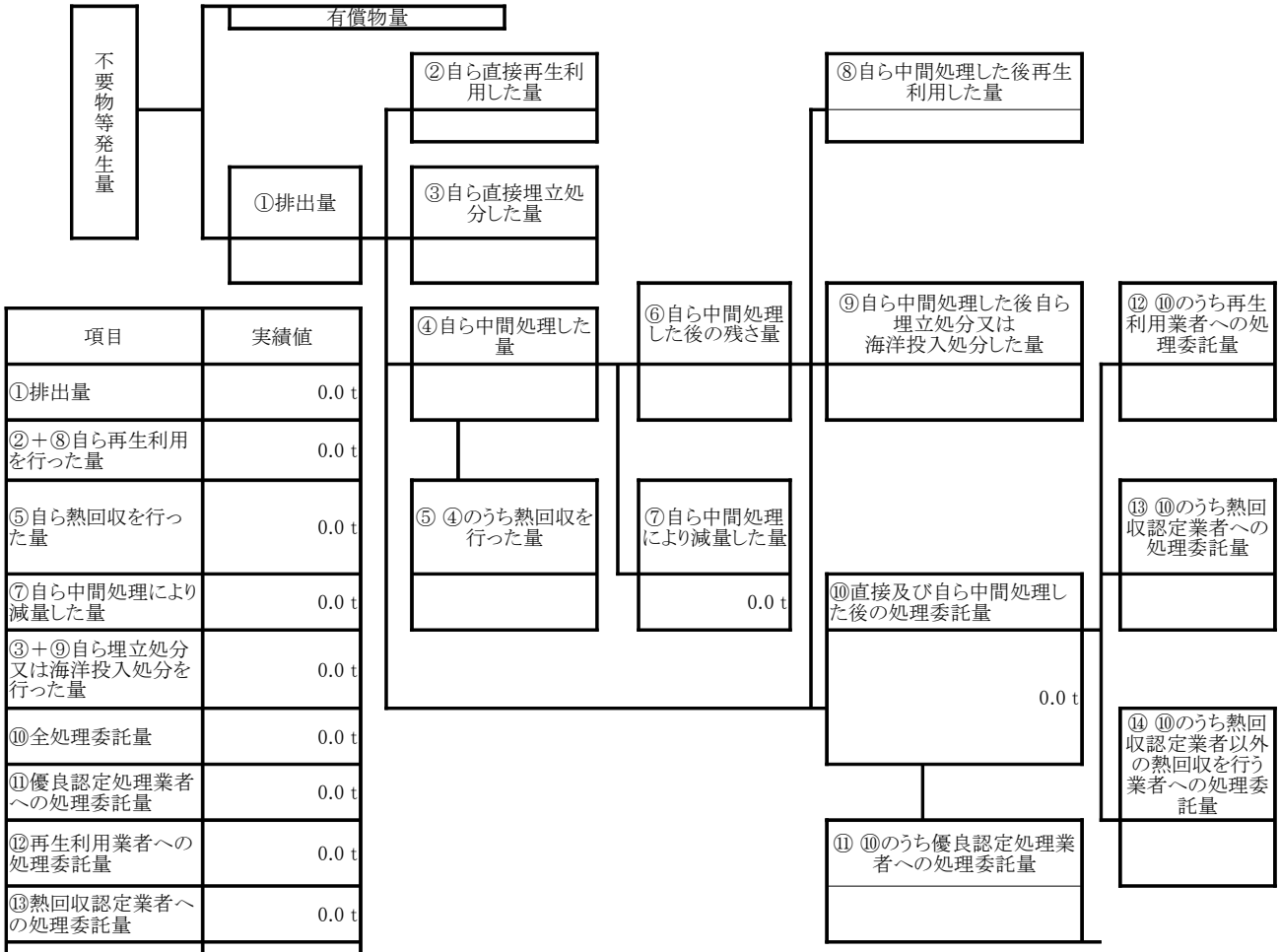
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

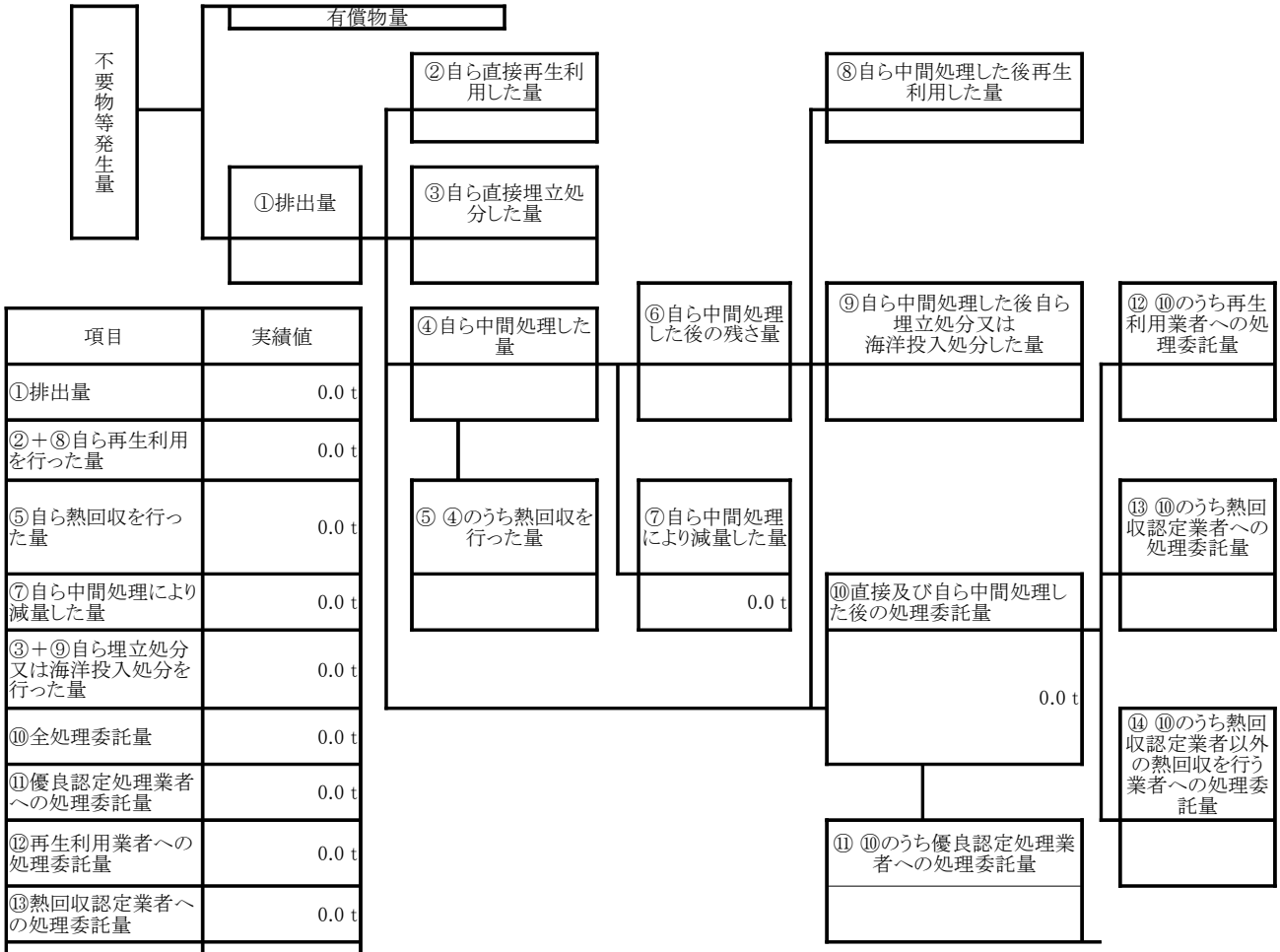


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

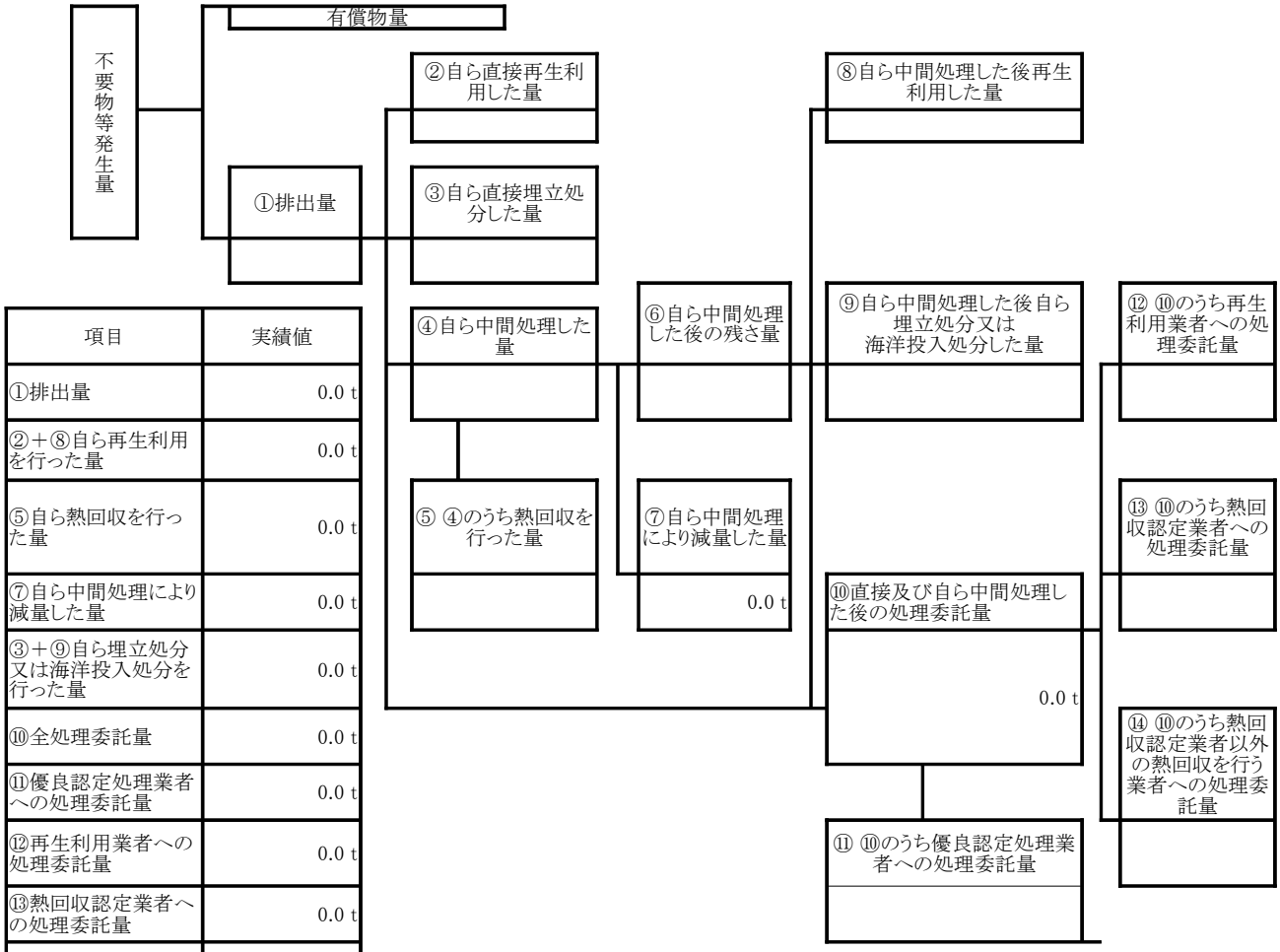


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

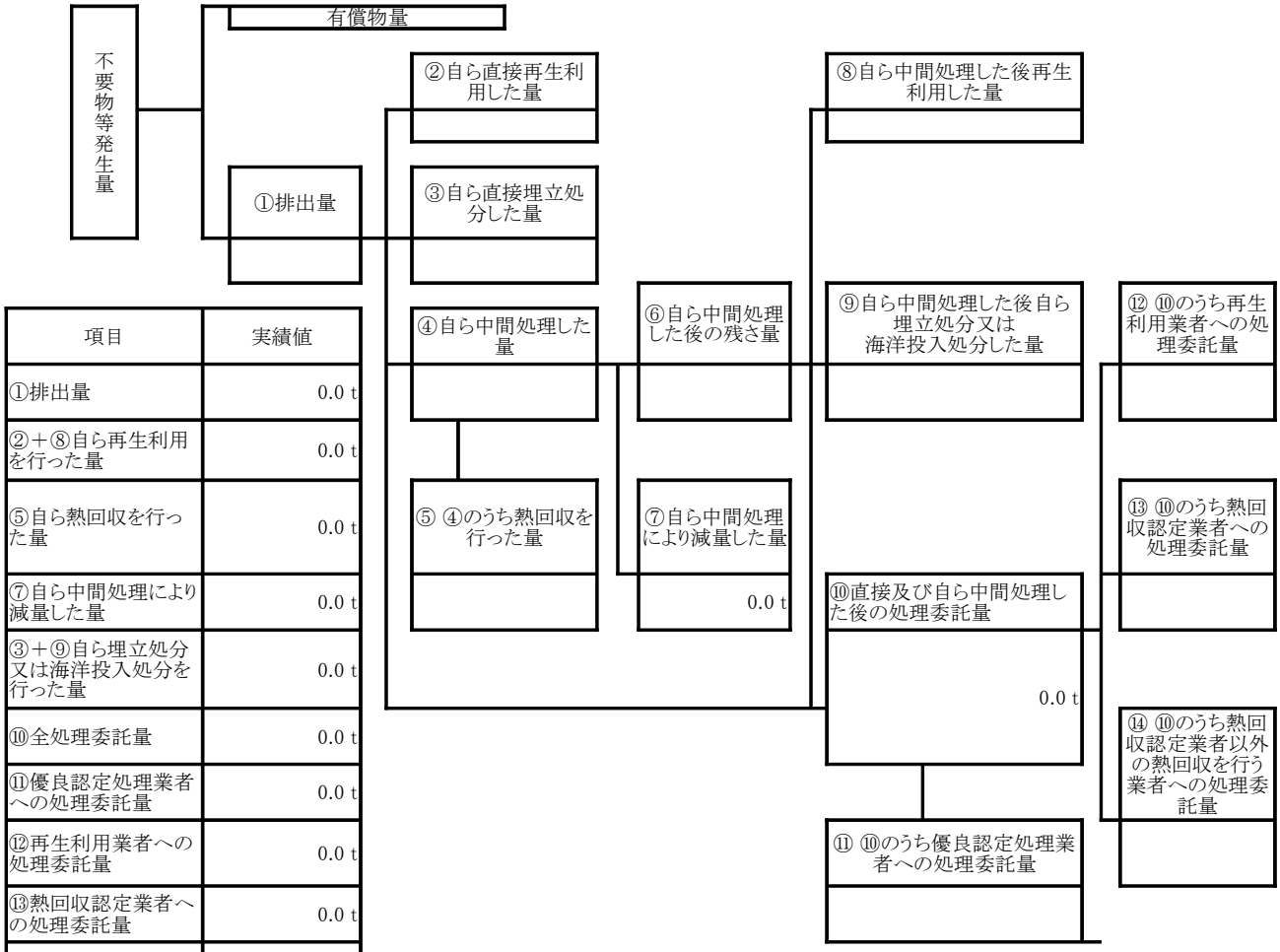


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



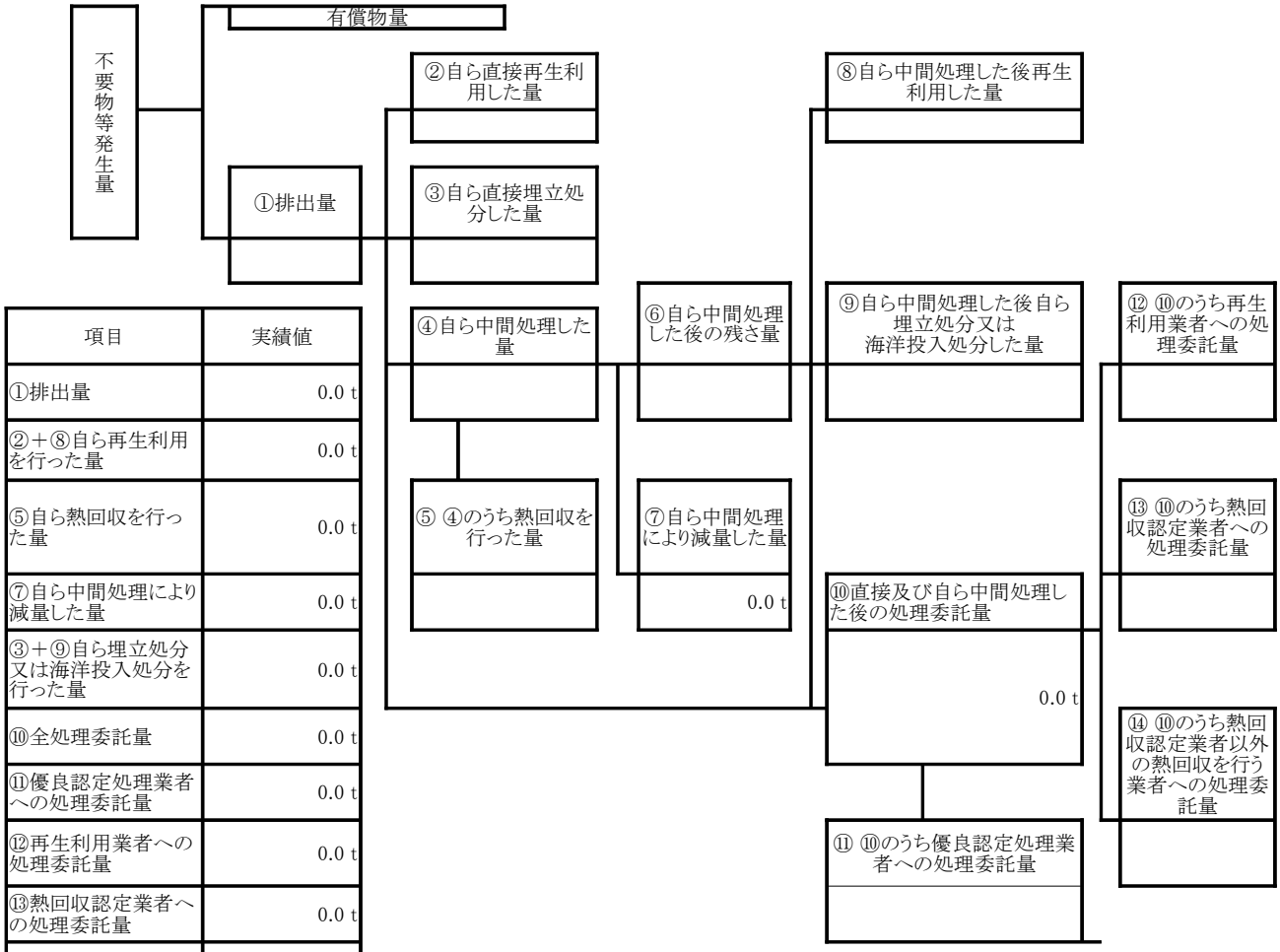
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



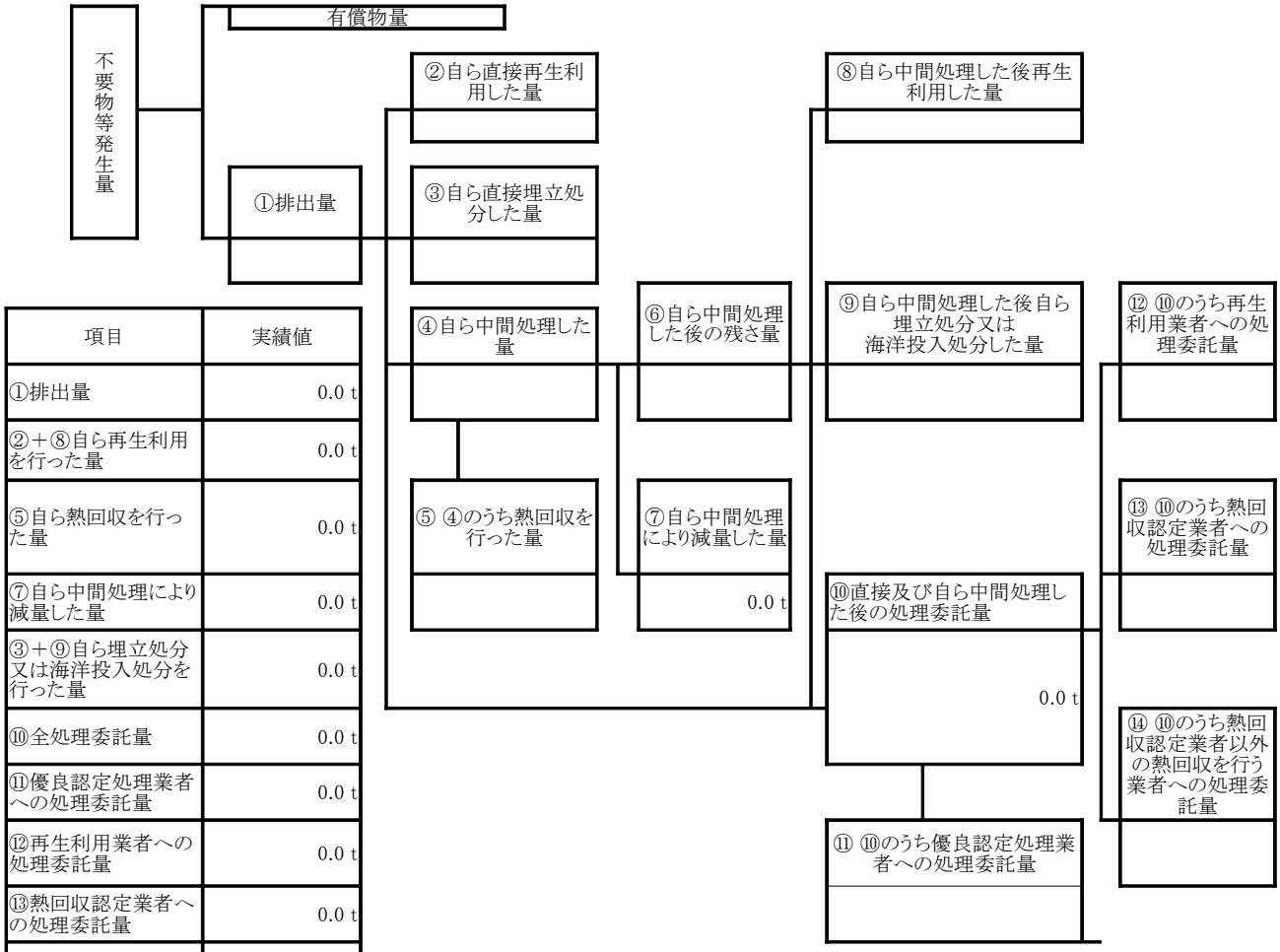
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

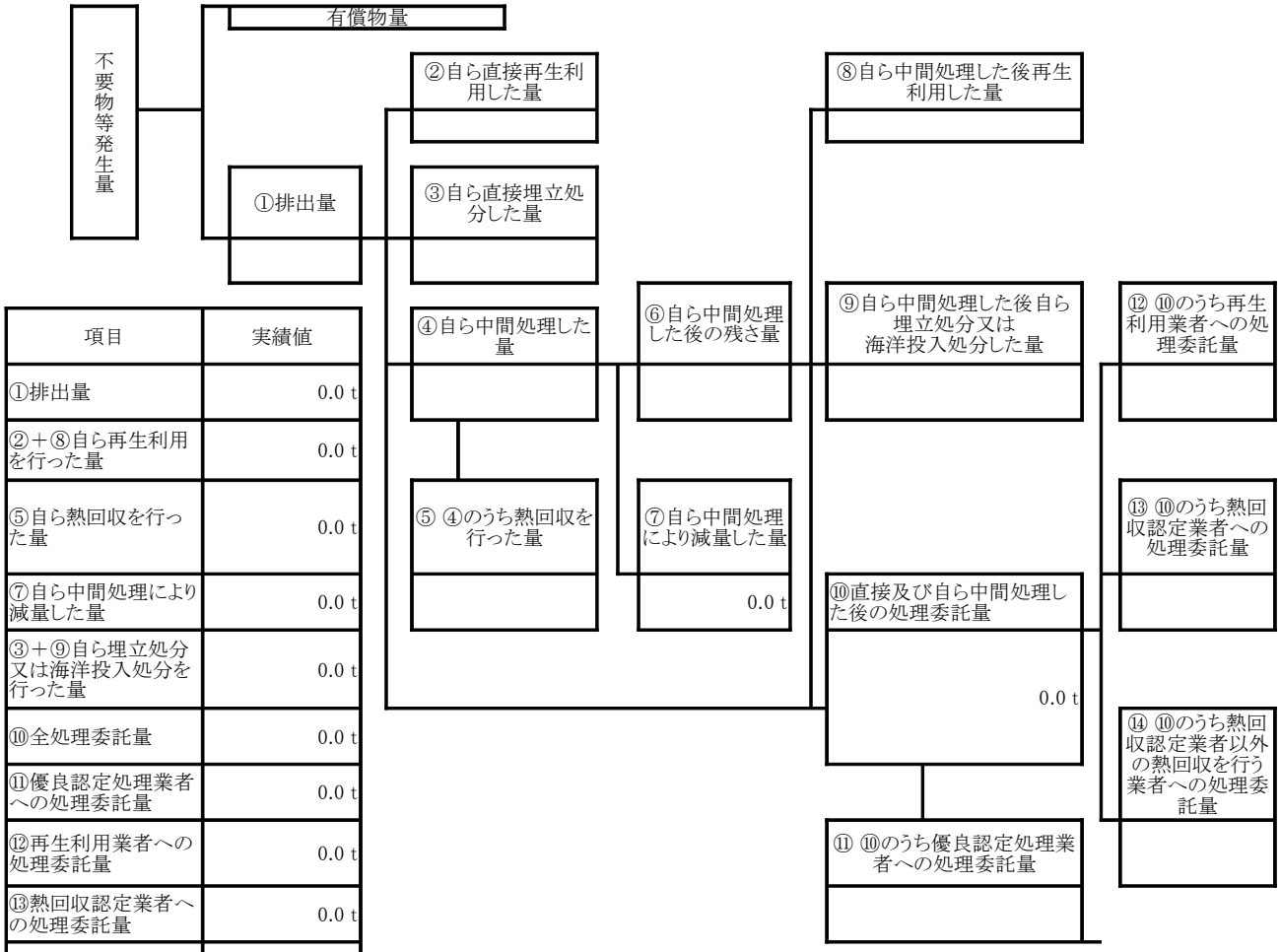


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

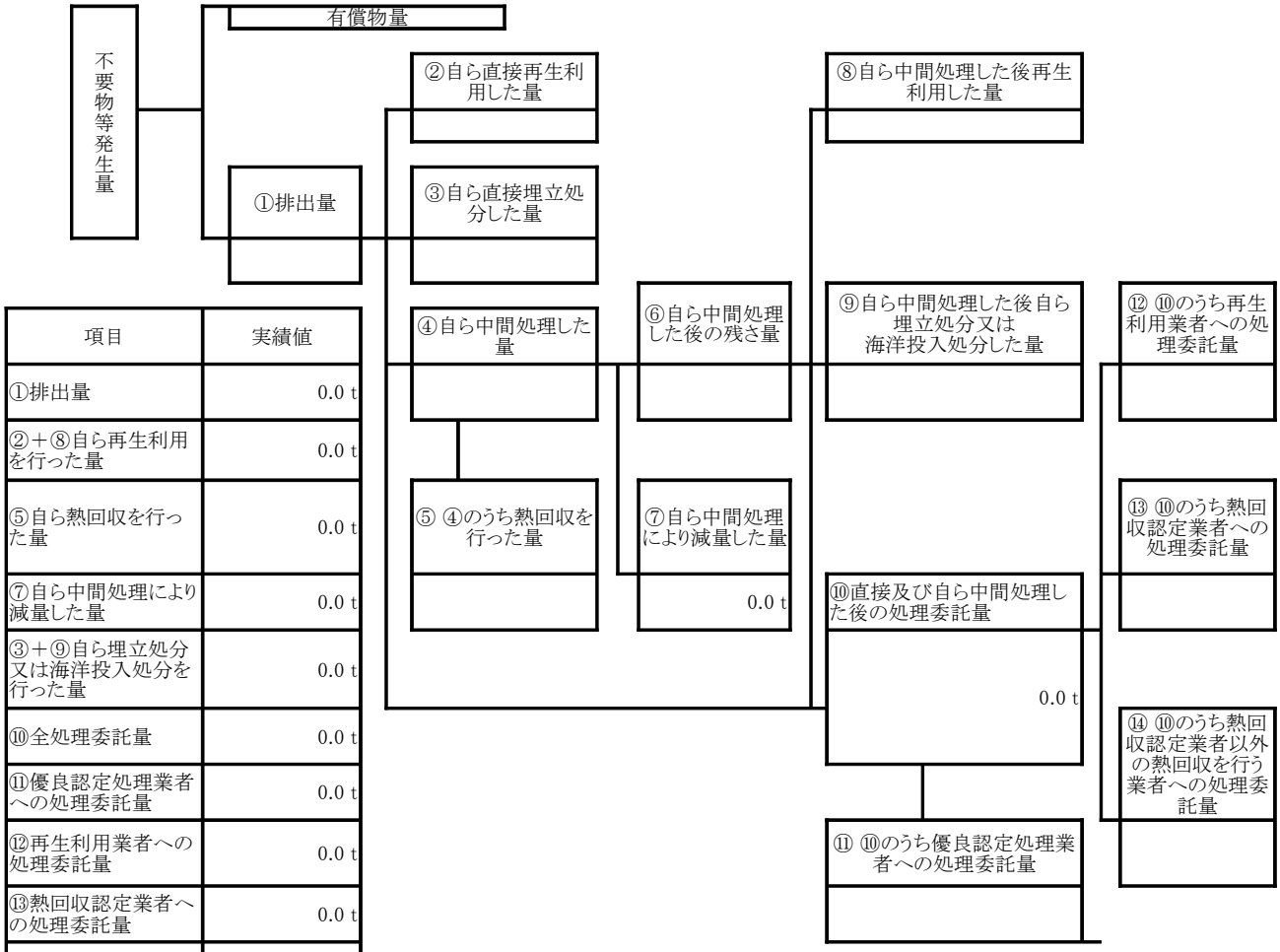


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

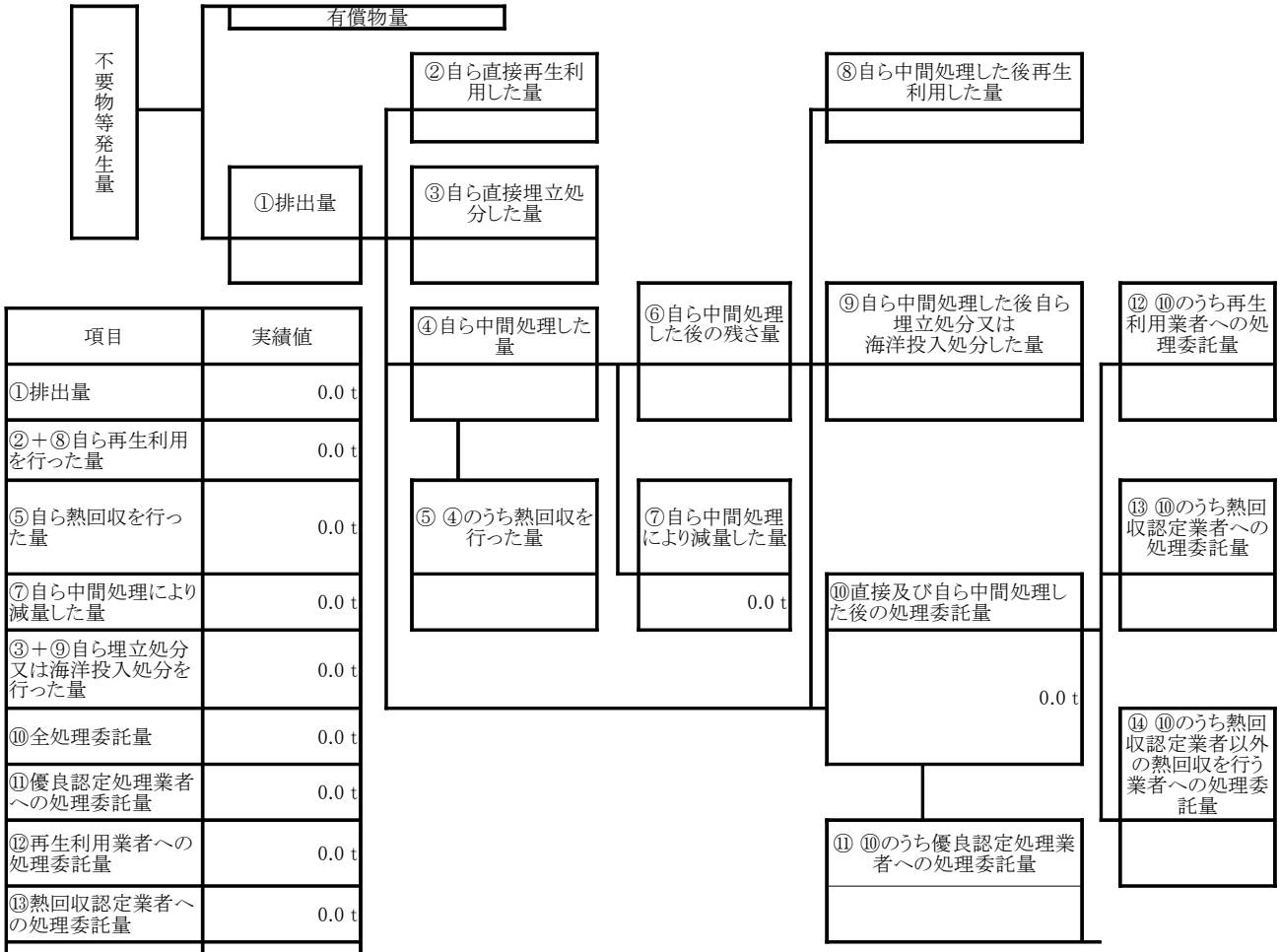


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

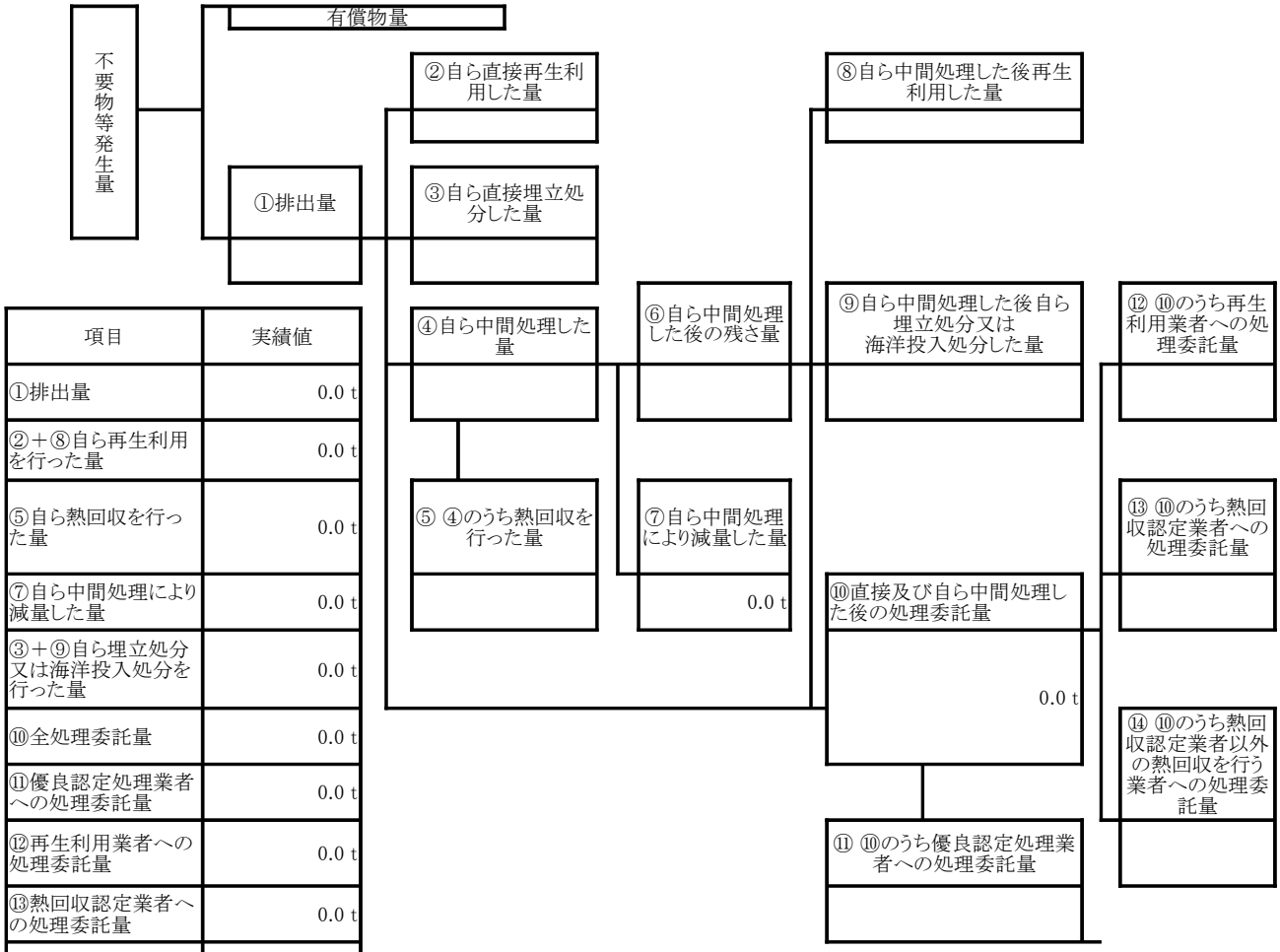


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6年　6月　7日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　千葉県船橋市習志野４丁目16番12号
氏　名　朋和産業株式会社
代表取締役　小澤　善孝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７－４５６－５０１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	朋和産業株式会社　千潟工場
事業場の所在地	千葉県旭市さくら台１番４号
計画期間	令和　6年　4月　1日　から　令和　7年　3月　31日

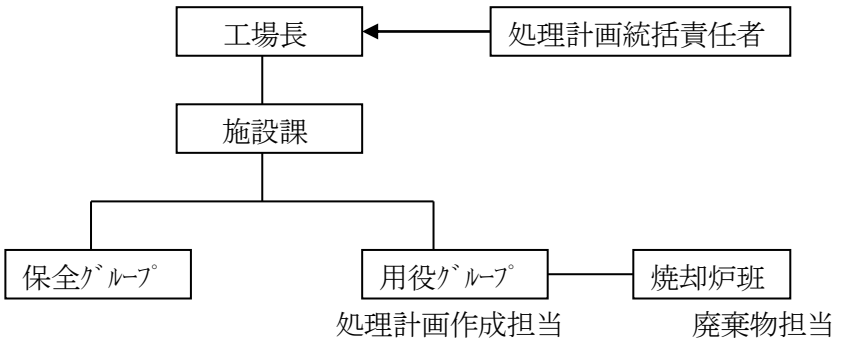
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：印刷・同関連業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　　２７６億円
③従業員数	６１５人（正社員　３５３人、常勤関係職員　２６２人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１参照

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（　令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず
	排　出　量	6077.1ｔ	49.2ｔ
	（これまでに実施した取組） 製造工程ごとに毎日排出量を測定し、月の排出結果を社内掲示し、社員全員の意識向上を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず
	排　出　量	6700.0ｔ	50.0ｔ
	（今後実施する予定の取組） 製造工程の歩留まり率を向上させ、廃棄物の排出量削減を図る。 新規有償物引取り業者開拓。有償物引取り量を増やし排出制御を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃ﾌﾟﾗｽｯﾁｸ類：廃棄処理と有償物のｹﾞｰｼﾞを分けて設置し分別を行いさらに自己処理可能物の分別を行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類：廃棄処理物から新たに有償物へ転換できよう分別をさらに強化する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>3208.3ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>2920.7ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
焼却炉の運転管理徹底により処理能力維持に努めた。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽｯﾁｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>3100.0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>2800.0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
処理能力維持を継続し、運転時間の見直しをし自己処理量の増量を図る。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>3156.4ｔ</td><td>49.2ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>3156.4ｔ</td><td>49.2ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
処理施設の現場確認を行い、適正処理の確認をしている。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>3700.0ｔ</td><td>50.0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>3700.0ｔ</td><td>50.0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
処理業者の適正処理確認の維持に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

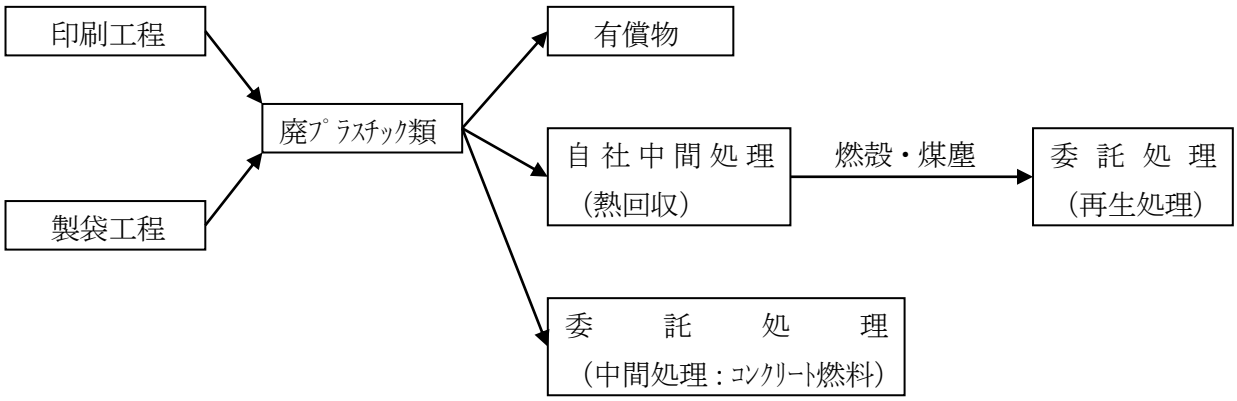
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

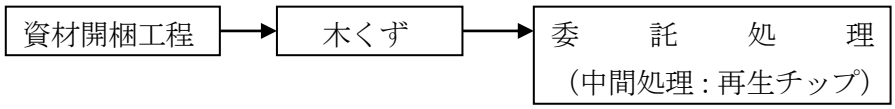
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

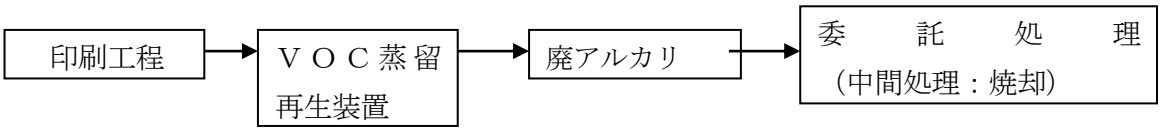
７　※欄は記入しないこと。

別紙１

産業廃棄物の一連の処理の工程







別紙

<table>
<tr><td colspan="6">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="3">① 現状</td><td colspan="4">【前年度（　令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>96.7ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）
廃油抜出タイマー設定値を変更し、削減を実施する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>100.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
現状維持に努める。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（　令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="7">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（　　令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="7">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（　　令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>0.0ｔ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　　令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
全処理委託量	96.7ｔ			
優良認定処理業者への処理委託量	―	―	―	―
再生利用業者への処理委託量	96.7ｔ			
認定熱回収業者への処理委託量	―	―	―	―
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ			

（これまでに実施した取組）
適正処理の確認。

	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ			
		全処理委託量	100.0ｔ			
		優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ			
		再生利用業者への処理委託量	100.0ｔ			
		認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ			
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ			
		（今後実施する予定の取組） 現状維持に努める。				

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6月 7日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県船橋市習志野4丁目16番12号
氏 名　朋和産業株式会社 代表取締役 小澤 善孝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　047－456－5011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	朋和産業株式会社 千潟工場
事業場の所在地	千葉県旭市さくら台1番4号
事業の種類	大分類:製造業　中分類:印刷・同関連業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

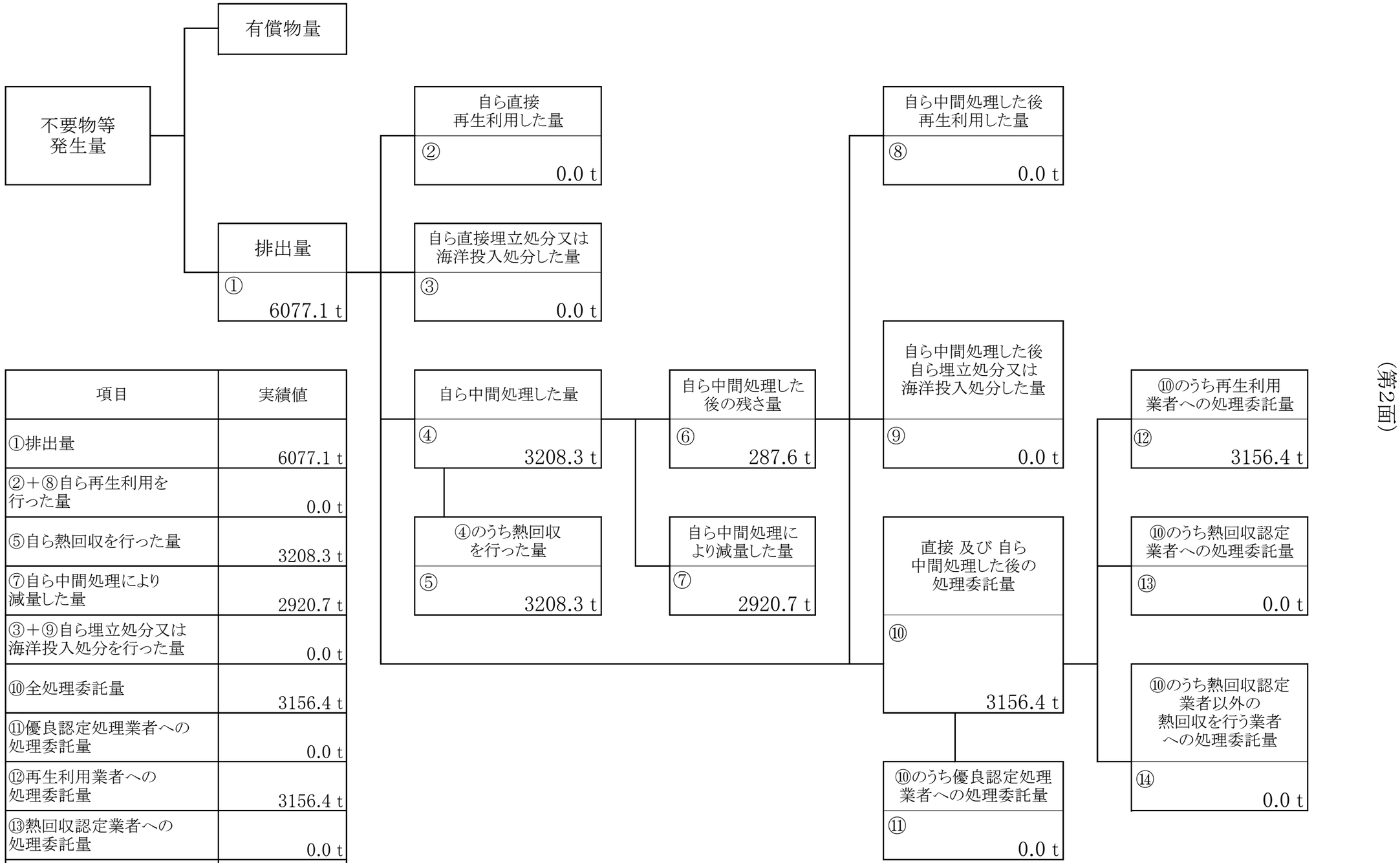
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6950.0 t	全処理委託量	3950.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	3100.0 t	再生利用業者への処理委託量	3950.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2800.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

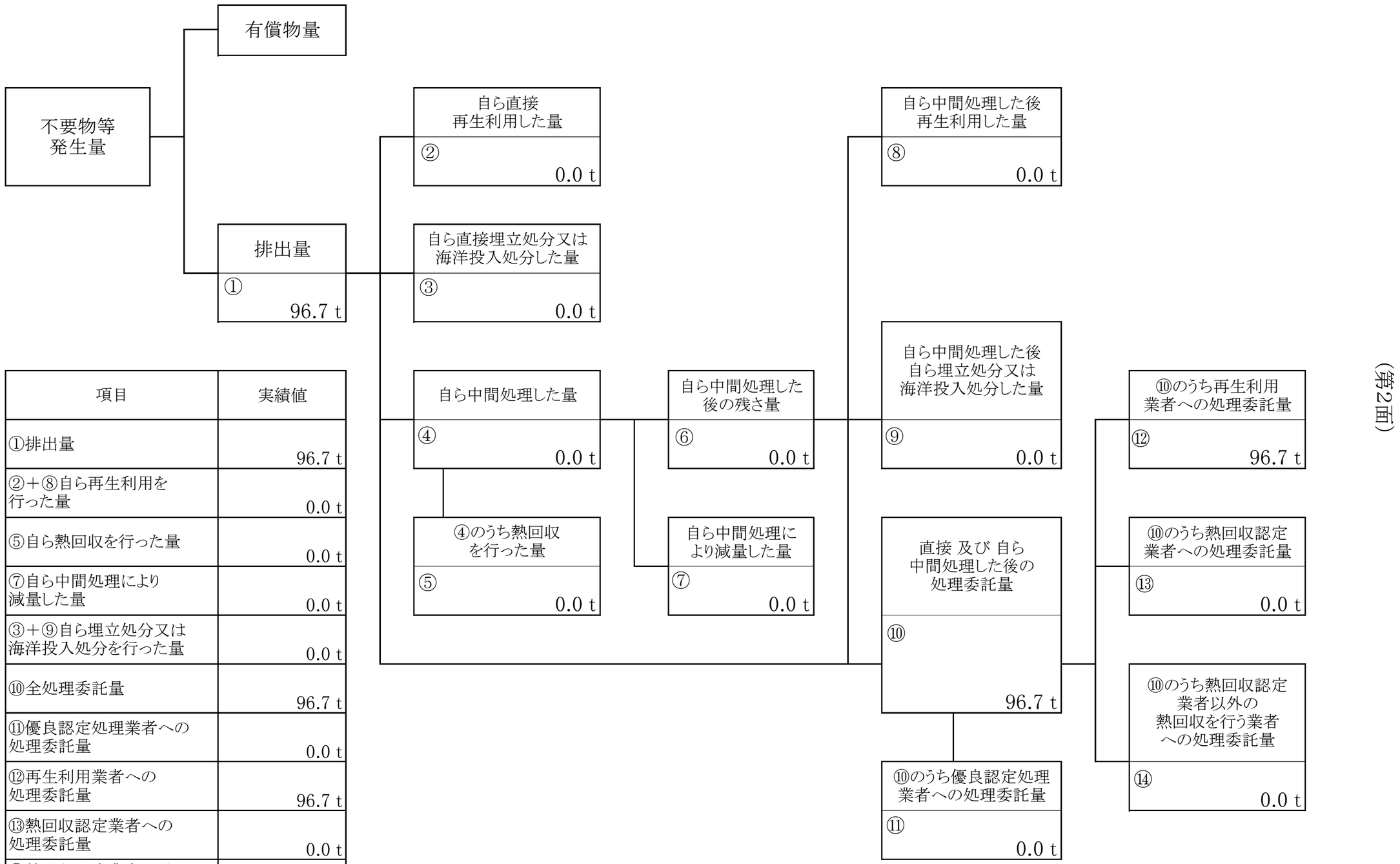


項目	実績値
①排出量	6077.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	3208.3 t
⑦自ら中間処理により減量した量	2920.7 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3156.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3156.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃アルカリ**　）

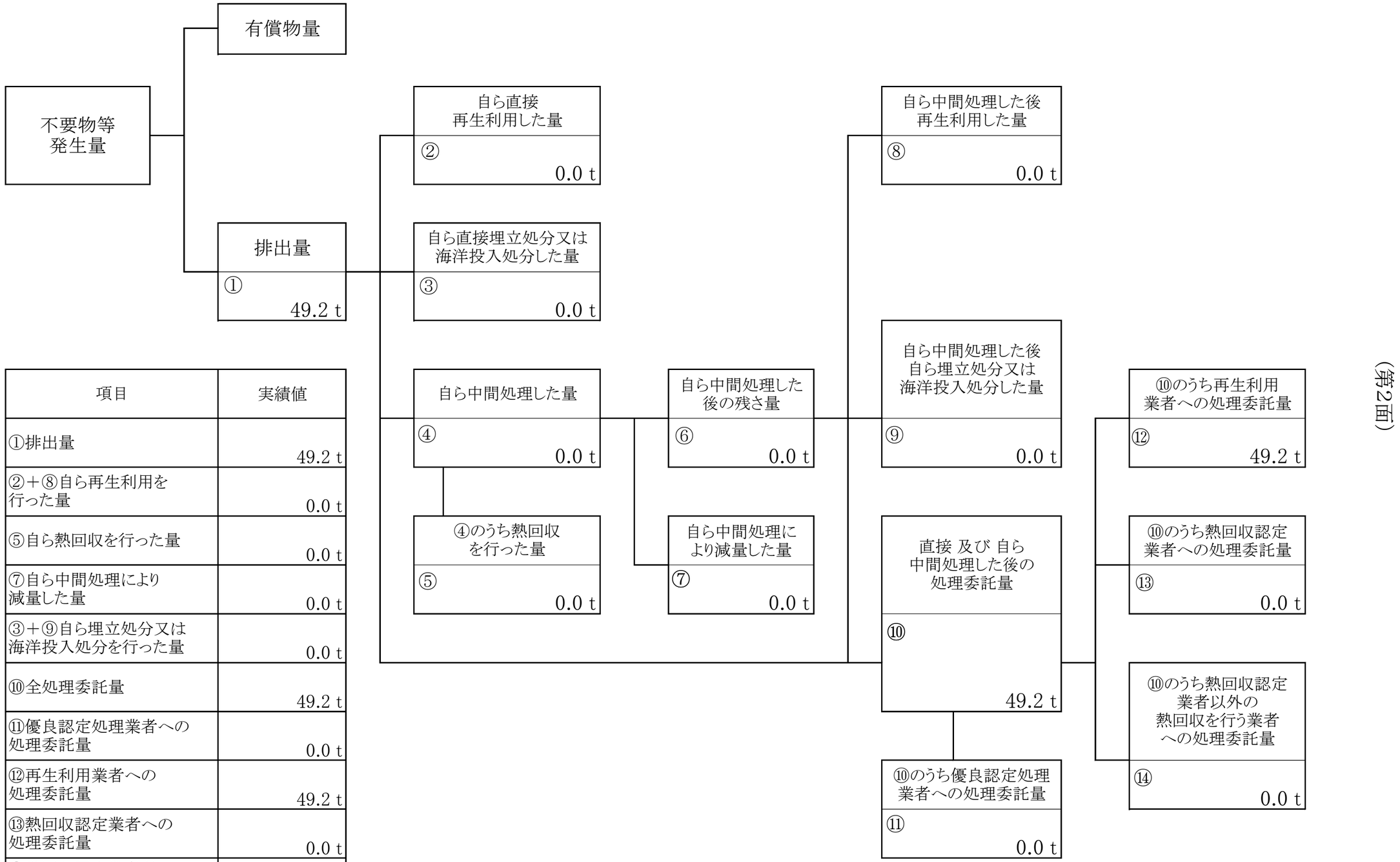


項目	実績値
①排出量	96.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	96.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	96.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	49.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	49.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	49.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　6年　6月　7日

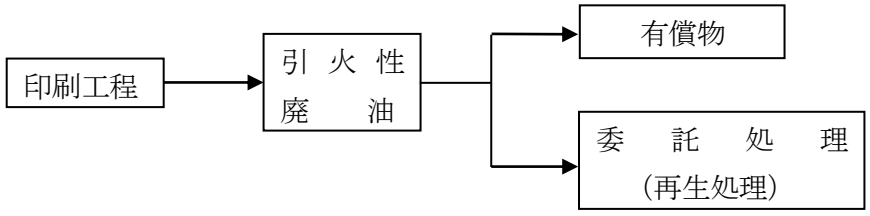
千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　千葉県船橋市習志野４丁目１６番１２号
氏　名　朋和産業株式会社
代表取締役　小澤　善孝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７－４５６－５０１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の２第 10 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	朋和産業株式会社　千潟工場
事業場の所在地	千葉県旭市さくら台１番４号
計画期間	令和　6年　4月　1日　から　令和　7年　3月　31日

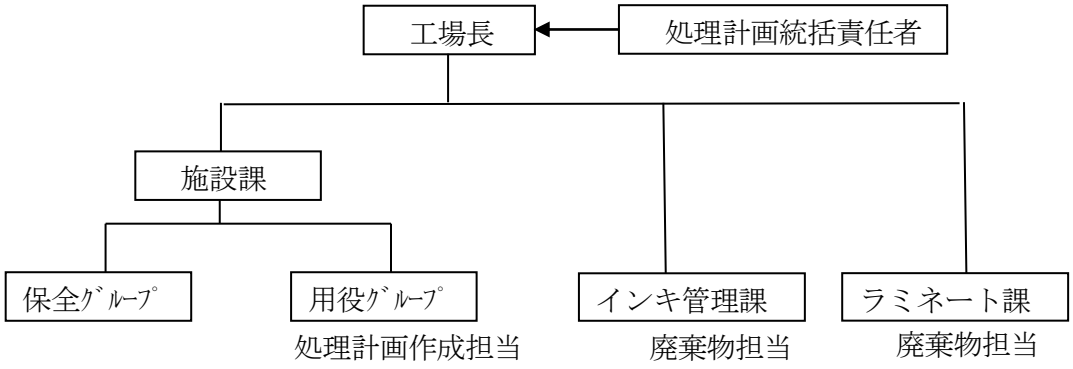
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　中分類：印刷・同関連業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額：　２７６億円
③従業員数	６１５人（正社員　３５３人、常勤関係職員　２６２人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和　5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
排　　出　　量	225.0ｔ	0.0ｔ

（これまでに実施した取組）
昨年と同様に生産予定の見直しを行い、廃棄量削減を実施
加工前にインキの必要量を割り出し、又、通常廃棄と有価引取りとを区別し、無駄な排出を抑制する。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性廃油）	
排　　出　　量	200.0ｔ	0.0ｔ

（今後実施する予定の取組）
廃液の有価引き取りを推進し、目標値以内に抑える。
生産予定の見直しも継続し、排気量削減に努める。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃油・・・①廃インキ→油性インキ・水性インキに分別
②廃インキ→有価廃棄・通常廃棄との分別
③廃接着剤

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状と同様の取り組みとなります。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（令和　5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性廃油）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性廃油）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（令和　5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性廃油）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性廃油）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性廃油）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性廃油）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性廃油）</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>225.0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>225.0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・適正処理の確認</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>230.0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>0ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
現状維持に努める</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="5">【前年度（令和　5　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="3">特別管理産業廃棄物
排　　出　　量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td colspan="2">225.0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組等）
２０２０年度から電子マニフェスト義務化の為、電子マニフェストの運用を開始しました</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 7日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県船橋市習志野4丁目16番12号
氏 名　朋和産業株式会社 代表取締役 小澤 善孝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　047－456－5011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	朋和産業株式会社 千潟工場
事業場の所在地	千葉県旭市さくら台1番4号
事業の種類	大分類:製造業　中分類:印刷・同関連業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	200.0 t	全処理委託量	200.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	227.9 t
	前 年 度	225.0 t

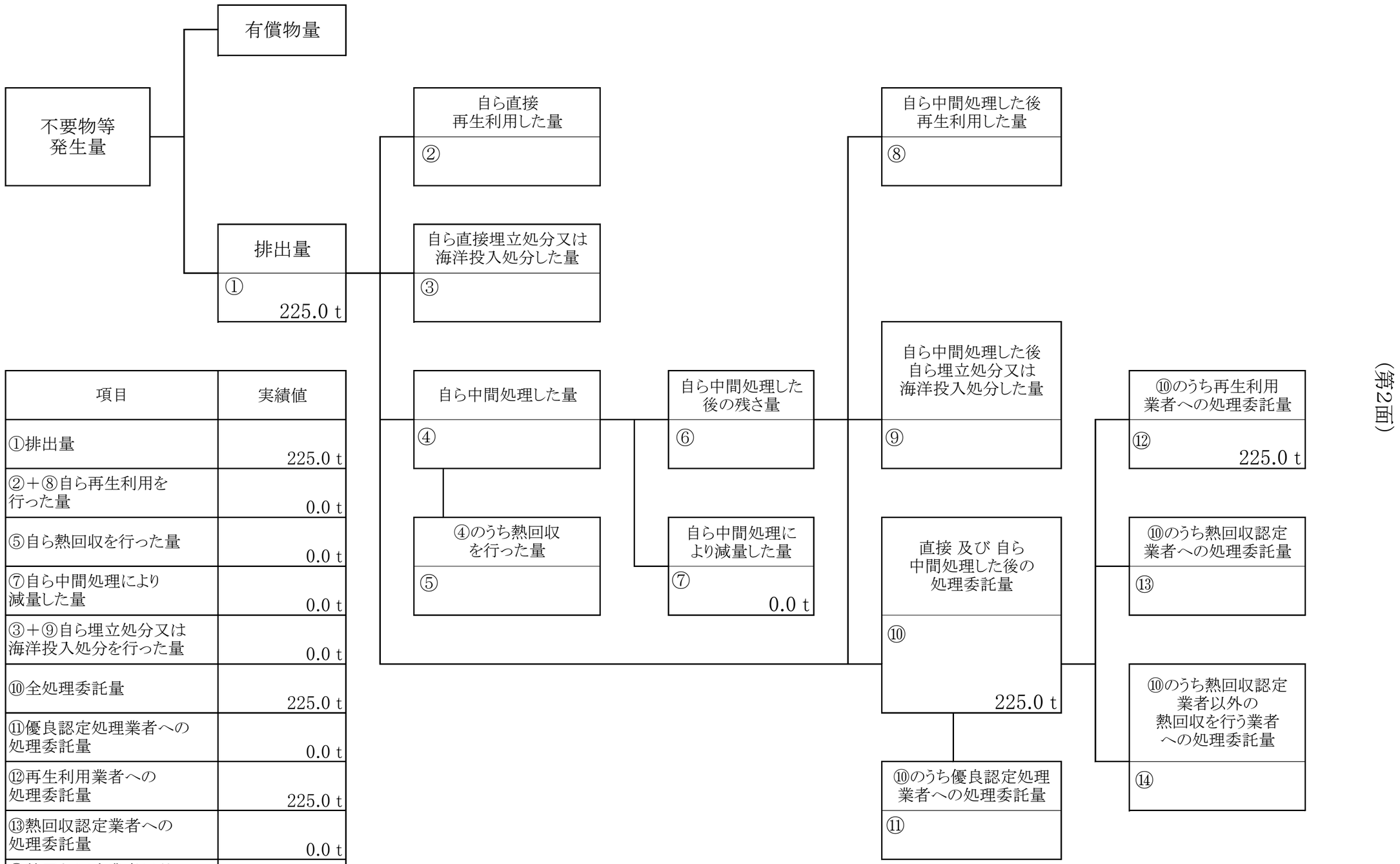
（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
電子マニフェストを2020年度より実施しています

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃油（引火性）**　）



項目	実績値
①排出量	225.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	225.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	225.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年７月２日

千葉県知事

熊谷 俊人 様

提出者　272-0032
住　所　千葉県市川市大洲3-21-1
氏　名　北越コーポレーション株式会社関東工場
執行役員工場長　安藤 邦宏
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-378-0101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北越コーポレーション株式会社関東工場
事業場の所在地	千葉県市川市大洲3-21-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　中分類：パルプ・紙・紙加工品製造業
②事業の規模	前年度の製品出荷額　14494　百万円
③従業員数	242　名　（自社　94　名　協力会社　148　名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙　1

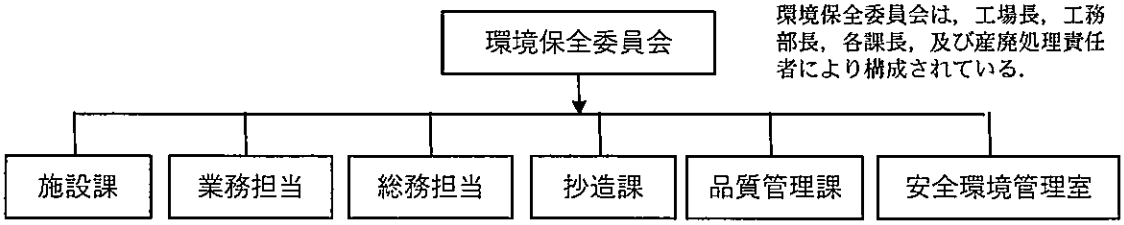
（日本工業規格　A列4番）

千葉県 葛南地域振興事務所 -6.7.-2 収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

「環境保全委員会」において環境管理責任者を工務部長とし、廃棄物の減量化、再資源化等について検討量的には、工場搬出量を業務担当が管理し、中間処理施設での処理は施設課動力係が管理、質的には年１回（有害物）外部分析を委託している。



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別紙２	
排出量_	t	t

（これまでに実施した取組）
別紙２

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙２	
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）
別紙２

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙２

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
別紙２

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　5　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙２</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙２</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙２</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙２</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　5　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙２</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量
した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙２</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙２</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量
する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙２</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙２	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
別紙２

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙２	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
別紙２

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙２	
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
別紙２

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="3">
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙２</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
別紙２
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

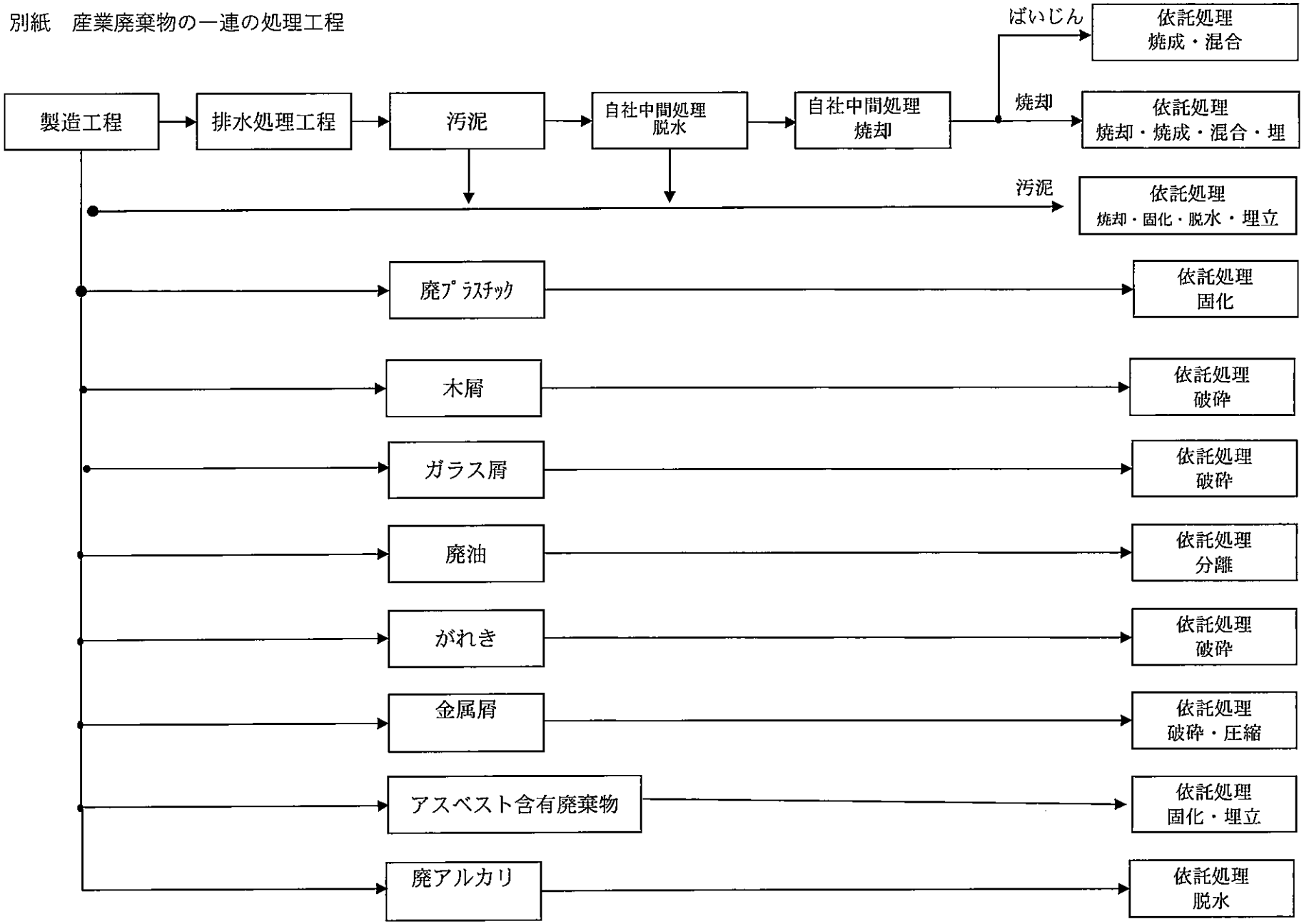
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙　産業廃棄物の一連の処理工程



別 紙 2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
排出量	16,520.8t	1,225.6t	0.3t	3.6t	2.5t	0.3t	6.4t	0.0t	0.0t

（これまでに実施した取組）

- 古紙納入先に古紙からの不純物混入防止の働き掛けと納入品の検品により、削減に努めた。
- 製造工程の管理による原料回収での製紙汚泥発生減少に努めた。
- 汚泥は、炭化設備の安定運転に勤め、有価で処理できる様に努めた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
排出量	15,859.9t	1,176.6t	0.3t	3.4t	2.4t	0.2t	6.2t	0.0t	0.0t

（今後実施する予定の取組）

- 減量の余地は無いが古紙納入業者に対し不純物混入防止の働き掛けと納入時の検品による除去を続ける。
- 廃プラスチック類の社内（茨城県）での燃料化による処理増加で減量化を続ける。
- 汚泥炭化設備の日々の点検と定期整備により安定運転に努め、汚泥の排出量削減に取り組む。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

- 産業廃棄物毎に掲示を行い、分別を実施。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・産業廃棄物分別の掲示を継続し、分別の状態を点検し注意喚起

・産業廃棄物分別の掲示を継続し、分別の状態を点検し注意喚起

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	14,883.4t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

- 中間処理施設の計画補修の実施し、能力維持と突発停止の防止に努めた。
- 炭化設備の定期整備を行い、突発停止を防止に努めた。
- 脱水施設に於いて、操業監視と調整の実施で含水率低下に努めた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	14,288.1t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）

- 中間処理施設の定期補修の実施で安定運転を行い、運転状況監視と調整の実施で、含水率を下げ減量化を目指す。
- 汚泥炭化設備の点検と定期整備で安定運転を行い、さらなる減量化を目指す。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

・　これまでに、自社で埋立処分又は海洋投棄処分をおこなったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、埋立処分又は海洋投棄処分をする予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
全処理委託量		1,637.4t	1,225.6t	0.3t	3.6t	2.5t	0.3t	6.4t	0.0t	0.0t
	優良認定処理業者への処理委託量	684.1t	287.3t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	再生利用業者への処理委託量	584.0t	1,167.2t	0.3t	0.0t	2.5t	0.3t	6.4t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	369.8t	11.3t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（これまでに実施した取組）

- 可能な限り、優良認定処理業者、再生利用及び熱回収処理業者への委託を目指した。
- 汚泥について、汚泥炭化設備により有償販売に努めた。
- 廃プラスチック類の社内での燃料化増加で減量に努めた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	金属屑	廃油	がれき類	ガラス屑	木屑	廃アルカリ	アスベスト含有
全処理委託量	1,571.8t	1,176.6t	0.3t	3.4t	2.4t	0.2t	6.2t	0.0t	0.0t
優良認定処理業者への処理委託量	656.7t	275.8t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
再生利用業者への処理委託量	560.7t	1,120.5t	0.3t	0.0t	2.4t	0.2t	6.2t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	355.0t	10.8t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（今後実施する予定の取組）

- 可能な限り、再利用可能な処理業者 また、焼却処理を行う処理業者は熱回収が可能な処理業者に委託を目指す。
- 減量の余地はないが、更に有価で処理可能な品目と分別を細分化し、減量化を目指す。
- 中間処理設備の運転状態監視及び定期補修の実施で安定運転を行い、汚泥の減量化を目指す。
- 汚泥に於いて汚泥炭化設備の安定運転を行い、減量化を目指す。
- 炭化設備停止時は、既設焼却施設との切り替え運転により、汚泥の排出量を少なくして、委託処理を削減する。
- 廃プラスチック類に於いて、自社内で燃料として使用を増やし、減量化に努める。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 7 月 2 日

千葉県知事　熊谷 俊人 様

提出者
住　所　千葉県市川市大洲3－21－1
氏　名　北越コーポレーション株式会社関東工場
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
執行役員工場長　安藤　邦宏
電話番号　047-378-0101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	北越コーポレーション株式会社関東工場
事業場の所在地	千葉県市川市大洲3-21-1
事業の種類	大分類:製造業　　中分類:ﾊﾟﾙﾌﾟ・紙・紙加工品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月 ～ 令和6年3月

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	16,379 t	全処理委託量	2,486 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,386 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,847 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13,893 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	485 t
※事務処理欄			

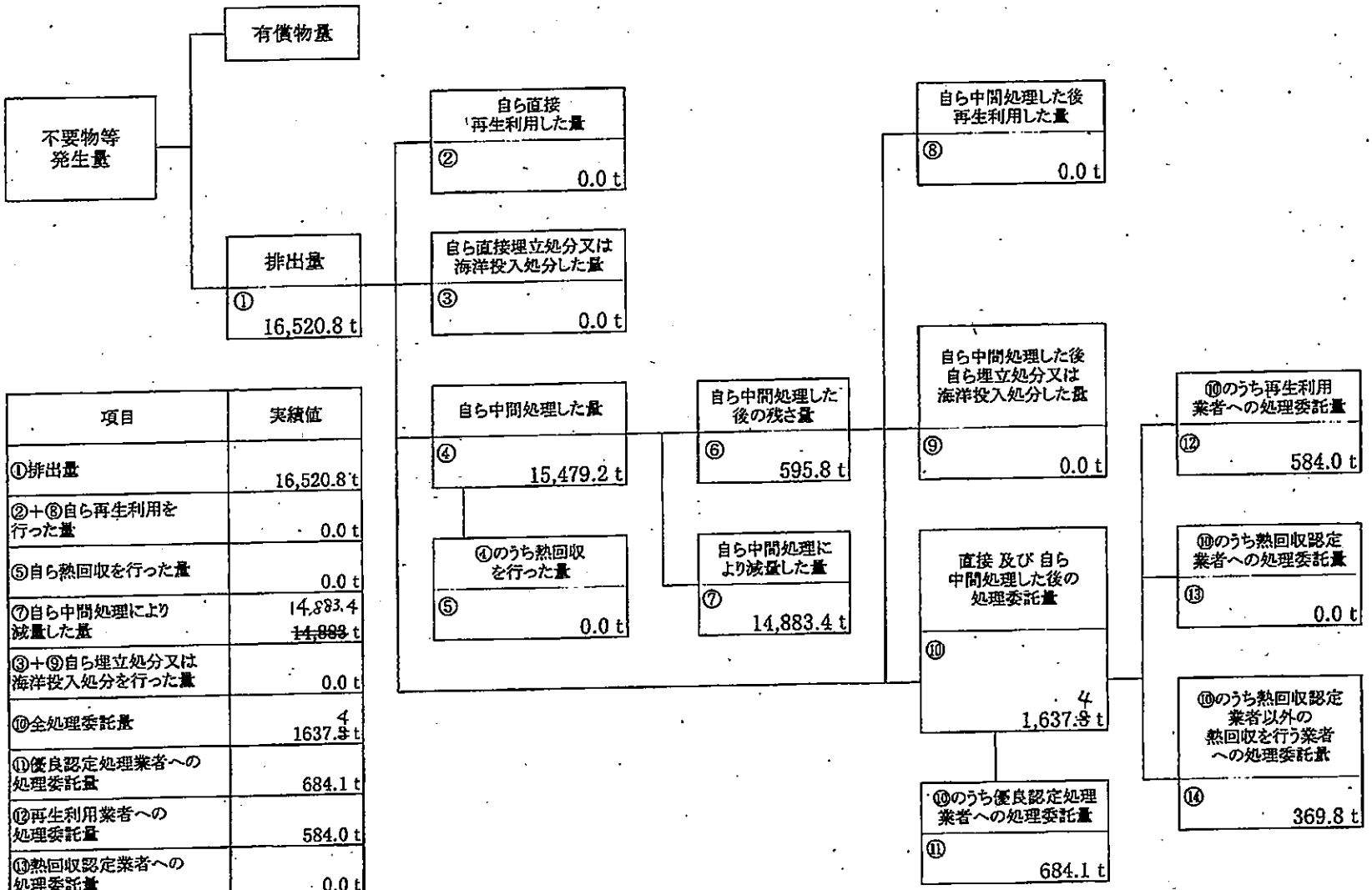
千葉県 葛南地域振興事務所 6.7.-2 収受

千葉県 葛南地域振興事務所 6.7.-2 収受

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

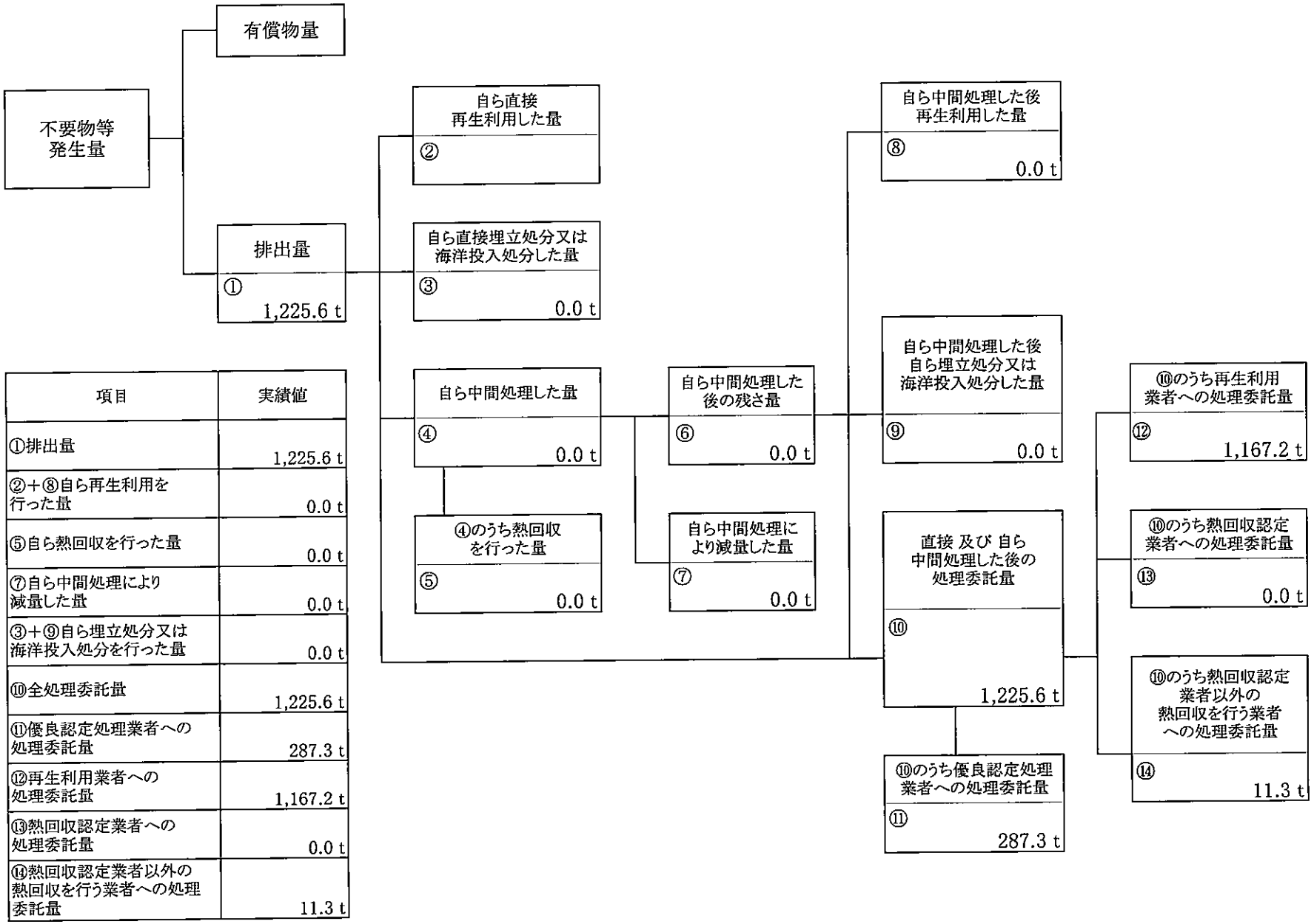


項目	実績値
①排出量	16,520.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	14,883.4 ~~14,883~~ t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4 1637.~~8~~ t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	684.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	584.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	369.8 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

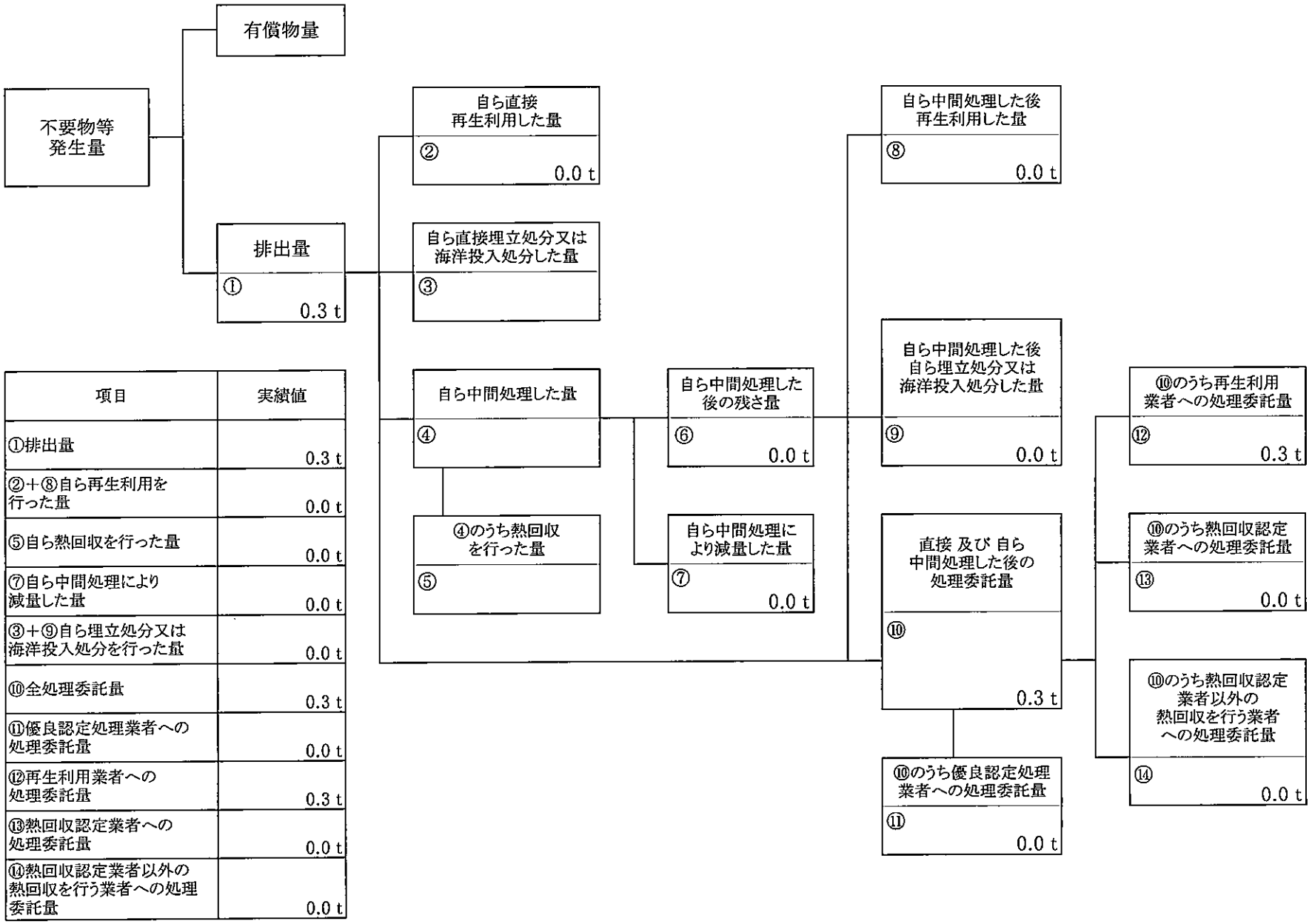


項目	実績値
①排出量	1,225.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1,225.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	287.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,167.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	11.3 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　金属　　）

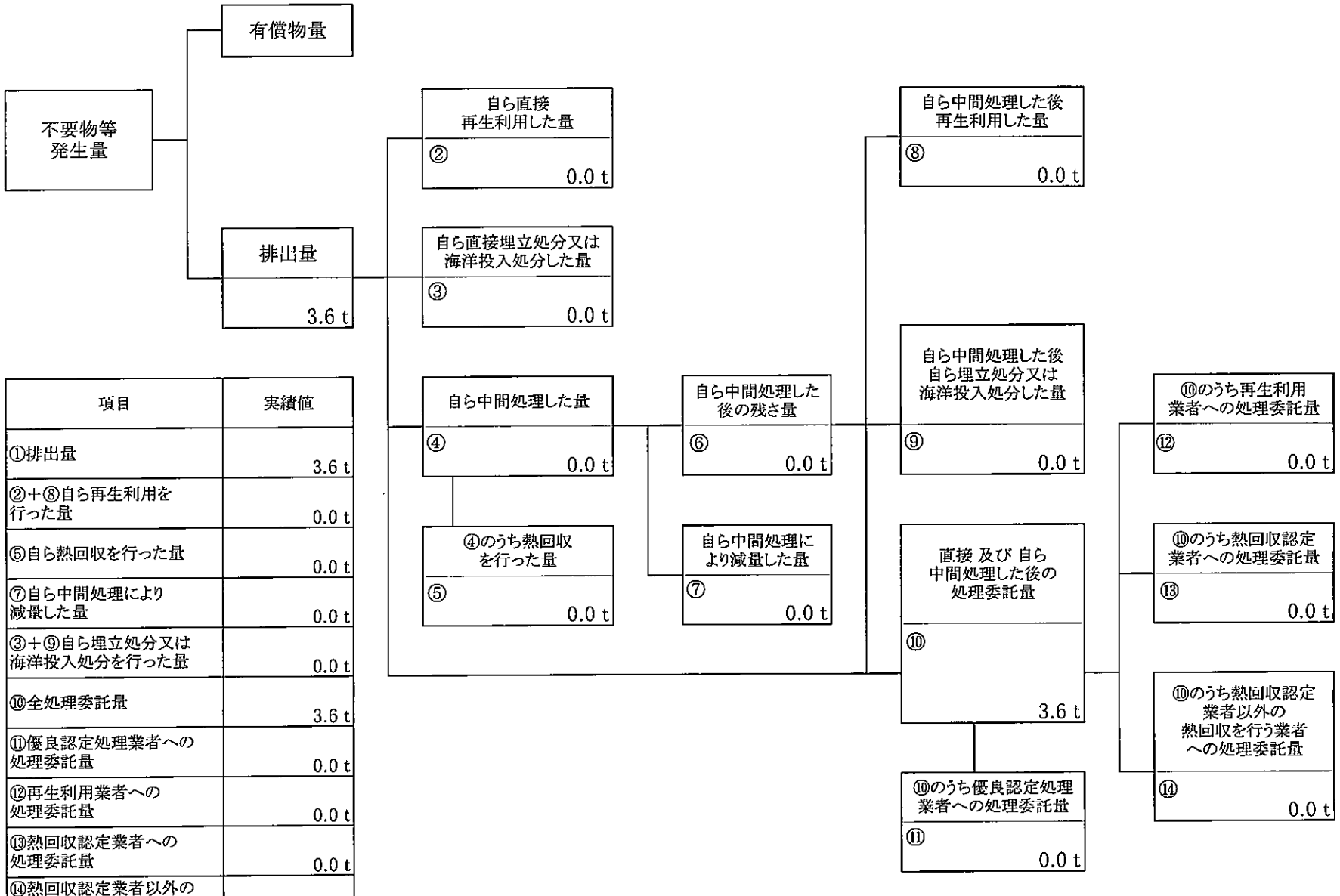


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃油　　）

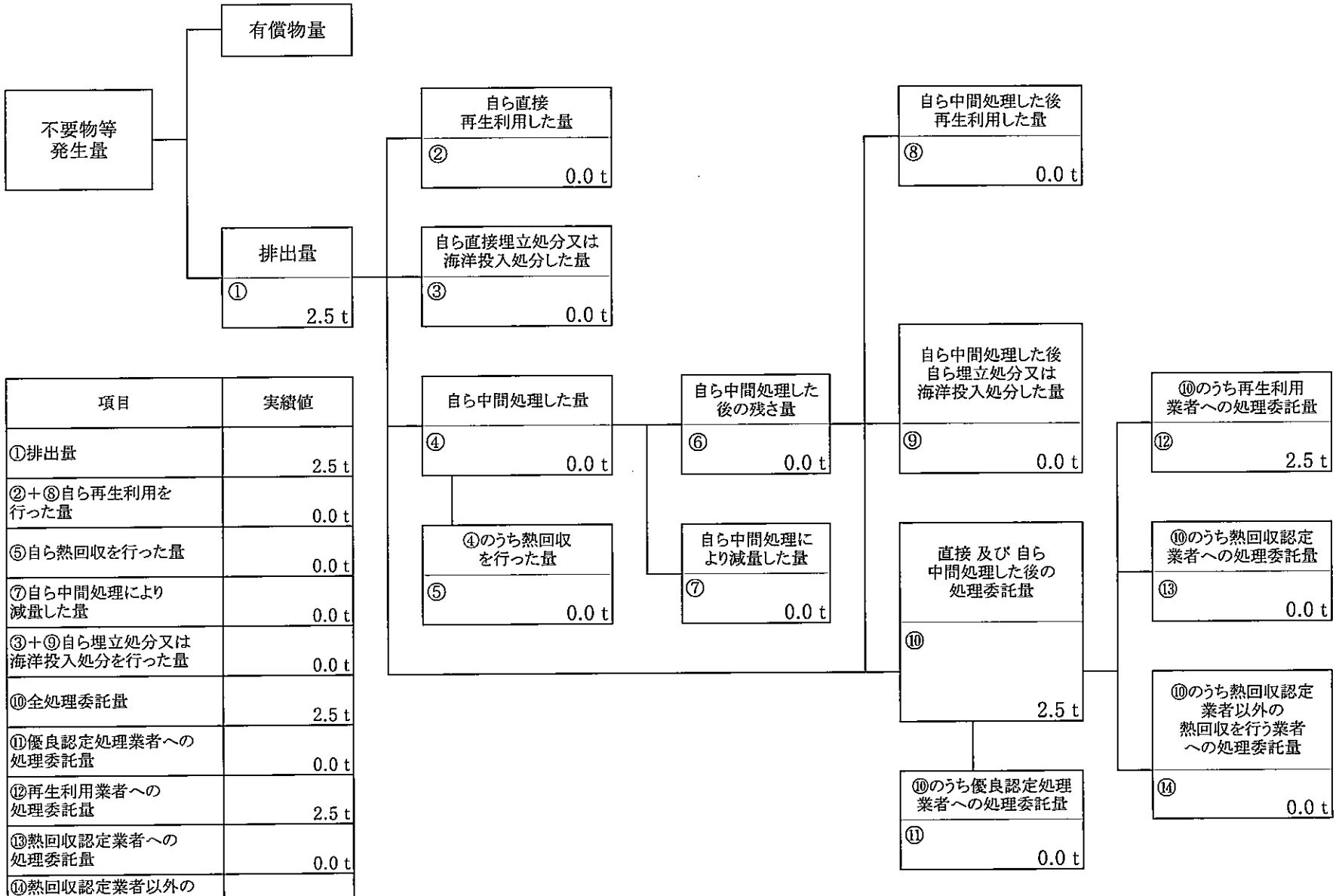


項目	実績値
①排出量	3.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

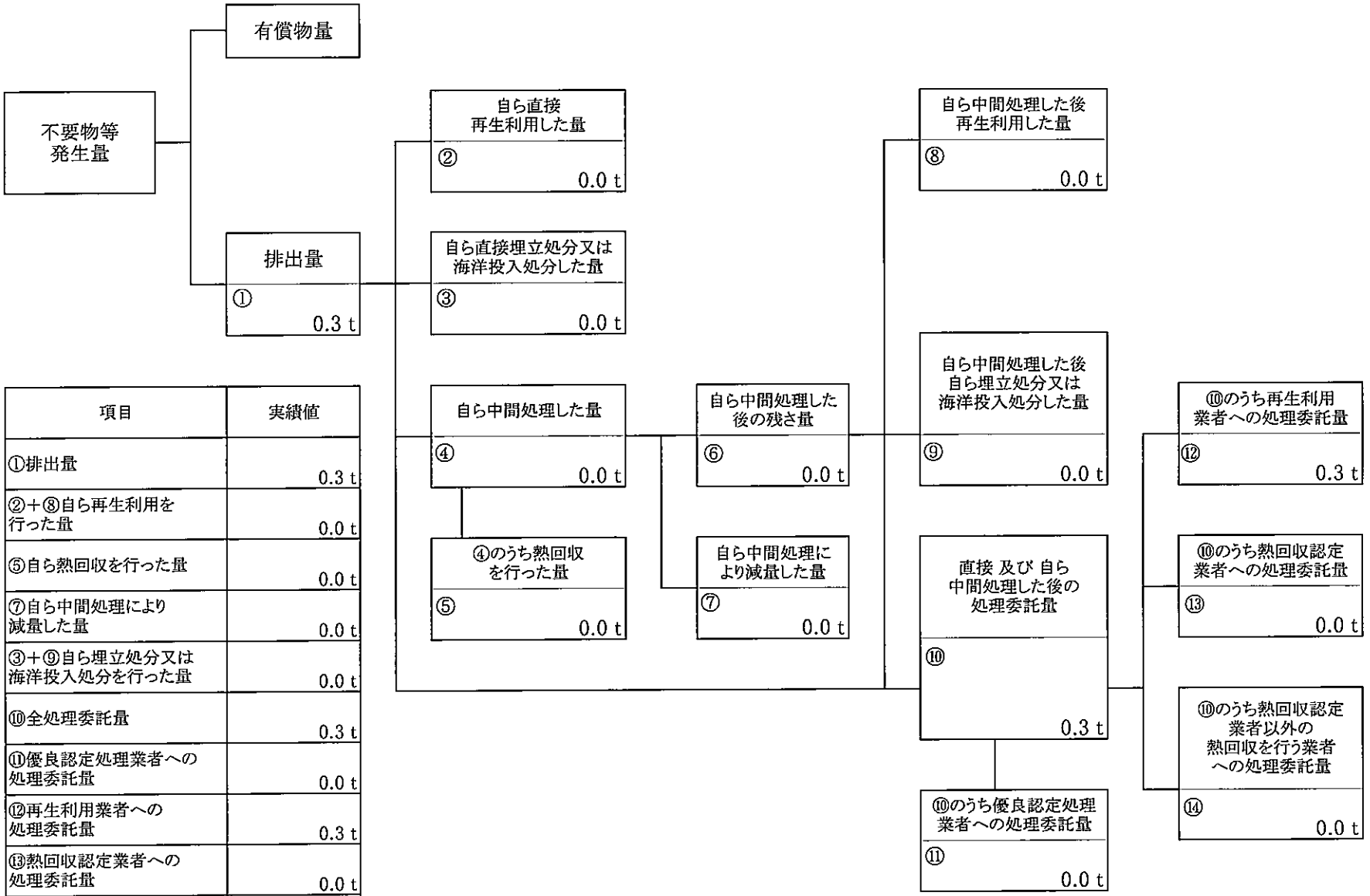


項目	実績値
①排出量	2.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス屑　）

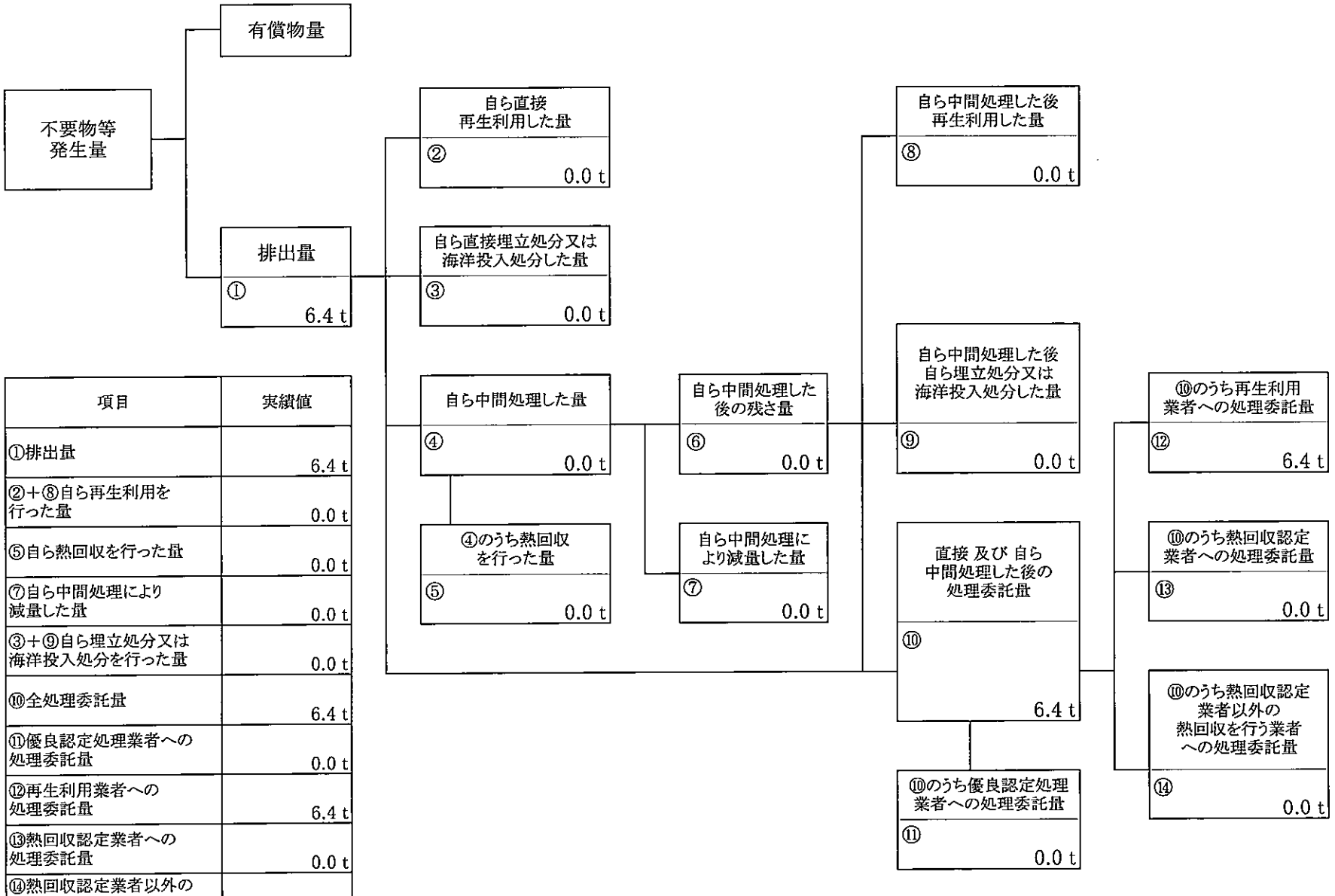


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木屑　　）



項目	実績値
①排出量	6.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第１面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6 年 6 月 24 日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 千葉県山武市横田516

氏 名

ﾏｲｽﾃｨｱﾋｭｰﾏﾝﾘﾚｰｼｮﾝｽﾞ株式会社

千葉PCTセンター

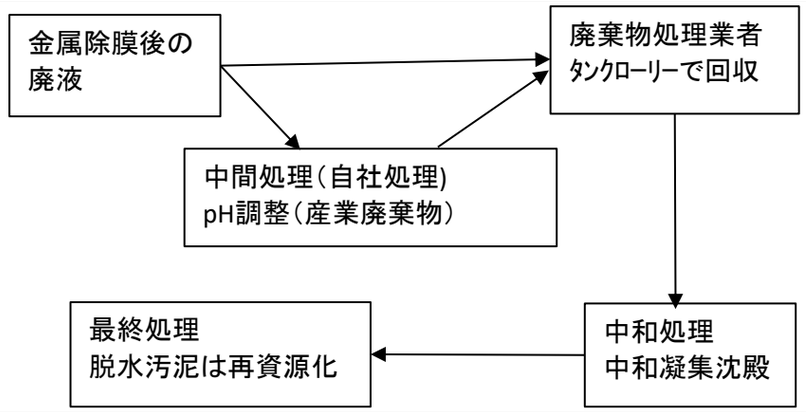
代表取締役 三代 博文

電話番号 ０４７５－８９－０１８２

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	マイスティアヒューマンリレーションズ株式会社千葉PCTセンター
事業場の所在地	千葉県山武市横田５１６
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

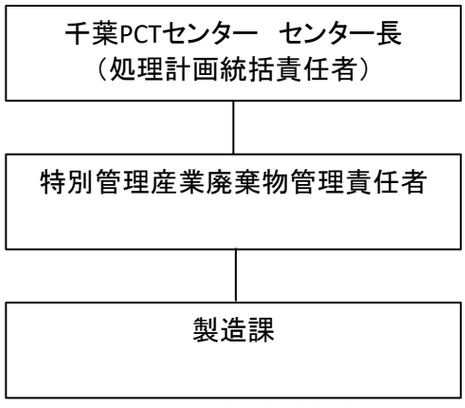
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：製造業、中分類：金属製品製造業、小分類：その他金属製品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 4.2億円（令和5年4月から令和6年3月）
③ 従業員数	46人（正社員 23名、常勤関係職員 23名）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 Ａ列４番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和５　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
排出量	219.2 t	46.9 t

（これまでに実施した取組）

液の交換サイクル延長、ｐH調整設備、特別管理産業廃棄物のみのストックタンクを設けて自社で中間処理を行い、特別管理産業廃棄物の排出を抑制している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
排出量	201.2 t	42.8 t

（今後実施する予定の取組）

生産量減産が予想されるが、引き続き、廃強酸と廃強アルカリとを中和処理してｐH調整を行う。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

特管廃強酸：専用のタンクにより回収し、業者によるリサイクル処分を実施している。
特管アルカリ：専用のタンクにより回収し、業者によるリサイクル処分を実施している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現状を維持する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　令和５　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t

（これまでに実施した取組）
実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t

（今後実施する予定の取組）
今後も再利用は行わない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和５ 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	20.1　t	3.3　t

（これまでに実施した取組）
　廃強酸と廃強アルカリをそれぞれの回収タンクからｐH調整設備に送り、ｐH＝４の調整をして、産業廃棄物処理業者に処理を依頼している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	22　t	3.6　t

（今後実施する予定の取組 ）
引き続き、廃強酸と廃強アルカリとを中和処理してｐH調整を行う。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和５　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後も実施しない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和５　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃強酸	廃強アルカリ
全処理委託量		199.1 t	43.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	199.1 t	22.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
リサイクルが可能な処理を実施している業者に処理委託している。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="3">
<table>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃強酸</td><td>廃強アルカリ</td></tr>
<tr><td colspan="2">全　処　理　委　託　量</td><td>179.2　t</td><td>39.2　t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処　理　委　託　量</td><td>　t</td><td>　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処　理　委　託　量</td><td>179.2　t</td><td>39.2　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処　理　委　託　量</td><td>　t</td><td>　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処　理　委　託　量</td><td>　t</td><td>　t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
今後も、リサイクルが可能な業者に処理委託を継続する。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（　令和５　年度）実績】
<table>
<tr><td>特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>266.1　t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組等）
既に、電子マニフェストを導入済み。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 24日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県山武市横田516
氏 名　マイスティアヒューマンリレーションズ株式会社
千葉PCTセンター
代表取締役　三代 博文
（計画提出時：アルバックテクノ株式会社）
電話番号 0475－89－0182

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和3年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	マイスティアヒューマンリレーションズ株式会社 千葉PCTセンター （目標計画時：アルバックテクノ株式会社 表面処理事業部洗浄部 千葉製造））
事業場の所在地	千葉県山武市横田516
事業の種類	大分類：製造業、中分類：金属製品製造業、小分類：その他金属製品製造
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	245.4 t	全処理委託量	219.4 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	219.4 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	26.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	272.7 t
	前年度	266.1 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

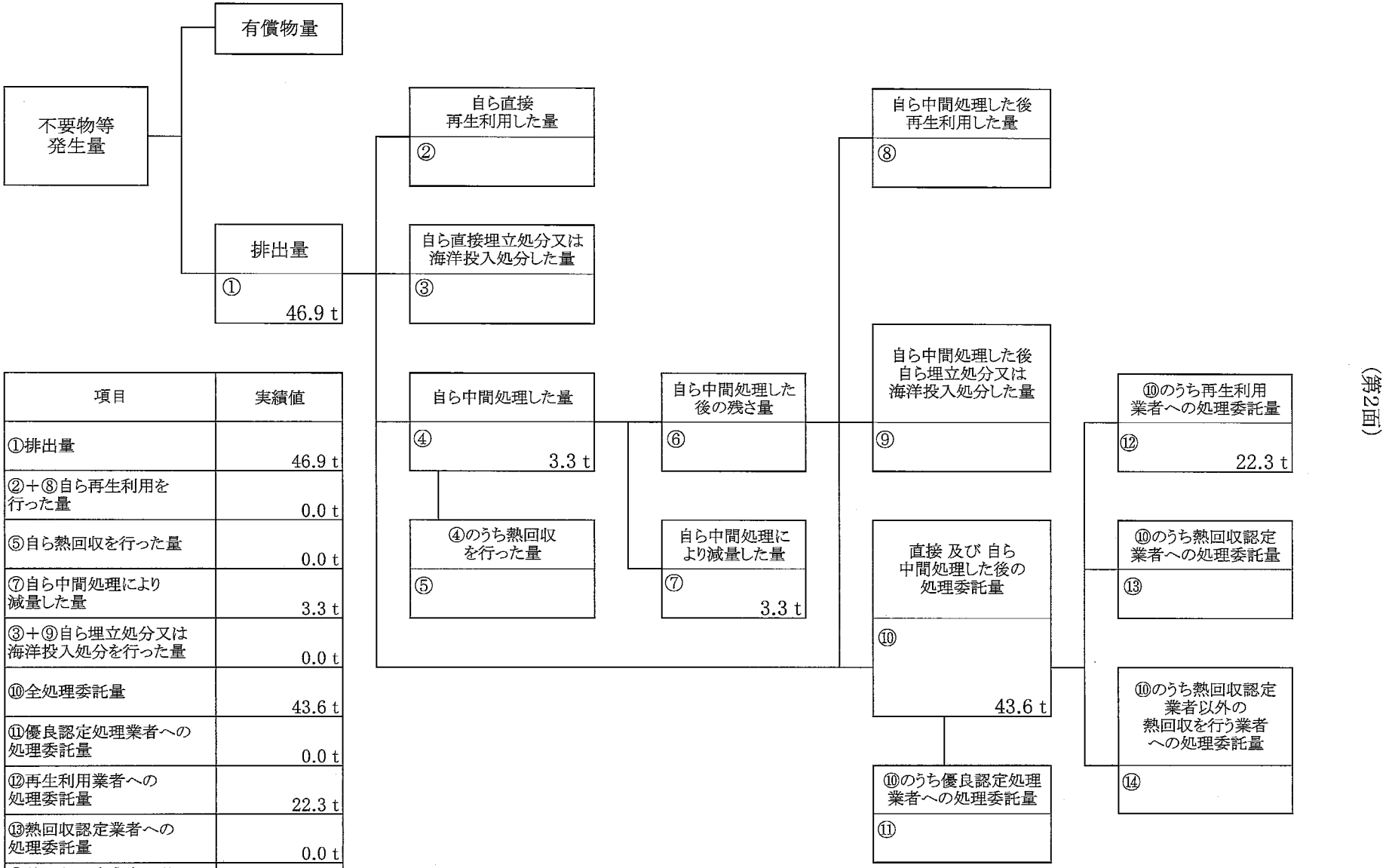
マイスティアヒューマンリレーションズ株式会社として2022年8月より電子マニフェストに切換えすみ

※事務処理欄	

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃アルカリ（強アルカリ）　）

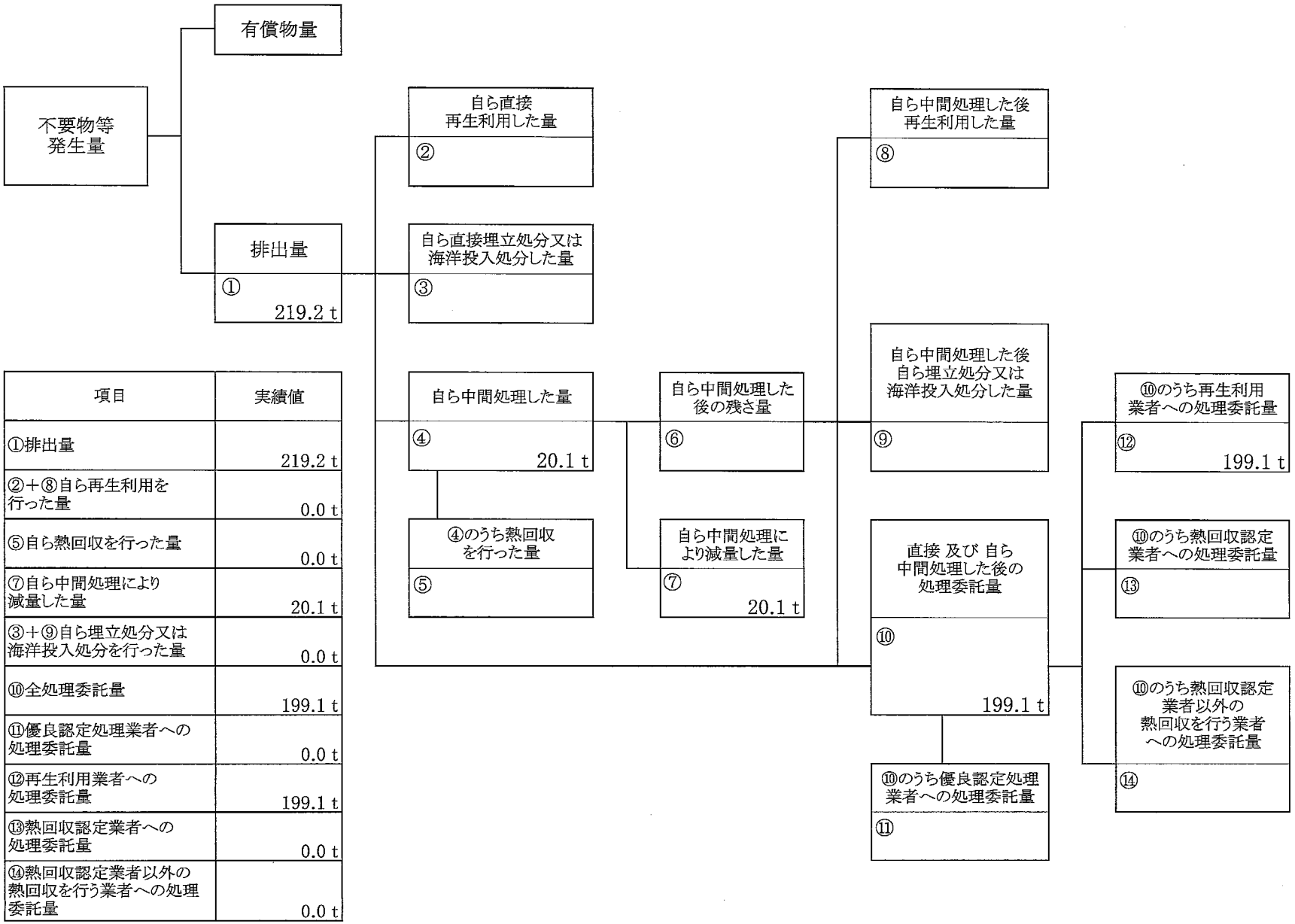


項目	実績値
①排出量	46.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	3.3 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	43.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸（強酸）　）



項目	実績値
①排出量	219.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	20.1 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	199.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	199.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年7月19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　271-0061

住　所　千葉県松戸市栄町西4-1140

法人名　松戸生コンクリート株式会社

代表者　宮川 和紀

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-362-6116

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松戸生コンクリート株式会社　松戸工場
事業場の所在地	千葉県松戸市栄町西4-1140
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　製造業　　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　１０億１５２１万
③従業員数	15人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・運搬車洗車工程　→　回収水　→　再利用 ・運搬車洗車工程　→　コンクリートくず　→　委託業者

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙(管理体制)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	4944.61 t	t
	（これまでに実施した取組） 工場及び協同組合から、ユーザーへの残コンクリート、戻りコンクリート削減のお願い。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	5000 t	t
	（今後実施する予定の取組） ユーザーに対し、戻りコン、残コンの削減のお願い。再生骨材利用のユーザーへのＰＲ		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリートくず	
全処理委託量		4944.61 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	4944.61 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

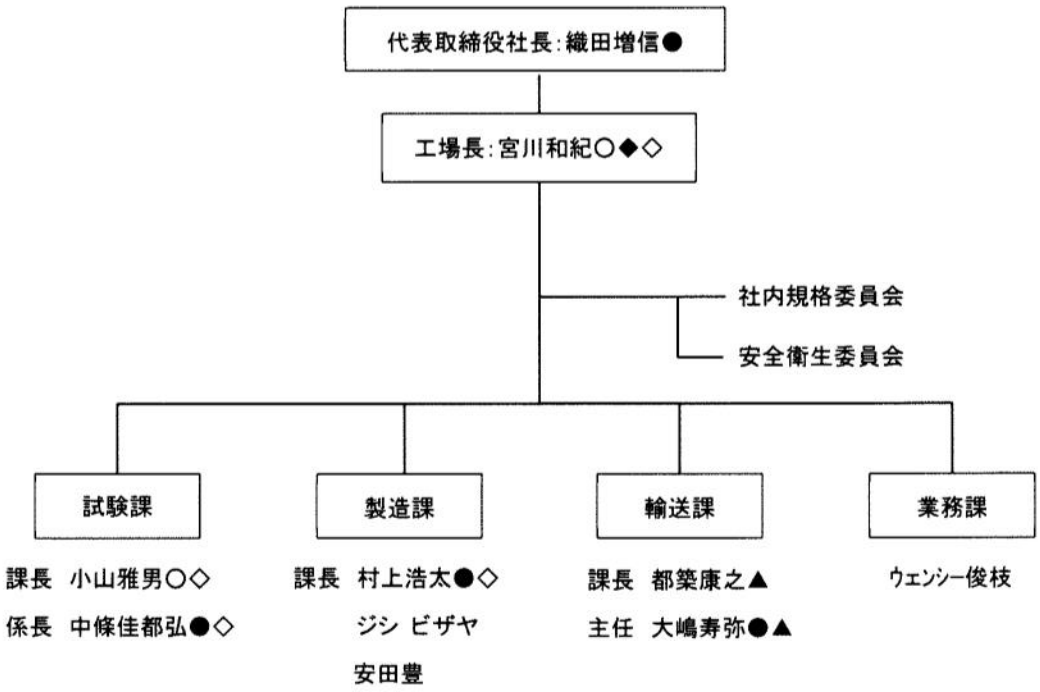
（これまでに実施した取組）

契約取り消し生コンクリートの実施による、産業廃棄物の減少化。
残コンクリートの削減へのお願い

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>5000 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>5000 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
ユーザーに対し、戻りコンクリート等の削減のさらなるお願い。
再生骨材の利用の促進。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

2. 工場組織図



資格者	
◆品質管理責任者(1 名)	○コンクリート主任技士(2 名)
◇品質管理責任者有資格者(4 名)	●コンクリート技士(4 名)
▲運行管理者(2 名)	

3. 工場設備の概要

3.1. バッチングプラント

a) プラント	光洋機械産業株式会社
b) 操作盤	LIBRA α
c) 操作方式	全自動コンピューター方式
d) 自動計量装置	マイクロプロセッサコントロール
e) ボリューム変換装置	全自動方式(0.01～3.0 m³)
f) 表面水補正装置	0.0～19.9%(0.1%単位)
g) 自動計量記録装置	パシフィックシステム㈱
h) 計量値伝達、計量表示	伝達(ロードセル方式)、表示(デジタル表示)
i) ミキサ	光洋機械産業株式会社 3,300 ㍑ 強制二軸ミキサ MEBIUS-3300 公称能力 297 m³/h (実質 130 m³)
j) スランプコントロールシステム	パシフィックシステム㈱

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年7月19日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　271-0061

住所 千葉県松戸市栄町西4-1140

法人名 松戸生コンクリート株式会社

代表者 宮川 和紀

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-362-6116

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	松戸生コンクリート 株式会社 松戸工場
事業場の所在地	千葉県松戸市栄町西4-1140
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

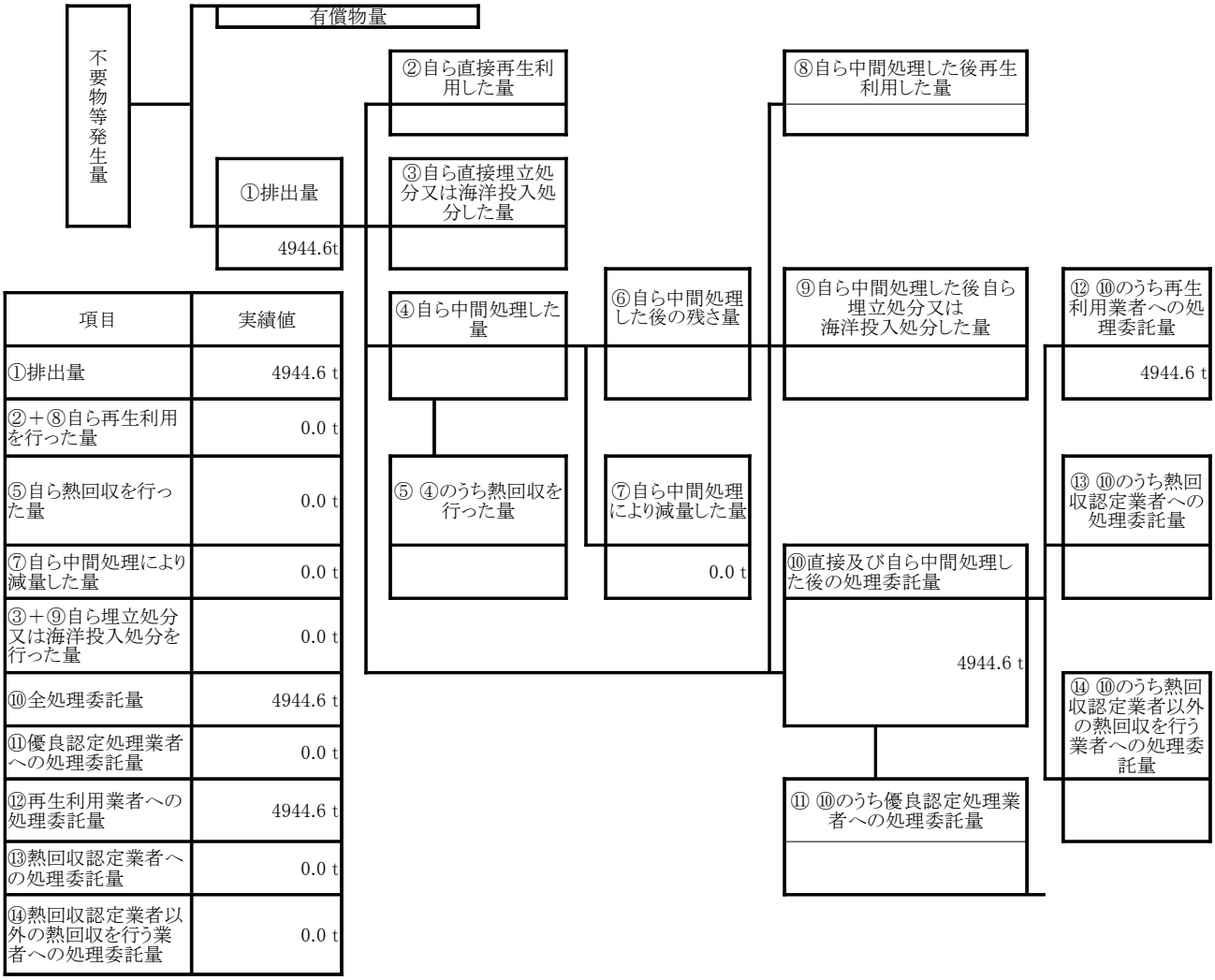
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5000 t	全処理委託量	5000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



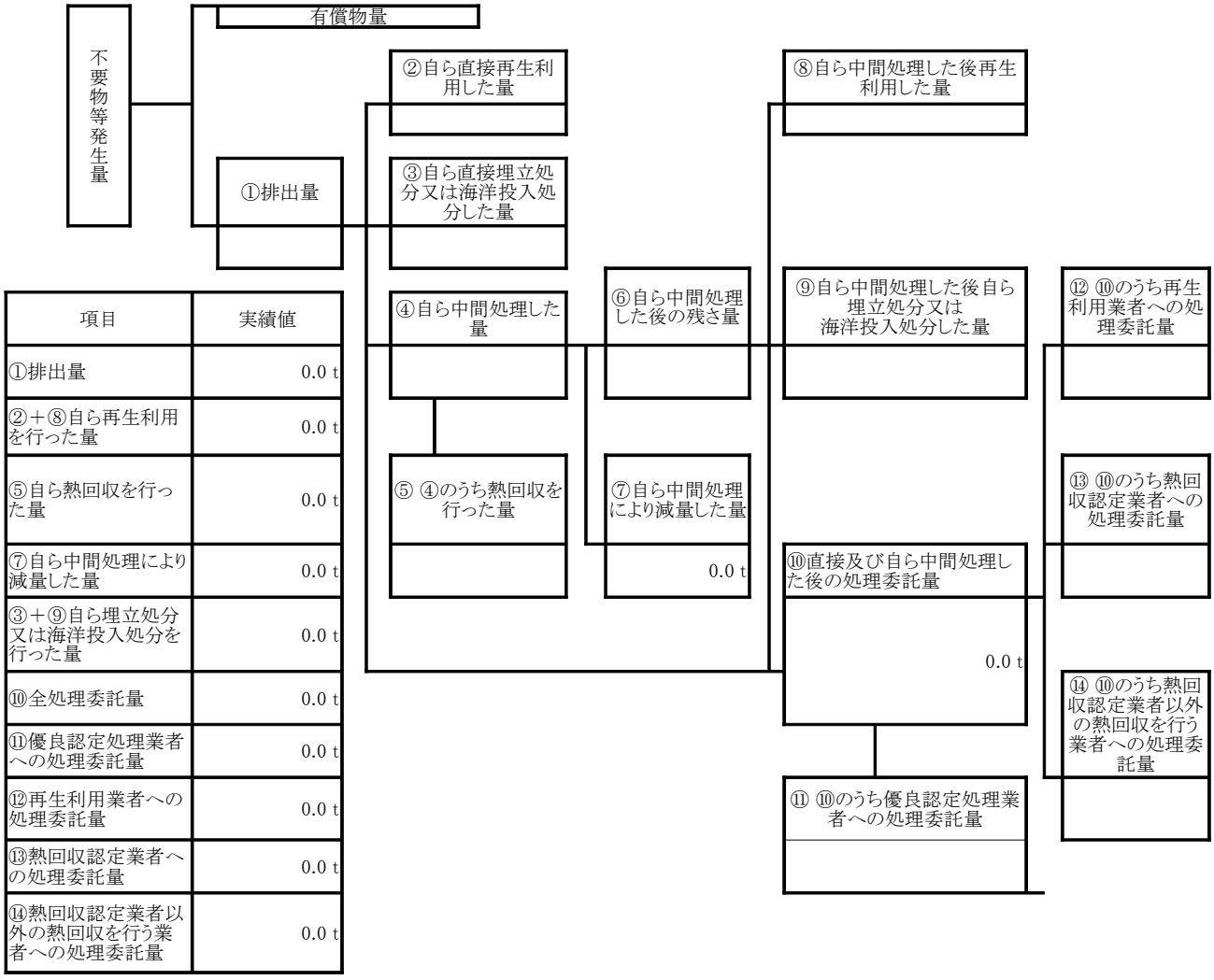
項目	実績値
①排出量	4944.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4944.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4944.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



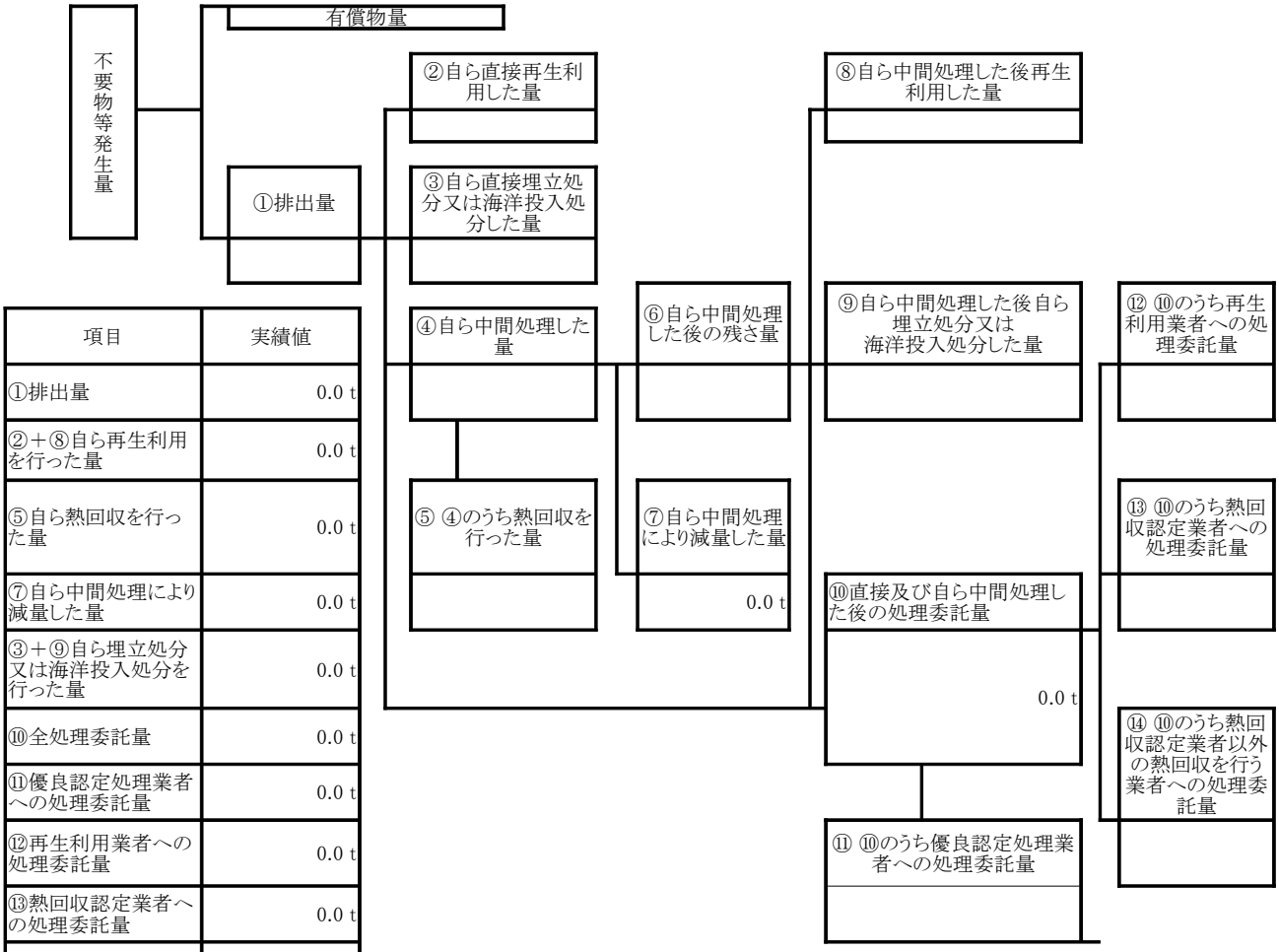
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

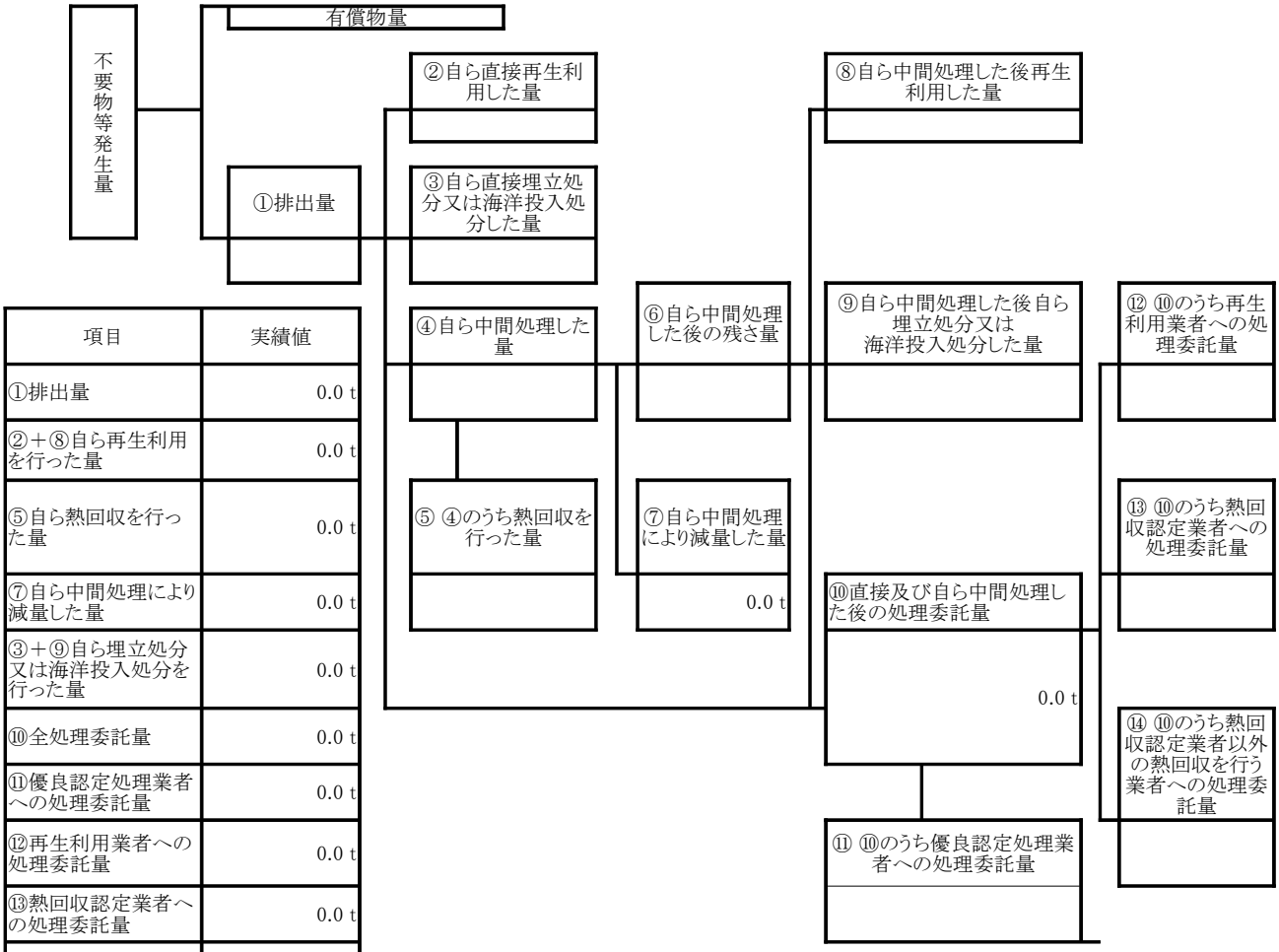


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

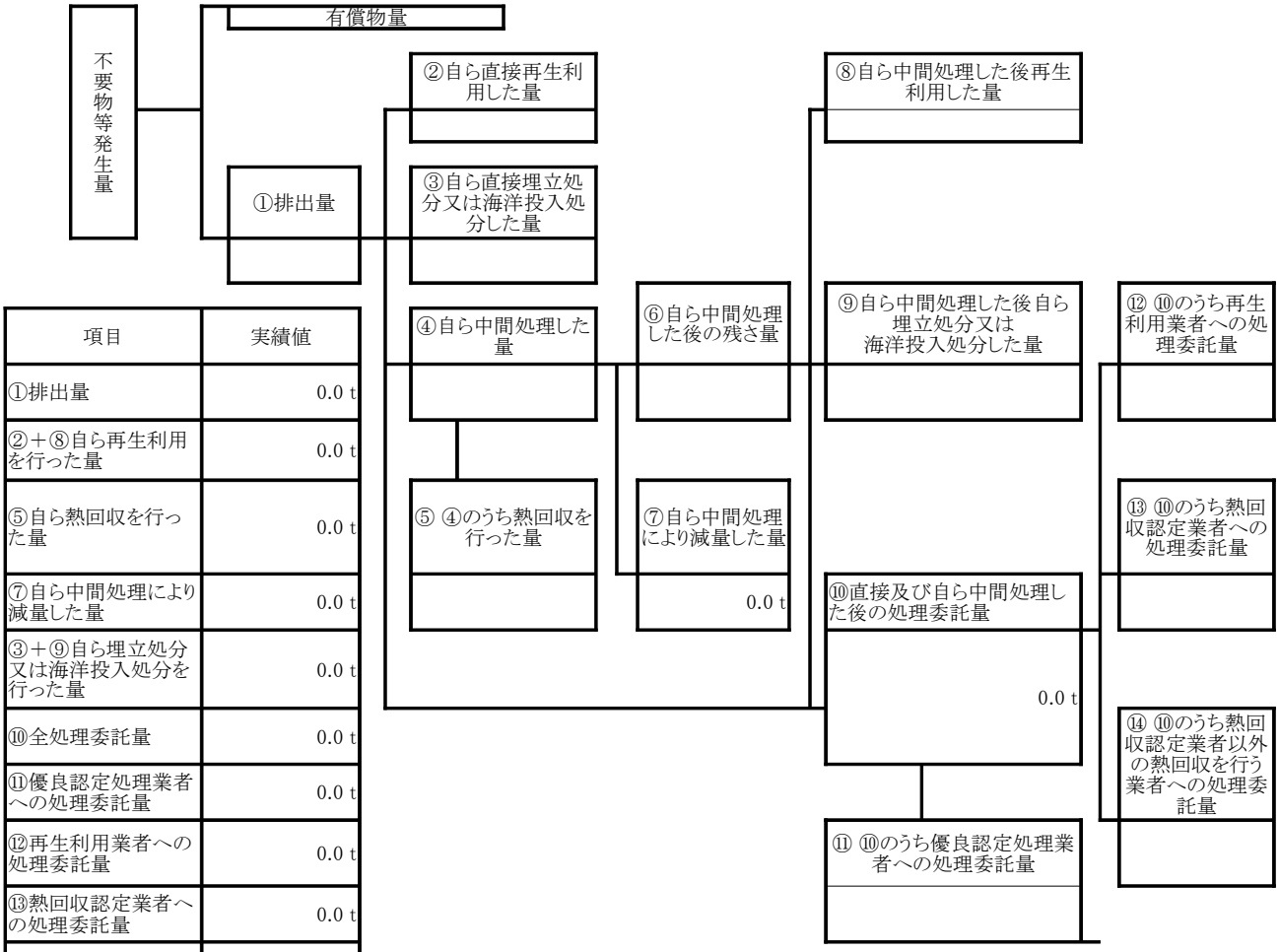


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

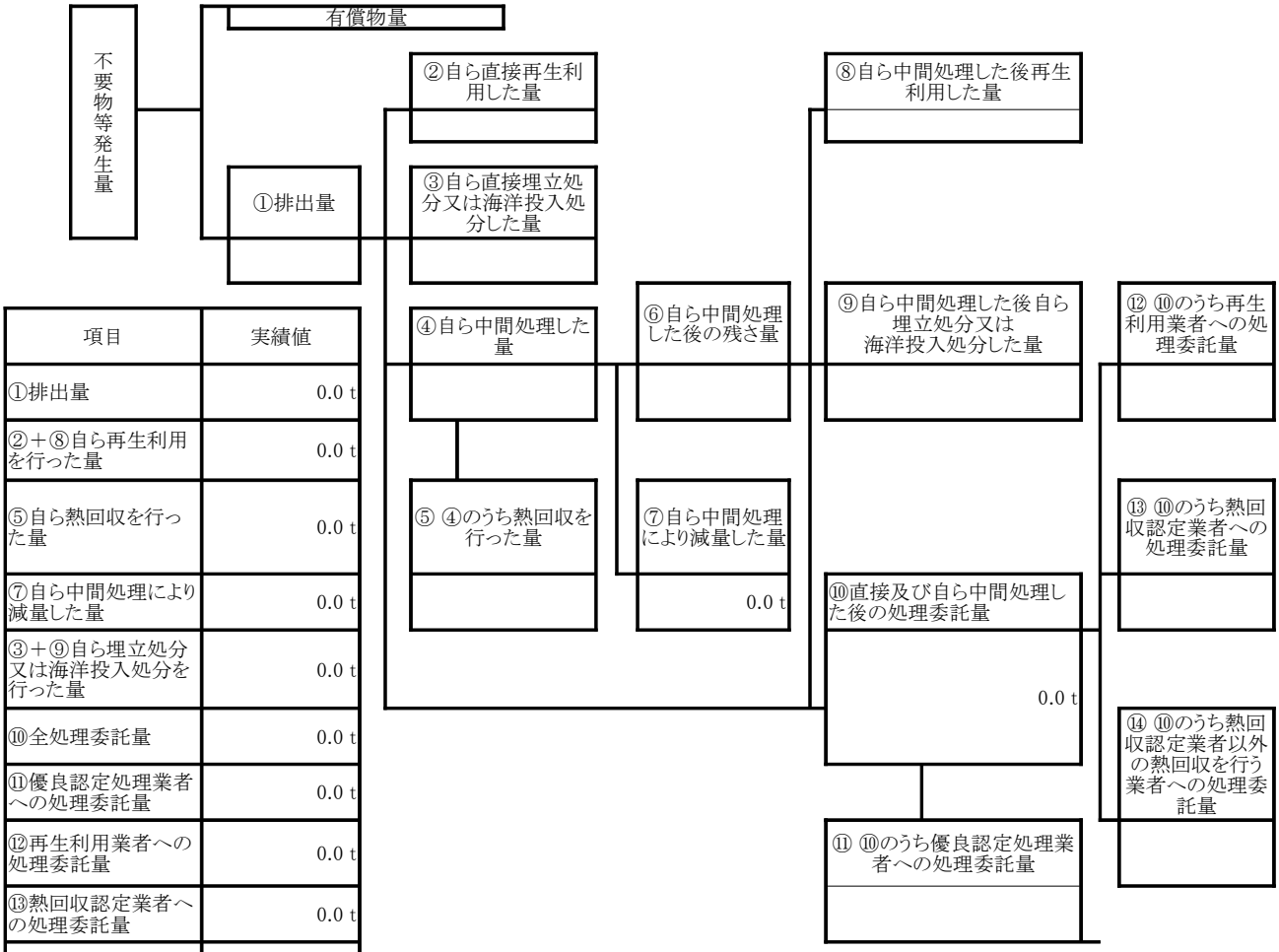


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



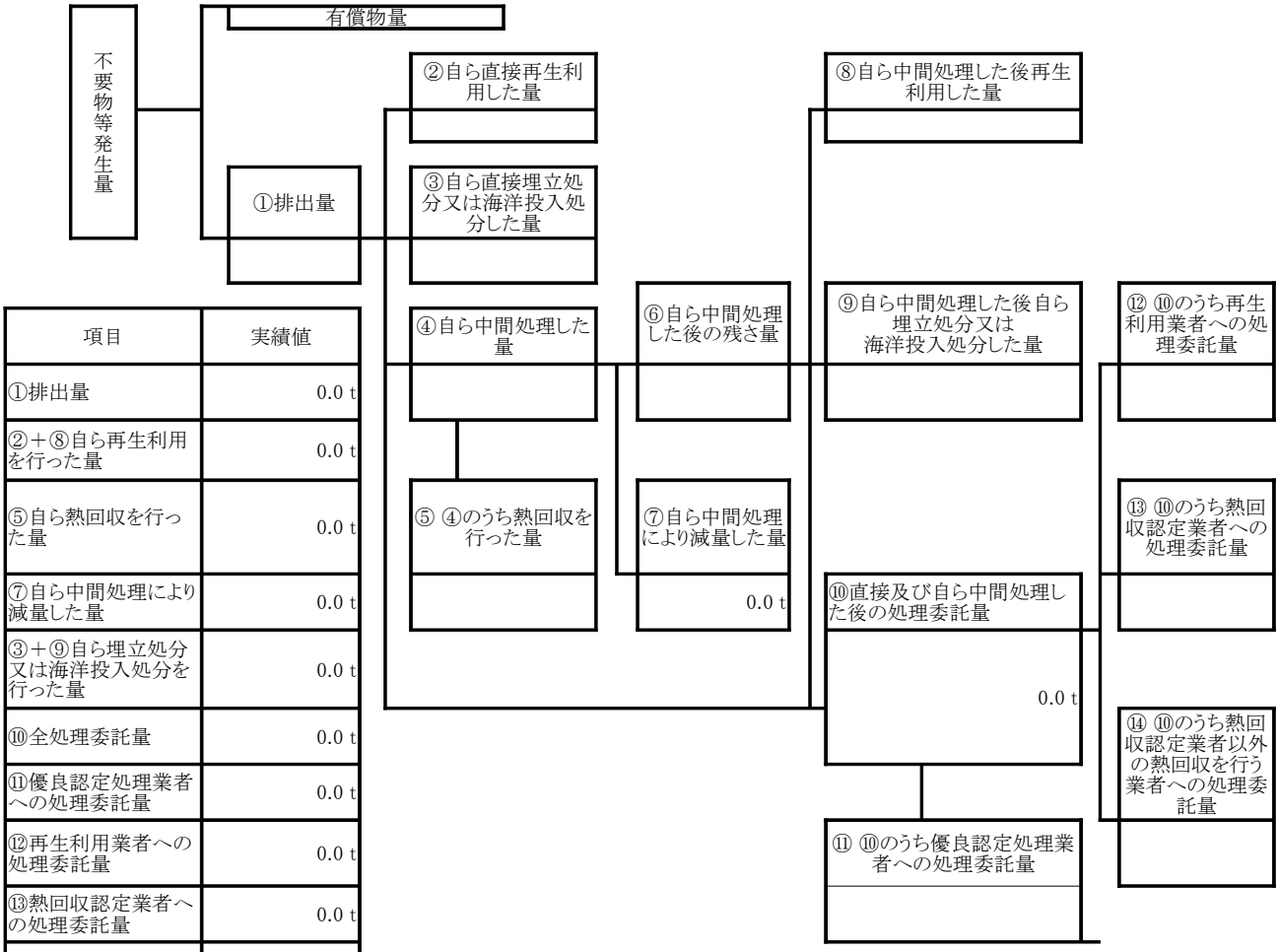
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

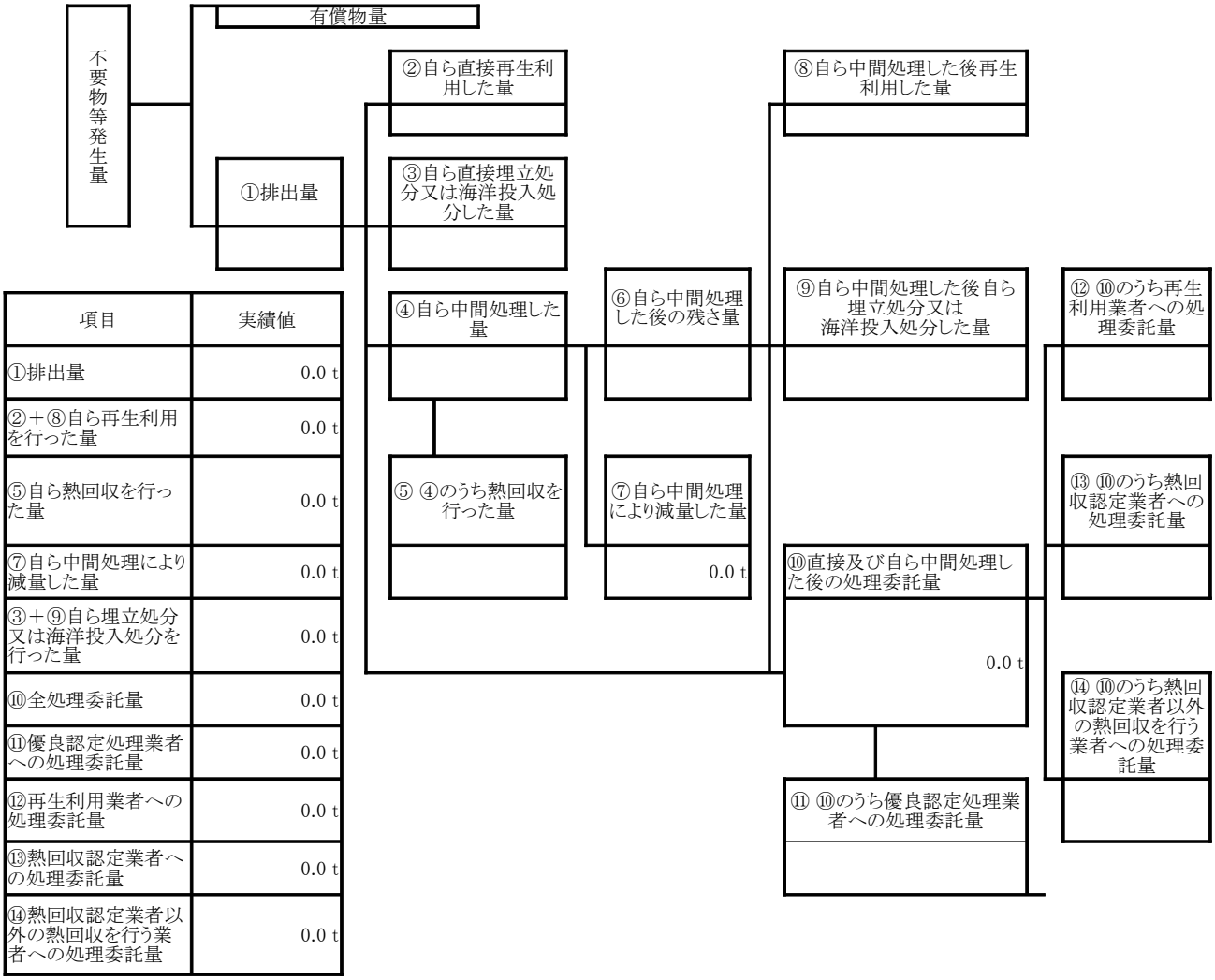


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

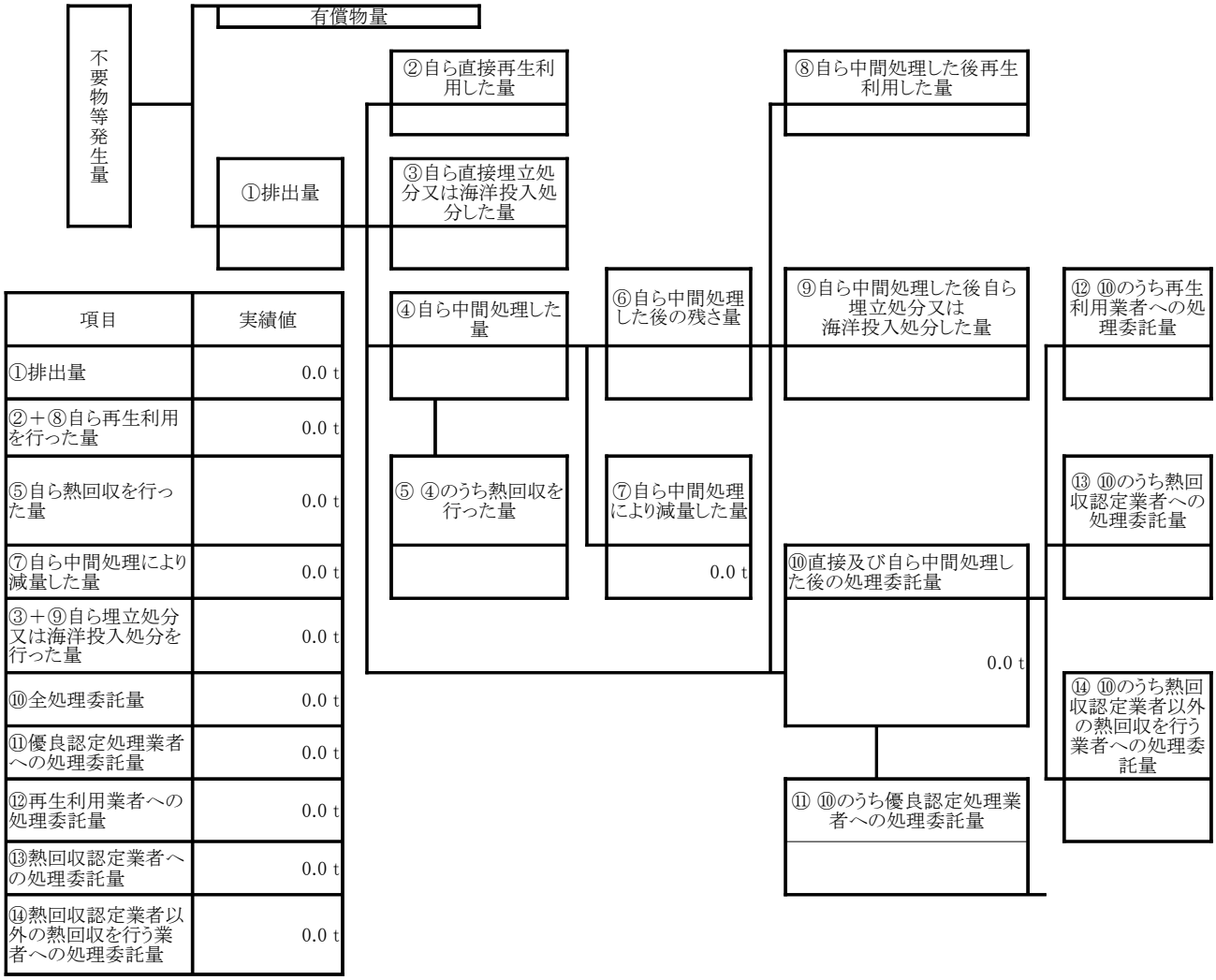


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



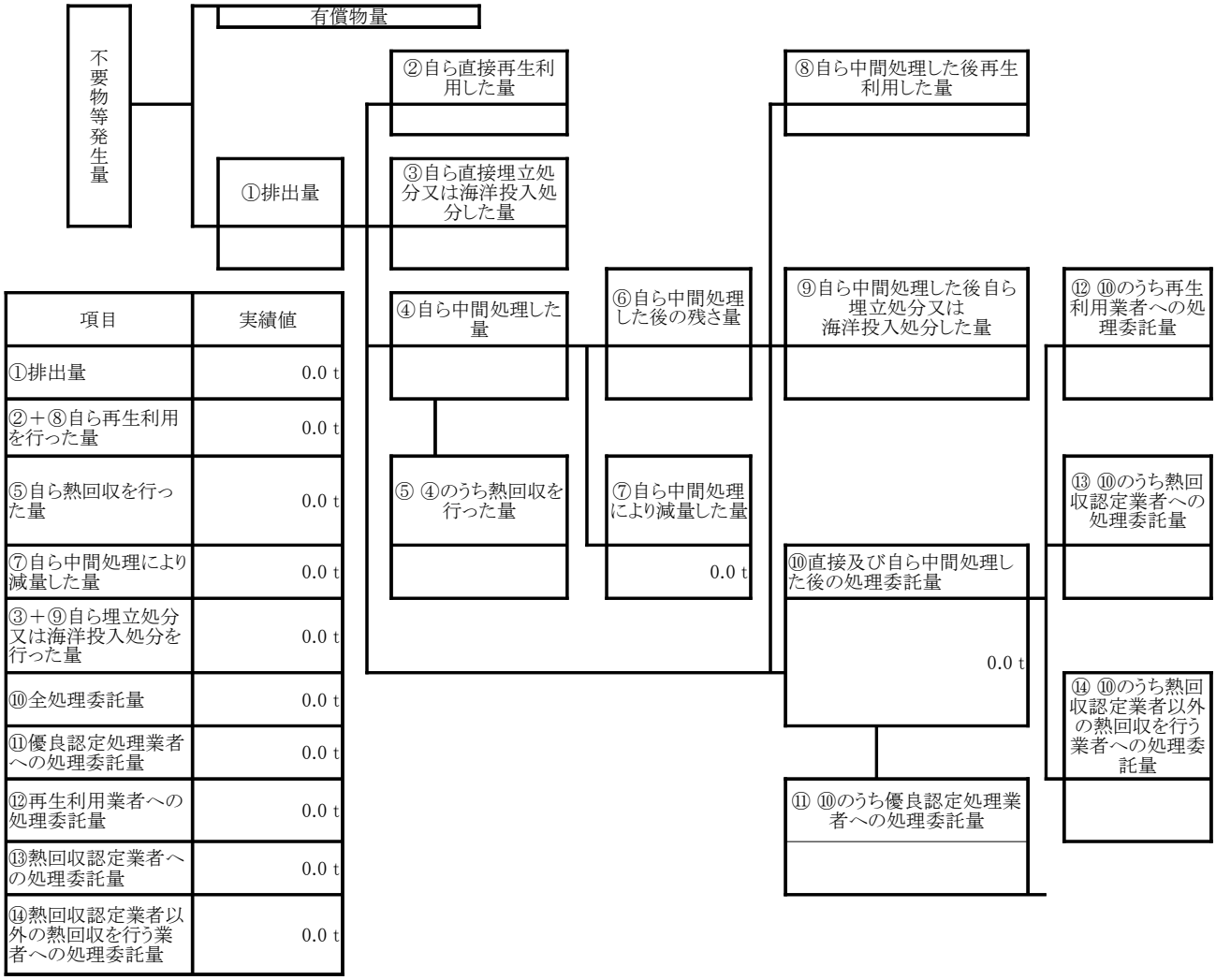
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

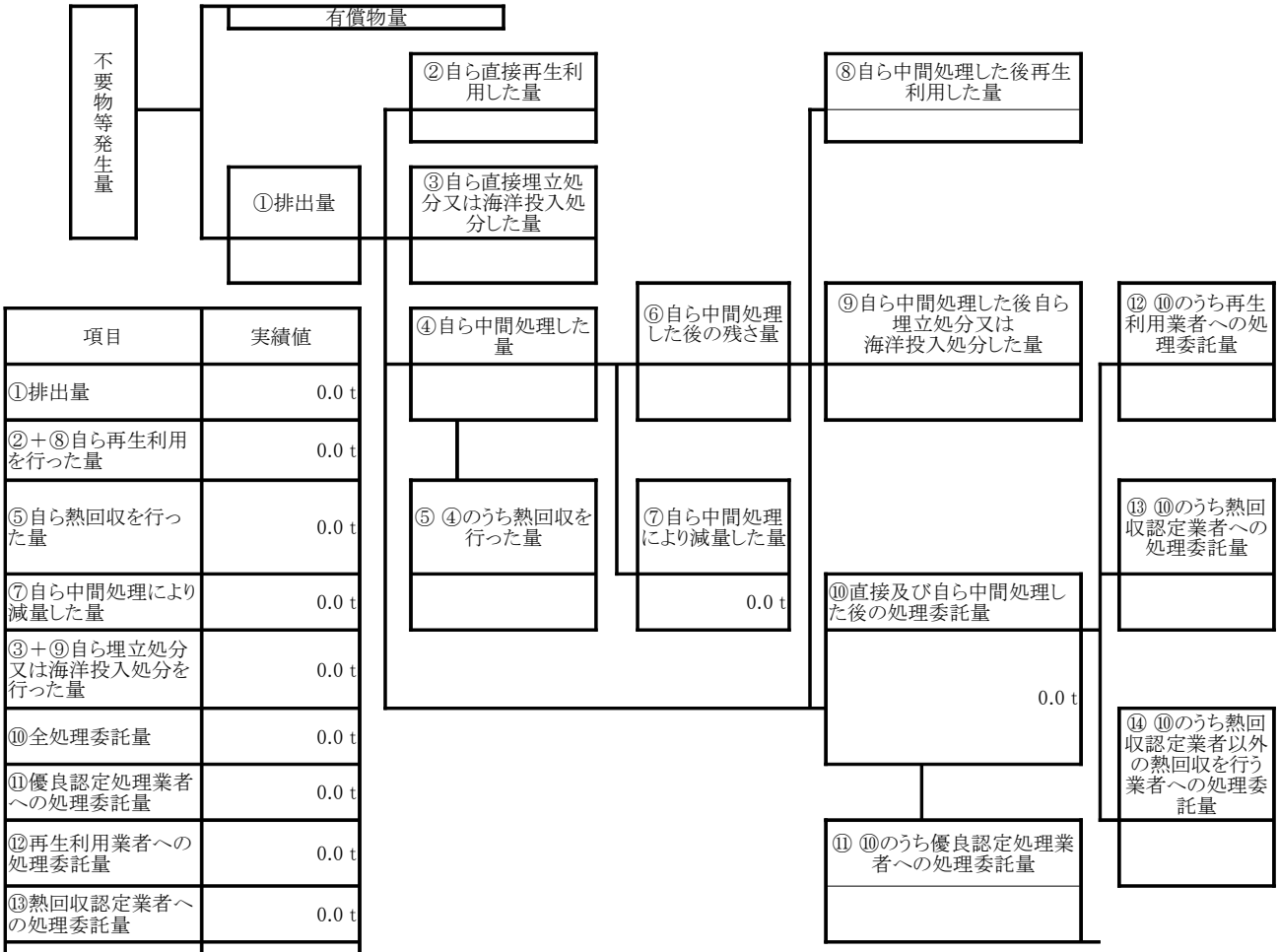


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



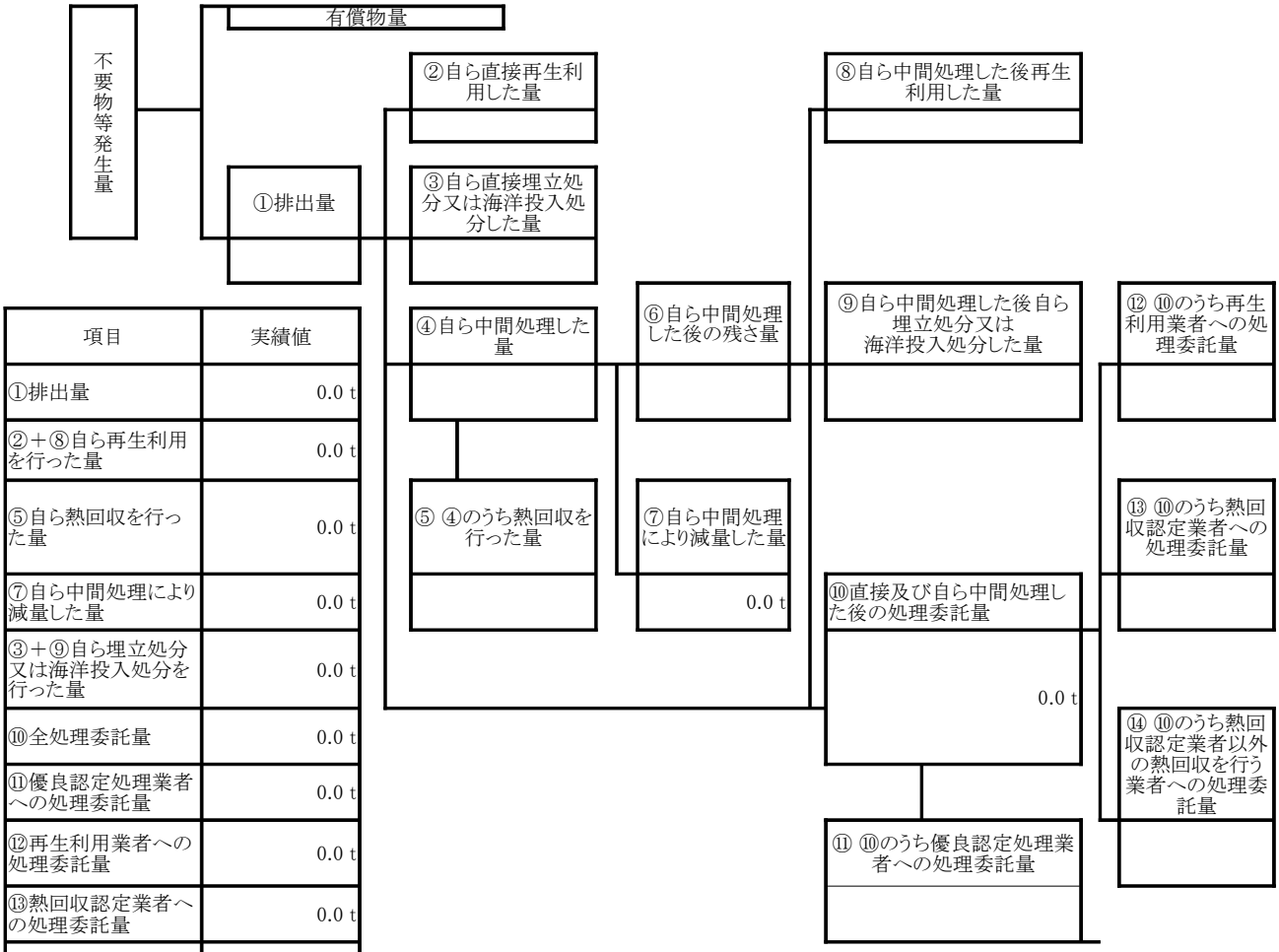
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



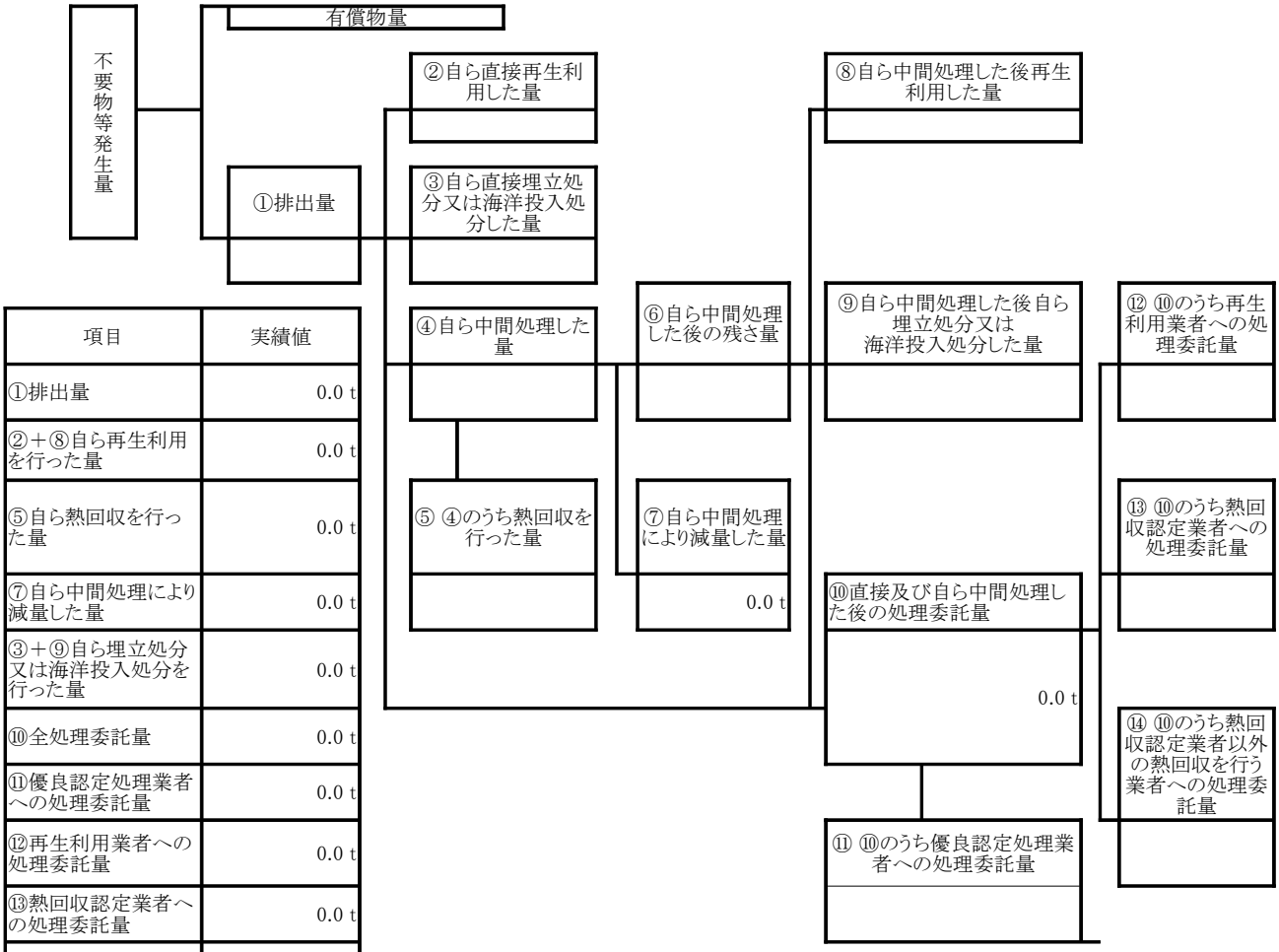
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

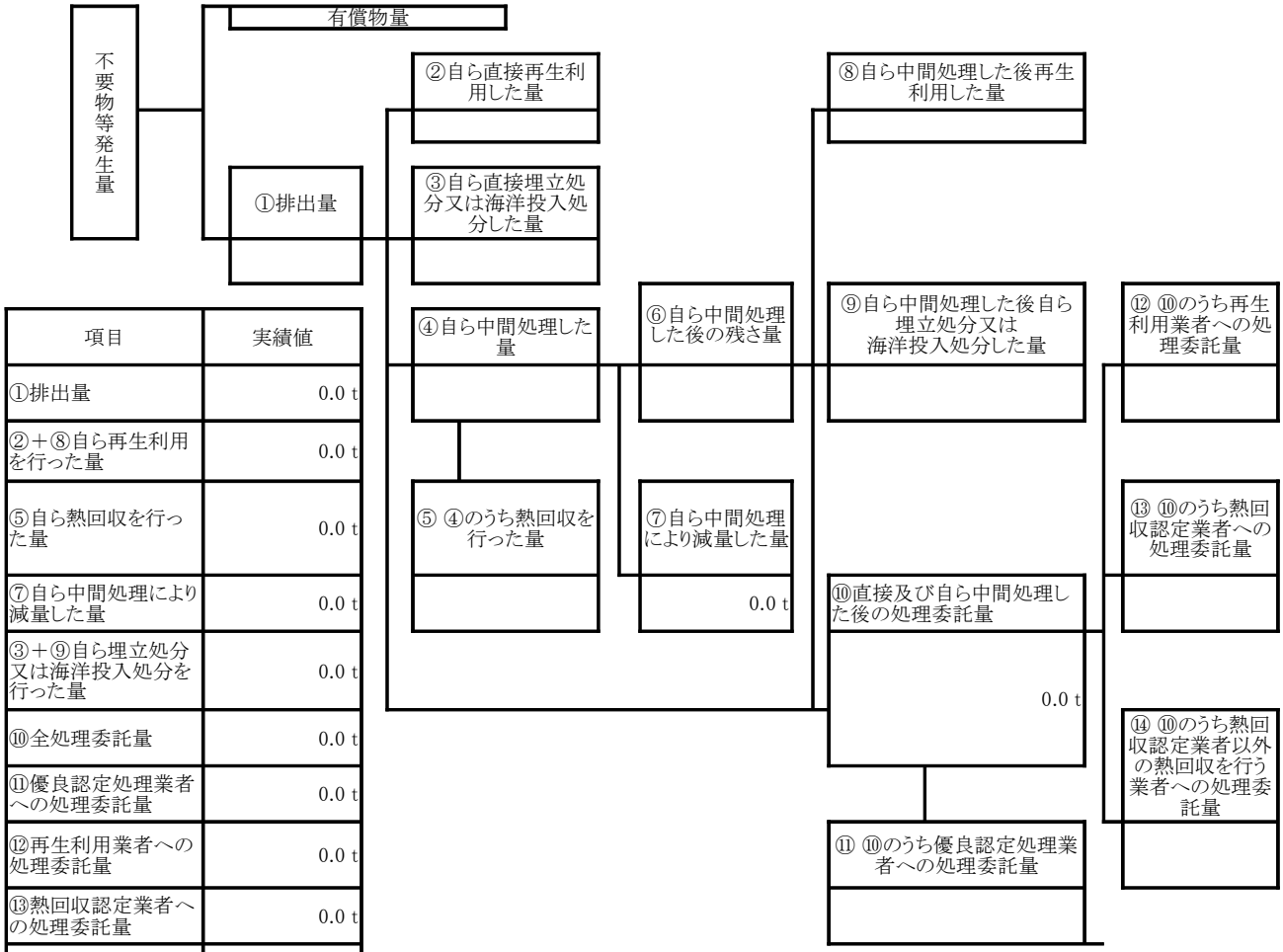


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



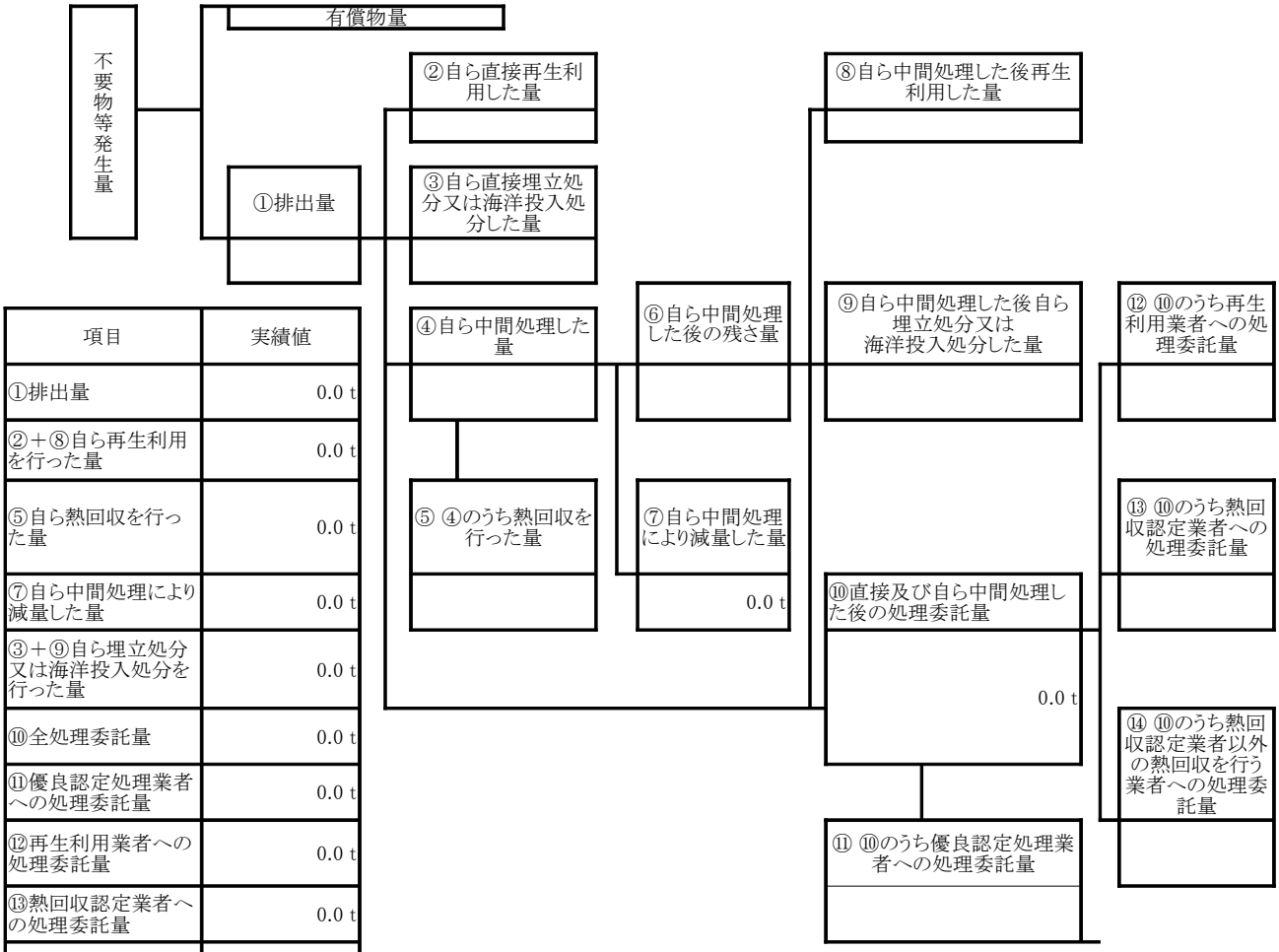
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

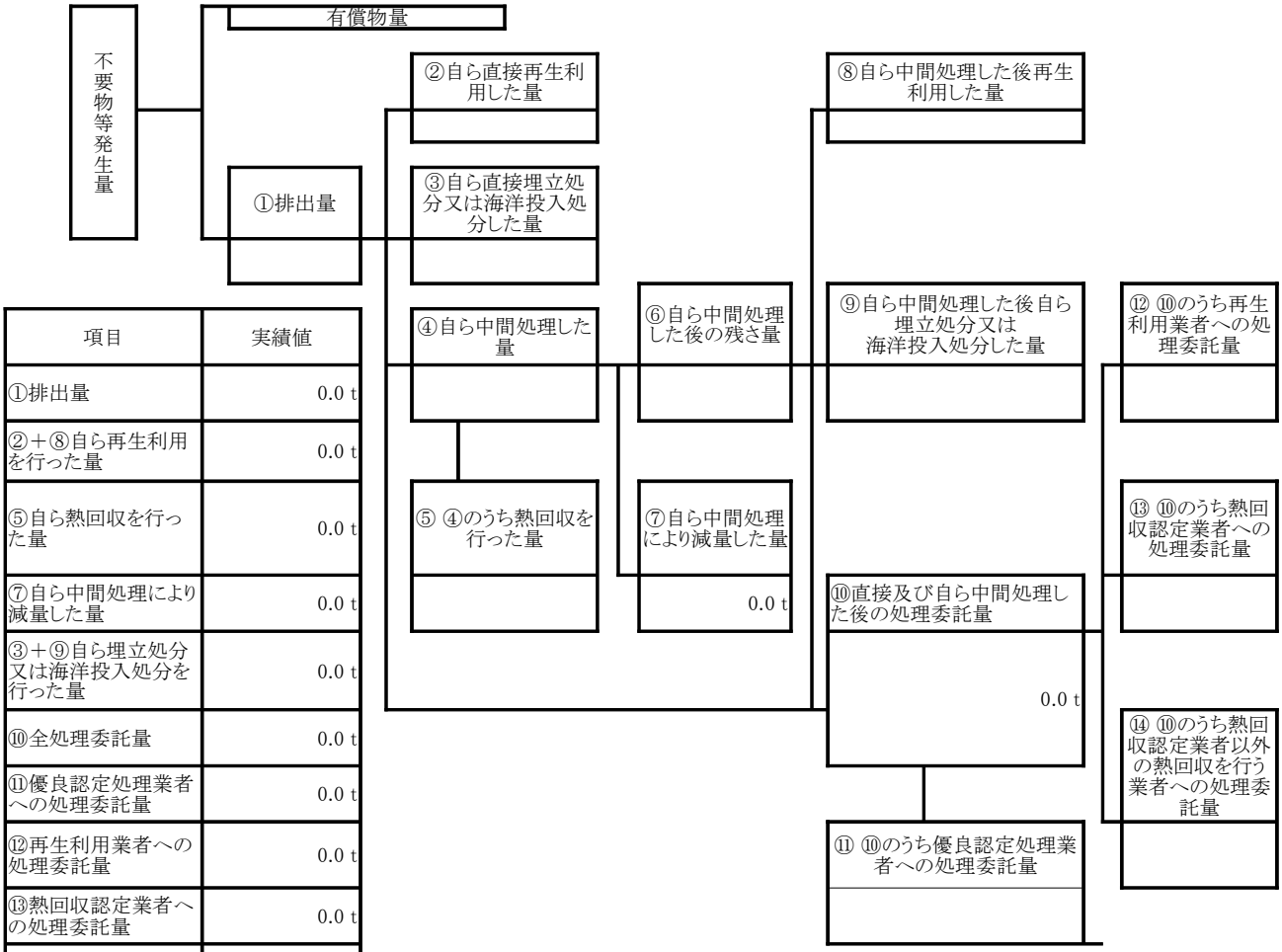


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

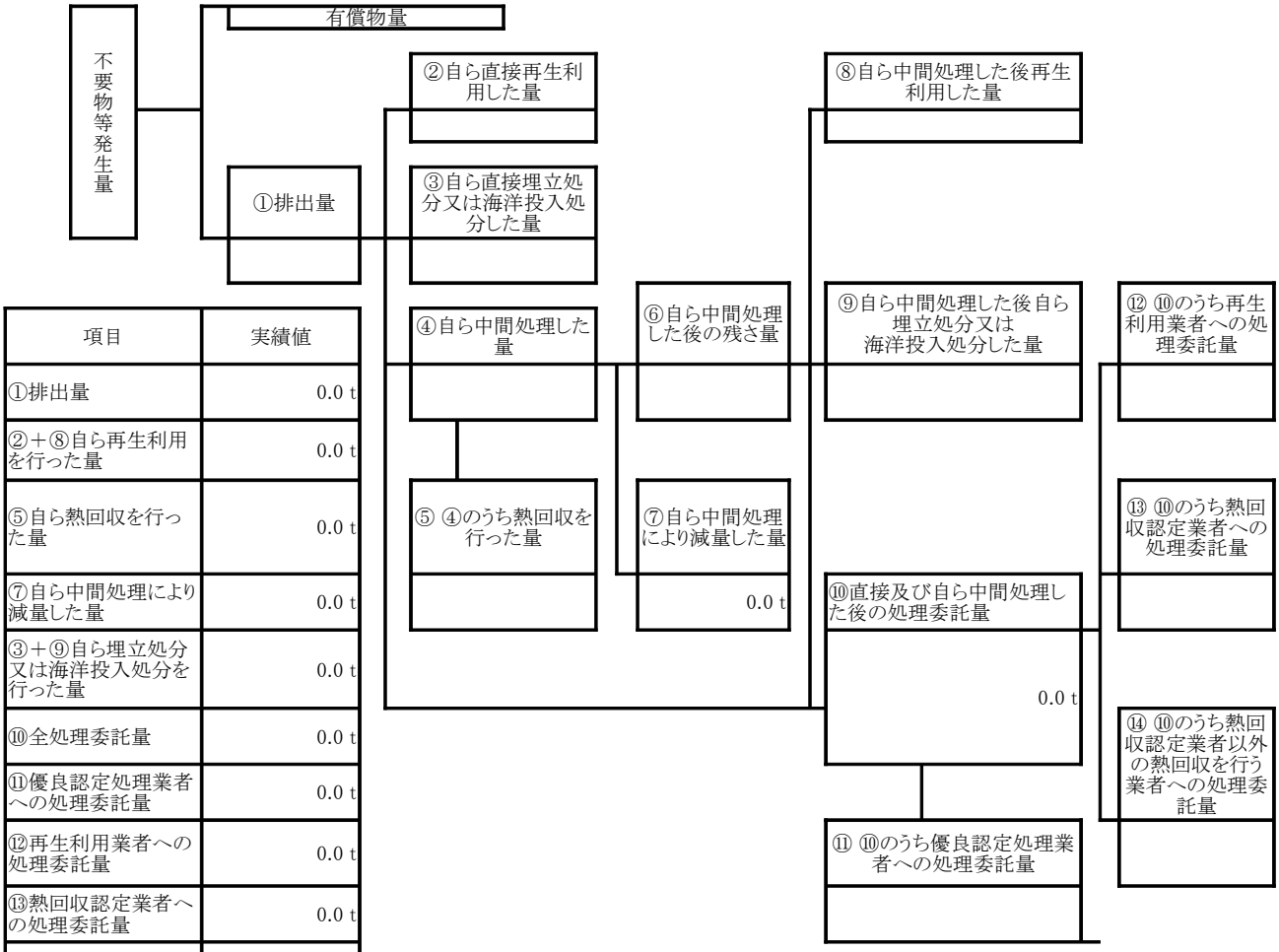


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



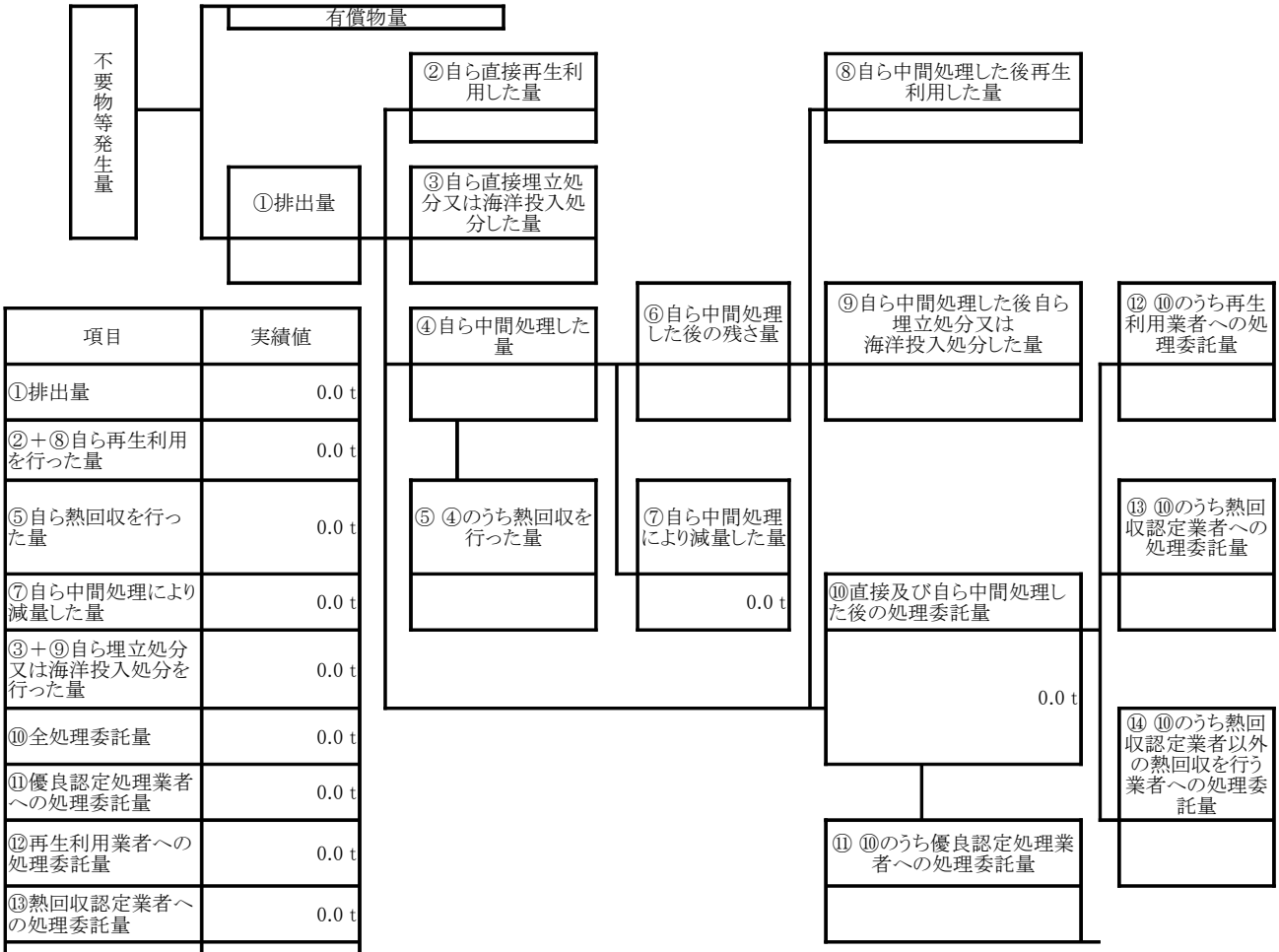
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

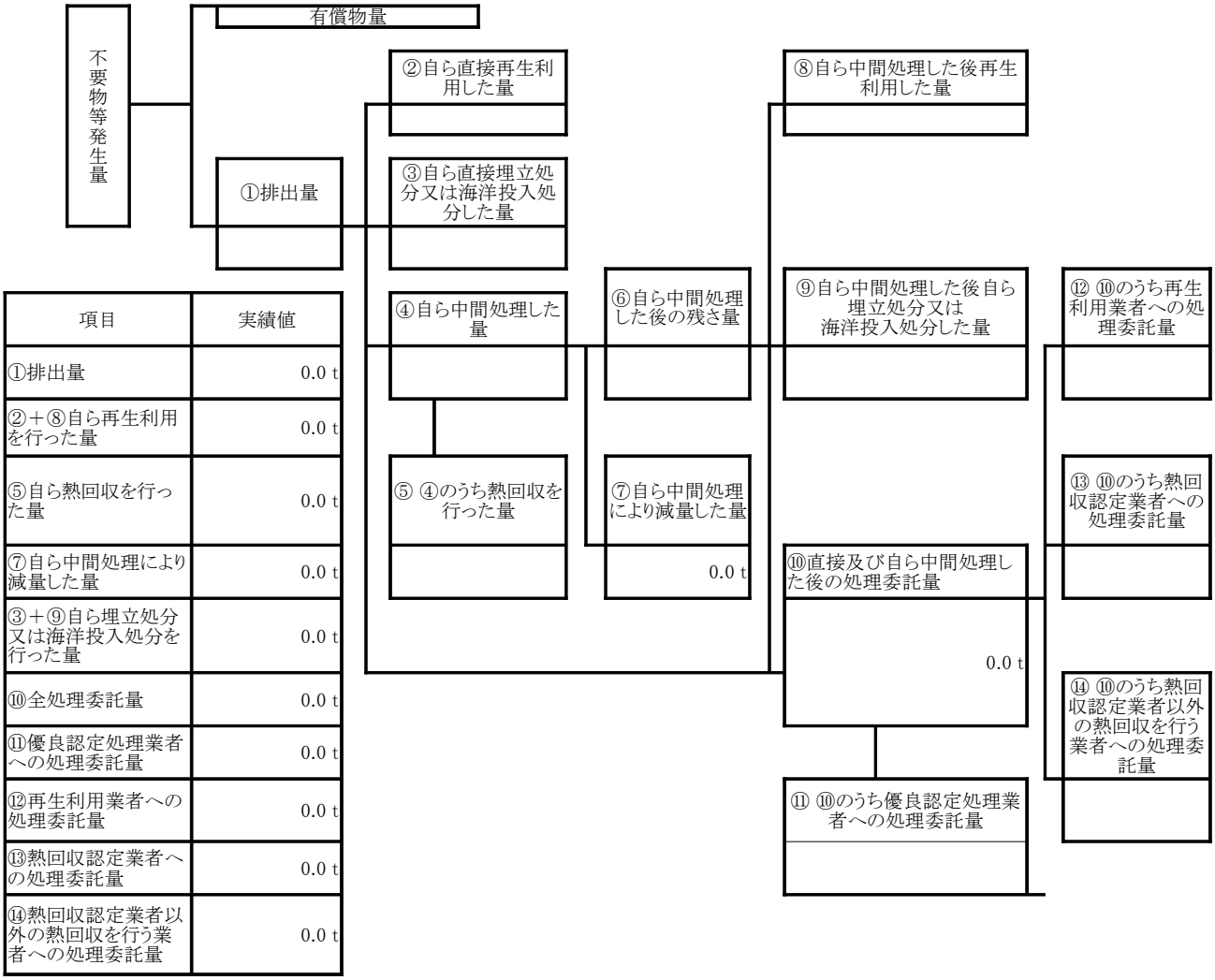


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

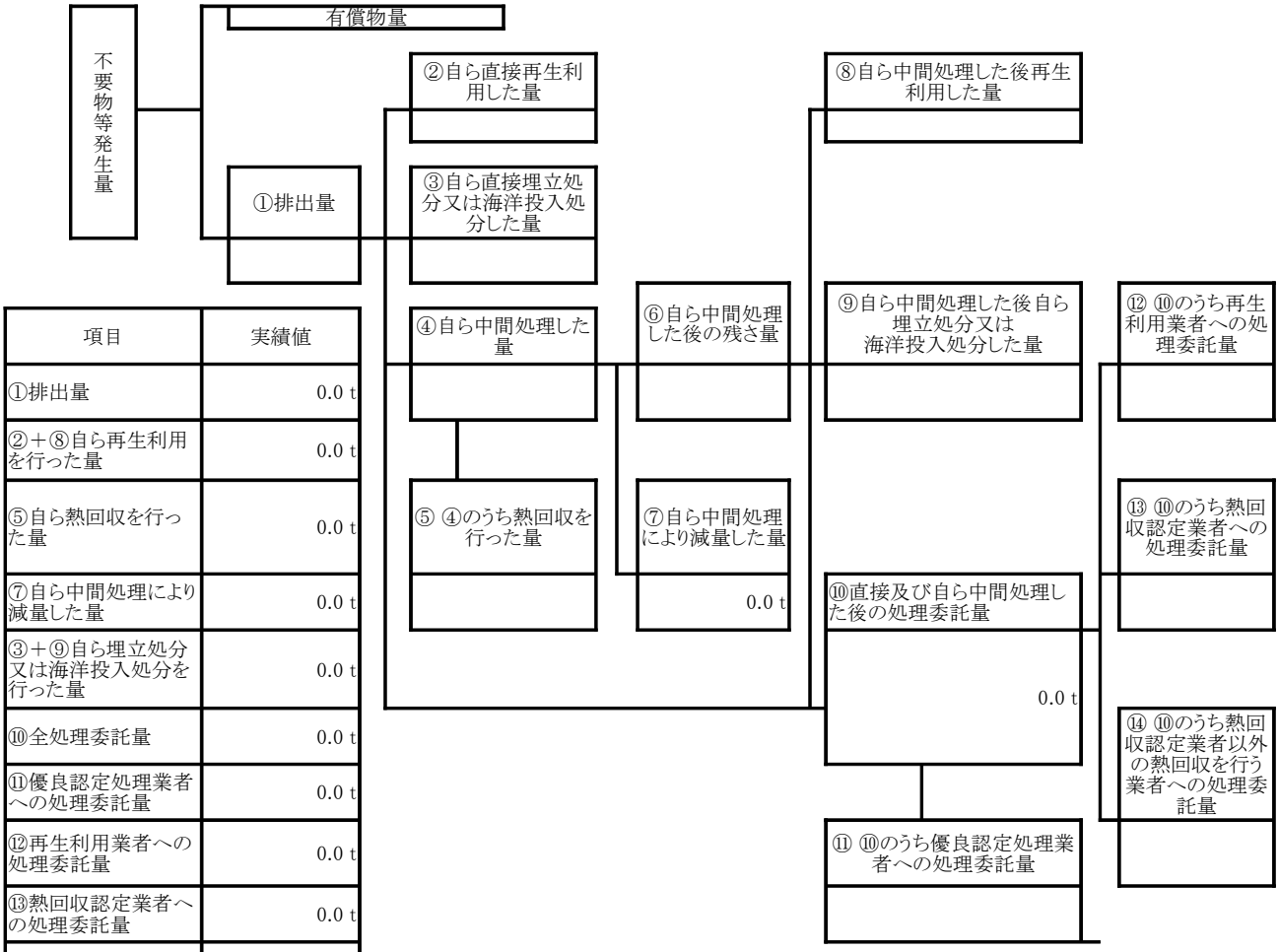


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年7月17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　270-2231

住　所　千葉県松戸市稔台４２５

法人名　松戸生コンクリート株式会社

代表者　織田 増信

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-365-2191

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松戸生コンクリート株式会社　常磐工場
事業場の所在地	千葉県松戸市稔台４２５
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　製造業　　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額　９億円
③従業員数	正社員１１名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
排出量	6528 t	t

（これまでに実施した取組）

戻りコンクリートの有償化制度に則り、納入先に対して注意喚起を継続していく。戻りコンクリートの発生量が多い納入先については、個別に生コンクリート協同組合を通じて指導してもらう。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
排出量	6000 t	t

（今後実施する予定の取組）

戻りコンクリートの有償化制度に則り、納入先に対して注意喚起を継続していく。戻りコンクリートの発生量が多い納入先については、個別に生コンクリート協同組合を通じて指導してもらう。まだ有償化を実施していない協同組合については、今年度有償化する予定である。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

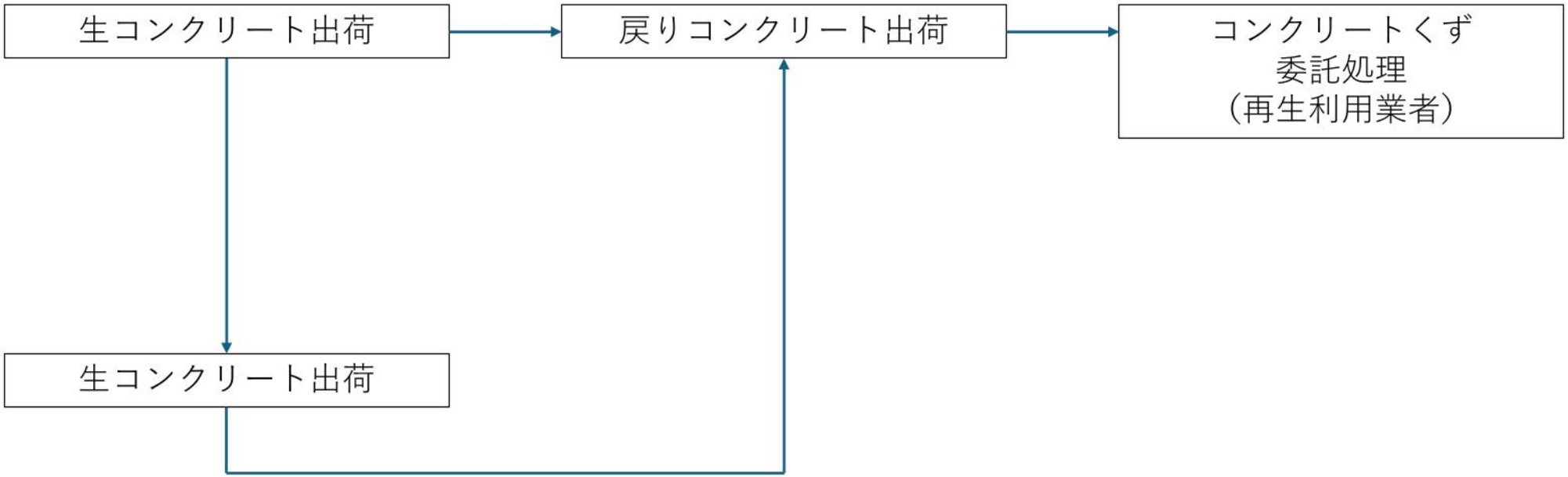
産業廃棄物の種類		コンクリートくず	
全処理委託量		6528 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6528 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

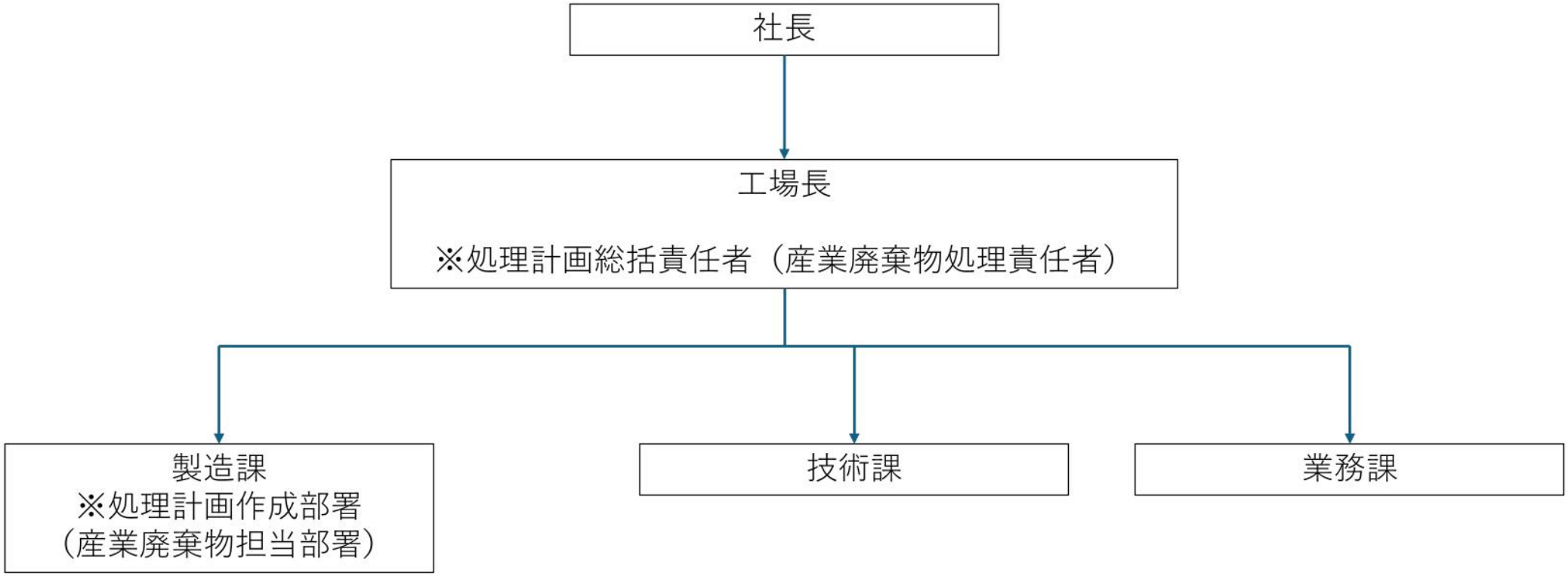
（これまでに実施した取組）

戻りコンクリートの有償化制度に則り、納入先に対して注意喚起を継続していく。戻りコンクリートの発生量が多い納入先については、個別に生コンクリート協同組合を通じて指導してもらう。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>6000 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>6000 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
戻りコンクリートの有償化制度に則り、納入先に対して注意喚起を継続していく。戻りコンクリートの発生量が多い納入先については、個別に生コンクリート協同組合を通じて指導してもらう。まだ有償化を実施していない協同組合については、今年度有償化する予定である。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


生コンクリート出荷
戻りコンクリート出荷
コンクリートくず
委託処理
（再生利用業者）
生コンクリート出荷


社長
工場長
※処理計画総括責任者（産業廃棄物処理責任者）
製造課
※処理計画作成部署
（産業廃棄物担当部署）
技術課
業務課

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年7月17日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　270-2231

住所 千葉県松戸市稔台425

法人名 松戸生コンクリート株式会社

代表者 織田 増信

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-365-2191

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	松戸生コンクリート株式会社 常磐工場
事業場の所在地	千葉県松戸市稔台425
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5000 t	全処理委託量	5000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

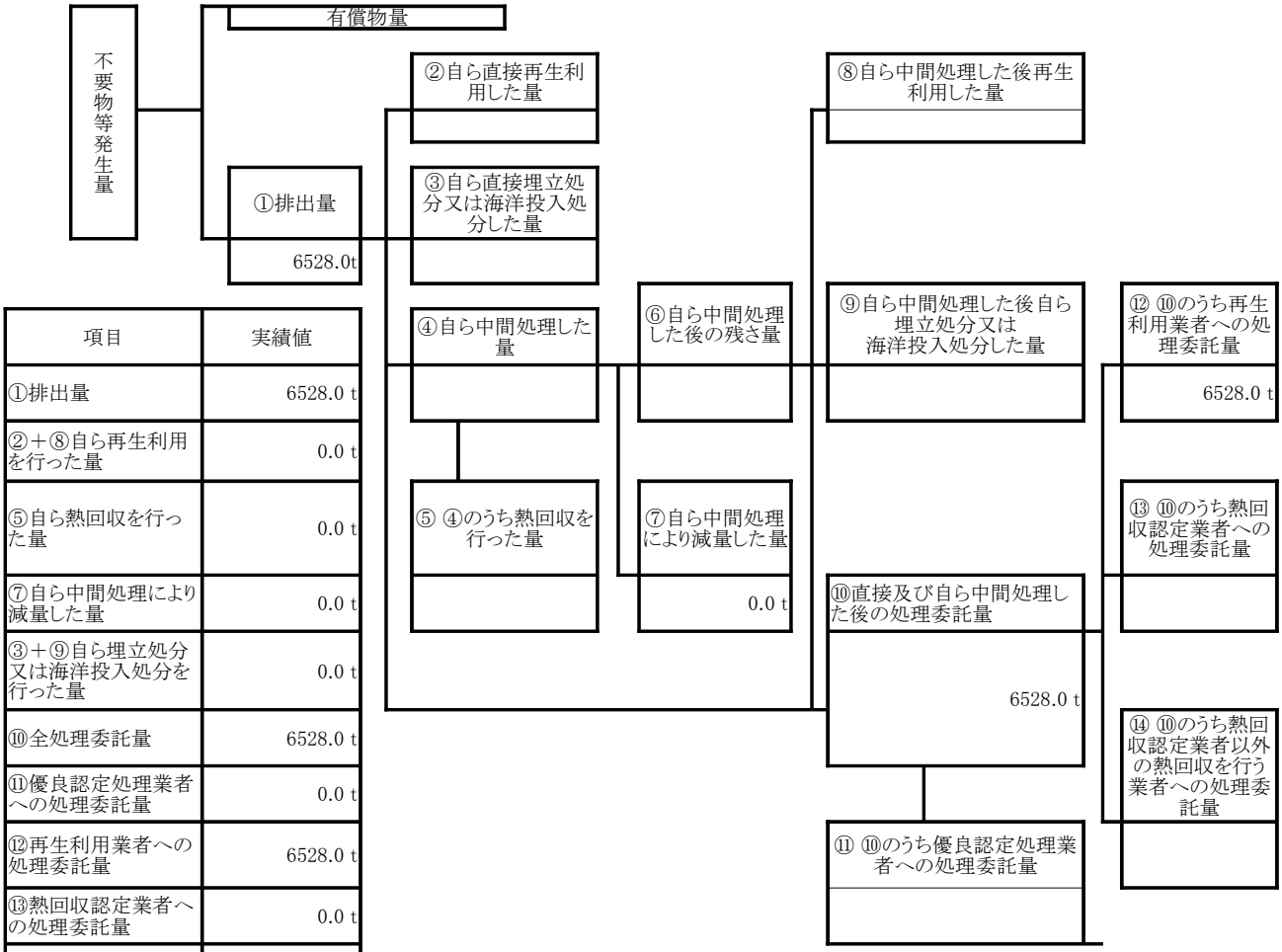
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートくず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



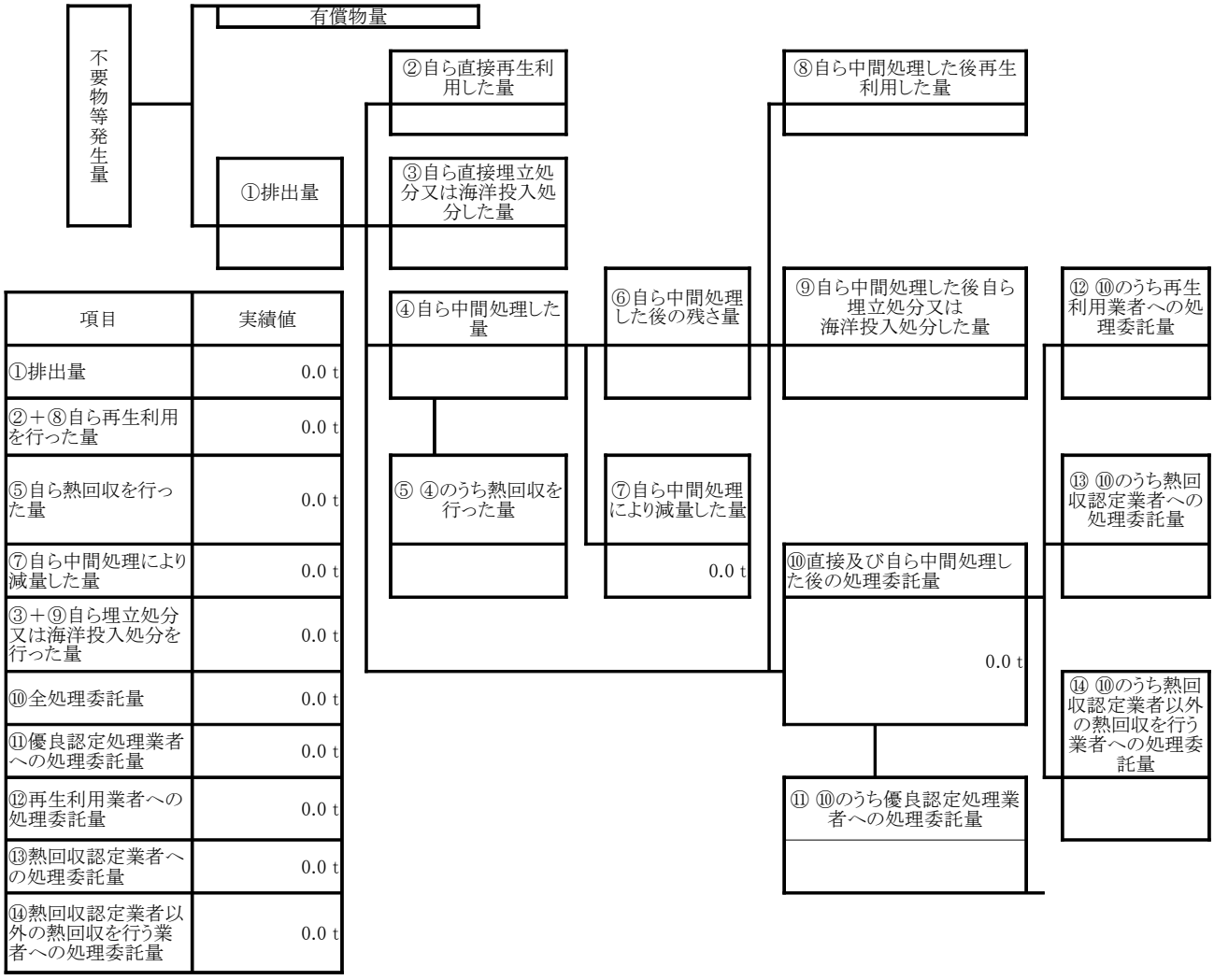
項目	実績値
①排出量	6528.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6528.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6528.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



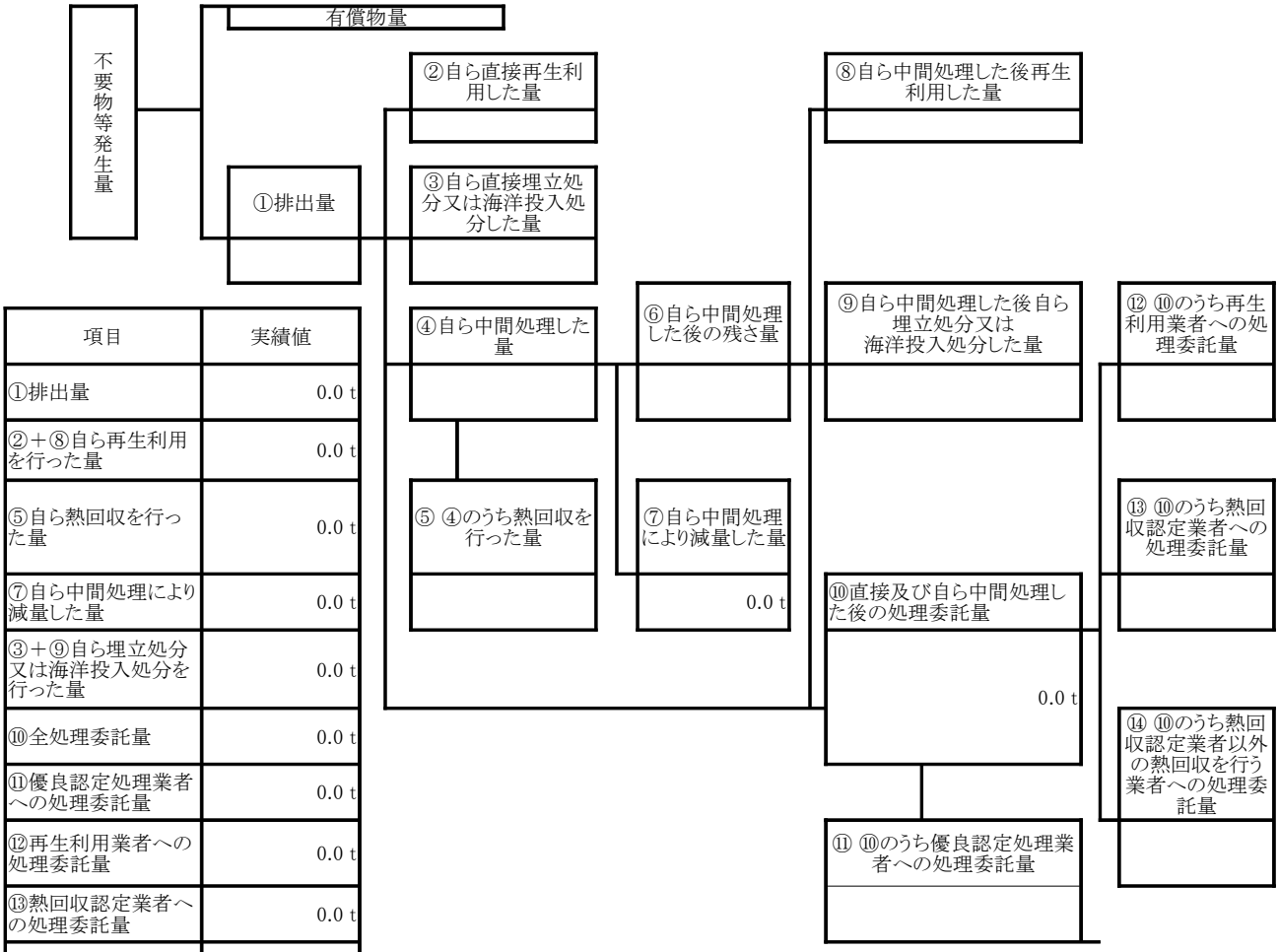
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

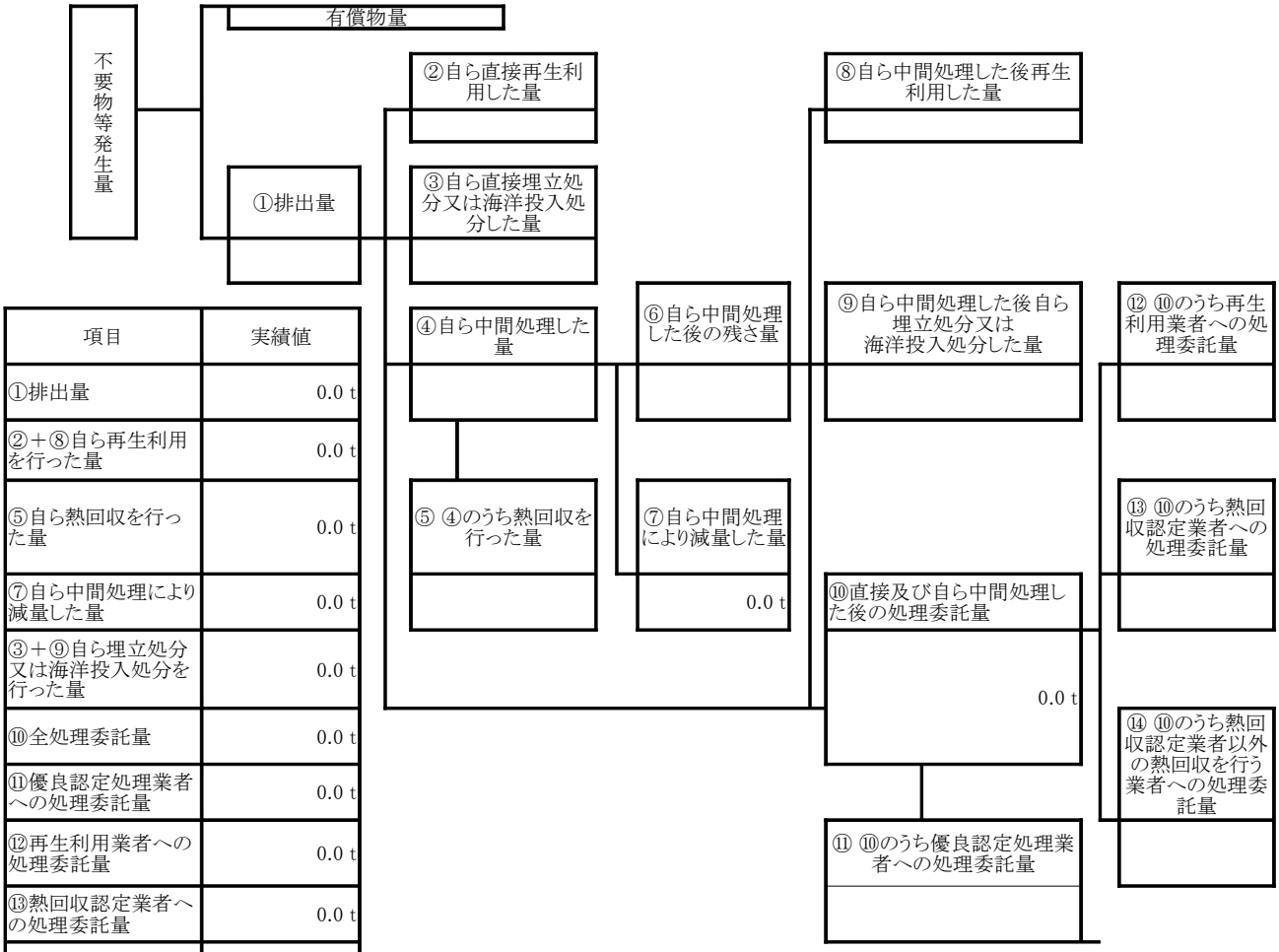


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

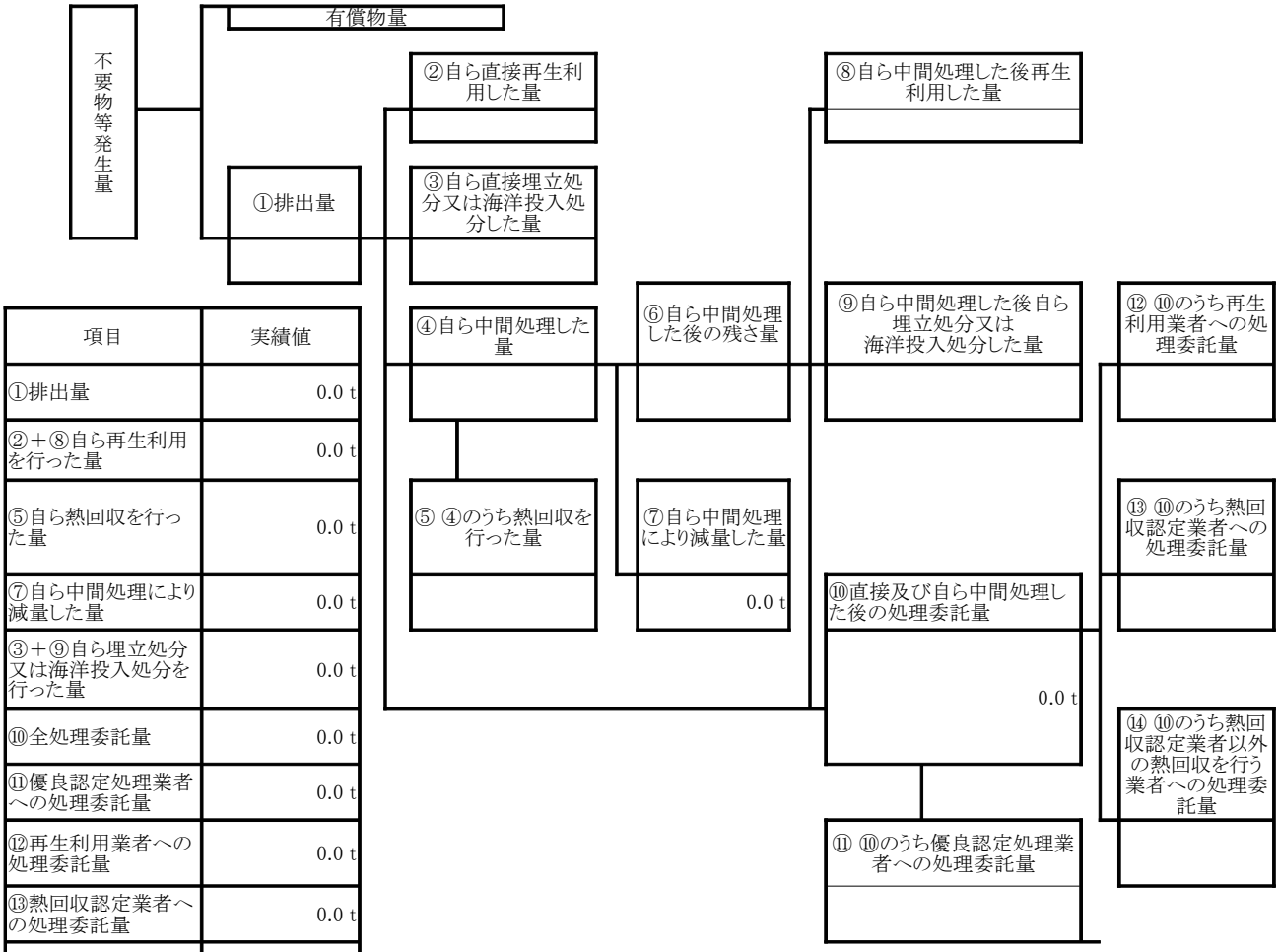


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

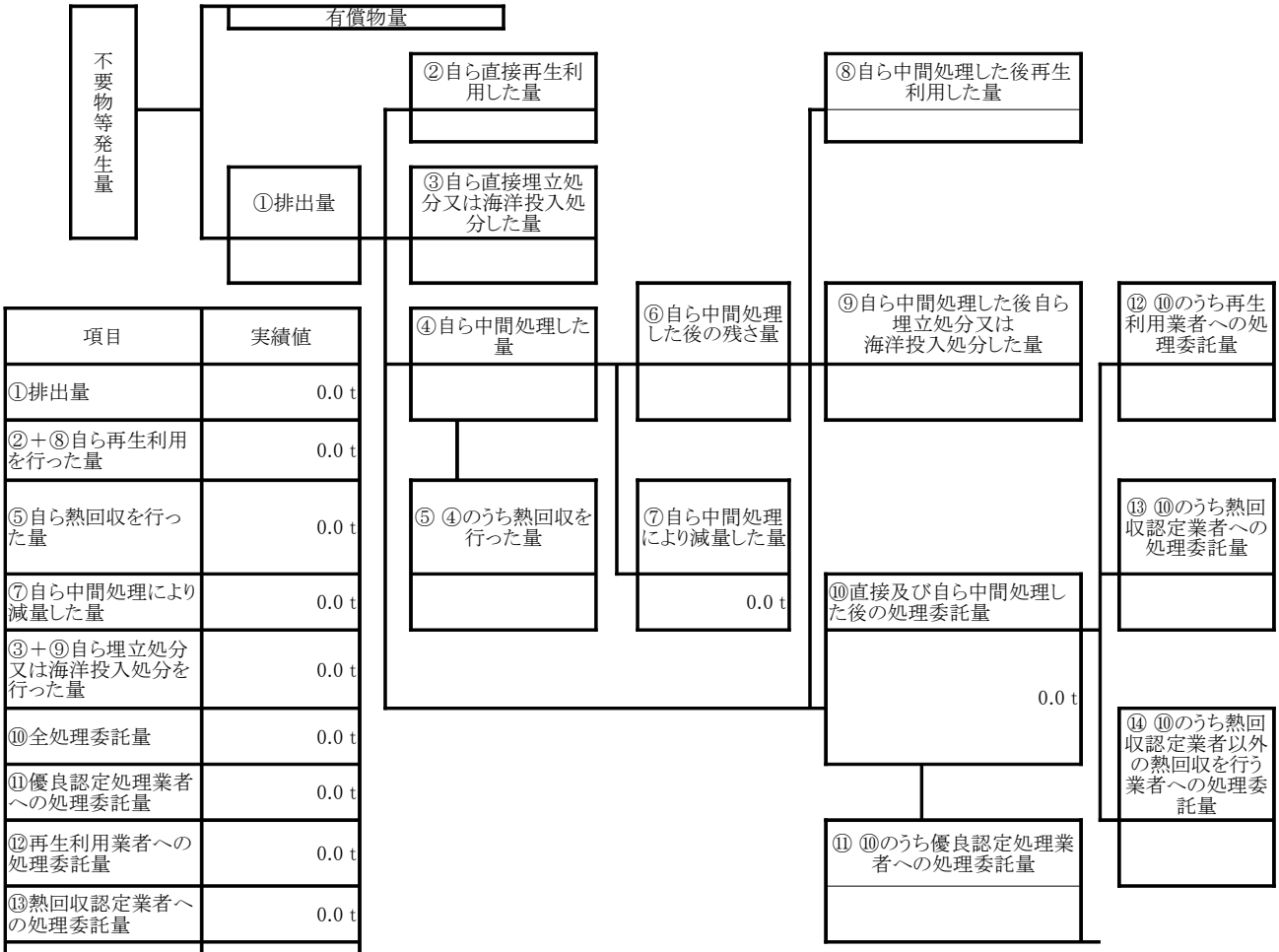


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



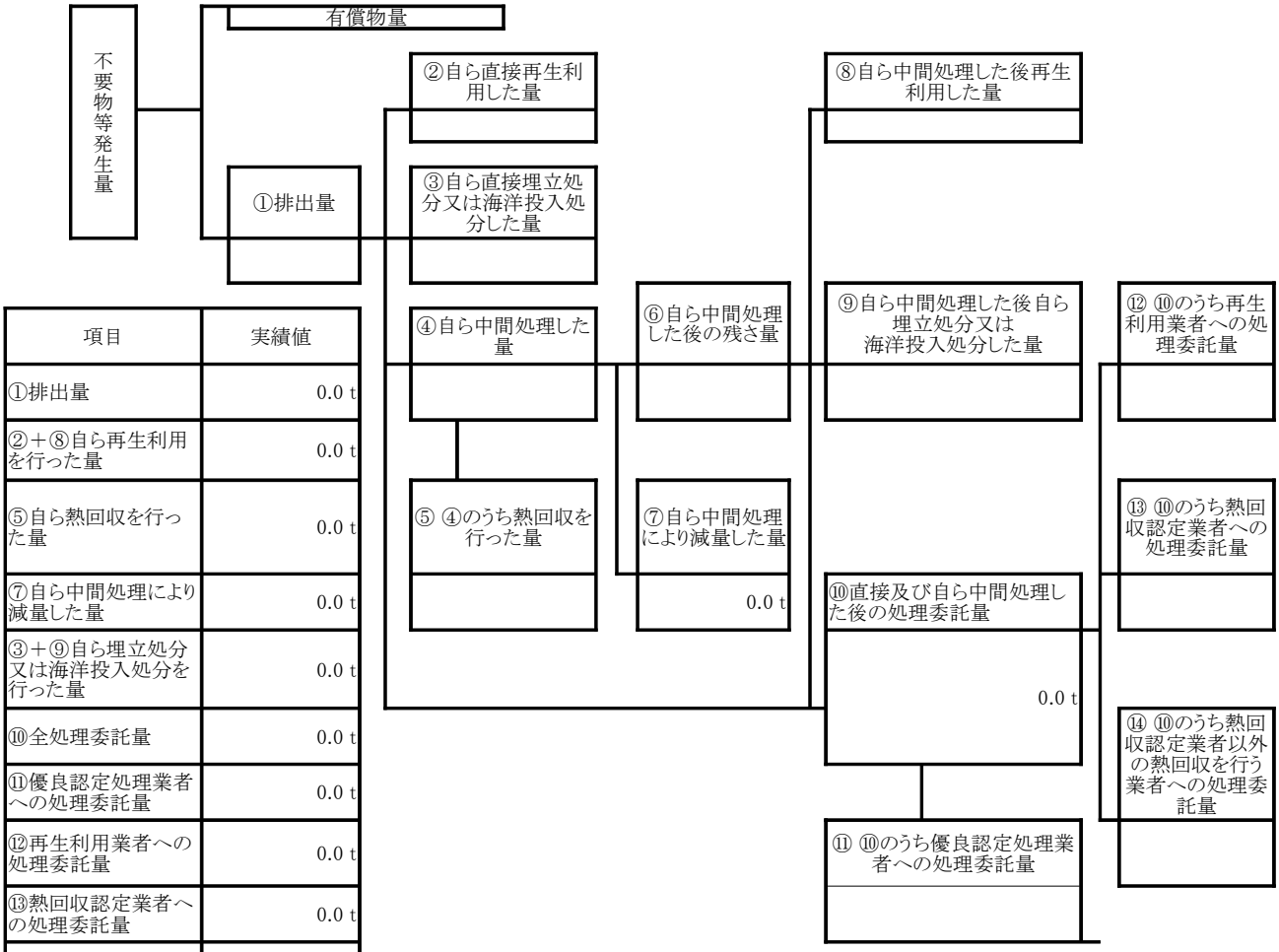
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

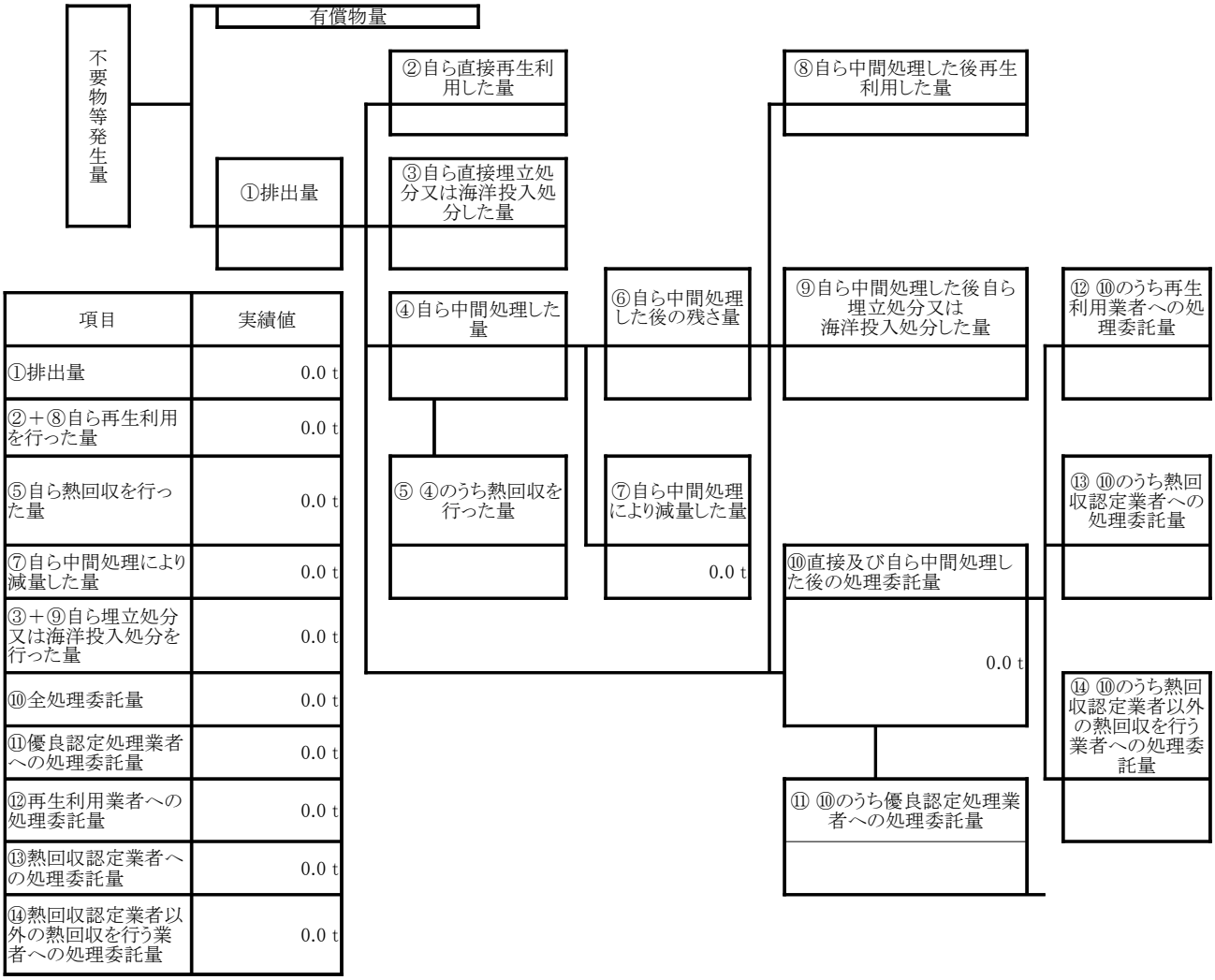


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

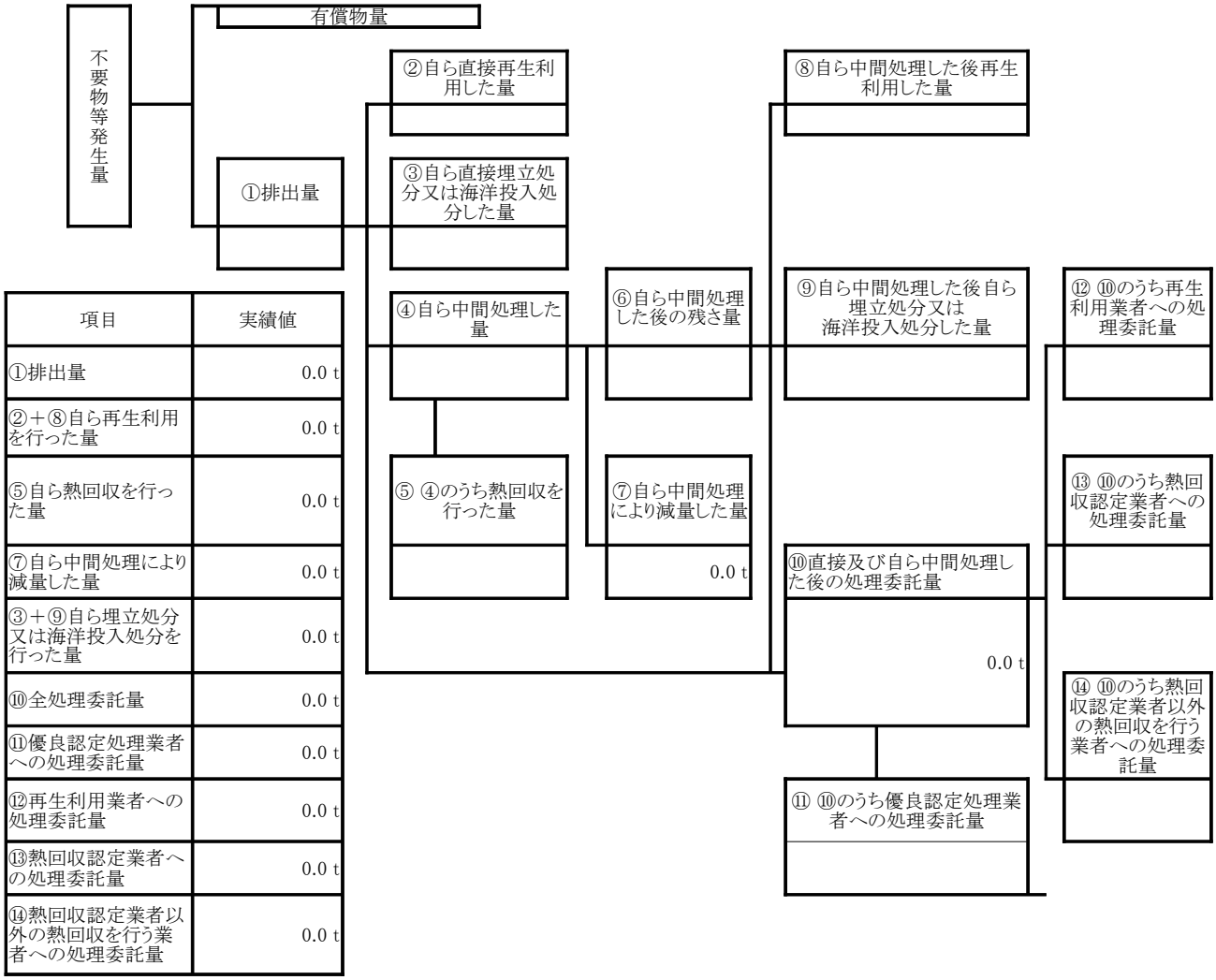


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



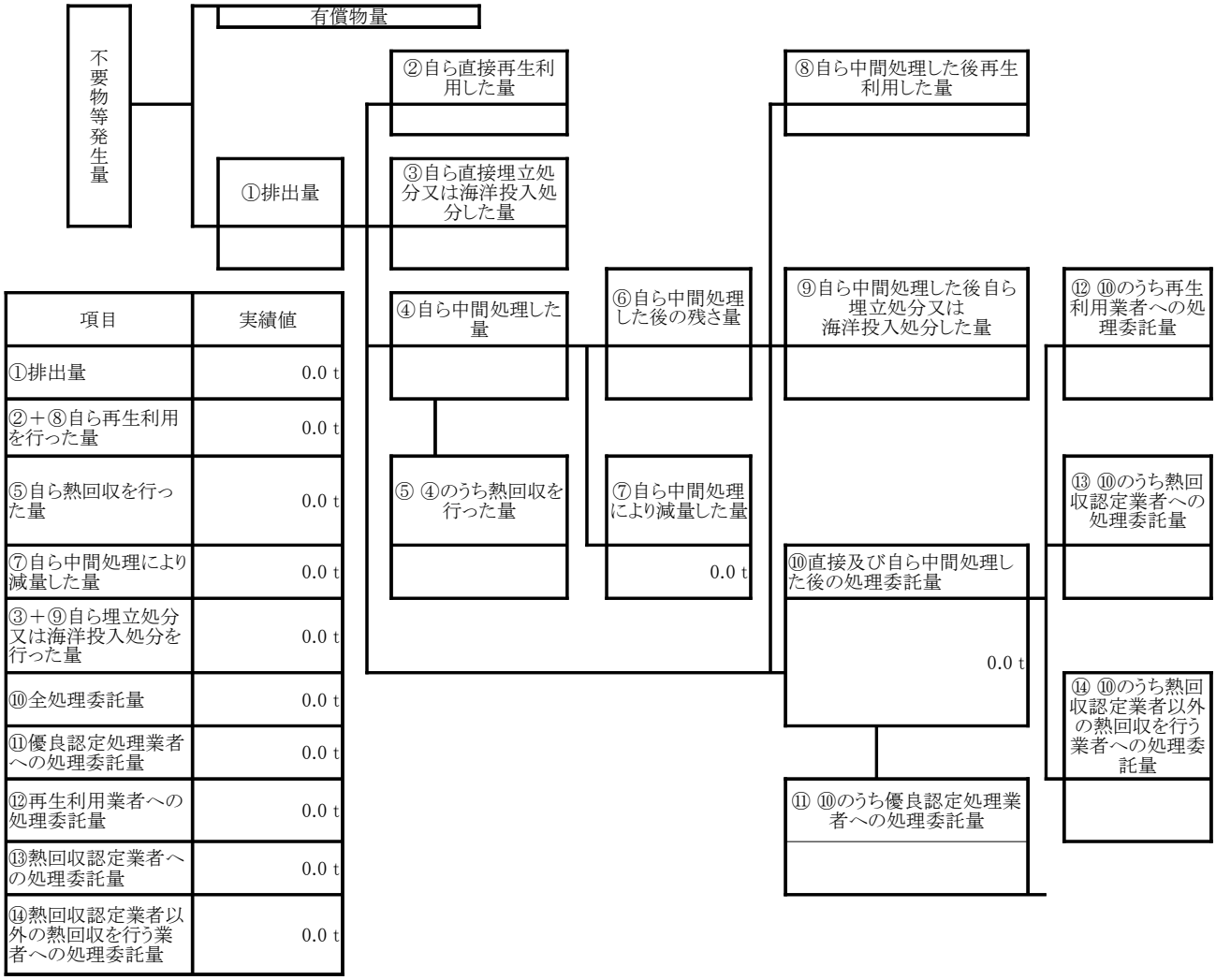
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

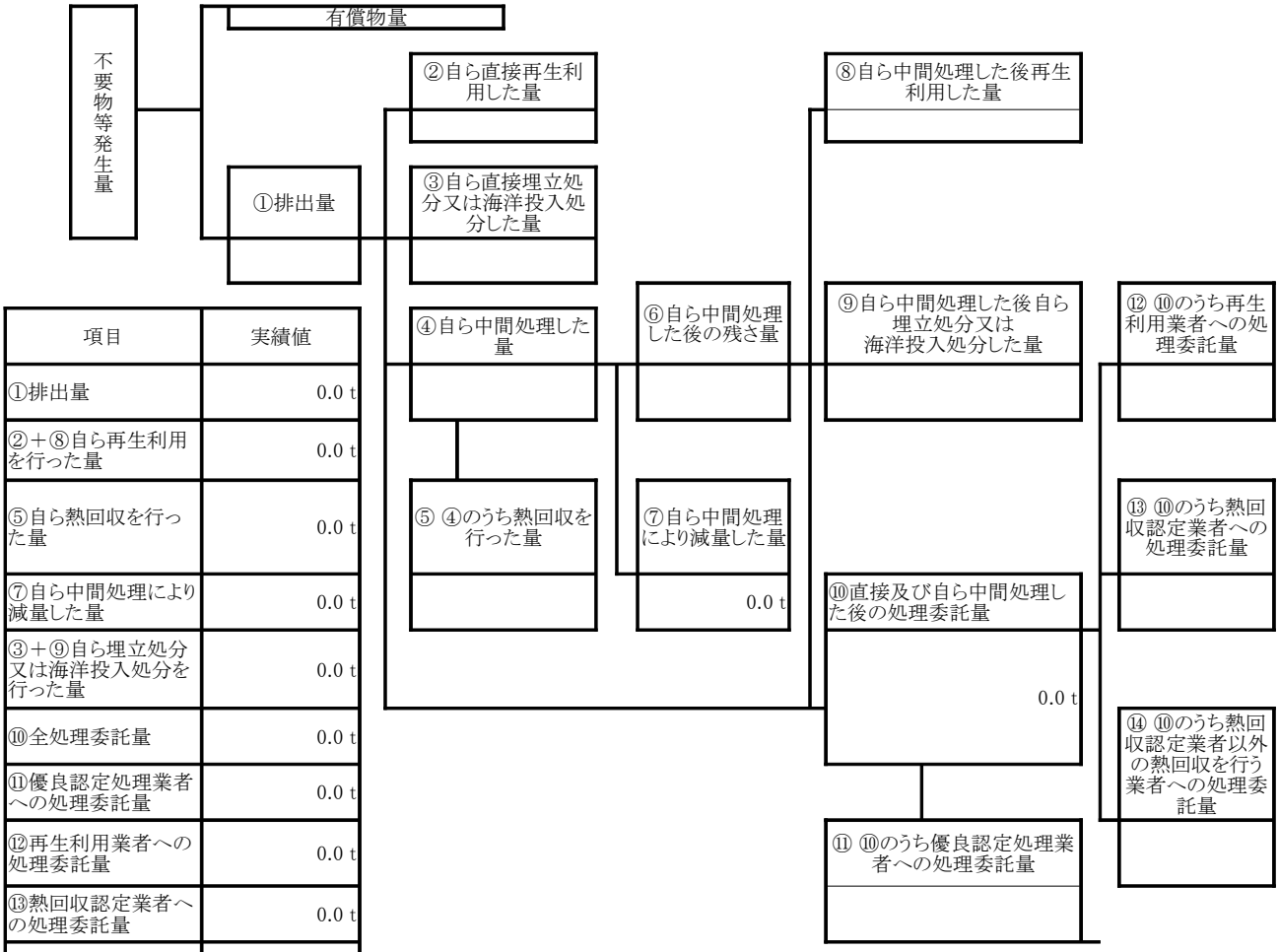


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



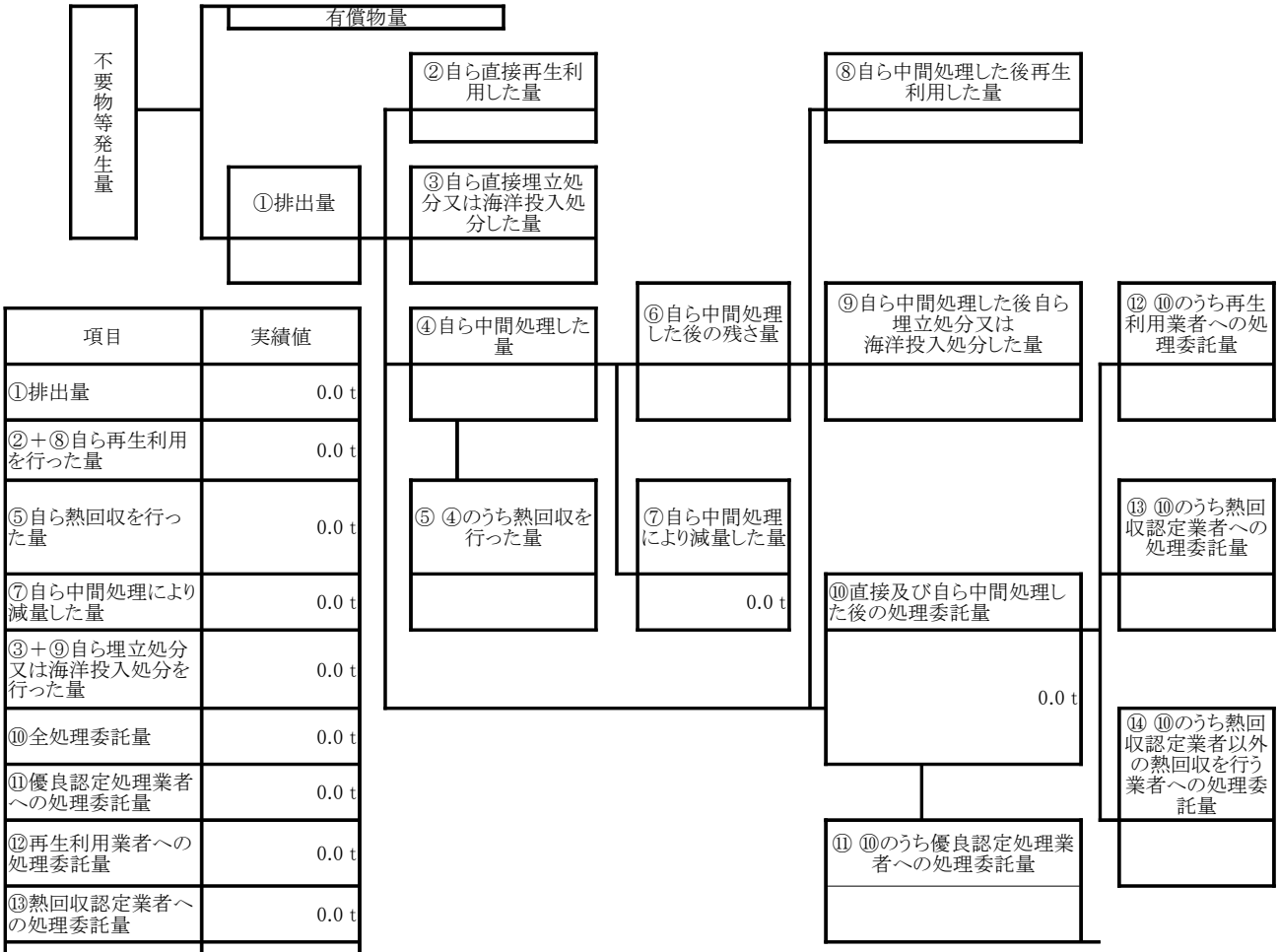
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



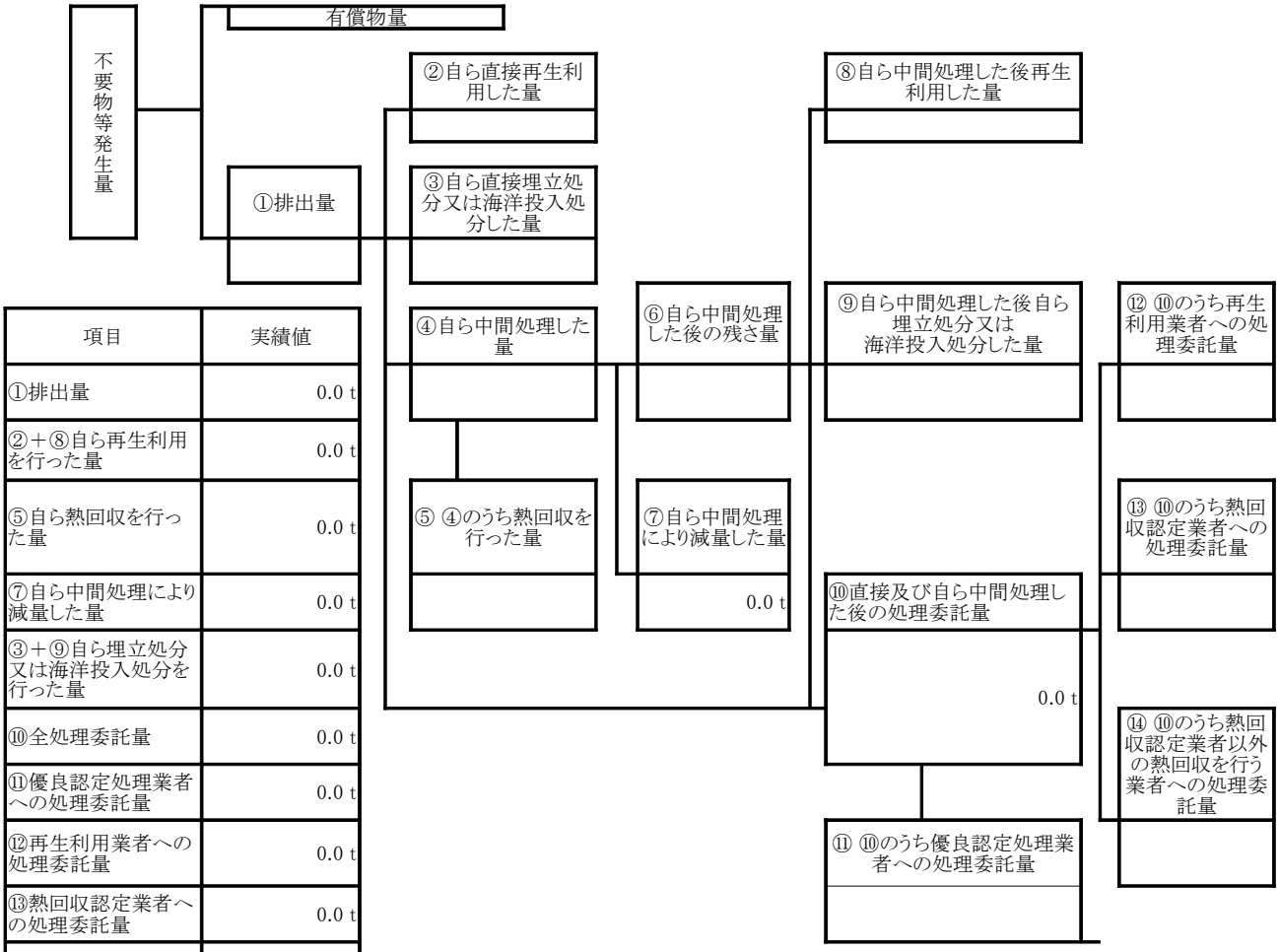
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

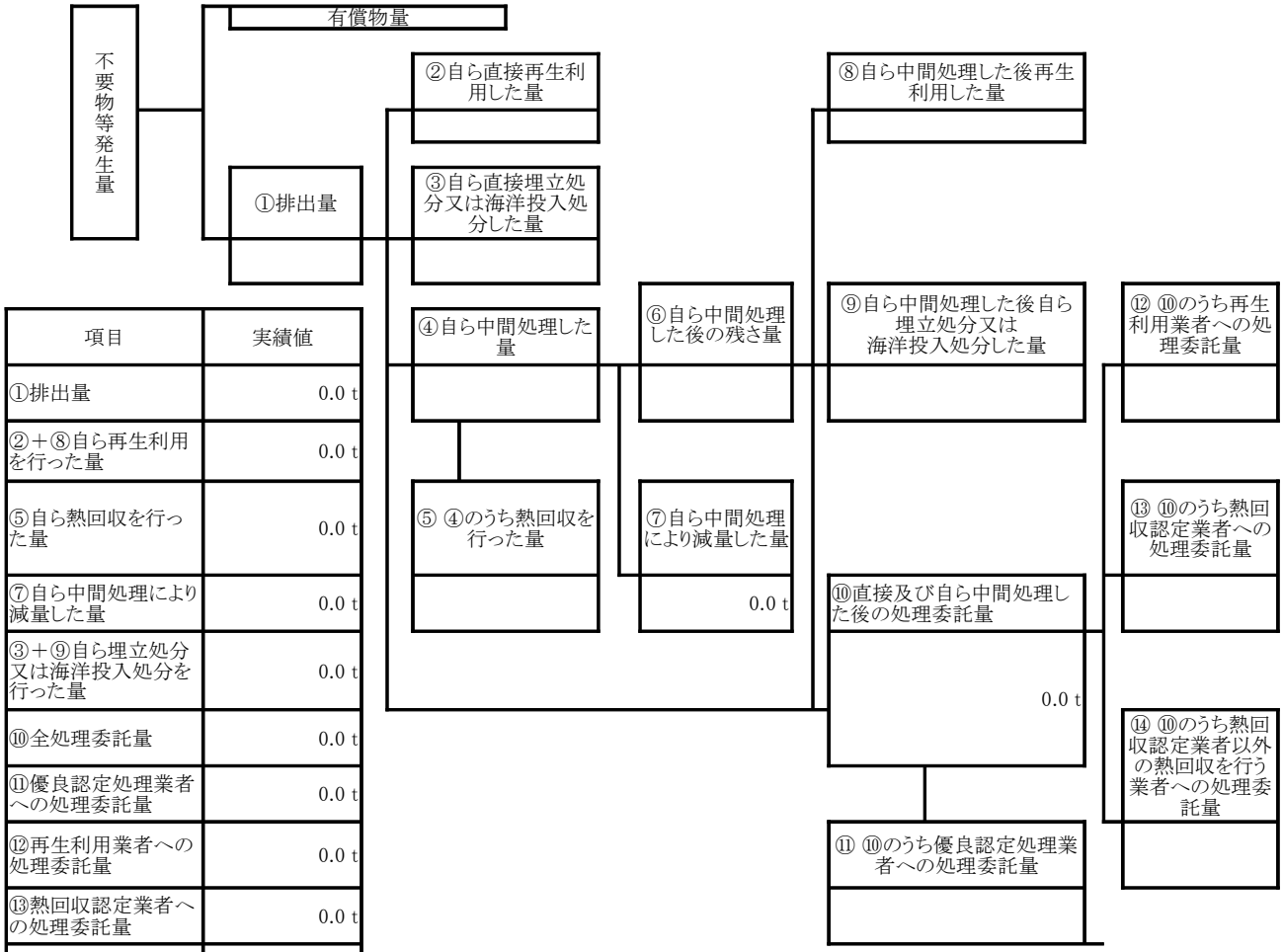


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



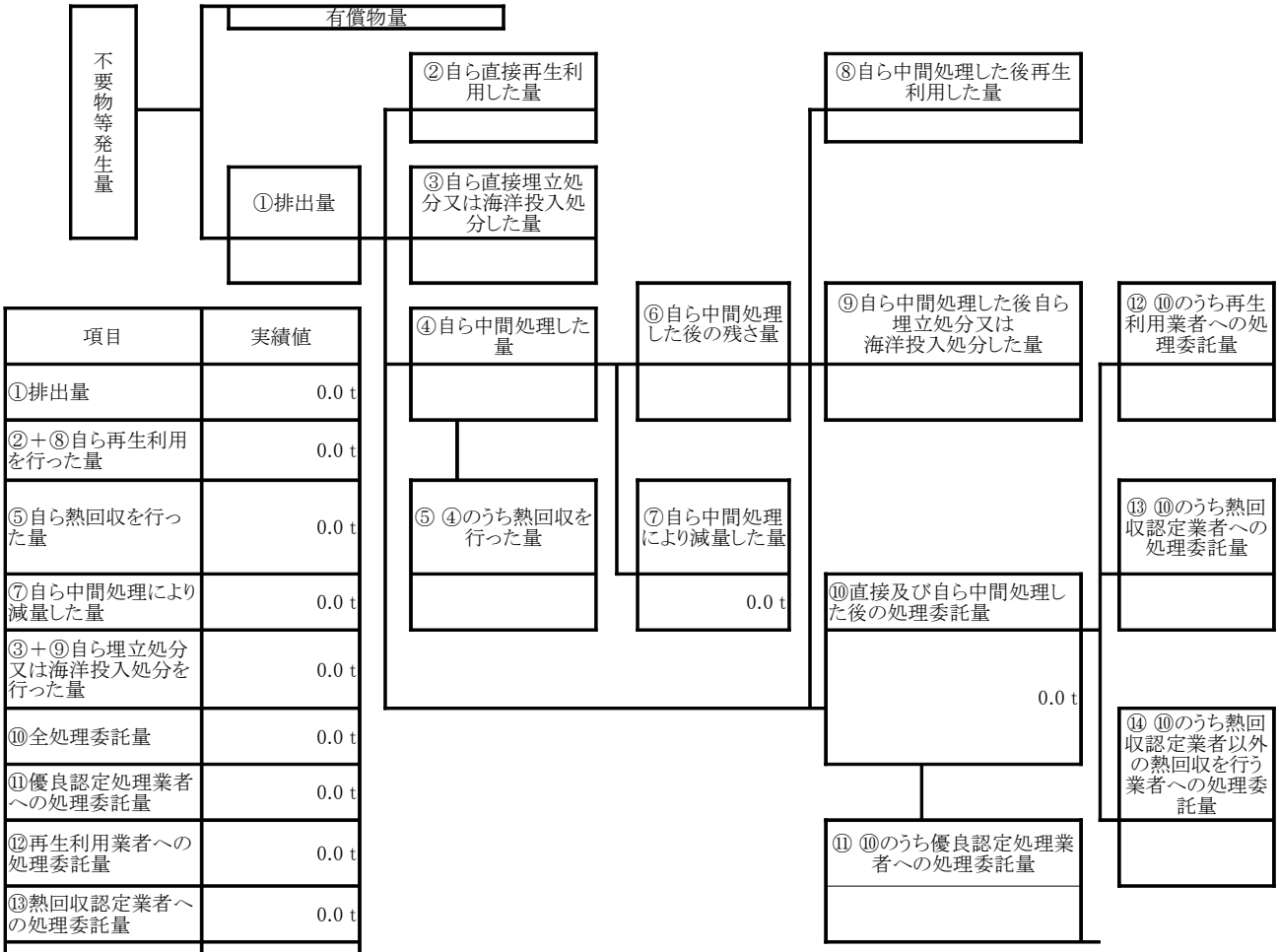
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

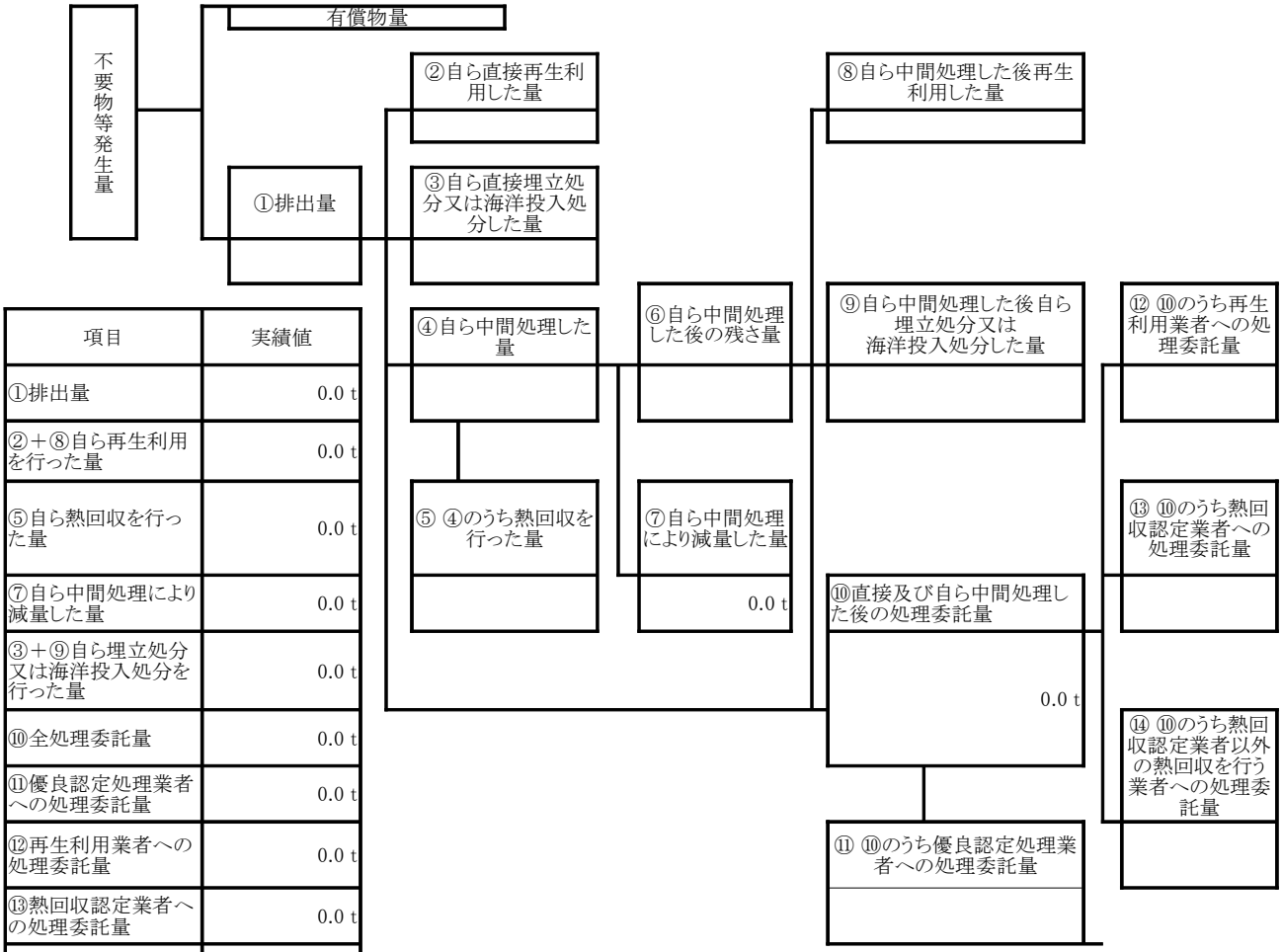


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

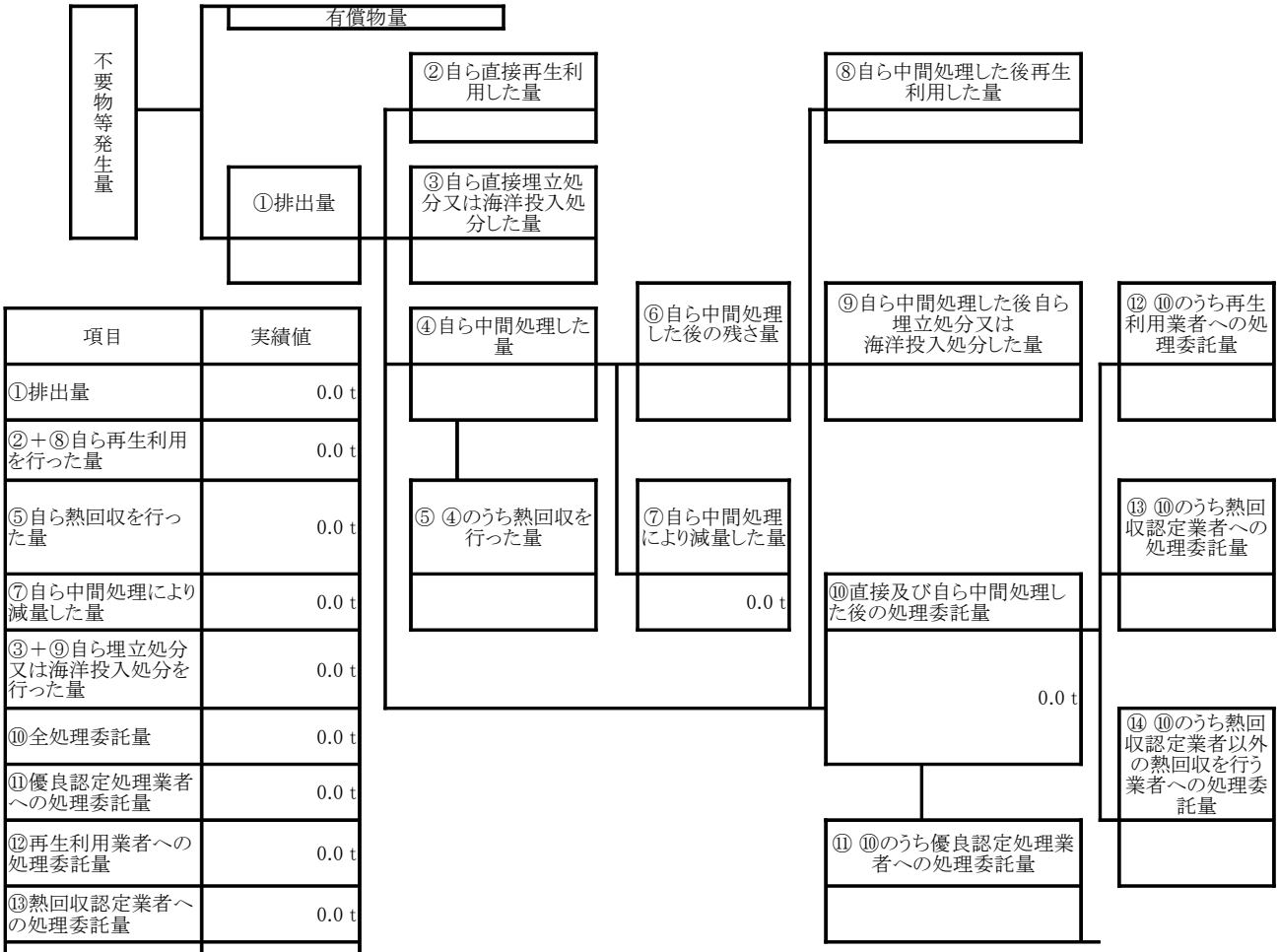


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



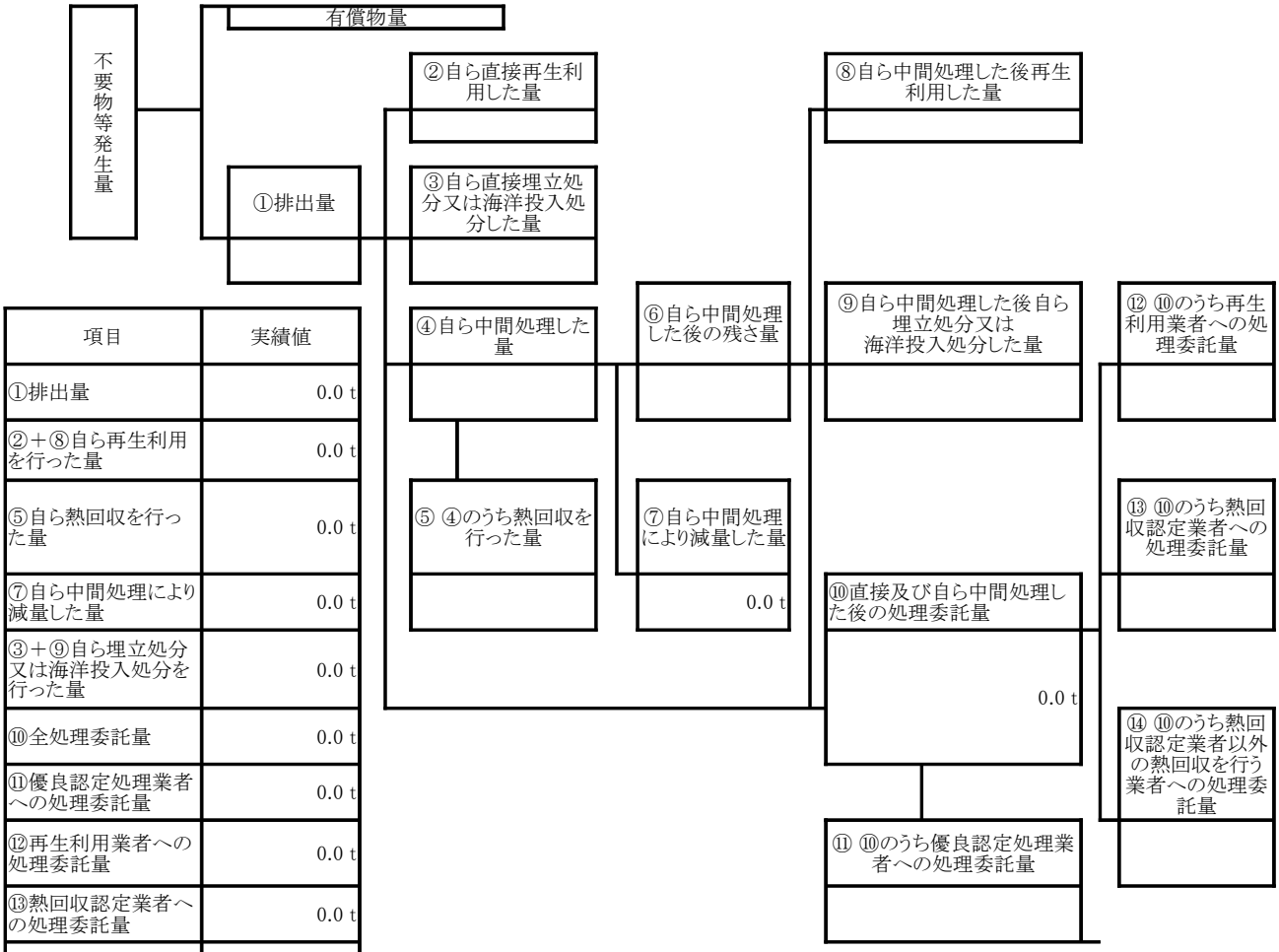
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

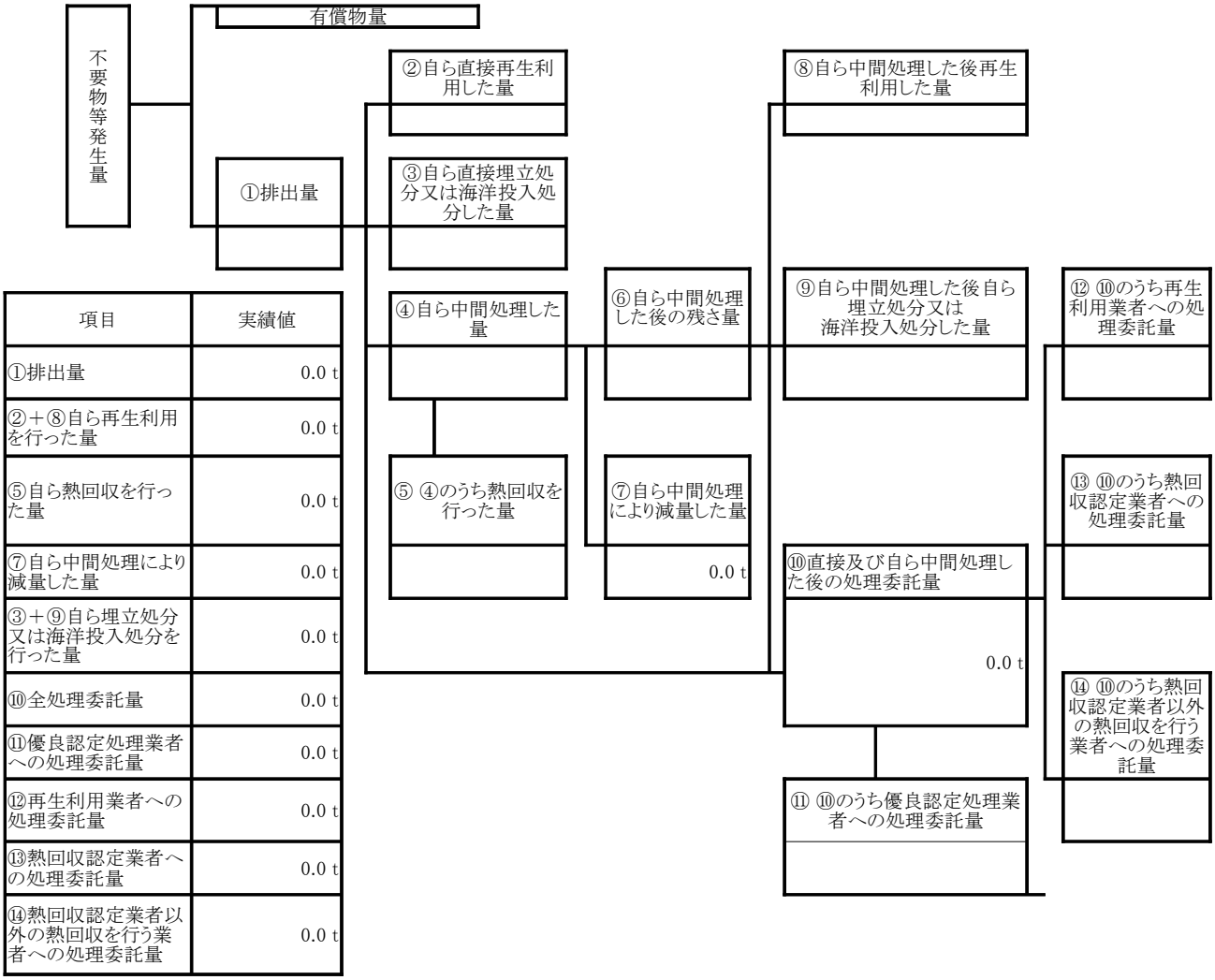


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

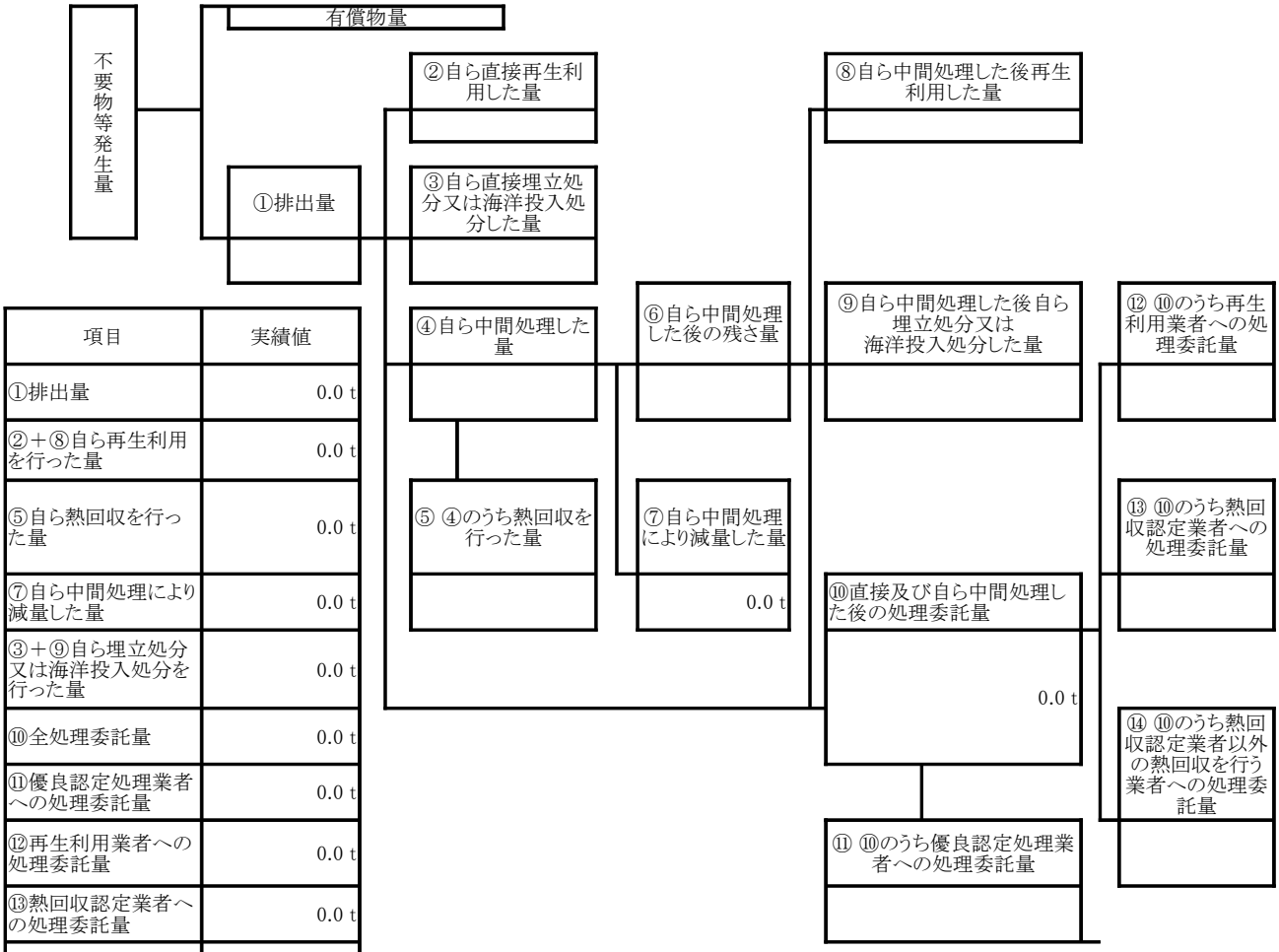


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　6 年　 6 月 20 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒290-8503

住　所　千葉県市原市五井南海岸３番地

氏　名　丸善石油化学株式会社千葉工場
執行役員工場長　　山本　雅則

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-25-3162

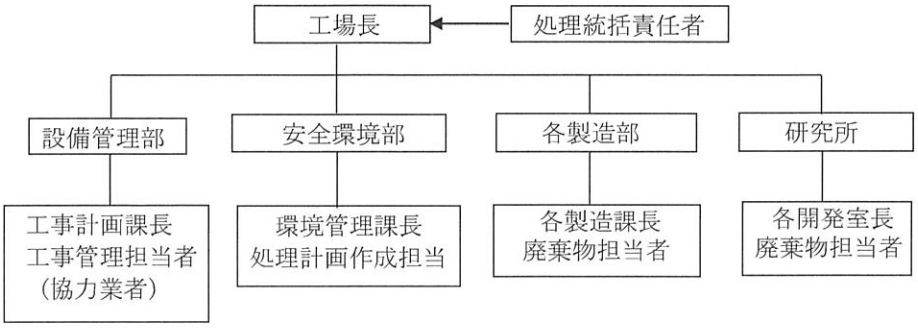
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	丸善石油化学株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸３番地
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：製造業　　中分類：石油製品・石炭製品製造業
②　事業の規模	前年度の製造品出荷額　　３８８１，１００　百万円
③　従業員数	７８１人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】　「別紙の通り」		
	産業廃棄物の種類_		
	排　出　量_	t	t
	（これまでに実施した取組） ・平成18年に、製造装置の能力増強計画と同時に、排水の発生量の見直しを実施し、脱水汚泥の発生量を３０％削減した。		
②計画	【目標】　「別紙の通り」		
	産業廃棄物の種類_		
	排　出　量_	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・排水処理施設の、凝集剤の適正管理を引き続き行い、汚泥の発生抑制に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別徹底をしたことで、その廃棄物のﾘｻｲｸﾙ処理が可能となった。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・更なる分別の徹底を図り、ﾘｻｲｸﾙ率の向上をめざす。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	12951.4　t	1　t

（これまでに実施した取組）

・廃棄前の木製パレットから使用できる部材を取り分け、補修可能なパレットは補修し、再利用を行なっている。
・余剰廃油は出来るだけ、ボイラー燃料として有効利用する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	12000　t	1　t

（今後実施する予定の取組）

・廃油の成分回収を実施し再利用の促進を図る。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥以外行っていない
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	38834.3　t	t

（これまでに実施した取組）

・場内汚泥を一箇所に集め中間処理を行っていたが、既設脱水機の負荷が高くなり含水率も高くなってきた。汚泥脱水機を新設し１台あたりの負荷を下げる事で汚泥の含水率を下げ排出重量の削減を図っている。また、乾燥機の補修を実施したことで、汚泥含水率の改善が図られ、汚泥排出総重量が抑えられる。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥以外行っていない
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	45000　t	t

（今後実施する予定の取組）

・汚泥乾燥機の適正運転管理を行い排出量の削減を図る。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分または海洋投入処分を行なった事はない。</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も引き続き埋立処分又は海洋投棄処分を行う予定はない。</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和　5 年度）実績】　　「別紙の通り」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・廃棄物の処理委託を行う場合、優良認定処理業者若しくは、熱回収認定を受けた処理業者に極力お願いする。</td></tr>
<tr><td></td></tr>
</table>

	②計画	【目標】	「別紙の通り」	
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・廃棄物の処理委託を行う場合、優良認定処理業者若しくは、熱回収認定を受けた処理業者に極力お願いする。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項													
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
		排　出　量	42506.4 t	13344.0 t	13.9 t	147.7 t	18.1 t	126.7 t	520.1 t	1.19 t	37.5 t	0.005 t	0.51 t
	②計画	【目標】											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
		排　出　量	47000.0 t	12500.0 t	30.0 t	150.0 t	14.0 t	90.0 t	100.0 t	1.0 t	20.0 t	0.1 t	2.0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	12951.4 t	t	t	t	t	t	t	1 t	t	t
	②計画	【目標】											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	12000.0 t	t	t	t	t	t	t	1 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	38834.3 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】											
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	45000.0 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

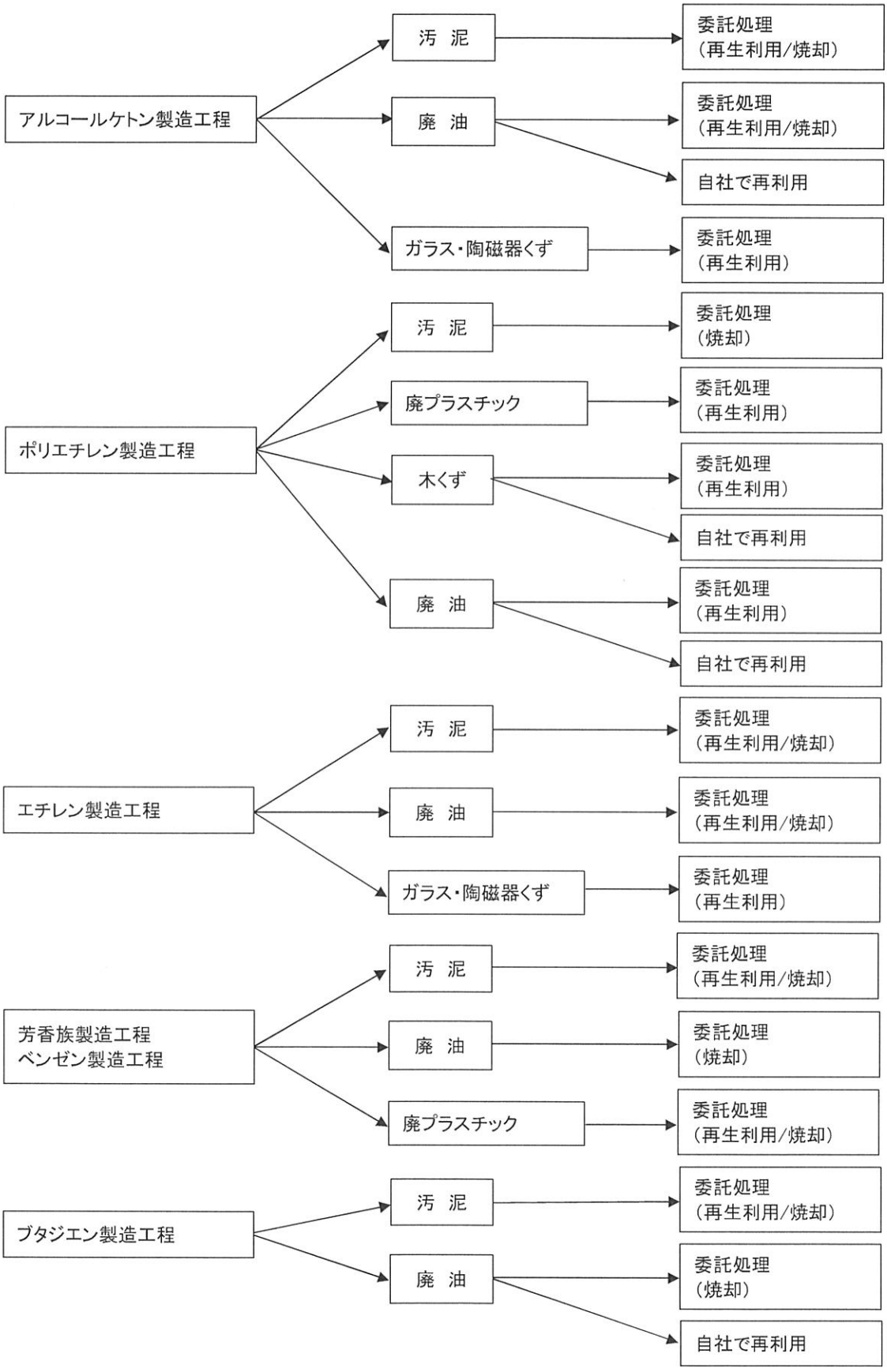
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

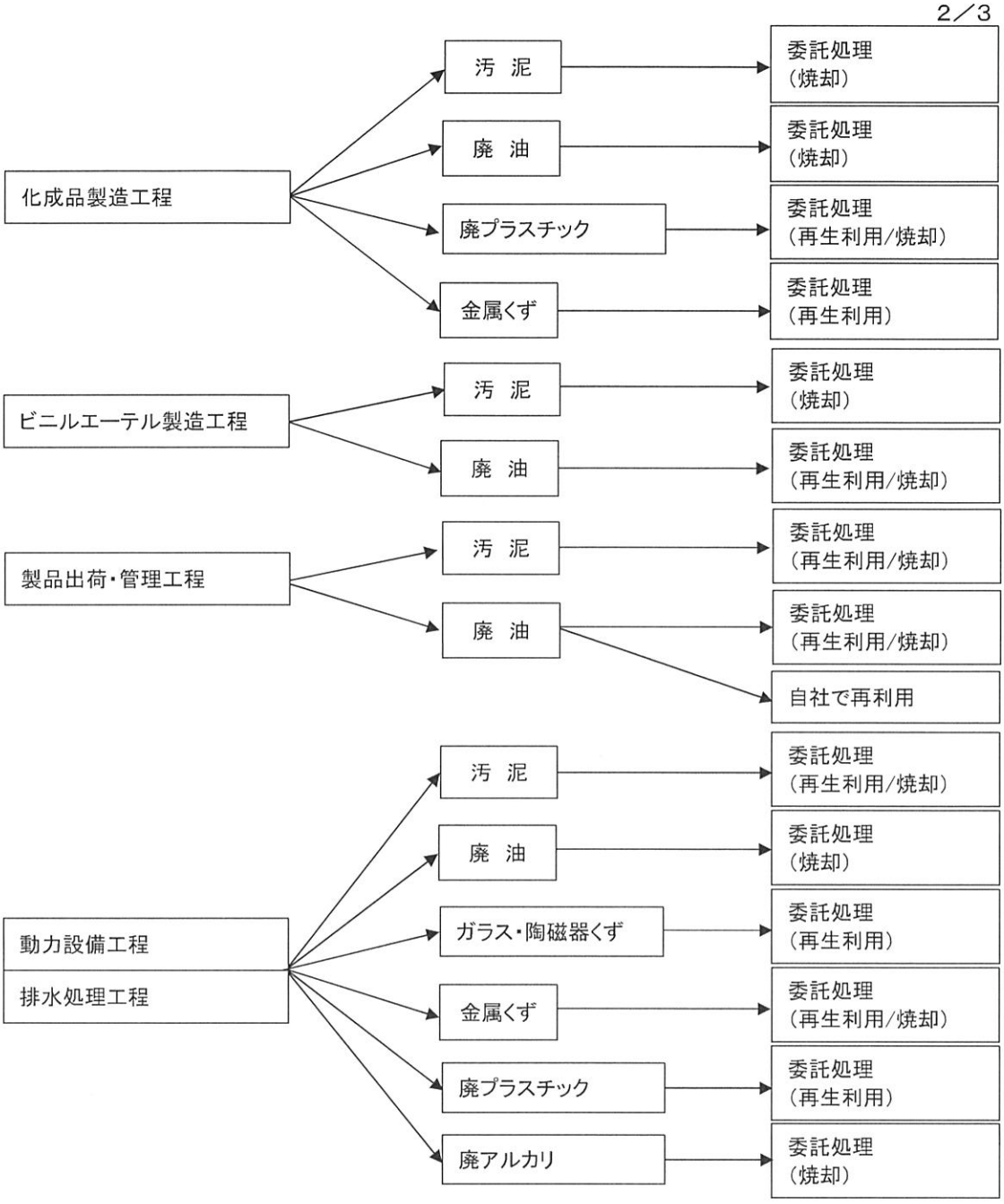
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

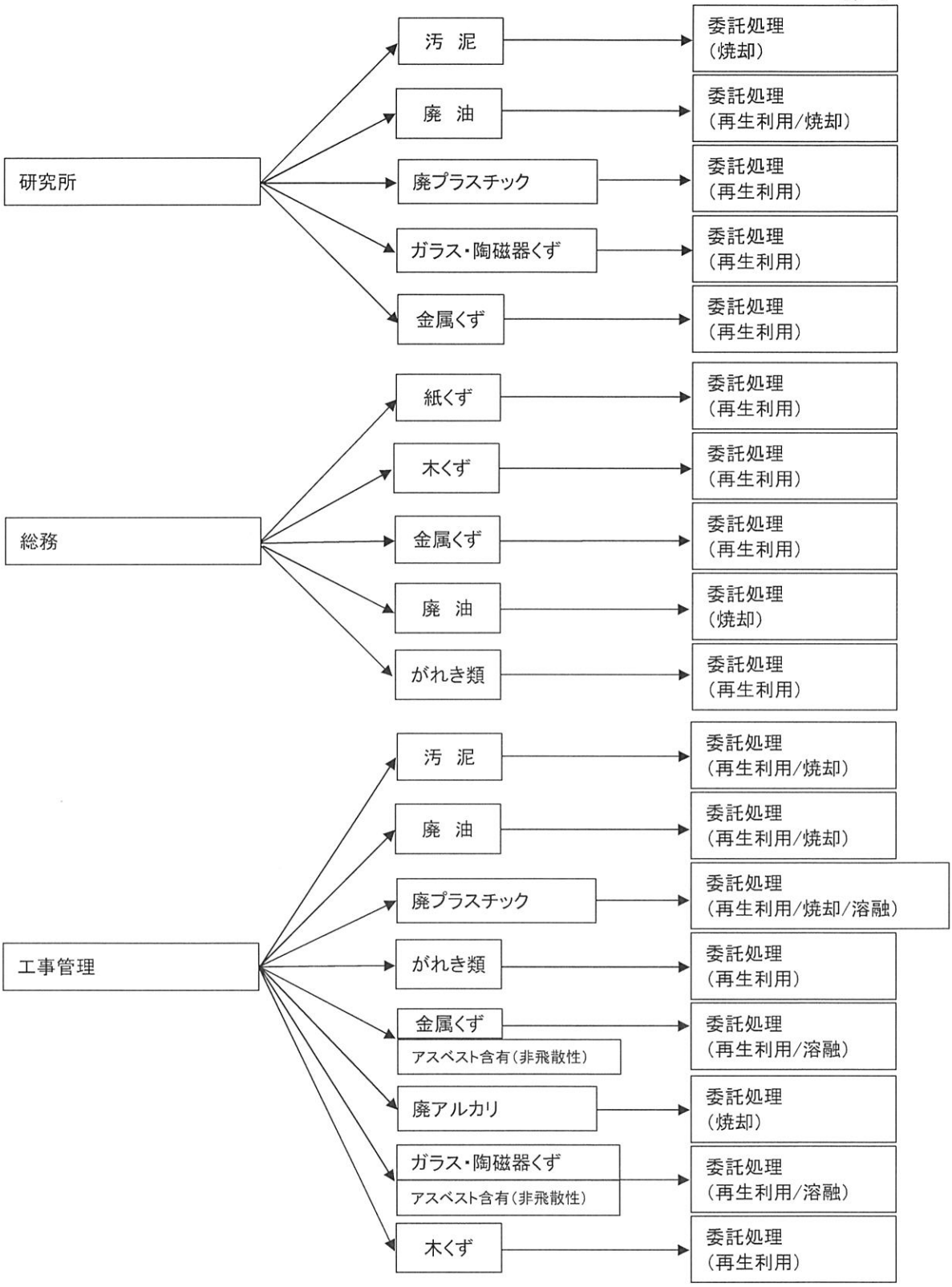
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
	全処理委託量	3672.0 t	392.6 t	13.9 t	147.7 t	18.1 t	126.7 t	520.1 t	1.19 t	36.5 t	0.005 t	0.51 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2302.4 t	390.8 t	13.9 t	102.7 t	13.0 t	8.0 t	0 t	0 t	36.5 t	0.005 t	0.51 t
	再生利用業者への処理委託量	3408.3 t	331.1 t	0 t	63.9 t	14.6 t	87.8 t	520.1 t	0 t	36.5 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	153.3 t	61.5 t	13.9 t	80.8 t	3.0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0.005 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	石綿含有	木くず	廃酸	安定型混合
	全処理委託量	2000 t	500 t	30 t	150 t	14 t	90 t	100 t	1 t	19 t	0.1 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2000 t	500 t	20 t	50 t	2 t	10 t	0 t	1 t	19 t	0.1 t	2 t
	再生利用業者への処理委託量	1800 t	400 t	10 t	100 t	12 t	80 t	100 t	0 t	19 t	0 t	1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	200 t	100 t	20 t	50 t	2 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0.1 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の一連の処理の工程

丸善石油化学(株)千葉工場




化成品製造工程
汚　泥
委託処理
（焼却）
廃　油
委託処理
（焼却）
廃プラスチック
委託処理
（再生利用/焼却）
金属くず
委託処理
（再生利用）
ビニルエーテル製造工程
汚　泥
委託処理
（焼却）
廃　油
委託処理
（再生利用/焼却）
製品出荷・管理工程
汚　泥
委託処理
（再生利用/焼却）
廃　油
委託処理
（再生利用/焼却）
自社で再利用
動力設備工程
排水処理工程
汚　泥
委託処理
（再生利用/焼却）
廃　油
委託処理
（焼却）
ガラス・陶磁器くず
委託処理
（再生利用）
金属くず
委託処理
（再生利用/焼却）
廃プラスチック
委託処理
（再生利用）
廃アルカリ
委託処理
（焼却）


研究所
汚　泥
委託処理（焼却）
廃　油
委託処理（再生利用/焼却）
廃プラスチック
委託処理（再生利用）
ガラス・陶磁器くず
委託処理（再生利用）
金属くず
委託処理（再生利用）
総務
紙くず
委託処理（再生利用）
木くず
委託処理（再生利用）
金属くず
委託処理（再生利用）
廃　油
委託処理（焼却）
がれき類
委託処理（再生利用）
工事管理
汚　泥
委託処理（再生利用/焼却）
廃　油
委託処理（再生利用/焼却）
廃プラスチック
委託処理（再生利用/焼却/溶融）
がれき類
委託処理（再生利用）
金属くず
アスベスト含有（非飛散性）
委託処理（再生利用/溶融）
廃アルカリ
委託処理（焼却）
ガラス・陶磁器くず
アスベスト含有（非飛散性）
委託処理（再生利用/溶融）
木くず
委託処理（再生利用）

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月20日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒290-8503
住 所　千葉県市原市五井南海岸3番地
氏 名　丸善石油化学株式会社千葉工場
執行役員工場長　山本 雅則
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0436-25-3162

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	丸善石油化学株式会社千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸3番地
事業の種類	大分類:製造業　　中分類:石油製品・石炭製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

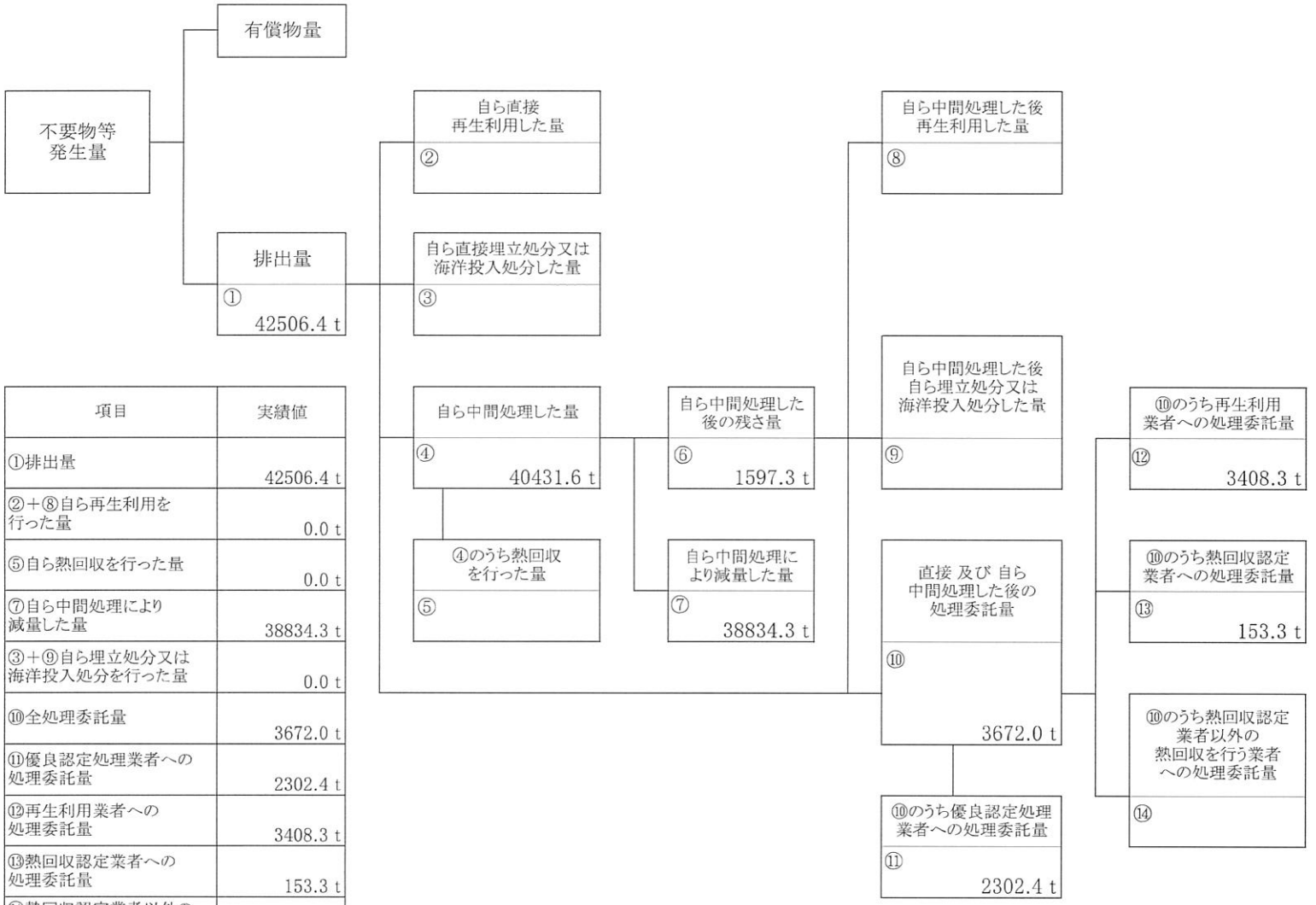
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	59477.1 t	全処理委託量	2977.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	11501.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2295.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	2474.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	45000.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	440.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

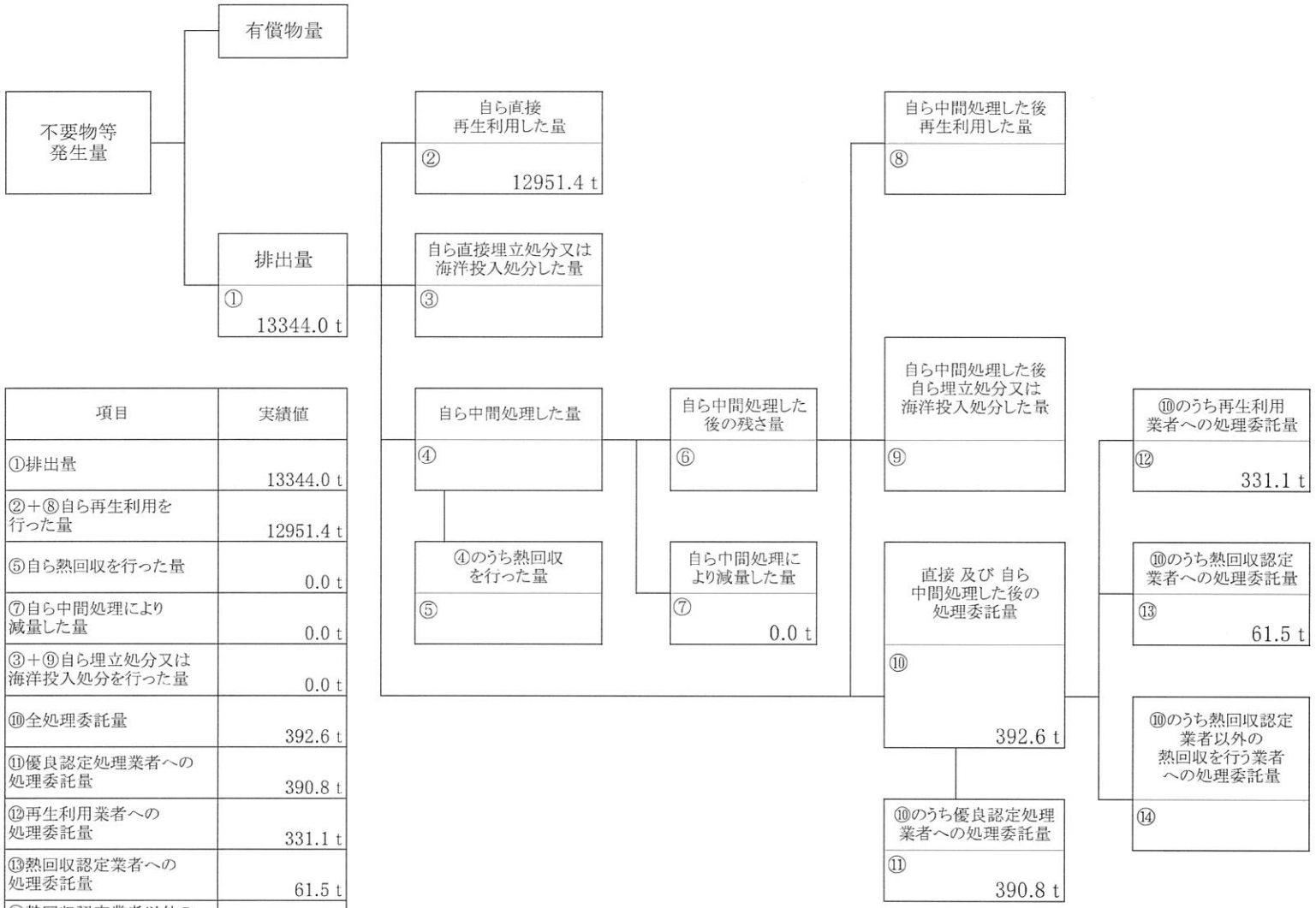


項目	実績値
①排出量	42506.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	38834.3 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3672.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2302.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3408.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	153.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃油　　）

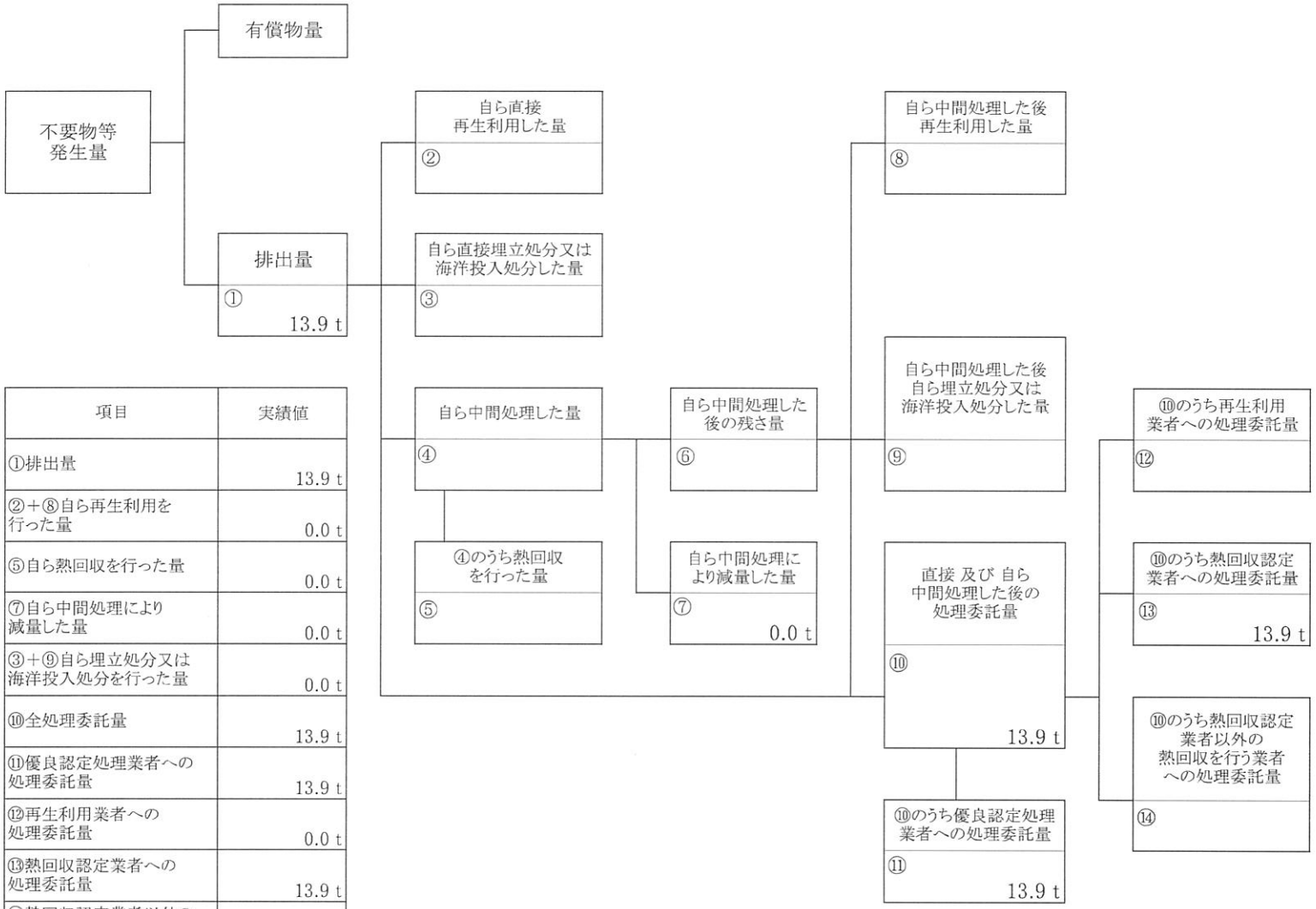


項目	実績値
①排出量	13344.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	12951.4 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	392.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	390.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	331.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	61.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃アルカリ　　）

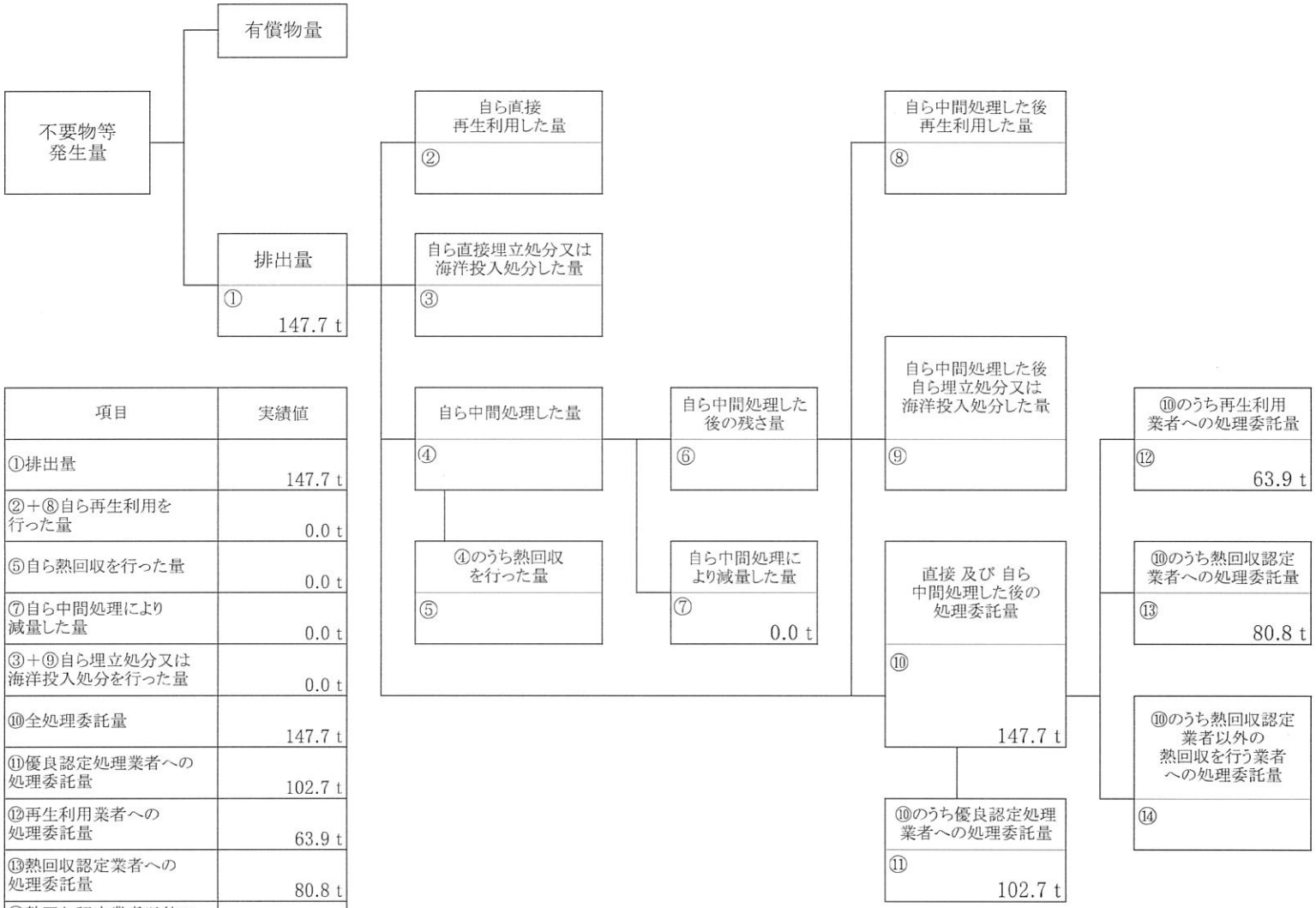


項目	実績値
①排出量	13.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	13.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　**廃プラスチック類**　　）

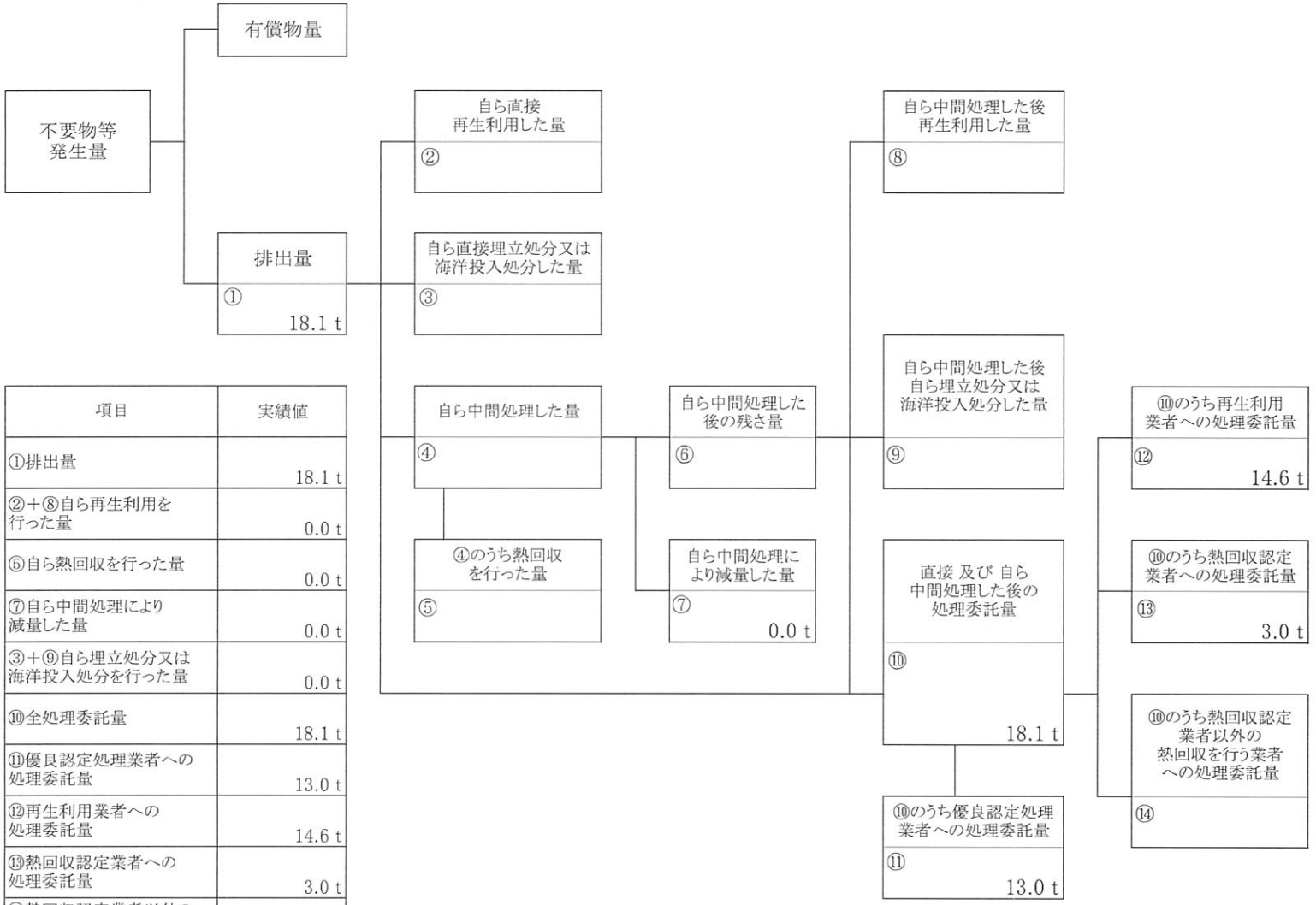


項目	実績値
①排出量	147.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	147.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	102.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	63.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	80.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

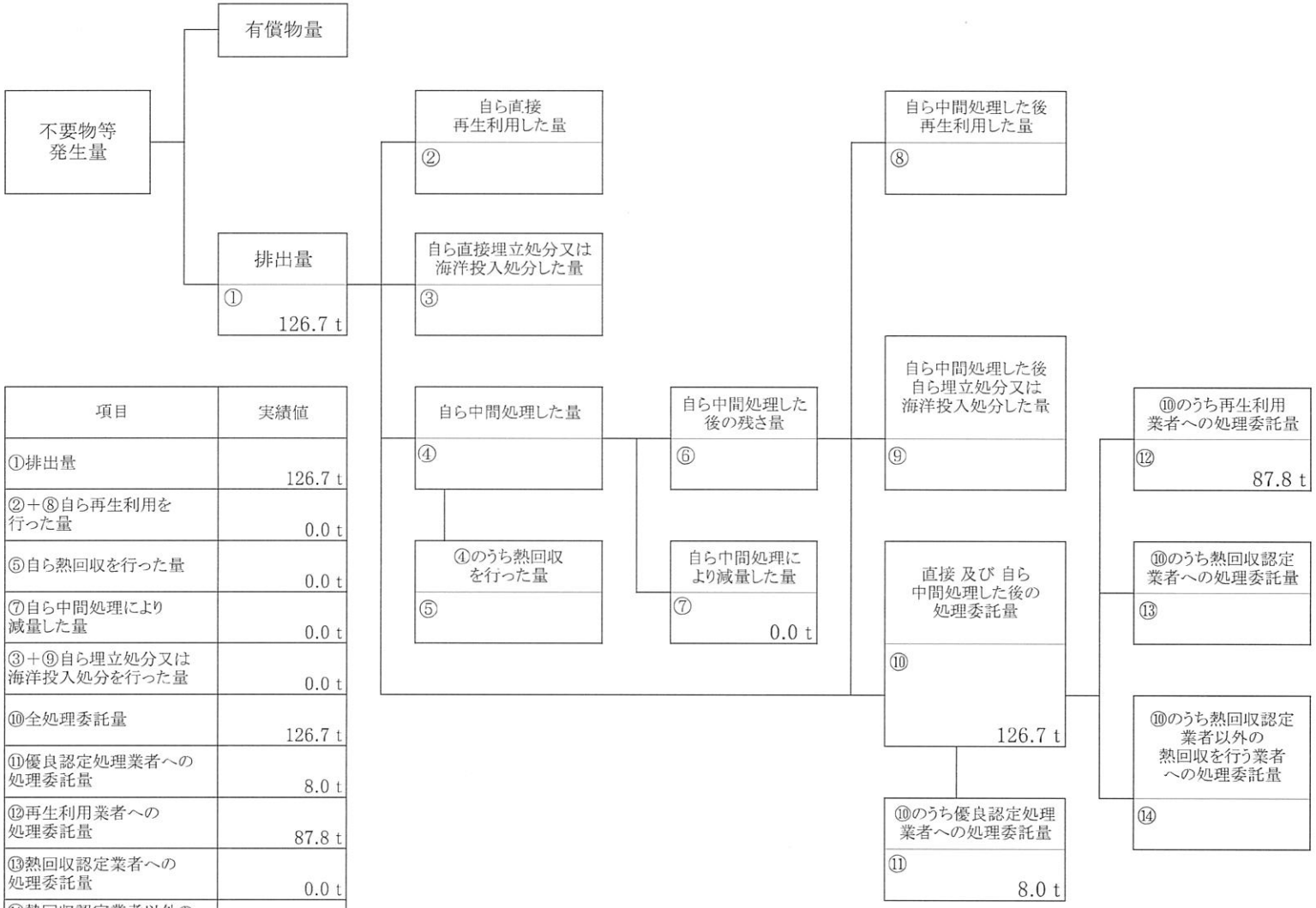


項目	実績値
①排出量	18.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	3.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

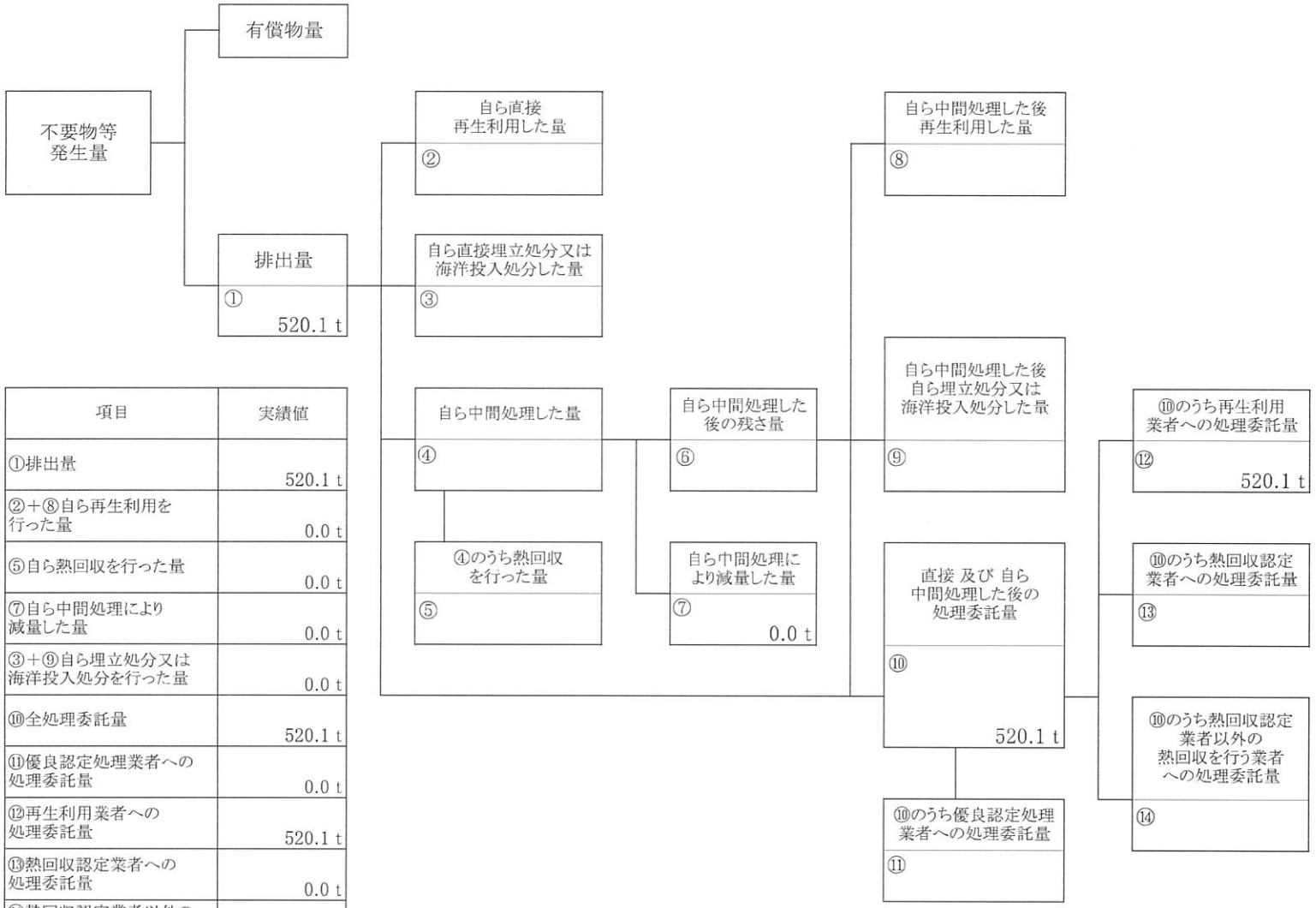


項目	実績値
①排出量	126.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	126.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	87.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

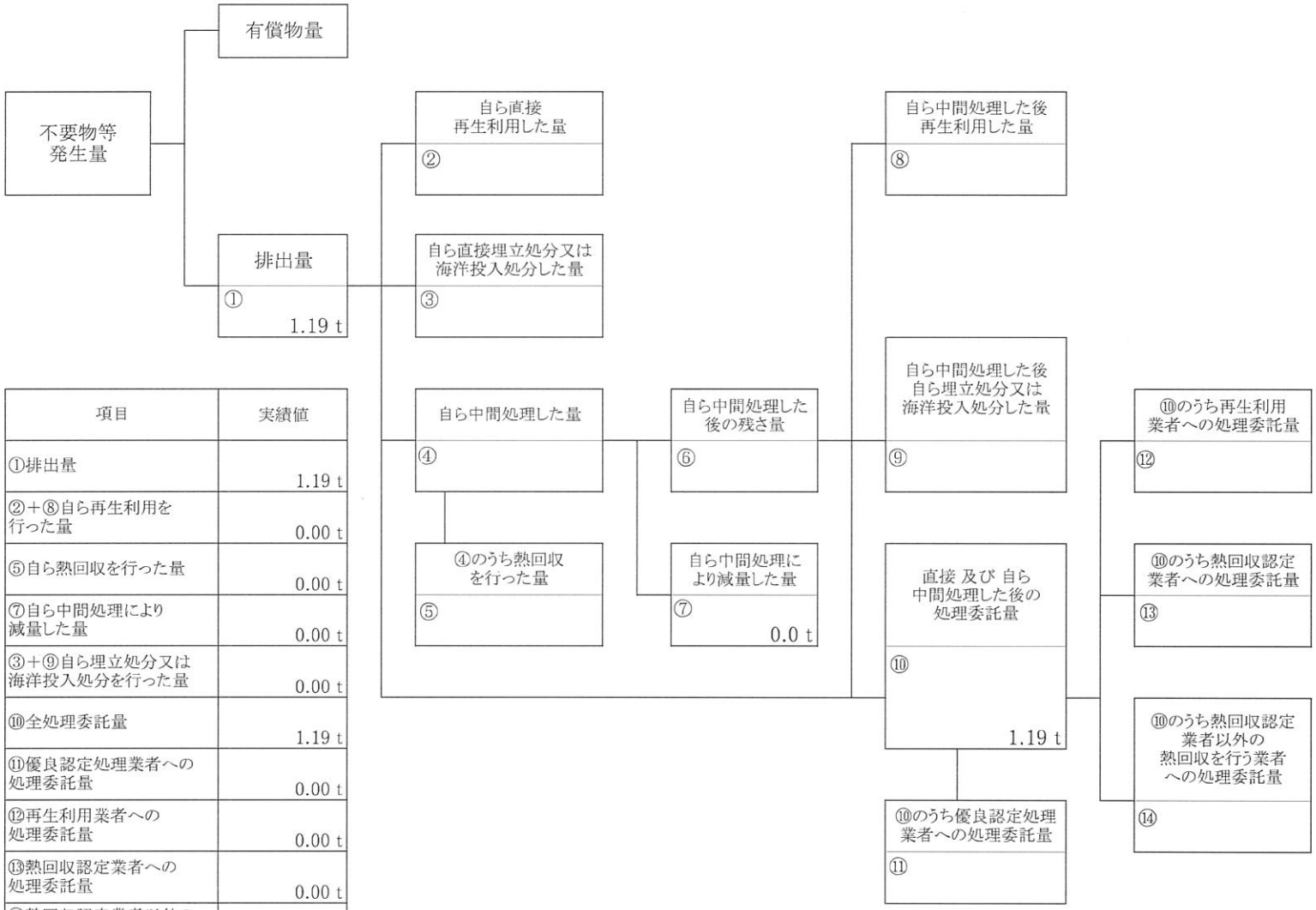


項目	実績値
①排出量	520.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	520.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	520.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有　）

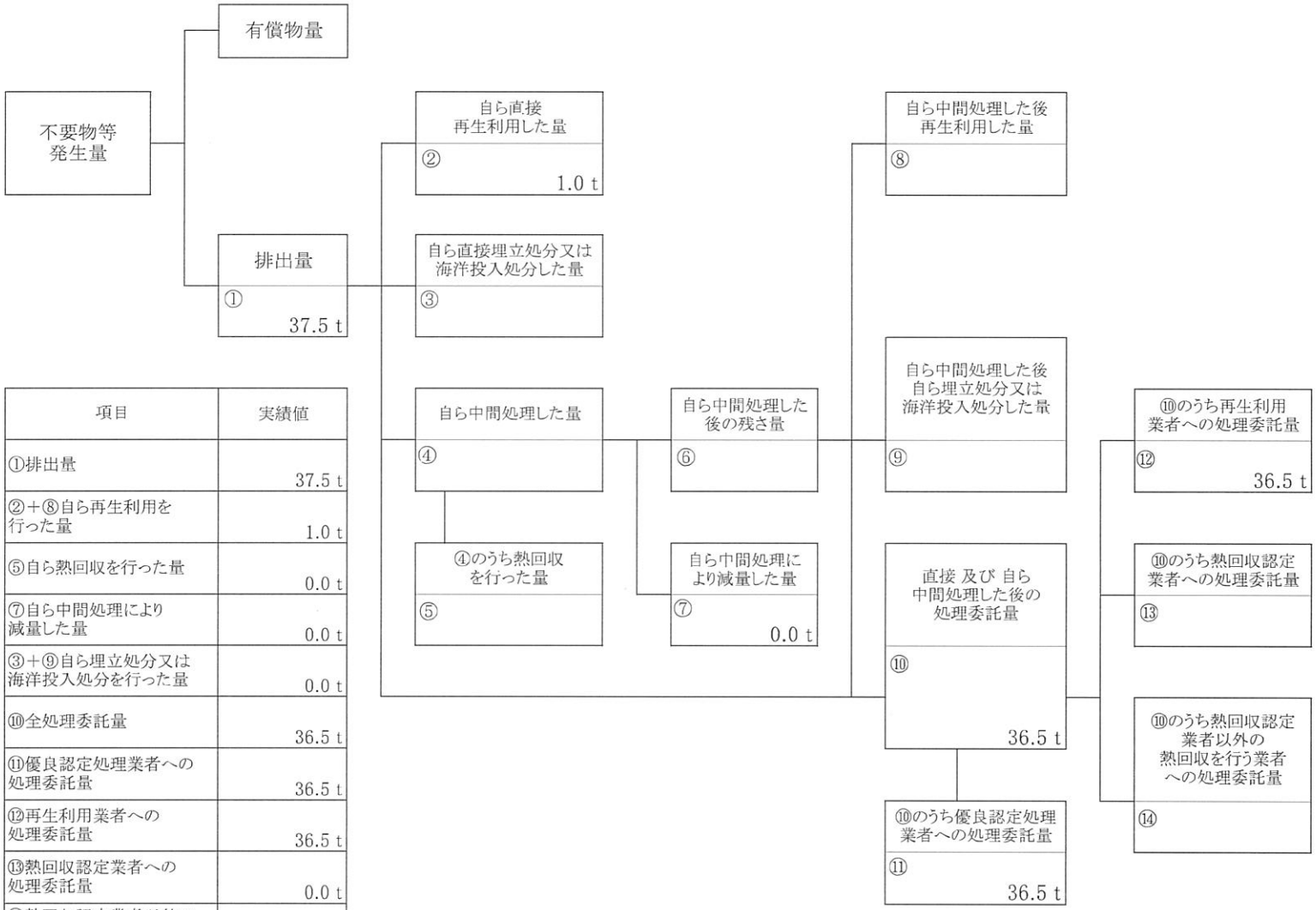


項目	実績値
①排出量	1.19 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.19 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

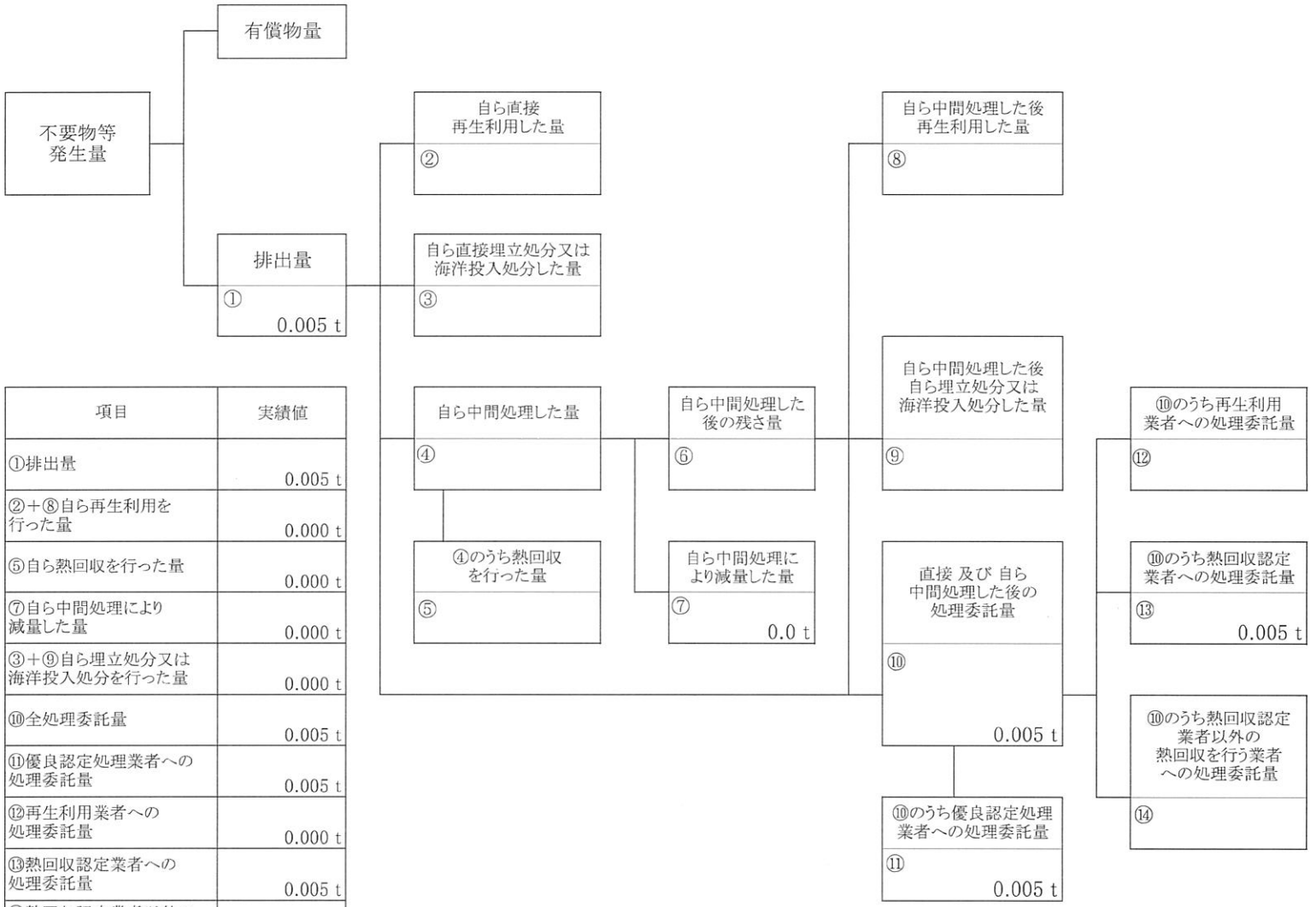


項目	実績値
①排出量	37.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	1.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	36.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	36.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	36.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃酸**　）

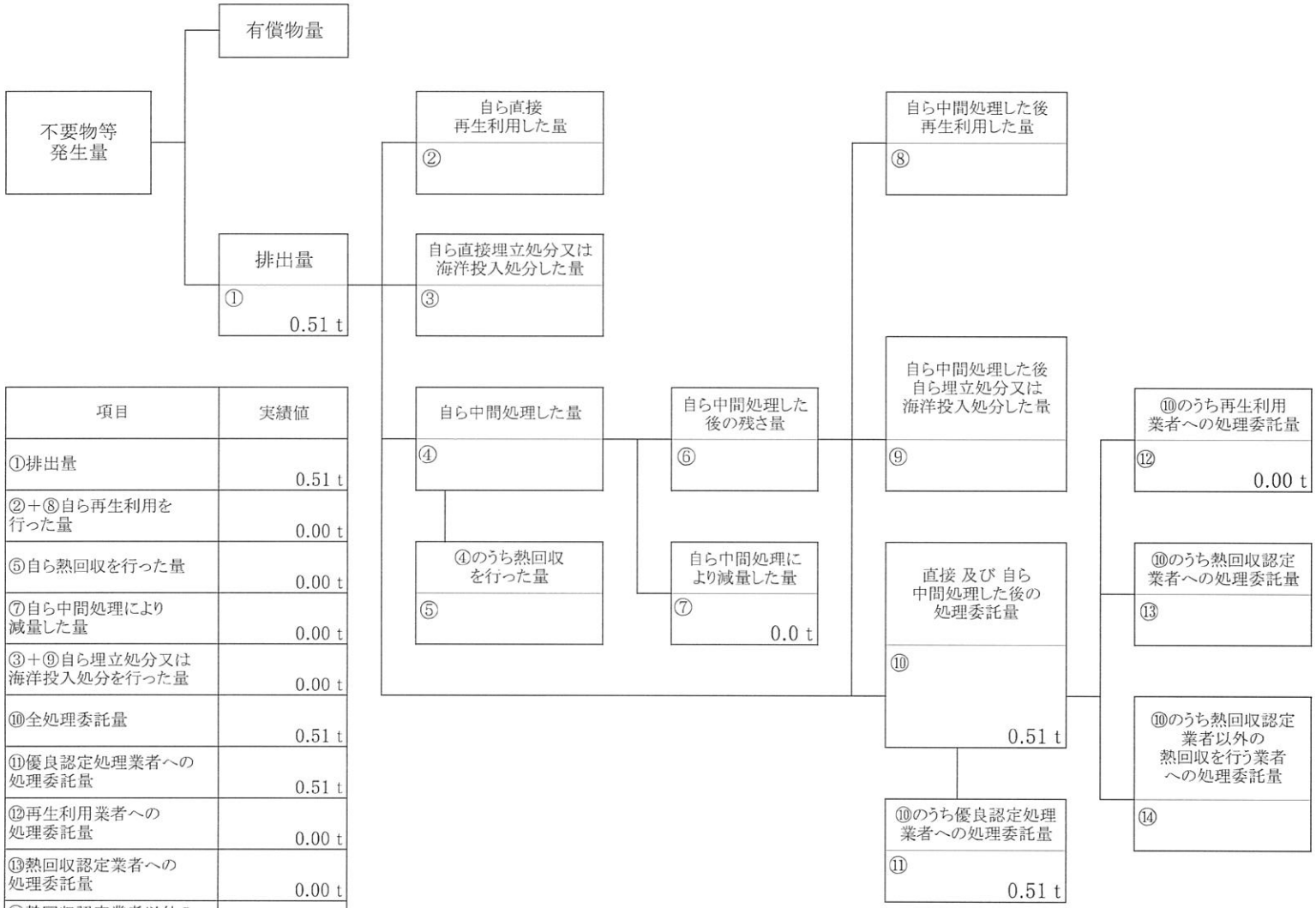


項目	実績値
①排出量	0.005 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.005 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.005 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.005 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　安定型混合廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	0.51 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.51 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.51 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　　6年　6月20日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者〒290-8503

住　所　千葉県市原市五井南海岸３番地

氏　名　丸善石油化学株式会社千葉工場
執行役員工場長　　山本　雅則

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-36-3162

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	丸善石油化学株式会社千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸３番地
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日

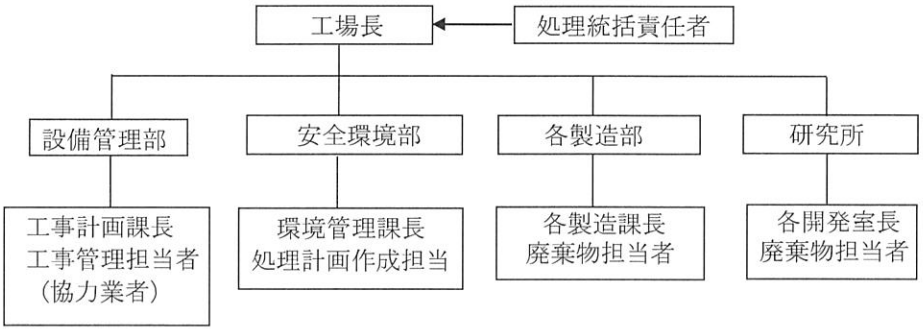
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：石油製品・石炭製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　３８８，１００百万円
③従業員数	７８１人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本工業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】　「別紙の通り」

特別管理産業廃棄物の種類		
排　出　量	t	t

（これまでに実施した取組）

・廃アルカリの自社処理施設の変更申請を実施し、処理量の増加をめざした。
・試験分析で使用した、注射器・針等を新規処分先開拓により感染性廃棄物から非感染性廃棄物として処分できるようになり感染性廃棄物の発生を抑制出来た。
・一部の引火性廃油を出荷設備設置により有償取引としたため、排出量の削減を実施できた。

②計画

【目標】　「別紙の通り」

特別管理産業廃棄物の種類		
排　出　量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・排出抑制につとめる。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・各種類毎に分別保管を行う。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・各種類毎に分別保管を行う。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td>廃アルカリ以外行っていない</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量</td><td>14792 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
・焼却炉の運転状態を変える事で、処理量の増加を行うべく変更申請を実施し、外部委託処理の減少を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃アルカリ</td><td>廃アルカリ以外行っていない</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量</td><td>14700 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組 ）
・処理施設の安定運転につとめる。</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
・自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったこはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】　「別紙の通り」

特別管理産業廃棄物の種類		
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
・廃棄物の処理委託を行う場合、再生利用業者、優良認定処理業者若しくは、熱回収認定を受けた処理業者に極力お願いする。

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】　「別紙の通り」</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・廃棄物の処理委託を行う場合、再生利用業者、優良認定処理業者若しくは、熱回収認定を受けた処理業者に極力お願いする。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td colspan="2">15905.133　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）
・令和２年４月より、電子マニフェストシステム（JWNET）導入</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）　年度）実績】）									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
	排　出　量	379.9 t	7.08 t	31.598 t	15144.654 t	338.5 t	0.001 t	3.4 t	0 t	0 t
②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
	排　出　量	300 t	0.5 t	40 t	15000 t	300 t	5 t	0.5 t	5 t	0.01 t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	14792 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	14700 t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和　5 年度）実績】）

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
全処理委託量	379.9 t	7.08 t	31.598 t	352.654 t	338.5 t	0.001 t	3.4 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	308.5 t	7.08 t	0.008 t	352.654 t	338.5 t	0.001 t	3.4 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	270.0 t	0 t	31.59 t	352.650 t	0 t	0 t	3.4 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	109.9 t	7.08 t	0.008 t	0.004 t	338.5 t	0.001 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(引火性)	廃油(有害含)	廃酸(強酸)	廃アルカリ(強アルカリ)	廃アルカリ(有害)	汚泥(有害)	廃石綿等	廃ＰＣＢ	感染性廃棄物
全処理委託量	300 t	0.5 t	40 t	300 t	300 t	5 t	0.5 t	5 t	0.01 t
優良認定処理業者への処理委託量	300 t	0.5 t	0 t	300 t	300 t	5 t	0.5 t	5 t	0.01 t
再生利用業者への処理委託量	200 t	0 t	40 t	200 t	100 t	0 t	0.5 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	100 t	0.5 t	0 t	100 t	200 t	5 t	0 t	0 t	0.01 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

丸善石油化学(株)千葉工場



様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 20日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒290-8503
住 所　千葉県市原市五井南海岸3番地
氏 名　丸善石油化学株式会社千葉工場
執行役員工場長　山本 雅則
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0436-36-3162

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	丸善石油化学株式会社千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸3番地
事業の種類	大分類:製造業　中分類:石油製品・石炭製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	15970.51 t	全処理委託量	970.51 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	630.51 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	650.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	15000.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	315.51 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度　15845.86	t
	前年度　15905.133	t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

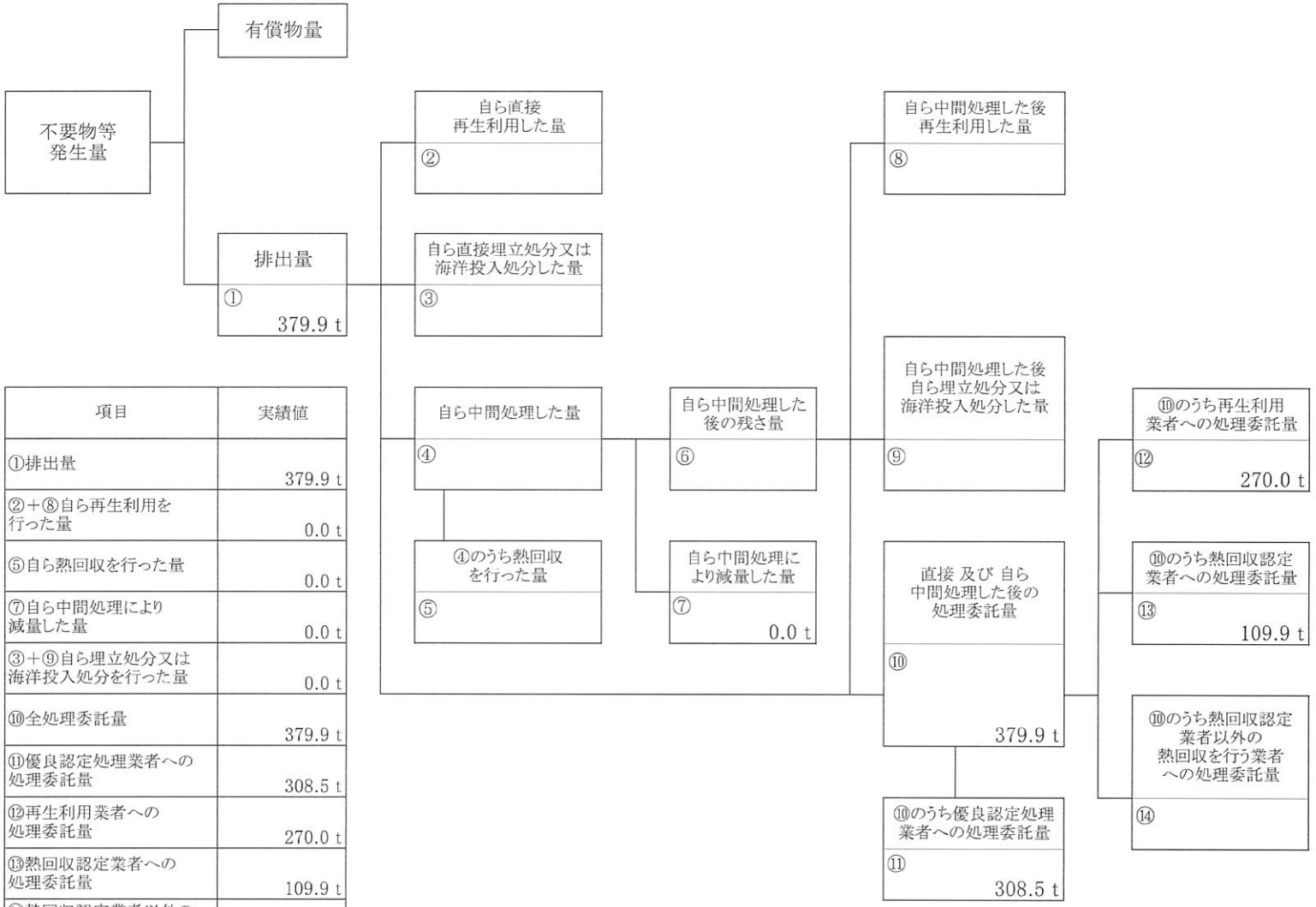
令和2年4月より、電子マニフェストシステム（JWNET）導入

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（引火性）　）

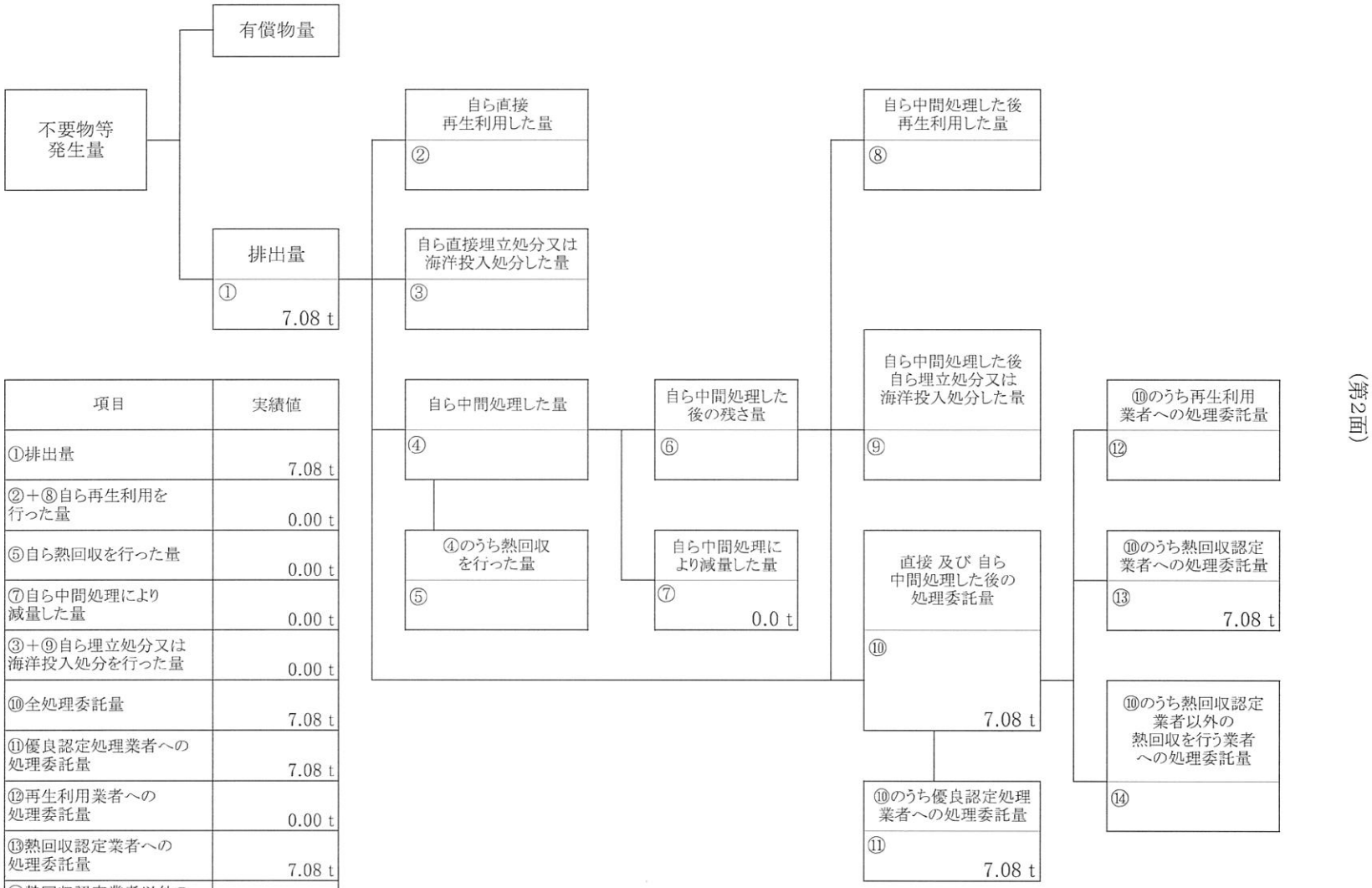


項目	実績値
①排出量	379.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	379.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	308.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	270.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	109.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（有害）　）

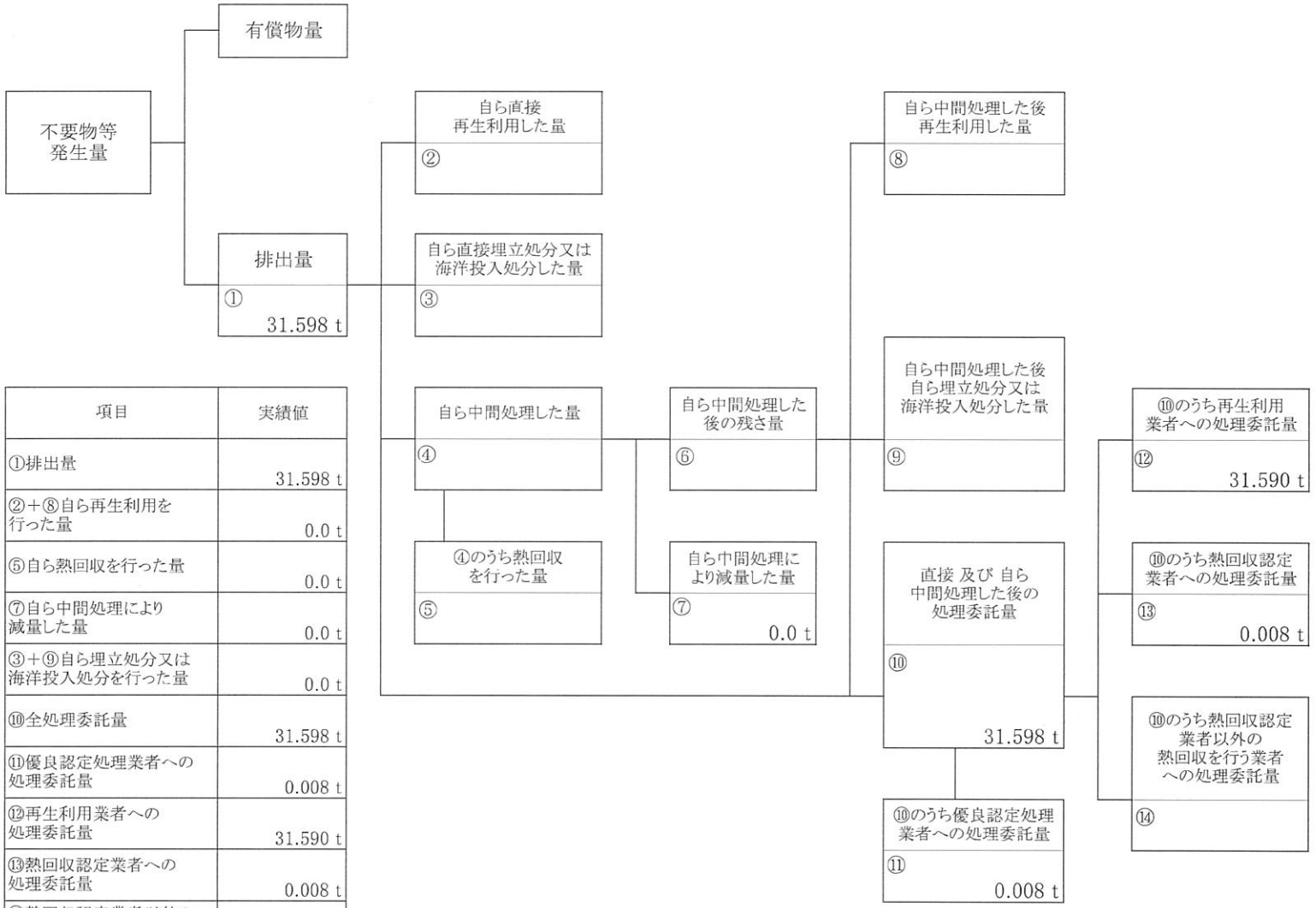


項目	実績値
①排出量	7.08 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	7.08 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.08 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	7.08 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸（強酸）　）

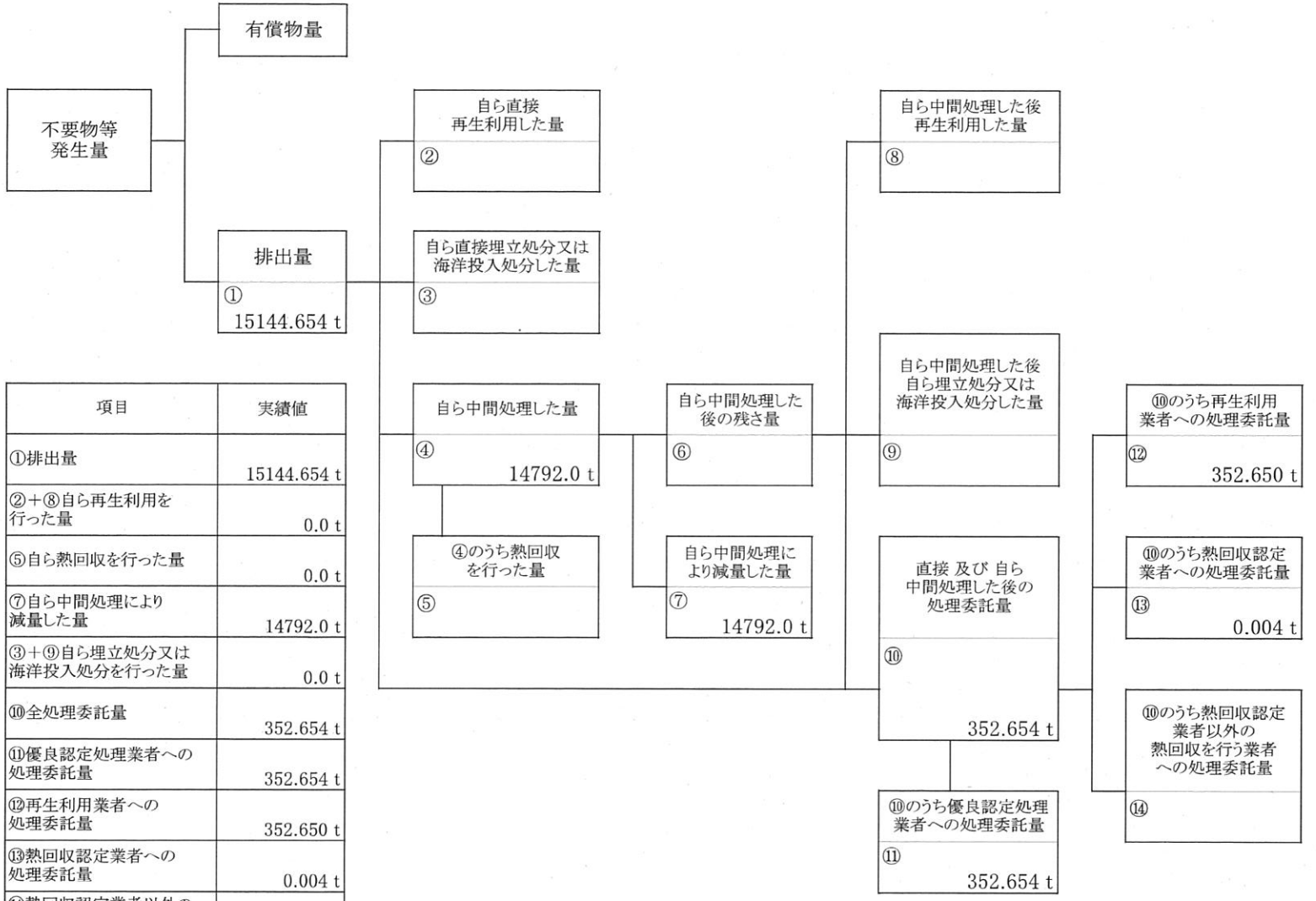


項目	実績値
①排出量	31.598 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	31.598 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.008 t
⑫再生利用業者への処理委託量	31.590 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.008 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃アルカリ（強アルカリ）　）

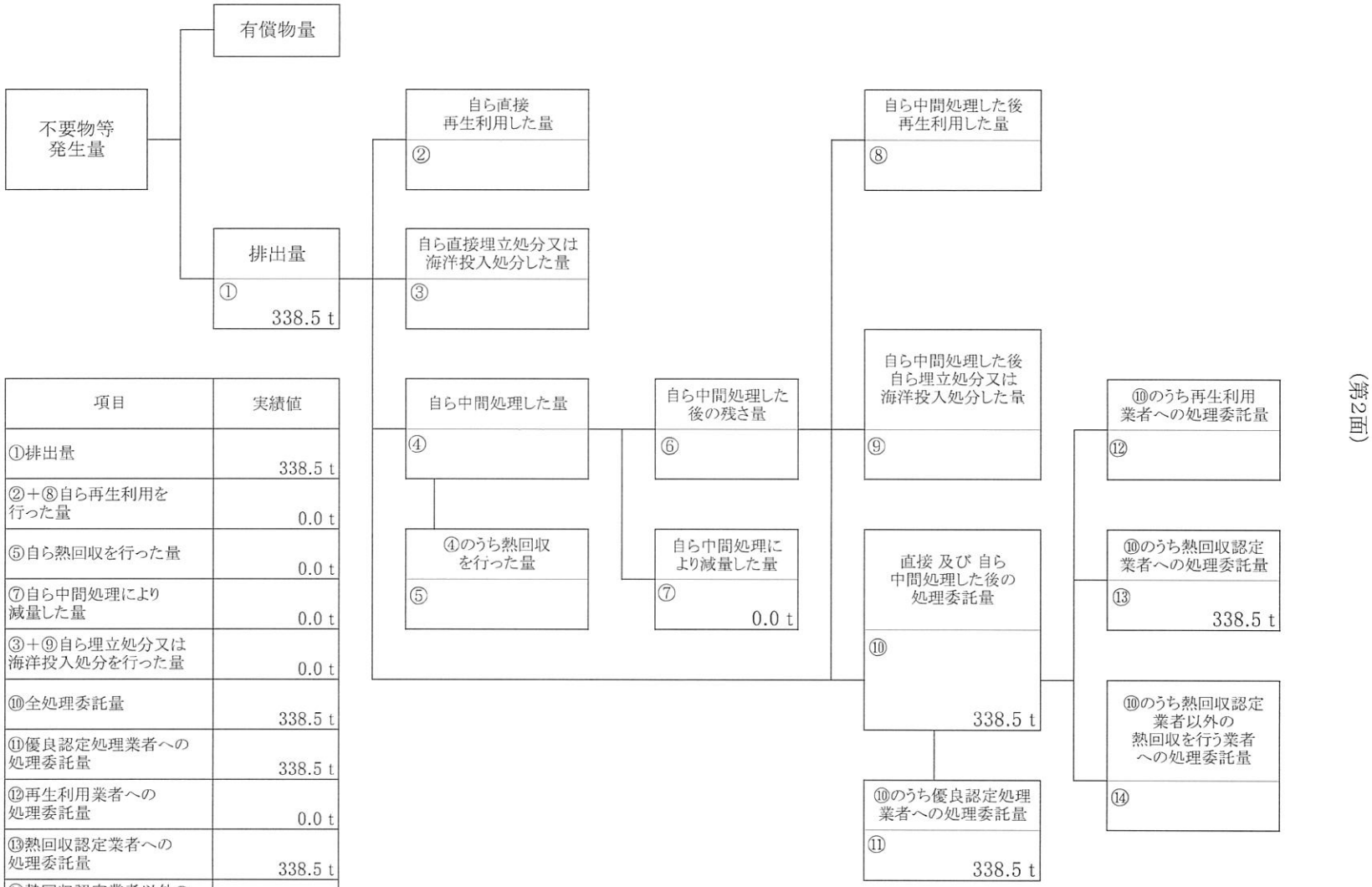


項目	実績値
①排出量	15144.654 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	14792.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	352.654 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	352.654 t
⑫再生利用業者への処理委託量	352.650 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.004 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃アルカリ（有害）　）

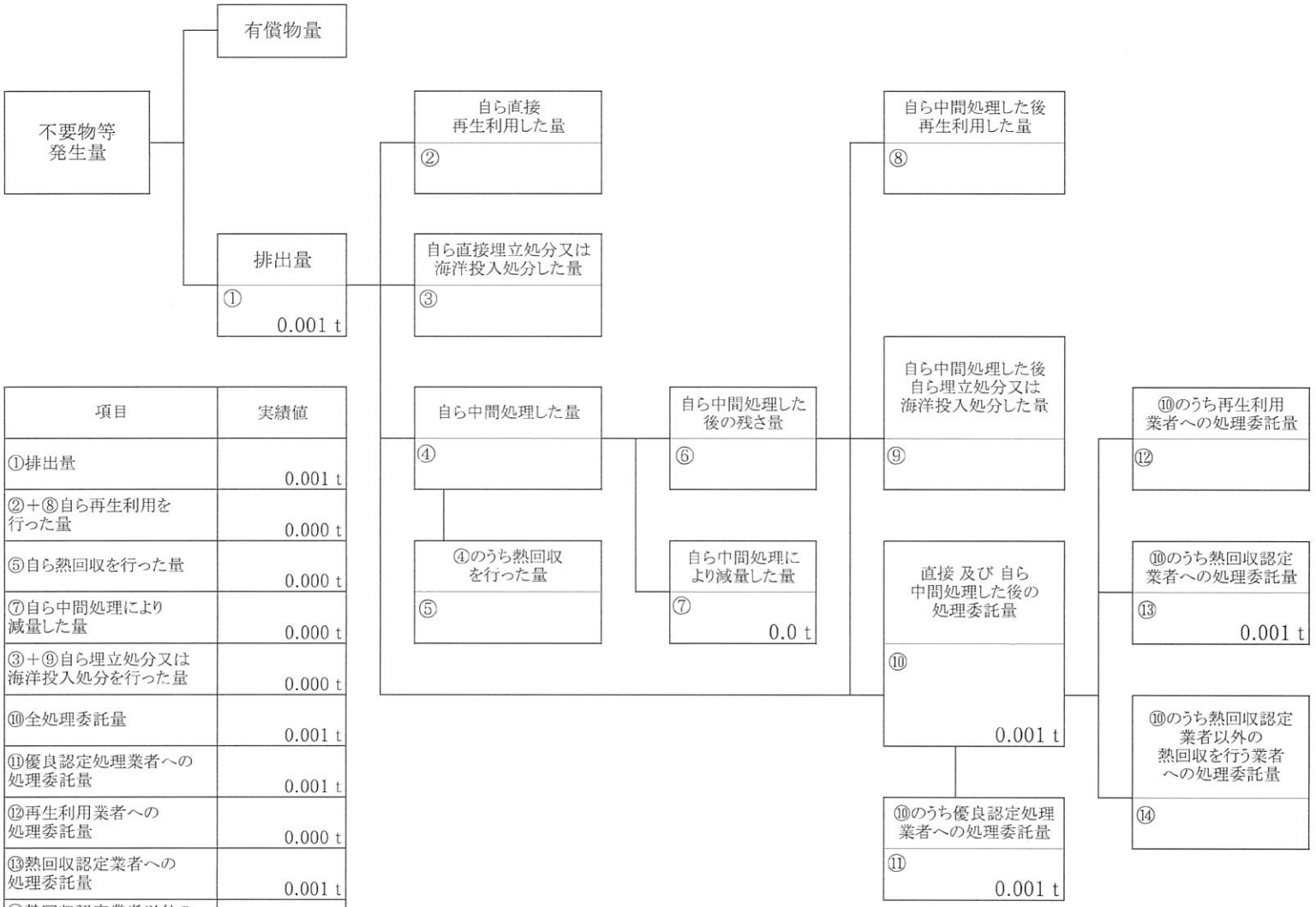


項目	実績値
①排出量	338.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	338.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	338.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	338.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　汚泥（有害）　）

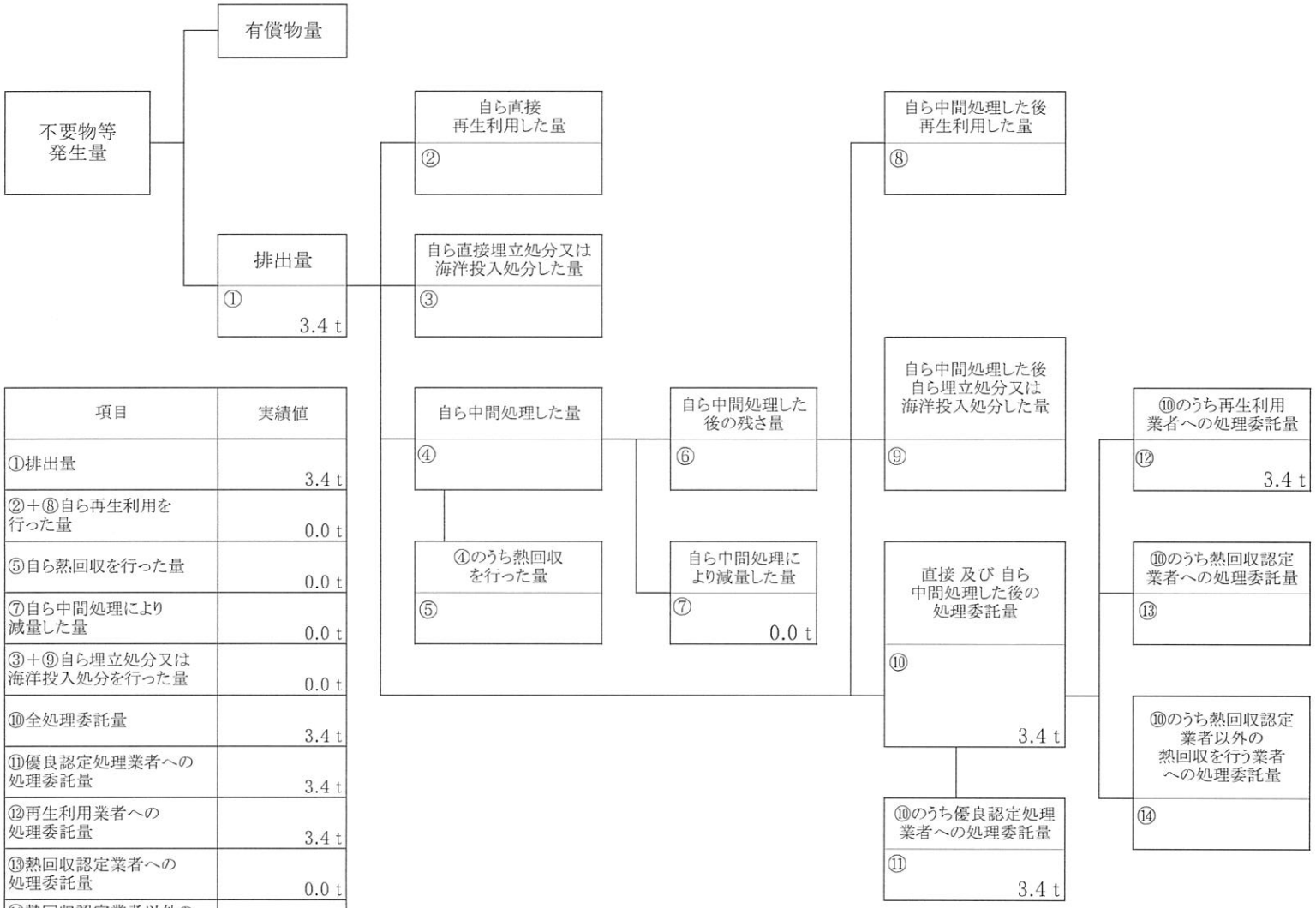


項目	実績値
①排出量	0.001 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.001 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.001 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.001 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃石綿　）

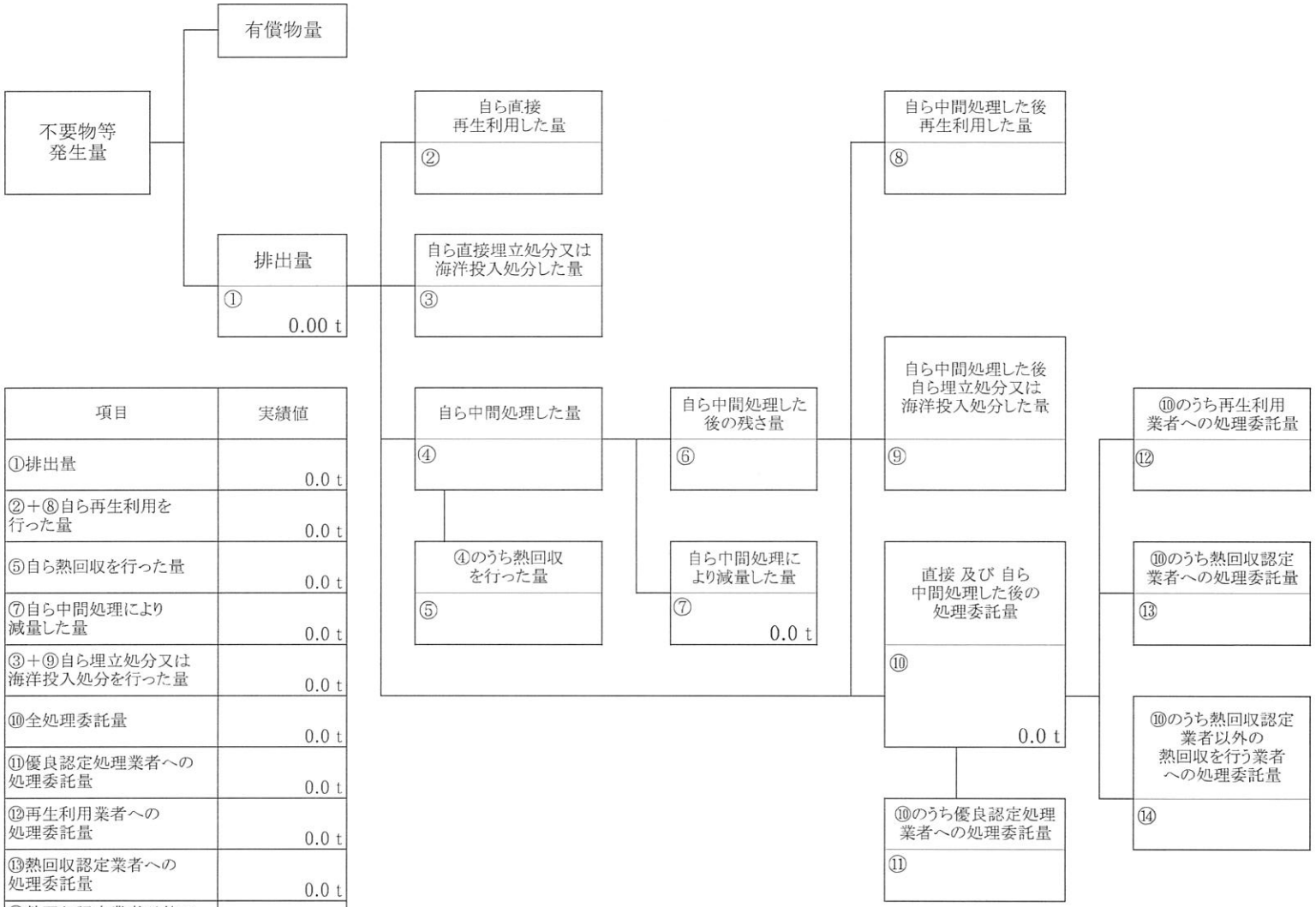


項目	実績値
①排出量	3.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　PCB廃棄物　）

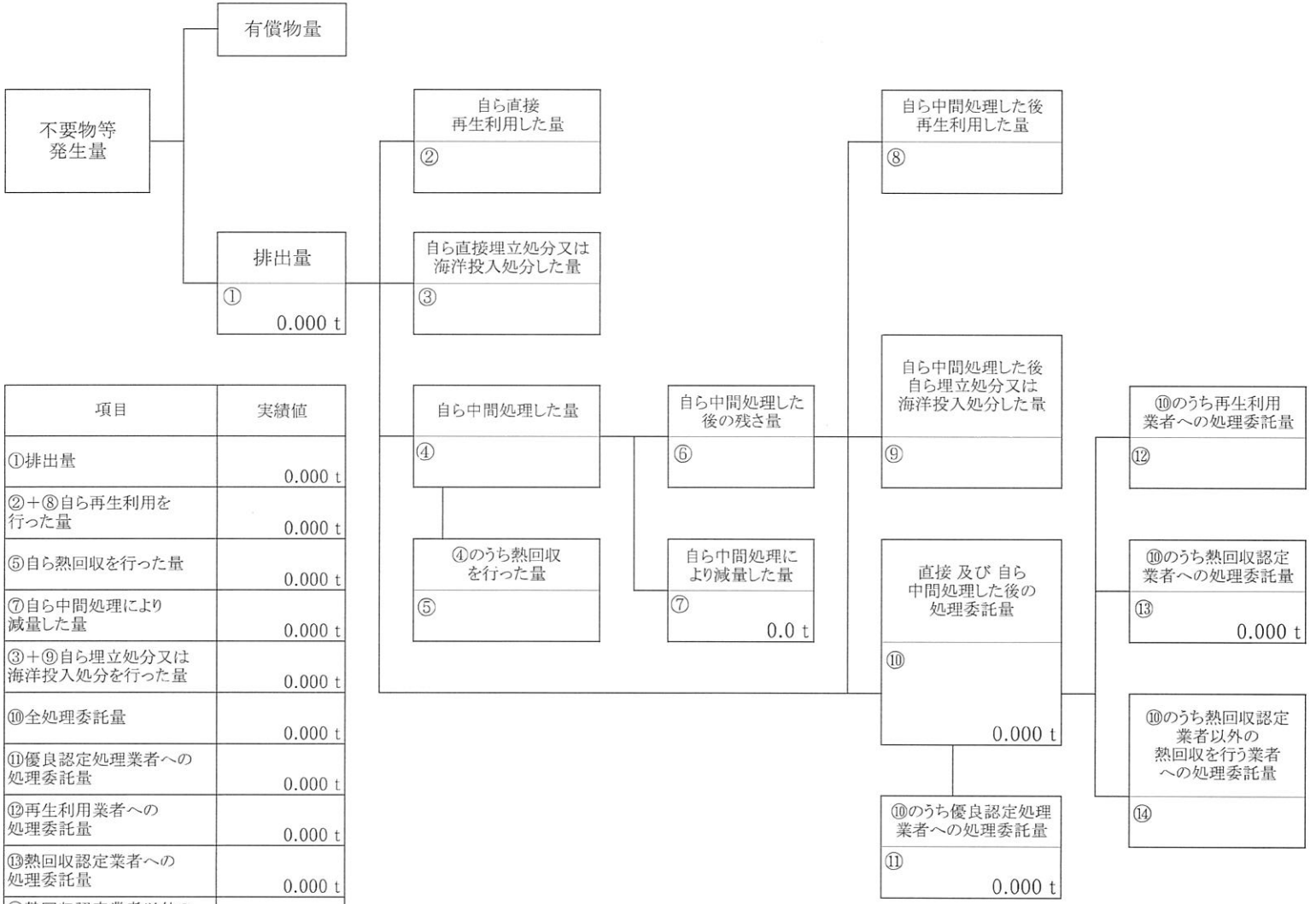


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　感染性廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	0.000 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　６ 年　５ 月 ３０日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-0108

住　所　千葉県市原市千種海岸3番地

氏　名　三井化学株式会社　市原工場
執行役員工場長　阿部　真二

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0436-62-3223

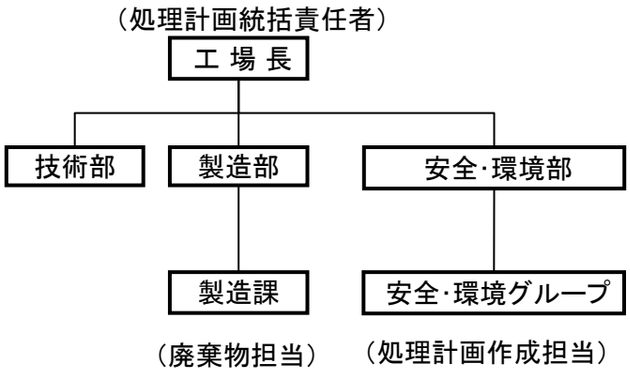
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井化学株式会社市原工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸3番地
計画期間	令和　６年　４月　１日　から　令和　７年　３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：製造業　中分類：化学工業 小分類：有機化学工業製品製造業
②　事業の規模	前年度の製品出荷額　　２，５２６　億円
③　従業員数	１，２２６人（正社員　７７５　人、常勤関係職員　４５１　人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
	排　　出　　量_	t	t
	（これまでに実施した取組） 汚泥：脱水機運転管理強化による含水率の低減。 廃油：設備改造、運転方法、作業方法改善で抑制。 廃プラ：設備改造、仕分け徹底、運転方法改善で削減。 金属：可能な限りリサイクル 陶磁器くず等、がれき類：使用期間延長で発生抑制 木くず：パレットを破損させない様配慮　など		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
	排　　出　　量_	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記 「現状取組」の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥は、廃棄物が混ざらない様、専用設備で管理。 廃油は、発生場所による仕分けの徹底。 廃プラ、紙くず、木くずは、再資源化業者に委託するため分別を徹底。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記「現状取組」の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 廃プラは、一部をケミカルリサイクルしている		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 上記「現状取組」の継続		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） _		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） _		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
埋立処分や海洋投入処分は原則行わない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
上記「現状取組」の継続

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
全処理委託量_	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
中間処理後にセメント原料にする等、再資源化を推進している業者へ委託。
また、優良認定処理業者、認定熱回収業者へ委託するよう考慮している。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	一覧参照	一覧参照
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 上記「現状取組」の継続		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

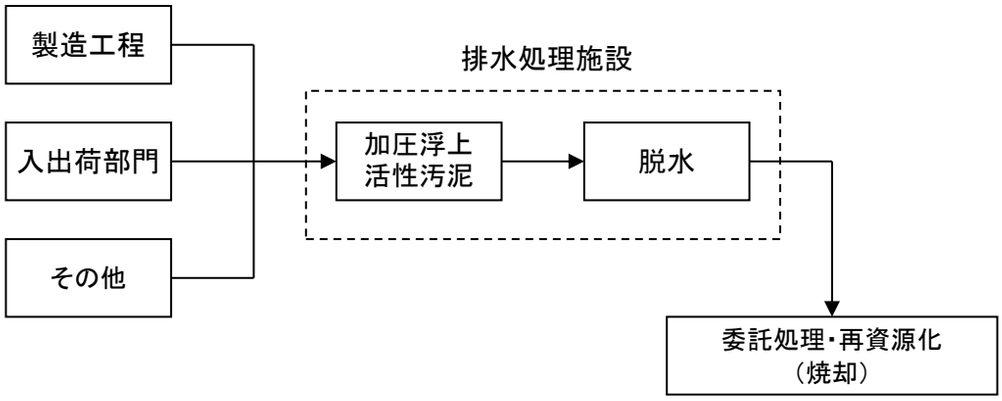
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

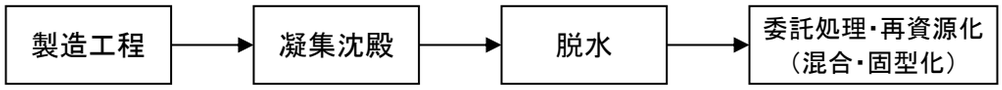
別紙

普通産業廃棄物処理工程

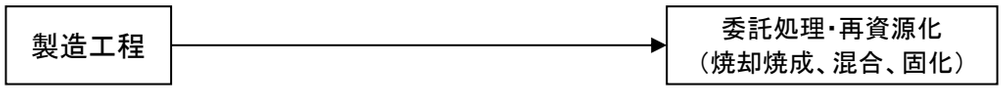
1. 汚泥(WT汚泥)



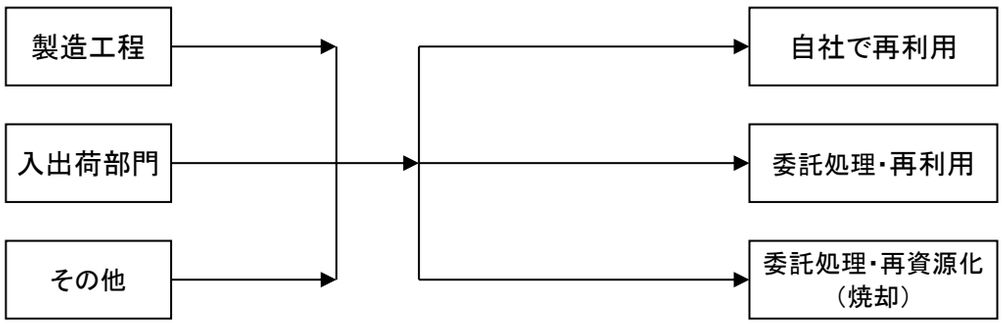
2. 汚泥(FR汚泥)



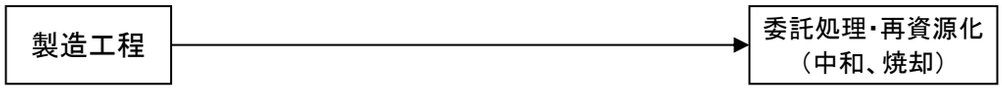
3. その他汚泥(汚泥)



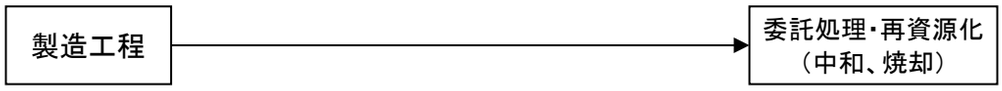
4. 廃油



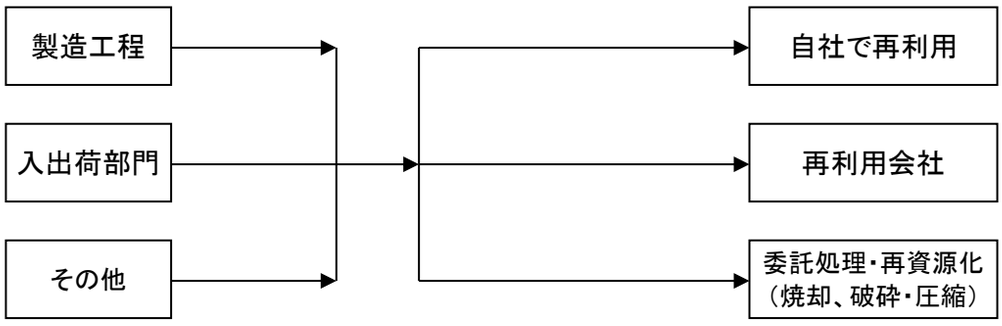
5. 廃酸



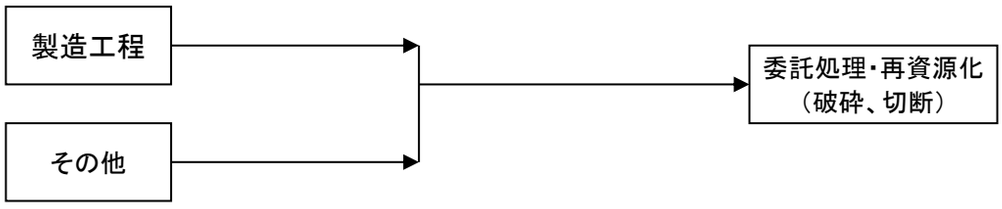
6. 廃アルカリ



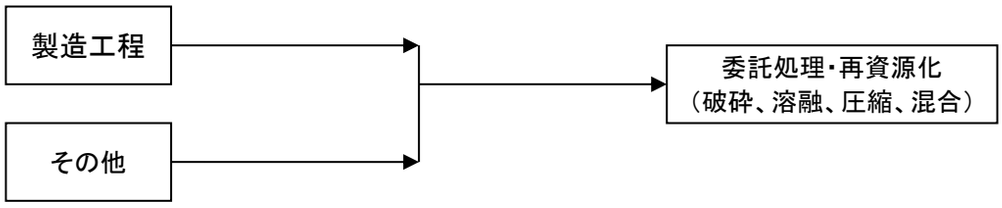
7. 廃プラスチック類



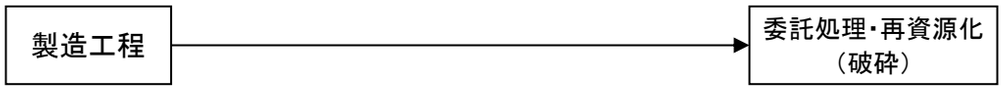
8. 金属くず



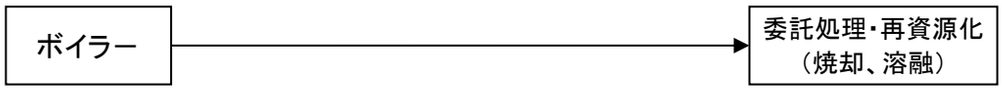
9.. ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず



10. がれき類



11. ばいじん



12. 木くず



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	排　出　量	5702.2　t	804　t	2049.5　t	56.9　t	0　t	89.4　t	4130.4　t	9.4　t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	排　出　量	5417　t	788　t	1947　t	54　t	0　t	85　t	3924　t	9　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	3593.7　t	0　t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	3414　t	0　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	全処理委託量	5702.2 t	804 t	2049.5 t	56.9 t	0 t	89.4 t	536.7 t	9.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	5026.1 t	718.1 t	2022.8 t	56.9 t	0 t	89.4 t	461.4 t	7.9 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	768.5 t	477.6 t	6.2 t	0 t	0 t	75.9 t	8.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	3652.1 t	0 t	767.8 t	45 t	0 t	89.4 t	270 t	0.3 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	429.6 t	0 t	5.4 t	0.3 t	0 t	0 t	190.8 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥（WT）	汚泥（FR）	汚泥（その他）	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	金属くず
	全処理委託量	5417 t	788 t	1947 t	54 t	0 t	85 t	510 t	9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	5417 t	709 t	1947 t	54 t	0 t	85 t	510 t	9 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	788 t	102 t	6 t	0 t	43 t	204 t	9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	4063 t	0 t	924 t	48 t	0 t	0 t	306 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1083 t	0 t	921 t	0 t	0 t	42 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
		排　出　量	138.5　t	61.8　t	7.1　t	60.1　t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
		排　出　量	132　t	59　t	7　t	57　t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	全処理委託量	138.5 t	61.8 t	7.1 t	60.1 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	136.9 t	0 t	7.1 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3 t	61.8 t	0 t	60.1 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	133.4 t	0 t	7.1 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	ばいじん	木くず				
	全処理委託量	132 t	59 t	7 t	57 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	132 t	0 t	7 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	132 t	59 t	0 t	57 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	7 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 5月 30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒299-0108
住 所　千葉県市原市千種海岸3番地
氏 名　三井化学株式会社 市原工場
執行役員工場長 阿部 真二
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0436-62-3223

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井化学株式会社市原工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸3番地
事業の種類	大分類:製造業 中分類:化学工業 小分類:有機化学工業製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月31日

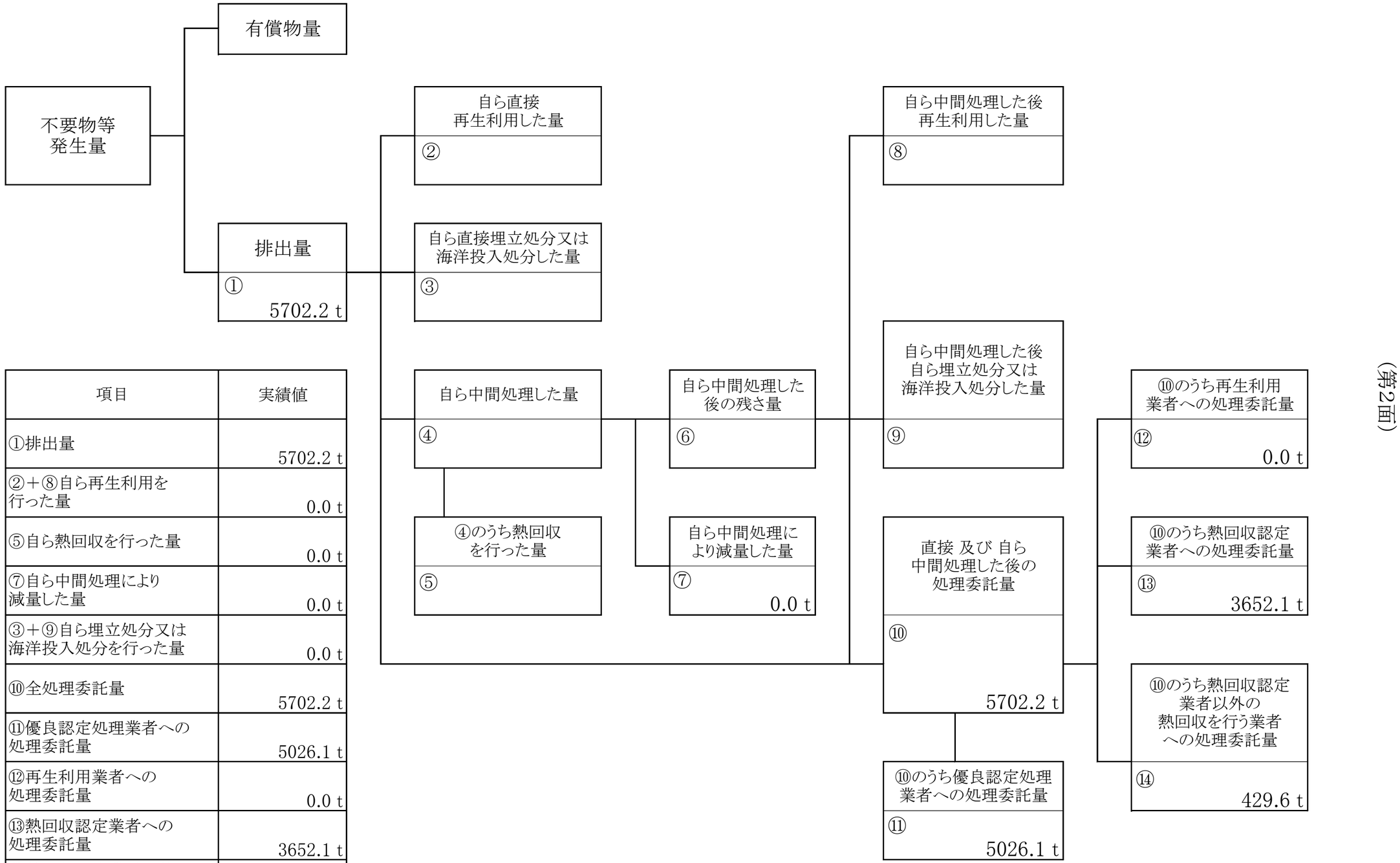
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	12,970 t	全処理委託量	10,268 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,702 t	優良認定処理業者への処理委託量	9,874 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,759 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	3,988 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4,521 t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥（WT）　）

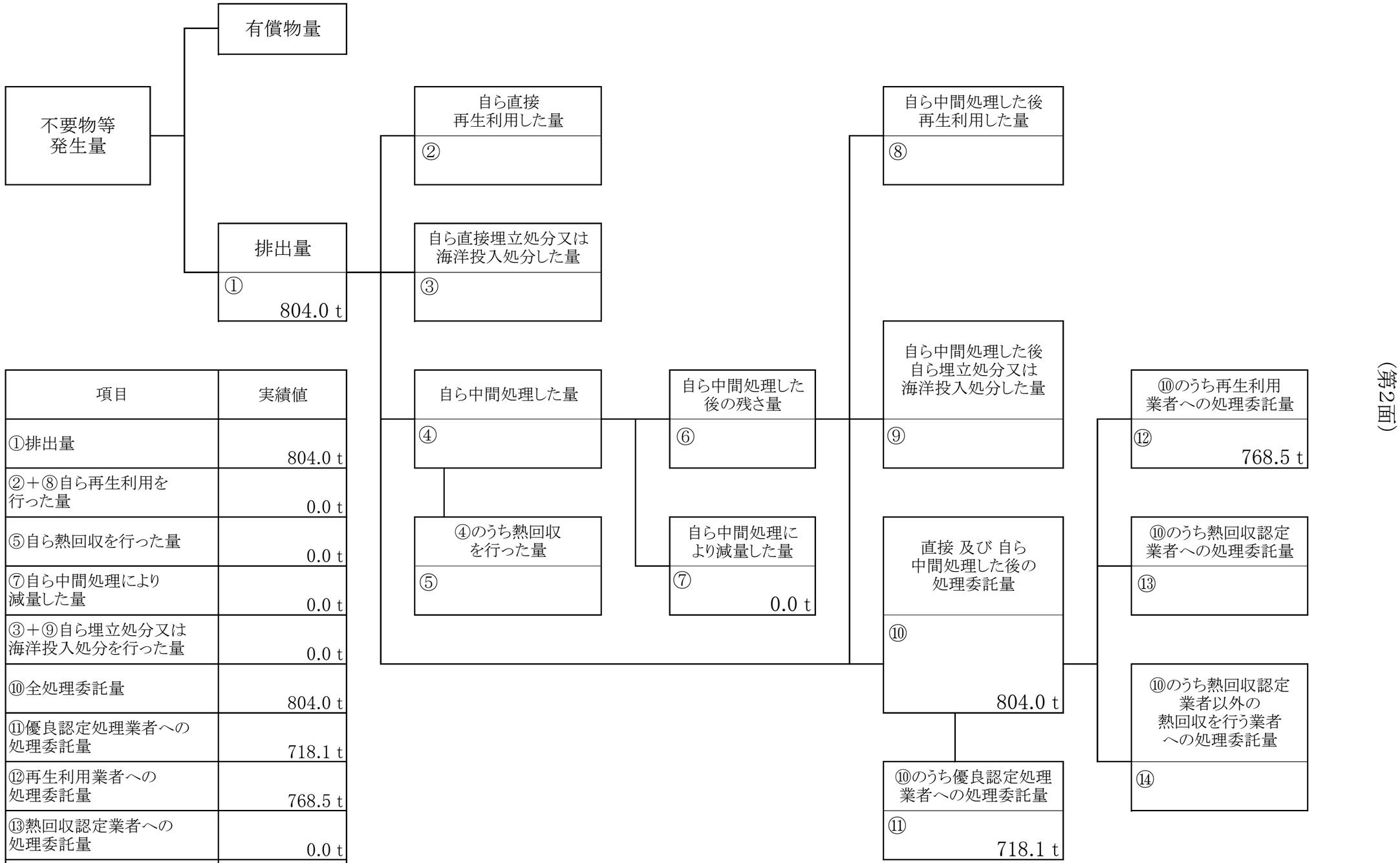


項目	実績値
①排出量	5702.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5702.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5026.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	3652.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	429.6 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥（FR）　）



項目	実績値
①排出量	804.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	804.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	718.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	768.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**汚泥（その他）**　）

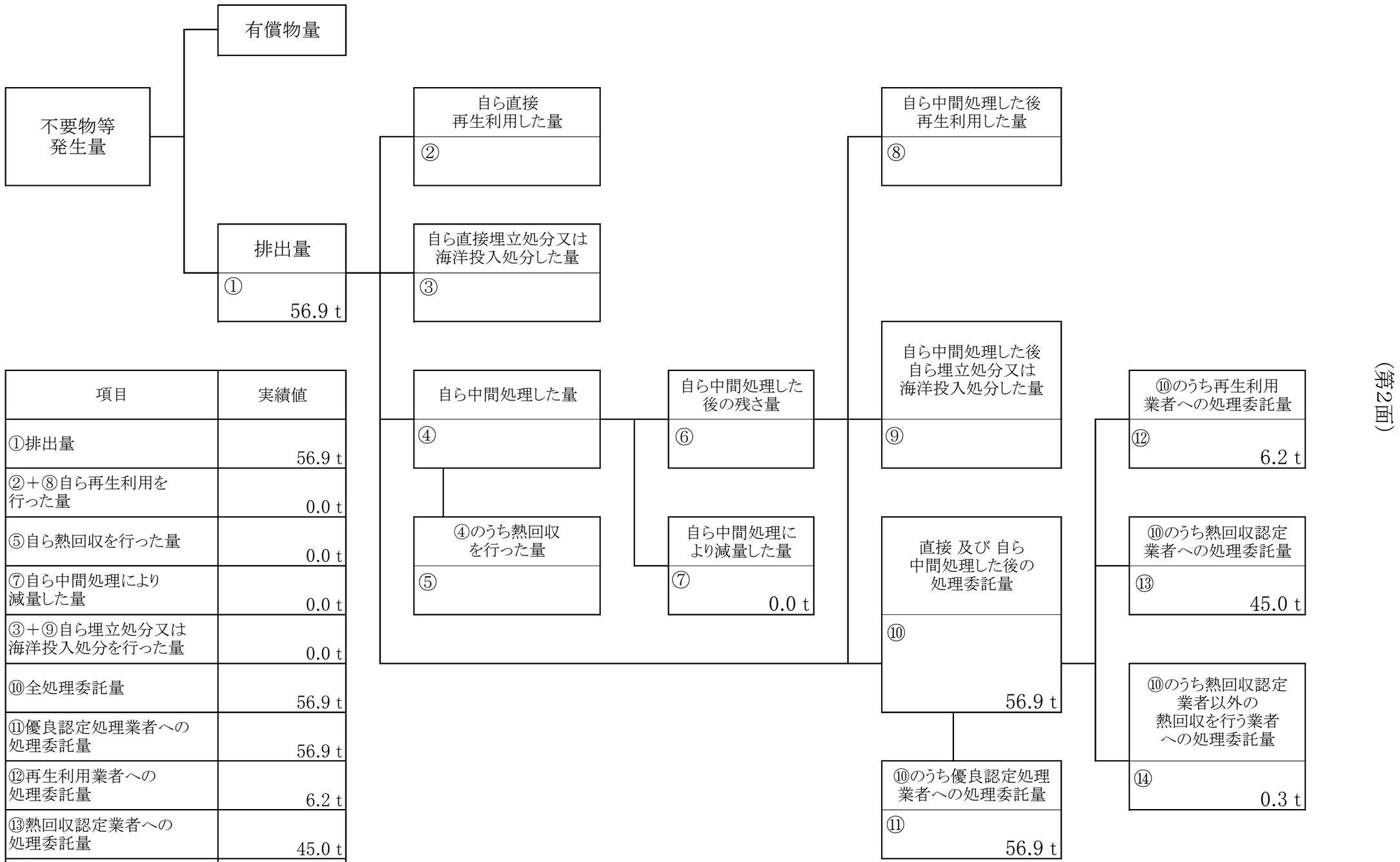


項目	実績値
①排出量	2049.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2049.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2022.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	477.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	767.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.4 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃油**　）

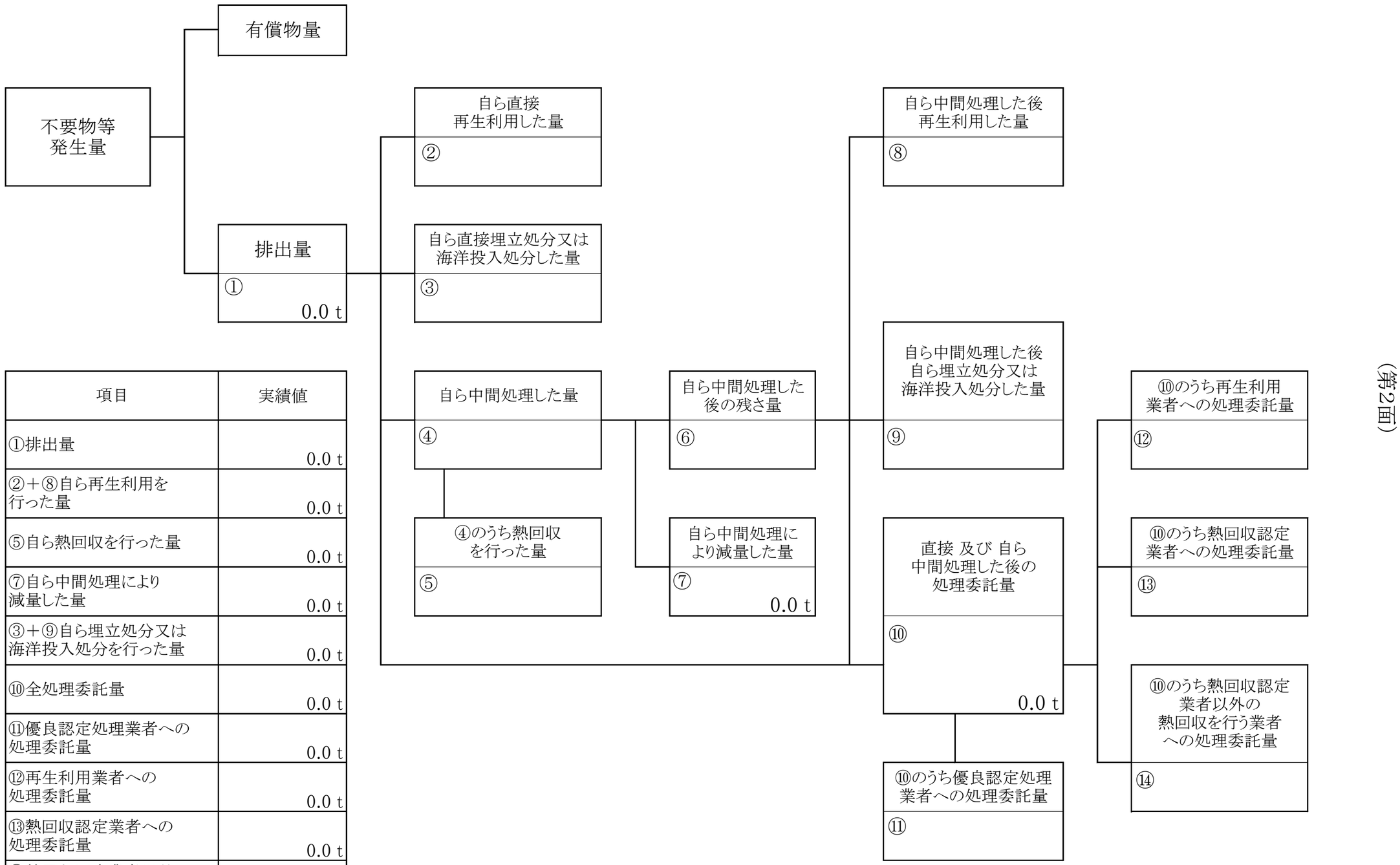


項目	実績値
①排出量	56.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	56.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	45.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.3 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃酸**　）

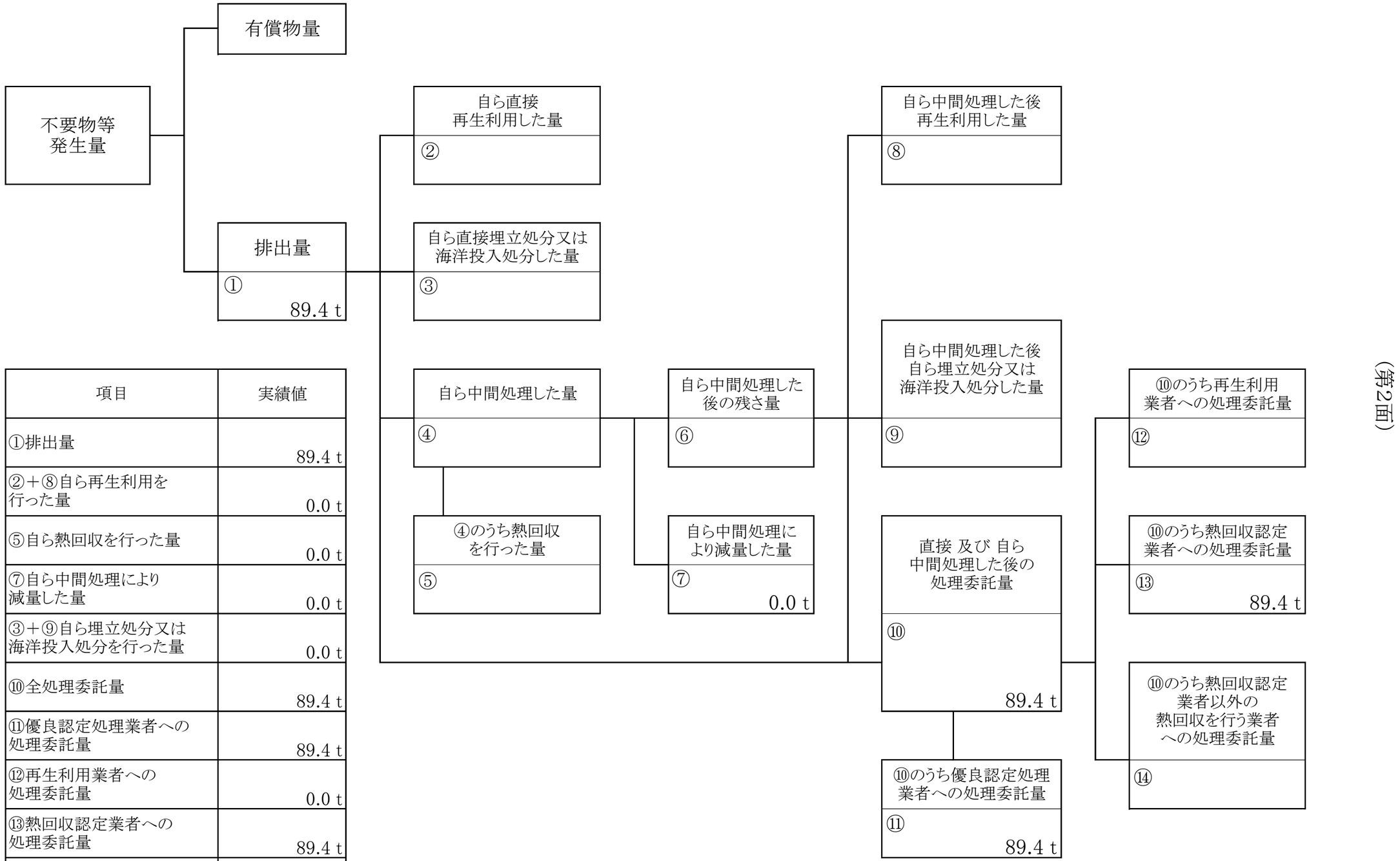


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃アルカリ**　）

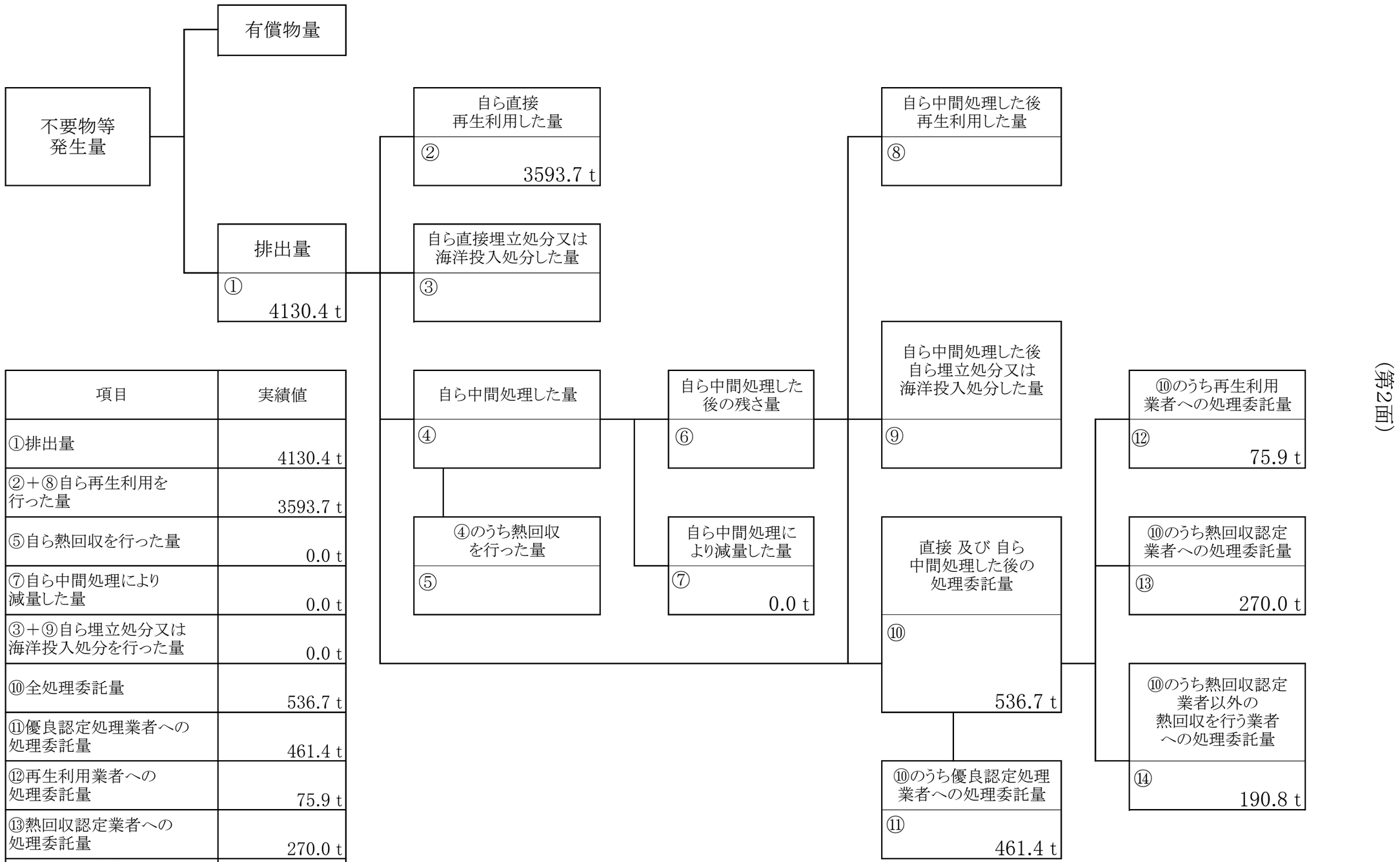


項目	実績値
①排出量	89.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	89.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	89.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	89.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

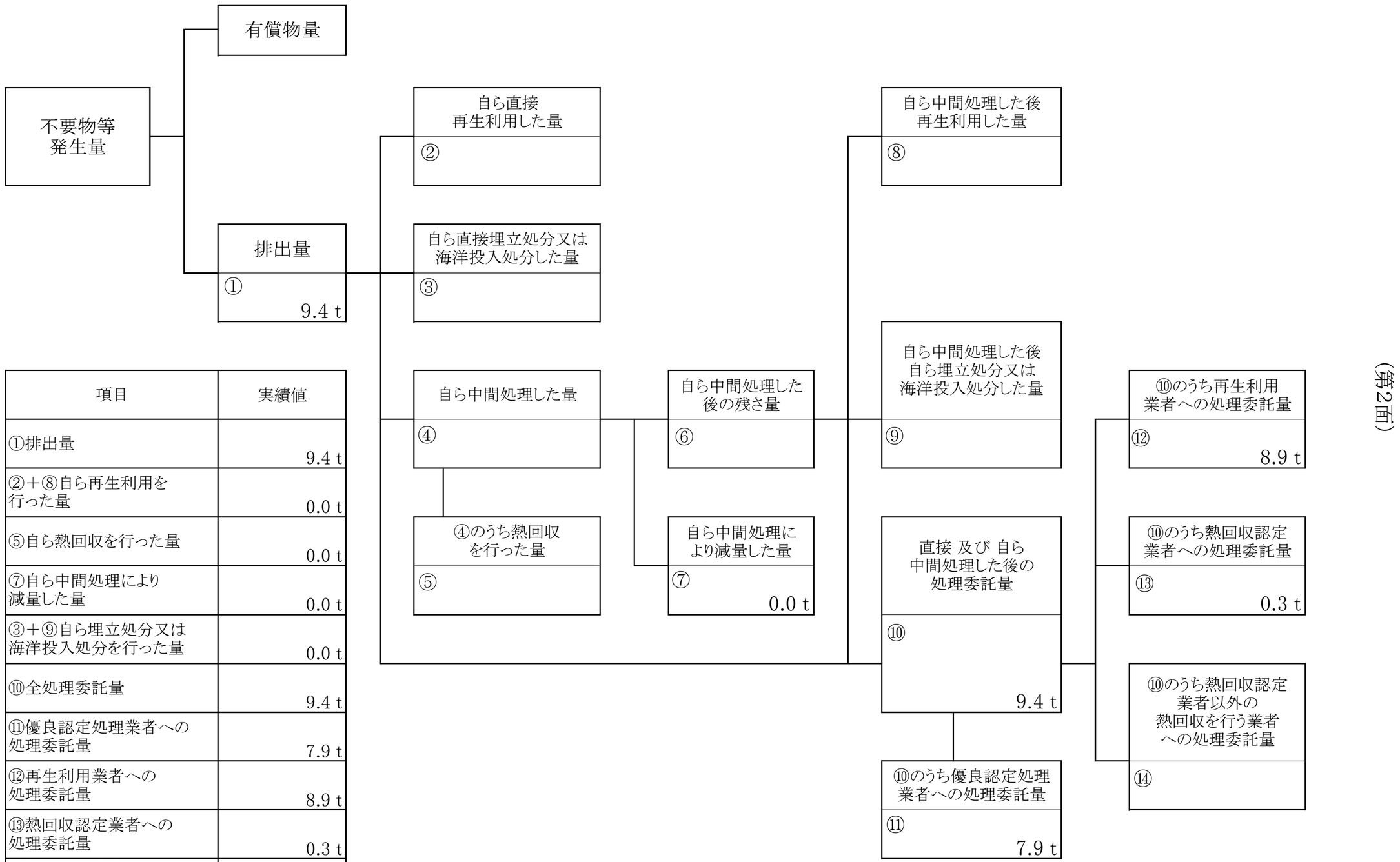


項目	実績値
①排出量	4130.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	3593.7 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	536.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	461.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	75.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	270.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	190.8 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**金属くず**　）

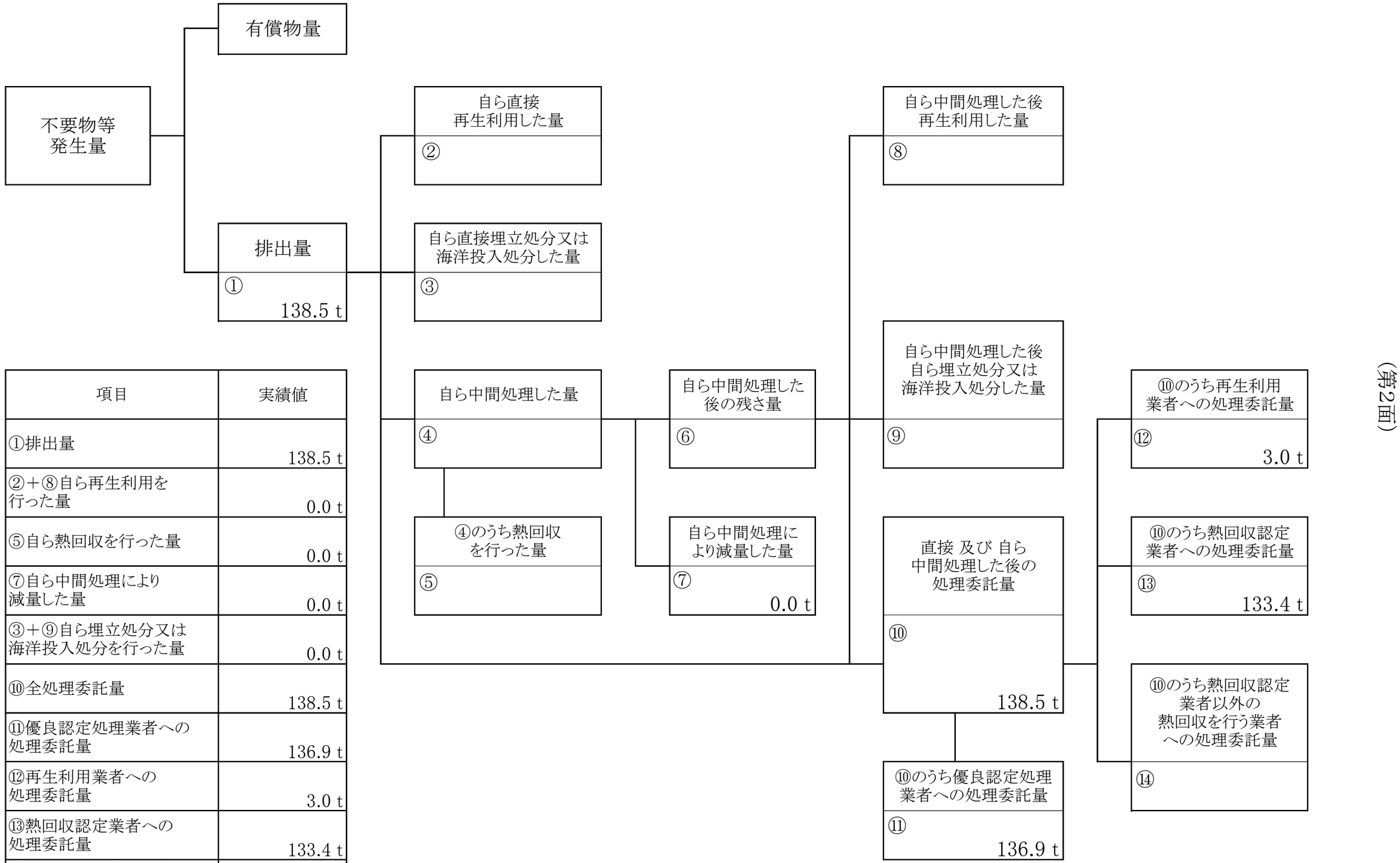


項目	実績値
①排出量	9.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**　）

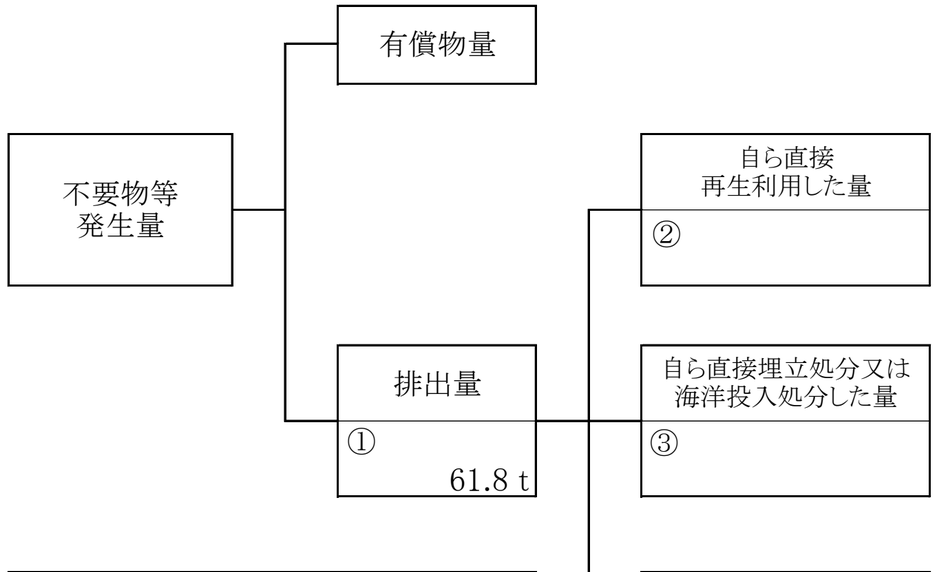


項目	実績値
①排出量	138.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	138.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	136.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	133.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**がれき類**　）

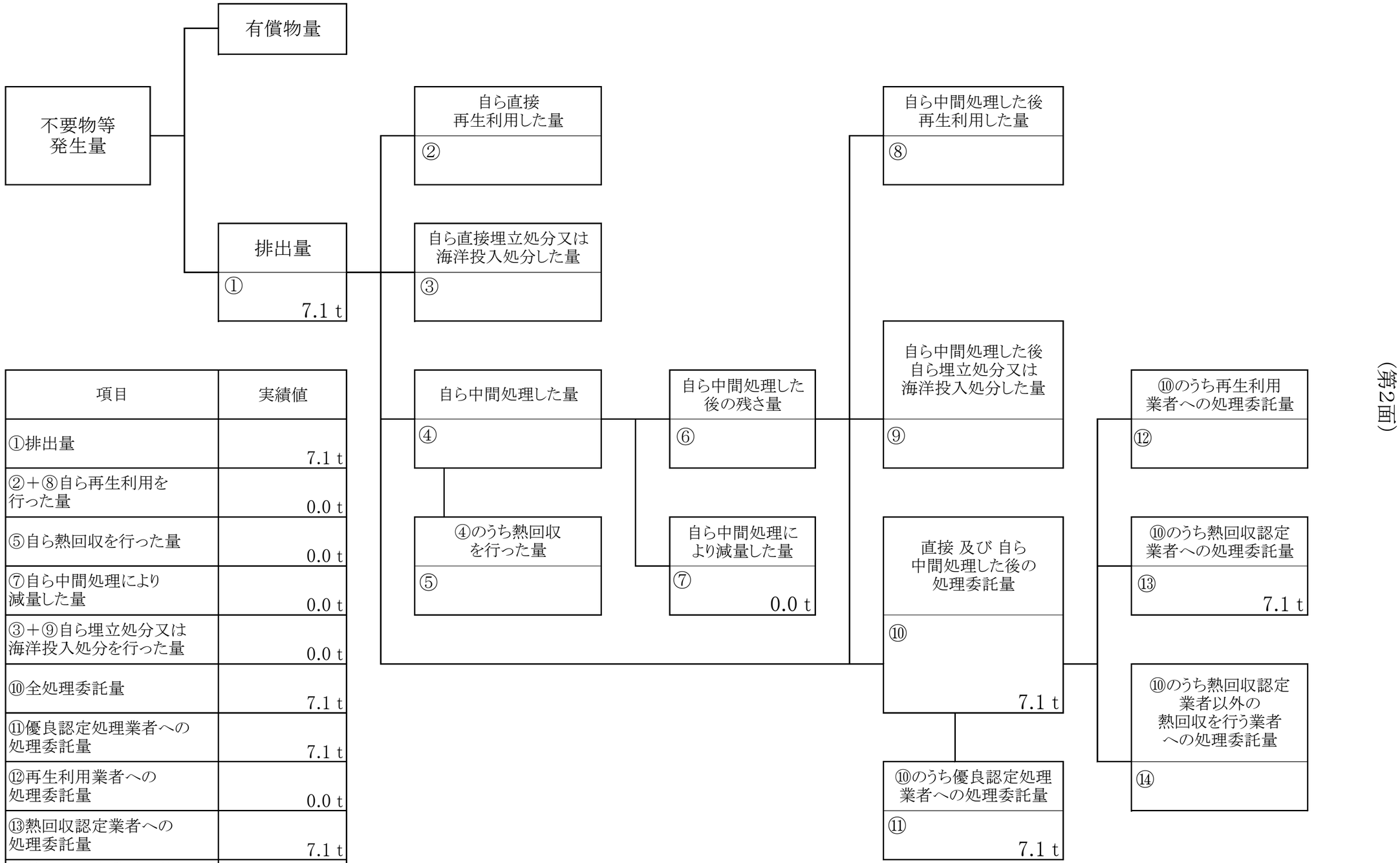


項目	実績値
①排出量	61.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	61.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	61.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　ばいじん　　）

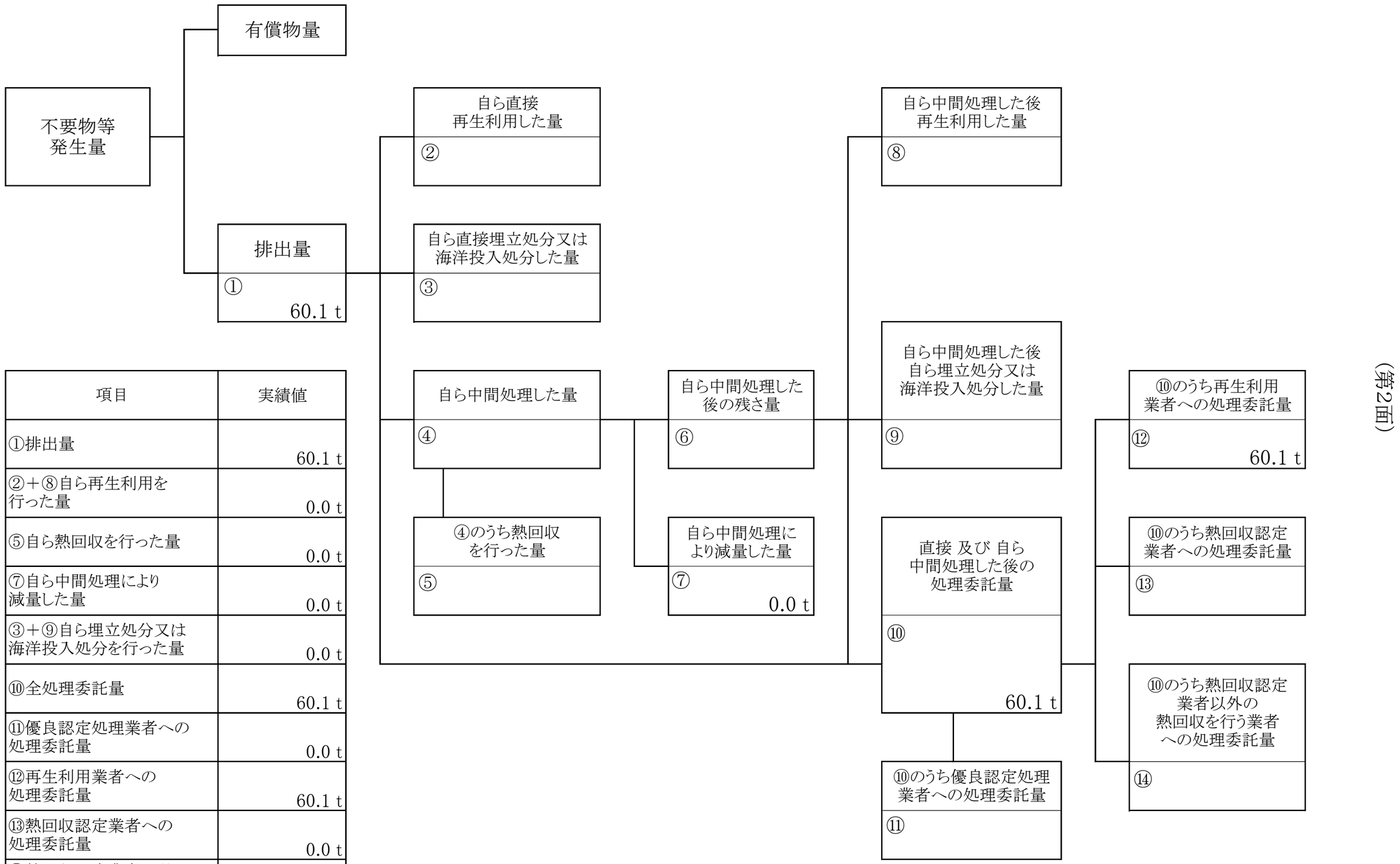


項目	実績値
①排出量	7.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	7.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	60.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	60.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　　６ 年　５ 月 ３０日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者〒299-0108

住　所　千葉県市原市千種海岸3番地

氏　名　三井化学株式会社　市原工場
執行役員工場長　阿部　真二
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-62-3223

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井化学株式会社市原工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸3番地
計画期間	令和６年４月１日　から　令和７年３月３１日

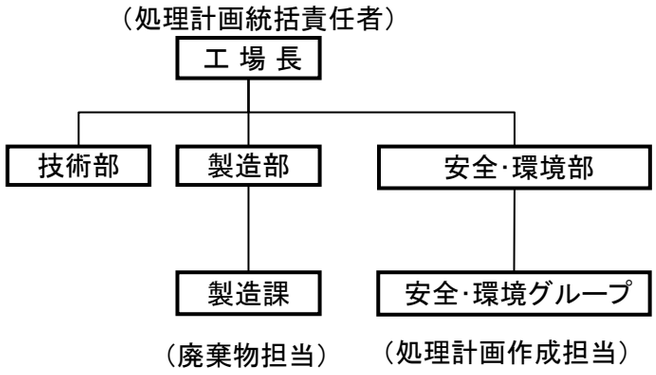
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：製造業　中分類：化学工業 小分類：有機化学工業製品製造業
② 事業の規模	前年度の製品出荷額　　２，５２６　億円
③ 従業員数	１，２２６人（正社員７７５人、常勤関係職員４５１人）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
可能な物は施設内リサイクルを推進。
保有量調整を適切に管理し、開放点検時等に廃棄量を最小限にする。

PCB関係は計画的に処理を実施。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
上記「現状取組」の継続

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
他の廃棄物が混ざらない様、専用の場所で管理し表示を徹底
社内規則に具体的な廃棄物分類一覧を作成し、従業員に分別を
徹底させている。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
上記「現状取組」の継続

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） –		
	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） –		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） –		
	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組 ） –		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>一覧参照</td><td>一覧参照</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
－</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>一覧参照</td><td>一覧参照</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
－</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和　5 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>一覧参照</td><td>一覧参照</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
中間処理後にセメント原料にする等、再資源化を推進している業者へ委託。
また、優良認定処理業者、認定熱回収業者へ委託するよう考慮している。</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	一覧参照	一覧参照
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 上記「現状取組」の継続		
電子情報処理組織の使用に関する事項		【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	1264.7 t	
		（今後実施する予定の取組等） 2019年4月より、電子情報処理組織（電子マニフェスト）使用開始		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

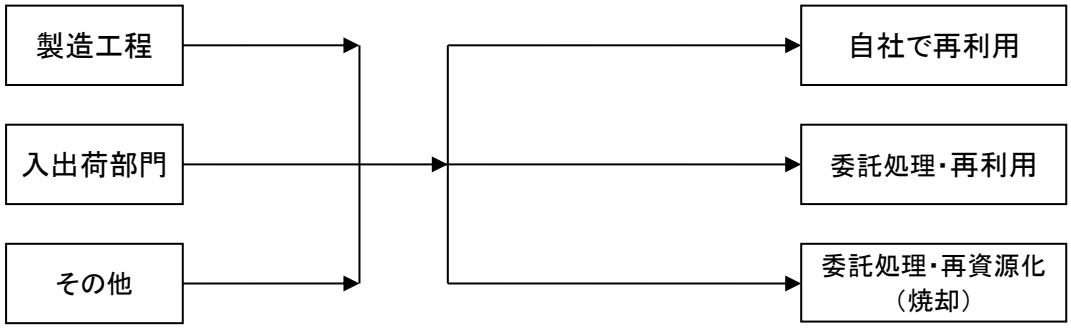
８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

別紙

特管産業廃棄物処理工程

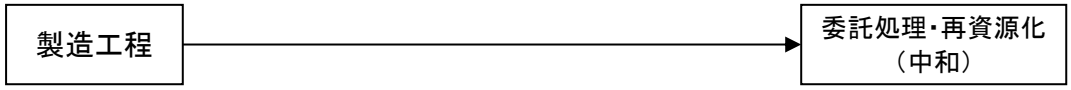
1. 廃油



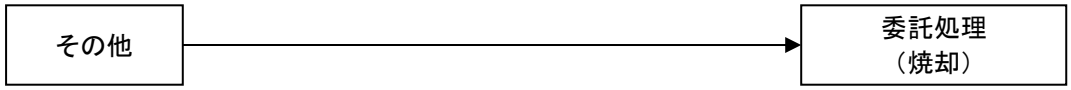
2. 廃酸



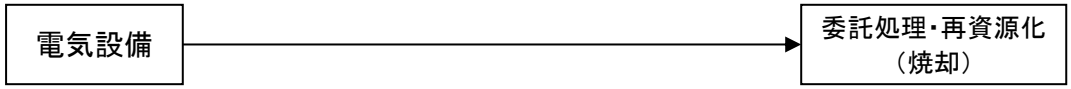
3. 廃アルカリ



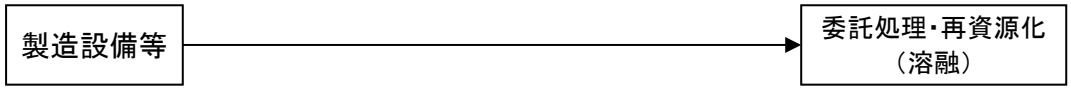
4. 感染性廃棄物



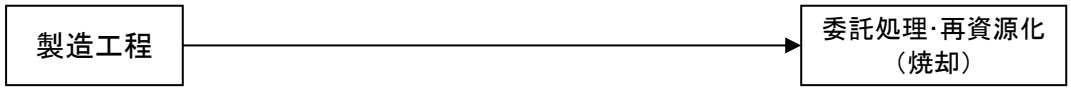
5. 廃PCB等, 汚染物



6. 廃石綿等



7. 有害汚泥



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
		排　　出　　量	1198.9　t	0.04　t	65.8　t	0.04　t	15.4　t	0　t	0.003　t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
		排　　出　　量	1139　t	0　t	59　t	0.04　t	100　t	0　t	0　t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
	全処理委託量	1198.9 t	0.04 t	65.8 t	0.04 t	15.4 t	0 t	0.003 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1153.5 t	0.04 t	65.8 t	0.04 t	5.4 t	0 t	0.003 t	t
	再生利用業者への処理委託量	512 t	0 t	65.8 t	0 t	0.1 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	380 t	0 t	0 t	0 t	5.4 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t	0.04 t	0 t	0.03 t	9.7 t	0 t	0.003 t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等,汚染物	廃石綿等	有害汚泥	
	全処理委託量	1139 t	0 t	59 t	0.04 t	100 t	0 t	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1139 t	0 t	59 t	0.04 t	80 t	0 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	570 t	0 t	59 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	569 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0.03 t	100 t	0 t	0 t	t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 5月 30 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒299-0108
住 所　千葉県市原市千種海岸3番地
氏 名　三井化学株式会社 市原工場
執行役員工場長 阿部 真二
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0436-62-3223

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井化学株式会社市原工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸3番地
事業の種類	大分類:製造業 中分類:化学工業 小分類:有機化学工業製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	924.74 t	全処理委託量	924.74 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	915.04 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	101.3 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	638.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	185.4 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	965.0 t
	前 年 度	1,264.7 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

2019年4月より、電子情報処理組織（電子マニフェスト）使用開始

※事務処理欄	

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃油**　）

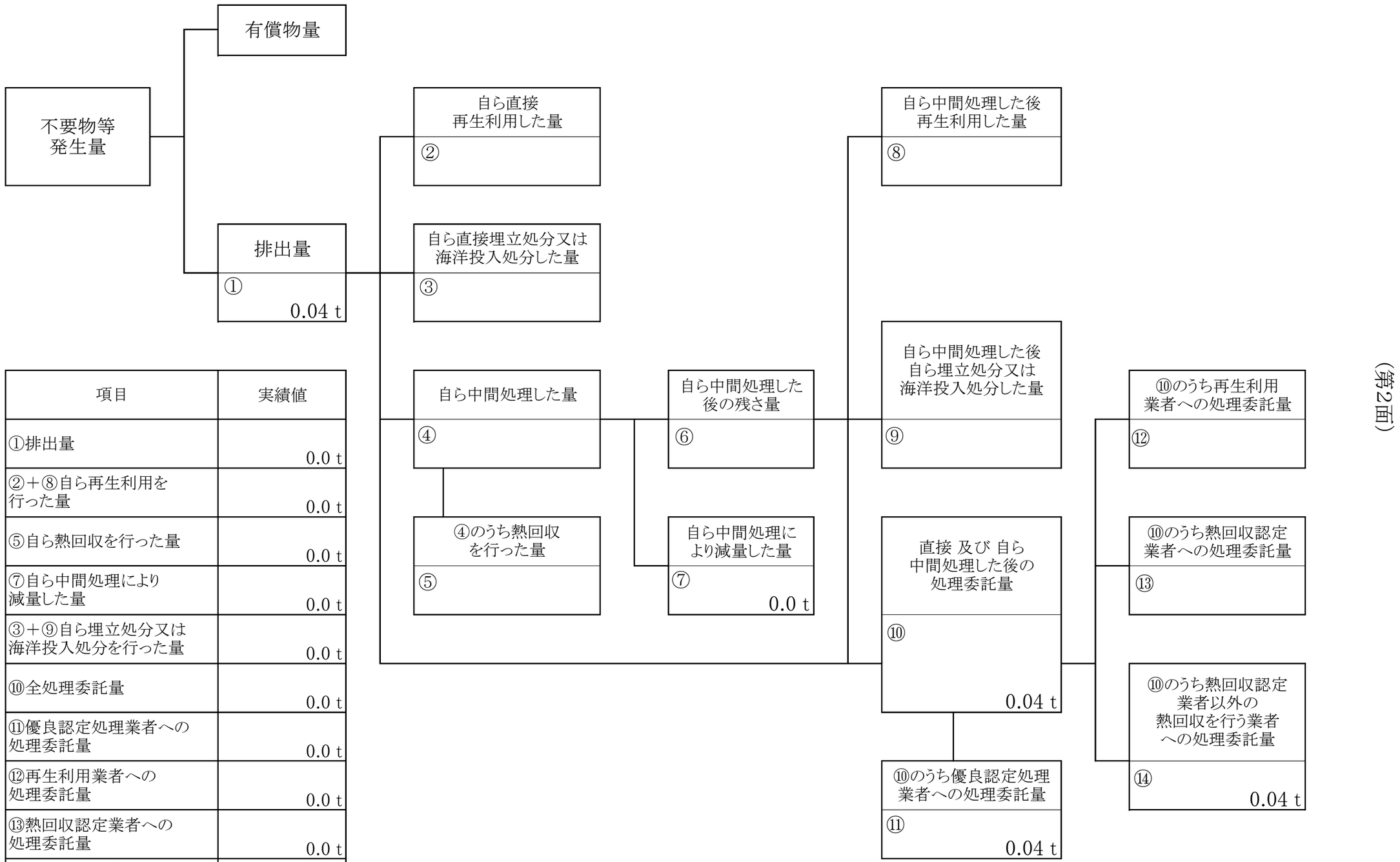


項目	実績値
①排出量	1198.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1198.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1153.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	512.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	380.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃酸**　）

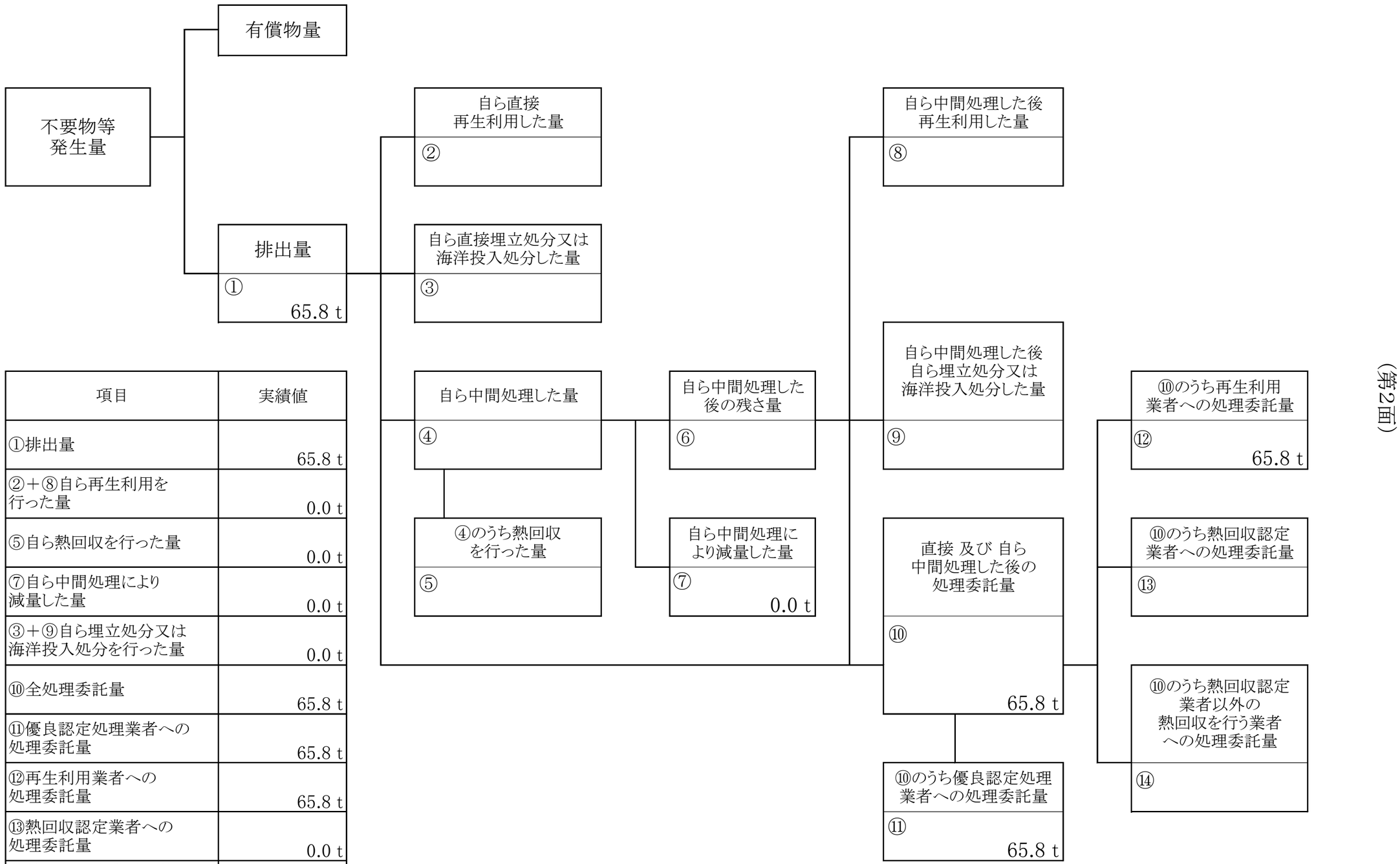


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃アルカリ**　）

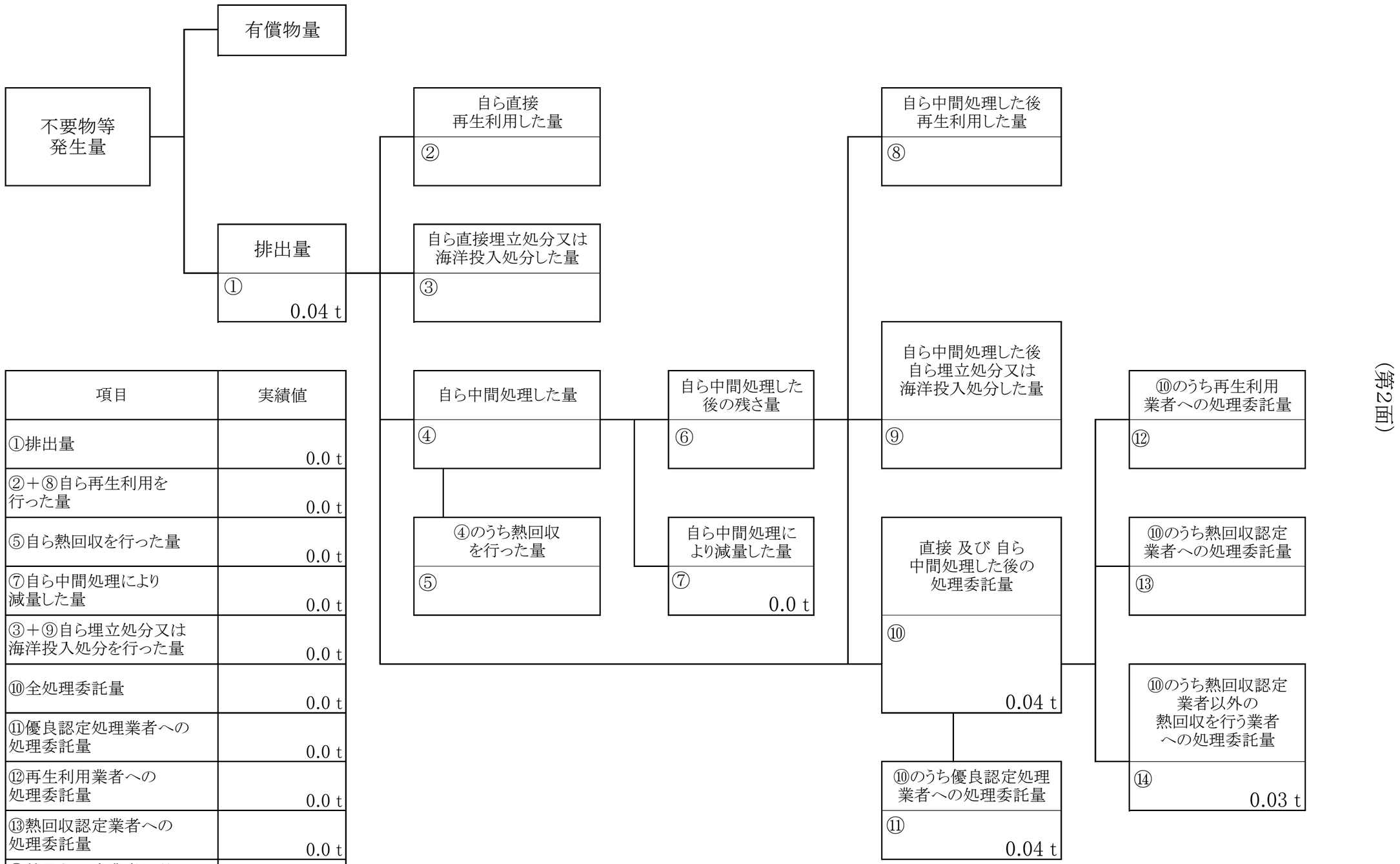


項目	実績値
①排出量	65.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	65.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	65.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	65.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**感染性廃棄物**　）

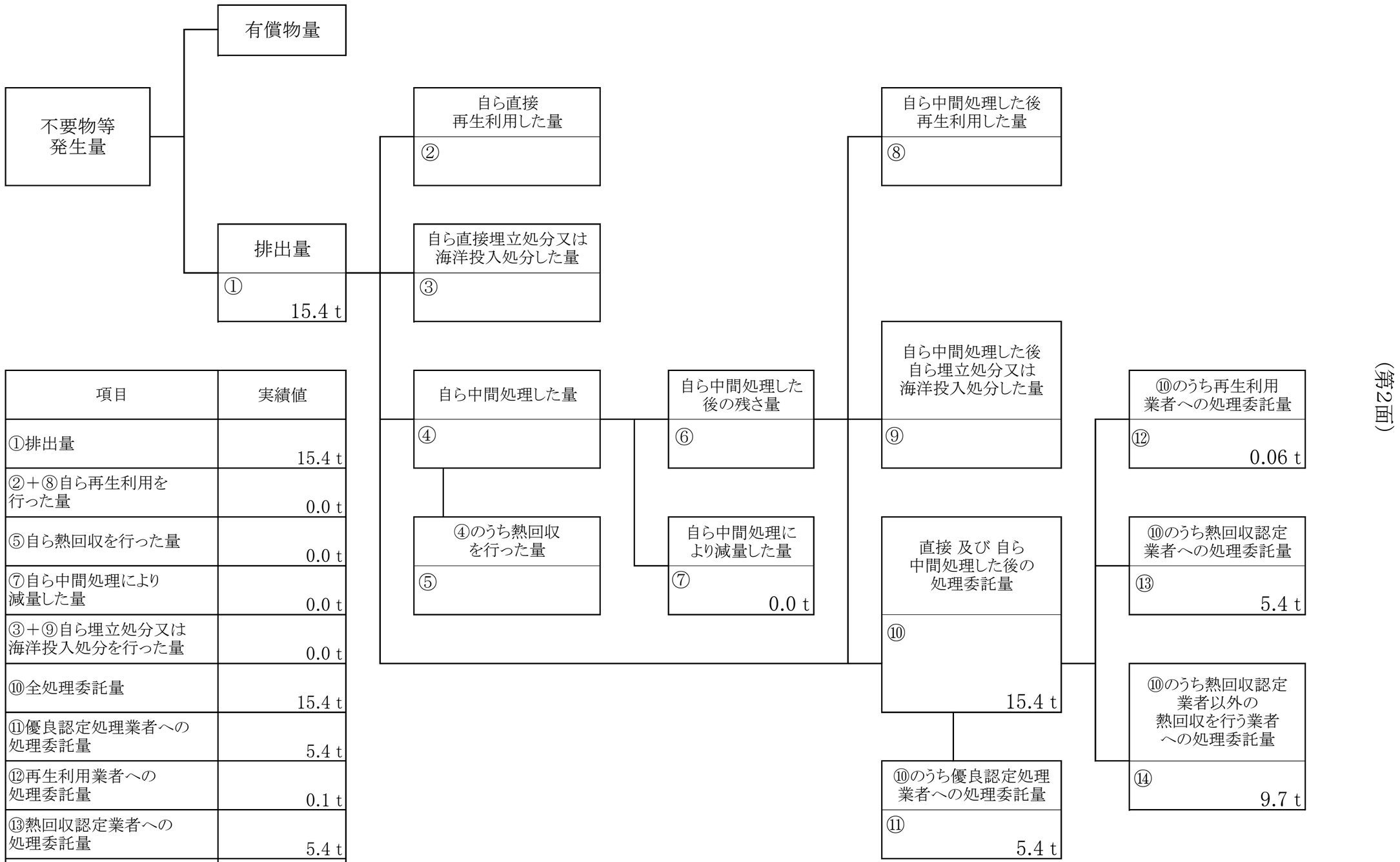


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃PCB等,汚染物　）

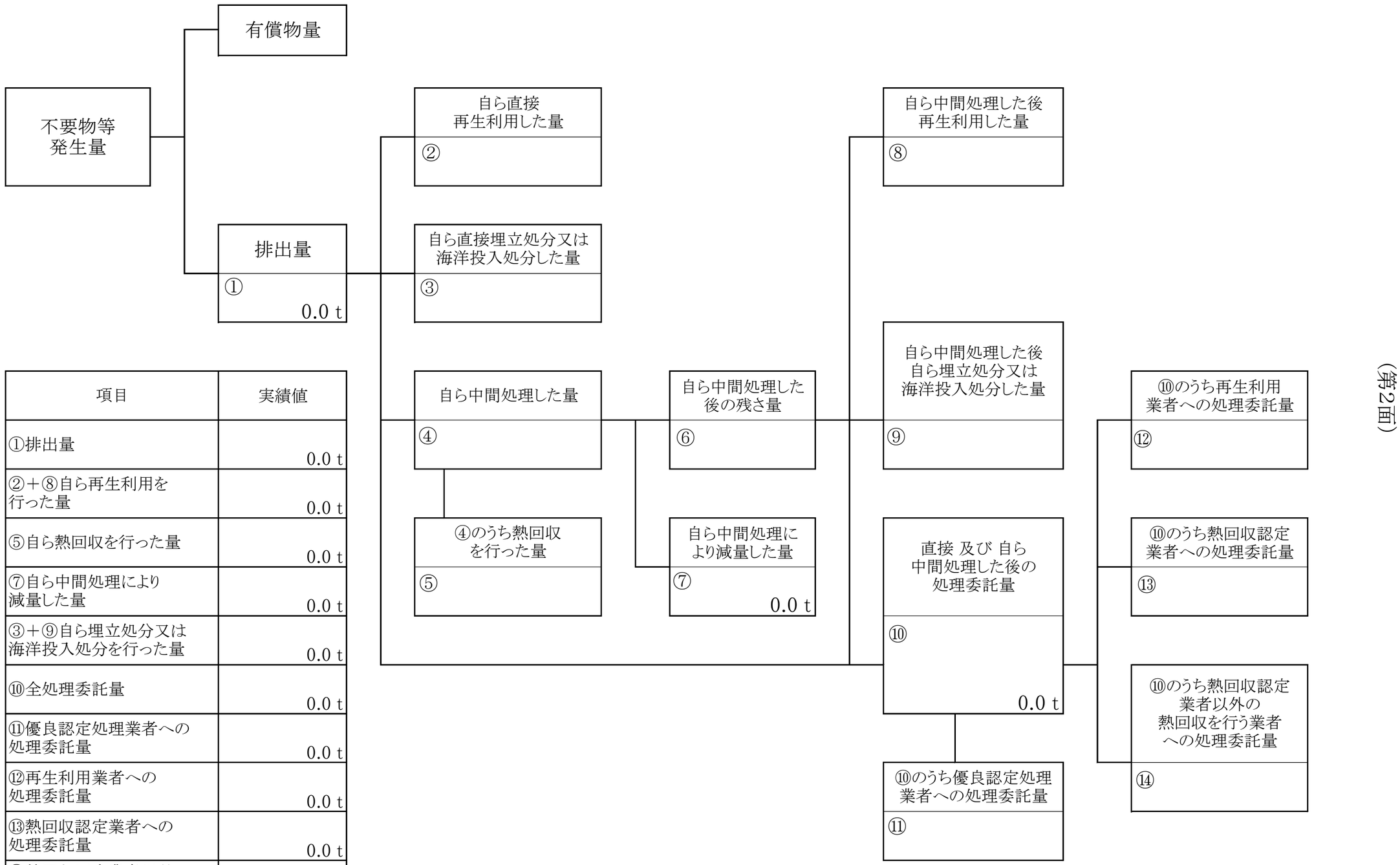


項目	実績値
①排出量	15.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	5.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	9.7 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃石綿等**　）

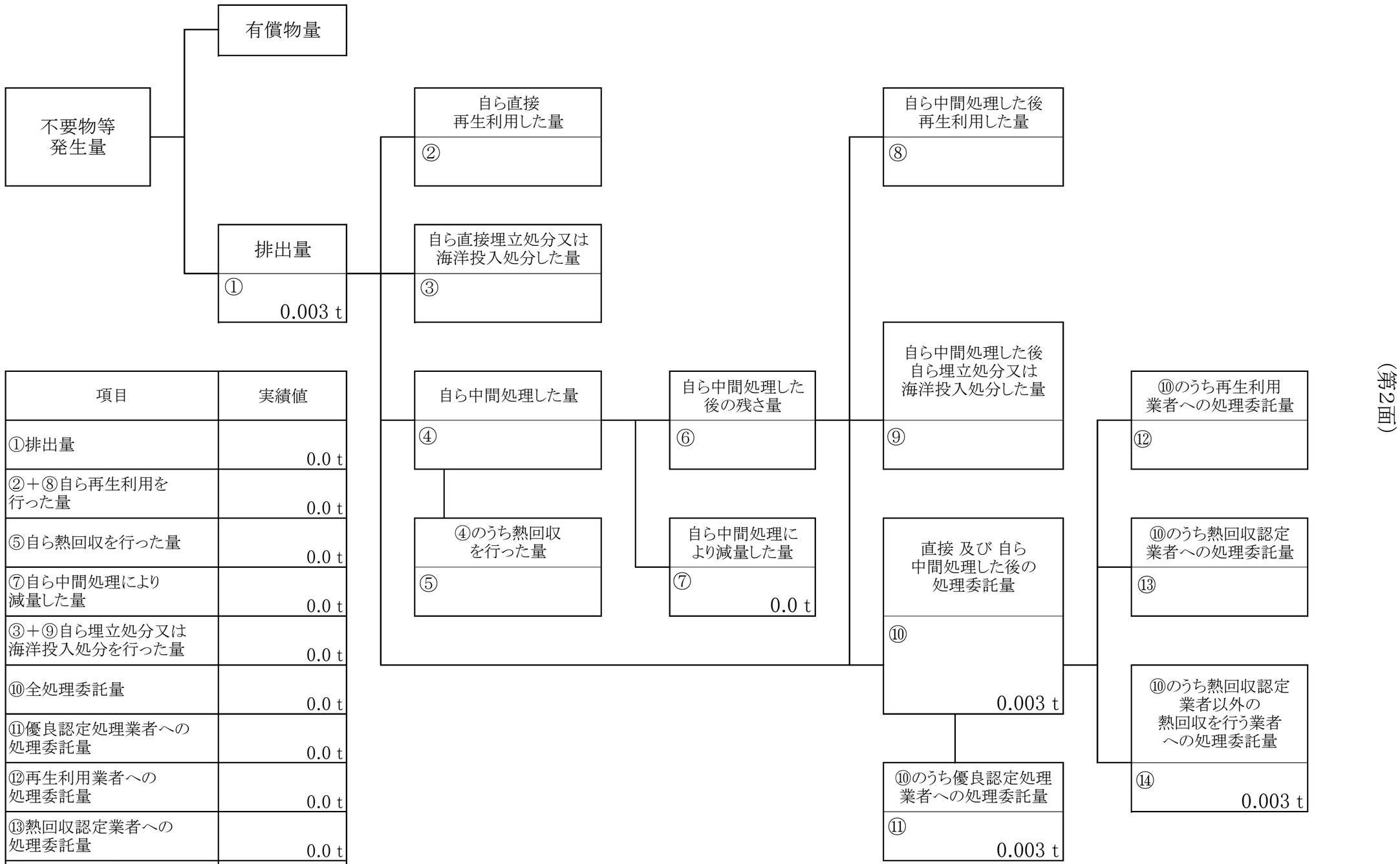


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**有害汚泥**　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　６日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒297-8666

住　所　千葉県茂原市東郷1900番地

氏　名　三井化学株式会社　茂原分工場

分工場長　　猿渡　和孝

電話番号　　0475-23-0112

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

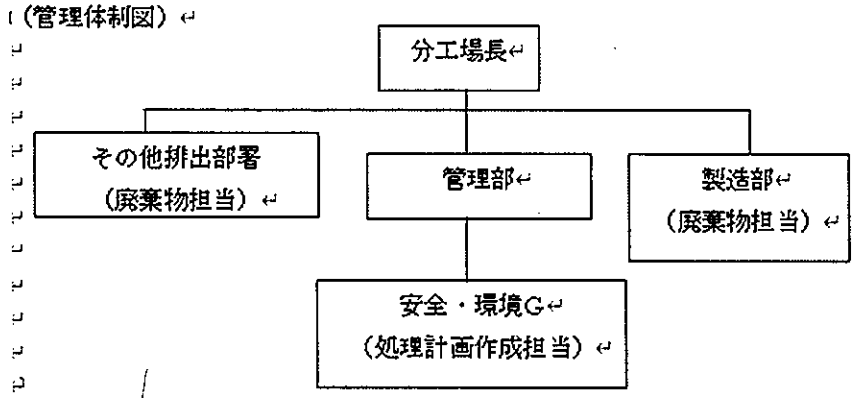
事業場の名称	三井化学株式会社　茂原分工場
事業場の所在地	千葉県茂原市東郷1900番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E16－化学工業
②事業の規模	１７８億円
③従業員数	１８２人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本工業規格　A列4番）

千葉県 東金地域振興事務所 -6.6.-6 地域環境保全課 収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	828.7 t	128.3 t

（これまでに実施した取組）
- 汚泥の有効利用処分会社探索
- 廃油の燃料化処理委託推進
- 廃プラの再資源認定会社委託検討
- 混合廃棄物の分別化処分会社委託検討
- 金属くずの再利用強化推進

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	900 t	130 t

（今後実施する予定の取組）
- 汚泥の有効利用処分会社探索継続
- 廃油の燃料化処理委託推進継続
- 廃プラの再資源認定会社委託検討継続
- 混合廃棄物の分別化処分会社委託検討継続
- 金属くずの再利用強化継続

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
- 廃油、廃プラ、木くずの分別強化

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
上記　「現状取り組み」の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
全処理委託量	828.7 t	128.3 t
優良認定処理業者への処理委託量	721.3 t	128.3 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	160.5 t	118.8 t

（これまでに実施した取組）

・汚泥の有効利用処分会社探索
・廃油の燃料化処理委託推進
・廃プラの再資源認定会社委託検討
・混合廃棄物の分別化処分会社委託検討
・金属くずの再利用強化推進

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥		廃油	
全処理委託量	900	t	130	t
優良認定処理業者への処理委託量	750	t	130	t
再生利用業者への処理委託量	0	t	0	t
認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	170	t	120	t

（今後実施する予定の取組）

・汚泥の有効利用処分会社探索継続
・廃油の燃料化処理委託推進継続
・廃プラの再資源認定会社委託検討継続
・混合廃棄物の分別化処分会社委託検討継続
・金属くずの再利用強化継続

※事務処理欄

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

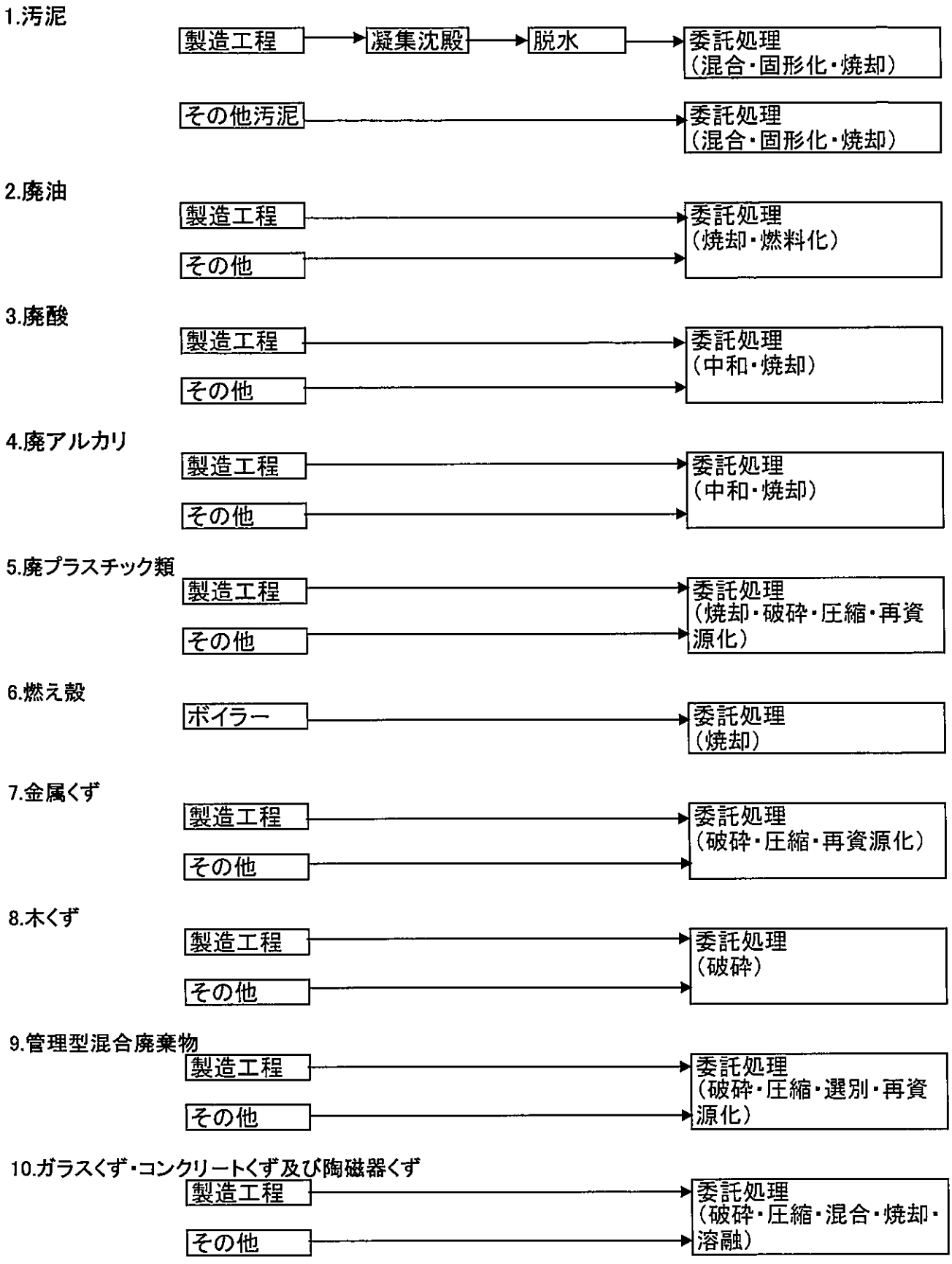
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別　紙

普通産業廃棄物処理工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
①現状	排　出　量	0.2 t	0.4 t	118.1 t	0.2 t	70.7 t	7.8 t	3.6 t	3.2 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
②計画	排　出　量	0.2 t	0.4 t	120 t	0.2 t	70 t	7 t	3 t	3 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
全処理委託量	0.2 t	0.4 t	118.1 t	0.2 t	70.7 t	7.8 t	3.6 t	3.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t	0.4 t	112.5 t	0.2 t	1 t	0 t	3.6 t	3.2 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	7.8 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2 t	0.4 t	68.3 t	0.2 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	燃え殻	金属くず	木くず	管理型混合廃棄物	ｺﾝｸﾘｰﾄｸﾞｽﾞ・ｶﾞﾗｽｸﾞｽﾞ及び陶磁器ｸﾞｽﾞ
全処理委託量	0.2 t	0.4 t	120 t	0.2 t	70 t	7 t	3 t	3 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t	0.4 t	120 t	0.2 t	1 t	0 t	3 t	3 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	7 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2 t	0.4 t	70 t	0.2 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 6日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒297-8666
住 所　千葉県茂原市東郷1900番地
氏 名　三井化学株式会社 茂原分工場
分工場長　猿渡 和孝
電話番号　0475-23-0112

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井化学株式会社　茂原分工場
事業場の所在地	千葉県茂原市東郷1900番地
事業の種類	E16－化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

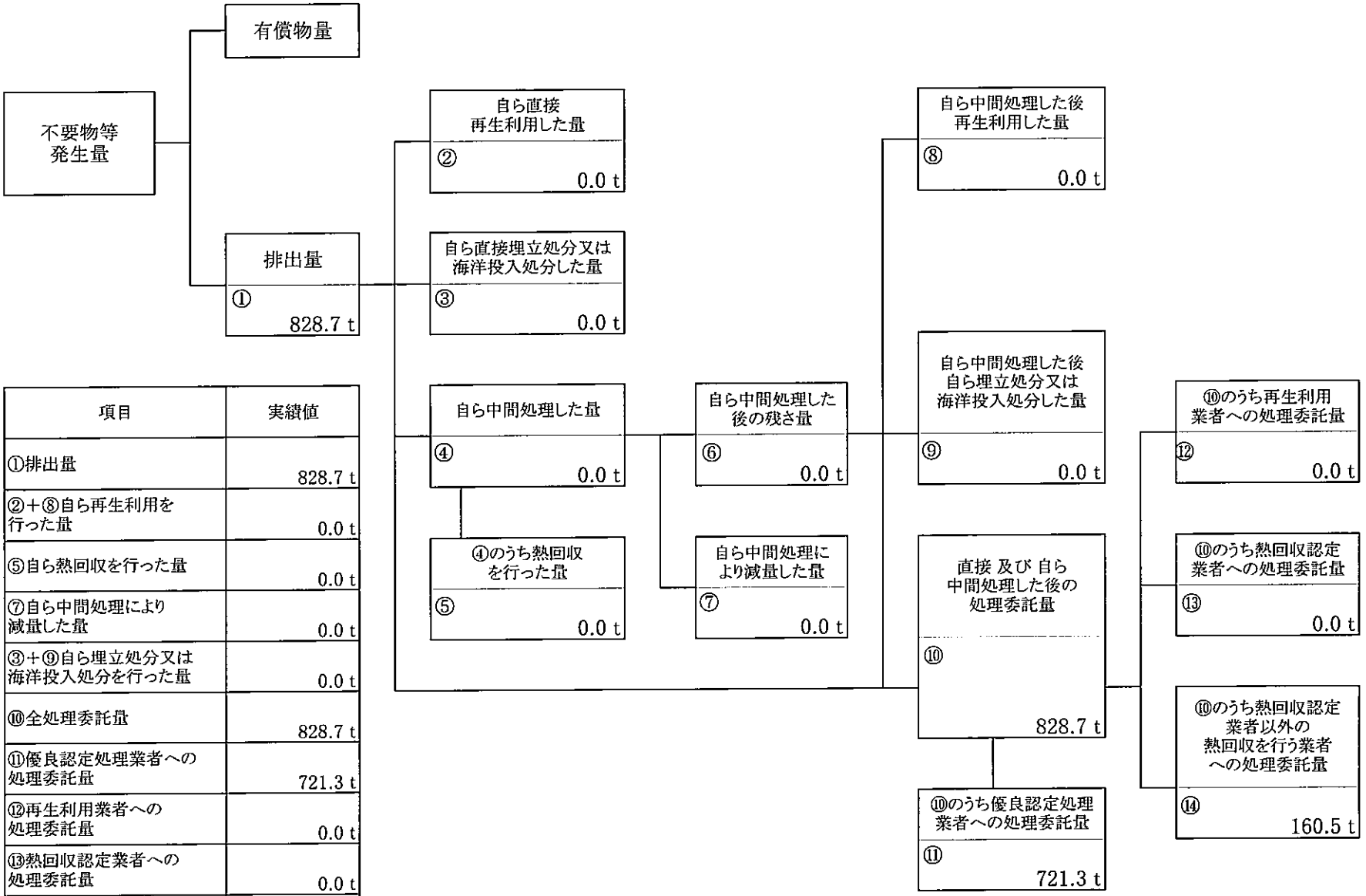
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1235.5 t	全処理委託量	1235.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	953.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	842.3 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	80.1 t
※事務処理欄			

千葉県 環境生活部 環境政策課 -6.6.-6 地球環境保全課 収受

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

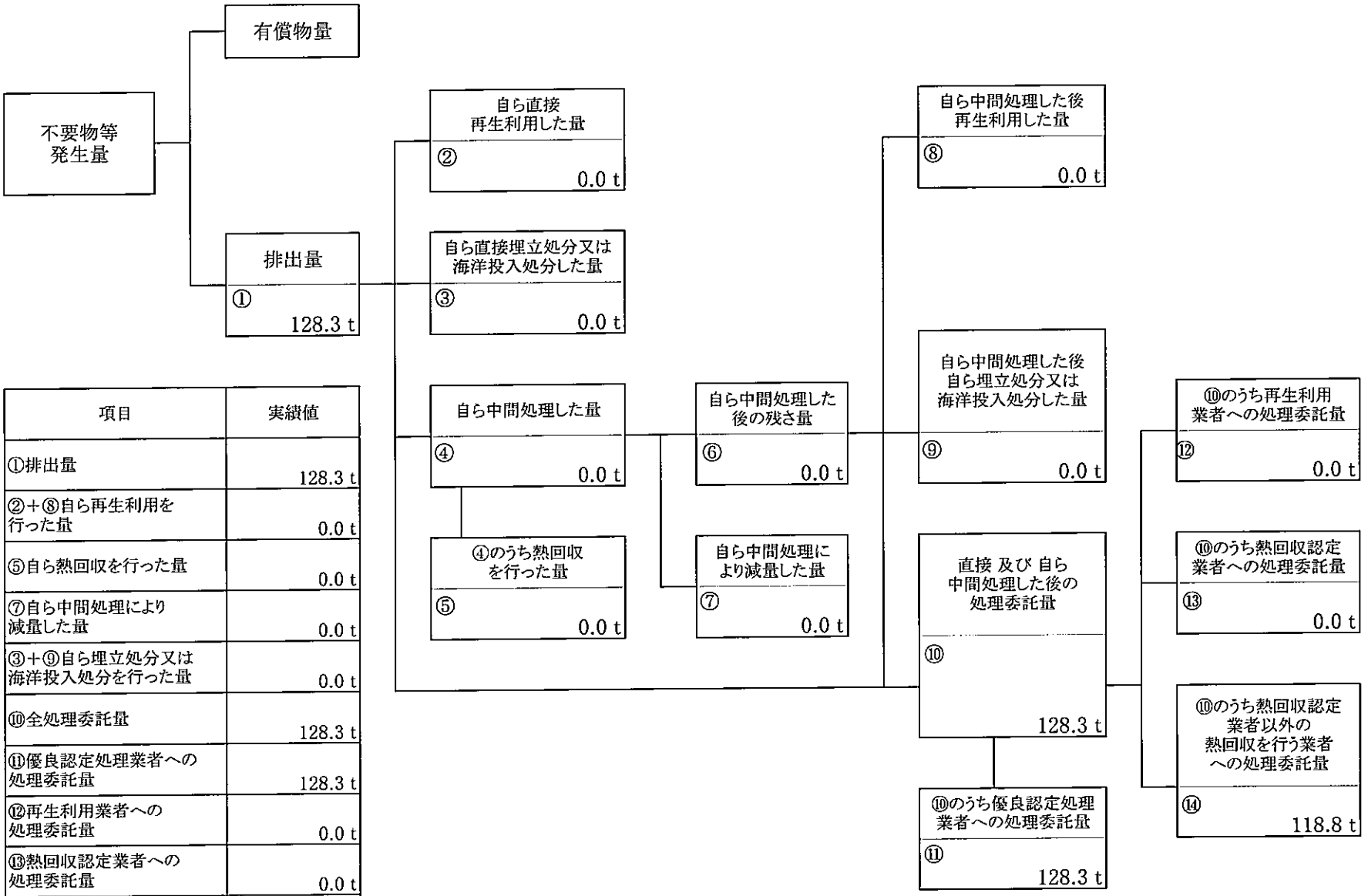


項目	実績値
①排出量	828.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	828.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	721.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	160.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃油　）

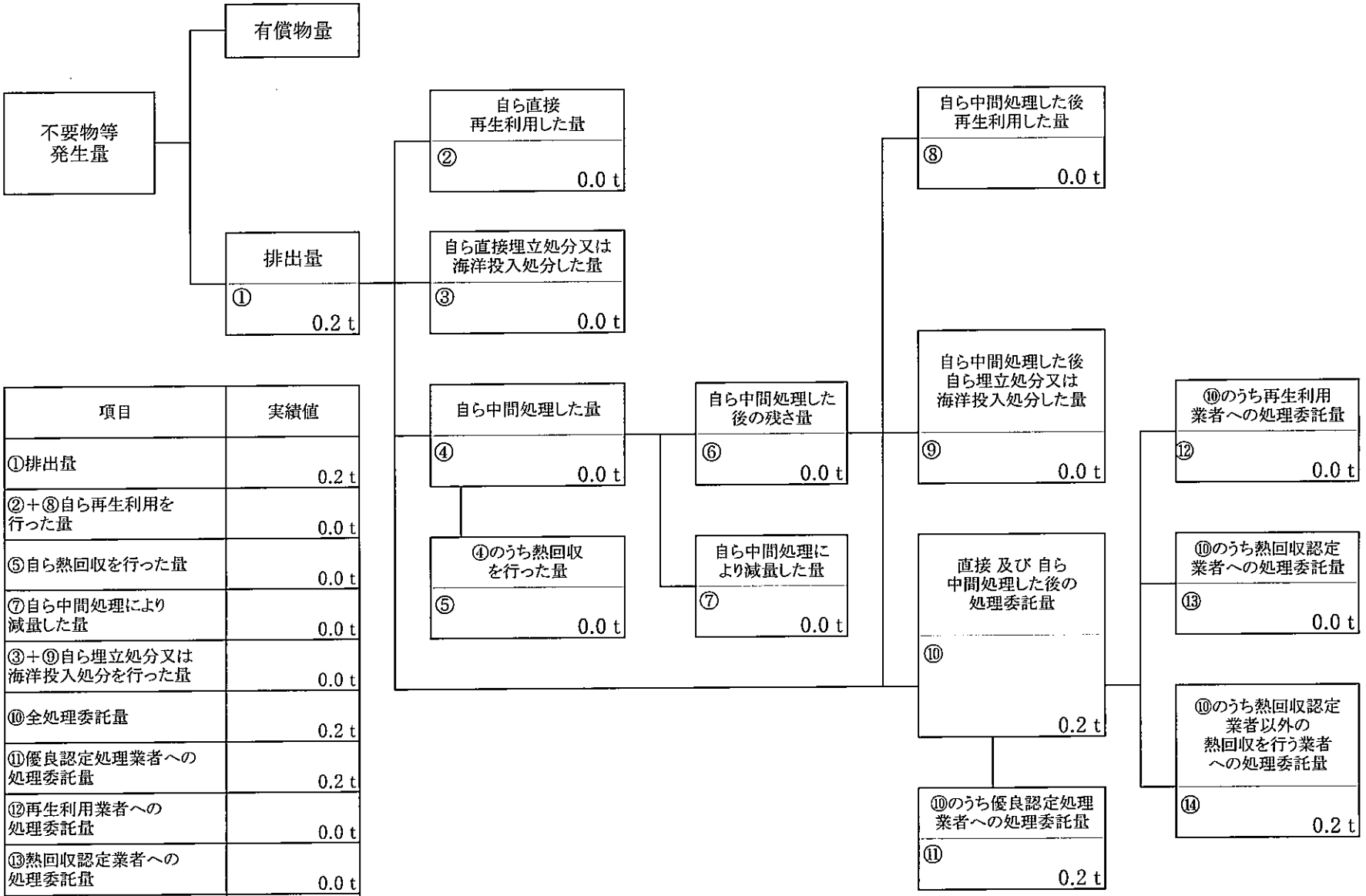


項目	実績値
①排出量	128.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	128.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	128.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	118.8 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃酸　）

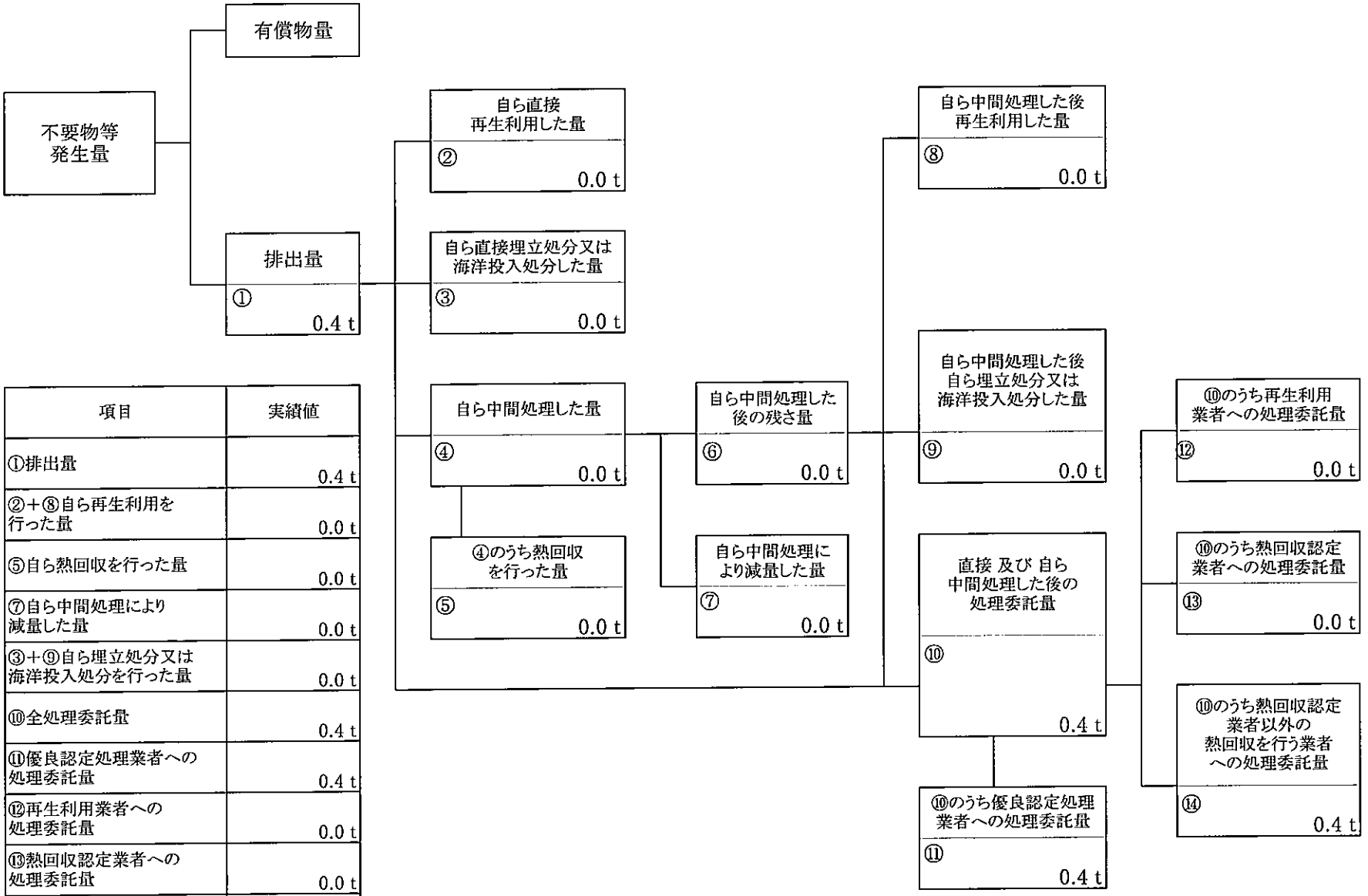


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃アルカリ　）

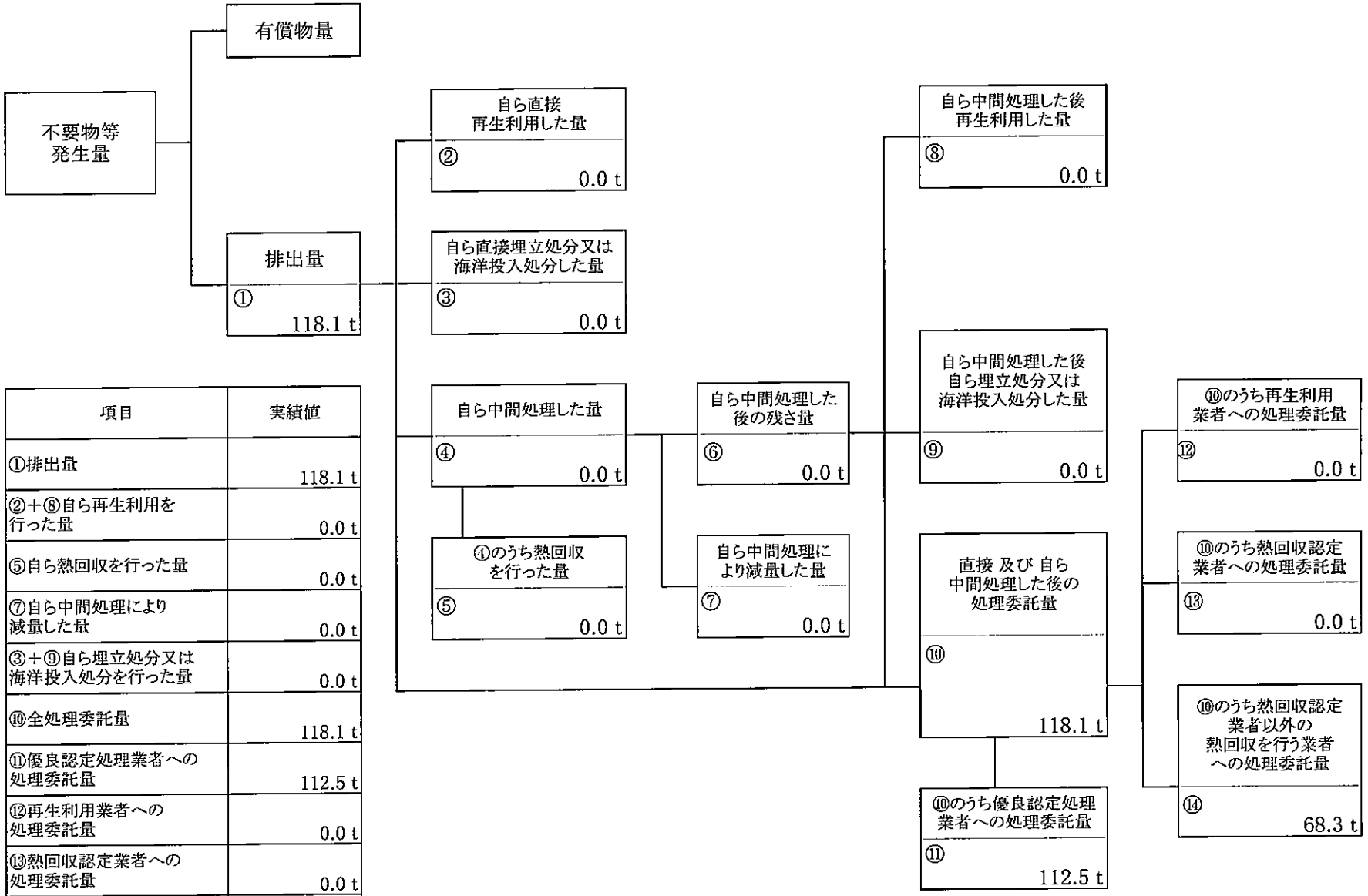


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.4 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

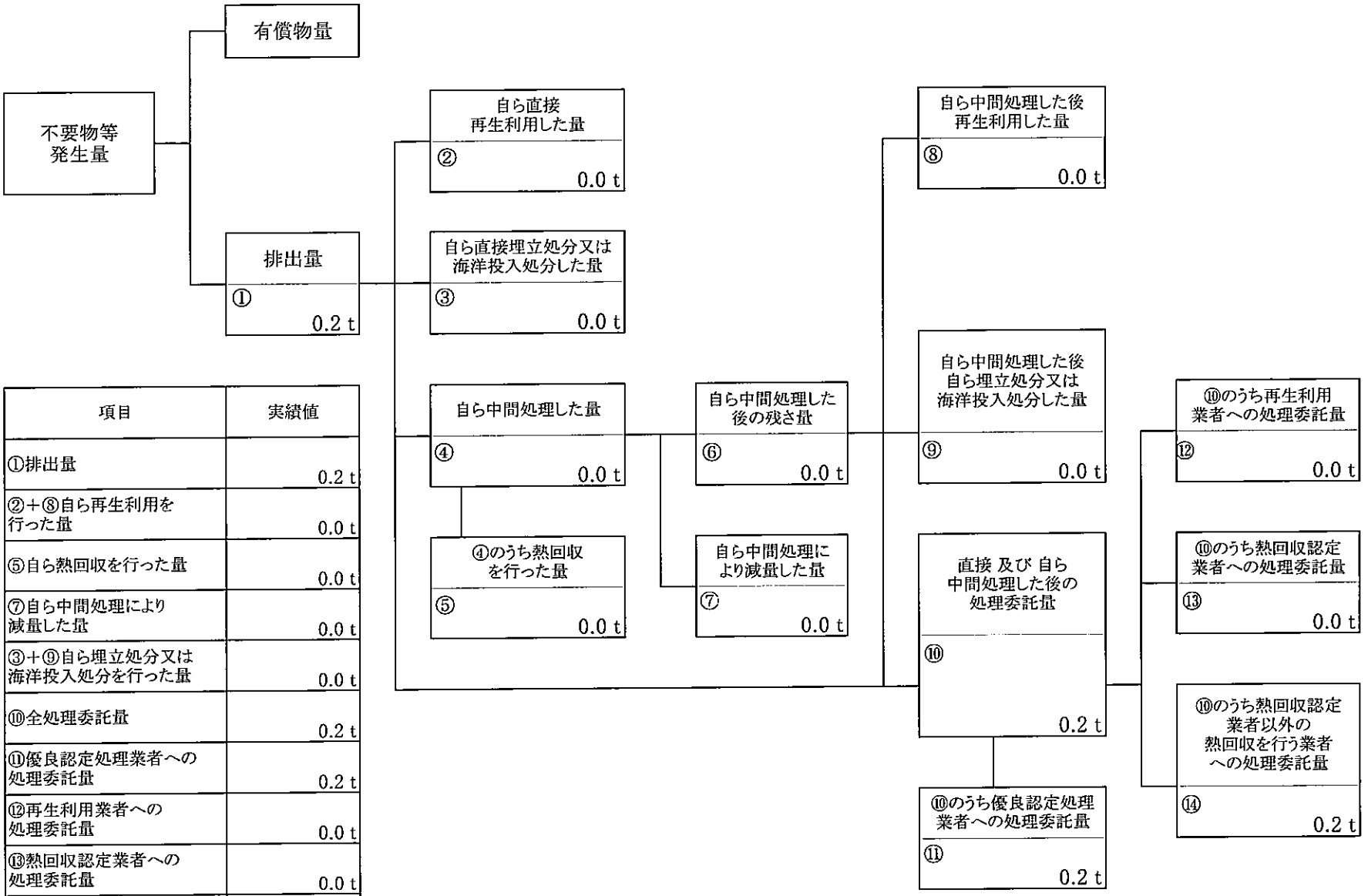


項目	実績値
①排出量	118.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	118.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	112.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	68.3 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　燃え殻　）

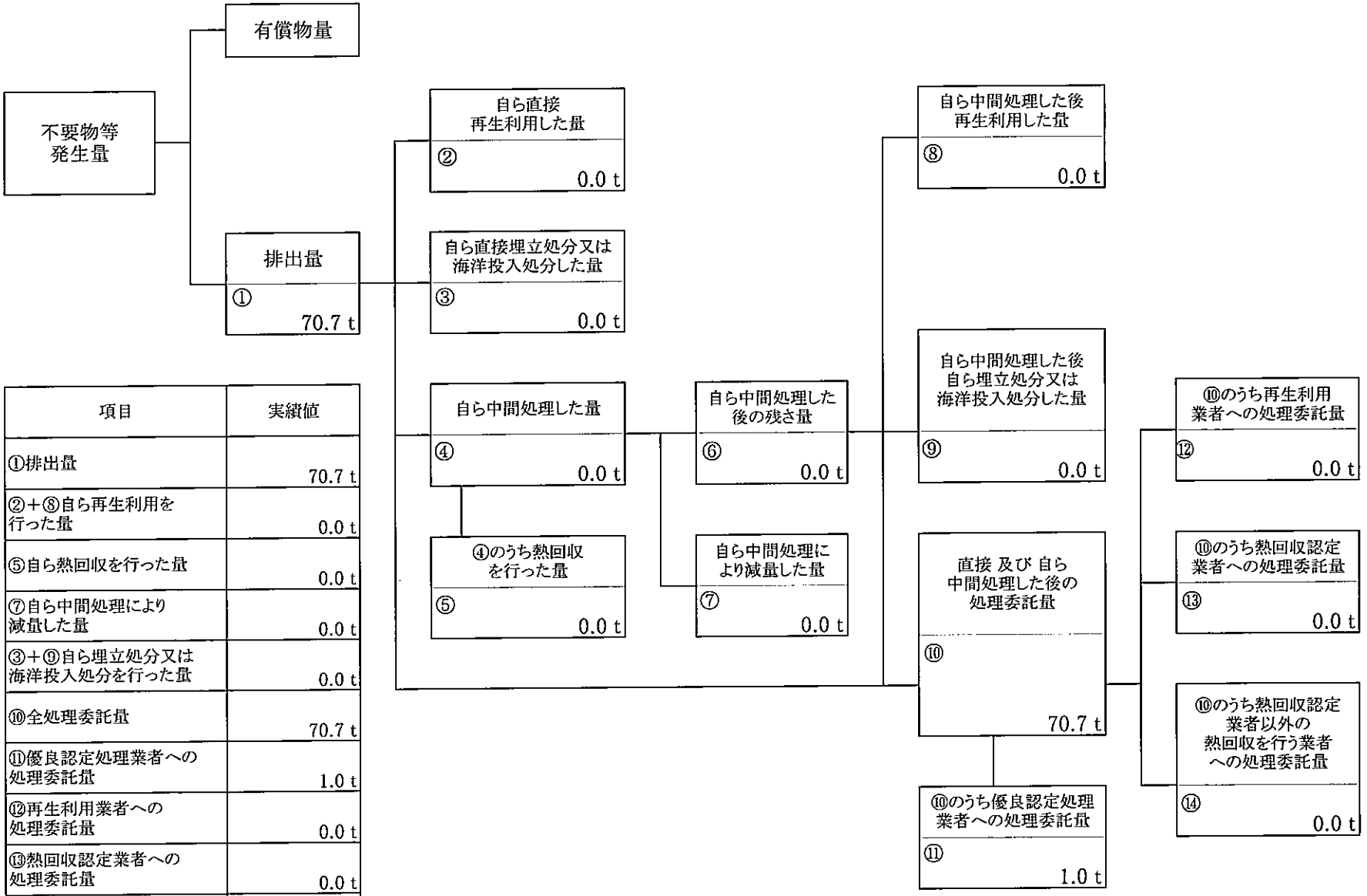


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

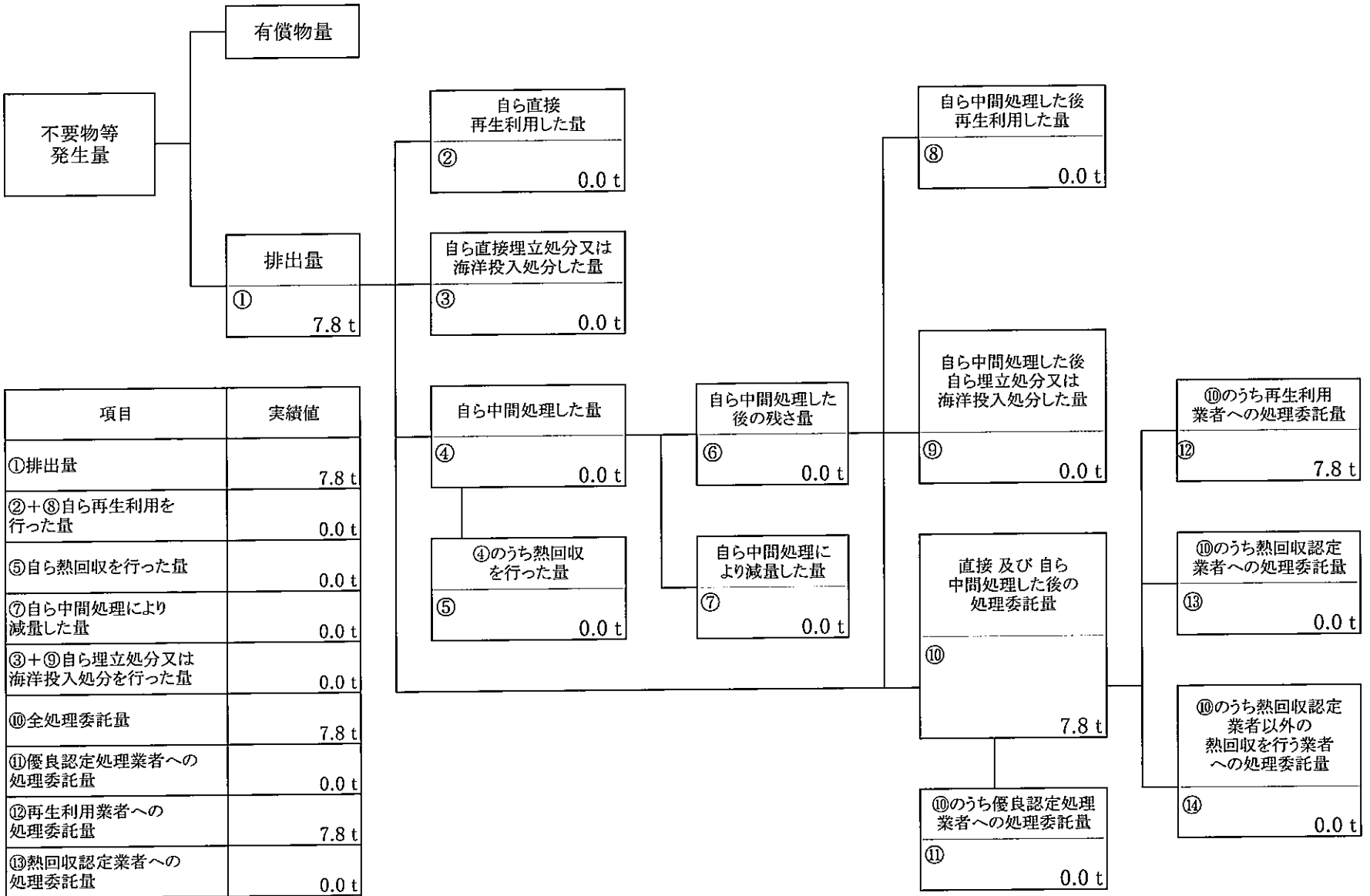


項目	実績値
①排出量	70.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	70.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

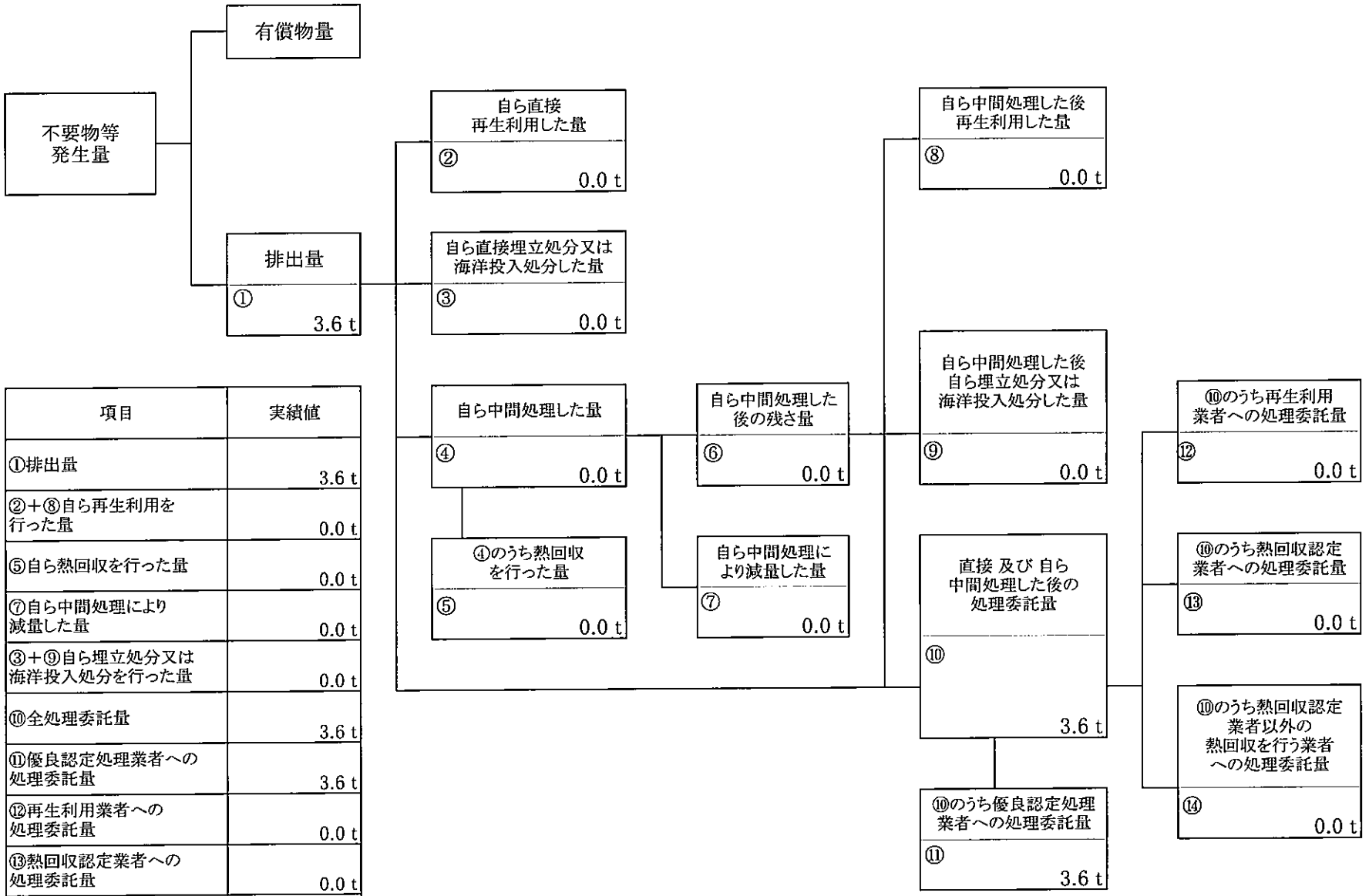


項目	実績値
①排出量	7.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　管理型混合廃棄物　）

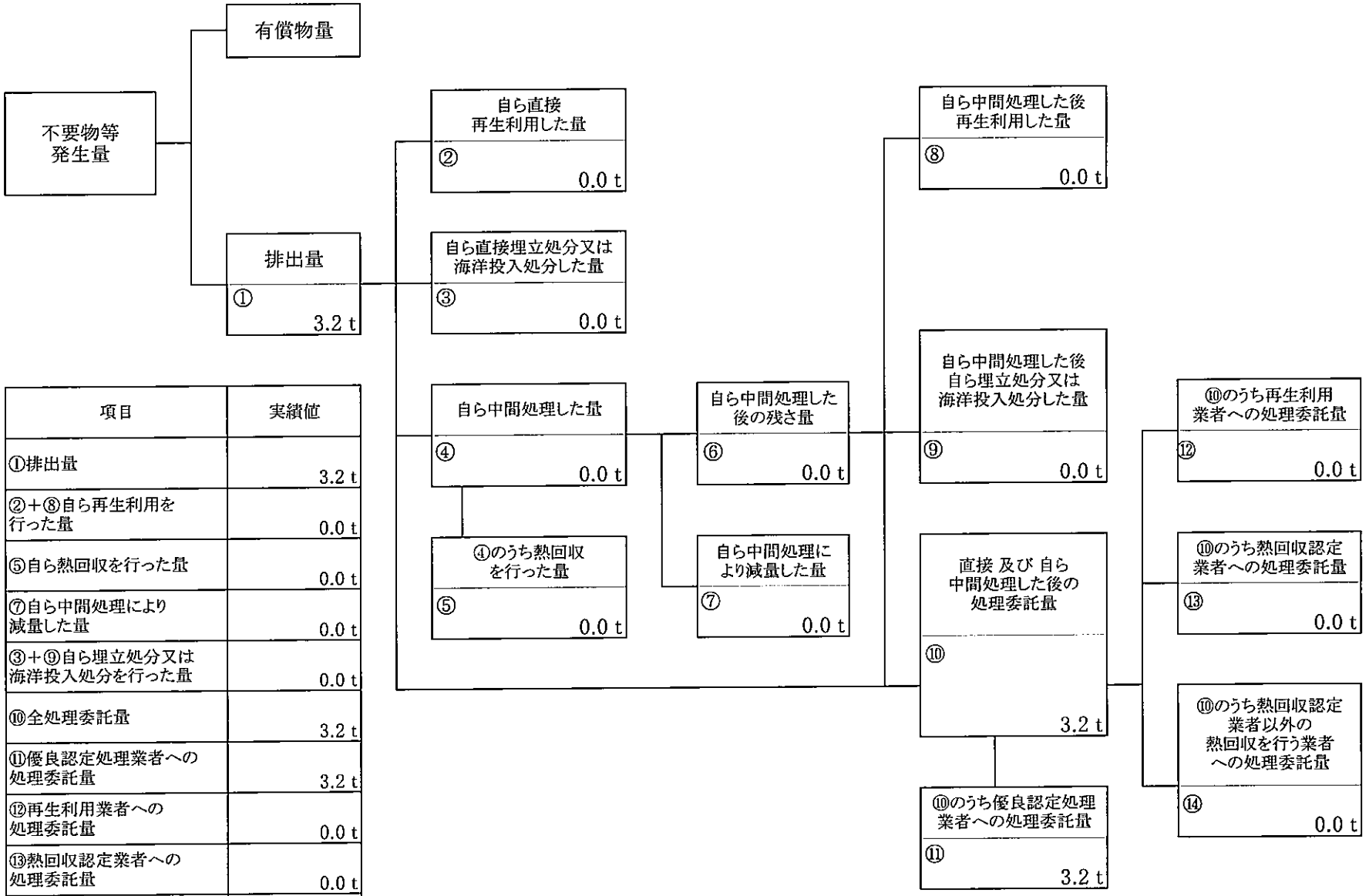


項目	実績値
①排出量	3.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートくず・ガラスくず及び陶磁器くず ）



項目	実績値
①排出量	3.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月6日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者　〒297-8666
住　所　千葉県茂原市東郷1900番地
氏　名　三井化学株式会社　茂原分工場
分工場長　　猿渡　和孝
電話番号　　0475-23-0112

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井化学株式会社　茂原分工場
事業場の所在地	千葉県茂原市東郷1900番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

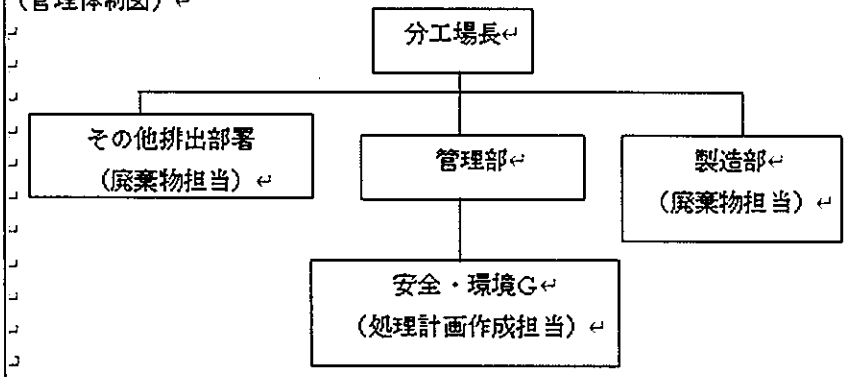
①事業の種類	E16－化学工業
②事業の規模	１７８億円
③従業員数	１８２人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1　参照

（日本工業規格　Ａ列４番）

千葉県 -6.6.-6 地域環境保全課 収受

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
排　出　量	890.1　t	0.02　t

（これまでに実施した取組）
【引火性廃油】　焼却から燃料化検討
【強酸】　特になし
【廃酸　有害】　洗浄水削減検討
【汚泥有害】　特になし
【廃アルカリ　有害】　特になし

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
排　出　量	900　t	0.02　t

（今後実施する予定の取組）
【引火性廃油】　焼却から燃料化検討継続
【強酸】　特になし
【廃酸　有害】　洗浄水削減検討継続
【汚泥有害】　特になし
【廃アルカリ　有害】　特になし

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・引火性廃油へ廃油が入らない様に分別を強化する

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・引火性廃油の分別強化継続

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		引火性廃油	強酸
全処理委託量		890.1 t	0.02 t
	優良認定処理業者への処理委託量	866.5 t	0.02 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	458.9 t	0 t

（これまでに実施した取組）

【引火性廃油】　焼却から燃料化検討
【強酸】　特になし
【廃酸　有害】　洗浄水削減検討
【汚泥有害】　特になし
【廃アルカリ　有害】　特になし

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
全処理委託量	900 t	0.02 t
優良認定処理業者への処理委託量	900 t	0.02 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	500 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

【引火性廃油】　焼却から燃料化検討継続
【強酸】　特になし
【廃酸　有害】　洗浄水削減検討継続
【汚泥有害】　特になし
【廃アルカリ　有害】　特になし

電子情報処理組織の使用に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	1244.02 t

（今後実施する予定の取組等）

既に電子マニフェスト化　済み

※事務処理欄

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

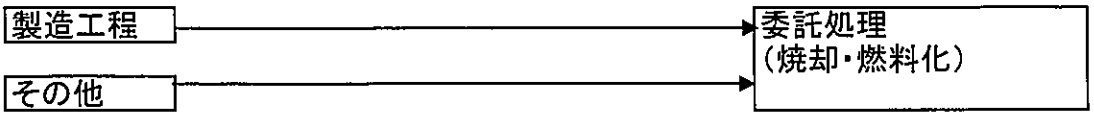
8　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9　※欄は記入しないこと。

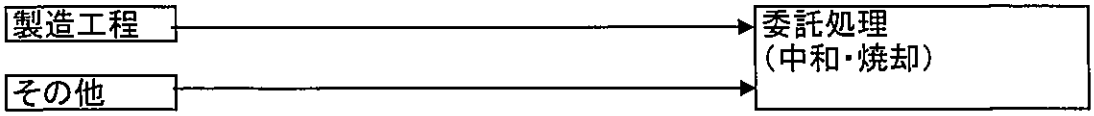
別　紙

特別管理産業廃棄物処理工程

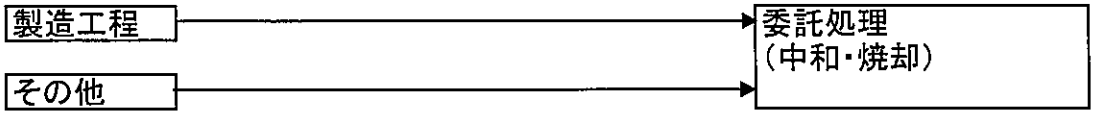
1.廃油



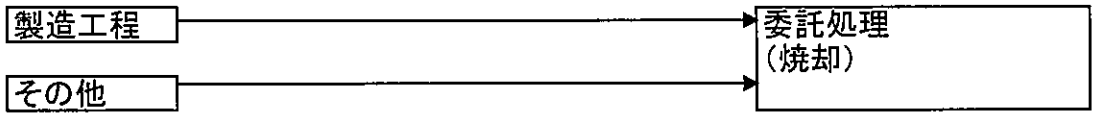
2.強酸



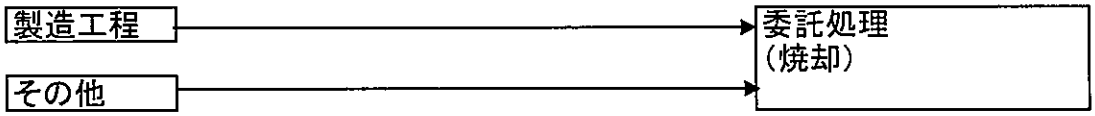
3.廃酸（有害）



4.汚泥（有害）



5.廃アルカリ（有害）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
		排　出　量	353.7 t	0.1 t	0.1 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
		排　出　量	360 t	0.1 t	0.1 t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
全処理委託量	353.7 t	0.1 t	0.1 t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	353.7 t	0.1 t	0.1 t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	353.7 t	0.1 t	0.1 t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	汚泥（有害）	廃ｱﾙｶﾘ（有害）					
全処理委託量	360 t	0.1 t	0.1 t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	360 t	0.1 t	0.1 t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	360 t	0.1 t	0.1 t	t	t	t	t	t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 6日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒297-8666
住 所　千葉県茂原市東郷1900番地
氏 名　三井化学株式会社 茂原分工場
分工場長　猿渡 和孝
電話番号　0475-23-0112

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井化学株式会社　茂原分工場
事業場の所在地	千葉県茂原市東郷1900番地
事業の種類	E16－化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1350.0 t	全処理委託量	1350.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1250.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	400.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	80.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	1009.5 t
	前年度	1244.02 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

新規契約産業廃棄物処理会社の速やかに電子マニフェスト化登録継続

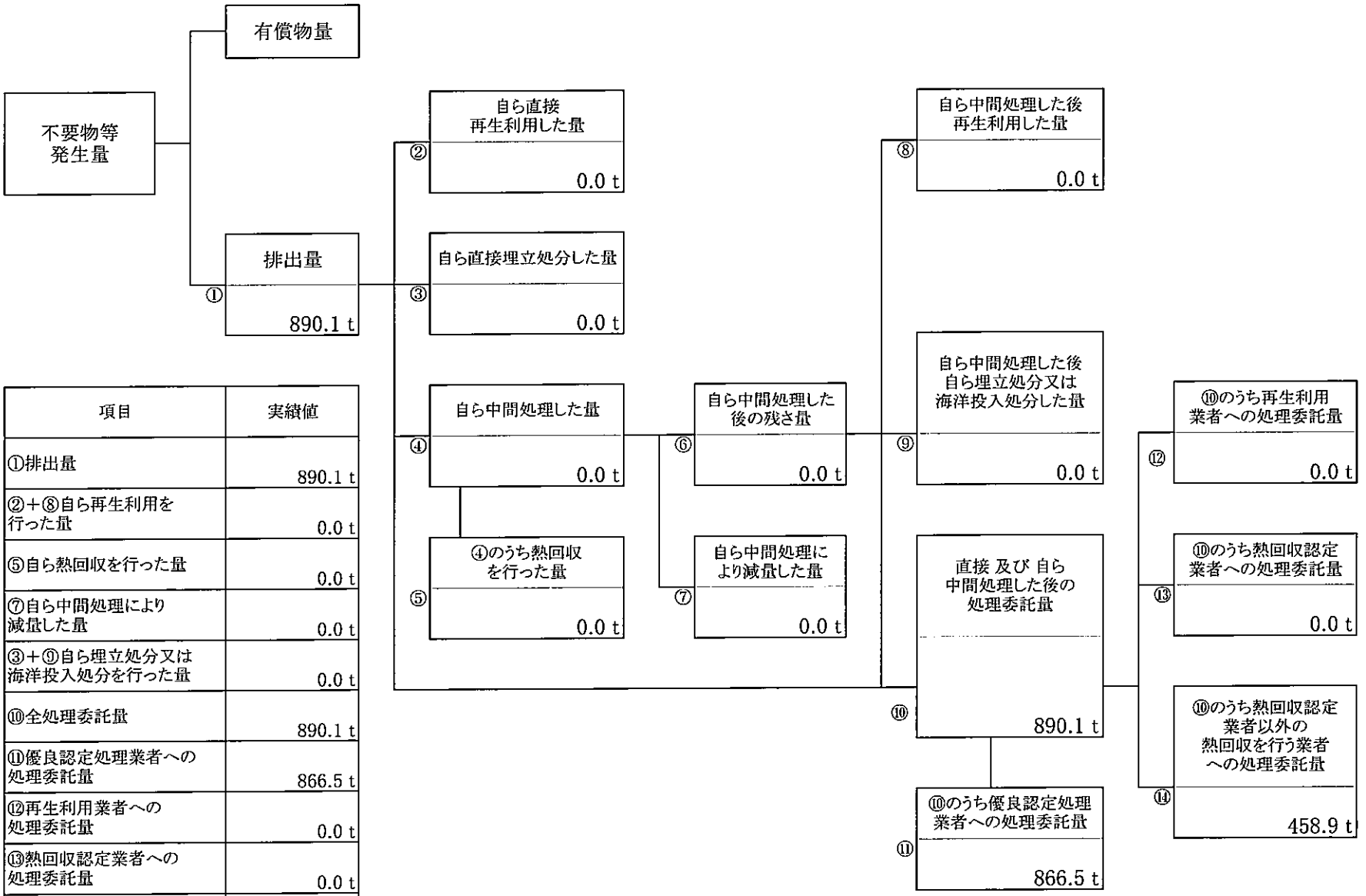
※事務処理欄	

千葉県 循環型社会推進課 -6.6.-6 地域環境保全課 収受

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　　引火性廃油　　）

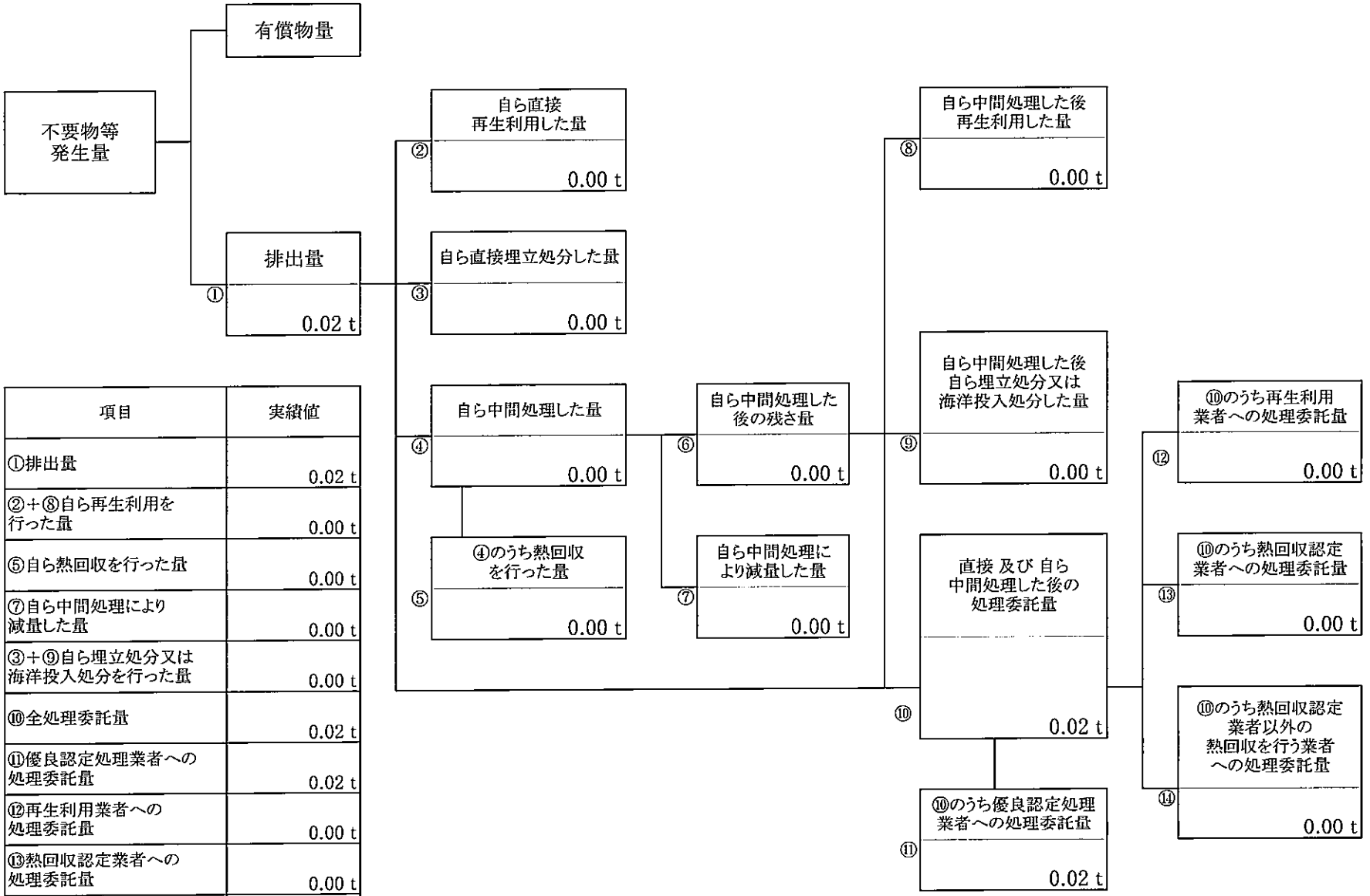


項目	実績値
①排出量	890.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	890.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	866.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	458.9 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　　強酸　　）

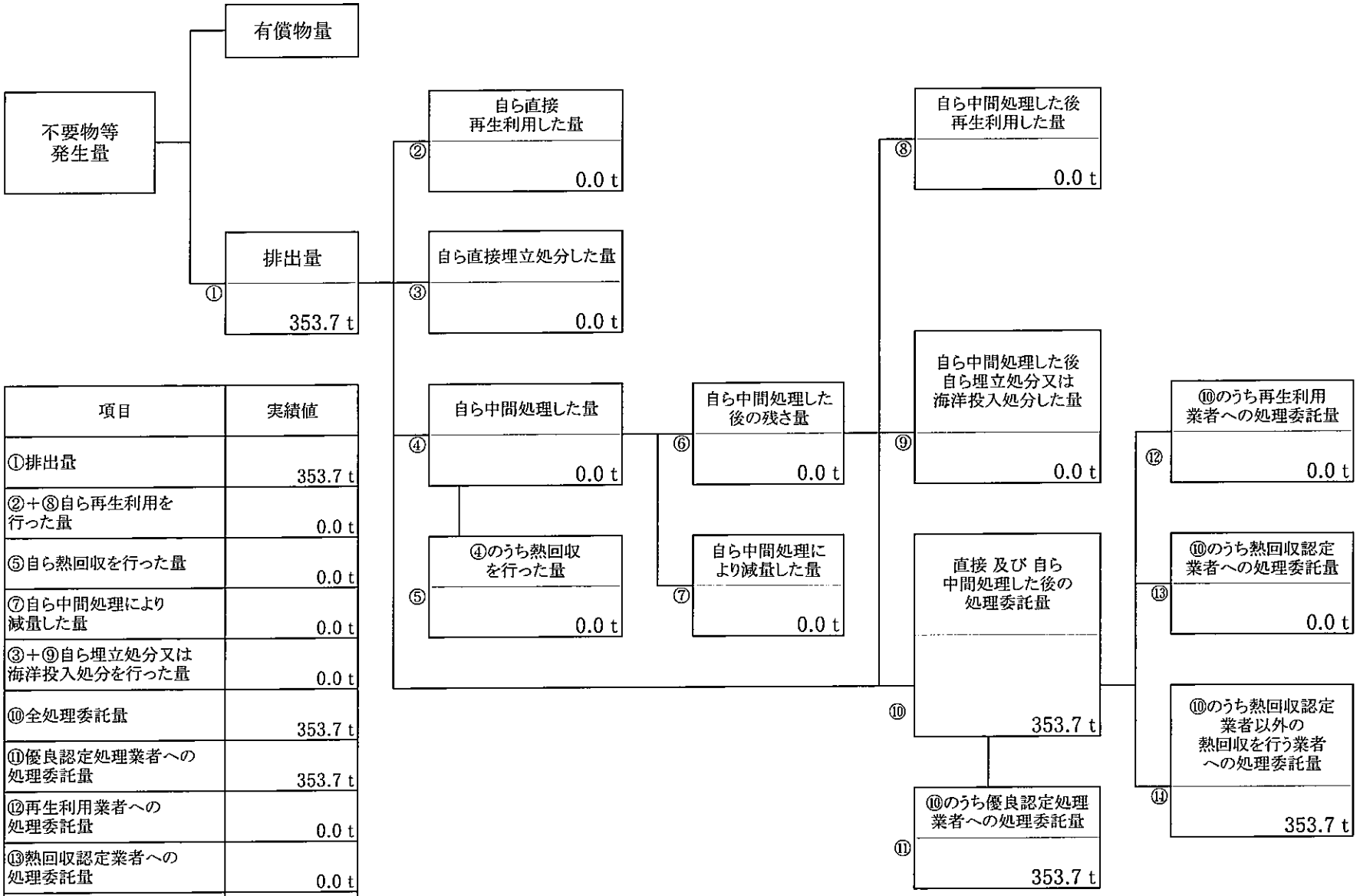


項目	実績値
①排出量	0.02 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.02 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　　廃酸（有害）　　）

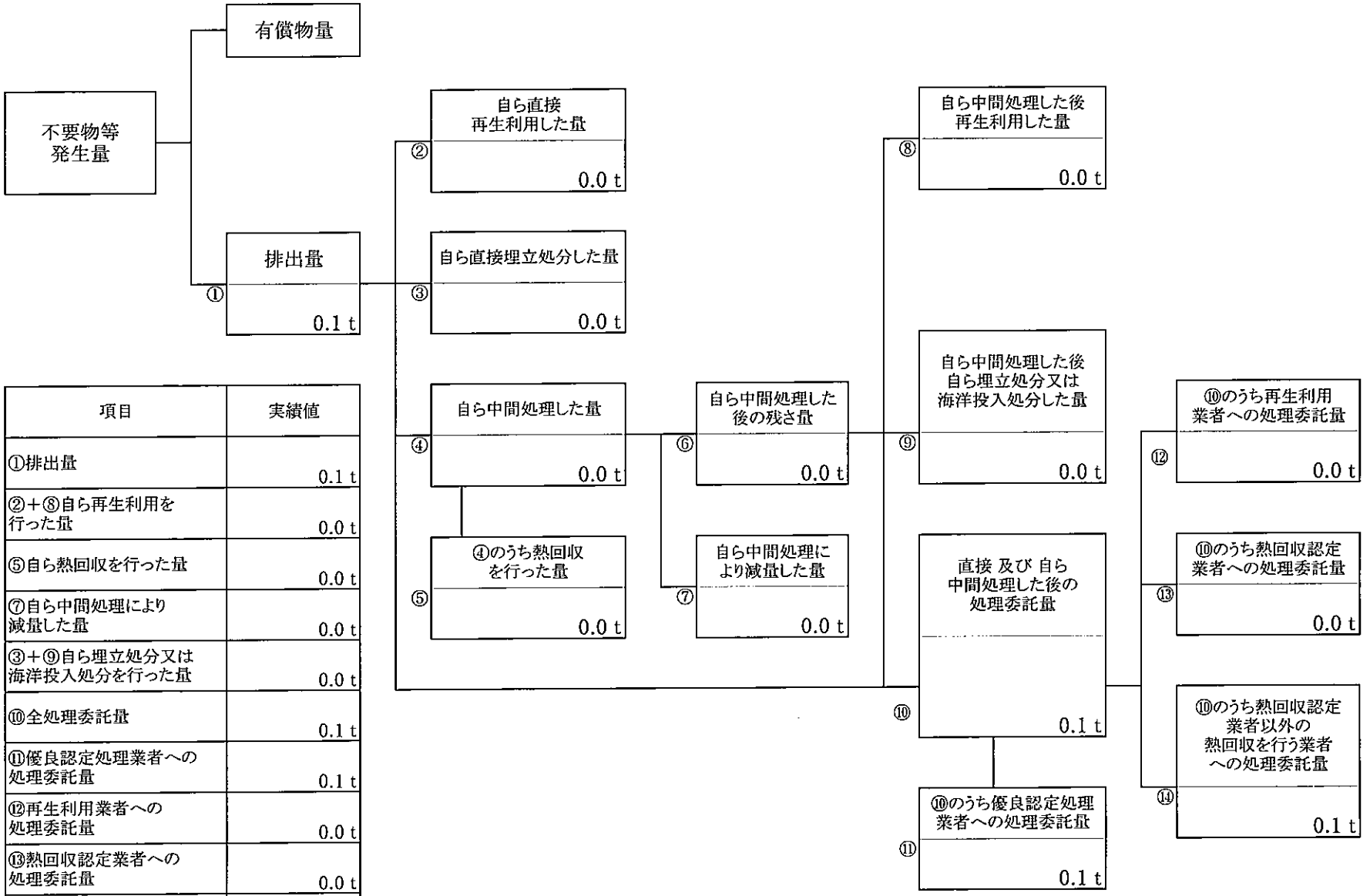


項目	実績値
①排出量	353.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	353.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	353.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	353.7 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　　汚泥（有害）　　）

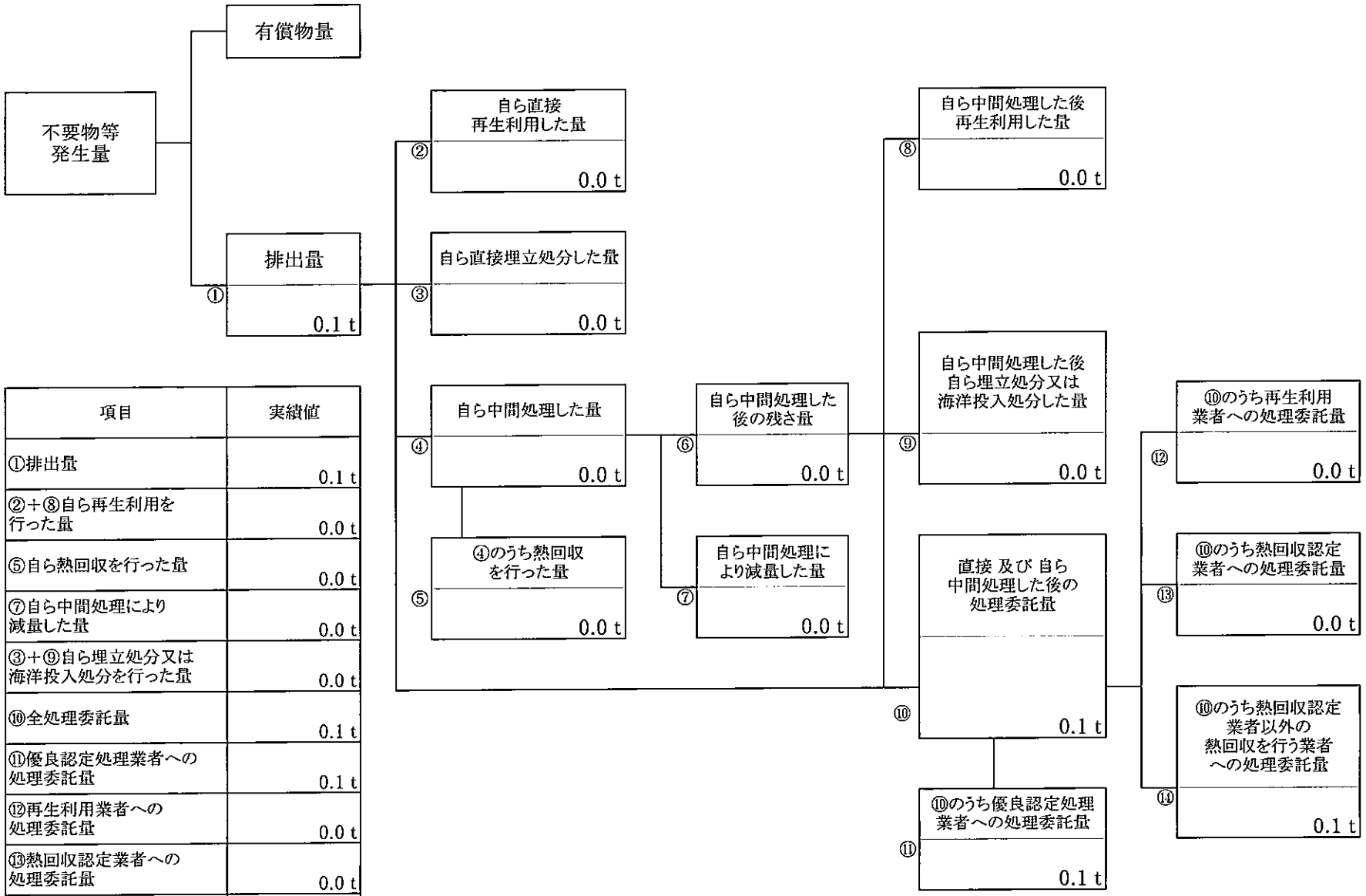


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　　廃アルカリ（有害）　　）



項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　千葉県成田市浅間452-27

住　所　株式会社美山成田工場

氏　名　常務取締役　原田　　香

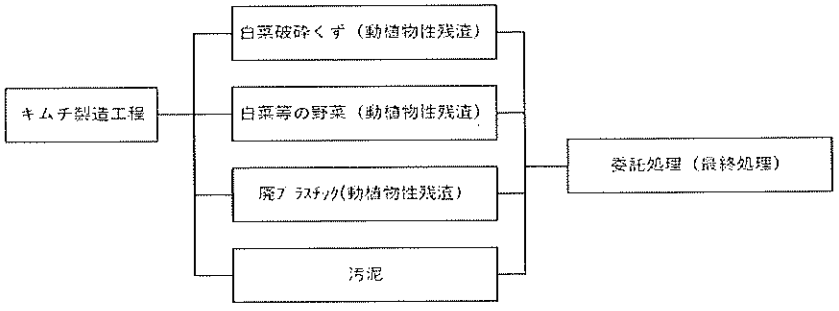
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0476-73-5000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	食品製造業：株式会社美山成田工場
事業場の所在地	千葉県成田市浅間452-27
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

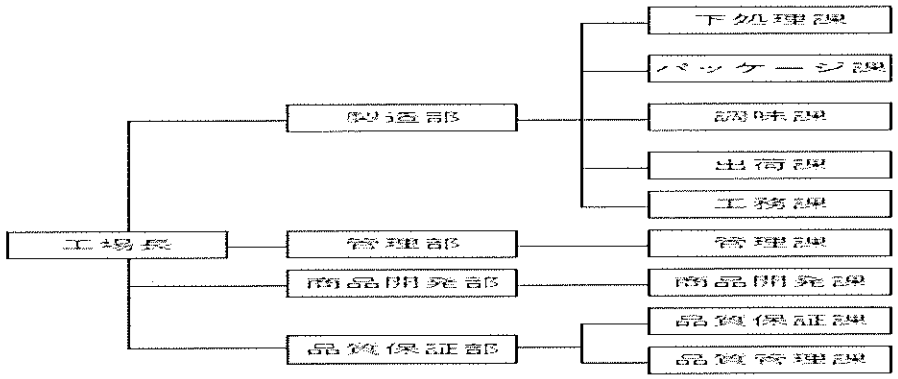
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	E09－食料品製造業
②　事業の規模	9,352,484千円
③　従業員数	100名　（正社員36名　パート社員64名）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
排出量	1716.9 t	1051 t

（これまでに実施した取組）
ゴミ処理機で白菜を出来るだけ処理し、廃棄量を削減を実施した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
排出量	1710 t	1000 t

（今後実施する予定の取組）
前年よりゴミ処理機で白菜を出来るだけ処理を実施する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃棄プラスティックパレットは再生原料として運用している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
計画的に廃棄物の分別を実施し、再生原料出来るものを増やす。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
再生利用は現状していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
引き続き再生利用の予定はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
中間処理を実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
引き続き中間処理の予定はない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
これまでに埋め立て処分等の処分を行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
引き続き埋め立て等の処分の予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
全処理委託量	1716.9 t	1051 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
プラ容器を無駄にせず、廃棄物として排出しない。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣等	汚泥
		全処理委託量	1710 t	1000 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 廃プラ類の無駄な使用を減らし排出量を削減する。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		排　出　量	7 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		排　出　量	5 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		全処理委託量	7 t	t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	7 t	t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物							
		全処理委託量	5 t	t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	5 t	t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月30 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒 千葉県成田市浅間452-27
住 所　株式会社美山成田工場
氏 名　常務取締役 原田 香
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　TEL0476-73-5000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	食品製造業:株式会社美山成田工場
事業場の所在地	千葉県成田市浅間452-27
事業の種類	E09－食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

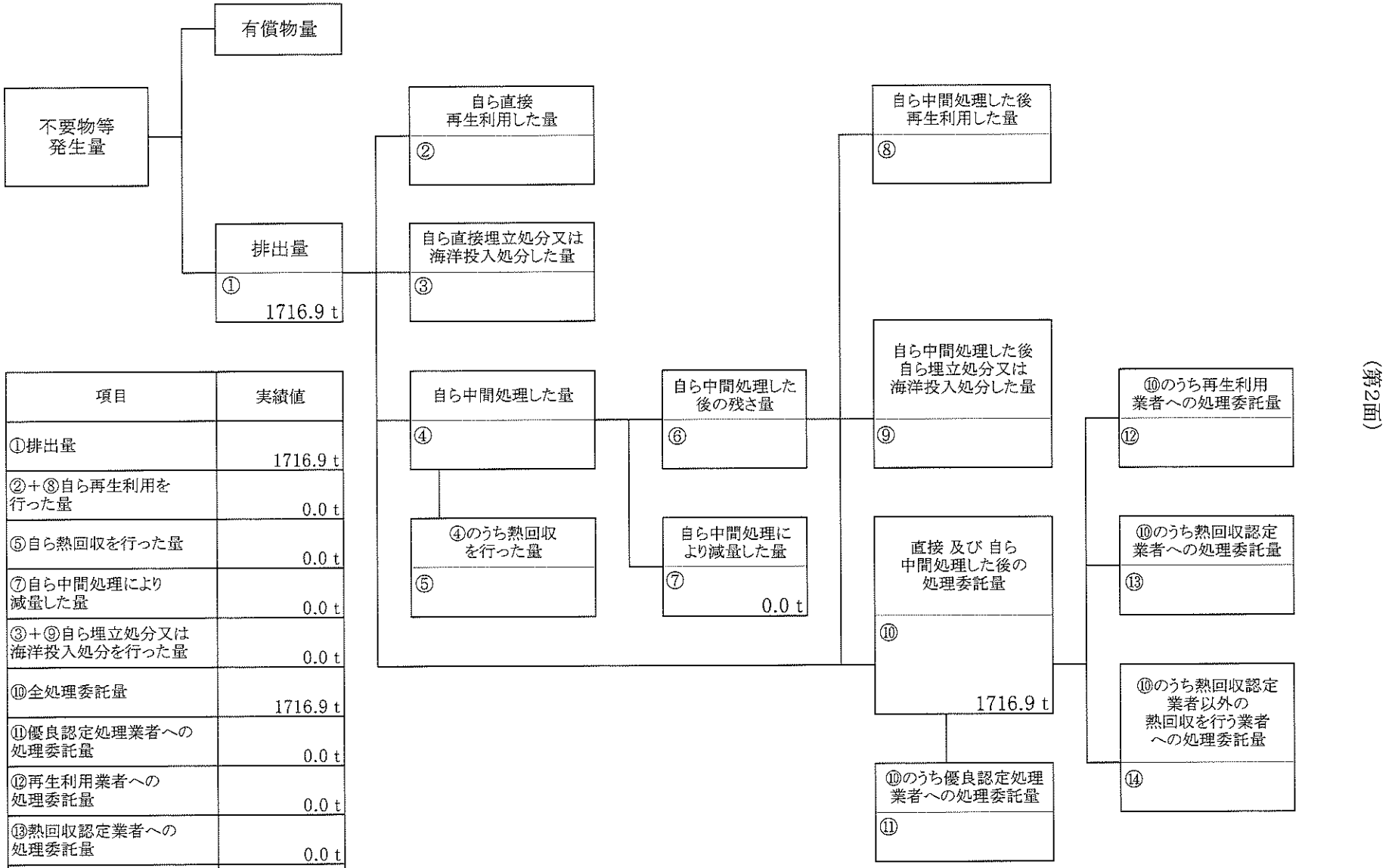
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2080.0t	全処理委託量	2080.0t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　動植物性残渣　）

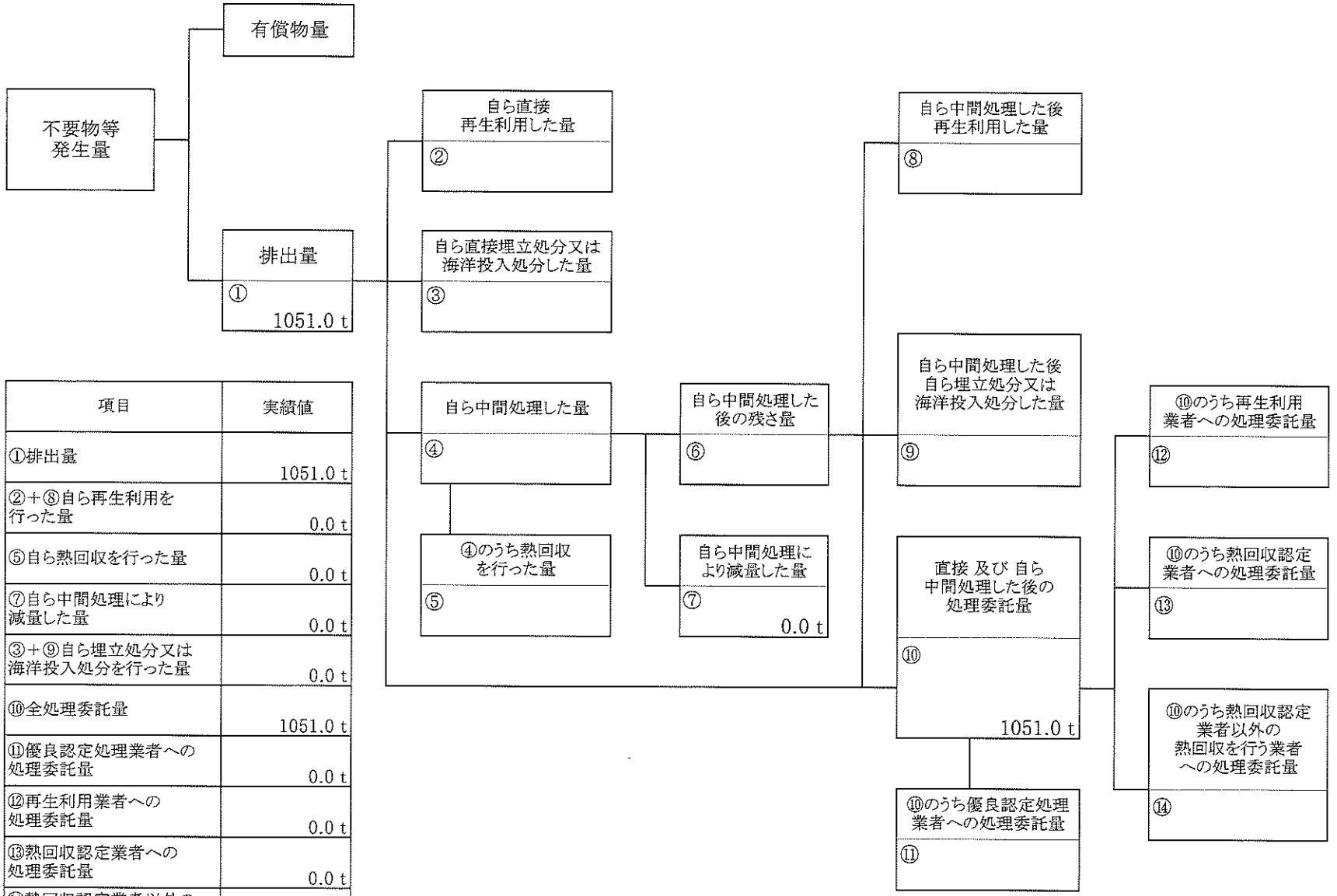


項目	実績値
①排出量	1716.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1716.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

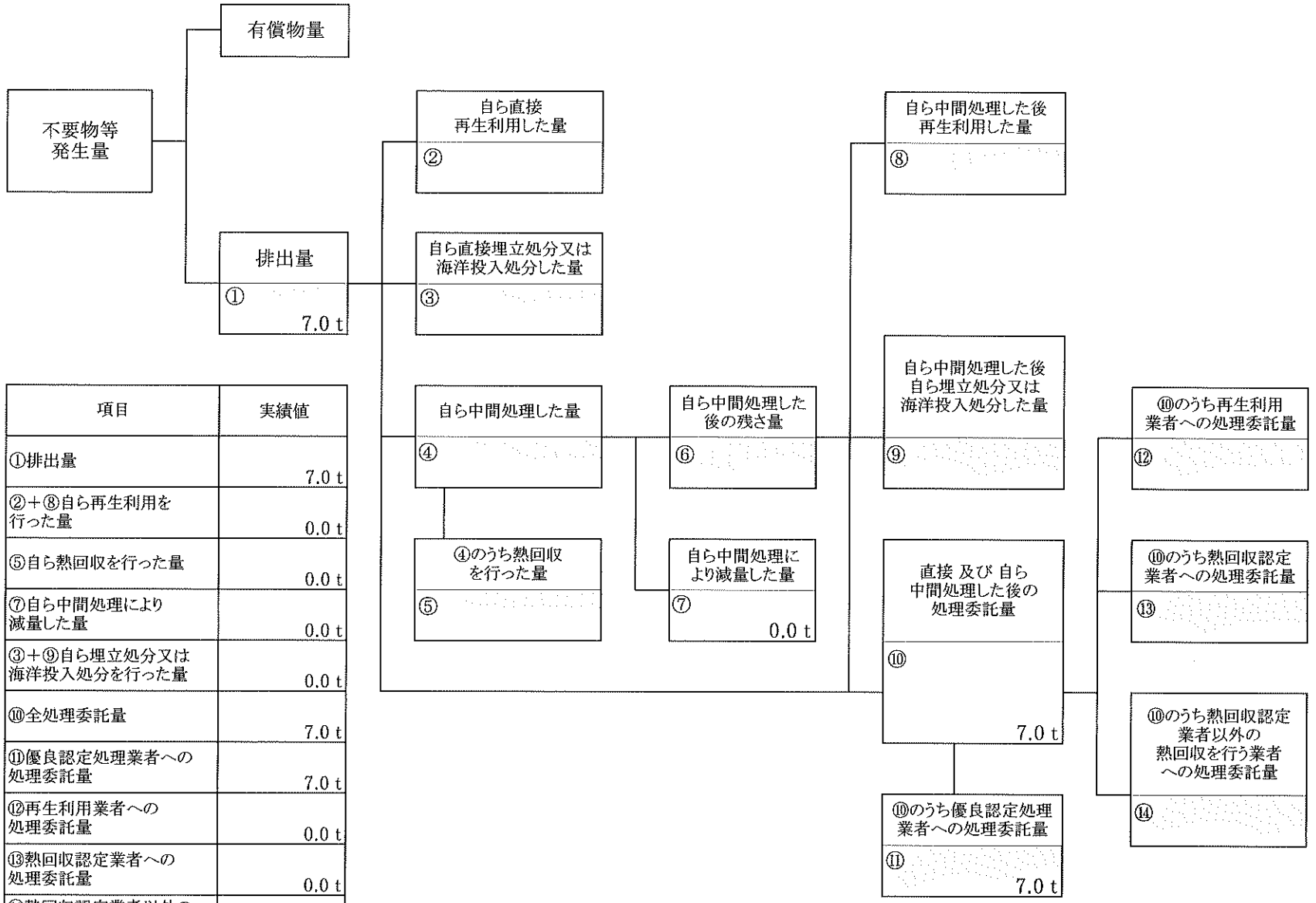


項目	実績値
①排出量	1051.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1051.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　その他混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	7.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-1147

住　所　千葉県君津市人見1135-1

法人名　三好生コンクリート株式会社

代表者　野口　忍

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0439-54-3801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三好生コンクリート株式会社　君津工場
事業場の所在地	千葉県君津市人見1135-1
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　製造業　　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　690百万円
③従業員数	5
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートくず→委託処理（中間処理） 建設汚泥（生コンクリート）→委託処理（中間処理）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

経営者-工場長（処理計画統括責任者）-業務課（処理計画作成）・技術課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設汚泥（生コンクリート）
排出量	4685 t	1488 t

（これまでに実施した取組）

顧客との連絡を密にとり、戻りコンクリートの発生を抑制する。
余りコンクリートの処理を有償化する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設汚泥（生コンクリート）
排出量	4600 t	1400 t

（今後実施する予定の取組）

発生元は顧客であるため、管理は難しい。連絡を密にとることにより、発生を抑制する。
余りコンクリートの処理を有償化する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

なし

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設汚泥（生コンクリート）
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設汚泥（生コンクリート）
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

なし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設汚泥（生コンクリート）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設汚泥（生コンクリート）
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

なし

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td>建設汚泥（生コンクリート）</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td>建設汚泥（生コンクリート）</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td>建設汚泥（生コンクリート）</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>4685 ｔ</td><td>1488 ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
顧客と連絡を密にとることにより、戻りコンクリートの発生を抑制し排出量を減量する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td>建設汚泥（生コンクリート）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>4600 t</td><td>1400 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
顧客と連絡を密にとることにより、戻りコンクリートの発生を抑制する。
余りコンクリートの処理を有償化する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月14日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-1147

住所 千葉県君津市人見1135-1

法人名 三好生コンクリート株式会社

代表者 野口 忍

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0439-54-3801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三好生コンクリート株式会社 君津工場
事業場の所在地	千葉県君津市人見1135-1
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,800 t	全処理委託量	5,800 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

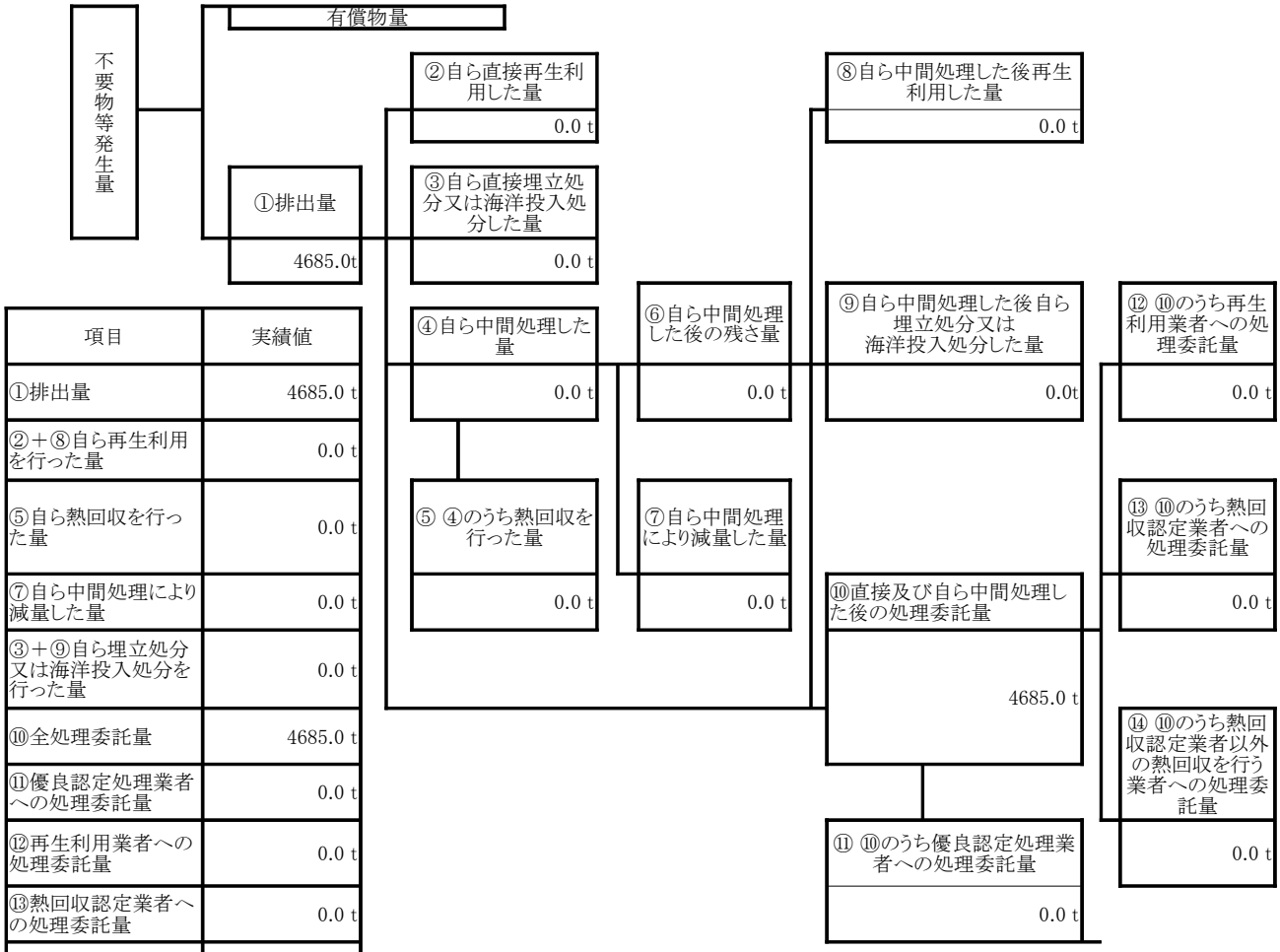
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートくず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



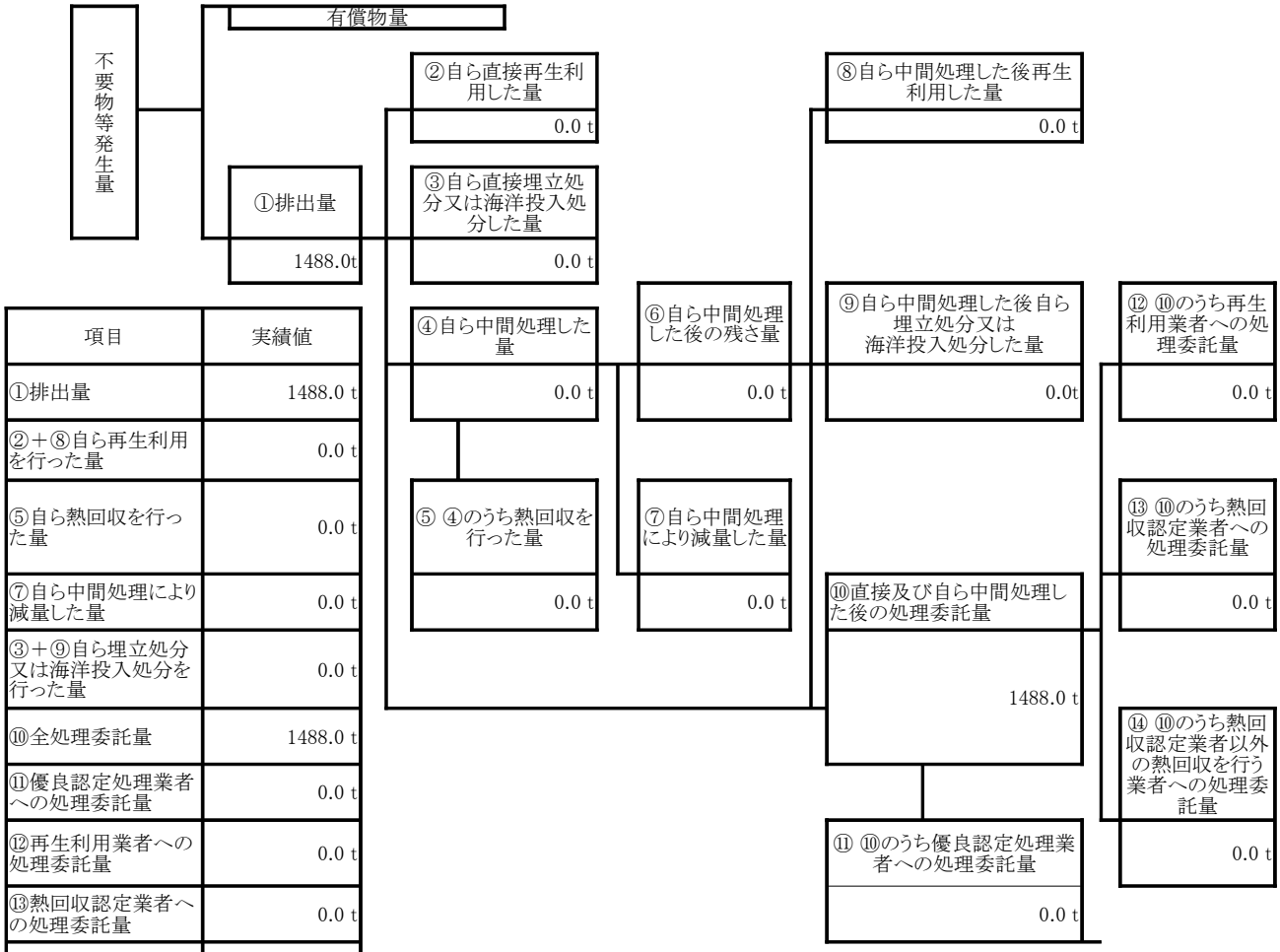
項目	実績値
①排出量	4685.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4685.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**建設汚泥（生コンクリート）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



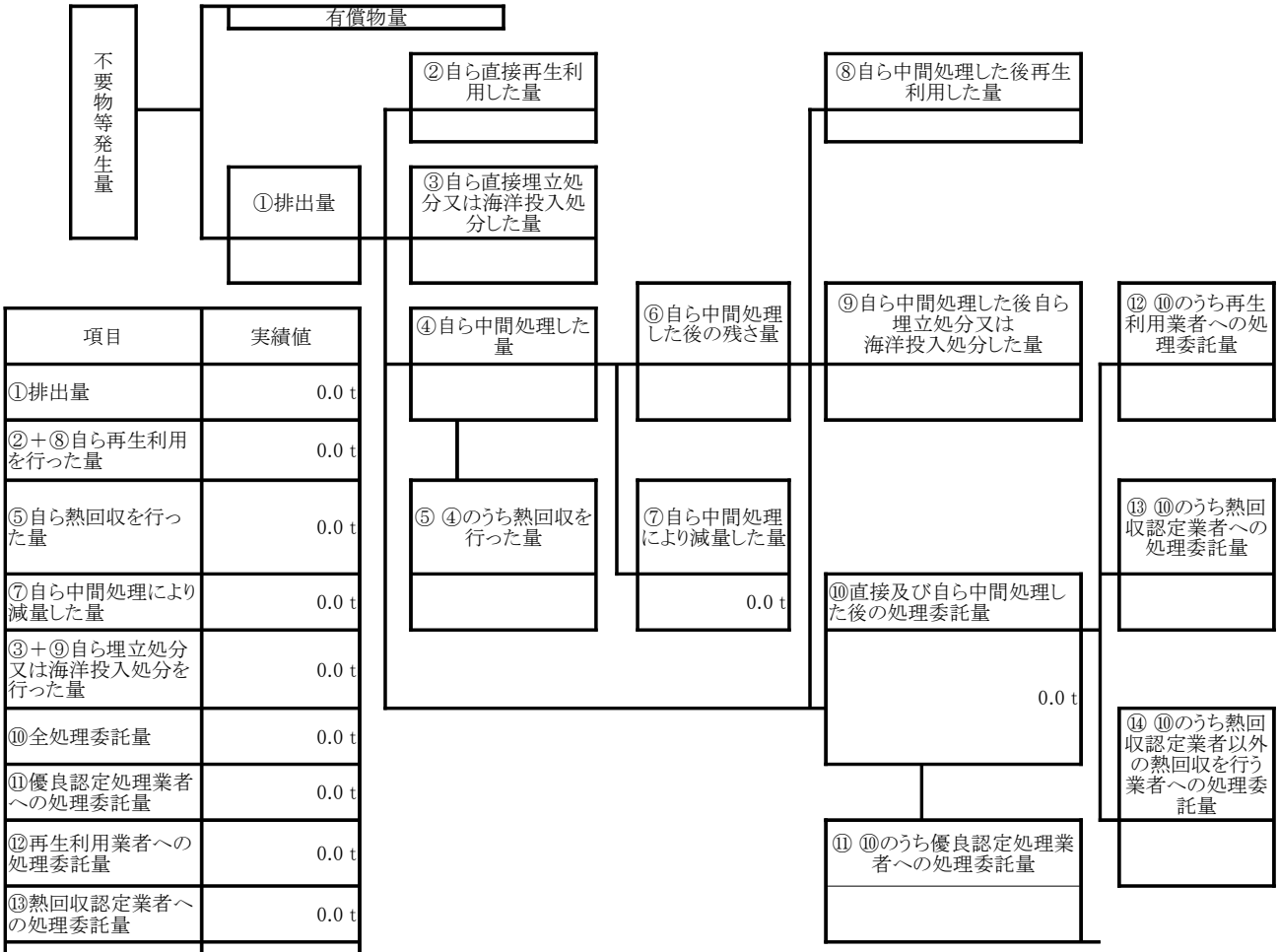
項目	実績値
①排出量	1488.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1488.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

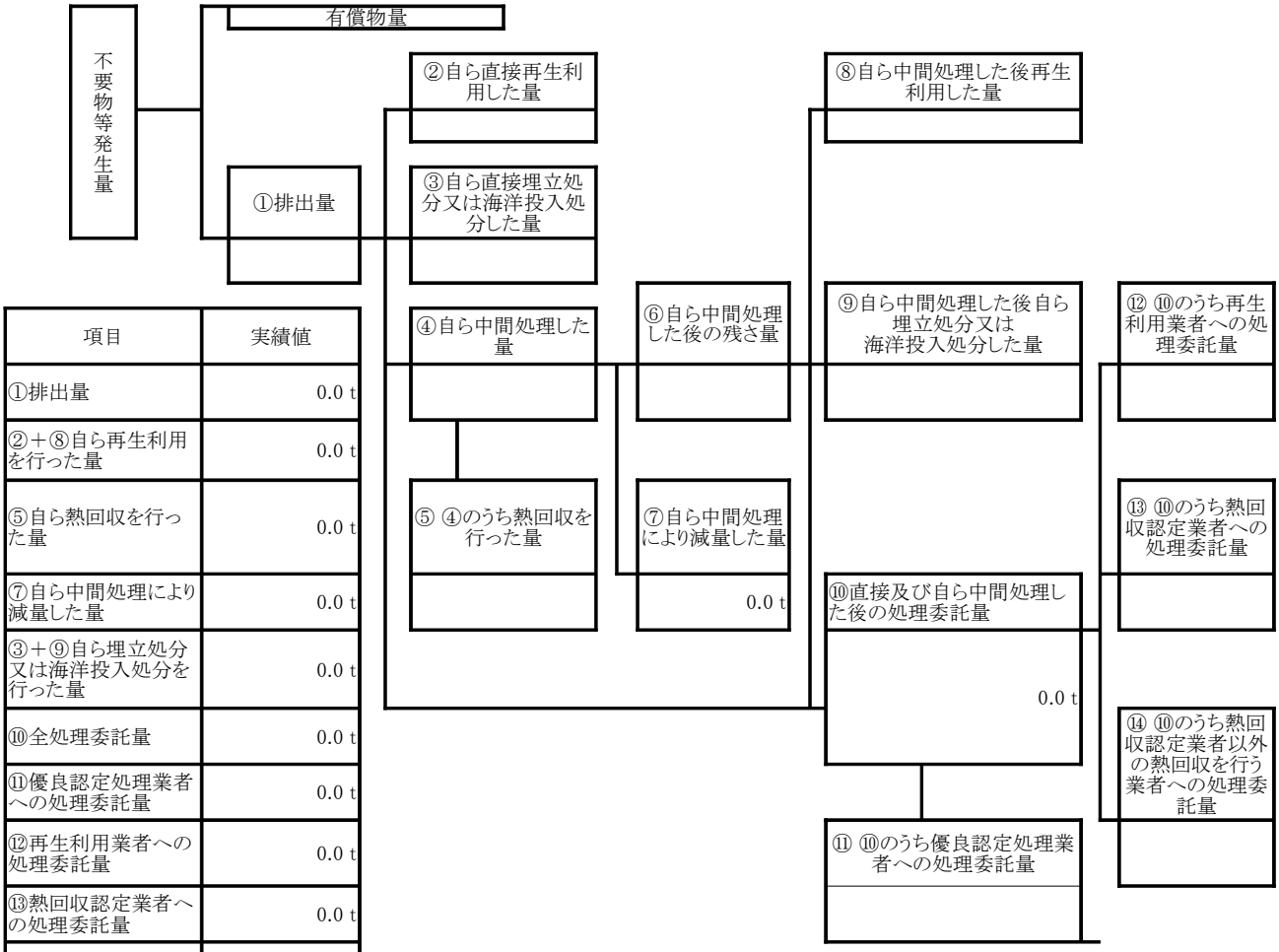


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

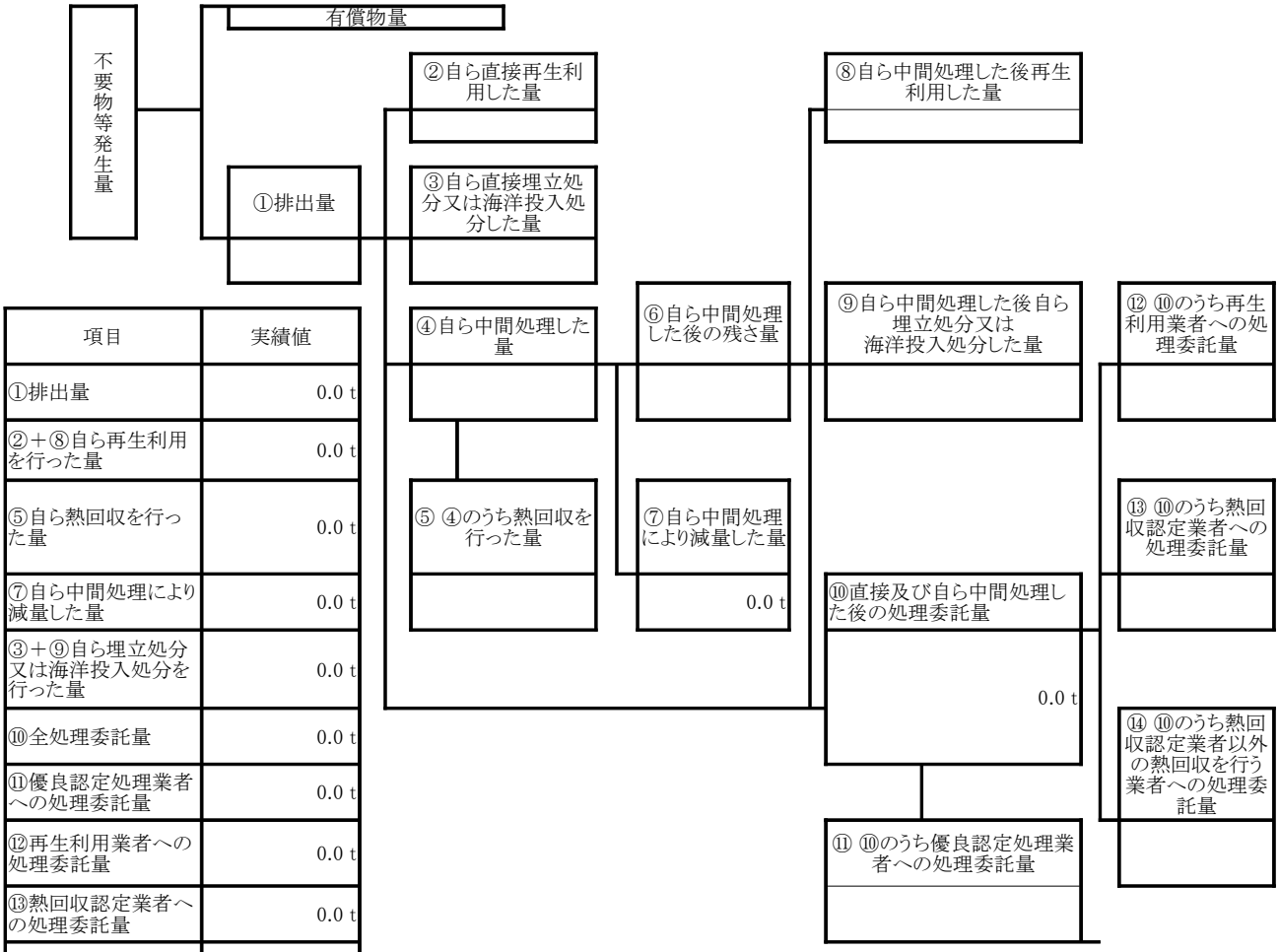


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

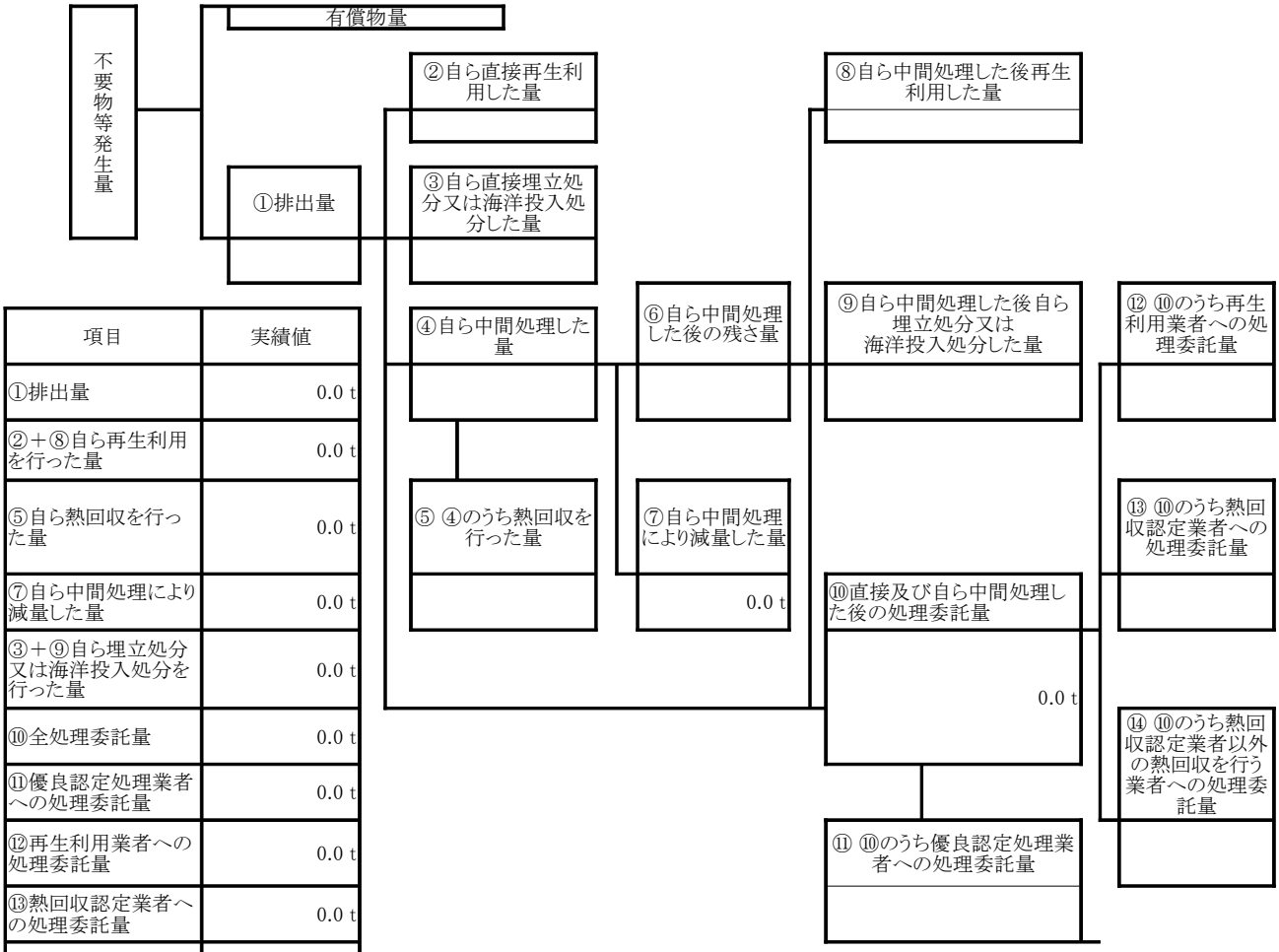


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



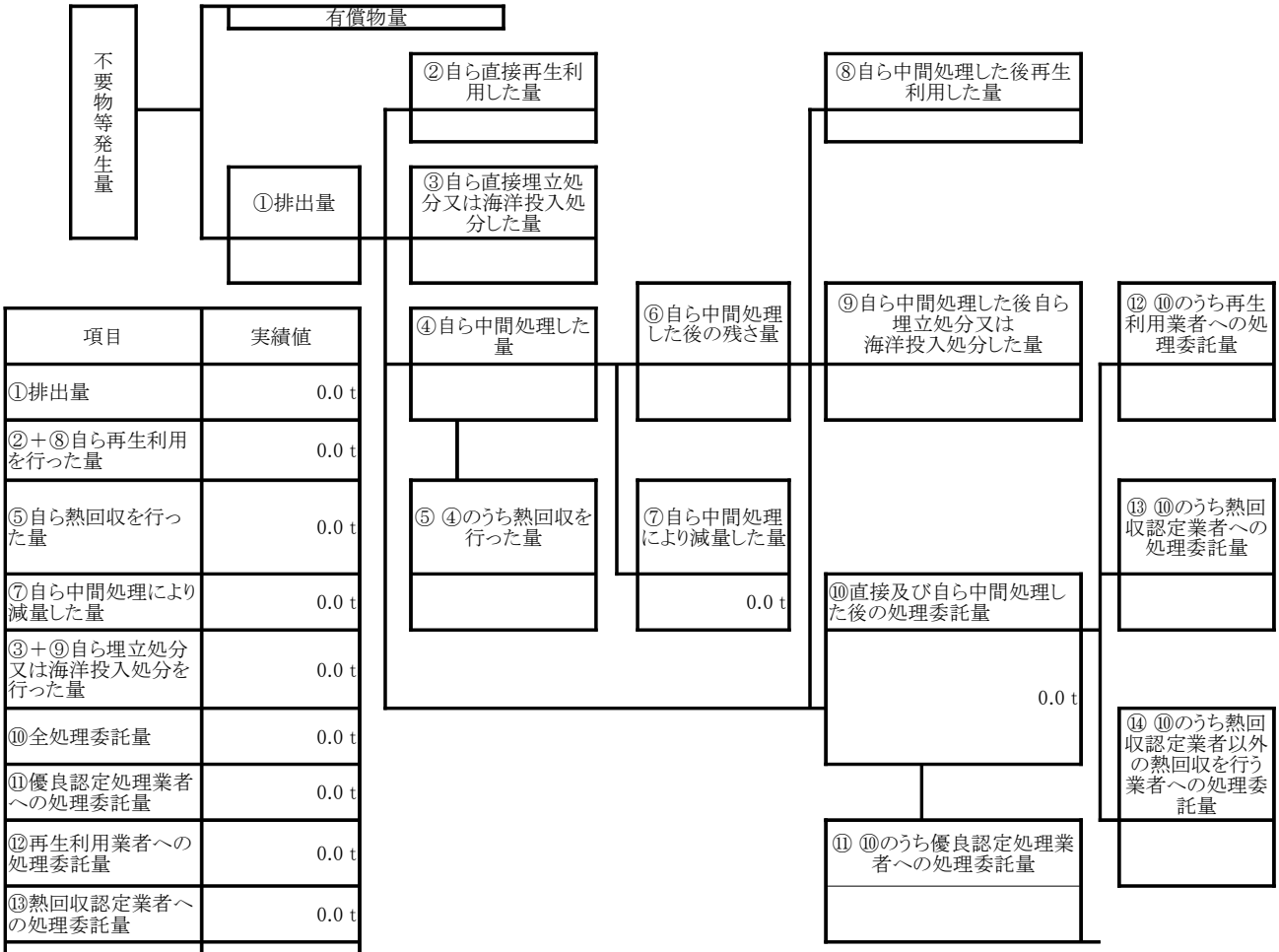
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

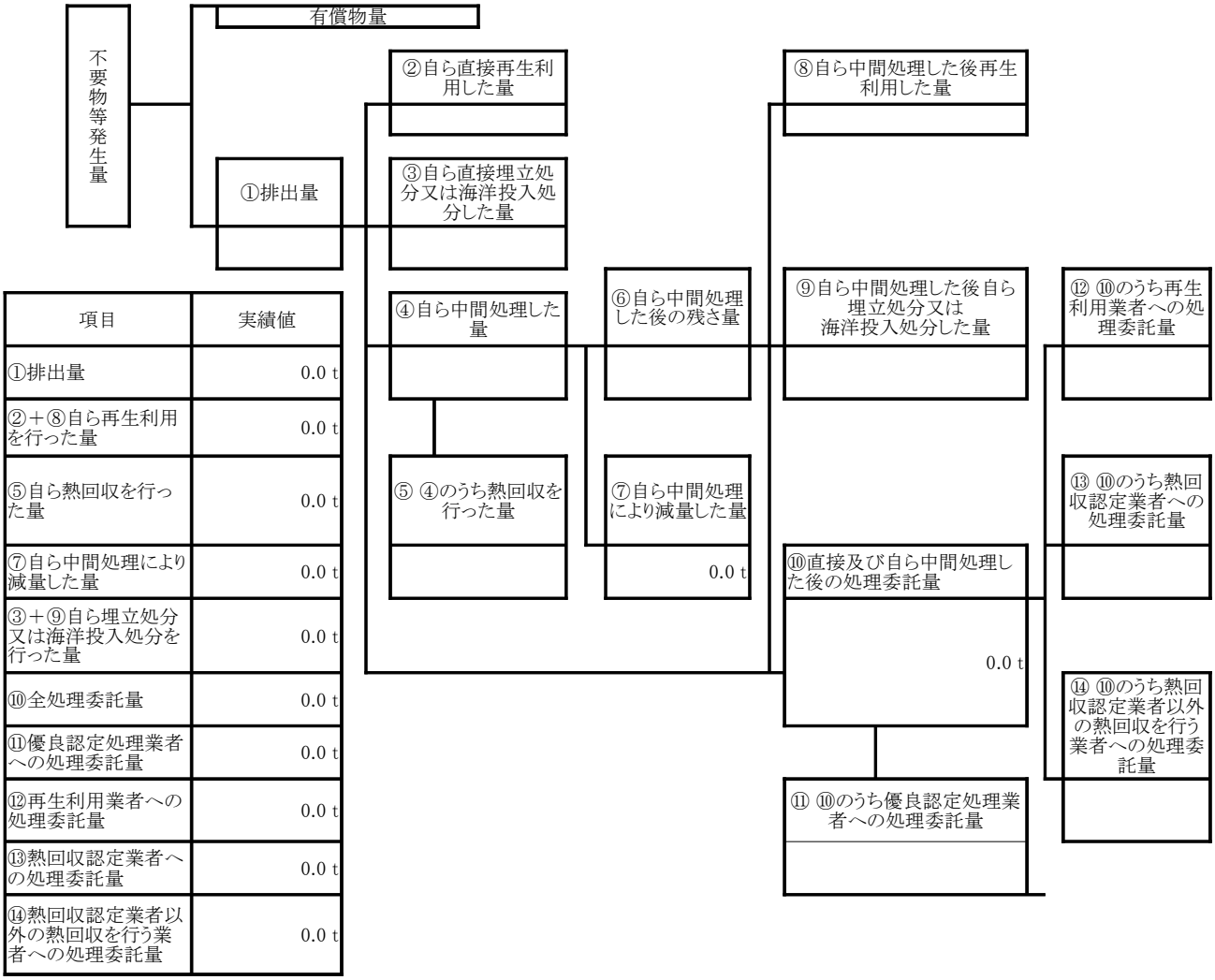


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

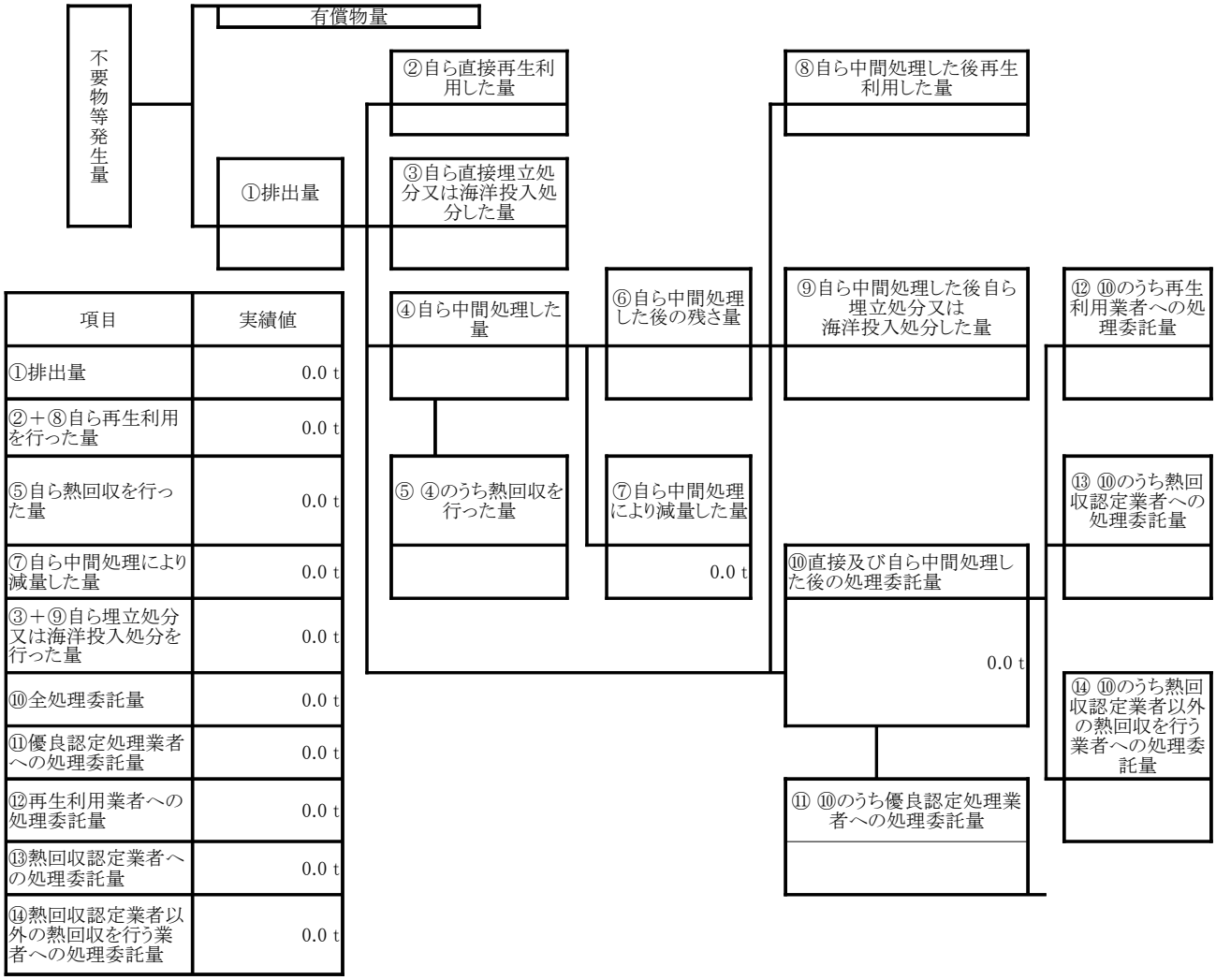


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



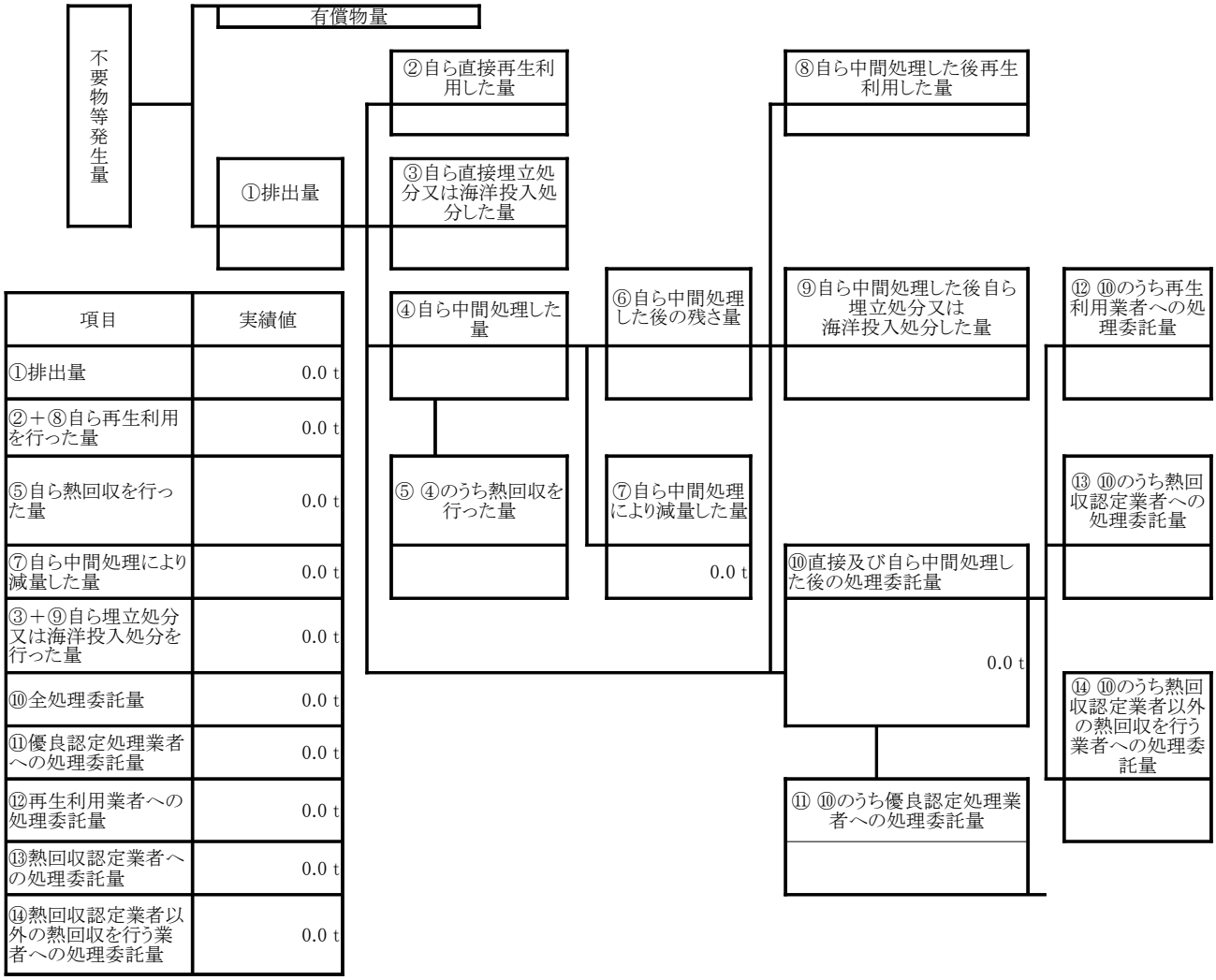
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

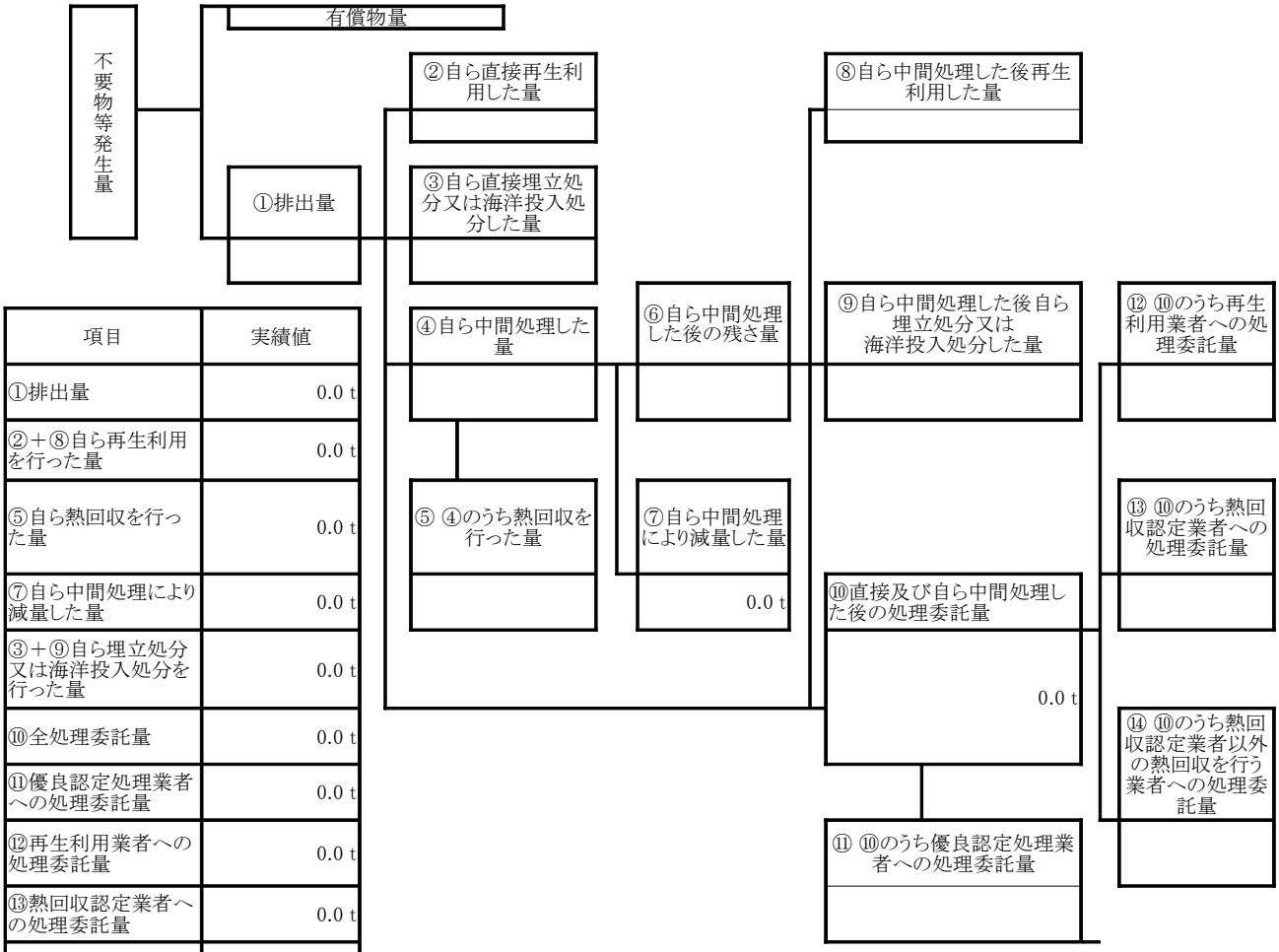


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



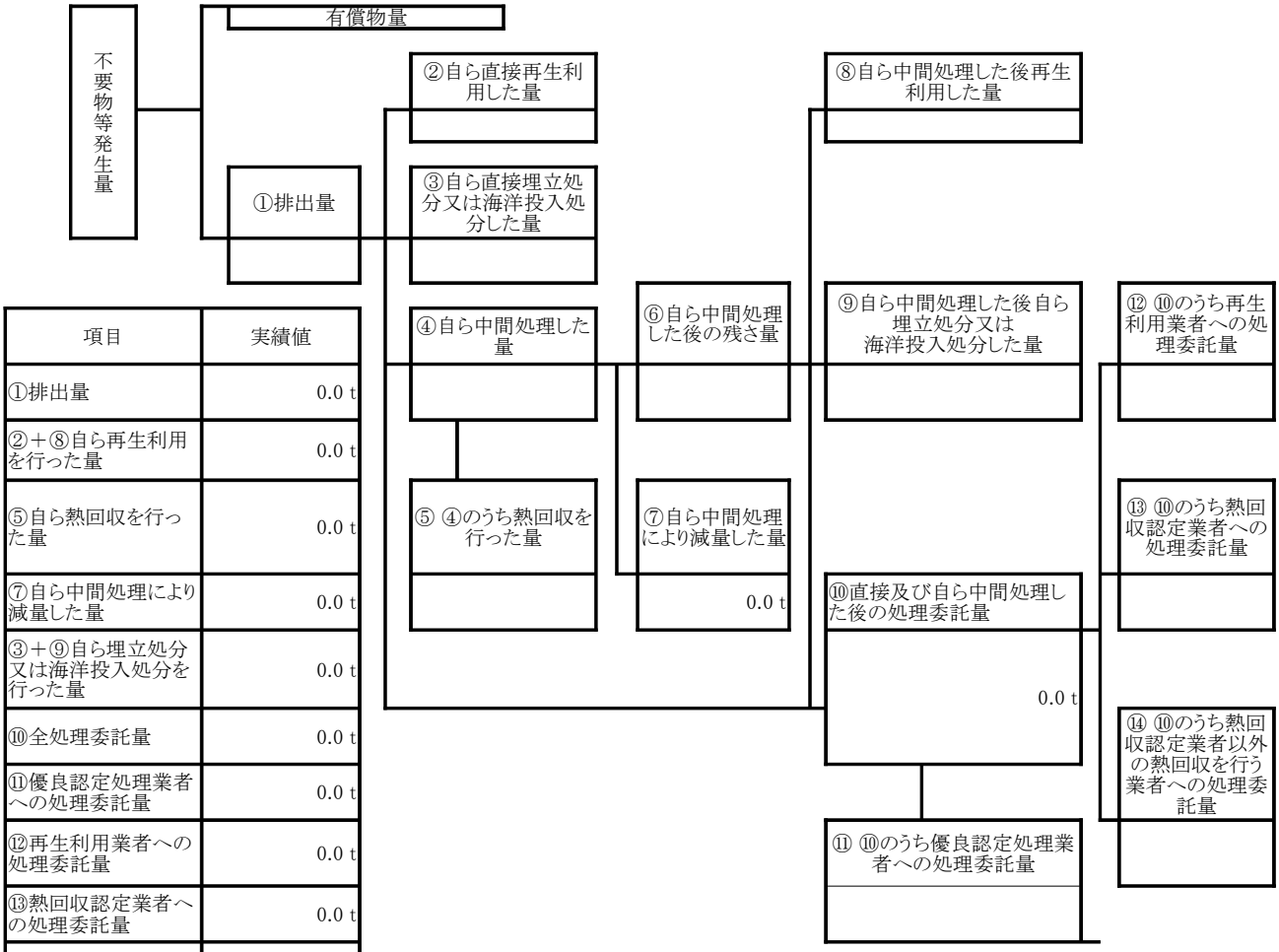
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



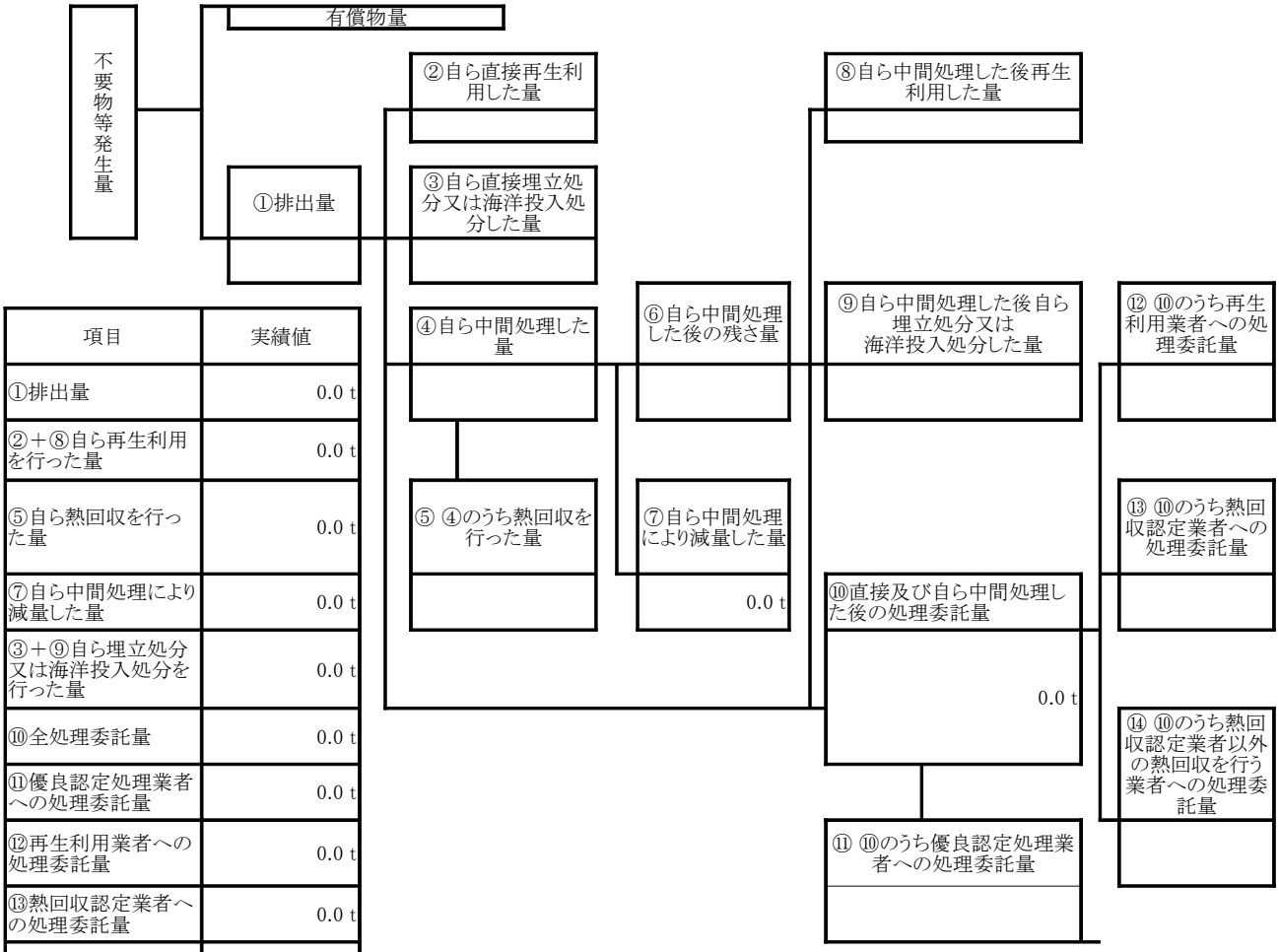
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

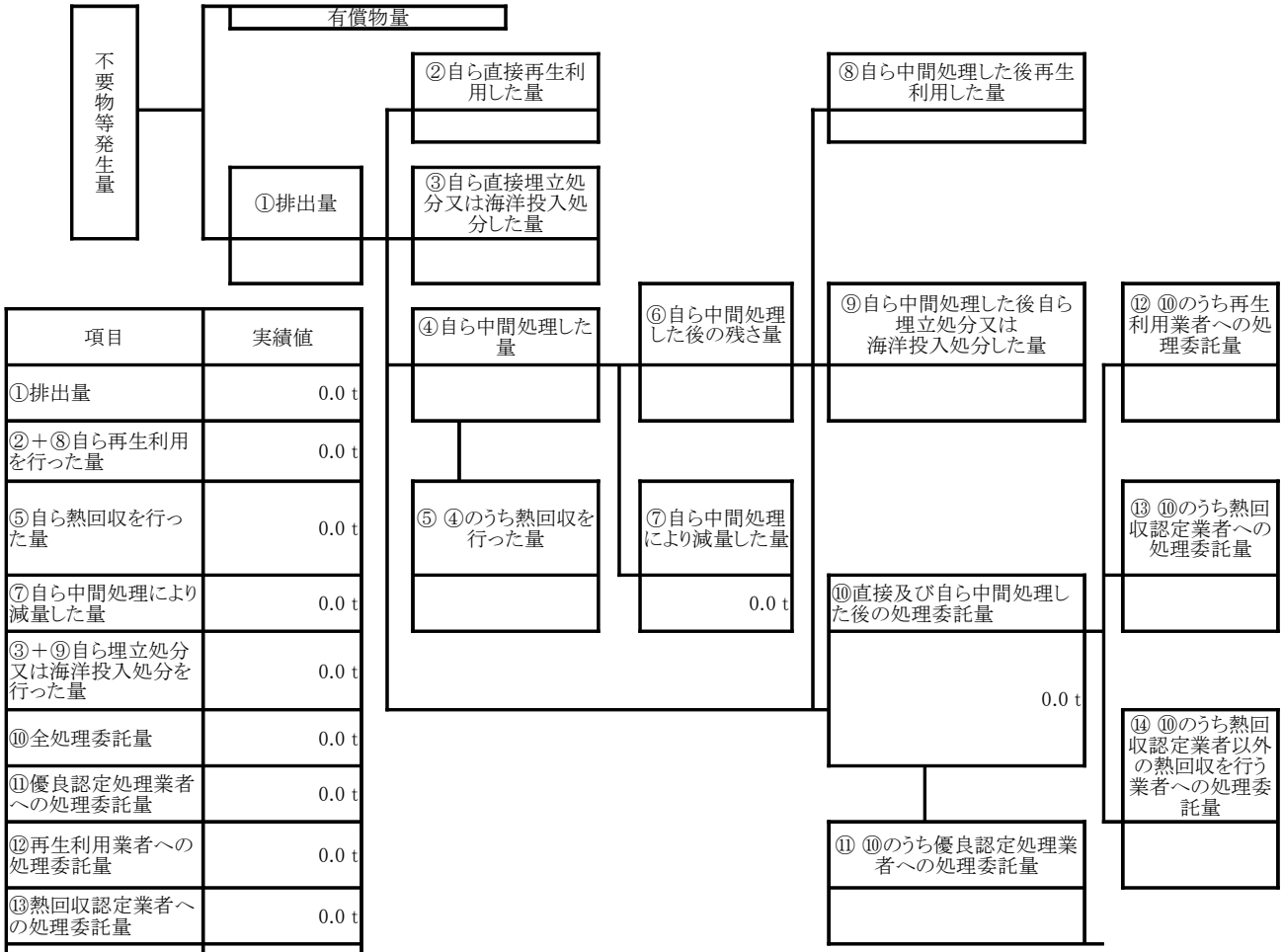


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



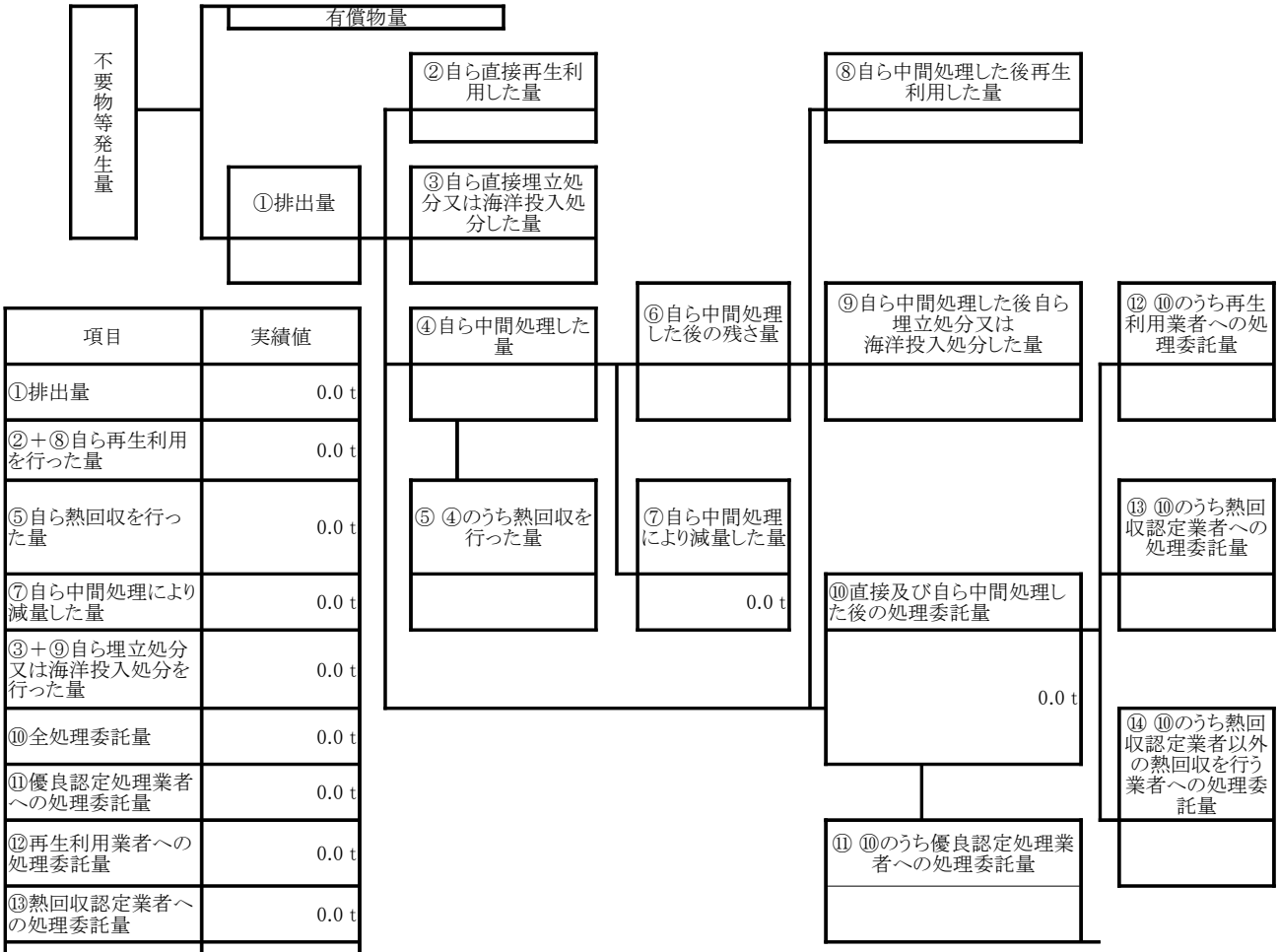
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

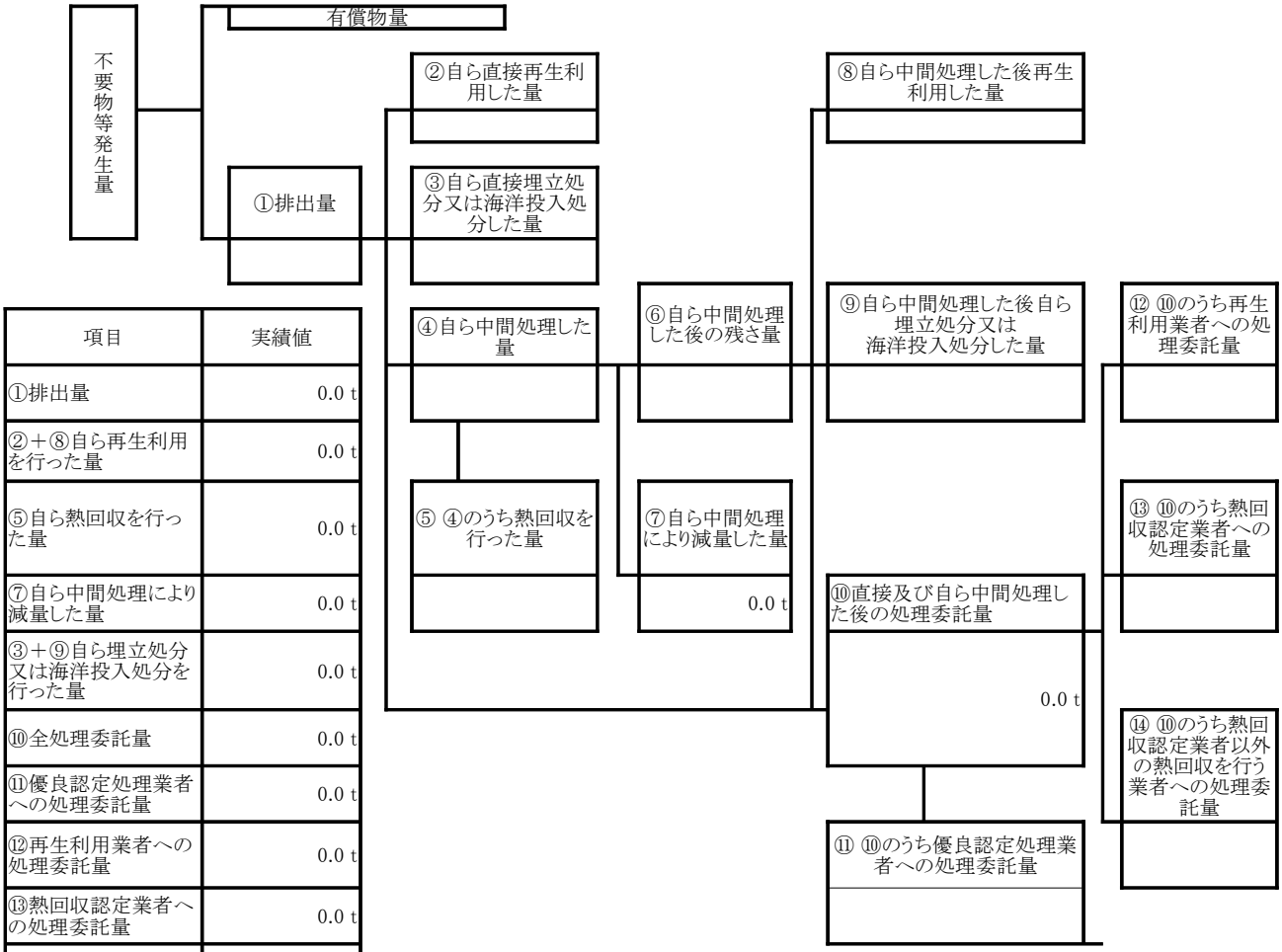


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

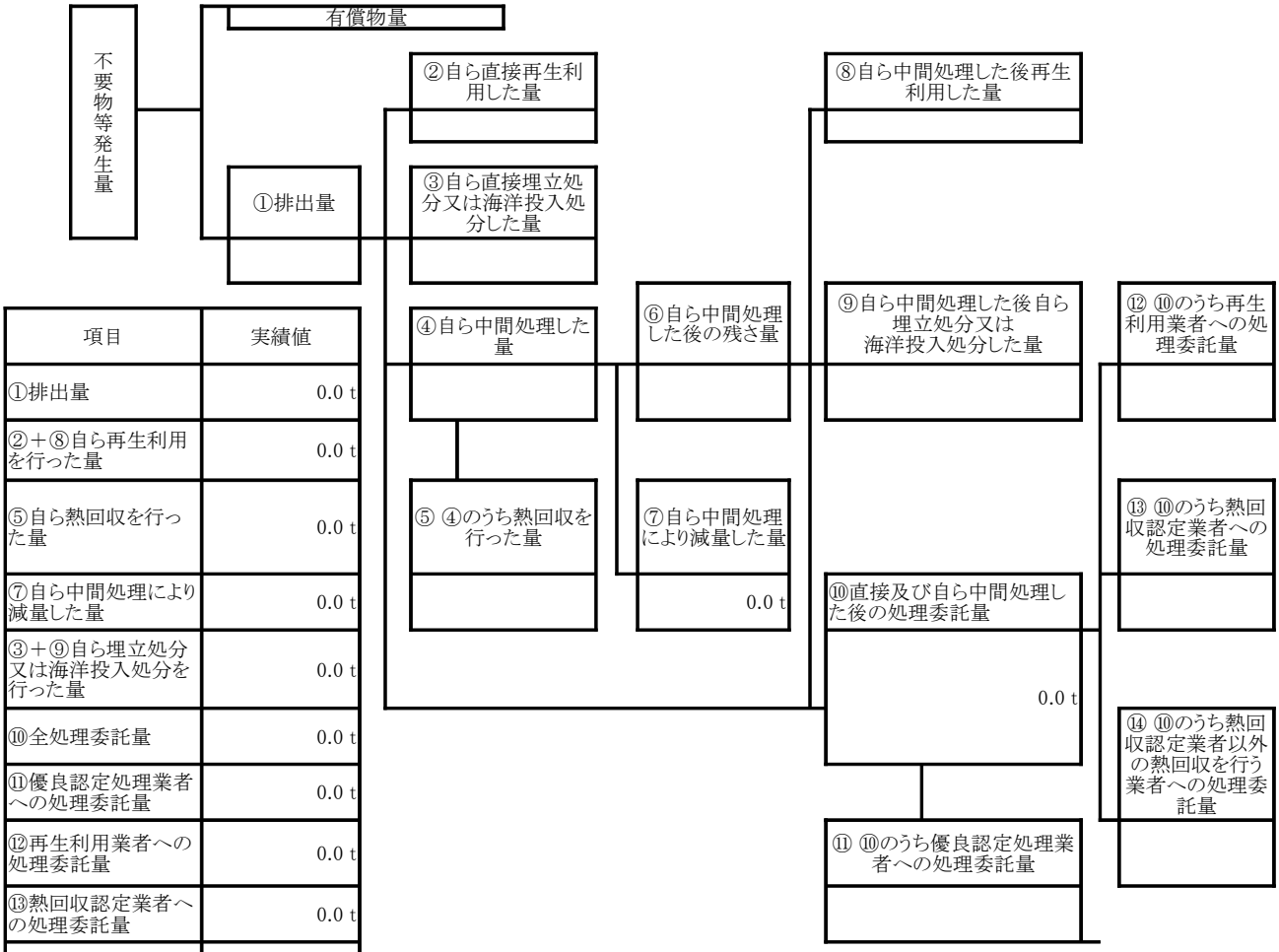


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



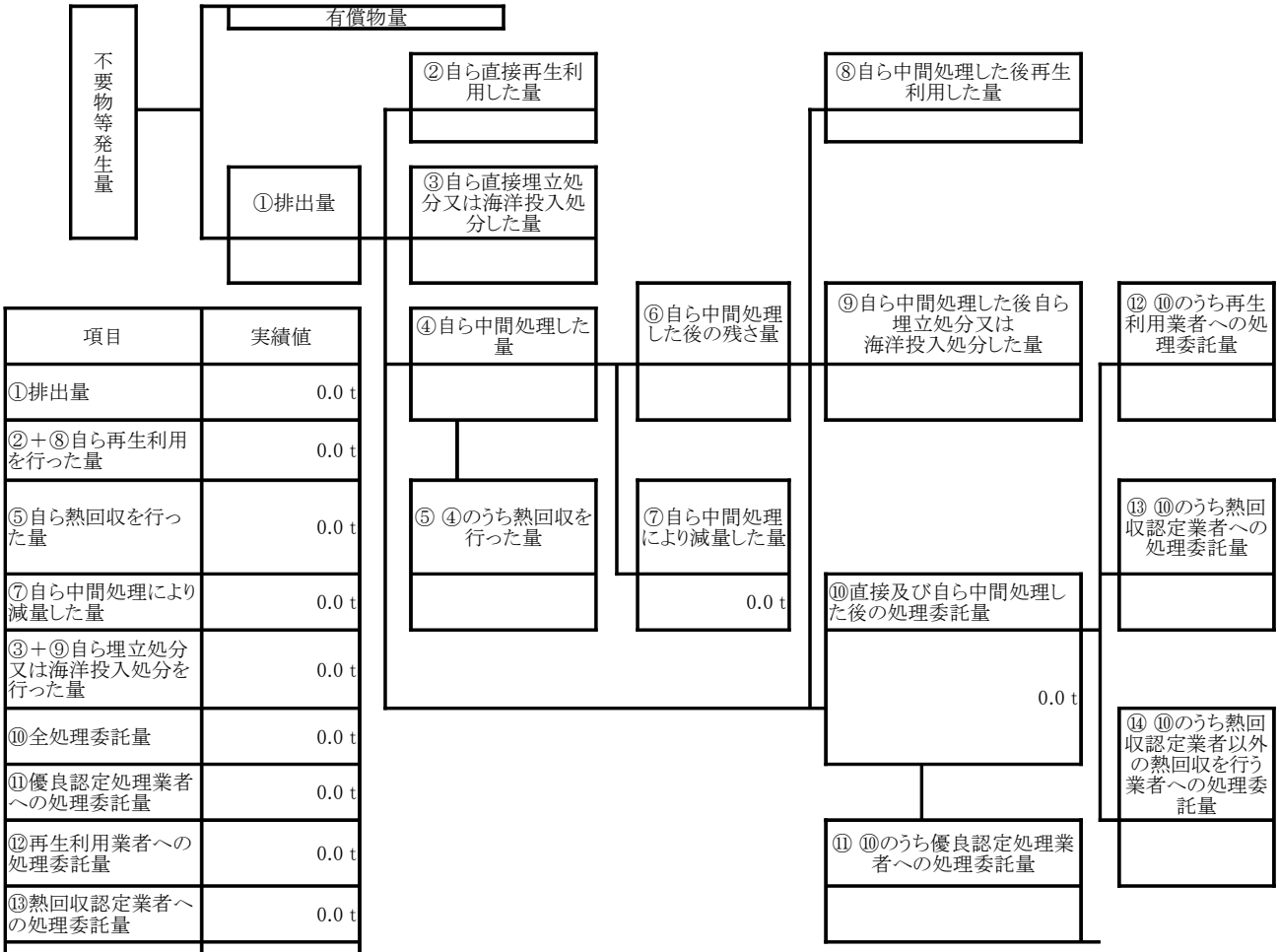
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

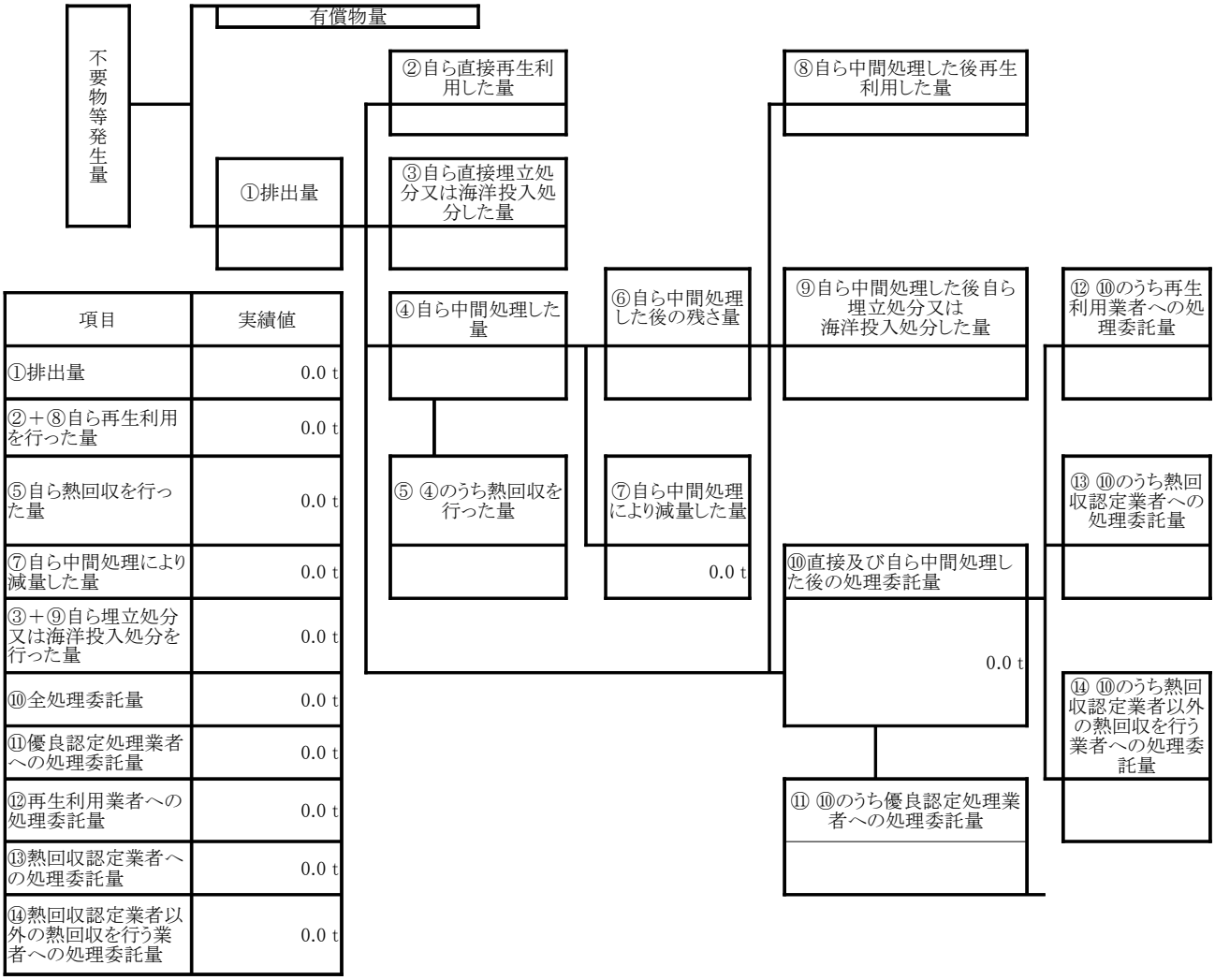


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

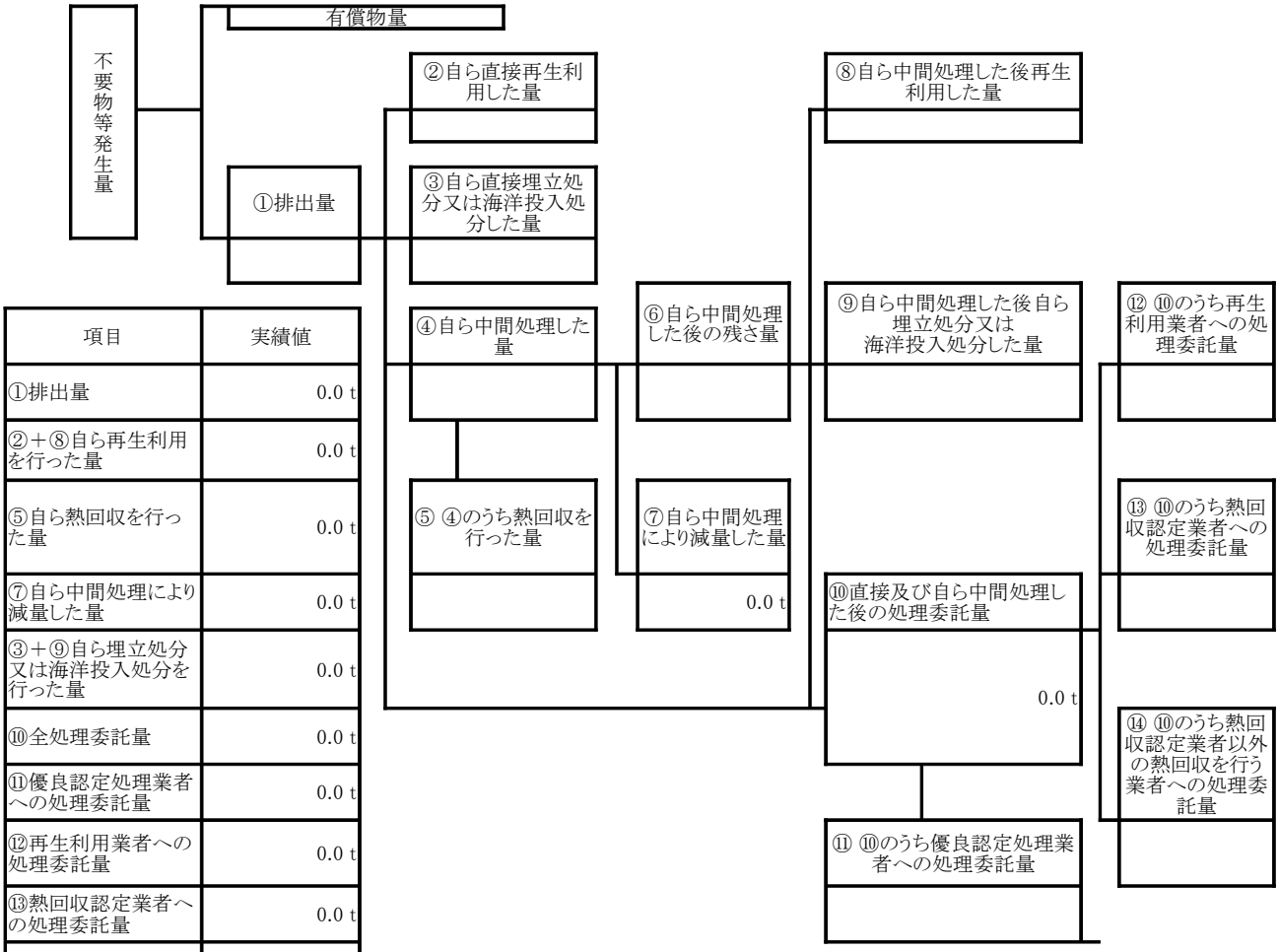


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　5月　10日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒351-0034

住　所　埼玉県朝霞市西原1-1-1

氏　名　株式会社武蔵野
代表取締役　安田信行

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　047-405-1311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社武蔵野　千葉工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1355-32
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E09－食料品製造業
②事業の規模	生産高　9,482百万円
③従業員数	600名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①確認

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙②確認

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
排出量	892.3 t	441.4 t

（これまでに実施した取組）
製造工程において原材料ロスの低減、不良品の低減に取り組み、廃棄物の抑制を行っている。（食品残渣、廃プラスチック類）
節水に取り組み、排水処理への負荷低減を図り、余剰汚泥の排出を抑制している。（汚泥）
できるだけ有価取引できるよう、水や不純物を混ぜないように管理する。（廃油）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
排出量	847.7 t	419.3 t

（今後実施する予定の取組）
製品不良が出ないように、日々管理を徹底する。（食品残渣、廃プラスチック類）
廃棄物分別について従業員教育の徹底を図っていく。（食品残渣、廃プラスチック類、廃油）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
ゴミ袋を色分けし食品残渣に廃プラ等の異物が混入しないように分別している。（食品残渣、廃プラスチック類）
段ボール、紙類、紙筒、ゴム製品、プラスチック類、混合廃棄物等に分別し、有価取引できるように管理を行っている。（廃プラ・金属くず）
不純物の混じらない廃油は有価となるため、混合しないよう徹底を図っている。（廃油）

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
引き続き分別の徹底と、教育の実施。（全）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
実績なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
実績なし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
排水処理で余剰汚泥を脱水機にて脱水処理。（汚泥）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
現状の取り組みの継続と徹底。（汚泥）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
実績なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
実施予定なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
全処理委託量	892.3 t	441.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	892.3 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	892.3 t	441.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
再生利用ができるように、分別管理を行っている。（食品残渣、汚泥）
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終分量の低減を図る。（廃プラスチック類、金属くず）
可能な限り有価引き取りをしてもらえるよう不純物を混ぜないように管理をしていく。（廃油）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動・植物性残渣	廃プラスチック類
全処理委託量	847.7 t	419.3 t
優良認定処理業者への処理委託量	847.7 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	847.7 t	419.3 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

動植物性残渣および汚泥の再生利用ができる処理業者への委託を継続実施する。（食品残渣、汚泥）
現状の取り組みを継続実施する。（廃プラスチック類、金属くず）
引き続き可能な限り有価引き取りとなるよう不純物を混入させないよう従業員の教育の徹底を図っていく。（廃油）

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
①現状	排出量	21528.3 t	11.3 t	0.1 t	0.6 t	0.4 t	0.4 t	1.7 t	22.4 t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
②計画	排出量	20451.1 t	10.7 t	0.1 t	0.6 t	0.4 t	0.4 t	1.6 t	21.3 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	20265.3 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	19252 ~~8~~ t	0 t	~~19259~~ 0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

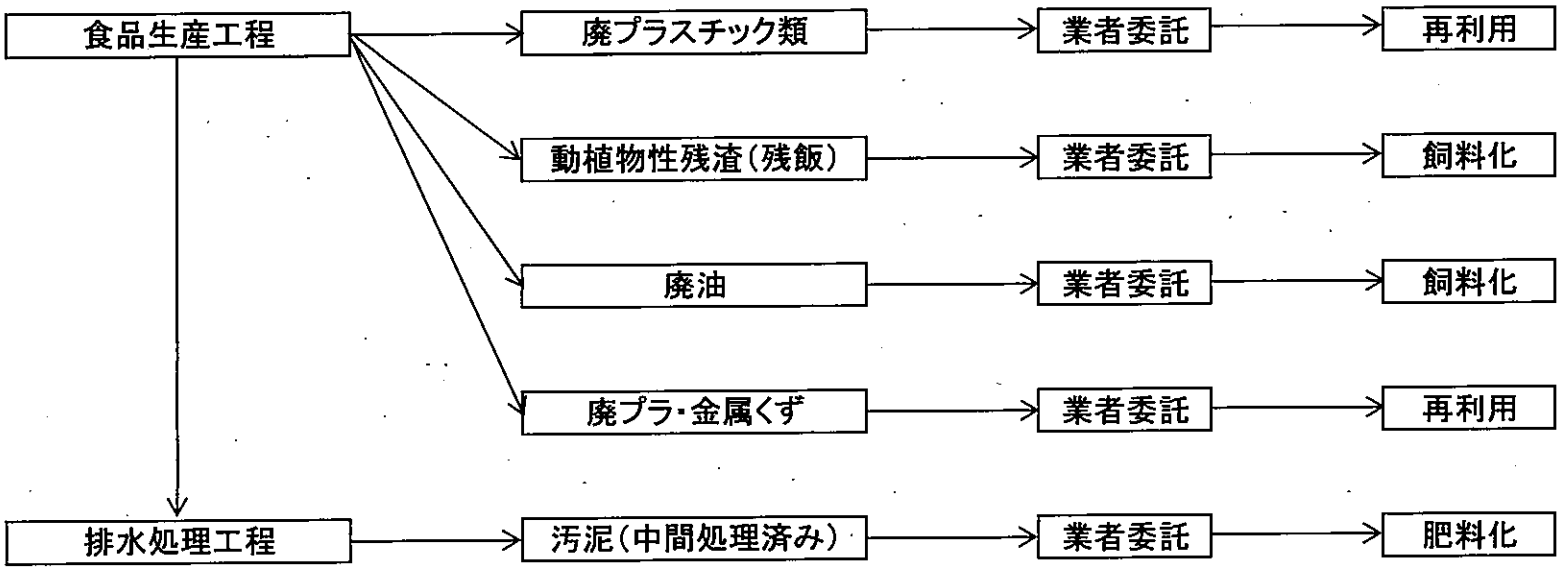
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
全処理委託量	1263 t	11.3 t	0.1 t	0.6 t	0.4 t	0.4 t	1.7 t	22.4 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	381.9 t	0 t	0.1 t	0.6 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
再生利用業者への処理委託量	1263 t	11.3 t	0.1 t	0.6 t	0.4 t	0.4 t	1.7 t	22.4 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

②計画

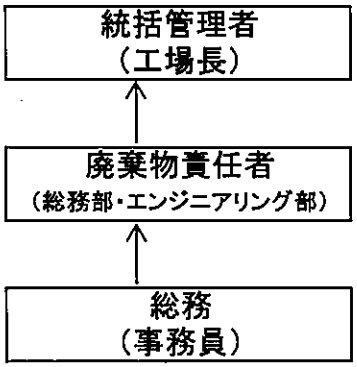
【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ・金属くず	廃蛍光灯	廃乾電池	油でい（含水油）	動植物性油	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	
全処理委託量	1199.1 t	10.7 t	0.1 t	0.6 t	0.4 t	0.4 t	1.6 t	21.3 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	362.8 t	0 t	0.1 t	0.6 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
再生利用業者への処理委託量	1199.1 t	10.7 t	0.1 t	0.6 t	0.4 t	0.4 t	1.6 t	21.3 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の一連の処理工程（別紙①）



廃棄物管理組織図（別紙②）



株式会社　武蔵野　千葉工場内の産業廃棄物の最終責任者

工場内廃棄物の分類、マニフェスト管理、契約書管理
保管場所管理（別紙③参照）

マニフェスト記入及び保管、ごみ量の処分費の管理

（部署別役割）	（業務）
品管	検査用弁当の残渣及び弁当容器類といった廃プラの廃棄物管理
資材	原材料（包材含む）、主に廃プラの廃棄物管理
炊飯	米類残渣、調味料の廃プラの廃棄物管理
加工	商品のロス残渣、フィルム、容器類といった廃プラの廃棄物管理
調理	食材のロス残渣、パック物の廃プラの廃棄物管理
物流	商品のロス残渣、フィルム、容器といった廃プラの廃棄物管理

【廃棄物発生時の対応】

※廃棄物発生時には、速やかに所定の保管場所に運搬・整理し廃棄する。
廃棄物の内容及び保管状態は、常に統括責任者及び産業廃棄物責任者は把握・確認する。

※ダンボール入りポリテナーなど、紙とプラスチックなどの混合廃棄物に関しては可能な限り分別を実施し、所定の場所に廃棄する。

※分別保管時、分類の区分けが分からない物は、各部署責任者に問い合わせ適切な処分をする。
廃棄物担当者が分からない場合は、収集運搬業者に問い合わせ、適切な処分を実施する。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　5月 7日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒351-0034
住 所　埼玉県朝霞市西原1－1－1
氏 名　株式会社武蔵野
代表取締役　安田信行
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-405-1311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社武蔵野　千葉工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1355－32
事業の種類	E09－食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

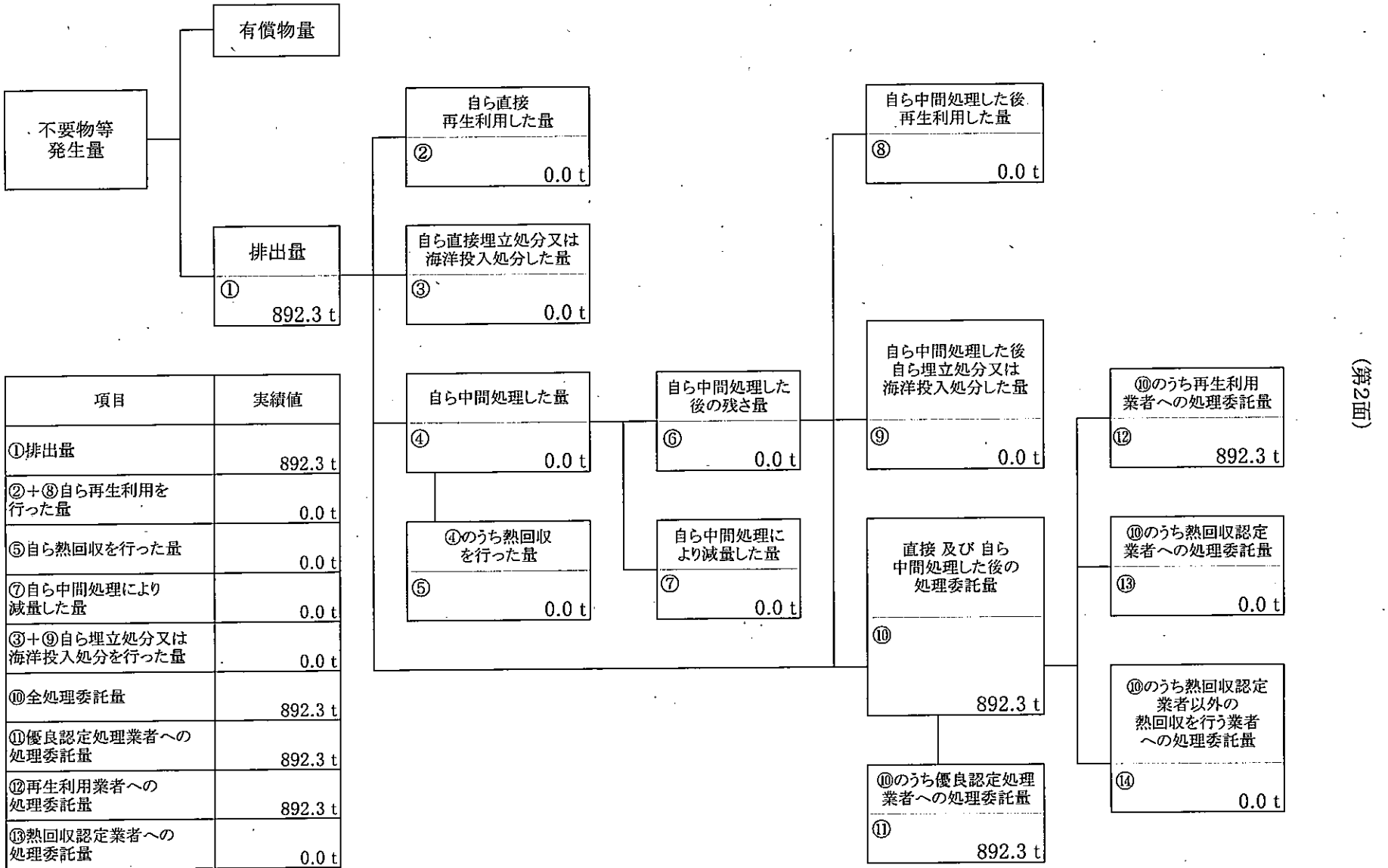
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	27801.6 t	全処理委託量	2442.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	958.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	~~301.0 t~~ 2342.5
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	25359.1 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　動・植物性残渣　）

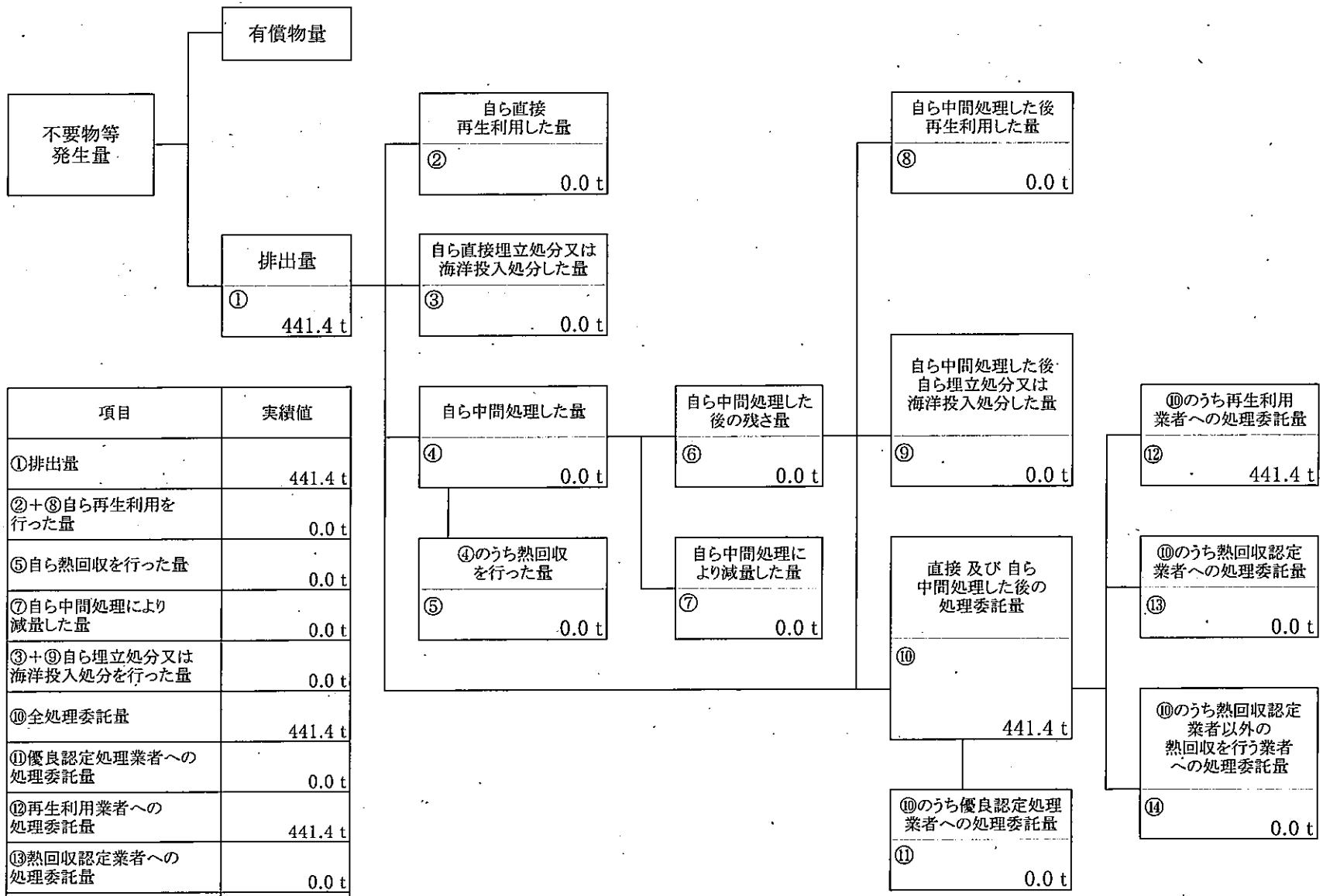


項目	実績値
①排出量	892.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	892.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	892.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	892.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック類　　）

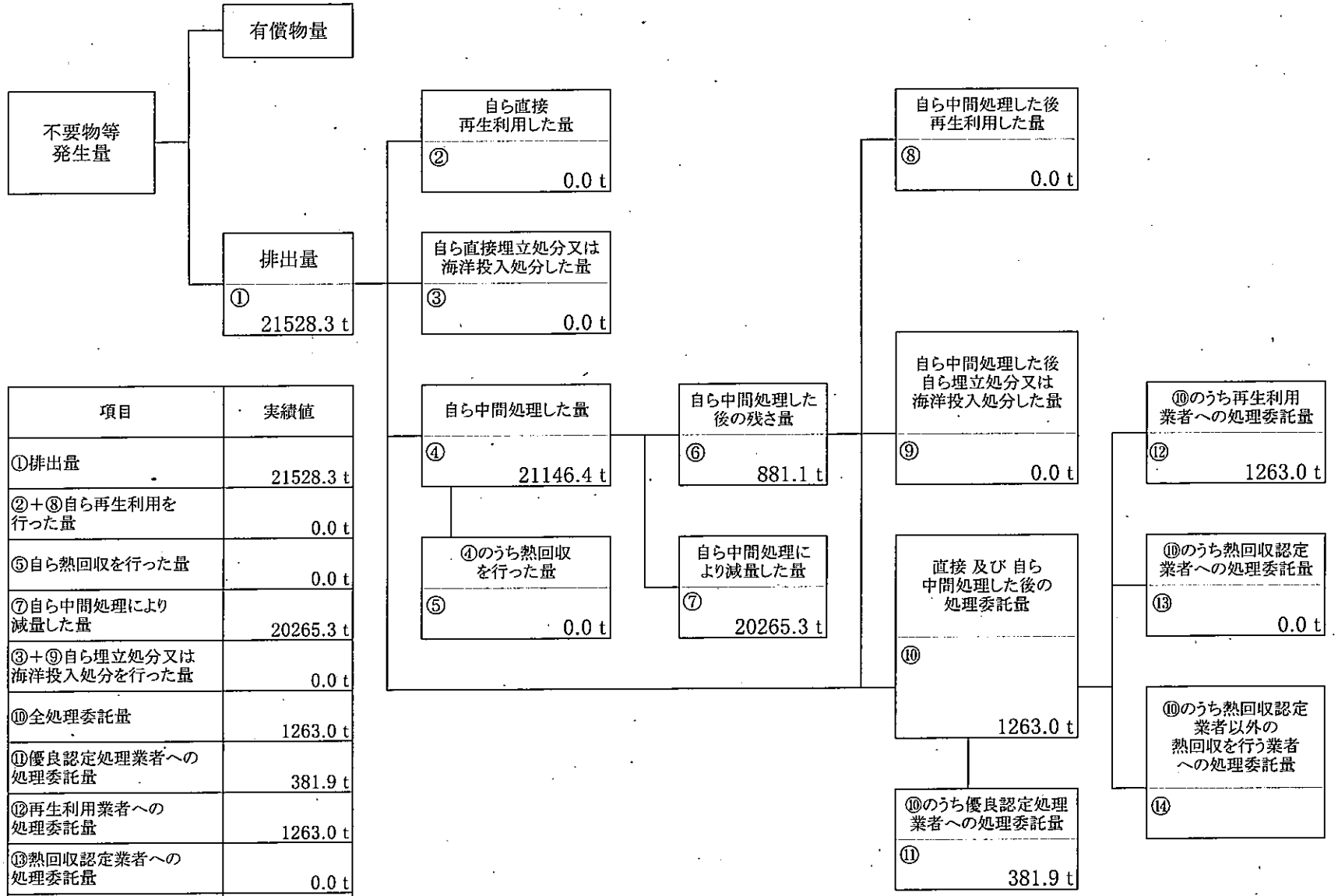


項目	実績値
①排出量	441.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	441.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	441.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥　　）

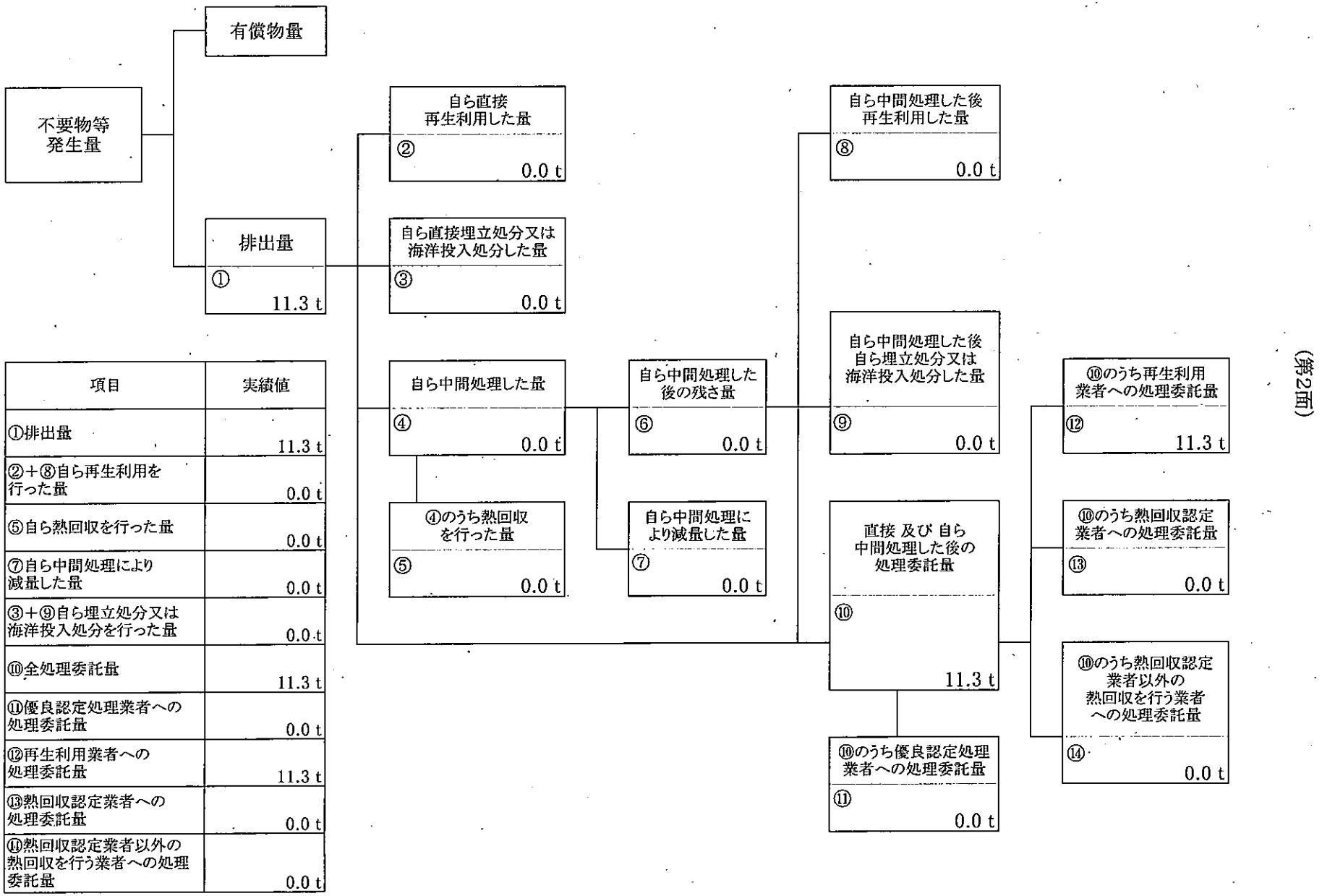


項目	実績値
①排出量	21528.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	20265.3 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1263.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	381.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1263.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラ・金属くず　　）

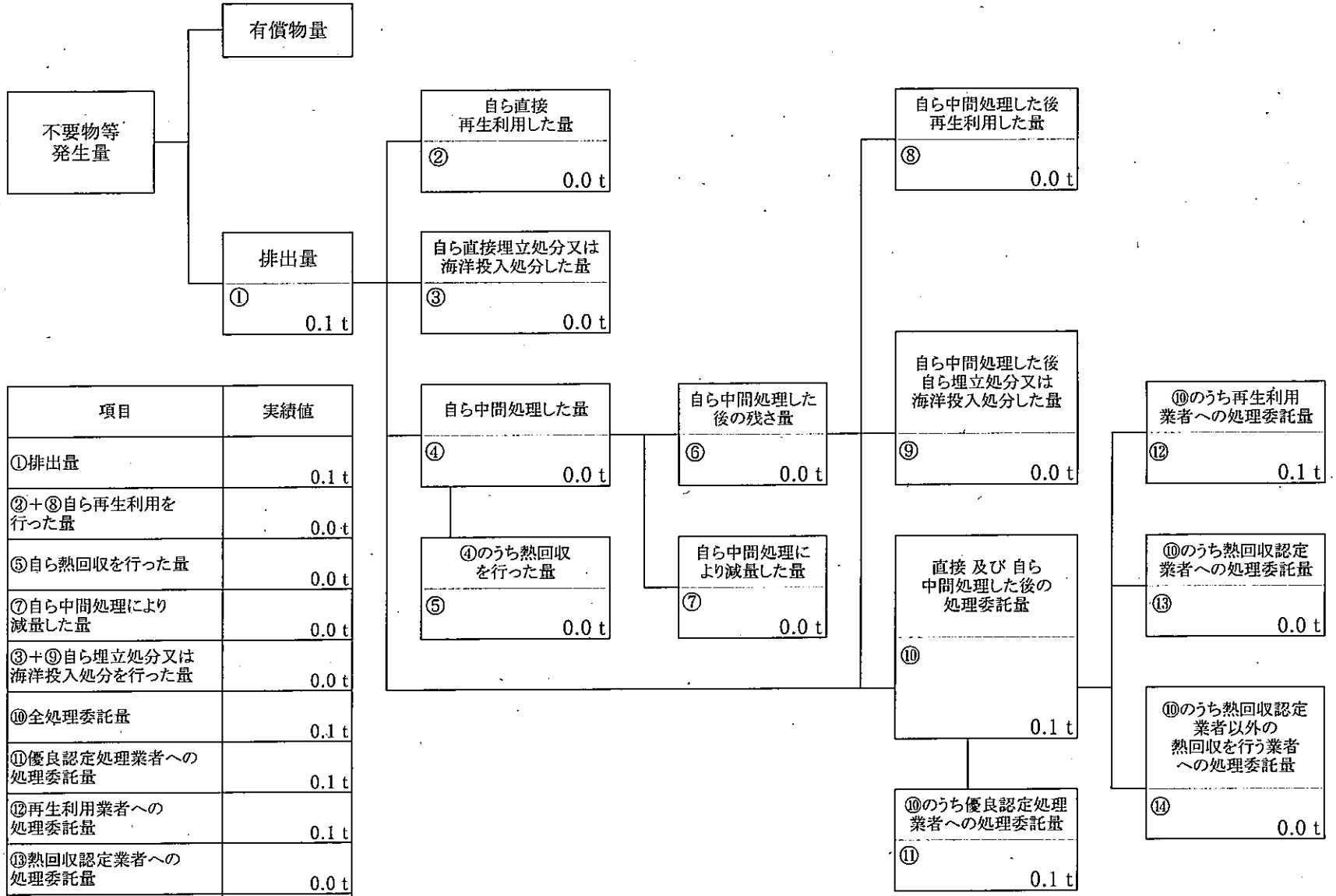


項目	実績値
①排出量	11.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃蛍光灯　　）

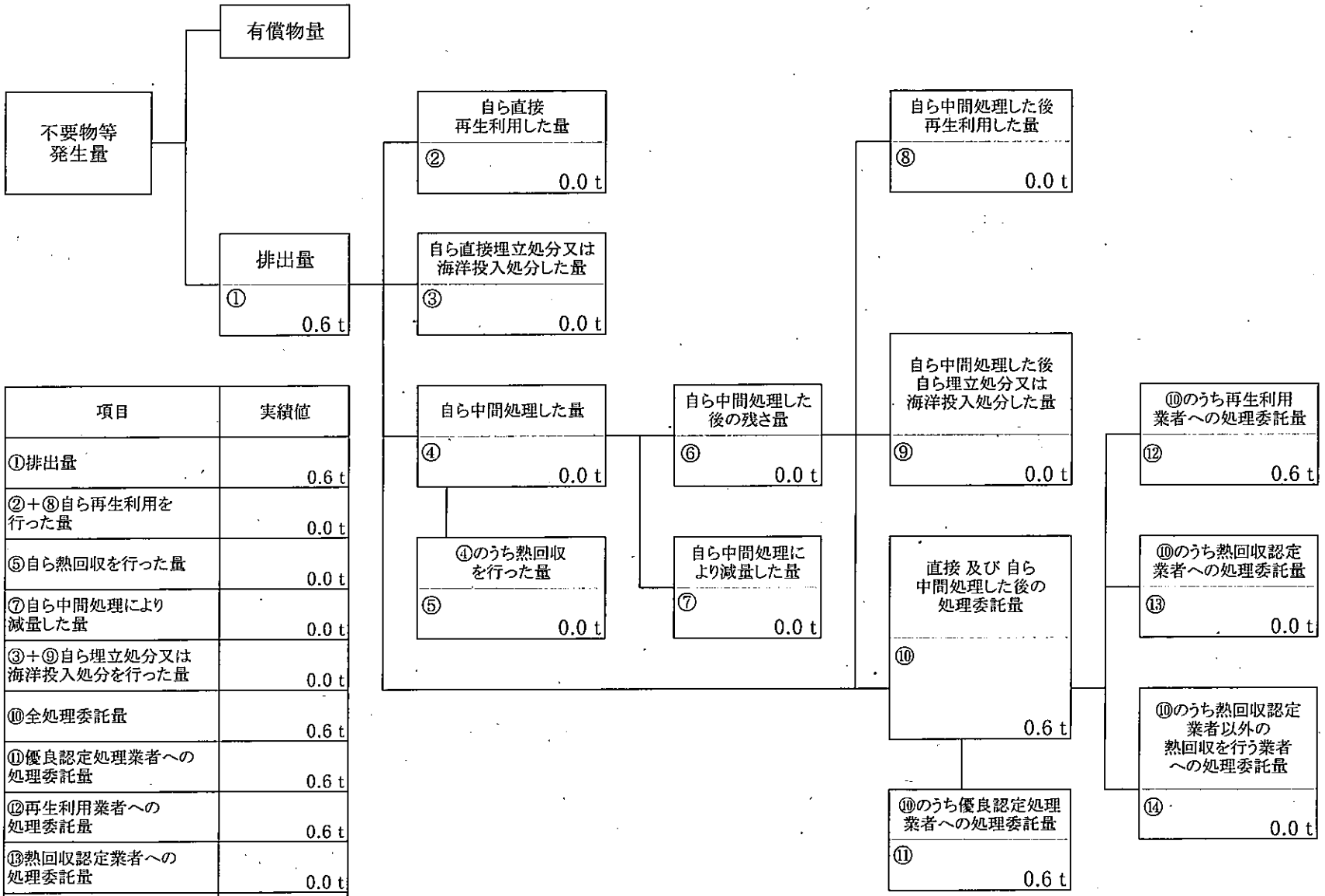


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃乾電池　　）

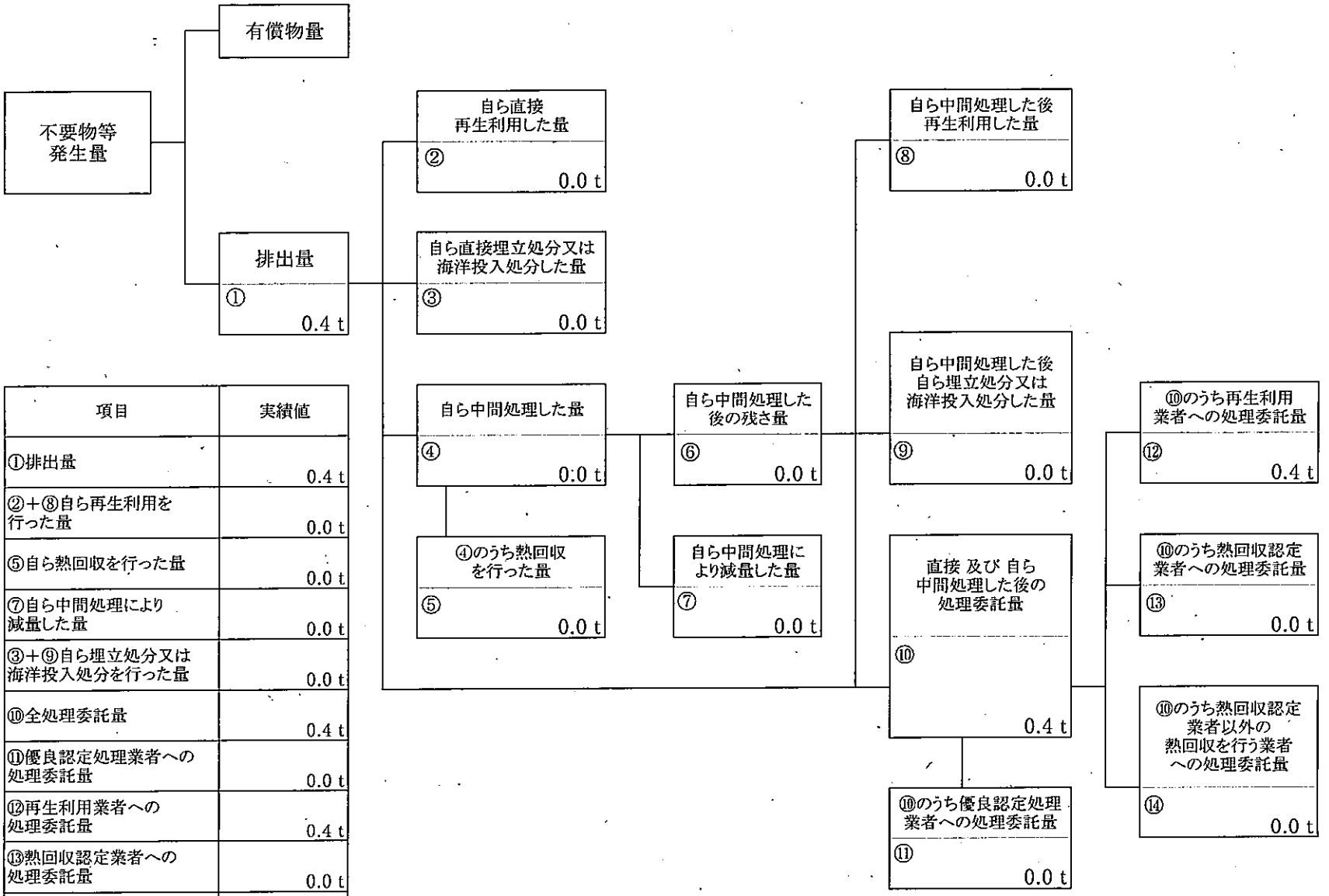


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　油でい（含水油）　　）

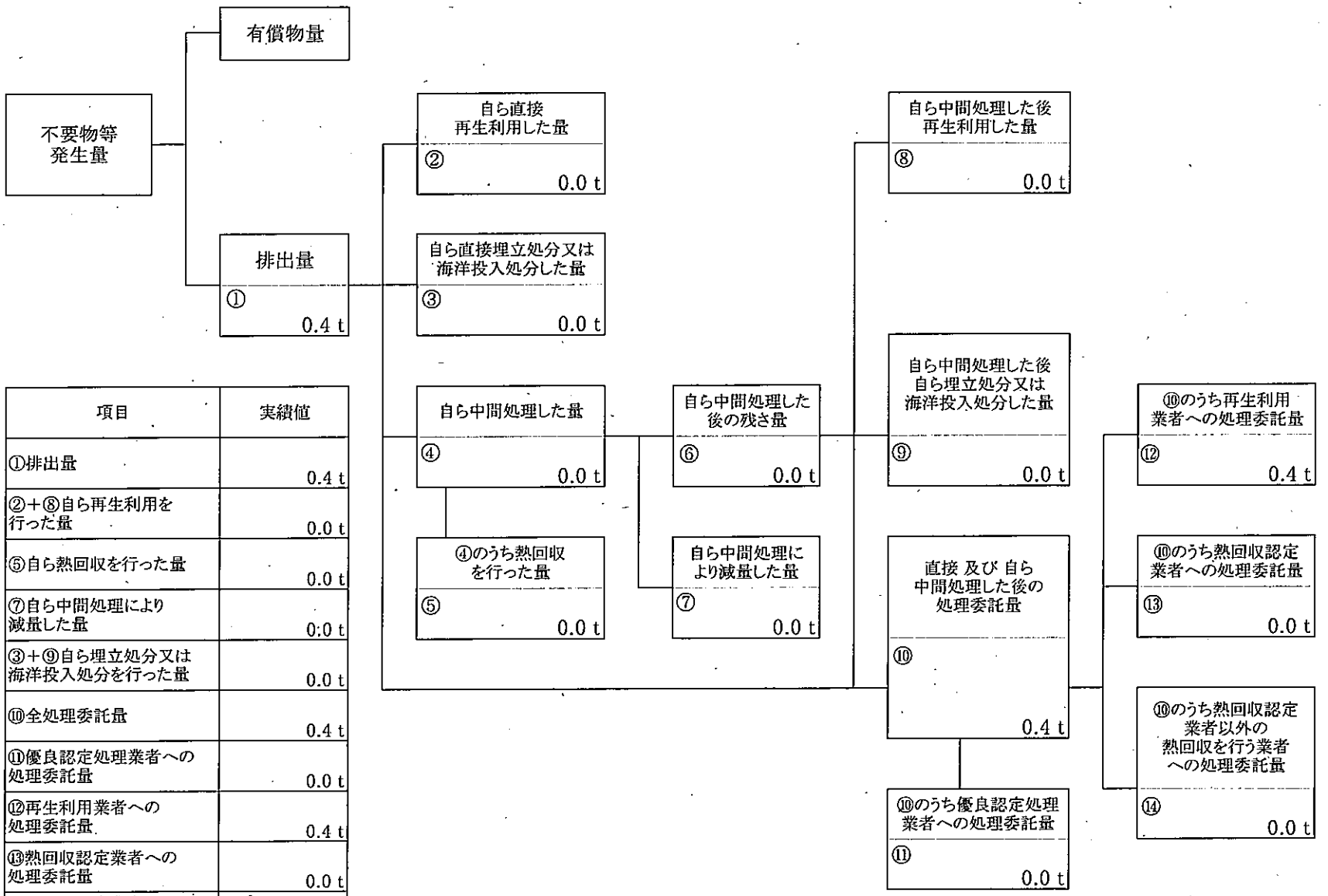


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　動植物性油　）

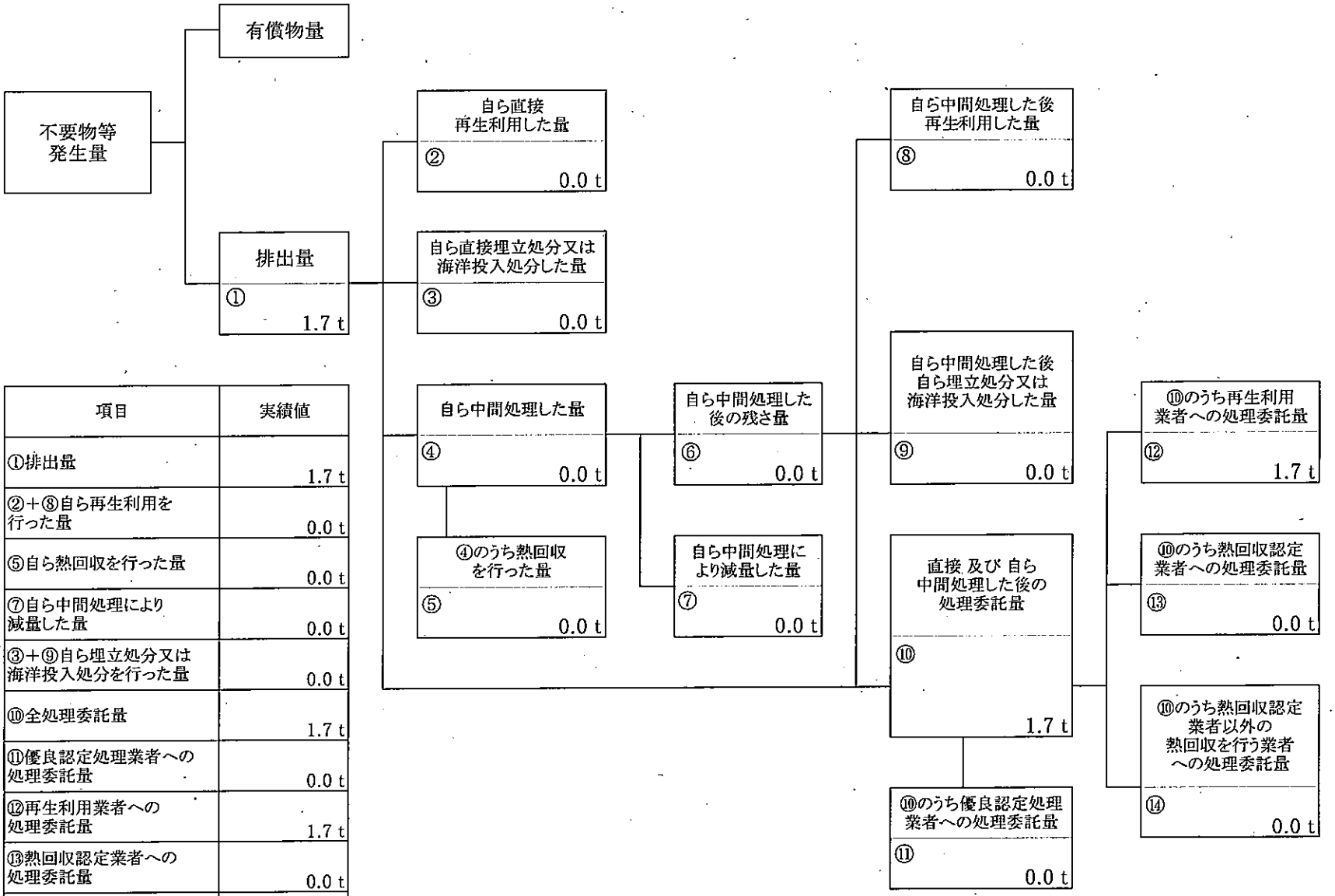


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　安定型混合廃棄物　）

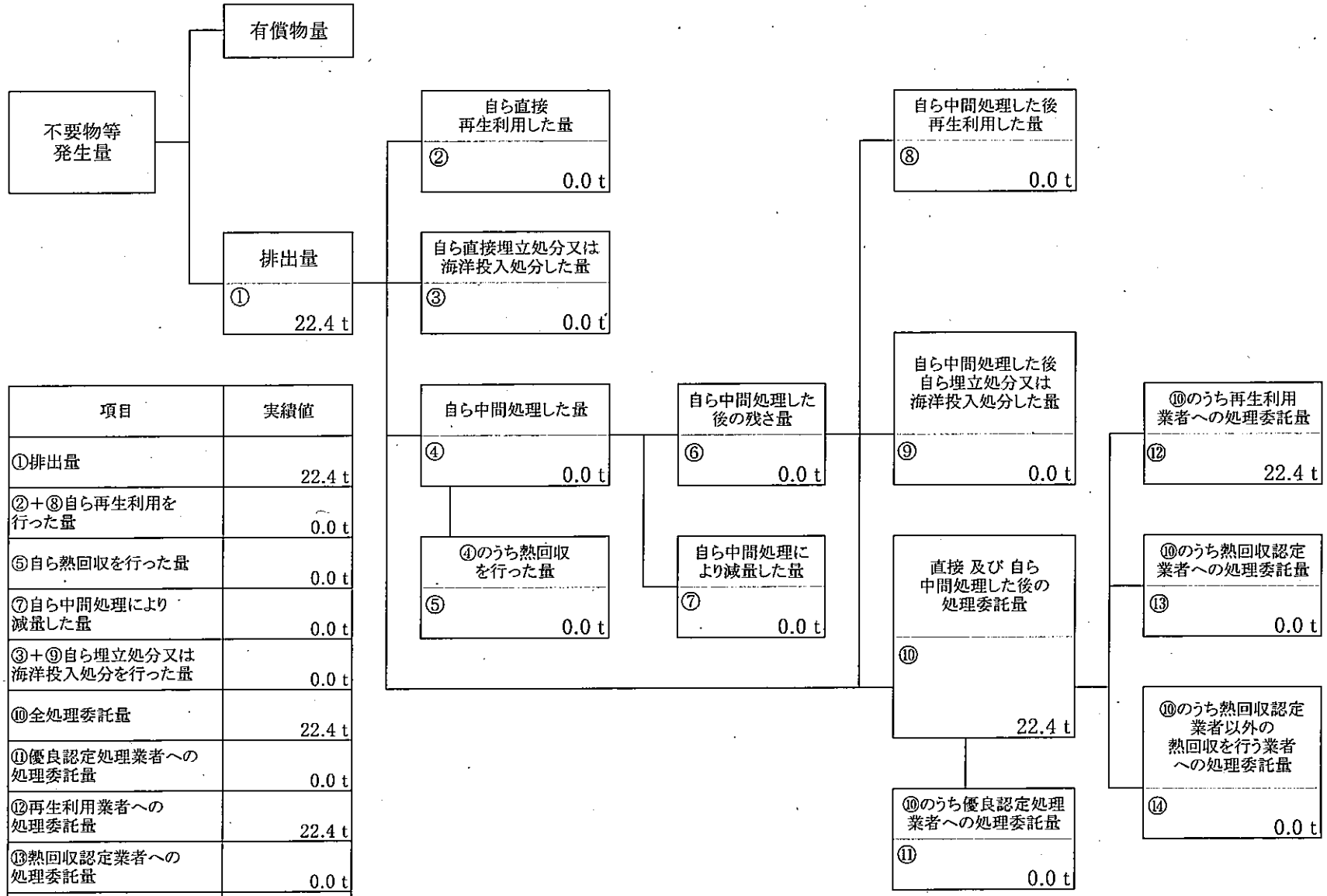


項目	実績値
①排出量	1.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　管理型混合廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	22.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6　年　6　月　14　日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者

住　所　　千葉県市原市五井南海岸１２－３

氏　名　　株式会社　ＭＯＲＥＳＣＯ　千葉工場

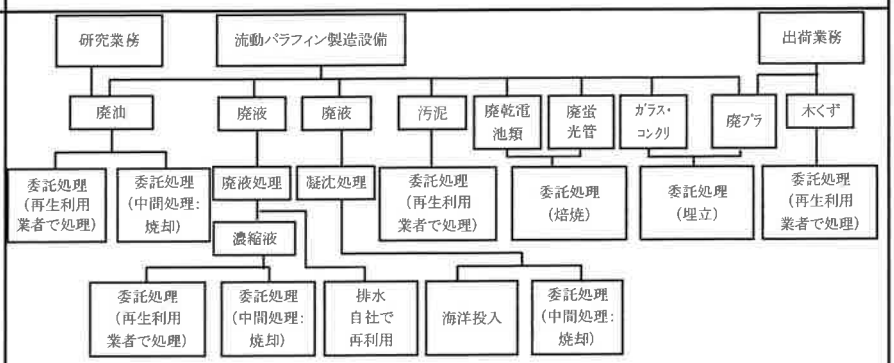
工場長　鶴川　賢一

電話番号　　0436-22-2181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　ＭＯＲＥＳＣＯ　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸１２－３
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日

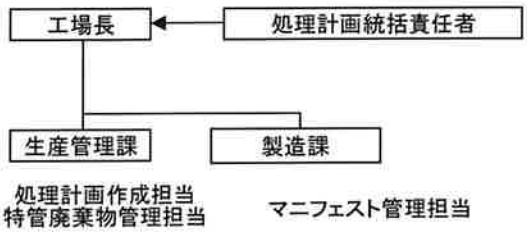
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　中分類：石油製品石炭製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　39.22億円
③従業員数	49名（正社員　41人　常勤関係職員　8人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別している産業廃棄物：廃油、汚泥（無機・有機）、廃ｱﾙｶﾘ、木くず（木ﾊﾟﾚｯﾄ）、 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ、ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず、廃乾電池類、廃蛍光管、金属くず 取組：他の産業廃棄物との分別を徹底する。（置場管理の強化）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後分別する予定の産業廃棄物：なし（全て分別済） 取組：引き続き、他の産業廃棄物との分別を徹底する。 （置場管理の強化）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

<table>
<tr><td></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙①

<table>
<tr><td colspan="7">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="3">①現状</td><td colspan="5">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>汚泥</td><td>汚泥（無機）</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>14.8ｔ</td><td>40.6ｔ</td><td>3321.6ｔ</td><td>6176.6ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）
・製造工程における処理条件を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施</td></tr>
<tr><td rowspan="3">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>汚泥</td><td>汚泥（無機）</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>14.8ｔ</td><td>40.6ｔ</td><td>3321.6ｔ</td><td>6176.6ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
・引き続き、製造工程における処理条件を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	汚泥（無機）	廃アルカリ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	汚泥（無機）	廃アルカリ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	汚泥（無機）	廃アルカリ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	3266.2 t	4445.8 t

（これまでに実施した取組）

・汚泥（無機）については、凝集沈殿処理による減量化を実施

・廃アルカリについては、濃縮処理による減量化を実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	汚泥（無機）	廃アルカリ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	3266.2 t	4445.8 t

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、汚泥（無機）については、凝集沈殿処理による減量化を実施

・引き続き、廃アルカリについては、濃縮処理による減量化を実施

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	汚泥（無機）	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0ｔ	0.0ｔ	0.0ｔ	0.0ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	汚泥（無機）	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	0.0ｔ	0.0ｔ	0.0ｔ

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	汚泥（無機）	廃アルカリ
全処理委託量	14.8 t	40.6 t	55.4 t	1730.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	14.8 t	10.1 t	43.0 t	946.7 t
再生利用業者への処理委託量	4.8 t	0.0 t	55.4 t	1046.8 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）
・再生利用業者への委託割合を増やす

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	汚泥（無機）	廃アルカリ
全処理委託量	14.8 t	40.6 t	55.4 t	1730.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	14.8 t	10.1 t	43.0 t	946.7 t
再生利用業者への処理委託量	4.8 t	0.0 t	55.4 t	1046.8 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、再生利用業者への委託割合を増やす

別紙②

<table>
<tr><td colspan="7">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="2">①現状</td><td colspan="5">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（有機）</td><td>木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)</td><td>廃プラスチック</td><td>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>318.5ｔ</td><td>1.4ｔ</td><td>1.3ｔ</td><td>1.2ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）
・製造工程を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施
・木パレットを修理して使用し、廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（有機）</td><td>木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)</td><td>廃プラスチック</td><td>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>318.5ｔ</td><td>1.4ｔ</td><td>1.3ｔ</td><td>1.2ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
・引き続き、製造工程を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施
・引き続き、木パレットを修理して使用し、廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥（有機）	木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥（有機）	木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥（有機）	木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥（有機）	木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥（有機）	木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥（有機）	木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥（有機）	木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
全処理委託量		318.5 t	1.4 t	1.3 t	1.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	318.5 t	1.4 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	318.5 t	1.4 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

・製造工程を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施

・木パレットを修理して使用し、廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		汚泥（有機）	木くず(木ﾊﾟﾚｯﾄ)	廃プラスチック	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
全処理委託量		318.5 t	1.4 t	1.3 t	1.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	318.5 t	1.4 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	318.5 t	1.4 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、製造工程を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施

・引き続き、木パレットを修理して使用し、廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施

別紙③

<table>
<tr><td colspan="7">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="2">①現状</td><td colspan="5">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃乾電池類</td><td>廃蛍光管</td><td>金属くず</td><td>石綿含有産業廃棄物</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0.000 t</td><td>0.000 t</td><td>2.1 t</td><td>0.4 t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）
・使用器具を見直し、廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃乾電池類</td><td>廃蛍光管</td><td>金属くず</td><td>石綿含有産業廃棄物</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0.011 t</td><td>0.000 t</td><td>0.0 t</td><td>0.0 t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
・引き続き、使用器具を見直し、廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃乾電池類	廃蛍光管	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	（これまでに実施した取組）				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃乾電池類	廃蛍光管	金属くず	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	（今後実施する予定の取組）				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃乾電池類	廃蛍光管	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃乾電池類	廃蛍光管	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃乾電池類	廃蛍光管	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃乾電池類	廃蛍光管	金属くず	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃乾電池類	廃蛍光管	金属くず	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	2.1 t	0.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	2.1 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	2.1 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

・使用器具を見直し、廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		廃乾電池類	廃蛍光管	金属くず	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量		0.011 t	0.000 t	0.0 t	0.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、使用器具を見直し、廃棄物排出量の削減のための取り組みを実施

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 14 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県市原市五井南海岸12－3
氏 名　株式会社 MORESCO 千葉工場
工場長 鶴川 賢一

電話番号　0436-22-2181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 MORESCO 千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸12－3
事業の種類	大分類:製造業　中分類:石油製品石炭製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

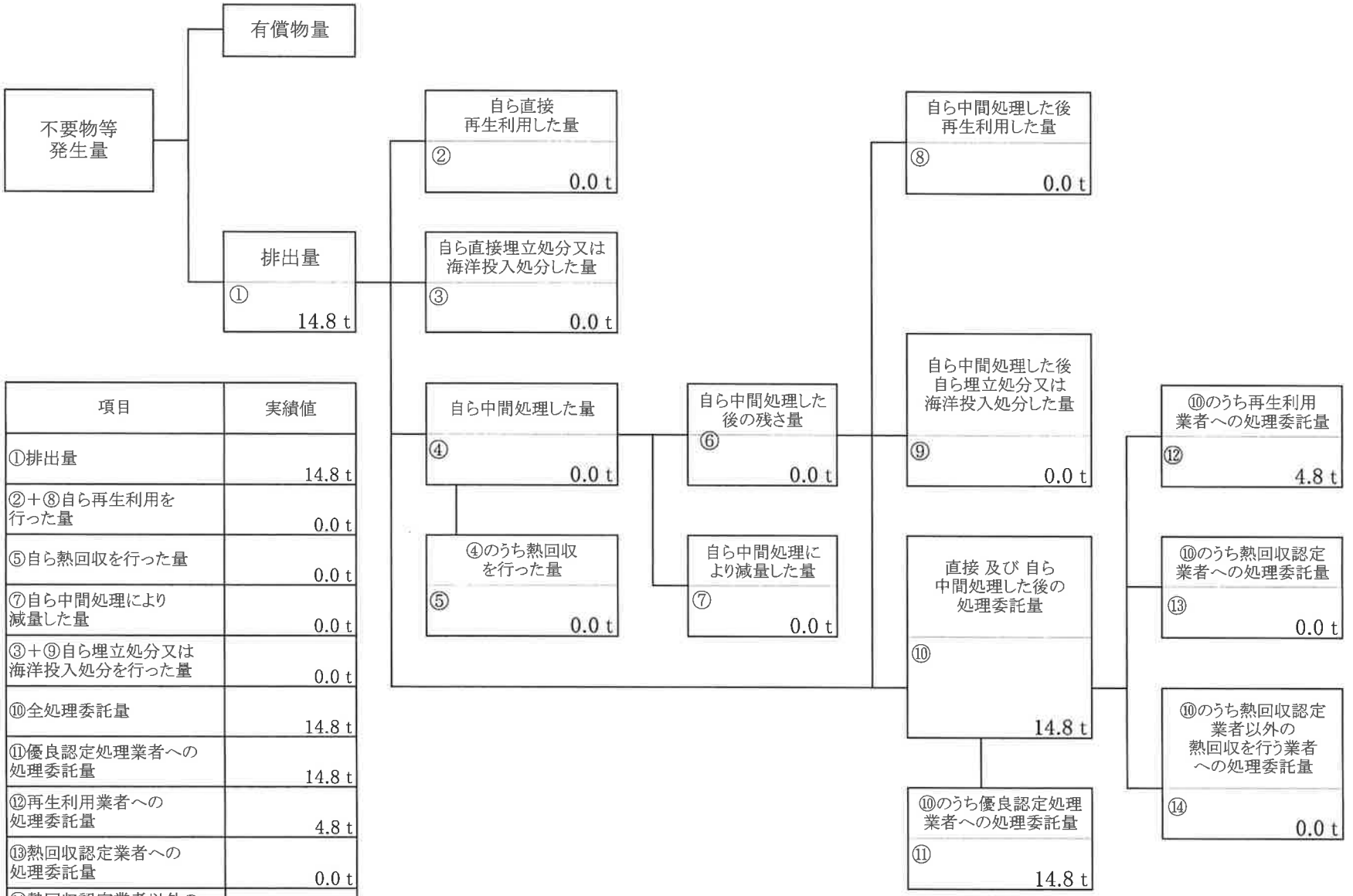
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	14122.4 t	全処理委託量	2354.6 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1559.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1562.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	11767.8 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃油　）

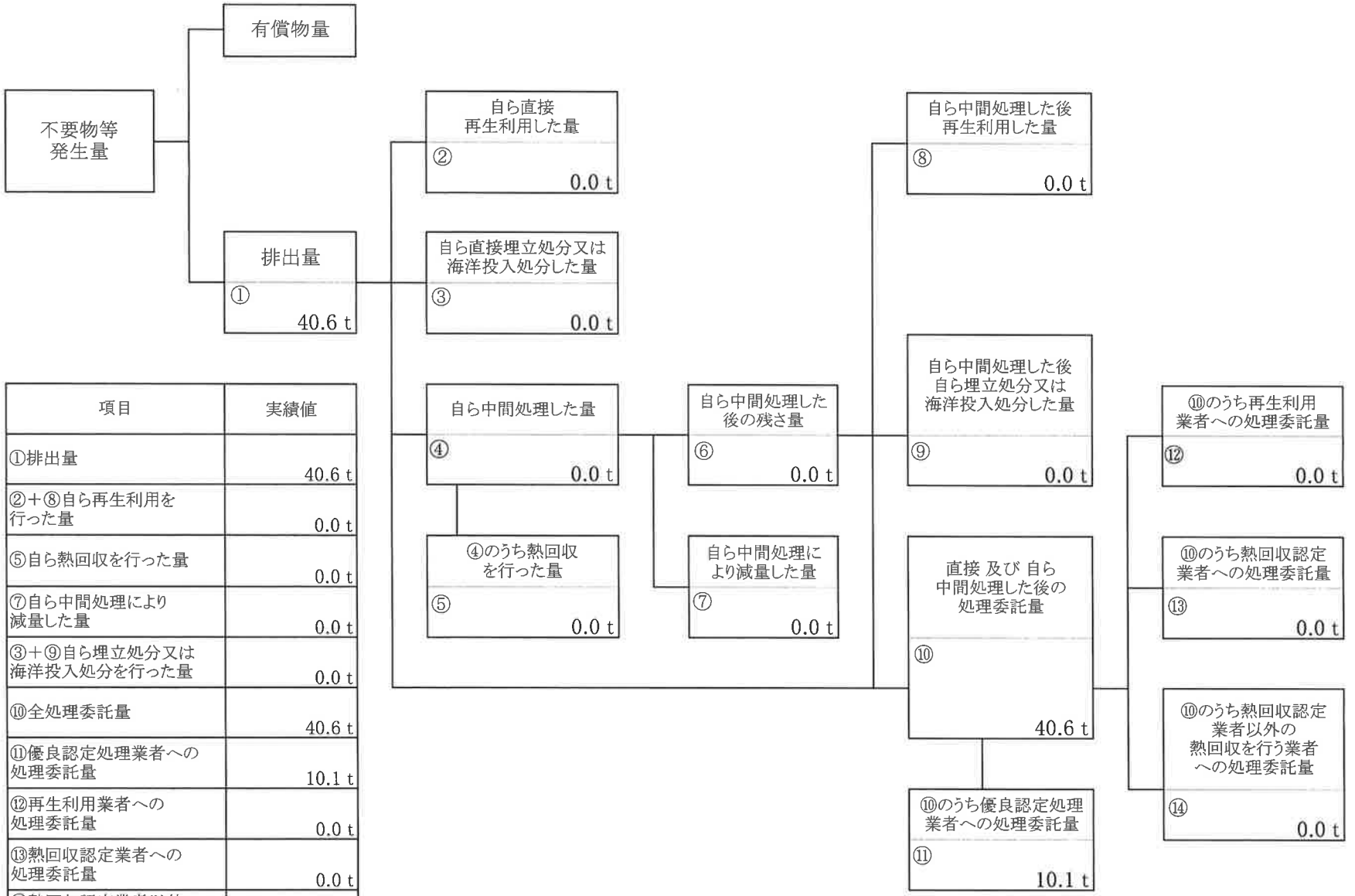


項目	実績値
①排出量	14.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

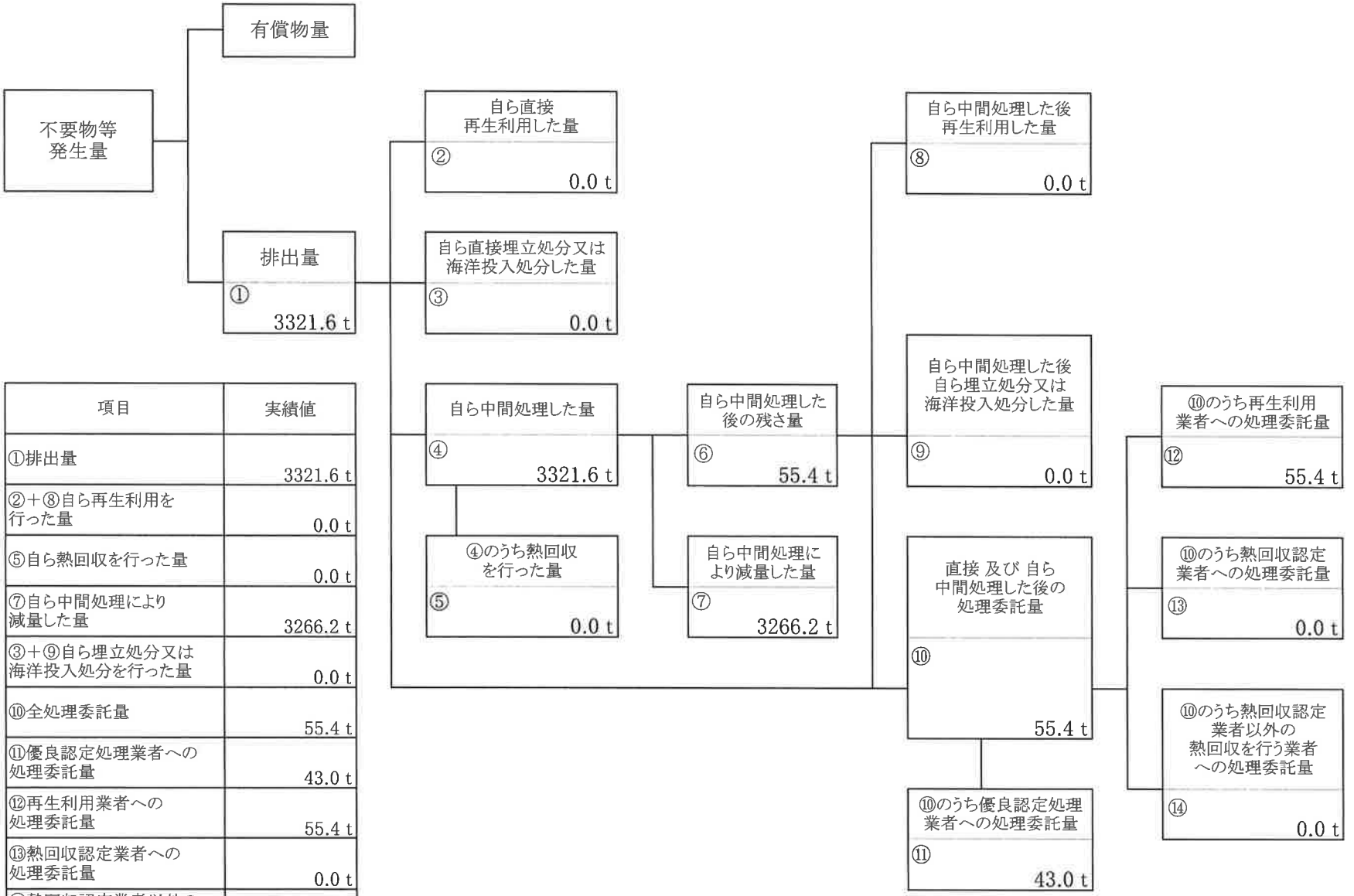


項目	実績値
①排出量	40.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	40.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**汚泥（無機）**　）

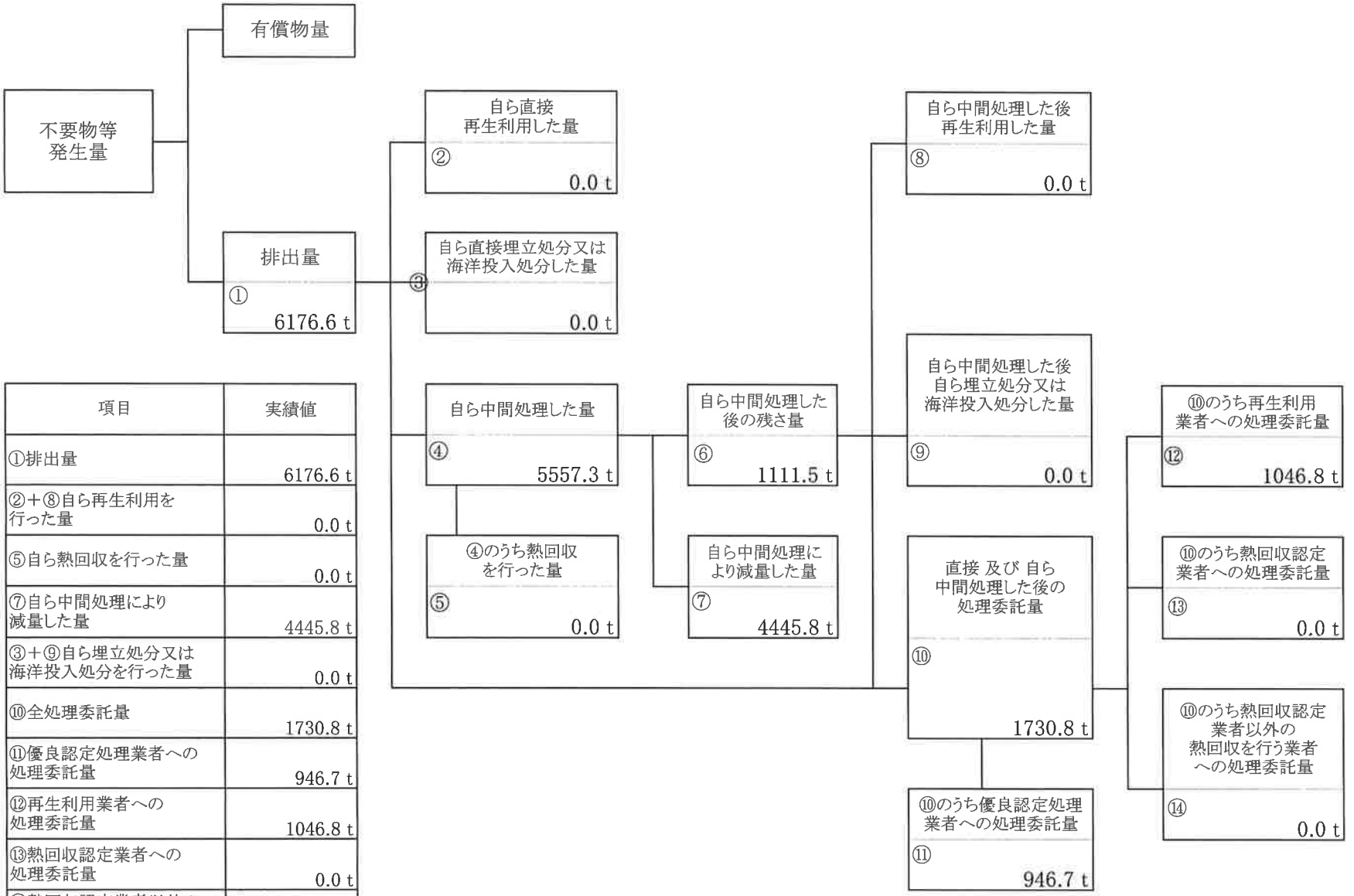


項目	実績値
①排出量	3321.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	3266.2 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	55.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	43.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	55.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃アルカリ　）

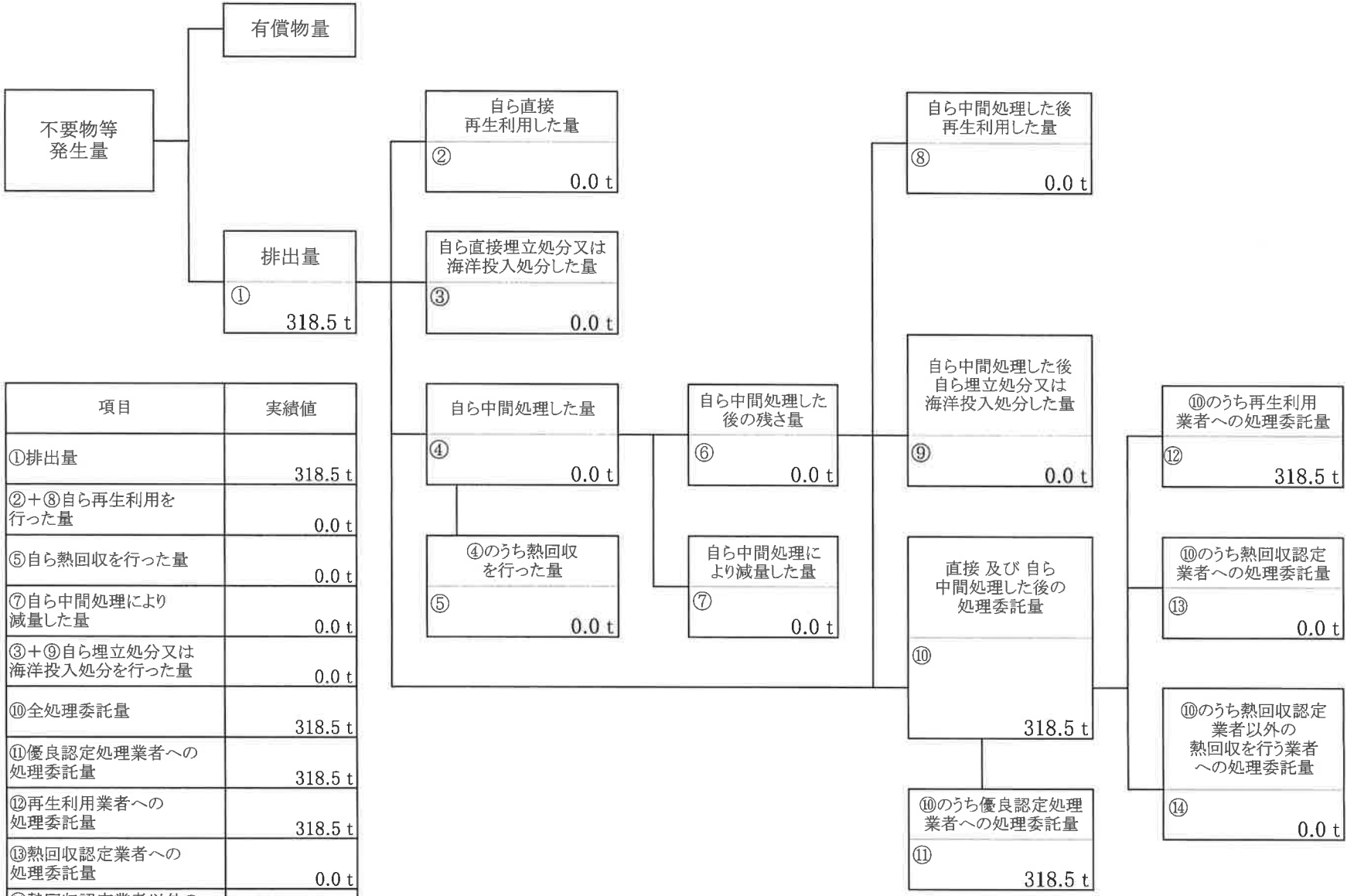


項目	実績値
①排出量	6176.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	4445.8 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1730.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	946.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1046.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**汚泥（有機）**　）

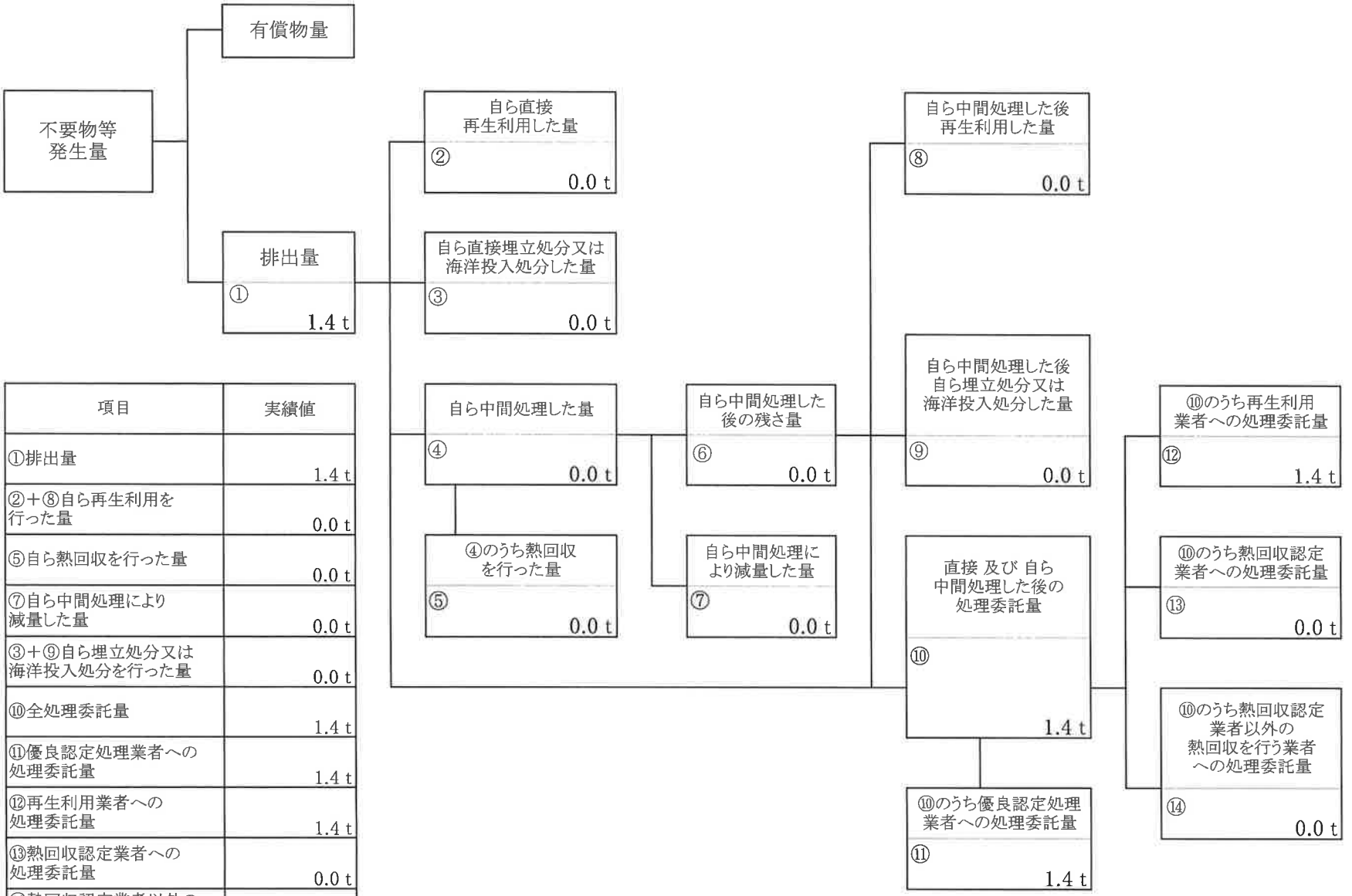


項目	実績値
①排出量	318.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	318.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	318.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	318.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず（木パレット）　）

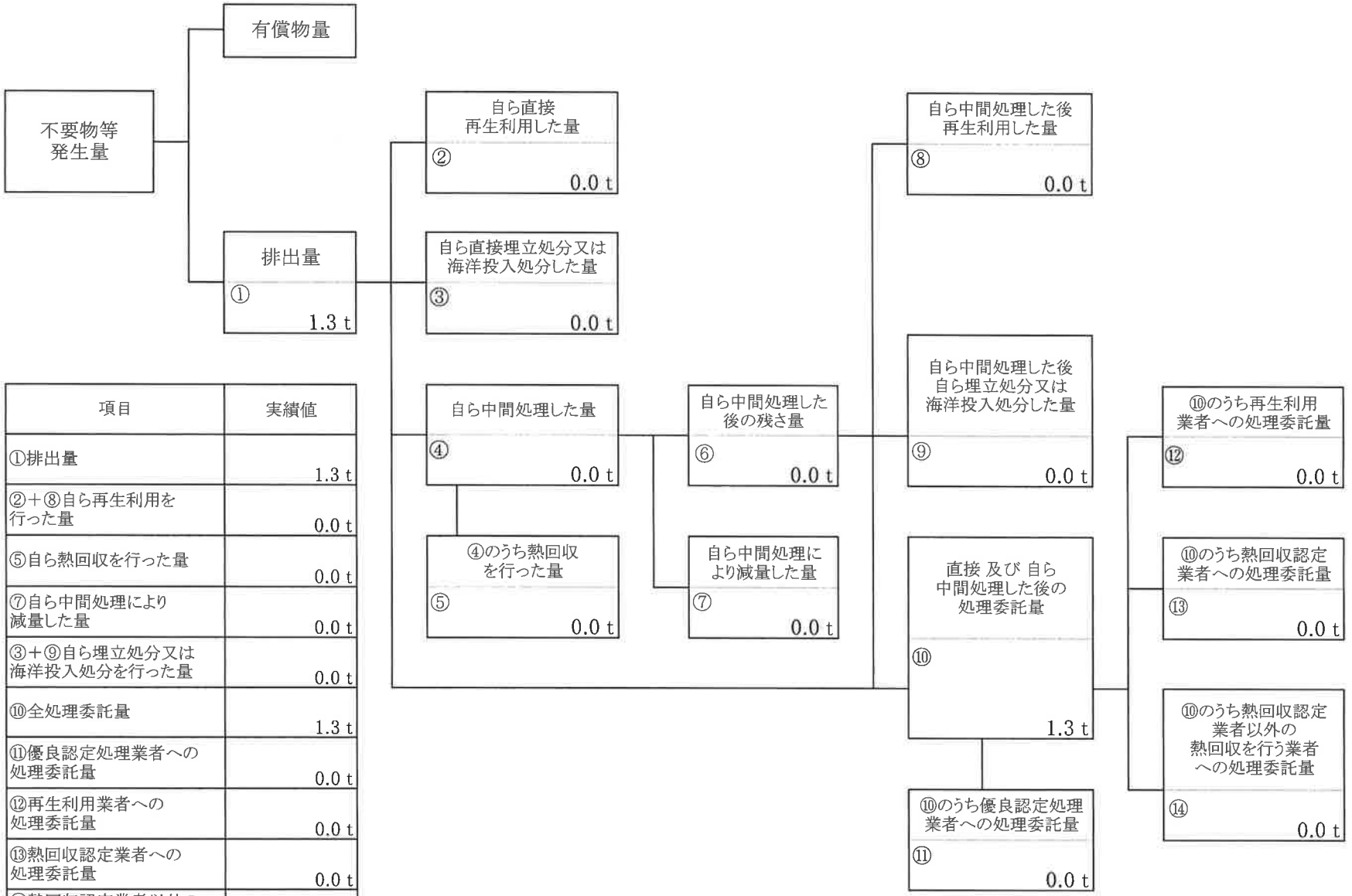


項目	実績値
①排出量	1.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

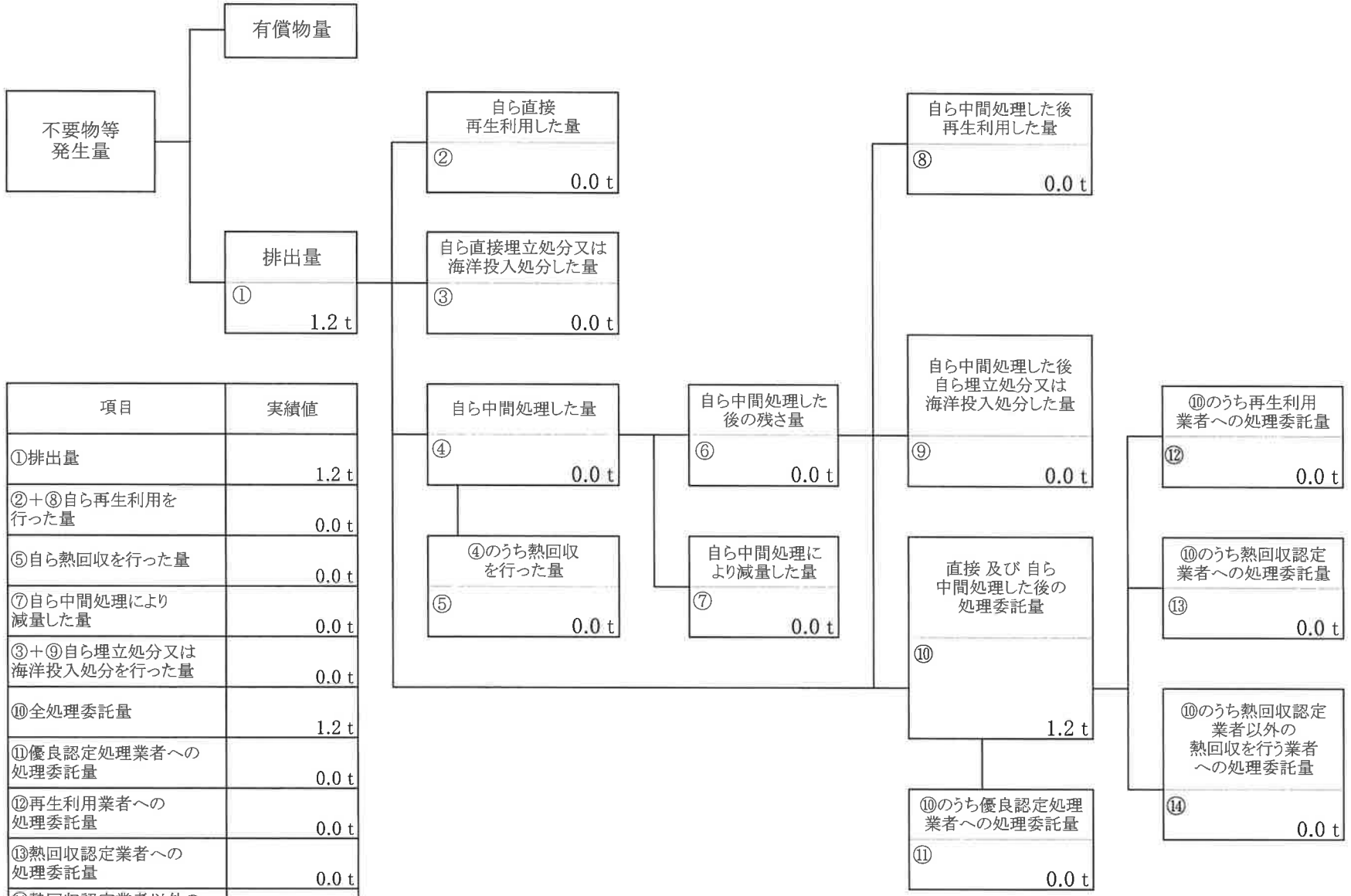


項目	実績値
①排出量	1.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

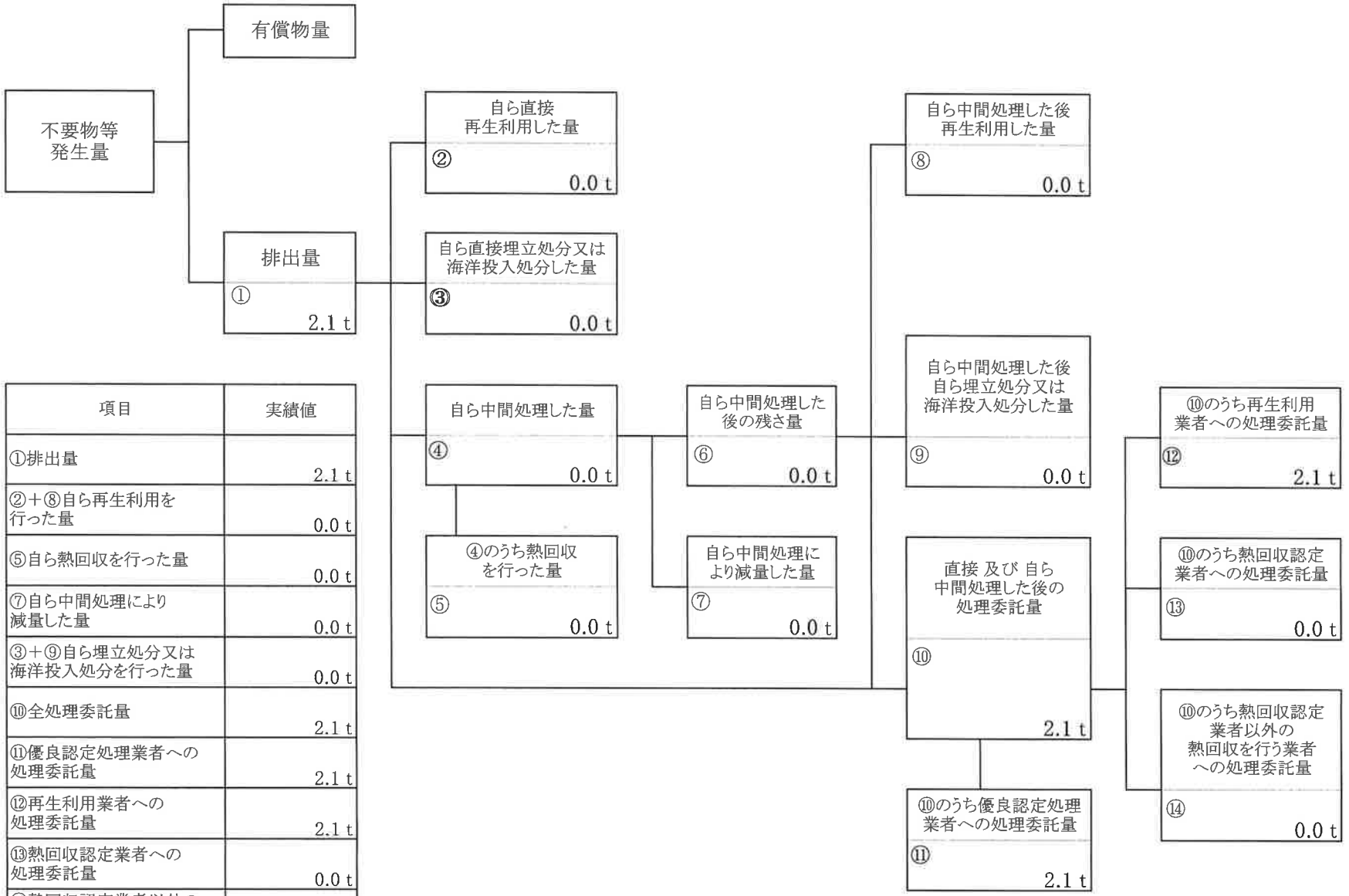


項目	実績値
①排出量	1.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

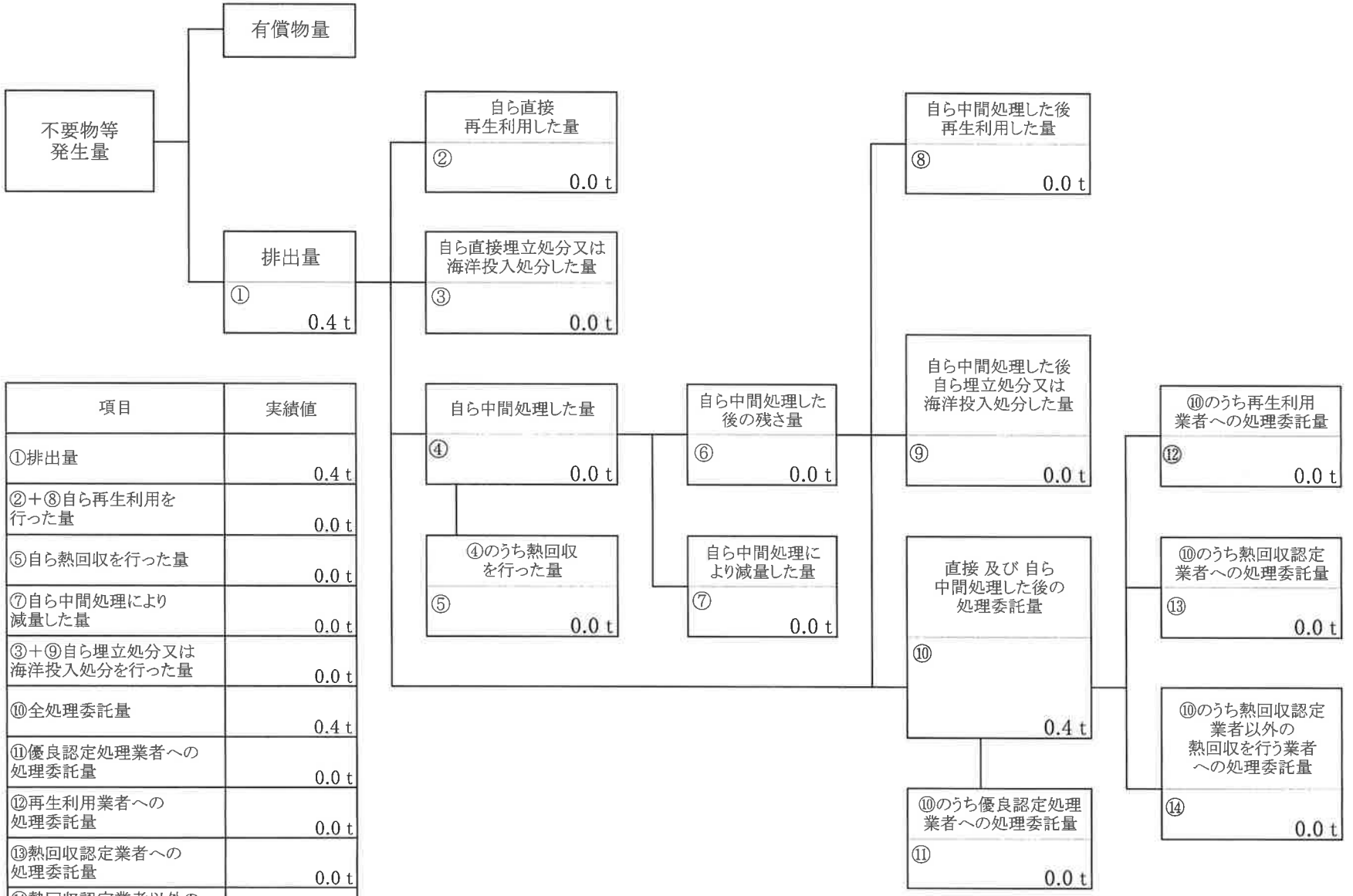


項目	実績値
①排出量	2.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　石綿含有産業廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　14　日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者

住　所　千葉県市原市五井南海岸１２－３

氏　名　株式会社ＭＯＲＥＳＣＯ千葉工場

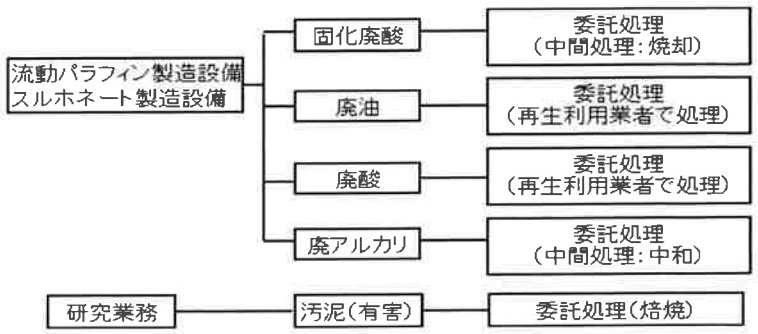
工場長　鶴川　賢一

電話番号　　0436-22-2181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　ＭＯＲＥＳＣＯ　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸１２－３
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日

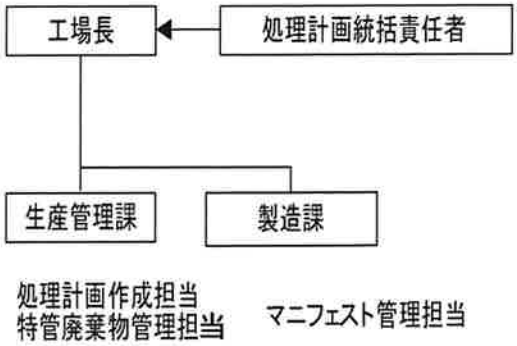
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　中分類：石油製品石炭製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　39.22億円
③従業員数	49名（正社員　41人　常勤関係職員　8人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和５　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物との分別を徹底する。（置場管理の強化）
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、産業廃棄物との分別を徹底する。（置場管理の強化）

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　令和５　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 令和５ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組 ）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和５　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和５　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

別紙のとおり

	②計画	【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

別紙のとおり

【前年度（　令和５　年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	1961.2　t

電子情報処理組織の使用に関する事項

（今後実施する予定の取組等）

引き続き、電子マニフェストを運用していく

※事務処理欄

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

別紙①

<table>
<tr><td colspan="7">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="3">①現状</td><td colspan="5">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物
の種類</td><td>廃酸（強酸）</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃アルカリ
（強アルカリ）</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>1717.3 t</td><td>50.5 t</td><td>193.4 t</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">（これまでに実施した取組）
・製造工程を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量の削減のための取組を実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物
の種類</td><td>廃酸（強酸）</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃アルカリ
（強アルカリ）</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>1717.3 t</td><td>50.5 t</td><td>193.4 t</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">（今後実施する予定の取組）
・引き続き、製造工程を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量の削減のための取組を実施。</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃油（引火性）	廃アルカリ（強アルカリ）	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
	（これまでに実施した取組）				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃油（引火性）	廃アルカリ（強アルカリ）	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
	（今後実施する予定の取組）				

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃油（引火性）	廃アルカリ（強アルカリ）	
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃油（引火性）	廃アルカリ（強アルカリ）	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	

（今後実施する予定の取組）

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃油（引火性）	廃アルカリ（強アルカリ）	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
	（これまでに実施した取組）				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃油（引火性）	廃アルカリ（強アルカリ）	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
	（今後実施する予定の取組）				

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃酸（強酸）	廃油（引火性）	廃アルカリ（強アルカリ）	
全処理委託量		1717.3 t	50.5 t	193.4 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	50.5 t	0.0 t	
	再生利用業者への処理委託量	1717.3 t	0.2 t	0.0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	

（これまでに実施した取組）

・優良認定処理業者への処理委託を実施
・廃棄物を、再生利用業者への処理委託を実施

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃油（引火性）	廃アルカリ（強アルカリ）	
全処理委託量	1717.3 t	50.5 t	193.4 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	50.5 t	0.0 t	
再生利用業者への処理委託量	1717.3 t	0.2 t	0.0 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、優良認定処理業者への処理委託を実施
・引き続き、廃棄物を、再生利用業者への処理委託を実施

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 14日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県市原市五井南海岸12－3
氏 名　株式会社 MORESCO 千葉工場
工場長 鶴川 賢一

電話番号　0436-22-2181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 MORESCO 千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸12－3
事業の種類	大分類:製造業 中分類:石油製品石炭製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2374.9 t	全処理委託量	2374.9 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	38.4 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	2068.1 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	2374.9 t
	前年度	1961.2 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

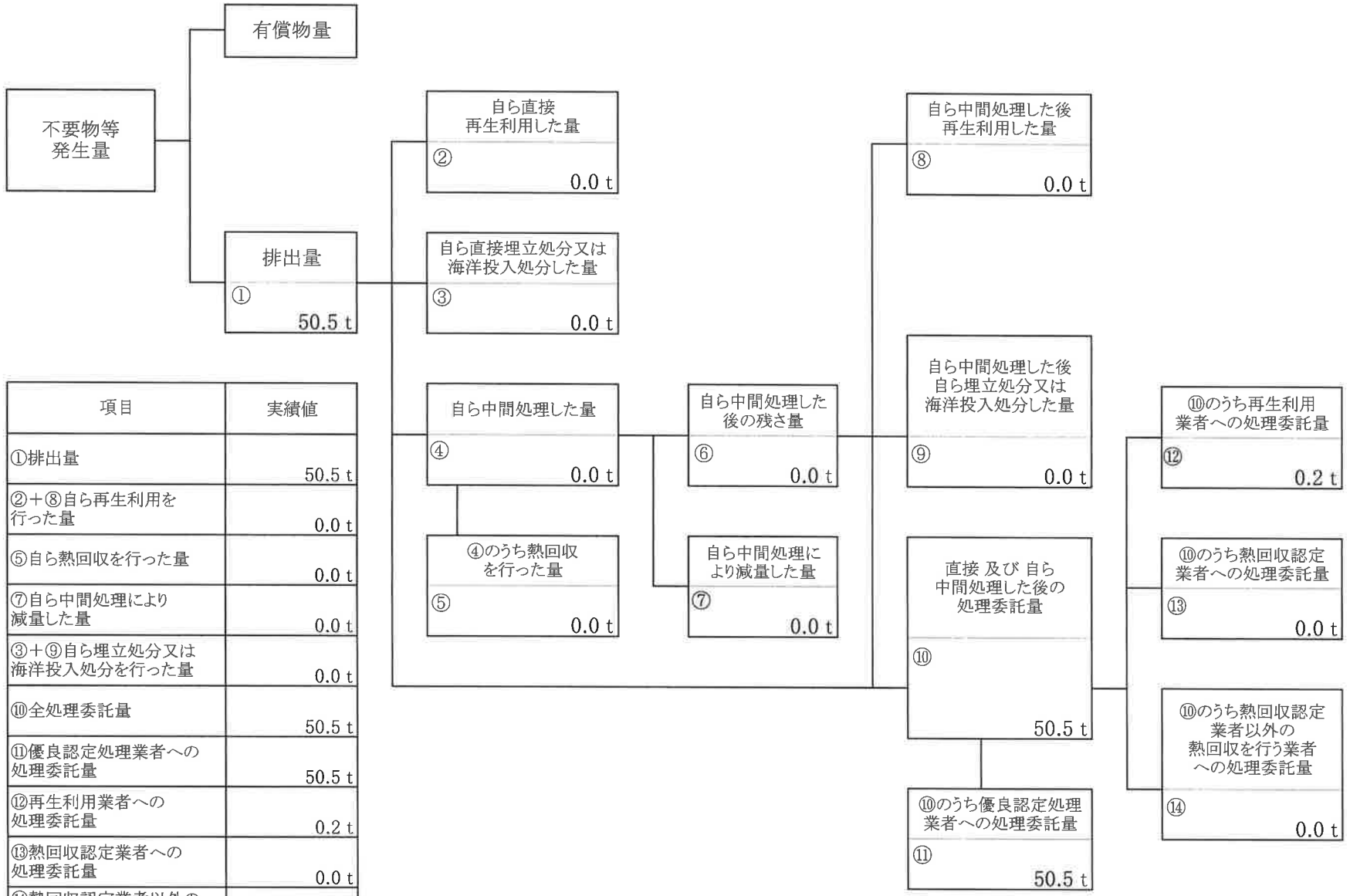
電子マニフェストの運用

※事務処理欄	

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（引火性）　）

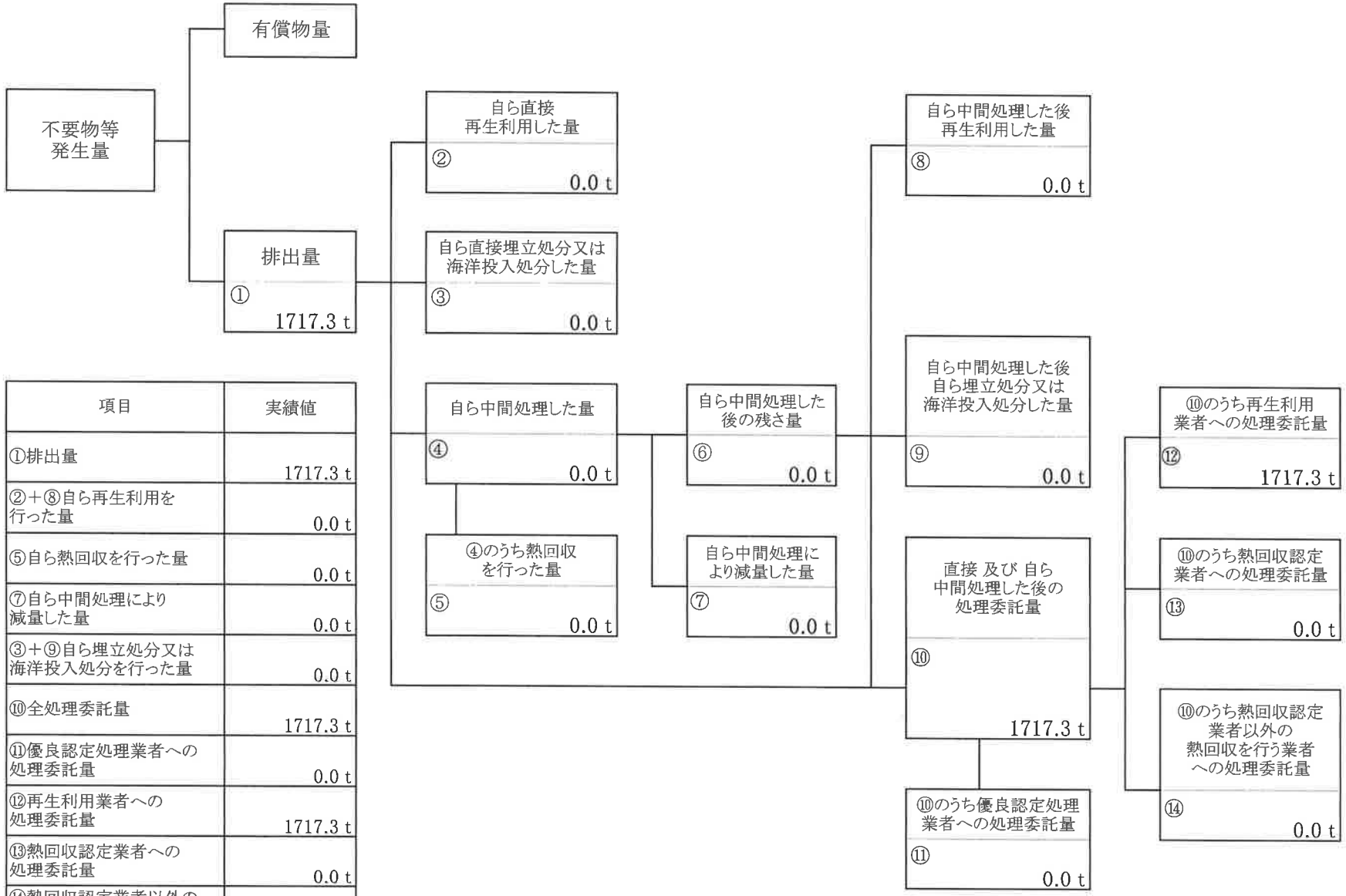


項目	実績値
①排出量	50.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	50.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	50.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃酸（強酸）**　）

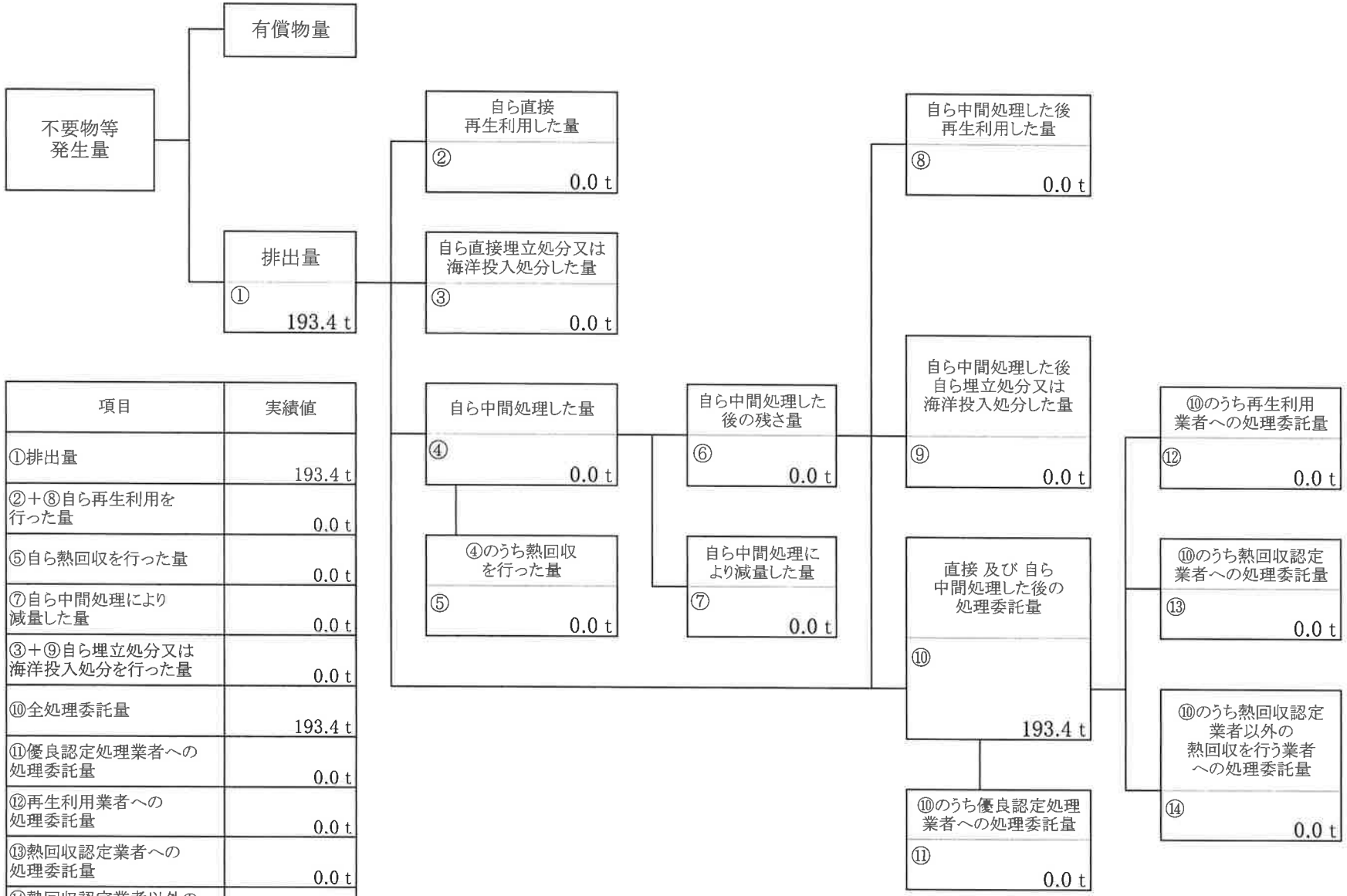


項目	実績値
①排出量	1717.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1717.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1717.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃アルカリ（強アルカリ）　）



項目	実績値
①排出量	193.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	193.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。